



クルアーン

JAPANESE

クルアーン

翻訳者

マウラナ・ワヒドゥッディン・カーン
ファリダ・カーナム教授

グッドワードブックス

このクラーンの翻訳は著作権フリーです。
グッドワードブックスより2026年に初版発行。

グッドワードブックス

1, Nizamuddin West Market, New Delhi-110013

Mob: +91-8588822672

Email: info@goodwordbooks.com

ウェブサイト: www.goodwordbooks.com

平和と精神性のセンター

(Center for Peace and Spirituality)

1, Nizamuddin West Market, New Delhi-110013

Email: info@cpsglobal.org

ウェブサイト: www.cpsglobal.org

CPSインターナショナルUSA (CPS International USA)

Center for Peace and Spirituality USA

391 Totten Pond Road

Suite 402, Waltham MA 02451, USA

Mob. +1 617 960 7156

info@cpsusa.net

目次

はじめに	7
クルアーン 年表	15
1. 開端 (アル・ファーティハ)	17
2. 雌牛 (アル・バカラ)	17
3. イムラーンの家族 (アーリ・イムラーン)	52
4. 女性 (アン・ニサー)	72
5. 食卓 (アル・マーイダ)	93
6. 家畜 (アル・アナーム)	108
7. 高壁 (アル・アアラフ)	126
8. 戦利品 (アル・アンファール)	146
9. 悔悟 (アッ・タウバ)	154
10. ユーヌス (ユースス)	168
11. フード (フード)	179
12. ユースフ (ユースフ)	191
13. 雷 (アル・ラアド)	201
14. イブラーヒーム (イブラーヒーム)	206
15. ヒジュルの岩地 (アル・ヒジュル)	211
16. 蜜蜂 (アン・ナフル)	216
17. 夜の旅 (アル・イスラー)	227
18. 洞窟 (アル・カハフ)	237
19. マリアム (マリアム)	246
20. ター・ハー (ター・ハー)	252
21. 預言者たち (アル・アンビヤー)	261
22. 巡礼 (アル・ハッジ)	269
23. 信徒たち (アル・ムウミニューン)	276
24. 光 (アン・ヌール)	283
25. 識別 (アル・フルカーン)	290
26. 詩人たち (アッ・シュアラー)	295

27. 蟻 (アン・ナムル)	303
28. 物語 (アル・カサス)	310
29. 蜘蛛 (アル・アンカブート)	319
30. ルーム (アル・ルーム)	324
31. ルクマン (ルクマン)	329
32. 跪拝 (アッ・サジュダ)	332
33. 同盟軍 (アル・アハザーブ)	335
34. シバ (サバア)	342
35. 創造者 (ファーティル)	347
36. ヤー・スィーン (ヤー・スィーン)	352
37. 整列者たち (アッ・サーファート)	356
38. サード (サード)	362
39. 集団 (アル・ズマル)	367
40. 赦す者 (ガーフィル)	374
41. 明確に説かれた啓示 (フッシラト)	381
42. 熟慮 (アッ・シューラー)	386
43. 金の飾り (アル・ズフルフ)	391
44. 煙 (アッ・ドゥハーン)	397
45. ひざまずき (アル・ジャースィヤ)	400
46. 砂丘 (アル・アハカーフ)	403
47. ムハンマド (ムハンマド)	407
48. 勝利 (アル・ファトフ)	410
49. 居室 (アル・フジュラート)	414
50. カーフ (カーフ)	416
51. 撒き散らす風 (アル・ザーリヤート)	418
52. シナイ山 (アル・トゥール)	421
53. 沈む星 (アン・ナジム)	423
54. 月 (アル・カマル)	425
55. 慈悲深いお方 (アル・ラフマーン)	428
56. 必ず起こる出来事 (アル・ワーキア)	431

57. 鉄 (アル・ハディード)	434
58. 異議を唱える女 (アル・ムジャーダラ)	437
59. 追放 (アル・ハシュル)	440
60. 試される女 (アル・ムムタハナ)	442
61. 列 (アッ・サフ)	445
62. 集会の日 (アル・ジュムア)	446
63. 偽信者たち (アル・ムナーフィクーン)	447
64. 損失と利得 (アル・タガーブン)	448
65. 離婚 (アッ・タラーク)	450
66. 禁制 (アッ・タフリーム)	452
67. 王権 (アル・ムルク)	453
68. 筆 (アル・カラム)	455
69. 必ず起こる時 (アル・ハーッカ)	458
70. 昇る階梯 (アル・マアーリジ)	460
71. ヌーフ (ヌーフ)	461
72. 幽精 (アル・ジン)	462
73. 纏う者 (アル・ムッザンミル)	464
74. 衣を纏う者 (アル・ムッダッスィル)	465
75. 復活の日 (アル・キヤーマ)	467
76. 人間 (アル・インサーン)	468
77. 送り出された者たち (アル・ムルサラート)	470
78. 大報 (アン・ナバア)	472
79. 引き抜く者たち (アン・ナーズィアアト)	473
80. 彼が顔をしかめた (アバサ)	474
81. 巻き上げる (アッ・タクウィール)	475
82. 裂け開く (アル・インフィタール)	476
83. 測りをごまかす者たち (アル・ムタッフィフィーン)	477
84. 裂け開く (アル・インシカーク)	478
85. 星宿 (アル・ブルージュ)	479
86. 夜に来るもの (アッ・ターリク)	479

87. 至高 (アル・アアラー)	480
88. 圧倒的な出来事 (アル・ガーシヤ)	481
89. 暁 (アル・ファジュール)	481
90. 都市 (アル・バラド)	482
91. 太陽 (アッ・シャムス)	483
92. 夜 (アル・ライル)	483
93. 輝かしい朝の光 (アッ・ドゥハー)	484
94. 安らぎ (アッ・シャルフ)	485
95. イチジク (アッ・ティーン)	485
96. 血塊 (アル・アラク)	485
97. 定命の夜 (アル・カドル)	486
98. 明確な証拠 (アル・バイイナ)	486
99. 地震 (アッ・ザルザラ)	487
100. 鼻息荒い馬 (アル・アーディヤート)	487
101. 打ち叩くもの (アル・カーリア)	488
102. ますますの食欲 (アッ・タカースル)	488
103. 時の経過 (アル・アスル)	488
104. 陰口を叩く者 (アル・フマザ)	489
105. 象 (アル・フィール)	489
106. クライシュ族 (クライシュ族)	489
107. ささやかなもの (アル・マーウーン)	490
108. 豊かな恵み (アル・カウサル)	490
109. 真理を否定する者たち (アル・カーフィルーン)	490
110. 助け (アン・ナスル)	490
111. 撚り合わされた繊維 (アル・マサド)	491
112. 純粹一性 (アル・イフラス)	491
113. 夜明け (アル・ファラク)	491
114. 人々 (アン・ナース)	491
索引	492

はじめに

クルアーンは神の書であり、時を超えて完全に保存されてきました。元々はアラビア語で書かれていましたが、翻訳のおかげで、アラビア語の知識がない人々にもアクセスできるようになりました。原典の代わりにはなりませんが、翻訳は神の言葉をアラビア語圏の人々だけでなく、はるかに幅広い人類に広めるという重要な目的を果たしています。

クルアーンは表面的にはアラビア語ですが、実際には自然の言語、つまり創造の時に神がすべての人間に直接語りかけられた言語で書かれています。人類へのこの神聖な呼びかけは、すべての人間の意識の中に常に存在しています。だからこそ、クルアーンは普遍的に理解できるのです。ある人々には意識的なレベルで、またある人々には潜在意識のレベルで。この現実クルアーンの中で「知識を与えられた人々の心には明らかな啓示」と描写されています。この節はさらに、「不正を行う者を除いては、誰も我々の啓示を否定しない」(29:49)と述べています。

これは、クルアーンによって意識的なレベルで説明される神聖な現実が、人間の潜在意識のレベルで先行して存在することを意味します。したがって、クルアーンのメッセージは、人間にとって異質なものではありません。それは実際、人間の本性と調和し、人間がすでに親しんでいる神聖な現実の言葉による表現なのです。クルアーンはこれを、後の時代に生まれた人々も皆、元々はアダム創造の時に生まれ、その時、神がこれらすべての人間の魂に直接語りかけられたと説明しています。

この出来事は、クルアーンの中でこのように述べられています。『[預言者よ]、あなたの主がアダムの子孫の腰から子孫を生み出し、彼ら自身について証言させた時、主は言われた。『私はあなた方の主ではないか?』そして彼らは答えた。『はい、あなたは私たちの主であると証言します。』したがって、あなたは復活の日に『私たちはこのことを知らなかった』と言うことはできません』(7:172)。

次の節では、クルアーンは神と人間との対話についてさらに言及しています。「確かに我々は、天と地と山々に我々の信託を申し出たが、それらはそれを担うことを嫌がり、恐れた。そして人間がそれを受け入れた。しかし彼は暴君であり愚か者であることが証明された」(33:72)。

クルアーンは、人間にとって本質的にはすでに知られているものであり、ま

まったく未知の存在ではありません。実際、クルアーンは人間の心の開示なのです。

その性質が生きている――後の条件付けから自分自身を救った――者がクルアーンを読むとき、神の最初の呼びかけが保存されている脳細胞が活性化されるでしょう。このことを心に留めておけば、クルアーンの翻訳がそれを理解するための有効な手段であることを評価することは難しくありません。

もし神の呼びかけが最初の契約であったなら、クルアーンは第二の契約です。それぞれが互いの真実性を証明しています。もしアラビア語の理解がほとんどない、あるいはまったくない人が、翻訳でしか聖典を読むことができないとしても、クルアーンの理解において挫折することを予期すべきではありません。なぜなら、神の言葉の自然な受け手としての人間というクルアーンの概念は、現代において現実のものとなっているからです。遺伝子コードの科学と人類学の発見は、ともにこの見解を完全に支持しています。

神の創造計画

すべての書物には目的があり、クルアーンの目的は、人間に神の創造計画を認識させることです。すなわち、なぜ神がこの世界を創造されたのか、人間を地上に住ませた目的は何か、人が死ぬまでの生において何が求められるのか、そして死後、何に直面するのかを伝えることです。人間は永遠の存在として生まれます。神が人間をそのように創造されたとき、その寿命を二つの期間に分けられました。試練の時である死前の期間と、生前の行いによって受けるべき報いや罰を受け取る時である死後の期間です。これらは永遠の楽園または永遠の地獄という形をとります。クルアーンの目的は、人間にこの現実を気づかせることです。これが、この神聖な書のテーマであり、人間の生から来世への全旅路を導く役割を果たします。

人間は生まれながらの探求者である、と言っても過言ではないでしょう。誰もが心の中にこういった疑問を抱いています。「私は誰か?」「私の人生の目的は何か?」「生と死の現実とは何か?」「人間の成功と失敗の秘訣は何か?」など。クルアーンによれば、これらの問いに対する答えは、現在の世界が試練の場であり、人間が死前の期間に授けられたものはすべて試練の一部であるということです。来世は、全能なる神によって試練の結果が考慮される場所であり、人間が死後の生で受け取る報いも罰も、この世での行いに見合っ

たものとなるでしょう。この生における人間の成功の秘訣は、神の創造計画を理解し、それに基づいて人生を計画することです。

神の警告の書

クルアーンは神の警告の書です。教訓と戒めが組み合わせられており、知恵の書と呼ぶのがより適切でしょう。クルアーンは従来の教訓的な書の形式には従っていません。実際、一般の読者がクルアーンを手にとると、断片的な記述の集まりのように見えるかもしれません。

この感覚は、見かけ上、現実離れたものではないでしょう。しかし、クルアーンのこのような配置は、いかなる欠陥によるものではなく、むしろその目的を果たすためのクルアーンの計画に則ったものです。つまり、聖典を読み進める中で、一度に1ページ、1節、あるいは1行しか読まないかもしれない読者に対し、真実のメッセージを伝えるという目的を果たすために、その本来の形を保つという計画に沿っているのです。

クルアーンの重要な側面の一つは、最高の恩恵を与える方(神)から授けられた祝福を思い起こさせることです。その中で最も重要なのは、神が人間を創造された時に授けられた並外れた資質です。もう一つの大きな祝福は、神が人間を地球に定住させたことです。地球には、人間の利益のためにあらゆる種類のサポートシステムが存在していました。クルアーンの目的は、人間がこれらの自然の祝福を享受しながら、その恩恵を与える方(神)を心に留めるようにすることです。すなわち、創造主の寛大さを認識しなければなりません。そうすることによって、人間は永遠の楽園に入ることができます。逆に、恩恵を与える方を無視することは、人間をまっすぐに地獄へと導くでしょう。クルアーンはまさに、この避けられない現実を思い起こさせるもののなのです。

内なる精神と神の認識

クルアーンの重要な特質の一つは、基本的だが不可欠な原則のみを私たちに与え、しばしばそれを強調するために繰り返すということです。それに対し、非基本的事項や形式のみに関する事柄は、聖典の取るに足らない部分を構成しているにすぎません。これはクルアーンの構成に合致しており、形式の重要性は完全に二次的なものです。クルアーンにとって重要なのは、根

本的な指針として示される教えのみです。クルアーンのこの側面は非常に明確であり、読者はそれを評価せざるを得ないでしょう。

真実は、内なる精神がイスラム的人格形成において最も重要であるということです。内なる精神が発展すれば、正しい形(外見や行動)は自然とついてきます。しかし、形だけでは決して内なる精神を生み出すことはできません。それが、クルアーンの目的が、人間の中に知的革命を開始し、成就させることである理由です。クルアーンがこの知的革命に対して用いる表現は、**マアリファ(真実の認識)**です(5:83)。

クルアーンは、人間が認識のレベルで真実を発見することの重要性を強調しています。神に対する真の信仰とは、そのようなレベルで達成されるものです。認識がなければ、信仰もありません。

神の言葉

クルアーンを読むと、それが神の言葉であると繰り返し述べられていることに気づくでしょう。これは一見すると明白な事実です。しかし、文脈の中で見ると、それは並外れた声明です。世の中には聖典と信じられている書物が数多くあります。しかし、クルアーンを除いて、自らを神の言葉としてこのように提示する宗教書は見当たりません。この種の声明がクルアーンにのみ現れることは、読者に出発点を与えます。読者はそれを、人間によって書かれた一般的な書物としてではなく、並外れた書物として研究することになります。

クルアーンには、多かれ少なかれ次のような言葉で述べられた声明が繰り返し現れます。「おお人間よ、あなたに語りかけているのはあなたの主である。彼の言葉を聞き、彼に従いなさい。」この語りかけのスタイル自体も非常に並外れています。この種の直接的な神の呼びかけは、他のいかなる書物にも存在しません。それは人間に永続的な印象を残します。彼は、自分の主が直接自分に語りかけていると感じるのです。この感情は、人間がクルアーンの主張を、普通の書物における日常的な声明のように扱うのではなく、極めて真剣に受け止めるよう促します。

クルアーンの編集スタイルもまた独特です。人間によって書かれた書物は通常、主題に従ってAからZへと順序立てて構成されます。しかし、クルアーンはこの種のパターンに従わないため、一般の人には秩序に欠けるように見えます。しかし、実際に見れば、それは極めて首尾一貫しており、秩序だった

書物であり、その文体は非常に荘厳であることが明らかになるでしょう。クルアーンを読みながら、私たちはその著者が非常に高い位置におり、そこから見下ろして、彼が特別に気にかけている全人類に語りかけていると感じます。この語りかけは、すべての人々を包含しながら、人間の異なるグループに焦点を当てています。

クルアーンの特異的な側面の一つは、読者がいつでもその著者(神)に相談し、質問を投げかけ、答えを受け取ることができるということです。なぜなら、クルアーンは神ご自身だからです。彼は生ける神です。人間の創造主として、彼は人間の呼びかけを直接聞き、答えてくださいます。

平和な思想闘争

メディアを通してのみクルアーンに触れる人々は、一般的にクルアーンがジハードの書であり、彼らにとってジハードとは暴力によって目標を達成しようとするのだという印象を持っています。しかし、この考えは誤解に基づいています。自分でクルアーンを読めば、そのメッセージが暴力とは何の関係もないことを容易に理解できるでしょう。クルアーンは、始めから終わりまで、平和を広める書であり、決して暴力を容認しません。

確かにジハードはクルアーンの教えの一つです。しかし、ジハードは正しい意味で捉えられ、いかなる種類の暴力的行動ではなく、平和な闘争を指す言葉なのです。クルアーンにおけるジハードの概念は、次の節で表現されています。「この[クルアーン]の助けを借りて、より大きなジハード(すなわち、より熱心に努力せよ)を行え」(25:52)。明らかに、クルアーンは武器ではなく、平和な思想闘争という神聖なイデオロギーを紹介する書物です。クルアーンによれば、そのような闘争の方法は「彼らの魂に響く言葉を語ること」(4:63)です。

したがって、クルアーンが求めるアプローチは、人間の心と精神を動かすものです。つまり、人々の心に語りかけることで、彼らを納得させ、クルアーンの実証性を確信させ、要するに、彼らの中に知的革命をもたらすことです。これがクルアーンの実命です。そして、この実命は合理的な議論によってのみ遂行できます。この目標は、暴力や武力行動によっては決して達成できません。

確かにクルアーンには、「彼らをどこで見つけようとも殺せ」(2:191)といった戒めを伝える特定の節が存在します。

このような節に言及して、イスラムが戦争と暴力の宗教であるという印象を与えようとする人々がいますが、これは全くの真実ではありません。このような節は、限定的な意味で、一方的にムスリムを攻撃した人々に関するものです。上記の節は、イスラムの一般的な命令を伝えるものではありません。

事の真実は、クルアーンが今日存在するような完全な形で啓示されたわけではないということです。それは、23年という期間にわたり、状況に応じて時々啓示されました。これを戦争と平和の年に分けると、平和の期間は20年間にも及び、戦争状態の期間はわずか3年間です。この20年間の平和な期間に啓示されたのは、神の認識、礼拝、道徳、正義などに関する節に伝えられているような、イスラムの平和な教えでした。

指示の分類と宗教書

指示が異なるカテゴリーに分けられるのは自然なことであり、すべての宗教書に見られます。例えば、ヒンドゥー教の聖典である『ギーター』は、知恵と道徳的価値に関わるものですが、同時にクリシュナがアルジュナに戦うよう促す勧告も含まれています(『バガヴァッド・ギーター』3章30節)。これは、『ギーター』を信じる人々が常に戦争をすべきだという意味ではありません。マハトマ・ガンディーもまた、同じ『ギーター』から非暴力の哲学を導き出しました。『ギーター』における戦争を遂行する勧告は、状況が他に選択肢を残さない例外的な場合にのみ適用されます。しかし、一般的な日常生活においては、マハトマ・ガンディーがそれから導き出したのと同じ平和的な指示を与えています。

同様に、イエス・キリストはこう言いました。「わたしが地上に平和をもたらすために来たと思うな。平和ではなく、剣をもたらすために来たのだ」(『マタイによる福音書』10章34節)。

キリストが説いた宗教が戦争と暴力のものであったと結論づけるのは適切ではありません。なぜなら、そのような発言は純粹に特定の状況に関わるものだからです。一般的な生活に関しても、キリストは、良い人格を築くこと、互いに愛し合うこと、貧しい人々や困窮している人々を助けることなど、平和的な価値観を教えました。

クルアーンにおける戦争の指示

クルアーンについても同じことが言えます。預言者ムハンマドがマッカからマディーナへ移住した際、偶像崇拜部族は彼に対して攻撃的でした。しかし、預言者は常に忍耐と回避の戦略を行使することで、彼らの攻撃をかわしました。しかし、ある状況では、防衛以外の選択肢が存在しませんでした。そのため、彼は特定の状況で戦わなければなりませんでした。戦争に関する啓示を引き起こしたのは、まさにこれらの状況でした。これらの指示は、特定の状況に特化したものであり、一般的な適用性はありませんでした。これらは、永久に有効であることを意図されたものではなかったのです。だからこそ、預言者の永続的な地位は「全人類への慈悲」(21:107)と称されているのです。

イスラムは、文字通り最も完全な意味での平和の宗教です。クルアーンはその道筋を「平和の道」(5:16)と呼び、和解を最善の政策(4:128)であると述べ、神がいかなる平和の妨害も嫌悪される(2:205)と明言しています。イスラムと暴力は互いに矛盾する、と言っても過言ではありません。

啓示された書

クルアーンは、預言者ムハンマドに啓示された神の書です。それは完全な書物の形で彼に届いたのではなく、23年間にわたり部分的に啓示されました。最初の部分は西暦610年、預言者ムハンマドがマッカにいた時に啓示されました。その後も異なる部分が定期的に啓示され続け、最後の部分は預言者がマディーナにいた西暦632年に啓示されました。

クルアーンには、長短合わせて114の章があります。節の数は約6600です。朗読の必要に応じるため、クルアーンは30の部分に分けられました。これらの部分は、神がクルアーンを啓示された媒体である天使ガブリエルの導きのもと、最終的に秩序立てられました。

クルアーンが7世紀初頭に啓示された時、紙はすでに発明されていました。この紙はパピルスとして知られ、特定の木の繊維から手作業で作られていました。クルアーンのいずれかの部分が啓示されるたびに、それはパピルス、またはアラビア語でキルタース(6:7)と呼ばれるものには書き留められました。この過程で、人々は節を記憶しました。クルアーンは、祈りの中で朗読される唯一のイスラム文学であり、ダーウ(布教)の目的で読み上げられて

もいました。このようにして、クルアーンは記憶されると同時に書き留められ続けました。この保存方法は預言者ムハンマドの生涯を通じて続けられました。このようにして、クルアーンは預言者の生涯中に保存されたのです。

第3代カリフであるウスマーン・イブン・アッファーンは、複数の写本を作成させました。それらは様々な都市に送られ、大モスクに保管されました。人々はこれらの写本から朗読するだけでなく、さらに多くの写本をそこから作成しました。

クルアーンの手書きによる書写は、印刷機が発明され、産業革命のおかげで紙が大規模に製造されるようになるまで続けました。その後、クルアーンは印刷されるようになりました。印刷技術は向上し続け、それに伴いクルアーンの印刷も改善されました。今では印刷されたクルアーンの写本は非常に一般的になり、あらゆる家庭、モスク、図書館、書店で見つけることができます。今日、世界中のどこにいても、誰もが美しいクルアーンの写本を手に入れることができます。

クルアーンの読み方

クルアーンは言います。「クルアーンをゆっくりと、はっきりと朗読しなさい」(73:4)。これは、クルアーンをゆっくりと、抑揚をつけて、リズムカルに読むことを意味します。つまり、内容の意味を十分に理解しながら読むのです。このように読むと、クルアーンと読者の間に双方向のプロセスが生まれます。読者にとって、クルアーンは神からの呼びかけ、あるいは演説であり、彼の心はすべての節でこの呼びかけに応え始めます。クルアーンに神の威厳について言及されている箇所では、読者の全存在が神の偉大さの認識によって強く影響されます。クルアーンで神の祝福が数え上げられるとき、読者の心は感謝で溢れます。クルアーンで神の報復が描写されるとき、読者はそれを読んで震え上がります。クルアーンで命令が定められるとき、読者の中には、その命令を実行することによって主の従順な僕となるべきだという感情が強まります。

クルアーン 年表

- 570 年預言者ムハンマド誕生(預言者の父は誕生の数ヶ月前に死去)
- 576年 預言者が6歳の時、預言者の母アーミナ死去
- 578年 預言者の祖父アブドゥル・ムッタリブ死去
- 595年 預言者とハディージャとの結婚
- 610年 預言者、マッカ近郊のアル＝ヌール山でクルアーンの最初の啓示を受ける
- 613年 最初の公開説教
- 615年 マッカの人々による迫害を避けるため、預言者の教友の一部がアビシニア(エチオピア)へ移住
- 616年-619年 バヌー・ハースム族が預言者とその家族をボイコット
- 619年 預言者の妻ハディージャと叔父アブー・タリブ死去
- 619年 預言者、支援を求めてタイフを訪問するが、人々から屈辱的な扱いを受ける
- 620年 預言者の夜の旅(エルサレム、そして七つの天へ)
- 622年 預言者のマッカからマディーナへの移住(ヒジュラ)。イスラム暦の始まりとなる
- 624年 バドルの戦い:異教徒のマッカ人がムスリムに敗北
- 625年 ウフドの戦い:ムスリムが異教徒のマッカ人に敗北
- 628年 フダイビーヤの和約。異教徒のマッカ人との10年間の不

戦条約が結ばれ、イスラムの平和的な布教が可能になる。これにより多くの人々がイスラムに帰依

630年 異教徒のマッカ人によって不戦条約が破られる。マッカ降伏 — 預言者がマッカの人々を許し、住民全員がイスラムに帰依

631年 使節の年」 — アラビアの諸部族がイスラムを受け入れる。預言者はキリスト教徒やユダヤの部族と平和条約を結ぶ

632年 預言者の別離の巡礼(マッカへ)

632年 6月8日。預言者ムハンマド、マディーナで死去

633年 カリフ・アブー・バクルによりクルアーンが一巻にまとめられる

645年 カリフ・ウスマーンがクルアーンの写本を複数作成させ、周辺諸国に配布

1153年 クルアーンの最初のラテン語翻訳

1543年 マルティン・ルターによる序文付きの最初の印刷版

1649年 アレクサンダー・ロスがフランス語から英語にクルアーンを翻訳

1734年 ジョージ・セールのクルアーン翻訳

1930年 ムハンマド・マーマデューク・ピクトールのクルアーン翻訳

1934年 アブドゥッラー・ユスフ・アリのクルアーン翻訳

1980年 ムハンマド・アサドのクルアーン翻訳

1. 開端（アル・ファーティハ）

¹ 慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

² 一切の称賛はアッラーにこそ。³ 万有の主、慈悲深く、慈愛あまねきお方、⁴ 審判の日の主。⁵ あなたのみを私たちは崇拝し、あなたの上に私たちは助けを求めます。⁶ 私たちを正しい道に導いてください。⁷ あなたが恩寵を与えられた人々の道に。あなたの怒りを招いた人々や、迷い去った人々の道ではなく。

2. 雌牛（アル・バカラ）

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ アリフ、ラーム、ミーム。

² これこそは、疑いの余地なき書。神を畏れる人々への導きである。³ かれらとは、見えざるものを信じ、礼拝を欠かさず行い、われが授けたものを施す人々である。⁴ また、あなたに下された啓示、そしてあなたより以前に下された啓示を信じ、来世を堅く信じる人々である。⁵ かれらこそ、彼らの主の導きに正しく従う人々であり、成功する人々である。

⁶ 真理を否定する人々にとって、あなたが警告しようとしまいと、彼らに違いはない。彼らは信じないであろう。⁷ 神は彼らの心と耳を封じ、彼らの目には覆いがある。彼らには恐ろしい懲罰が下るであろう。

⁸ 人々の中には、「私たちはアッラーと最後の日を信じる」と言う者がいるが、彼らは信者ではない。⁹ 彼らはアッラーと信者たちを欺こうとするが、欺いているのは彼ら自身であり、彼らはそれに気づいていない。¹⁰ 彼らの心には病があり、神はその病を増やされた。彼らには苦痛な懲罰が下るであろう。彼らが嘘をついていたからである。¹¹ 彼らが「地上で腐敗を引き起こすな」と言われると、「私たちはただ平和の推進者である」と言う。¹² しかし、彼らこそが本当に腐敗を引き起こしている

のだが、彼らはそれに気づいていない。¹³ そして彼らが「他の人々が信じたように信じなさい」と言われると、「愚か者が信じるように私たちが信じるというのか?」と言う。愚か者であるのは彼らの方なのだが、彼らはそれに気づいていない。¹⁴ 信じる人々と出会うと、「私たちは信じます」と言う。しかし、邪悪な指導者たちと二人きりになると、「私たちは本当にあなた方と一緒にです。ただ嘲笑っていただけです」と言う。¹⁵ アッラーは彼らの嘲笑に報い、彼らをしばらくの間、不遜な態度で盲目的にさまよわせるであろう。¹⁶ かれらこそ、導きと引き換えに迷いを選んだ者たちである。しかし、彼らの取引は彼らの利益とならず、真の導きを見つかることもなかった。

¹⁷ 彼らは、火を灯し、その火が周囲を照らしたかと思うと、アッラーが彼らの視力を奪い、彼らを全くの闇の中に置き去りにし、見えなくされた者たちのようである。¹⁸ 聾啞者であり、盲目である。彼らは決して(正しい道に)戻ることはないであろう。¹⁹ あるいは、彼らの場合は、暗闇と雷鳴と稲妻を伴って雲から激しい雨が降り注ぐようなものである。彼らは死を恐れて雷鳴の音に指を耳に突っ込む。このように、アッラーは真理を否定する者たちを囲い込む。²⁰ 稲妻はほとんど彼らの視力を奪う。それが彼らを照らすたびに、彼らは歩みを進めるが、暗闇が彼らの周りに落ちるとすぐに立ち止まる。もしアッラーが望まれるなら、彼らの聴覚と視覚を奪うこともできるであろう。アッラーはすべてのものに対して力をお持ちである。

²¹ 人々よ、あなた方とあなた方以前の者たちを創造されたあなた方の主を崇拝しなさい。そうすれば、あなた方は正義にかなう者となるであろう。²² 主は大地を寝床とし、天を覆いとなされた。そして、あなた方の糧として、あらゆる種類の果実が育つよう、上から雨を降らせられる。だから、知っていながら神に対抗者を立ててはならない。²³ もしあなた方が、われがわれの僕に下した啓示について疑いがあるなら、それに似た一章でも作ってみなさい。もしあなた方が真実を言う者である

ならば、アッラー以外の協力者たちを呼び集めてもよい。²⁴ しかし、それができないなら、そして決してできないであろうから、その燃料が人間と石である業火から身を守りなさい。それは真理を否定する者たちのために用意されているのである。²⁵ 信じ、善行を行う者たちには吉報を与えなさい。かれらには、川が流れる園があるであろう。かれらが食料として果実を与えられるたびに、「これは以前にも与えられたものだ」と言うであろう。似たものが与えられたからである。そして、かれらには清らかな配偶者がおり、かれらはそこに永遠に住むであろう。

²⁶ 神は、蚊のような、あるいはそれよりも小さな生き物について比喩を出すことを厭わない。信仰する者たちは、それが彼らの主からの真理であることを知っているが、真理を否定する者たちは、「神は一体この比喩で何を意味しているのか?」と尋ねる。神はそれによって多くの者を迷わせ、多くの者を導かれる。しかし、神が迷わせるのは、背く者たちだけである。²⁷ かれらとは、神との契約を誓った後でそれを破り、神が結びつけるよう命じられたものをすべて断ち切り、地上に腐敗を広める者たちである。まさに彼らこそが失われた者たちである。²⁸ あなた方が死んだ(生命のない)状態であったのに、神があなた方に命を与えられたのに、どうして神を不信仰にできるのか?彼はあなた方を再び死なせ、再び命を与え、そしてあなた方は彼のもとに帰されるであろう。²⁹ 地上のあらゆるものをあなた方のために創造されたのは彼である。それから彼は天に向かい、それを七つの天に形作られた。彼はすべてのものを知り尽くしている。

³⁰ あなたの主が天使たちに「私は地上に後継者(代理者)を置くであろう」と言われたとき、彼らは言った。「あなたはそこに、腐敗を引き起こし、血を流す者を置かれるのですか。私たちはあなたを讃え、あなたの聖なることを称賛しているのに。」(神は)答えられた。「確かに、私はあなた方が知らないことを知っている。」

³¹ 彼はアダムにすべての名を教え、それからそれらを天使の前に置き、「もしあなた方が真実を言う者であるならば、これらの名を私に教

えなさい」と言われた。³² 彼らは言った。「あなたに栄光あれ。私たちはあなたが私たちに教えられたこと以外、何の知識も持ちません。あなたこそが、すべてを知り尽くし、すべてを賢くされる方です。」³³ それから彼は言われた。「アダムよ、彼らにその名を告げなさい。」アダムが彼らにその名を告げると、神は天使に言われた。「私はあなた方に言わなかったか？私は天地の秘密を知っており、あなた方が明かすことも隠すことも知っている。」

³⁴ われが天使に「アダムにひれ伏しなさい」と言った時、イブリースを除いて彼らは皆ひれ伏した。彼は拒否し、傲慢に振る舞い、不信仰者となった。³⁵ われは言った。「アダムよ！妻と共に楽園に住み、望む場所で自由に食べなさい。ただし、この木には近づいてはならない。そうすれば、あなた方は不義を働く者となるであろうから。」³⁶ しかし、サタンは彼ら二人をこれによって誤らせ、それによって彼らの以前の状態を失わせた。われは言った。「ここから互いに敵として降りて行きなさい。地上には、あなた方の住処と生計がしばらくの間あるであろう！」³⁷ その後、アダムは彼の主からいくつかの言葉を受け取り、主は彼の悔い改めを受け入れられた。彼は大いに許す者、慈悲深い者である。³⁸ われは言った。「全員、ここから降りて行きなさい。その後、私からの導きがあなた方に来た時、私の導きに従う者は、何の恐れもなく、悲しむこともないであろう。」³⁹ われらの印を否定し、拒絶する者たちは、業火の住人となるであろう。彼らはその中に永遠に住むであろう。」

⁴⁰ イスラエルの子らよ、私があなた方に与えた恩恵を思い出しなさい。そして、あなた方が私と結んだ契約を果たしなさい。私もまた、あなた方と結んだ契約を果たすであろう。私のみを恐れなさい。⁴¹ そして、私が下したメッセージを信じなさい。それはあなた方がすでに持っているものを確証するものである。そして、その真実を否定する者たちの先頭に立ってはならない。私の啓示をわずかな代価で売ってはならない。私のみを恐れなさい。⁴² そして、真実を虚偽と混ぜてはならない。

また、真実を知っていながらそれを隠してはならない。⁴³ 礼拝を守り、ザカートを納め、ひれ伏す者たちと共にひれ伏しなさい。⁴⁴ あなた方は他者に善を行うよう諭しながら、自らはそれを忘れるのか？あなた方は書を読んでいるではないか。それでも理解しないのか？⁴⁵ 忍耐と礼拝によって助けを求めなさい。これは確かに厳しい規律であるが、謙虚な者たちにとってはそうではない。⁴⁶ 彼らは彼らの主に出会い、そして彼のもとに戻ることを確信している者たちだからである。

⁴⁷ イスラエルの子らよ、私があなた方に授けた祝福と、私があなた方を他のすべての人々の上に優遇したことを思い出しなさい。⁴⁸ いかなる魂も、少しも他者の助けとならず、執り成しも身代金も受け入れられず、助けも与えられない日に対して身を守りなさい。⁴⁹ あなた方をファラオの民から救い出した時のことを思い出しなさい。彼らはあなた方をひどい苦しみに服従させ、息子たちを殺し、娘たちだけを生かしておいた。確かにその中には、あなた方の主からの大きな試練があった。⁵⁰ そして、われがあなた方のために海を分け、あなた方を救い、ファラオの民を溺れさせた時、あなた方はそれを見ていた。⁵¹ われはモーセのために四十夜を定めたが、彼の不在中にあなた方は子牛を崇拜するようになり、こうして違反者となった。⁵² しかしその後も、われはあなた方を赦した。あなた方が感謝するようになるためである。⁵³ われがモーセに聖典と基準を与えた時のことを思い出しなさい。あなた方が導かれるためである。⁵⁴ モーセが彼の民に言った時を思い出しなさい。「おお私の民よ、あなた方は子牛を崇拜したことによって、確かに自らを不義に陥れた。創造主のもとに悔い改めて立ち返り、あなた方の中の(犯人である)者たちを殺しなさい。その行いは、あなた方の創造主の御前であなた方にとって最も良い。」彼はあなた方に対して悔い改めを受け入れた。彼は大いに許す者、慈悲深い者である。⁵⁵ あなた方が「モーセよ、私たちが自らの目で神を見るまでは、私たちはあなたを信じない」と言った時のことを思い出しなさい。あなた方が見ていた間に、雷があ

なた方を襲った。⁵⁶ それからわれは、あなた方の死後、あなた方を再び生かした。あなた方が感謝するようになるためである。⁵⁷ それからわれは、あなた方のために雲に日陰を作らせ、あなた方にマンナとウズラを下し、「われがあなた方に与えた良いものを食べなさい」と言った。確かに、彼らはわれを不義に陥れたのではなく、彼ら自身を不義に陥れたのである。

⁵⁸ われが「この土地に入り、望む場所で自由に食べなさい。門を通る時は、ひれ伏し、『神よ！私たちの罪を赦してください』と言いなさい。われはあなた方の罪を赦し、善を行う者たちに豊かさを与えよう」と言った時のことを思い出しなさい。⁵⁹ しかし、不義を働く者たちは、言われた言葉を他のものに変えてしまった。そこでわれは、彼らが不従順であったため、天から逸脱者たちに懲罰を下した。⁶⁰ モーセが彼の民のために水を祈り求めた時、われは彼に「杖で岩を打て！」と言った。すると、そこから十二の泉が噴き出した。それぞれの部族は自分の飲み場を知っていた。「神が与えたものを食べ、飲みなさい。そして、地上で不正を行い、腐敗を広げてはならない。」⁶¹ あなた方が言った時のことを思い出しなさい。「モーセよ、私たちは一種類の食べ物だけでは耐えられない。だから、あなたの主に祈って、地上で採れるもの、その草やキュウリ、ニンニク、レンズ豆、タマネギなどを私たちに出示してください。」モーセは言った。「より良いものと引き換えに、より劣るものを取ろうとするのか？どこかの町へ行けば、要求するものすべてが見つかるであろう。」屈辱と欠乏が彼らに刻みつけられ、彼らは神の怒りを招いた。神のしるしを拒否し、不当に神の預言者たちを殺したからである。彼らは反逆者であり、逸脱者であった。

⁶² 信じる者たち、ユダヤ人、キリスト教徒、そしてサビア人——アッラーと最後の日を信じ、善行を行う者たちは皆、彼らの主から報われるであろう。彼らは何の恐れもなく、悲しむこともないであろう。

⁶³ われらはあなた方と契約を結び、山を高くあなた方の上に持ち

上げ、こう言った。「われがあなた方に与えたものを堅く守り、その内容を心に留めなさい。あなた方が(悪から)身を守るためである。」⁶⁴ しかしその後もあなた方は背を向けた。もし神の恩寵と慈悲がなかったなら、あなた方はきっと失われた者たちの中にいただろう。⁶⁵ あなた方は安息日に関して違反した者たちを知っているであろう。そこでわれらは彼らに言った。「軽蔑されるべき猿となりなさい!」⁶⁶ われらは彼らの運命を、彼ら自身の世代と、それに続く者たちへの戒めとし、神を畏れる者たちへの教訓とした。

⁶⁷ モーセが彼の民に「神は雌牛を犠牲にするよう命じておられる」と言った時、彼らは言った。「私たちを嘲笑っているのか?」彼は答えた。「神に誓って、私がそのような無知であるはずがない!」⁶⁸ 彼らは言った。「主にお願ひして、どのような種類の雌牛であるべきかを私たちにはっきりさせてください。」彼は答えた。「神は、それは年をとりすぎても若すぎてもならず、その中間であるべきだと言っておられる。だから、命じられた通りに行いなさい。」⁶⁹ 彼らは言った。「主にお願ひして、どのような色であるべきかを私たちに示してください。」彼は答えた。「神は、それは鮮やかな黄色い雌牛で、目を楽しませるものであるべきだと言っておられる。」⁷⁰ 彼らは言った。「主にお願ひして、雌牛の正確な種類を私たちにはっきりさせてください。私たちにはどの雌牛も同じに見えるのですから。神が御心ならば、私たちは正しく導かれるでしょう。」⁷¹ モーセは答えた。「あなたの主は、それは土地を耕すためにも畑に水をやるためにもくびきをつけられたことのない雌牛、何の傷もない雌牛であるべきだと言っておられる。」「今こそあなたは私たちに真実を告げた」と彼らは答え、彼らはそれを犠牲にした。彼らはそうしなくなかったにもかかわらず。⁷² その後、あなた方(イスラエル人)が誰かを殺し、互いに非難し始めた時——神はあなた方が隠していたことを明るみに出された——⁷³ われらは言った。「それ(死体)の一部で打ちなさい。」このようにして神は死者を生き返らせ、あなた方に神のしるしを示される。あなた方が理解できるように。

⁷⁴ その後、あなた方の心は岩のように、あるいはそれよりも硬くなった。というのも、そこには泉が噴き出す岩があり、また、裂けて水が流れ出るものがあり、さらに、神への恐れから崩れ落ちるものもあるからである。神はあなた方が行くことすべてを認識しておられる。

⁷⁵ あなた方は、彼らの一部がすでに神の言葉を聞き、それを理解した後で、故意にそれを歪曲したにもかかわらず、彼らがあなた方を信じることを望むのか？⁷⁶ 彼らが信者たちと出会うと、「私たちは信者です」と言う。しかし、一人になると、互いに言う。「神が私たちに啓示したことを彼らに話さなければならないのか？彼らはそれを主の御前であなた方に反論するために利用するだけではないか！あなた方は分別がないのか？」⁷⁷ 彼らは、神が彼らが隠すものも明かすものもすべて知っておられることを知らないのか？

⁷⁸ 彼らの中には、聖典の真の知識を持たず、自分たちの願望的思考を知り、推測に従うだけの文盲の民がいる。⁷⁹ 災いあれ、自らの手で聖典を書き、それから「これは神からのものだ」と宣言して、わずかな代価でそれを売る者たちに。彼ら自身の書いたもののゆえに彼らに災いあれ、彼らが稼いだもののゆえに彼らに災いあれ。⁸⁰ 彼らは言う。「業火が私たちに触れることはない、そして（たとえ触れたとしても）、ほんの数日間だけだ！」（彼らに）言え。「あなた方は神から約束を受けたのか？—神は決して約束を破らない—それとも、あなた方は知らないことを神に帰しているのか？」⁸¹ 本当に、悪を行い、その悪行に囲まれた者たちは、業火の住人となるであろう。そこに彼らは永遠に住むであろう。⁸² しかし、信じ、善行を行う者たちは楽園の相続者である。そこに彼らは永遠に住むであろう。

⁸³ われらがイスラエルの子らと契約を結んだ時のことを思い出さない。「アッラー以外には誰も崇拝するな。そして、両親、親戚、孤児、貧しい者たちに善を尽くしなさい。人々に優しく語りかけなさい。礼拝を守

り、ザカートを納めなさい。」しかし、ごく少数を除いて、あなた方は(嫌悪して)背を向け、耳を傾けなかった。

⁸⁴ われらがあなた方と契約を結んだ時、われらは言った。「互いの血を流してはならない。また、自らの民をその家から追い出してはならない。」あなた方はこれに同意し、証言した。⁸⁵ しかし、今、あなた方は互いに殺し合い、自らの民の一部をその故郷から追い出し、互いに助け合って、罪と侵略を行っている。だが、もし彼らが捕虜としてあなた方に来たなら、あなた方は彼らを身請けするだろう。確かに彼らを追放すること自体があなた方にとって不法であった。あなた方は書の一部を信じ、その一部を否定するのか？ このように行動するあなた方には、この世で恥辱が報われ、復活の日には厳しい懲罰が下るであろう。神はあなた方が行うことすべてを認識しておられない。⁸⁶ かれらこそ、来世の代価でこの世の生を買った者たちである。彼らの懲罰は軽減されることなく、彼らは助けられることもないであろう。

⁸⁷ モーセにはわれらが書を与え、その後、次々と使徒を送った。マリアの子イエスには明らかなしるしを与え、聖霊によって彼を強めた。しかし、あなた方が望まないものを携えて使徒が来るたびに、あなた方は傲慢になり、ある者を嘘つきと呼び、ある者を殺した。⁸⁸ 彼らは言う。「私たちの心は(あなた方が何を言おうとも)堅く覆われている」と。しかし、神は彼らの否定ゆえに彼らを拒絶された。彼らにはわずかな信仰しかない。

⁸⁹ そして今、神からの書が彼らに来了。彼らが持つもの(彼らの聖典にある最後の預言者に関する予言)を確認するものであるが、彼らはそれを否定する—以前は不信仰者たちに対して勝利を祈り求めていたにもかかわらず—だが、彼らが真実として認識したものが来た時、彼らはそれを拒絶した。神の拒絶は、真理を否定する者すべてに当然のものである。⁹⁰ 彼らが魂を売ったものは悪である。神がその恵みを、神の僕の中から選んだ者に啓示することに恨みを抱き、神自身の啓示を否

定すること。彼らは怒りの上に怒りを招いた。屈辱的な懲罰が、真理を否定する者たちを待っている。

⁹¹ 彼らが「神が啓示されたものを信じなさい」と言われると、「私たちは私たちに啓示されたものを信じる」と言うが、その後下されたものの中の真理を否定する。それが真理であり、彼らがすでに持っているものを確証するものであるにもかかわらず。言え、「もしあなた方が真の信者であるならば、なぜ過去に神の預言者たちを殺したのか？」⁹² モーセは明確なしるしを携えてあなた方のところに来たが、彼の不在中にあなた方は子牛を崇拜し、不義を働く者となった。⁹³ われらがあなた方と契約を結び、山をあなた方の上に持ち上げ、「われがあなた方に与えたものを堅く守り、聞きなさい」と言った時、あなた方は「私たちは聞くが、背く」と言い、真理を認めようとしないために、彼らの心は子牛への愛で満たされた。言え、「もしあなた方が本当に信者であるならば、あなた方の信仰が命じるものは悪である。」⁹⁴ 言え、「もし神の来世の住処が、他のすべての人々を排除して、あなた方だけのものであるならば、もしあなた方が真実を言う者であるならば、死を望みなさい。」⁹⁵ しかし、彼らは決して死を望まないであろう。彼ら自身の行いが先に送られているからである。神は不義を働く者たちを完全に認識しておられる。⁹⁶ あなた方は彼らが、他のいかなる人々よりも、多神教徒でさえも、より熱心に生にしがみついているのを見出すであろう。彼らの誰しもが千年の生を与えられることを望むだろうが、たとえそのような長寿であっても、(われらの)懲罰から彼らを救うことはないだろう。そして神は彼らがなすことすべてを見ておられる。

⁹⁷ 言え、「ガブリエルに敵意を抱く者は誰であれ—彼は神の許しを得て、それ以前のものを確認する(以前の啓示にある最後の預言者に関する予言)[クルアーン]をあなたの心に下し、信者たちへの導きと吉報である—⁹⁸ 誰であれ、神、神の天使たち、あるいは神の使徒たち、あるいはガブリエルやミカエルに敵意を抱く者は、神もまた真理を否定する者たちの敵であることを確信するであろう。」⁹⁹ われらはあなた方に

明確なしるしを下した。そして悪しき者たち以外は誰もそれらを拒絶しないであろう。¹⁰⁰ いかなる時も彼らが契約を結ぶたびに、その一部がそれを捨て去るのはなぜか？彼らのほとんどは信じない。

¹⁰¹ 神からの使徒が彼らのところに、彼らがすでに持っていたもの（予言）を確認して来るたびに、聖典を与えられた者たちの一部は、まるで知識がないかのように、神の書を背後に捨て去った。

¹⁰² 彼らは、悪魔たちがソロモンの王国に偽って帰したことを追求した。ソロモンは不信仰者ではなかった。不信仰者であるのは悪魔たちである。彼らは人々に魔術と、バビロンの二人の天使、ハールートとマールートに下されたものを教えた。しかし、この二人は、「われらはただ試験である、ゆえに（神の導きを）不信仰に陥ってはならない」と言うまでは、誰にも教えなかった。そこで人々は、男と女の間に不和を引き起こすものを彼らから学んだ。だが彼らは、神の命令による以外は、何者にも害を与えなかった。（それどころか）、これらの人々は、彼らを害し、益とならないものを学んだ。その知識を得た者は来世において何の分け前もないことを十分承知していた。もし彼らが知っていたならば、彼らが魂を売った（代価）は実に悪であった。¹⁰³ そして、もし彼らが信じ、神を畏れていたならば、もし彼らが知っていたならば、神の報いは彼らにとって遥かに良いものであったであろう。

¹⁰⁴ 信じる者たちよ、預言者に対して「ラーイナ」と言うのではなく、「ウンズルナ」と言い、注意深く聞きなさい。a 真理を否定する者たちには、苦痛な懲罰がある。¹⁰⁵ 聖典の民の中から、あるいは神に仲間を配する者たちの中から、真理を否定する者たちは、主からあなた方にいかなる善が下されることも望まない。しかし、神は御心である者を特別に御恵みを選ばれる。神はその大いなる恵みにおいて限りないからであ

a 一部の人は預言者の集まりに座り、言葉遊びをして彼の教えを嘲笑した。例えば、「私たちの注意を払ってください」という明確なアラビア語「ウンズルナ」を使う代わりに、彼らは「私たちの羊飼いを意味する「ラーイナ」と言った。

る。¹⁰⁶ もしわれがある節を廃止したり、忘れさせたりするなら、われはそれよりも良いもの、あるいはそれに似たものに置き換えるであろう。あなた方は、神があらゆるものに対して力をお持ちであることを知らないのか？¹⁰⁷ あなた方は、天地の王国が神のみに属することを、そして神以外にあなた方にとっての保護者も助け手もないことを知らないのか？¹⁰⁸ あなた方(皆)は、以前モーセが問われたように、あなた方の使徒に質問したいのか？信仰を不信仰と交換する者は誰であれ、正しい道から逸れたのである。

¹⁰⁹ 聖典の民の中の多くは、嫉妬心から、あなた方が信仰を受け入れた今、そして真理が彼らにはっきりと示された今、あなた方を不信仰に引き戻したいと願っている。しかし、神がその命令を下されるまで、あなた方は彼らを許し、耐え忍ぶべきである。確かに、神はすべてのものに対して力をお持ちである。¹¹⁰ 礼拝を守り、定められた施しを納めなさい。あなた方が自分のために蓄えるいかなる善も、あなた方はそれを神のもとで見出すであろう。確かに、神はあなた方がなすことを見ておられる。¹¹¹ 彼らは宣言する、「ユダヤ人かキリスト教徒でない限り、誰も天国に入ることはない」と。これは彼ら自身の願望的思考である。(預言者よ)、言え、「もしあなた方が真実を言っているのなら、証拠を出しなさい。」¹¹² 確かに、自らを神に服従させ、正しく行動する者たちは、彼らの主によって報われるであろう。彼らは何の恐れもなく、悲しむこともないであろう。

¹¹³ ユダヤ人は言う、「キリスト教徒には立つべき根拠がない」と。そしてキリスト教徒は言う、「ユダヤ人には立つべき根拠がない」と。しかし、彼らは両方とも書を朗読している。そして、知識のない者たちも同じことを言う。神は復活の日に、彼らの間の争いについて裁かれるであろう。¹¹⁴ 神の礼拝の場所で、神の名が言及されるのを妨げ、その破壊をもたらそうとする者以上に邪悪な者がいるだろうか。そのような者たちは、心に恐れを抱いてそこに入るべきであるのに。彼らにはこの世で恥辱が待ち受け、来世では大きな懲罰が待ち受けている。¹¹⁵ 東と西は神

に属する。どの方向に顔を向けても、そこに神の御顔がある。神はすべてを包み、すべてを知っておられる。¹¹⁶ 彼らは言う、「神は子をもうけられた」と。彼に栄光あれ! 天と地にあるすべては彼に属する。すべてのものは彼に従順である。¹¹⁷ 彼は天地の創始者であり、彼が何かを定めるときは、ただ「あれ!」と言うだけで、それは存在する。

¹¹⁸ 知識のない者たちは言う。「なぜ神は私たちに語りかけないのか、あるいはしるしを示さないのか?」彼ら以前の者たちも同じ要求をした。彼らの心はすべて同じである。われらは確信を持つ人々には、しるしを明らかにした。¹¹⁹ われらはあなたを真実を携えて送り出した。吉報を伝え、警告を与える者として。あなたは業火の民について責任を問われることはないであろう。¹²⁰ ユダヤ人もキリスト教徒も、あなたが彼らの道に従わない限り、決してあなたに満足しないであろう。言え、「神の導きこそが唯一の導きである。」もし、あなたに來た知識の後で、彼らの欲望に従うなら、神に対して、あなたにはいかなる保護者も支持者もないであろう。¹²¹ われらがこの書を与えた者たちは、それを正しく遵守する。彼らこそが真に信じる者であり、それを否定する者たちは敗者となるであろう。

¹²² イスラエルの子らよ、私があなた方に授けた恩恵と、いかに私があなた方を他のすべての人々の上に優遇したかを思い出しなさい。¹²³ そして、いかなる人間も他者の助けとならない日を恐れなさい。いかなる身代金も誰からも受け入れられず、執り成しも彼らにとって何の役にも立たず、助けも与えられないであろう。¹²⁴ われらの主がアブラハムを言葉(命令)をもって試みられ、彼がそれを果たした時を思い出しなさい。彼は言われた。「私はあなたを人々の指導者とするであろう。」アブラハムは尋ねた。「そして私の子孫は?」彼は答えた。「私の契約は不義を働く者たちには及ばない。」

¹²⁵ そしてわれらは、家(カアバ)を集いの場所とし、人類のための聖域とした。そして、「アブラハムが立った場所を礼拝所としなさい」と言った。われらはアブラハムとイスマーイールに命じた。「わが家を、周り

を巡る者たち、そこに滞在する者たち、そしてひれ伏し、身をかがめる者たちのために清めなさい。」¹²⁶ そしてアブラハムが祈った時、「わが主よ、この地を平和な町とし、そこに住む者たちで、神と最後の日を信じる者に果実を与えなさい」と。神は言われた。「真理を否定する者たちには、かれらには一時的に恩恵を与え、その後、業火の懲罰に服させるであらう—忌まわしい行き着く先である。」

¹²⁷ アブラハムとイスマーイールが(彼らは祈った)家の基礎を築いていた時のことを思い出しなさい。「私たちの主よ、これを私たちから受け入れてください。あなたこそが、すべてを聞き、すべてを知り尽くされる方です。」¹²⁸ 主よ、私たちをあなたに服従させ、私たちの末裔からあなたに服従する民族を立ててください。私たちに礼拝の儀式を教え、慈悲をもって私たちに立ち返ってください。あなたは許しを与える者、慈悲深い者である。¹²⁹ 私たちの主よ、彼らの中に、あなたからの啓示を朗読し、彼らに書と知恵を教え、彼らを清める、彼ら自身の中から使徒を遣わしてください。あなたは力強く、賢明な方である。」

¹³⁰ 愚かな者でなく、誰がアブラハムの宗教から背を向けるだろうか？われらは彼をこの世で選び、来世では彼は義しい者たちの中にいるであろう。¹³¹ 彼の主が彼に「服従せよ!」と言った時、彼は答えた、「私は万有の主、神に服従しました」と。¹³² そしてアブラハムはヤコブと同じように、その息子たちにこの宗教を命じた。「わが息子たちよ、神はあなたの方のためにこの宗教を選ばれた。だから、あなたがたは服従の状態にある時以外は死を迎えてはならない。」¹³³ あなた方はヤコブが死に直面し、その息子たちに「私の後、誰を崇拝するのか?」と尋ねた時にその場にいたのか？彼らは答えた、「私たちはあなたの神、そしてあなたの父祖アブラハム、イスマーイール、イサクの神を崇拝します。唯一の神を。私たちは彼に服従しました」と。¹³⁴ 彼らはすでに過ぎ去った民であった。彼らがなしたことは彼らのものであり、あなた方がなしたことはあなた方のものだ。あなた方は彼らの行いについて責任を問われることはないであろう。

¹³⁵ 彼らは言う、「ユダヤ人かキリスト教徒になれば、正しく導かれるだろう」と。言え、「とんでもない! 私たちは神に傾倒したアブラハムの信仰に従う。彼は神に仲間を配する者の一人ではなかった。」¹³⁶ 言え、「私たちは神が私たちに啓示されたものを信じる。そしてアブラハム、イスマーイール、イサク、ヤコブに、そして彼らの子孫に与えられたもの、そしてモーセに与えられたもの、そして(他の)預言者たちに与えられたものを。われらは彼らの誰の間にも区別を設けない。われらは彼に服従する。¹³⁷ もし彼らがあなた方が信じたように信じるなら、彼らは正しく導かれたのである。しかし、もし彼らが背を向けるなら、彼らは敵意に深く根差していることを知りなさい。神はあなた方のために彼らと戦うのに十分である。確かに彼はすべてを聞き、すべてを知り尽くす方である。¹³⁸ われらは神自身の染料を身につける。誰が神よりも良い染料を持てようか? われらは彼のみを崇拝する。¹³⁹ 言え、「あなた方は私たちについて神と争うのか? 彼は私たちの主であり、あなた方の主であるのに。私たちには私たちの行いがあり、あなた方にはあなた方の行いがある。私たちは彼にのみ献身している。」¹⁴⁰ あなた方は、アブラハム、イスマーイール、イサク、ヤコブとその子孫が皆ユダヤ人かキリスト教徒であったと主張するのか? 言え、「あなた方が知っているのか、それとも神が知っているのか? 神から与えられた証言を隠す者以上に不正な者がいるだろうか? 神はあなた方がなすことを認識しておられない。」¹⁴¹ 彼らは過ぎ去った民であった。彼らがなしたことは彼らのものであり、あなた方がなしたことはあなた方のものだ。あなた方は彼らの行いについて責任を問われることはないであろう。

¹⁴² 愚かな者たちは言うだろう、「何が彼らを、かつて向かっていた祈りの方向から背を向けさせたのか?」と。言え、「東も西も神に属する。彼は御心である者を正しい道に導かれる。」¹⁴³ このようにして、われらはあなた方を中道な民族とした。あなた方が人類の証人となり、使徒があなた方にとって証人となるためである。われらはあなた方がかつて向かっていた以前の祈りの方向を定めたのは、使徒に真に従う者と、彼に

背を向ける者とを明確に区別するためであった。これは、神が導かれた者たちにとって、実に困難な試練であった。神は決してあなた方の信仰を無駄にすることはないのである。神は人類に対して思いやり深く、慈悲深い方である。

¹⁴⁴ われらは度々、あなたが顔を天に向けているのを見てきた。だから、われらはあなたに、あなたが喜びであろう祈りの方向へ向かせるであろう。だから今、顔を聖なるモスクに向けなさい。そしてあなたがどこにいても、顔をそちらに向けなさい。書を与えられた者たちは、これが彼らの主からの真実であることを知っている。神は彼らがなすことを認識しておられない。¹⁴⁵ しかし、たとえ書を与えられた者たちにあらゆる種類のしるしを示したとしても、彼らは決してあなたの祈りの方向を受け入れないだろう。また、あなたも彼らの祈りの方向を受け入れないだろう。彼らの中の誰も互いの方向を受け入れないだろう。もし、あなたに与えられたすべての知識の後で、彼らの欲望に屈するならば、あなたはきっと逸脱者となるであろう。¹⁴⁶ われらが書を与えた者たちは、彼らが自分の息子たちを認識するように、それを認識する。しかし、彼らの中のいくつかは故意に真実を隠す。¹⁴⁷ 真実とは、あなたの主から来るものである。ゆえに、疑う者となってはならない。

¹⁴⁸ 各々の共同体には、顔を向けるべき独自の方向がある。ゆえに、互いに善行において競い合いなさい。あなたがどこにいても、神はあなた方すべてを御自身の前に集めるであろう。神はすべてのものに対して力をお持ちである。¹⁴⁹ あなたがどこから出発しようとも、顔を聖なるモスクの方向へ向けなさい—これはあなたの主からの真実である。彼はあなたがなすことを認識しておられない—¹⁵⁰ あなたがどこから来ようとも、顔を聖なるモスクに向けなさい。あなたがどこにいても、顔をそちらに向けなさい。そうすれば、人々は、彼らの中の不義を働く者たちを除いて、あなた方に対して何の議論も持たないであろう。彼らを恐れるな。私を恐れなさい。そうすれば、私があなた方への恩恵を完璧にし、あなた方が正しく導かれるであろう。¹⁵¹ このようにして、われらはあなた

方自身の使徒をあなた方の中に送った。われらの啓示をあなた方に朗読し、あなた方を清め、あなた方に書と知恵を教え、そしてあなた方が知らなかったことを教えるために。¹⁵² だから私を思い出さない。私はあなた方を思い出すであろう。私に感謝し、恩知らずになってはならない。

¹⁵³ 信じるあなた方よ、忍耐と礼拝を通して助けを求めなさい。確かに、神は堅固な者たちと共にいる。¹⁵⁴ 神の道のゆえに殺された者たちを、死んだ者だと決して言うてはならない。かれらは生きているのだ。しかし、あなた方はそれに気づいていない。¹⁵⁵ われらは必ず、恐れと飢え、そして財産、生命、作物への損失をもってあなた方を試すであろう。忍耐強く耐え忍ぶ者たちに吉報を与えなさい。¹⁵⁶ 災難に見舞われた時、「私たちは神のものであり、彼のもとに私たちは帰る」と言う者たち。¹⁵⁷ 彼らこそ、彼らの主からの祝福と慈悲を受ける者たちである。彼らこそが正しい道にいたのである！

¹⁵⁸ サファとマルワは神によって定められたしるしの一つである。家への巡礼を行う者、または小巡礼を行う者が、それらの間を行き来することは何ら問題ない。自らの意思で善を行う者に対して、神は感謝し、認識しておられる。¹⁵⁹ われらが啓示した真理の証拠と導きを、われらが聖典の中で人々に明確にした後で、隠す者たちは、神によって拒絶され、他の者たちもそうする。¹⁶⁰ しかし、悔い改め、自らの行いを改め、真実を明らかにする者たちからは、私は確かに彼らの悔い改めを受け入れるであろう。私は常に悔い改めを受け入れる者、最も慈悲深い者である。¹⁶¹ 真理を否定し、否定者として死ぬ者たちには、神と天使たち、そしてすべての人々からの呪いが下るであろう。¹⁶² そのもとで彼らは永遠にとどまるであろう。彼らの懲罰は軽減されることなく、彼らに猶予が与えられることもないであろう。

¹⁶³ あなた方の神は唯一の神である。彼以外に神はいない。彼は思いやり深く、慈悲深い者である。¹⁶⁴ 天と地の創造において、夜と昼の交代において、人間にとって有益な貨物を運び大洋を航海する船におい

て、神が空から降らせ、それによって地をその死後生き返らせ、あらゆる種類の動物をそこに散りばめる水において、風の進路において、そして地と空の間で奉仕のために押し込められた雲において、そこには確かに理性を働かせる人々へのしるしがある。¹⁶⁵ しかし、神に同等を立て、神に払うべき崇拜をもってそれらを崇拜する者たちがいる。だが、信じる者たちは神を最も愛する。もし不義を働く者たちが—彼らが懲罰に直面する時に見るであろうように—すべての力が神に属し、神が懲罰において厳しいことを理解できたなら。¹⁶⁶ 彼らが懲罰に直面する時、導かれていた者たちはその追隨者を否認し、彼らのすべての絆は断ち切られるであろう。¹⁶⁷ 追隨していた者たちは言うだろう、「もし私たちが世に戻ることができたら、彼らが私たちを否認したように、私たちも彼らを否認するであろう」と。神はこうして彼らの行いを、苦い後悔と自責の念の原因として彼らに示すであろう。彼らは業火から決して現れることはない。

¹⁶⁸ 人類よ、地上にある合法で健全なものを食べなさい。そしてサタンの足跡に従ってはならない。彼は確かにあなた方の公言された敵である。¹⁶⁹ 彼はあなた方に、悪を行うこと、忌まわしい行為を犯すこと、そしてあなた方が知識を持たないことを神に帰すことだけを命じる。¹⁷⁰ しかし彼らが「神が下されたものに従いなさい」と言われると、彼らは答える、「私たちは私たちの父祖の道を追う」と。たとえ彼らの父祖が理性を働かせず、すべての導きを欠いていたとしても。¹⁷¹ 真理を否定する者たちは、あなた方の呼びかけに声の響き以外の何も聞かず、その意味を理解しない動物のようである。彼らは聾啞者であり、盲目である。彼らは何も理解しない。

¹⁷² 信じる者たちよ、われらがあなた方に与えた健全なものを食べ、もしあなたが崇拜するのが彼であるならば、神に感謝しなさい。
¹⁷³ 彼はあなた方に死肉、血、豚の肉、そして神の名以外で奉納された肉だけを禁じた。しかし、必要に迫られ、欲求も逸脱もなく食べる者にとっては、罪ではない。神は許し深く、慈悲深い者だからである。¹⁷⁴ 神が

啓示された聖典の一部を、わずかな目的のために隠す者たちは、単に自らの腹を業火で満たしているだけである。復活の日、神は彼らに語りかけず、彼らを清めることもないであろう。彼らには苦痛な懲罰があるであろう。¹⁷⁵ 彼らこそ、導きと引き換えに誤りを、許しと引き換えに懲罰を選んだ者たちである。彼らは業火を恐れているようには見えない。¹⁷⁶ それは、神が書を真実をもって下されたからである。そして聖典において違いを追求する者たちは、対立においてあまりにも遠く行き過ぎる。

¹⁷⁷ 徳とは、あなたが東や西に向かって顔を向けることにはない。徳とは、神、最後の日、天使たち、書、そして預言者たちを信じることである。徳のある者たちとは、その財産を愛していながらも、親戚、孤児、極貧者、旅人、そして(慈善を求める)者たちに与え、奴隷を解放し、礼拝を守り、施しを払い、誓約を交わした時にはそれを守り、困難と逆境において、そして苦難の時に忍耐を示す者たちである。そのような者たちこそ真の信者であり、そのような者たちこそ神を畏れる者である。

¹⁷⁸ 信じる者たちよ、殺人事件において、あなた方には応報が定められている。自由人には自由人を、奴隷には奴隷を、女性には女性を。もし加害者が殺された者の相続人によってある程度の減免を許されたなら、合意された罰則は公正に執行され、手厚く支払われるべきである。これはあなた方の主からの軽減であり、恩寵の行為である。これ以後も違反する者には、苦痛な懲罰があるであろう。¹⁷⁹ 報復の(この法)には、あなた方にとって命があるのだ、おお理解する人々よ、あなた方が神を畏れるようになるかもしれないために。¹⁸⁰ あなた方の誰かに死が近づき、富を残す場合、その両親と親戚のために公平に遺言を残すことが定められている。これは神を畏れる者すべてにとっての義務である。¹⁸¹ 一度それを聞いた者がそれを変更するなら、その者はその罪に対して責任を負うであろう。確かに、神はすべてを聞き、すべてを知り尽くされる方である。¹⁸² しかし、もし誰かが遺言者の側からの不公平や不

正を予期するなら、当事者間の和解をもたらすことは、彼にとって罪ではない。神は許し深く、慈悲深い者である。

¹⁸³ 信じる者たちよ、あなた方にも断食が定められた。それはあなた方以前の者たちにも定められたように、あなた方が(悪から)身を守るためである。¹⁸⁴ 定められた日数だけ断食しなさい。しかし、あなた方の中に病気である者や旅をしている者がいれば、後で同じ日数だけ断食しなさい。極度の困難を伴ってしか断食できない者たちには、償いの方法がある——困窮している者に食事を与えることである。しかし、自らの意思で善を行う者は、十分に報われるであろう。だが、もしあなた方が知っていたならば、断食する方があなた方にとってより良い。¹⁸⁵ ラマダン月は、人類への導きとして、導きの明確な証拠と、正邪を区別するための基準をもってクルアーンが下された月である。したがって、あなた方のうちその月に立ち会う者は誰であれ、断食しなさい。しかし、病気である者や旅をしている者は、後で同様の日数だけ断食しなさい。神はあなた方に安易さを望まれ、困難を望まれない。彼は、あなた方が彼があなた方を導いたことに対して彼を称賛し、彼に感謝するために、一ヶ月間すべて断食することを望まれる。

¹⁸⁶ 私の僕たちが私についてあなたに尋ねるなら、私は近いと言いなさい。私は、呼ぶ者が私に呼びかけるたびに、その呼びかけに答える。それゆえ、彼らは私に答え、私を信じるべきである。そうすれば、彼らは正しく導かれるであろう。¹⁸⁷ 断食の夜に妻のもとに行くことは、あなた方には許された。彼女たちはあなた方にとって衣のようなものであり、あなた方も彼女たちにとって衣のようなものである。神はあなた方が自らを欺いていたことを知っておられ、慈悲をもってあなた方に向き直り、あなた方を赦された。だから今、あなた方は彼女たちと交わり、神があなた方に定められたものを求めなさい。夜明けの白い糸が黒いものと明確に区別されるまで食べ、飲みなさい。それから日没まで断食を続けなさい。そして、モスクでの礼拝の隠遁中(イティカーフ)の夜には、彼女たちに近づいてはならない。これらは神によって定められた限

界である。だからそれらに近づいてはならない。このようにして、彼は人類にその命令を明確にされる。彼らが(悪から)身を守るためである。¹⁸⁸ 互いの財産を不当な手段で消費してはならない。また、それを当局への賄賂として提供してはならない。そうすれば、あなた方が故意に、不法に他人の富の一部を貪り食うことになるであろう。

¹⁸⁹ 彼らはあなたに月の満ち欠けについて尋ねる。言え、「それは人々の事柄や巡礼の規制のための時間の決定手段である。」敬虔さとは、家の中に裏口から入ることにはない。確かに、神への恐れから悪から身を守る者こそ、真に義しい者である。家にはその戸口から入り、神を畏れなさい。あなた方が成功するように。¹⁹⁰ そして、あなた方に戦いを挑む者たちに対して、神の道のために戦いなさい。しかし、侵略を犯してはならない確かに、神は侵略者を愛されない。¹⁹¹ (あなた方と戦う)彼らを、見つけ次第殺しなさい。^a 彼らがあなた方を追い出した場所から、彼らを追い出しなさい。なぜなら、(宗教的)迫害は殺害よりも悪いからである。彼らがそこであなた方と戦わない限り、聖なるモスクで彼らと戦ってはならない。もし彼らがあなた方と戦うなら、彼らを殺しなさい——これこそ、真理を否定する者たちへの報いである——¹⁹² しかし、もし彼らがやめるなら、確かに神は最も許し深く、慈悲深い者である。¹⁹³ もはやフィットナ(宗教的迫害)がなくなり、宗教が神のみに属するようになるまで、彼らと戦いなさい。もし彼らがやめるなら、侵略者たちに対して以外は、何の敵意もあってはならない。

¹⁹⁴ 聖なる月には聖なる月が(対応する)。神聖の侵害は、公正な報復を求める。したがって、あなた方はあなた方に違反する者から、その違反に見合った報復を取ることができる。神を畏れなさい。そして、神が神を畏れる者たちと共におられることを知りなさい。¹⁹⁵ 神の道のために費やしなさい。自らの手で自らを破滅に追いやるな。善を行いなさい。神は善を行う者たちを愛される。

a 序文のxivページからxviiページを参照。

¹⁹⁶ 神のためにハッジと小巡礼(ウムラ)を行いなさい。もし妨げられるなら、できるだけ供物を捧げ、供物が犠牲の場所に届くまでは頭を剃ってはならない。しかし、あなた方の中に病気である者、あるいは頭に病を抱える者がいれば、断食、施し、または犠牲によって償うべきである。平和な時、あなた方の中で小巡礼と大巡礼を組み合わせる者は、できるだけ供物を捧げるべきである。しかし、もしその手段がないなら、巡礼中に三日間、帰還後に七日間、合計十日間断食しなさい。これは、その家族が聖なるモスクの近くに住んでいない者に課せられる。神を畏れなさい。そして、神が懲罰において厳しいことを知りなさい。¹⁹⁷ 巡礼は定められた月に(行われる)。その期間中にそれを行う意図を持つ者は、巡礼中、みだらな言葉、すべての邪悪な行い、そして口論を慎まなければならない。あなた方がなすいかなる善も、神はそれを認識しておられる。あなた方自身のために備えをしなさい—しかし確かに、すべての備えの中で最も良いものは、神意識である。理解力を持つあなた方よ、常に私を心に留めなさい。

¹⁹⁸ もし(巡礼中に)あなた方が主からの恵みを得ようと求めても、いかなる罪も犯すことはないであろう。アラファトから戻る時、聖なる場所で神を思い出しなさい。そして、彼があなた方を導いたように彼を思い出しなさい。これ以前、あなた方は確かに迷っていた。¹⁹⁹ それから巡礼者たちが流れ出す場所から進み、神の赦しを請いなさい。神は常に許し深く、最も慈悲深い者である。²⁰⁰ あなた方が定められた崇拝行為を終えた時、あなた方が父祖を称賛したように、あるいはそれよりも熱烈に、神の讃美を称えなさい。中には「私たちの主よ、この世で豊かさを私たちに与えてください」と言う者がいる。このような者たちは、来世において何の分け前もないであろう。²⁰¹ しかし、こう祈る他の者たちがいる。「私たちの主よ、この世でも来世でも私たちに善を与え、業火の苦しみから私たちを守っ

てください。』²⁰² 彼らは稼いだものから良い分け前を得るであろう。神は彼の計算において迅速である。

²⁰³ 定められた日々に神を思い出しなさい。二日で出発を急ぐ者にとっては、何の罪もないであろう。そして、滞在し続ける者にとっても、彼にとって何の罪もないであろう。これは神を畏れる者のためである。神を畏れなさい。そして、あなた方すべてが彼の前に集められるであろうことを知りなさい。

²⁰⁴ この世の事柄に関する見解が、あなたを喜ばせる男たちがいる。彼らは心にあるすべてのことについて神に証人となるよう呼びかけることさえするが、彼らは最も好戦的な論争家である。²⁰⁵ 彼が背を向けると、地上に腐敗を広めに出かけ、作物と家畜を破壊する。神は腐敗を愛されない。²⁰⁶ 彼が「神を畏れよ」と言われると、傲慢さが彼を捕らえ、悪行へと駆り立てる。地獄が彼には十分であろう。恐ろしい安息の地である。²⁰⁷ しかし、神の喜びを求めることに専念する他の者たちがいる。神は彼のしもべたちに思いやり深い。

²⁰⁸ 信じる者たちよ、自らを完全に神に服従させなさい。そしてサタンの足跡に従ってはならない。確かに、彼はあなた方の誓われた敵である。²⁰⁹ しかし、あなた方に明確なしるしが来た後で墮落するならば、神が力強く賢明な方であることを知りなさい。²¹⁰ 彼らは、神と天使たちが雲の天蓋の下で彼らのところに下ってきて、事態が決着するのを待っているだけなのか？すべてのものは神のもとに帰る。²¹¹ イスラエルの子らに尋ねなさい。われらが彼らにどれほど多くの明確なしるしを与えたか。神の祝福が彼に来た後でそれを変える者は誰であれ、神が懲罰において厳しいことを知るであろう。²¹² この世の生は、真理を否定する者たちには魅力的に見えるようにされ、彼らは信じる者たちを嘲笑する。しかし、神を畏れる者たちは、復活の日には彼らの上にいるであろう。神は御心である者に、惜しみなくその恵みを授けられる。

²¹³ 人類はかつて一つの共同体であった(しかしその後、人々

は意見の違いを発展させた)。そこで神は、良き知らせを伝え、警告を与える者として預言者たちを彼らに送り、彼らの争いについて裁かれるために、真理を含む書を彼らと共に下された。それが(聖典)与えられた者たちだけが、明確なしるしが彼らに來た後で、彼らの間の競争のためにそれについて意見を異にした。神はその御心によって、他の者たちが争った真理へと信者たちを導かれた。神は御心である者を正しい道に導かれる。²¹⁴ あなた方は、あなた方以前に過ぎ去った者たちのように苦しみに樂園に入ることができると考えるのか? 苦難と困難が彼らを襲い、彼らはひどく揺さぶられ、使徒と彼と共にいた信者たちは叫んだ、「いつ神の助けは来るのか?」と。確かに神の助けは近い。

²¹⁵ 彼らはあなたに、他者に何を費やすべきかを尋ねる。言え、「あなたが与えるものは何であれ、両親、近親者、孤児、困窮者、そして旅人のためであるべきだ。神はあなたがなすいかなる善もよく認識しておられる。」²¹⁶ (防衛のための)戦いはあなた方に命じられた。たとえあなた方にとって忌み嫌われるものであっても。あなた方は何かを嫌うかもしれないが、それはあなた方にとって良いことであり、何かを好むかもしれないが、それはあなた方にとって悪いことかもしれない。神は知っているが、あなた方は知らない。

²¹⁷ 彼らはあなたに聖なる月での戦いについて尋ねる。言え、「聖なる月での戦いは重大なことである。しかし、人々を神の道から妨げ、彼を否定すること、そして人々を聖なるモスクから追放することは、彼の御前ではるかに重大である。そして迫害は殺害よりも悪い。」彼らは、もしできるなら、あなた方に信仰を放棄させるまで、あなた方との戦いをやめないであろう。あなた方の中で信仰から背を向け、真理の否定者として死ぬ者は、この世と来世においてその行いが無に歸し、業火の住人となり、そこに永遠にとどまるであろう。²¹⁸ しかし、信じ、移住し、神の道のために努力した者たちは、神の慈悲を期待できる。神は許し深く、慈悲深い者である。

²¹⁹ 彼らはあなたに(預言者よ)、酩酊物と賭博について尋ねる。言え、「その両方には大きな罪がある。だが、人々にとってわずかな利益もある。しかし、その害は利益よりも大きい。」彼らはあなたに(神の道のために)何を費やすべきかを尋ねる。言え、「必要以上の余剰を。」このように神はあなた方にその命令を明確にされる。あなた方が、²²⁰ この世と来世について熟考するためである。彼らはあなたに孤児について尋ねる。言え、「彼らの福祉を促進することは大いなる善行である。あなた方が彼らと共に暮らすことに害はない。なぜなら彼らはあなた方の兄弟だからである。神は悪事を企む者と改革者とを知っておられる。もし神が望まれたなら、あなた方を苦難で悩ませただろう。確かに、神は力強く、賢明な方である。」

²²¹ 神に仲間を配する女性が信仰するまでは、彼女たちと結婚してはならない。信仰する女性奴隷は、たとえ神に仲間を配する女性があなたにどれほど魅力的に見えても、彼女よりも良い。また、信仰する女性を、神に仲間を配する男性が信仰するまで、彼らに結婚させてはならない。信仰する男性奴隷は、たとえ神に仲間を配する男性があなたにどれほど魅力的に見えても、彼よりも確かに良い。そのような人々はあなた方を業火に招く。しかし神はあなた方を楽園と赦しに招かれる。彼はそのメッセージを人々に明確にされる。彼らがそれを心に留めるためである。²²² 彼らはあなたに月経について尋ねる。言え、「それは不浄である。だからその期間中、女性から離れていなさい。彼女たちが清められるまでは、近づいてはならない。彼女たちが清められたら、神が定められたように、彼女たちに近づいてよい。神は悔い改めて彼に立ち返る者たちを愛し、清く保つ者たちを愛される。²²³ あなた方の妻はあなた方の畑である。だから、望むように畑に行きなさい。自分のために(何か良いものを)先に送りなさい。そして神を畏れなさい。そして、あなた方が彼に会うであろうことを知りなさい。」信者たちに吉報を与えなさい。

²²⁴ あなた方が神に誓う時、善を行うこと、正しくあること、そし

て人々の間に平和をもたらすことを避けるための口実として神を用いてはならない。神はすべてを聞き、すべてを知り尽くされる方である。²²⁵ 神は、あなたが意図せず発した誓いについてはあなたに責任を問わないであろう。しかし、あなたの心の中で意図されたことについては責任を問うであろう。神は最も許し深く、忍耐強い者である。²²⁶ 妻に近づかないと誓った者たちには、四ヶ月の待機期間がある。もし彼らが和解に戻るなら、確かに、神は最も許し深く、常に慈悲深い者である。²²⁷ しかし、もし彼らが離婚を決意するなら、神はすべてを聞き、すべてを知り尽くされる方である。²²⁸ 離婚した女性は三度の月経周期を待つべきである。もし彼女たちが神と最後の日を信じるならば、神が彼女たちの子宮に創造されたものを隠すことは許されない。彼女たちの夫は、和解を望むならば、その期間内に彼女たちを連れ戻す権利がある。妻たちは、公正と認められるものに従って、夫が持つ権利に相当する権利を持つ。しかし、男性は彼女たちよりも一段階上である。神は全能であり、すべてを賢くされる方である。

²²⁹ 離婚は二度まで発せられる。その後、女性は名誉をもって引き留められるか、親切に解放されるべきである。あなた方が妻に与えたものを奪い取ることは許されない。ただし、両者が神によって定められた境界を守ることができないと恐れる場合を除く。そのような場合、女性が解放のために何かを与えることを選んでも、どちらにも罪はない。これらは神によって定められた境界である。それらを侵害してはならない。神の境界を侵害する者たちは、不義を働く者たちである。²³⁰ そして、もし男性が最終的に妻を離婚するなら、彼女が別の男性と結婚するまでは、彼が彼女と再婚することはできない。その後、もし次の夫が彼女を離婚するなら、前の夫と妻が、神によって定められた境界を守ることができると考える限り、彼らが互いに戻ることに何の非難もないであろう。これらは神が定められた境界であり、彼は理解ある人々にそれを明確にされる。²³¹ 一度女

性を離婚し、彼女たちが待機期間の終わりに達したら、誠実さをもって彼女たちを引き留めるか、誠実に彼女たちと別れなさい。彼女たちを傷つけたり、不義を働いたりするために引き留めてはならない。これを行う者は誰であれ、自らの魂を不義に陥れる。神の啓示を嘲笑ってはならない。神があなた方に授けた恩恵と、あなた方を諭すために彼が啓示された書と知恵を思い出しなさい。神を畏れなさい。そして、神がすべてを認識しておられることを知りなさい。

²³² あなた方が女性を離婚し、彼女たちが待機期間の終わりに達したならば、もし彼女たちが名誉ある合意に至った場合、彼女たちが他の男性と結婚するのを妨げてはならない。これは、神と最後の日を信じるあなた方一人一人に命じられたことである。それはあなた方にとって、より健全で、より清いことである。神は知っているが、あなた方は知らない。²³³ そして、(離婚した)母親は、授乳期間を全うしたいと望むならば、二年間の完全な期間、その子供に授乳すべきである。そしてその期間中、子供の父親は、合理的な方法で母親の扶養の責任を負うべきである。いかなる魂も、その耐えられる以上のものを課せられない。いかなる母親もその子供のために苦しめられるべきではなく、いかなる父親もその子供のために苦しめられるべきではない。同じ義務が父親の相続人(父親が死亡した場合)にも課せられる。しかし、相談の上、彼らが相互の合意により子供の授乳を止めると選択するならば、彼らには何の非難もないであろう。また、あなた方が子供たちのために乳母を雇いたいと望む場合でも、合意した支払いを合理的な方法で手渡す限り、あなた方にとって何の違反でもないであろう。神を畏れなさい。そして、神があなた方のすべての行動を監視しておられることを知りなさい。

²³⁴ あなた方の中に死に、寡婦を残す者がいれば、その寡婦は四ヶ月と十日間待つべきである。彼女たちが待機期間の終わりに達したならば、彼女たちが自分自身に対して合理的に行うことを選択したことについて、あなた方が非難されることはないであろう。神は

あなたがなすことを認識しておられる。²³⁵（離婚した、または未亡人の女性に）結婚の申し出をほのめかすこと、あるいは彼女たちを心の中で慈しむことは、あなた方にとって何の違反でもないであろう。神はあなた方が彼女たちを心に留めるであろうことを知っている。しかし、あなた方の傾向を彼女たちに示す以上の、いかなる秘密の取り決めにも入ってはならない。彼女たちの待機期間が終わる前に、結婚の結びつきを進めてはならない。神があなた方のすべての思考を知っておられることを知りなさい。したがって、注意を払い、神が許し深く、忍耐強い者であることを心に留めなさい。²³⁶ もしあなた方が女性とまだ結婚を完成させていないか、あるいは彼女たちに結納金を定めていないうちに彼女たちを離婚するならば、（結納金を払わないことについて）あなた方が非難されることはないであろう。しかし、彼女たちに公正な手当てをしなさい。富裕な者はその資力に応じて、困窮な者はその資力に応じて。これは義しい男性に義務付けられている。²³⁷ もしあなた方が、結婚が完成される前に彼女たちを離婚するが、彼女たちの結納金がすでに決められているならば、彼女たち（女性たち）がそれを放棄することに同意するか、あるいは結婚の結びつきが手にある男性（夫）がそれを放棄する場合を除いて、その結納金の半分を彼女たちに与えなさい。放棄する方が正義に近い。互いに対して慈悲深く振る舞う機会を、決して怠ってはならない。神はあなたがなすことすべてを監視しておられる。

²³⁸ 常に礼拝を心に留めなさい。特に中央の礼拝を。そして服従の献身をもって神の前に立ちなさい。²³⁹ 危険にさらされた時、徒歩で、あるいは乗り物に乗ったままで祈りなさい。再び安全になったら、神を思い出しなさい。彼はあなた方が知らなかったことをあなた方に教えられたからである。²⁴⁰ あなた方の中に死に、寡婦を残す者がいれば、彼女たちに一年間の扶養の遺贈を行い、家から追い出してはならない。しかし、もし彼女たちが自らの意思で去るなら

ば、彼女たちが自分自身に対して合理的に行うことを選択したことについて、あなた方が非難されることはないであろう。神は全能であり、賢明な方である。²⁴¹ 離婚した女性にも、公正なものに従って規定がなされるべきである。これは義しい者たちに課せられた義務である。²⁴² このように神はあなた方にその命令を明確にされる。あなた方が理解するように。

²⁴³ 死を恐れて、数千人もの家を捨てて逃げた者たちを見なかったか？そこで神は彼らに「死ね！」と言い、後に彼らを生き返らせた。確かに神は人類に豊かな恵みを与えられるが、彼らのほとんどは恩知らずである。²⁴⁴ 神の道のために（防衛のために）戦いなさい。そして、彼がすべてを聞き、すべてを知り尽くされる方であることを思い出しなさい。²⁴⁵ 誰が神に寛大な貸付をするだろうか？彼はそれを何倍にも増やすであろう。神こそが留める者であり、豊かに与える者である。そして、あなた方すべてが彼のもとに帰されるであろう。

²⁴⁶ モーセの後、イスラエルの子らの族長たちが彼らの預言者の一人に要求したことを聞いたことはないか？彼らは言った、「私たちのために王を任命してください。そうすれば私たちは神の目的のために戦います。」彼は答えた、「もし命令された時に、あなた方が戦うのを拒否したらどうなるのか？」彼らは答えた、「なぜ私たちは神の目的のために戦わないのか？私たちは家と子供たちから追い出されたのに。」しかし、ついに彼らが戦うよう命じられた時、彼らのごく一部を除いて全員が拒否した。神は不義を働く者たちを知っておられる。²⁴⁷ 彼らの預言者は彼らに言った、「神は今、タルートをあなた方の王に任命された。」しかし彼らは答えた、「どうして彼が私たちの王になれるのか？私たちの方が彼よりも王位にふさわしいのに、彼は豊かな富すら与えられていないではないか？」彼は言った、「神があなた方の上に彼を選び、彼に偉大な知識と体格を与えられたのだ。神は御心である者に王権を授けられる。神は寛大であ

り、すべてを知り尽くされる方である。」²⁴⁸ 彼らの預言者はまた彼らに言った、「彼の王権のしるしは、契約の箱があなた方のところに来ることである。その中にはあなた方の主からの安寧、そしてモーセの家とアロンの家が残した遺物があるであろう。それは天使たちによって運ばれるであろう。もしあなた方が信じるなら、その中にあなた方へのしるしがある。」

²⁴⁹ タルートが彼の軍勢と共に出発した時、彼は彼らに言った、「神はあなた方を川で試すであろう。そこから飲む者は私とは一緒ではなく、飲まない者は私と一緒にである。ただし、手のひら一杯だけすすめる者には何の咎もないであろう。」しかし、彼らのごく一部を除いて、彼らは皆そこから飲んだ。彼と彼と共に信じた者たちが川を渡った時、彼らは言った、「今日、私たちにはゴリアテとその戦士たちに対抗する力はない」と。しかし、神に会うと信じていた者たちは答えた、「神の命令によって、多くの小さな集団が大きな集団に打ち勝ったことは数多くある。神は確かに堅固な者たちと共にいる」と。²⁵⁰ 彼らがゴリアテとその戦士たちと対峙した時、彼らは言った、「私たちの主よ、私たちに忍耐を与え、私たちを堅固に立たせ、真理を否定する者たちに対して私たちを助けてください。」²⁵¹ そして、神の命令によって彼らは彼らを打ち負かした。ダビデはゴリアテを殺し、神は彼に王権と知恵を与え、彼が望むあらゆる知識を授けられた。もし神が、ある人々を他の人々によって撃退されなかったなら、地上は腐敗で満たされていただろう。しかし、神は人類に豊かな恵みを与えられる。

²⁵² これらは神の啓示であり、われらはそれを真理をもってあなたに朗読する。あなたは確かに使徒の一人だからである。²⁵³ これら使徒たちの中で、われらは彼らの中にさらなる何かを与えた。神が直接語りかけた者もいれば、他の者はその位階を高めた。われらはマリアの子イエスに明確なしるしを与え、聖霊によって彼を強めた。もし神が望まれたなら、彼らの後継者たちは、明確なしるしが彼らに

来た後で、互いに戦うことはなかったであろう。しかし彼らは互いに意見を異にした。ある者は信じ、ある者は信じなかった。だが、もし神が望んだなら、彼らは互いに戦うことはなかったであろう。しかし神は御心であることを何でもなされる。

²⁵⁴ 信じる者たちよ、取引も、友情も、執り成しも存在しない日が来る前に、われらがあなた方に与えたものの中から費やしなさい。本当に、真理を否定する者たちこそが不義を働く者たちである。
²⁵⁵ 神。彼以外に神はいない、生ける者、永遠なる者。まどろみも眠りも彼を捕らえることはない。天にあるものも地にあるものも、すべて彼に属する。彼の許可なしに誰が彼のところで執り成しをすることができるだろうか？彼は彼らの前にあるものも、彼らの後ろにあるものもすべて知っておられる。彼らは彼の知識のうち、彼が望む部分しか把握できない。彼の王座は天と地に広がり、それらを維持することは彼を疲れさせない。彼は至高の者、全能なる者である！²⁵⁶ 宗教において強制はない。真の導きは誤りから明確に区別された。しかし、サタンに導かれることを拒否し、神を信じる者は、決して壊れることのない強固な手綱を握ったのである。神はすべてを聞き、すべてを知り尽くされる方である。²⁵⁷ 神は信じる者たちの擁護者である。彼は彼らを闇から光へと導く。真理を否定する者たちにとって、彼らの支持者はサタンであり、彼らを光から闇へと引き出す。彼らは業火の相続者であり、そこに永遠にとどまるであろう。

²⁵⁸ 神が彼に王国を与えられたため、主についてアブラハムと議論した者のことを聞いたことはないか？アブラハムは言った、「私の主は命を与え、死をもたらす方である」と。彼は答えた、「私(もまた)命を与え、死をもたらす！」と。アブラハムは言った、「神は太陽を東から昇らせる。ならばお前は西から昇らせてみろ。」すると、その不信仰者は混乱した。神は不義を働く者たちを導かれない。

²⁵⁹ あるいは、屋根が崩れ落ちた町を通りかかった者のこと。彼は叫んだ、「神は滅びた後に、どうやってそれを生き返らせるのだから

うか？」そこで神は彼を死なせ、百年後に彼を生き返らせた。神は尋ねた、「どれくらいこの状態にとどまっていたのか？」彼は答えた、「一日か、あるいは一日の一部にとどまっていました。」神は言われた、「いや、あなたは百年間この状態にとどまっていたのだ。今、あなたの食べ物と飲み物を見なさい。腐っていない。あなたの口バを見なさい。われはあなたを人類へのしるしとするであろう。骨を見なさい—われらがいかにそれらを組み立て、そして肉で覆うか！」それがすべて彼にはっきりした時、彼は言った、「今、私は神がすべてのものに対して力をお持ちであることを知った。」²⁶⁰ アブラハムが「私に示してください、私の主よ、あなたがどのように死者を生き返らせるのかを！」と言った時、神は言われた、「あなたは信じないのか？」アブラハムは答えた、「はい、確かに信じます、ただ私の心を安心させるためです。」それから神は言われた、「四羽の鳥を取り、あなたのもとに戻ってくるように訓練しなさい。それからそれらをそれぞれの丘の頂に別々に置き、彼らを呼びなさい。彼らはあなたのもとに飛んでくるであろう。神が全能であり、賢明な方であることを知りなさい。」

²⁶¹ 神の道のために財産を使う者たちは、一粒の穀物に例えることができる。それは七つの穂に芽吹き、各々の穂には百粒の穀物がある。神は御心である者に何倍もの増加を与えられる。神は無限であり、すべてを知り尽くされる方である。²⁶² 神の道のために財産を使い、その施しに嘲りや侮辱を伴わない者たちは、彼らの主によって報われるであろう。彼らは何の恐れもなく、悲しむこともないであろう。²⁶³ 優しい言葉と許しは、傷つける言葉を伴う施しよりも良い。神は自給自足であり、忍耐強い者である。²⁶⁴ 信じる者たちよ、神と最後の日を信じず、人々に見せるためだけに財産を使う者のように、思い出させる言葉や傷つける言葉で慈善行為を帳消しにしてはならない。そのような者たちは、土で覆われた岩のようである。雨が

降り注ぎ、それを硬くむき出しにする。彼らはその行いから何も得ることはないであろう。神は真理を否定する者たちを導かれない。

²⁶⁵ しかし、神の承認を得るために、そしてその魂を強化するために財産を使う者たちは、高台にある園のようである。激しい雨がそれに降れば、その産物は二倍になる。激しい雨が降らなくても、小雨で十分である。神はあなた方がなすことを見ておられる。²⁶⁶ あなた方の中で、年老いており、養うべき無力な子供たちがいる者が、河が流れ、あらゆる種類の果物があるナツメヤシとブドウの園を持ち、それが炎の旋風に襲われ、完全に焼き焦がされることを望むだろうか？このように神はそのしるしをあなた方に明確にされる。あなた方が熟考できるように。

²⁶⁷ 信じる者たちよ、あなた方が稼いだ良いものの中から、そしてわれらがあなた方のために大地から生み出すものの中から、慈善を施しなさい。あなた方自身が進んで受け入れられないような無価値なものを与えてはならない。神が自給自足であり、称賛されるべきお方であることを知りなさい。²⁶⁸ サタンはあなた方を貧困の見込みで脅し、あなた方に汚い行為をするよう命じる。しかし神は彼の赦しと彼の恵みを約束される。神は豊かに与える者であり、すべてを知り尽くされる方である。²⁶⁹ 彼は御心である者に知恵を授ける。そして知恵を授けられた者は、実に豊かな富を授けられたのである。しかし、理解力を持つ者たち以外には、これを心に留める者はいない。

²⁷⁰ あなた方が費やすものすべて、そしてあなた方が立てる誓いすべては神に知られている。しかし、不義を働く者たちには助け手はいないであろう。²⁷¹ もしあなたが公に慈善を施すなら、それは良いことである。しかし、もしあなたがそれを秘密にして、困窮者に個人的に与えるなら、それはあなた方にとってより良く、あなた方のいくつかの悪行の償いとなるであろう。神はあなた方がなすことすべてを認識しておられる。²⁷² 彼らを正しい道に従わせることはあなたの責任ではない。神は

御心である者を誰でも導かれる。あなたが費やす富は、あなたがただ神の恵みを求めるためだけに費やす限りにおいて、あなた自身の利益となる。あなたが(神の目的のために)費やす富は、完全にあなたに返済され、あなたは不義を被ることはないであろう。²⁷³ 困窮者たちとは、神の目的のために没頭しすぎて、生計を求めて地上を旅することができない者たちである。彼らの状態を知らない者たちは、彼らが物乞いを控えるため、彼らには困窮がないと考える。しかし彼らはその外見から知ることができる。彼らは人々にしつこく要求しない。あなたが費やす富は、すべて神が知っている。²⁷⁴ 昼夜を問わず、個人的にも公的にも財産を使う者たちは、彼らの主から報いを受けるであろう。彼らは何の恐れもなく、悲しむこともないであろう。

²⁷⁵ 高利で暮らす者たちは、サタンがその接触によって心を狂わせた人々になるであろう。なぜなら彼らは、「売買もただの一種の高利である」と言うからである。しかし神は商業を合法とし、高利を不法とした。したがって、主から自分に来た警告のために高利を止める者は、過去に受け取ったものを保持してもよい。そして彼を裁くのは神の役目である。それに逆戻りする者たちは、業火の住人となるであろう。彼らはその中に永遠にとどまるであろう。²⁷⁶ 神は高利を滅ぼし、慈善行為を祝福される。神は恩知らずな不義の者を愛されない。²⁷⁷ 信じ、善行を行い、礼拝を守り、施しを行う者たちは、彼らの主によって報われ、何の恐れもなく、悲しむこともないであろう。

²⁷⁸ 信じる者たちよ、神を畏れなさい。そして、もしあなた方が真の信者であるならば、高利からあなた方に依然として未払いのものを放棄しなさい。²⁷⁹ なぜなら、もしそうしないなら、あなた方が神とその使徒と戦っていることを知りなさい。しかし、もしあなた方が悔い改めるなら、あなた方は元金を保持してもよい。他者に不義を働いてはならない。そうすればあなた方も不義を被ることはないであろう。²⁸⁰ もし債務者が困窮しているならば、安易な時まで猶予を与えなさい。もしそれを慈善行為として帳消しにするなら、もしあなた方が知っていたならば、それは

あなた方にとってより良いであろう。²⁸¹ あなた方が神のもとに歸される日を恐れなさい。その時、すべての魂は稼いだものを完全に支払われるであろう。そして彼らは不義を被ることはないであろう。

²⁸² 信じる者たちよ、定められた期間で債務契約を結ぶ時、それを書面にしなさい。公正な方法であなた方の間に書記に書かせなさい。書記は書くことを拒否すべきではない。神が彼に教えたように書かせなさい。債務者に口述させ、その主である神を畏れさせ、少しも(債務を)減らしてはならない。もし債務者が精神的または身体的に弱かったり、口述できなかつたりするなら、公正な方法でその保護者に彼のために口述させなさい。あなた方が承認する者の中から二人を証人として呼びなさい。しかし、もし二人の男性が見つからないなら、証人としてあなた方が承認する者の中から男性一人と女性二人を呼びなさい。そうすれば、もし二人の女性の一人が忘れても、もう一人が彼女に思い出させることができる。証人たちは召喚された時に拒否してはならない。小額であれ多額であれ、支払日と共に、あなた方の債務を書き留めることを嫌がってはならない。これは神の御前でより公正であり、証言としてより信頼でき、あなた方の間に疑念が生じるのを防ぐ可能性が高い。ただし、手渡しで与えたり受け取ったりする既製の品物である場合は、それを書き留めなくてもあなた方に対しては罪にならないであろう。互いに取引する時は必ず証人を立ち合わせなさい。そして書記や証人に何の害も与えてはならない。もしあなたが彼らに害を与えたなら、それはあなた方の罪となるであろう。神を心に留めなさい。彼はあなた方に教える。彼はすべてのことを完全に認識しておられる。²⁸³ もしあなたが旅をしていて、読み書きのできる人を見つけれないなら、担保として何かを手渡すべきである。もしあなた方の一人が別の者に何かを託すなら、受託者はその担保を所有者に返すべきである。そして、その主である神を畏れるべきである。証言を隠してはならない。もし誰かがそれを隠すなら、その心の中で罪を犯すことになる。神はあなたがなすことを知っておられる。

²⁸⁴ 天と地にあるすべては神に属する。あなたが心にあるものを明かそうと隠そうと。神はそれについてあなたに責任を問うであろう。彼は御心である者を赦し、御心である者を罰するであろう。彼はすべてのものに対して力をお持ちである。²⁸⁵ 使徒は、彼らの主から彼に下されたものを信じる。そして信者たちもそうである。彼らは皆、神とその天使たち、神の聖典、そして神の使徒たちを信じる。彼らは言う、「私たちは神の使徒たちの誰の間にも区別を設けない。私たちは聞き、従います。私たちの罪を赦してください、主よ、あなたの元に私たちは皆帰るのです!」²⁸⁶ 神は魂に、その耐えられる以上のものを課さない。それは、それがなした良いこと、そしてなした悪いことに対して報われるであろう。(彼らは祈る)「私たちの主よ、もし私たちが忘れたり、間違いを犯したりしても、私たちに責任を問わないでください!私たちの主よ、私たちに、あなた方が私たち以前の者たちに課したような重荷を負わせないでください!私たちの主よ、私たちに、耐えられないほどの重荷を負わせないでください!私たちを赦してください。そして私たちを許してください。そして私たちに慈悲をかけてください。あなたは私たちの主であり、維持者である。だから、真理を否定する者たちに対して私たちを助けてください。」

3. イムラーンの家族 (アーリ・イムラーン)

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ アリフ・ラーム・ミーム。

² 神!彼以外に神はいない、生ける者、維持者である。³ 彼はあなたに、真理をもって書を下された。それはそれに先行する聖典の(予言)を確認する。彼は過去にトラーと福音を下された。⁴ 人類への導きとして。彼(もまた)真偽を識別するための基準を下された。確かに神のしるしを否定する者たちは厳しい懲罰を受けるであろう。神は力強く、報復の

能力をお持ちである。⁵ 地上にも天にも、神から隠されるものはない。
⁶ あなた方を胎内で御心通りに形作るのは彼である。彼以外に神はいない、力強く、賢明な方である。

⁷ 彼はあなたに書を下された。その中のいくつかの節は意味が明確で正確であり—それらが書の基礎である—一方、他の節は比喩的である。心に逸脱のある者たちは、比喩的なものを追求し、それを解釈しようとすることで対立を生み出そうとする。しかし、その意味を知る者は神以外に誰もいない。知識に確固たる根拠を持つ者たちは言う、「私たちはそれを信じる。それはすべて私たちの主からのものである」と。しかし、賢明な者だけが心に留める。⁸「私たちの主よ、あなたが私たちを導かれた後で、私たちの心を逸脱させないでください。私たちにあなたの慈悲を授けてください。確かにあなたは寛大な与え手である。⁹ 私たちの主よ、あなたは疑いようのない日の来る時、すべての人類を集めるであろう。神は約束を破ることは決してない。」

¹⁰ 真理を否定する者たちについては、彼らの富も子供たちも、神に対して彼らを助けることはないであろう。彼らは業火の燃料となる。¹¹ 彼らの終わりはファラオの民や彼ら以前の者たちのようである。彼らはわれらのしるしを否定した。そこで神は彼らを彼らの罪深さゆえに捕らえられた。神は懲罰において厳しい。¹² 真理を否定する者たちに言え、「あなた方は打ち負かされ、地獄へと追いやられるであろう—忌まわしい安息の地である!」¹³ (バドルの戦いで)向かい合った二つの集団に、あなた方にとってしるしがあった。一方の勢力は神の目的のために戦い、もう一方は真理を否定する者たちで構成されていた。彼ら(不信者たち)は、相手(信者たち)が彼らの二倍の数であることを自分の目を見た。しかし神は御心である者を彼の助けで強化される。これには、目を持つすべての人にとって、確かに教訓がある。

¹⁴ 女性、子供、積み上げられた金銀の宝物、血統の優れた馬、家畜、そして土地を通して世俗的な欲望を満たすことは、人々にとって魅力的である。これらすべては世俗の生の備えである。しかし、最も優れ

た住処は神のもとにある。¹⁵ 言え、「これらすべてよりも良いものをあなた方に教えようか？神を畏れる者たちには、彼らの神の近くに園があり、そこには川が流れている。彼らはそこに永遠に住み、清らかな配偶者と、神の善意を得るであろう。神は彼の僕たちを監視しておられる—¹⁶ 彼らは言う、「主よ、私たちはあなたを信じます。私たちの罪を赦し、業火の懲罰から私たちを守ってください」と。¹⁷ 彼らは堅固であり、真実であり、従順であり、神の目的のために費やし、夜明け前に赦しを祈る者たちである。

¹⁸ 神は証言する、彼以外に神はいないと。天使たちと知識を持つ者たちもそうである。彼は正義を維持する者である。彼以外に神はいない、力強く、賢明な方である。¹⁹ 神の御前での唯一の真の宗教は、神への完全な服従である。そして書を与えられた者たちは、知識が彼らに与えられた後で、対立ゆえにのみそれに意見を異にした—神のしるしを否定する者は、神が彼の計算において迅速であることを知るべきである。²⁰ もし彼らがあなたと争うなら、言え、「私は全存在を神に服従させた。そして私に従う者たちも同様である。」そして、書を与えられた者たちと、文盲の者たちに尋ねなさい、「あなた方も同様に自らを神に服従させるのか？」もし彼らが自らを彼に服従させるなら、彼らは正しい道にいる。しかし、もし彼らが背を向けるなら、あなたの義務はメッセージを伝えることだけである。神は彼のすべての僕たちを監視しておられる。²¹ 神のしるしを否定し、預言者たちを不当に殺し、正義を命じる者たちを殺す者たち—彼らに悲惨な懲罰を警告しなさい—²² 彼らの行いは、この世でも来世でも無に帰するであろう。彼らにはいかなる支持者もないであろう。

²³ 書の一部を受け取った者たちを見なかったか？彼らが神の書の裁きを受け入れるよう招かれる時、彼らの一部は嫌悪して背を向ける。²⁴ それは彼らが「業火が私たちに触れるのは、限られた日数だけだ」と言うからである。このようにして、彼らが作り出した偽りの信念が、彼らをその宗教の事柄において惑わせた。²⁵ われらがすべての人類を、

必ず来る日に共に集めた時、どうなるだろうか？その時、すべての人間に彼がなしたことすべてに対して完全に報われるであろう。彼らは不義を被ることはないであろう。²⁶ 言え、「主よ、すべての主権の主宰者よ。あなたは御心である者に主権を授け、御心である者からそれを奪われる。あなたは御心である者を高め、御心である者を卑しめられる。すべての善はあなたの御手の中にある。あなたはあらゆることを御心通りにできる力をお持ちである。²⁷ あなたは夜を昼に変え、昼を夜に変えられる。あなたは生命のないものから生けるものを生み出し、生けるものから生命のないものを生み出される。あなたは御心である者に、限りなく与えられる。」

²⁸ 信者たちは、信者たちに優先して、真理を否定する者たちを味方として選んではならない——それを行う者は誰であれ、自らを神から完全に孤立させるであろう——ただし、この方法で自らを守るためである場合を除く。^a 神はあなた方に彼を恐れるよう忠告する。なぜなら、すべてのものは神のもとに帰るからである。²⁹ 言え、「神はあなた方の心の中にあるすべてを知っておられる。あなたがそれを隠そうと明かそうと。彼は天と地にあるすべてを知っている。神はすべてのものに対して力をお持ちである。」³⁰ すべての人間が、自分がなしたすべての善、そしてなしたすべての悪に直面する日に、多くの者は自分とその日との間に長い時間が存在することを願うであろう。神はあなた方に彼を恐れるよう忠告するが、神は彼の僕たちに対して慈悲深い。³¹ 言え、「もしあなたが神を愛するならば、私に従いなさい。そうすれば神はあなた方を愛し、あなた方の罪を赦すであろう。神は最も許し深く、最も慈悲深い者である。」³² 言え、「神と使徒に従いなさい。」そしてもし彼らが背を向けるなら、神は真理を否定する者たちを愛されない。

a 信者は、ムスリムと非ムスリムの区別なく、すべての人間に正義と公平さをもって接する。しかし、イスラムと戦争状態にある非ムスリムとの友好関係は許されない。

³³ 神はアダムとノア、そしてアブラハムの家族、そしてイムラーンの家族を、彼のすべての被造物の上に選ばれた。³⁴ 彼らは互いの子孫である。神はすべてを聞き、すべてを知っておられる。³⁵ イムラーンの妻が言った時のことを思い出しなさい。「私の主よ、私は胎内にあるものを完全にあなたの奉仕に捧げました。どうかこれを私から受け入れてください。あなたこそが、すべてを聞き、すべてを知り尽くされる方です。」³⁶ 彼女が出産した時、彼女は言った、「私の主よ、私は女の子を産みました」と—神は彼女が何を産んだかをよくご存知であった。男は女とは異なる—「私は彼女をマリアと名付け、彼女と彼女の子孫を、追放されたサタンからあなたの保護下に置きました。」³⁷ 彼女の主は彼女を快く受け入れ、彼女を善良に成長させ、ザカリアの世話に託された。ザカリアが彼女の部屋を訪れるたびに、彼は彼女のところに何らかの食料を見つけた。彼は尋ねた、「マリアよ、この食料はどこから来たのか？」彼女は答えた、「これは神からのものです。神は御心である者に、限りなく与えられます。」³⁸ そこでザカリアは主に向かって祈り、言った、「主よ、あなたの恵みによって、私に徳のある子孫をお授けください。あなたはすべての祈りを聞かれる方です。」³⁹ 彼が部屋で祈っていた時、天使たちが彼に呼びかけ、言った、「神はあなたにヨハネの吉報を与える。彼は神からの言葉を確証し、人々の中で際立ち、完全に清廉で、義しい者たちの中から出た預言者となるであろう。」⁴⁰ 「主よ」とザカリアは言った、「私がすでに老齢になり、妻が不妊であるのに、どうして私に息子ができるのでしょうか？」「それが神の意志である」と(天使は)答えた、「彼は御心であることを行う。」⁴¹ 彼は言った、「私の主よ、私にしるしを与えてください。」(天使は)言った、「あなたのしるしは、三日間、しるしによって以外は人々に話すことができなくなるであろうことである。あなたの主を多く思い出し、朝晩、彼を讃えなさい。」⁴² 天使たちは言った、「マリアよ、神はあなたを選び、あなたを清められた。彼はあなたを世界のすべての女性の上に選ばれた。」⁴³ おおマリアよ! あなたの維持者に真に献身し、礼拝においてひれ伏し、ひれ伏す者たちと共に(彼の前に)ひれ伏し

なさい。」⁴⁴ これは不可視の出来事の記述であり、われらはあなたにそれを啓示する。彼らが誰がマリアの保護者となるかをくじで決めていた時、あなたは彼らと共にいなかった。そして彼らが互いに争っていた時も、あなたは彼らと共にいなかった。

⁴⁵ 天使たちが言った時、「おおマリアよ、あなたの主があなたに彼からの言葉の吉報を与える。その名はメシア、マリアの子イエスである。この世でも来世でも尊敬され、神に近づけられた者の一人である。⁴⁶ そして彼はゆりかごの中で人々に語りかけ、大人になっても語りかけ、義しい者の一人となるであろう。」⁴⁷ 「主よ」と彼女は言った、「いかなる男も私に触れていないのに、どうして私に子供ができるのでしょうか？」天使は答えた、「その通りである。神は御心であるものを創造される。彼が何かを望む時、ただ『あれ』と言えば、それは存在する。⁴⁸ 神は彼に書と知恵、そしてトーラーと福音を授けるであろう。⁴⁹ 彼をイスラエルの子らへの使徒とするであろう。彼は言うだろう。「私はあなた方の主からのしるしを携えてあなた方のところに来た。私はあなた方のために粘土で鳥の形を作り、それに息を吹き込むと、神の許しによって、それは生きた鳥となるであろう。そして神の許しによって、私は盲人やらい病人を癒し、死者を生き返らせるであろう。あなた方が何を食べるか、そしてあなた方の家に何を蓄えているかをあなた方に告げるであろう。もしあなた方が信者であるならば、確かにその中にあなた方へのしるしがある。⁵⁰ 私は私に先行するトーラーの(予言)を全うするために、そしてあなた方に禁じられていたものの一部を合法にするために来た。そして私はあなた方の主からのしるしを携えてあなた方のところに来た。だから神を畏れ、私に従いなさい。⁵¹ 神は私の主であり、あなた方の主である。だから彼を崇拝しなさい。それが正しい道である。」

⁵² イエスが彼らの否定を察知した時、彼は言った、「神の目的のために誰が私の助け手となるだろうか？」弟子たちは言った、「私たちは神の助け手です、私たちは神を信じます。私たちが自らを服従させたことを証言しなさい。」⁵³ 「私たちの主よ、私たちはあなたが下されたものを

信じ、私たちは使徒に従います。だから私たちを証言する者たちの中に数えてください。」⁵⁴ そして彼らは策略を巡らしたが、神もまた策略を巡らされた。そして神は最高の策略家である。⁵⁵ 神は言った、「おおイエスよ、私はあなたを私のもとに連れて行き、私のもとへとあなたを高め、不信仰者たちの中傷からあなたを清めるであろう。そしてあなたに従う者たちを、審判の日まで真理を否定する者たちの上に置くであろう。その後、私のもとにすべてが帰り、私はあなた方の争いに関してあなた方の間を裁くであろう。」⁵⁶ 真理を否定する者たちは、この世でも来世でも厳しく罰せられるであろう。彼らを助ける者は誰もいないであろう。」⁵⁷ 信じ、善行を行った者たちについては、彼らはその報いを完全に与えられるであろう。神は悪を行う者を愛されない。⁵⁸ われらがあなたに朗読するこれこそが、啓示であり、賢明な戒めである。

⁵⁹ 神の目から見て、イエスはアダムのようである。彼は彼を塵から創造し、その後彼に言った、「あれ!」と。すると彼は存在した。⁶⁰ これこそがあなたの主からの真実である。だから疑う者たちの中にはならない。⁶¹ あなたが受けた知識の後で、もし誰かがこの(真理)についてあなたと議論するなら、彼らに言え、「来なさい! 私たちの子らとあなた方の子らを、私たちの女性とあなた方の女性を、そして私たち自身とあなた方自身を集めよう。そして真剣に祈り、嘘つきたちに神の呪いと呼びかけよう。」⁶² これが真実の記述である。彼以外に神はいない。神は力強く賢明な方である。⁶³ そしてもし彼らが背を向けるなら、神は悪を行う者たちをよく知っておられる。

⁶⁴ 言え、「聖典の民よ、私たちとあなた方の間に共通の言葉に来なさい。それは、私たちが神以外には誰も崇拜せず、彼に何の仲間も配せず、私たちの中に誰も神以外を主としない、ということである。」そしてもし彼らが背を向けるなら、言え、「私たちは神に服従したことを証言しなさい。」⁶⁵ 聖典の民よ、なぜあなた方はアブラハムについて争うのか、トラーと福音は彼の後に下されたばかりなのに。あなた方は理性を使わないのか?⁶⁶ あなた方は、ある程度の知識を持っていた事柄につい

て争った者たちである。あなた方は今、知識のない事柄について議論しなければならないのか？神は知っているが、あなた方は知らない。⁶⁷ アブラハムはユダヤ人でもキリスト教徒でもなかった。彼はまっすぐな男であり、自らを神に服従させた者であった。彼は神に仲間を配する者たちの一人ではなかった。⁶⁸ 確かに、アブラハムに最も近い人々は、彼に従った者たち、そしてこの預言者(ムハンマド)、そして彼を信じる者たちである。神は信者たちの守護者である。⁶⁹ 聖典の民の一部はあなた方を迷わせようと願うが、彼らは気づかないうちに、自らを迷わせているだけである。⁷⁰ 聖典の民よ！あなた方は神のしるしを目撃したのに、なぜそれを否定するのか？⁷¹ 聖典の民よ！なぜあなた方は真実を虚偽と混ぜ、知りながら真実を隠すのか？

⁷² 聖典の民の一部は互いに言う、「信者に啓示されたものを朝には信じ、夕方には否定しなさい。そうすれば彼ら(ムスリムたち)は(混乱して)自らの信仰を放棄するかもしれない。」⁷³ あなた方自身の宗教に従う者たちのみを信じなさい。」彼らに言え、「確かに、真の導きは神からの導きである。」(しかし、あなた方は不可能だと考えているのだ)あなた方が授けられたような(啓示が)他の誰かに授けられるなど—あるいは彼らが主の御前であなた方と争うなど。言え、「すべての恵みは神の御手の中にある。彼は御心である者にそれを授ける。神は無限であり、すべてを知り尽くされる方である。⁷⁴ 彼は御心である者を慈悲のために選ばれる。神は並外れた恵みの主である。」⁷⁵ 聖典の民の中には、もしあなたが金の一山を預けても、それをあなたに返す者がいる。しかし、彼らの中には、もしあなたがディナール一つを預けても、あなたがしつこく要求しない限り、それをあなたに返さない者たちがいる。それは彼らが、「私たちには異邦人に対して何の義務もない」と言うからである。彼らは故意に神について嘘をつく。⁷⁶ 確かに神は、契約を守り、彼を畏れる者たちを愛される。神は義しい者たちを愛される。

⁷⁷ 神との契約と彼らの誓いをわずかな代価で売り払う者たちは、復活の日の来世において何の分け前もないであろう。神は裁きの日、彼

らに語りかけず、彼らを見向きもせず、彼らを清めることもないであろう。彼らには耐えがたい懲罰があるであろう。⁷⁸ 彼らの中には、彼らが語る方法で書を歪曲し、彼らの言うことが書からのものだとななた方に思わせる者がいるが、実際はそうではない。彼らはそれが神からのものだと言うが、実際はそうではない。このようにして彼らは神について嘘をつく。そして彼らはそれを知っている。⁷⁹ 神が聖典を与え、知恵と預言者としての地位を授けた者は誰も、人々に「神ではなく私を崇拝しなさい」とは言わないであろう。(むしろ彼は言うだろう)「神に献身する僕となりなさい。なぜならあなた方は聖典を教え、研究したのだから。」⁸⁰ また彼は、天使や預言者をあなた方の主とすることを命じることもないだろう。どうしてあなた方が神に服従した後で、不信者となるよう彼があなた方に命じることができようか。

⁸¹ 神が預言者たちと契約を結んだ時、彼は言われた、「ここに私があなた方に与えた書と知恵がある。あなた方が持っているもの[彼らの聖典にある彼に関する予言]を確認する使徒があなた方のところに来る時、あなた方は彼を信じ、彼を助けなければならない。あなた方はこれを確認し、私がこれらの条件であなた方に課した責任を受け入れるか？」彼らは言った、「私たちはそれを確認します。」神は言われた、「ならば証言しなさい、私もあなた方と共に証言するであろう。」⁸² これ以後、背を向ける者は、確かに逸脱者である。⁸³ 天と地にあるすべてが、自らの意思であろうと否応なしであろうと、彼に服従しているのに、彼らは神の宗教以外の宗教を求めるのか？彼のもとに彼らは皆帰るであろう。⁸⁴ 言え、「私たちは神と、私たちに下されたもの、そしてアブラハム、イスマーイール、イサク、ヤコブ、そして諸部族に下されたものを信じる。私たちはモーセ、イエス、そして預言者たちに彼らの主から与えられたものを信じる。私たちは彼らの誰の間にも区別を設けない。彼にこそ私たちは自らを服従させたのである。」⁸⁵ もし誰かがイスラム[神への服従]以外の宗教を求めるなら、それは彼から受け入れられないであろう。彼は来世において失われた者たちの中にいるであろう。⁸⁶ 神は、信

仰を受け入れた後で不信仰を選び、この使徒が真実であると証言し、[そして]真理のすべての証拠が彼らにきた後で、どうしてそのような人々を導かれるだろうか?なぜなら、神はそのような不義を働く者たちを導かれないからである。⁸⁷ そのような人々は、神によって、天使たちによって、すべての人類によって拒絶される報いを受けるであろう。⁸⁸ この状態で彼らは永遠にとどまるであろう。彼らの懲罰は軽減されることなく、彼らに猶予が与えられることもないであろう。⁸⁹ しかし、その後悔い改めて改心する者たちを除く。神は許し深く、慈悲深い者である。⁹⁰ しかし、真の信仰を受け入れた後で真理を否定することに固執し、真理を認めようとしない姿勢を強める者たちについては、彼らの悔い改めは受け入れられないであろう。彼らこそ、大きく道から逸れた者たちである。⁹¹ 信仰を拒絶し、拒絶の状態のまま死ぬ者たちは、たとえ地球全体を満たすほどの金を身代金として提供しても、救われることはないであろう。苦痛な懲罰が彼らには待ち受けており、彼らにはいかなる支持者もないであろう。

⁹² あなた方が大切にするものの中から神の目的のために費やさない限り、決して義に達することはないであろう。そしてあなたが費やすものは何であれ、神は知っておられる。⁹³ すべての食べ物はいスラエルの子らに合法であった。トーラーが下される前にイスラエルが自らに禁じたものを除いては。彼らに言え、「ならばトーラーを持ってきて読みなさい。もしあなた方が真実を言う者であるならば。」⁹⁴ これ以後、嘘をでっち上げてそれを神に帰し続ける者たちは、逸脱者である。⁹⁵ 言え、「神は真実を語られる。だからアブラハムの信仰に従いなさい。彼はまっすぐな男であり、多神教徒の一人ではなかった。」⁹⁶ 人類のために最初に建てられた家は、バッカ[マッカ]にあるものであった。それは祝福された場所であり、全世界への導きの源である。⁹⁷ その中には明確なしるしがある。そこはアブラハムが立った場所である。そこに入る者は誰であれ安全であろう。家への巡礼は、それを実行できる者にとって、神への義務である。不信仰である者は誰であれ、神があらゆる被造物から独立

していることを思い出すべきである。⁹⁸ 言え、「聖典の民よ、神があなた方がなすことすべてを証人しておられるのに、なぜあなた方は神の啓示を拒絶するのか?」⁹⁹ 言え、「聖典の民よ、あなた方は、自身が証人であるのに、なぜ信者たちを神の道から遠ざけ、それを曲げようとするのか?神はあなた方がなすことを認識しておられない。」

¹⁰⁰ 信じる者たちよ、もしあなた方が聖典を与えられた者たちの一部に屈するなら、彼らはあなた方を信じた後に真実を放棄させるであろう。¹⁰¹ しかし、神の啓示があなた方に伝えられ、神自身の使徒があなた方の中にいるのに、どうしてあなた方は真実を否定できるのか?神に堅くしがみつくる者は、実に正しい道に導かれる。¹⁰² 信じる者たちよ、神が当然であるように彼を畏れなさい。そして死が訪れる時、彼に完全に服従した状態でありなさい。¹⁰³ 神の綱に堅くしがみつuki、何ものもあなた方を分裂させてはならない。彼があなた方に授けた祝福を思い出しなさい。あなた方は敵同士であったが、その後彼はあなた方の心をついにし、彼の恵みによってあなた方は兄弟となった。あなた方は業火の深淵の淵にいたが、彼はそこからあなた方を救い出した。このように神はあなた方に彼のしるしを明確にされる。あなた方が導きを見出すように。

¹⁰⁴ あなた方の中に、他者を善に招き、正しいことを命じ、間違ったことを禁じる集団があるべきである。これを行う者たちは成功するであろう。¹⁰⁵ 明確な証拠が与えられた後で、派閥に分裂し、互いに意見を異にした者たちのようになってはならない。恐ろしい懲罰がそのような人々には待ち受けている。¹⁰⁶ ある顔が輝き、ある顔が暗くなる日に、顔が暗くなった者たちにはこう言われるであろう、「信仰を受け入れた後で信仰を拒絶したのか?ならば、真理を否定したことへのこの懲罰を味わいなさい!」¹⁰⁷ しかし、顔が輝いている者たちについては、彼らは神の恵みの中に永遠にとどまるであろう。¹⁰⁸ これらは神の啓示である。われらはそれらを真理をもってあなたに朗読する。神は人類にいかなる不

正も望まれない。¹⁰⁹ 天と地にあるすべては彼に属する。すべてのものは神のもとに帰るであろう。

¹¹⁰ あなた方は確かに、人類の(善のために)生み出された最良の共同体である。あなた方は良いことを命じ、悪いことを禁じ、神を信じる。もし聖典の民も信じていたなら、それは確かに彼らにとってより良かったであろう。彼らの中には真の信者もいるが、彼らのほとんどは不従順である。¹¹¹ 彼らはあなた方にほとんど害を与えることはできないだろう。もし彼らがあなた方と戦いに出てくるなら、彼らはあなた方に背を向けるであろう。その時、彼らは助けられないであろう—¹¹² 屈辱が、彼らが見つかる場所ならどこでも彼らに付きまとうであろう。彼らが神との契約、あるいは人間との契約を結ばない限りは。彼らは神の怒りを招き、完全に屈服させられた。なぜなら彼らは、神のしるしを執拗に不信仰し、預言者たちを不当に殺したからである。これは彼らの不従順と、逸脱の習慣から生じたものである。

¹¹³ しかし、彼らは皆同じではない。聖典の民の中には、その契約を守り、夜中に神の言葉を朗読し、彼の前にひれ伏す者たちがいる。¹¹⁴ 彼らは神と最後の日を信じ、正義を命じ、悪を禁じ、善行において互いに競い合う。これらは義しい者たちである。¹¹⁵ そして、彼らがいかなる善行をなそうとも、(報いを)否定されることはないであろう。神は義しい者たちを知っておられる。¹¹⁶ 真理を否定する者たちについては、彼らの財産も子供たちも、神に対して彼らを少しも助けることはないであろう。彼らは業火の住人となるであろう。彼らはそこに永遠にとどまるであろう。¹¹⁷ 彼らがこの世の生を追求するために費やすものは、自らを不義に陥れた民の収穫を打ち、それを破壊する、刺すような霜の突風のようなものである。神は彼らに不義ではない。彼らは自らの魂を不義に陥れているのである。

¹¹⁸ 信じる者たちよ、部外者を親密な友人としてはならない。彼らはあなた方を害するためにいかなる努力も惜しまないであろう。彼らはあなた方が苦しむのを見るのを好む。彼らの憎しみは、彼らの口からこぼ

れ落ちる言葉から明らかである。しかし、彼らの心が隠しているものはるかに悪い。われらはあなた方にわれらのしるしを明らかにした。あなた方は理解しないのか？¹¹⁹ あなた方が彼らを愛するが、彼らはあなた方を愛さない。あなた方はすべての啓示された書を信じる。彼らがあなた方と会う時、「私たちは信じます」と言うが、一人になると、怒りで指先を噛みしめる。言え、「怒りで死ぬ！」神はあなた方の心に含まれるものを認識しておられる。¹²⁰ あなた方に何か良いことが起こると、彼らは悲しむ。しかし、あなた方に災いが降りかかると、彼らは喜ぶ。もしあなたが忍耐し、神を畏れるなら、彼らの企みは決してあなた方を少しも害することはないであろう。神は彼らがなすことすべてを包摂しておられる。

¹²¹ あなたが夜明けに家を出て、信者たちに戦闘配置を指示した時—神はすべてを聞き、すべてを知り尽くされる方である。¹²² あなた方の中の二つの集団が心をくじかれそうになった時、神は彼らの守護者であった。神にこそ信じる者たちは信頼を置くべきである。¹²³ あなた方が弱かった時、神はすでにバドルであなた方を助けられた。神を畏れなさい。あなた方が感謝するように。¹²⁴ [そして思い出しなさい]あなた方が信者たちに言った時のことを、「あなた方の主が三千の天使を下してあなた方を助けても、それだけでは足りないのか？」と。¹²⁵ もしあなたが忍耐強く、神を畏れるならば、そして敵が突然あなた方を襲うならば、あなたの主は明確な印を付けた五千の天使であなた方を強化するであろう！¹²⁶ そして神はこれを、あなた方への吉報としてのみ定められた。あなた方の心が慰められるためである—助けは神、力強く、賢明な方からのみ来る—¹²⁷ そして、彼が真理を否定することに固執する者たちの一部を断ち切るか、あるいは彼らを屈服させて挫折して引き返させるためである。¹²⁸ あなた方にはこの事柄において、彼が彼らに対して悔い改めを受け入れるか、彼らを罰するかを決める権限はない。彼らは不義を働く者たちである。¹²⁹ 天にあるものも地にあるものも、すべて神に属

する。彼は御心である者を赦し、御心である者を罰する。神は最も許し深く、常に慈悲深い者である。

¹³⁰ 信じる者たちよ、倍々に増殖する高利を貪ってはならない。神を畏れなさい。あなた方が成功するように—¹³¹ 真理を否定する者たちのために用意された業火から身を守りなさい—¹³² そして神と使徒に従いなさい。あなた方が慈悲を与えられるように。¹³³ そして互いに、あなた方の主からの赦しと、天と地と同じくらい広大な樂園を競い合いなさい。それは神を畏れる者たちのために用意されている。¹³⁴ 彼らとは、繁栄の時も逆境の時も費やし、怒りを抑え、仲間に対して寛容である者たちである—神は善行を行う者たちを愛される。¹³⁵ そして、みだらな行為を犯した時や、自らの魂を不義に陥れた時、神を思い出し、罪が赦されるよう祈る者たち—罪を赦せる者が神以外に誰にしようか?—そして、知りながら悪行を続けることをしない者たち。¹³⁶ 彼らの報いは、彼らの主からの赦しと、川が流れる園であり、そこに彼らは永遠にとどまるであろう。善行を行う者たちの報いはいかに素晴らしいことか。¹³⁷ あなた方以前に過ぎ去った(共同体)の例は数多くある。地上を旅し、真理を拒絶した者たちの末路がどうであったかを見なさい。¹³⁸ このクルアーンは人々への説明であり、神を畏れる者たちへの導きと戒めである。

¹³⁹ そして、気落ちしたり、悲しんだりしてはならない—もしあなた方が信者であるなら、あなた方が優位に立つであろう—¹⁴⁰ もしあなた方が傷を負ったなら、彼らも同様の傷を負ったのだ。われらはこれらの日々を人々に交代で訪れさせる。神が信じる者たちを知り、あなた方の中から証人を選ぶためである。そして神は不義の者を愛されない。¹⁴¹ 神が信じる者たちを清め、真理を否定する者たちを一掃するためである。¹⁴² あなた方は、神があなた方の中で彼の目的のために懸命に努力し、忍耐強く耐え忍ぶ者たちを知らずに、園に入れると考えるのか?¹⁴³ あなた方は死に遭う前に、死を熱望していた。今、あなた方はそれを自分の目で見たのだ。

¹⁴⁴ ムハンマドは単なる使徒である。彼以前にも使徒たちは去って

行った。もし彼が死んだり、殺されたりしたとして、あなた方は踵を返すのか？ 踵を返す者たちは、主に少しも害を与えない。神は感謝する者に報いるであろう。¹⁴⁵ いかなる魂も、神の許可なく、定められた時以外には死ぬことはない。もしこの世の報いを望むなら、われらはそれを彼に与えるであろう。そしてもし来世の報いを望むなら、われらはそれを彼に与えるであろう。われらは感謝する者に報いるであろう。¹⁴⁶ どれほどの預言者が、多くの敬虔な者たちと共に戦ったことか！ 彼らは神の道において苦しまなければならなかったすべてのことにもかかわらず、心をくじかれなかった。彼らは弱まらず、屈することもなかった。神は忍耐強い者を愛される！¹⁴⁷ 彼らが言ったのはただ、「私たちの主よ、私たちの罪と過剰を赦してください。私たちの足を堅固にし、真理を否定する者たちに対して私たちを助けてください」とだけだった。¹⁴⁸ そして神は彼らにこの世の報いと、来世の優れた報いの両方を与えられた。神は善を行う者を愛される。

¹⁴⁹ 信じる者たちよ、もしあなたが真理を否定する者たちに屈するなら、彼らはあなた方を踵を返させ、あなた方は敗者となるであろう。¹⁵⁰ いや、確かに！ あなたの保護者は神である。彼は最良の支持者である。¹⁵¹ われらは真理を否定する者たちの心に畏怖を抱かせるであろう。なぜなら彼らは神に仲間を配したからである。それに対して彼は何の権威も下さなかった。彼らの住処は業火となるであろう。そして不義を働く者たちの住処は実に忌まわしい。¹⁵² そして神はあなた方との約束を果たされた。彼の許しによってあなた方が敵を滅ぼそうとしていた時である。しかしその時、あなた方の勇気は失われ、あなた方は（預言者の指示に関して）互いに意見を異にし、それに従わなかった。彼があなた方に望むものを見える範囲にまで引き寄せた後である—あなた方の中にはこの世の富を望む者もいれば、来世を望む者もいた—そこで彼があなた方を試すために、彼はあなた方が敵を打ち負かすのを妨げた。しかし今、彼はあなた方を赦された。神は信じる者たちに最も恵み深い。¹⁵³ あなた方が逃げ惑い、誰にも振り返らず、使徒が後ろからあな

た方を呼んでいた時、彼はあなた方に次から次へと悲しみで報いた。あなた方が失ったもののために、またあなた方に降りかかったことのために悲しまないようにするためである。神はあなた方がなすことを認識しておられる。

¹⁵⁴ その後、悲しみの後で、彼はあなた方に(心の)平和を、あなた方の一部を覆った眠気という形で下された。しかし、他の者たちは自分自身のことだけを心配していた。彼らは無知の時代のような、神について偽りの概念を抱いていた。彼らは尋ねた、「私たちにこの件で何か言うことがあるだろうか？」彼らに言え、「すべては神の御手の中にある。」彼らはあなたに明かそうとしないことを心に隠している。彼らは言う、「もしこの件で私たちが何か言うことがあったなら、私たちの誰もここで殺されることはなかっただろう。」言え、「あなた方が家に留まっていたとしても、死が定められていた者たちは、それでも死ぬ運命の場所へ出向いていただろう。」そしてこれらすべては、神があなた方の心の中にあるものを試すためであった。そしてあなた方の心の中にあるものを清めるためである。なぜなら神はあなた方の最も奥深くの思考を認識しておられるからである。¹⁵⁵ 二つの軍が(戦いで)対峙した日に背を向けたあなた方の中の者たちは、その行いのいくつかゆえにサタンによって滑らされたのである。しかし神は彼らを赦された。神は許し深く、忍耐強い者である。

¹⁵⁶ 信じる者たちよ、真理を否定することに固執し、彼らの兄弟が地上を旅したり、戦に出たりする時に、「もし彼らが私たちと共に留まっていたなら、死んだり、殺されたりすることはなかっただろう」と言う者たちのようになってはならない。—なぜなら神は、そのような思考が彼らの心に苦い後悔の源となるようにされるであろう。命を与え、死をもたらすのは神だからである。そして神はあなた方がなすことすべてを見ておられる。¹⁵⁷ もしあなたが神の目的のために殺されたり死んだりするなら、確かに神からの赦しと彼の恵みは、人が蓄えうるものすべてよりも良い。¹⁵⁸ 確かに、もしあなたが死んだり殺されたりするなら、神の元に

こそあなたは集められるであろう。¹⁵⁹ それは神の恵みによって、あなたが彼らに対して優しくったからである—もしあなたが厳しく、頑なな心であったなら、彼らはきっとあなたを見捨てただろう—だから彼らに耐え、彼らの罪の赦しを祈りなさい。事柄の進め方について彼らと協議しなさい。それから、行動方針を決めたなら、神に信頼を置きなさい。なぜなら神は彼に信頼を置く者たちを愛されるからである。¹⁶⁰ もし神があなた方を助けるなら、誰もあなた方を打ち負かすことはできない。しかし、もし彼があなた方から助けを引かれるなら、彼以外に誰があなた方を助けることができようか？ならば、神にこそ信者たちは信頼を置くべきである！

¹⁶¹ いかなる預言者も何も隠し持つべきではない。何かを隠し持つ者は、復活の日にそれをもたらすであろう。その時、すべての人間は彼がなしたことすべてに対して完全に報われ、誰も不義を被ることはないであろう。¹⁶² 神の喜びを求める者が、神の怒りを招き、その住処が地獄—忌まわしい行き先—となる者と同じであろうか？¹⁶³ すべての者には神の目に異なる地位があり、神は彼らのすべての行動を監視しておられる。¹⁶⁴ 確かに神は、信者たちに、彼らの中から使徒を送られたことで大きな恵みを授けられた。彼らに彼の啓示を朗読し、彼らを清め、彼らに書と知恵を教えるために。なぜなら、それ以前の彼らは確かに明白な誤りの中にいたからである。

¹⁶⁵ なぜだ！あなた方が自ら二倍もの重い損失を被った後で、不幸があなた方を襲った時、「どうしてこんなことになったのか？」と言うのか？言え、「それはあなた方自身の過ちであった。」確かに、神はあらゆることを御心通りにできる力をお持ちである。¹⁶⁶ 二つの軍隊が対峙した日にあなた方を襲った不幸は、神の許しによって起こったのである。彼が(真の)信者たちを識別するため、¹⁶⁷ そして偽善的に行動した者たちを知るためである。彼らが「来なさい、神の目的のために戦い、自らを守りなさい」と言われた時、彼らは答えた、「もし戦いが起こることを知っていたら、私たちはきっとあなた方に従っただろう」と。彼らはその

日、信仰よりも不信仰に近かった。彼らが口にする言葉は、彼らの心にあるものとは何の関係もない。神は彼らが隠すものをよく知っておられる。¹⁶⁸ 後ろに留まった者たちは、彼らの兄弟たちについて言った、「もし彼らが私たちの言うことを聞いていたら、殺されることはなかっただろう」と。彼らに言え、「ならば、もしあなた方が真実を言う者であるならば、死を自分たちから遠ざけなさい!」

¹⁶⁹ 神の目的のために殺された者たちを、死んだ者だと考えてはならない。彼らは生きており、彼らの主によって十分に養われている。¹⁷⁰ 彼らは神が彼の恵みとして彼らに授けたもののゆえに喜びに満ちており、彼らが後に残した者たちで、まだ彼らに加わっていない者たちが、何の恐れもなく、悲しむこともないであろうことを喜んでいる。¹⁷¹ 神の恵みと恵沢を喜ぶ。彼らは[知っている]、神が信者たちに報いることを怠ることはないであろう。¹⁷² 傷を負ったにもかかわらず、神と使徒の呼びかけに応え、善行を行い、神を畏れた者たちには、大きな報いがあるであろう。¹⁷³ 「敵はあなた方に対して大軍を集めた。だから彼らを恐れよ」と言われた時、彼らは信仰において強くなり、「神が私たちには十分である。彼は最良の守護者である」と答えた者たち。¹⁷⁴ 彼らは神の恵みと祝福を携えて家路についた。いかなる悪にも触れることなく。なぜなら彼らは神の喜びを追求したからである。そして神の恵みは無限である。¹⁷⁵ あなた方の中に恐れを抱かせるのはサタンとその追隨者たちである。彼らを恐れるな。しかし、もしあなたが真の信者であるならば、私を恐れなさい。

¹⁷⁶ そして、真理を否定することにおいて互いに競い合う者たちがあなたを悲しませてはならない。彼らは神に少しも害を与えることはできない。彼らが来世において何の分け前も持たないであろうことは神の御心である—厳しい懲罰が彼らには待ち受けている。¹⁷⁷ 信仰の代価で真理の否定を買った者たちは、いかなる意味でも神に害を与えることはできない。苦痛な懲罰が彼らには待ち受けている。¹⁷⁸ 真理を否定する者たちに、われらが彼らに猶予を与えることが彼らにとって良いこ

とだと考えさせてはならない。われらが彼らに猶予を与えることは、彼らを不従順において増加させるだけである—恥ずべき懲罰が彼らには待ち受けている。¹⁷⁹ 神は決して、彼らが今いる状態のまま信者たちを放置することはないであろう。彼が善と悪とを分けるまでは。また神はあなたに不可視のものを啓示することはないだろう。しかし神は、彼の使徒の中から御心である者たちを選ぶ。したがって、神と彼の使徒たちを信じなさい。もしあなたが信仰を持ち、悪から身を守るならば、あなたは大きな報いを得るであろう。

¹⁸⁰ 神がその恵みから彼らに与えられたものに対して、けちな者たちが、それが彼らにとって良いことだと考えてはならない。確かに、それは彼らにとって悪である。彼らがけちるものは、復活の日に首に襟のようにかけられるであろう。天と地を相続するのは神である。神はあなたがなすことすべてを認識しておられる。¹⁸¹ 神は、確かに、「見よ、神は貧しいのに私たちは金持ちだ!」と言った者たちの言葉を聞かれた。われらは彼らが言ったこと—そして彼らが預言者たちを不当に殺害したこと—を記録するであろう。そしてわれらは言うであろう、「燃え盛る責め苦しみを味わえ。¹⁸² あなた方自身の行いの報いとして—神は彼の被造物に少しも不義を働かないからである!」¹⁸³ 「神は私たちに、火に食われる供物をもたらさない限り、いかなる使徒も信じるなと命じられた」と言う者たちに言え、「私の前に使徒たちは、あなた方が要求するしるしを含め、明確なしるしを携えてあなた方のところに来た。もしあなた方が真実を言う者であるならば、なぜ彼らを殺したのか?」¹⁸⁴ もし彼らがあなたを否定するなら、明確なしるし、聖典、そして啓発する書を携えて来たあなた以前の他の使徒たちも否定されたのである。¹⁸⁵ すべての人間は死を味わう運命にある。そしてあなた方は復活の日にその報いを完全に受け取るであろう。業火から遠ざけられ、樂園に入ることが許された者は、確かに成功するであろう。なぜなら、この世の生は、幻想的な楽しみ以外の何物でもないからである。

¹⁸⁶ あなた方はその財産と自身において確かに試され、テストされ

るであろう。そして、あなた方以前に書を与えられた者たちから、そして神に仲間を配する者たちから、多くの痛ましいことを聞くであろう。しかし、もしあなた方が忍耐強く耐え忍び、自らを抑制するならば、それは確かに強い決意の事柄である。¹⁸⁷ 神は、書を与えられた者たちと契約を結び、それを人々に知らせて隠さないよう命じられた。しかし、彼らはそれを背後に投げ捨て、わずかな代価で交換した。彼らが結んだ取引はなんという悪しきものであったことか!¹⁸⁸ 自らの悪行を誇り、なしていないことで称賛されることを好む者たちは、懲罰から安全だと考えてはならない。彼らは耐え難い懲罰を受けるであろう。¹⁸⁹ 天と地の王国は神に属する。神はすべてのものに対して力をお持ちである。

¹⁹⁰ 天と地の創造において、そして夜と昼の交代において、理解ある人々にはしるしがある。¹⁹¹ 彼らとは、立っている時も座っている時も、(横たわっている時も)神を思い出し、天と地の創造について熟考し、言う、「主よ、あなたはこれらすべてを無目的に創造されたのではありません。あなたに栄光あれ!業火の苦しみから私たちをお救いください。¹⁹² 主よ、あなたが業火に入るよう定められた者たちは、確かに恥辱を被らせました。不義を働く者たちには助け手はいないでしょう。¹⁹³ 主よ、私たちは呼びかけ人が真実の信仰に呼びかけるのを聞きました。『あなたの主を信じなさい』と。そして私たちは信じました。主よ、私たちの罪を赦し、私たちの悪行を私たちから取り除き、義しい者たちと共に私たちを死なせてください。¹⁹⁴ 私たちの主よ!あなたの使徒たちを通して私たちに約束されたものを私たちに与え、復活の日に私たちを辱めないでください。確かに、あなたは決して約束を破ることはありません。』

¹⁹⁵ 彼らの主は彼らの祈りを受け入れ、言われた、「私はあなた方の中から、男であれ女であれ、彼らの労苦の報いを否定することはない。あなた方は互いの成員である。私は確かに、移住し、家から追放され、私のために迫害に苦しみ、戦い、殺された者たちの罪を赦すであろう。私は彼らを確かに、川が流れる園に入らせるであろう。神からの報いとして。神のもとには最良の報いがある。』¹⁹⁶ 土地で真理を否定する

者たちの行動に惑わされてはならない。¹⁹⁷ これはわずかな楽しみに過ぎず、その後、地獄が彼らの住処となるであろう—なんという忌まわしい安息の地であろうか!¹⁹⁸ 彼らの主を畏れる者たちには、川が流れる園があるであろう。そこに彼らは永遠にとどまるであろう。そして彼らの主からの手厚い歓迎があるであろう。神の報いは義しい者たちにとって最良である。¹⁹⁹ 聖典の民の一部は神を信じ、あなたに啓示されたものの、そして彼らに啓示されたものを信じる。彼らは神の前に謙虚であり、神の啓示をわずかな代価で売らない。これらの者たちは彼らの主によって報われるであろう。神は計算において迅速である!²⁰⁰ 信じる者たちよ、耐え忍び、忍耐において互いに競い、信仰において堅固に立ち、神を畏れなさい。あなた方が成功するように。

4. 女性（アン・ニサー）

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ 人類よ!あなた方を単一の魂から創造された、あなた方の主を畏れなさい。彼はそれからその伴侶を創造し、その二人から数えきれないほどの男性と女性を(地上に)広げた。あなた方が互いに訴えかける際にその名を使う神を畏れ、血縁関係における義務を心に留めなさい。神は常にあなた方を見守っておられる。^a ² 孤児たちに彼らに属する所有物を与えなさい。良いものを悪いものと交換してはならず、彼らの財産をあなた方自身のものに加えて消費してはならない。確かに、これは大いなる罪である。³ もしあなた方が孤児の少女たちと公正に接することができないと恐れるなら、あなた方が選んだ女性と、二人、三人、あるいは

a すべての人類は生まれながらにして同一である。究極的には、誰もがその起源を同じ一人の男と女を父と母として辿ることができる。したがって、すべての人類が互いに親近感を抱き、一つの大家族の成員のように、公平さと善意をもって生きることが必要である。

四人と結婚してよい。しかし、もしあなた方が彼女たちを等しく公正に扱うことができないと恐れるなら、一人だけにしなさい—あるいは(あなた方が正当に)所有する者の中からにしなさい。その方が、あなた方が不正を犯すのを防ぐ可能性が高い。⁴ そして女性たちには喜んで結納金を与えなさい。しかし、もし彼女たちが自らの意思でその一部をあなたに免除するなら、あなたはそれを喜びと善意をもって利用してよい。

⁵ 未熟な心を持つ者たちには、神があなた方に生活の糧として与えられたあなた方の財産を与えてはならない。その中から彼らのために備えをし、彼らに服を着せ、良い助言を与えなさい。⁶ 孤児たちが結婚の年齢に達するまで、厳しく見守りなさい。そして、もし彼らが心の成熟を認めるなら、彼らの財産を彼らに引き渡しなさい。彼らが成人する前に、無駄な使い方をして消費してはならない。もし後見人が裕福であるなら、完全に控えるべきであり、もし貧しいなら、公正かつ合理的なものを自分で得てもよい。あなた方が彼らにその財産を引き渡す時、彼らの立会いのもと証人を呼びなさい。神は精算者として十分である。⁷ 男性は両親と親戚が残したものに分け前を持ち、女性も両親と親戚が残したものに分け前を持つであろう。それが少なくとも多くても。これは(神によって)定められたものである。⁸ もし、分け与える時に他の親戚、孤児、または困窮者がいるならば、その中から彼らの分を与え、彼らに優しく語りかけなさい。⁹ もし自分たちが死に、無力な子供たちを残した場合の彼らの運命について心配する者たちは、孤児に対しても同じ心配を示すべきである。彼らが神を畏れ、正義を貫くように。¹⁰ 不当に孤児の財産を消費する者たちは、実際には自らの腹に火を飲み込んでいのである。彼らは間もなく燃え盛る炎の中で焼かれるであろう。

¹¹ あなた方の子供たちに関して、神はあなた方に命じられる。男性は二人の女性に相当する分け前を受け取る。しかし、もし女性が二人以上いるなら、彼らの分け前は相続財産の三分の二である。もし一人だけなら、彼女は半分を受け取るであろう。あなた方に子供がいる場合、あなた方が残すものの六分の一を各々の両親が受け取る。もし子

供がなく、相続人が両親であるなら、あなたの母親は三分の一を受け取る。もし兄弟姉妹がいるなら、あなたの母親は六分の一を受け取る。あなたが遺言する遺贈、または債務の返済の後で、あなたの父と息子に関して。あなた方は彼らの誰があなた方にとってより有益であるかを知らない。しかし、この分配の固定は神によるものであり、彼はすべてを知り、すべてを賢くされる方である。¹² あなた方は妻が残すものの半分を相続する。ただし、彼女たちが子供を残していない場合に限る。しかし、もし彼女たちが子供を残しているなら、彼女たちが遺言した遺贈や負った債務の支払い後、あなた方は彼女たちが残すものの四分の一を相続する。あなた方に子供がいなかった場合、あなたの妻はあなたが残すものの四分の一を相続する。しかし、もしあなたが子供を残しているなら、あなたの妻は遺贈や債務の支払い後、八分の一を相続する。もし男性または女性に直接の相続人(子供も両親も)がいなくても、兄弟または姉妹を残しているなら、彼らはそれぞれ六分の一を相続する。しかし、もし彼らが二人より多いなら、遺贈や債務の支払い後、誰にも害が及ばないように、彼らは三分の一を分け合う。それは神からの命令である。神はすべてを知り、忍耐強い者である。¹³ これらは神によって定められた限界である。神と彼の使徒に従う者は誰であれ、川が流れる園に入ることが許され、そこに永遠に住むであろう。それは最高の達成となるであろう。¹⁴ しかし、神と彼の使徒に不従順で、彼の限界を侵害する者は誰であれ、業火に投げ込まれ、そこに永遠にとどまるであろう。そして彼は屈辱的な懲罰を受けるであろう。

¹⁵ もしあなた方の女性が姦通を犯したら、あなた方の中から男性の証人を四人呼び出し、彼女たちに対して証言させなさい。もし彼らが彼女たちの罪を証言するなら、死が彼女たちを解放するまで、あるいは神が彼女たちに別の道を与えるまで、彼女たちを家に閉じ込めておきなさい。¹⁶ もし二人の男性が同様の忌まわしい行為を犯したら、両者とも罰しなさい。もし彼らが悔い改めてその行いを改めるなら、彼らを放っておきなさい。神は許し深く、慈悲深い者である。¹⁷ しかし神は、無知か

ら悪を行い、その直後に悔い改める者たちからの悔い改めだけを受け入れる責任を負われる。神はそのような人々に対して慈悲をもって向き直られる。彼はすべてを知り、すべてを賢くされる方である。¹⁸ 許しは、悪行を続け、死が彼らの一人に訪れた時、「今、私は悔い改めます！」と言う者たちのためではない。また、真理の否定者として死ぬ者たちのためでもない。われらは彼らのために苦痛な懲罰を用意した。

¹⁹ 信じる者たちよ、女性たちをその意志に反して相続することはあなた方には許されない。また、彼女たちが明らかに目に余る罪を犯した場合を除き、あなた方が彼女たちに与えたものの一部を奪い取るために、不当に彼女たちを拘束してはならない。公正かつ親切な方法で彼女たちと共に暮らささい。もしあなた方が彼女たちを嫌っても、神が豊かな善の源とするかもしれないものを嫌っているのかもしれない。²⁰ もしあなたが別の妻と入れ替えたいと望んでも、その結納金のいかなる部分も取り戻してはならない。たとえ彼女に宝を与えていたとしても。彼女を中傷し、明白な罪深さをもってそれを取り戻そうとするのか？²¹ あなた方が互いに親密になり、彼女があなたから厳粛な誓約を取ったのに、どうしてそれを取り戻せるのか？²² あなた方の父が結婚した女性たちとは結婚してはならない。ただし、過去にすでに起こったことを除いては。これは実に恥ずべき行為であり、忌まわしいものであり、悪しき慣行である。

²³ あなた方には妻として、母親、娘、姉妹、父方および母方の叔母、兄弟の娘、姉妹の娘、乳母、乳姉妹、妻の母親、そしてあなた方の保護下にある義理の娘たち、そしてあなた方が結婚を完遂した妻たちの娘たちと結婚することは禁じられる。しかし、もしあなた方が結婚を完遂していないならば、(彼女たちの娘たちと結婚しても)あなた方が非難されることはない。また、あなた方の息子の配偶者や、二人の姉妹を同時に娶ることも禁じられる。ただし、すでに過ぎ去ったことを除いては。確かに神は常に許し深く、慈悲深い者である。²⁴ また、結婚している女性も禁じられる。ただし、戦争捕虜としてあなた方の手に入った者たちを除いて

は。これは神からのあなた方への命令である。これら以外のすべての女性は、あなた方が正直な結婚において、姦通ではなく、財産をもって彼女たちを求める限り、あなた方にとって合法である。あなた方が彼女たちと結婚を完遂した時、彼女たちに支払われるべき結納金を与えなさい。そして結納金が決定された後で、相互の合意によってあなた方がなすことには罪はない。神はすべてを知り、賢明な方である。²⁵ もしあなた方の中に、自由な信じる女性と結婚する余裕がない者がいれば、彼が所有する信じる女性奴隷の一人と結婚させなさい。神はあなた方の信仰を最もよく知っておられる。あなた方は互いの仲間である。だから彼女たちの所有者の許可を得て彼女たちと結婚させ、公正なものに従って彼女たちに結納金を与えなさい。姦通を犯したり、秘密の情婦を持つことなく。そして、彼女たちが結婚した後で姦通を犯すなら、自由な女性に定められた懲罰の半分を受けるであろう。これは、罪に陥ることを恐れるあなた方の中の者たちのためのものである。しかし、自制を実践する方があなた方にとってより良い。神は最も許し深く、慈悲深い者である。

²⁶ 神はあなた方に物事を説明し、あなた方以前の者たちの道へと導き、慈悲をもってあなた方に向き直ることを望んでおられる。神はすべてを知り、すべてを賢くされる方である。²⁷ 彼はあなた方に対して慈悲をもって向き直ることを望んでいるが、自分自身の情熱に従う者たちは、あなた方が正しい道から遠く離れることを望んでいる。²⁸ 神はあなた方の負担を軽くすることを望んでおられる。なぜなら、人間は弱く創造されたからである。

²⁹ 信じる者たちよ、互いの財産を不当に消費してはならない。しかし、相互の合意による取引によってそれを行いなさい。互いに殺し合ってはならない。神はあなた方に対して最も慈悲深いからである。³⁰ もし誰かが逸脱と不正義を通してこれらのことを行うなら、われらは彼を業火に投げ込むであろう。そしてそれは神にとって容易なことである。³¹ もしあなた方が禁じられた大罪を避けるなら、われらはあなた方の小さな

悪行を帳消しにし、あなた方を名誉ある場所に入らせるであろう。³² 神があなた方の一部に他者よりも豊かに授けられた恵みを貪ってはならない。男性は彼の行いに応じて報われ、女性も彼女の行いに応じて報われるであろう。あなた方はむしろ神に彼の恵みを求めなさい。神はすべてのことを認識しておられる。³³ 私たちは、両親と近親者が残すすべてのものについて相続人を定めた。あなた方が契約を結んだ者たちについては、彼らもまたその正当な分を得るべきである。神はすべてのことの証人である。

³⁴ 男たちは女たちの保護者である。神が彼らの一部を他者よりも優れさせ、彼らがその財産を彼女たちに費やすからである。ゆえに、貞淑な女たちは従順であり、夫の不在中に神が守るよう望むものを守る。そして、あなた方が不貞を疑う者たちについては、彼女たちを諭し、次に寢床を分かち、そして最後に軽く打ちなさい。^aそうして彼女たちがあなたに従うならば、それ以上彼女たちに対して行動を起こしてはならない。神は崇高であり、偉大だからである。³⁵ もしあなた方が男と女の間に亀裂があるのを恐れるなら、彼の家族から一人、彼女の家族から一人、仲裁人を任命しなさい。もし両者が事態を正そうと望むなら、神は彼らの間に和解をもたらすであろう。彼はすべてを知り、すべてを認識しておられる。

³⁶ 神を崇拜しなさい。そして彼に仲間を配してはならない。両親、親戚、孤児、困窮者、親族の隣人、血縁のない隣人、仲間、旅人、そしてあなた方が正当に所有する者たちに善を尽くしなさい。神は傲慢で自慢する人々を好まない。³⁷ そして、けちで、他人に同じことをさせ、神がその恵みによって彼らに与えた富を隠す者たち(を好まない)。われらは真理を否定する者たちのために屈辱的な懲罰を用意した。³⁸ そして(神は)見せびらかしのために財産を使う者たち、神や最後の日を信じな

a これは象徴的な行為である。預言者は「神の創造物を決して打ってはならない」と言って、女性を打つことを禁じたからである。

い者たち(を好まない)。サタンを伴侶とする者は、邪悪な伴侶を持つ。³⁹ もし彼らが神と最後の日を信じ、神が彼らに授けたものの中から費やしたならば、彼らに何の害が降りかかっただろうか？神は彼らをよく知っておられる。⁴⁰ 神は、たとえ一粒の重さであっても、誰にも不正を働かない。もし善行があれば、彼は二倍にして報い、彼自身の恵みから計り知れない報いを与えるであろう。

⁴¹ われらが各々の共同体から証人を連れてきて、これらの人々に対してあなたを証人として連れてきた時、彼らはどうするだろうか？⁴² その日、真理を否定することに固執し、使徒に不従順であった者たちは、大地が彼らの上に平らになることを願うであろう。彼らは神から何も隠すことはできないであろう。⁴³ 信じる者たちよ、あなた方が何を言っているのか理解するまで、酔った状態で礼拝に近づいてはならない。また、不浄な状態にある時も—ただし旅をしている時を除く—入浴するまでは近づいてはならない。もしあなたが病気であるか、旅をしているか、あるいは用を足したばかりであるか、女性と交わった後で、水が見つからない場合は、清浄な砂を見つけて、それで顔と手を拭きなさい。神は恵み深く、許し深い者である。

⁴⁴ 書の一部を所有していた者たちのことを知らないのか？彼らは誤りを買取り、あなた方が道を失うことを望んでいる。⁴⁵ 神はあなた方の敵が誰であるかをよく認識しておられる。神は保護者として十分であり、神は支持者として十分である。⁴⁶ 一部のユダヤ人は言葉を文脈から外して、「私たちは聞いたが、従わない」とか「聞くが、耳を傾けない」と言う。そして「私たちを見ろ」と言って、宗教を軽蔑するためにフレーズをねじ曲げる。しかし、もし彼らが「私たちは聞き、従う」と言い、「私たちに耳を傾け、私たちを好意的に見なさい」と言っていたならば、それは彼らにとってより良く、より適切だったであろう。神は彼らの反抗ゆえに彼らを拒絶された。だから彼らは、彼らのごく一部を除いて、信じないであろう。

⁴⁷ おお聖典の民よ、われらが下したものを信じなさい。それはあ

なた方が持っているもの(予言)を確認するものである。われらがあなたの方の方向感覚を破壊し、混乱させるか拒絶する前に、ちょうど安息日を破った者たちをわれらが拒絶したように。神の命令は常に実行される。⁴⁸ 神は、彼に何かを配する者を決して許さないであろう。彼が望む者には、それ以外の何でも許すであろう。神に仲間を配する者は、巨大な罪を犯しているのである。⁴⁹ 自らを清いと考える者たちを見なかったか? 実に、神は御心である者を誰でも清められ、誰にも髪の毛一本分ほどの不正も行われぬ。⁵⁰ 彼らがいかに自らの嘘の発明を神に帰しているかを見なさい。これ自体が公然たる罪である!

⁵¹ 書の一部を所有していた者たちを見なかったか? 彼らは偶像と悪魔を信じる。彼らは真理を否定する者たちについて、「彼らの方が信者たちよりも正しく導かれている」と言う。⁵² かれらこそ、神が拒絶された者たちである。神が拒絶された者たちを助ける者は誰も見つからないであろう。⁵³ 彼らは神の王国に分け前があるのか? もしそうならば、彼らは他者にナツメヤシの種の溝ほどのものも与えないだろう。⁵⁴ 彼らは、神がその恵みによって彼らに与えられたもののために、他者を嫉妬するのか? われらはアブラハムの家に書と知恵を与え、彼らに大きな王国を与えた。⁵⁵ 彼らの中にはそれを信じた者もいれば、それから身を引いた者もいた。地獄は燃え盛る火として十分であろう。⁵⁶ われらはわれらの啓示を拒絶する者たちを業火に送るであろう。彼らの皮膚が焼け焦げたら、われらは彼らに新しい皮膚と取り替え、懲罰を味わい続けさせるであろう。神は力強く、賢明な方である。⁵⁷ 信じ、善行を行う者たちについては、われらは彼らを川が流れる園に入らせ、そこに永遠に住まわせるであろう。そこに彼らは清らかな配偶者を得るであろう。そしてわれらは彼らを厚い日陰に入れるであろう。

⁵⁸ 神はあなた方に、その託されたものを正当な所有者に返すよう命じる。そして人々を裁く時、公平に裁くよう命じる。神のあなた方への指示は素晴らしい。神はすべてのものを聞き、見る。⁵⁹ 信じる者たちよ、神に従い、使徒に従い、そしてあなた方の中の権威を委ねられた者た

ちに従いなさい。もしあなた方がいかなる事柄についても争うなら、もしあなた方が真に神と最後の日を信じるならば、それを神と使徒に委ねなさい。これが最善であり、最終的にも最良である。⁶⁰ あなたに啓示されたもの、そしてあなた以前の(他の預言者たちに)啓示されたものを信じると公言する者たちを見なかったか?彼らは、彼らに従わないよう命じられていたにもかかわらず、邪悪な人々の裁きを求める。そしてサタンは彼らを遠く迷わせたいと望んでいる。⁶¹ 彼らが「神が下されたものと使徒のもとに来なさい」と言われると、あなたは偽善者たちがあなたから背を向けるのを見るだろう。⁶² 彼らが自らの行いのために苦難に見舞われた時、どうなるだろうか?彼らはあなたのもとへ来て、神に誓いながら、自分たちは善意と和解しか求めていなかったと言うであろう。⁶³ しかし神は彼らの心にあるすべてを知っている。だから彼らが言うことは無視し、彼らを諭し、彼らの心に響くような言葉で彼らに語りかけなさい。

⁶⁴ われらが送ったすべての使徒は、神の許しによって従われることを意図されていた。もし彼らがあなたのもとへ来て、自らを不義に陥れた時に神に赦しを求め、使徒が彼らのために赦しを祈っていたならば、彼らは神が常に許し深く、慈悲深い者であることを見出したであろう。

⁶⁵ あなたの主にかけて言うが、彼らは、彼らの争いにおいてあなたの裁定を求め、あなたが決定したことについて心の中に何の疑いもなく、それを心から受け入れるまでは、真の信者とはならないであろう。⁶⁶ もしわれらが彼らに「命を捨てよ、あるいは住居を去れ」と命じていたならば、彼らのごく一部を除いて、彼らはそれをしなかったであろう。もし彼らが命じられたことを行っていたならば、それは彼らにとってより良く、また(彼らの信仰にとって)より強化されるものであつただろう。⁶⁷ そしてわれらは彼らにわれら自身の偉大な報いを与え、⁶⁸ そして彼らを正しい道に導いたであろう。⁶⁹ 神と使徒に従う者は誰であれ、彼が祝福された者たちの中にいるであろう。使徒たち、真実を語る者たち、証人たち、そし

て義しい者たち。なんと素晴らしい仲間たちであることか!⁷⁰ それが神の恵みである。神の無限の知識は十分である。

⁷¹ 信じるあなた方よ、用心し、それから小集団で、あるいは全員で共に出陣しなさい。⁷² あなた方の中には後れを取る者がおり、もしあなたが挫折に遭うと、彼らは言うだろう、「神は私に恩寵を垂れた。私は彼らと一緒にいなかった」と。⁷³ しかし、もし神の恵みによって、幸運があなた方の分となれば、彼らは言うだろう、「もし私も彼らと一緒にいたならば、大きな成功を収められただろうに」と、まるであなた方と彼らの間に何の愛情も存在しなかったかのように。⁷⁴ この世の生を来世と交換しようとする者たちは、神の目的のために戦いなさい。神の目的のために戦う者は誰であれ、殺されるか勝利するかに関わらず、彼には偉大な報いを与えるであろう。⁷⁵ そして、どうしてあなた方が神の目的のために戦わないことがありえようか。そして、無力な老人、女性、子供たちのために戦わないことがありえようか。彼らは言う、「主よ、この不義を働く者たちの町から私たちを救い出してください。あなたの恵みの中から私たちに守護者を与え、あなたの恵みの中から私たちに助け手を与えてください」と。⁷⁶ 信じる者たちは神の目的のために戦い、信仰を拒絶する者たちはサタンのために戦う。ならばサタンの味方と戦いなさい。サタンの企みは実に弱い。

⁷⁷ 彼らに「手を控えて、礼拝を捧げ、定められた施しを払いなさい」と言われた者たちを見なかったか?そして戦うよう命じられた時、彼らの中には、神を恐れるべきであるのと同様に人間を恐れたり、あるいはそれ以上に恐れたりする者たちがいる。彼らは言う、「私たちの主よ、なぜ私たちに戦いを命じられたのですか?もう少しだけ延期してください!」言え、「この世の利益は取るに足らず、来世は神を畏れる者にとってより良いであろう。そしてあなた方は微塵も不正を被ることはないであろう。⁷⁸ あなた方がどこにいても、死はあなた方を捕らえるであろう。たとえ堅固な塔の中にいたとしても。」もし彼らに何か良いことが降りかかると、「これは神からのものだ」と言い、もし悪いことが降りかかると、「

これはあなたからだ」と言う。彼らに言え、「すべては神からのものだ。」しかし、これらの人々は一体どうして何も理解できないのか?⁷⁹ あなたに降りかかる良いことは何であれ、それは神からのものである。そしてあなたに降りかかる悪いことは何であれ、それはあなた自身からである。われらはあなたを人類への使徒として送り出した。そして神は証人として十分である。

⁸⁰ 使徒に従う者は神に従う。背を向ける者たちについては、われらはあなたを彼らの守護者として送ったのではないことを知りなさい。

⁸¹ 彼らは言う、「私たちはあなたに従います」と。しかし彼らがあなたのものを去るとすぐに、彼らの一団は夜中にあなたの言葉に逆らう計画を立てる。神は彼らが企むことすべてを記録される。だから彼らを見捨て、神に信頼を置きなさい。神は委託者として十分である。⁸² 彼らはクルアーンについて熟考しないのか?もしそれが神以外からのものであったなら、彼らはその中に多くの矛盾を見出したであろう。⁸³ 彼らが平和のニュースであろうと恐ろしいニュースであろうと、何か聞くと、それを広め回る。しかし、もし彼らがそれを使徒と責任ある者たちに委ねていたなら、彼らの中でそれを調査し、事の真実に到達できた者たちがいたであろう。しかし神の恵みと慈悲がなかったなら、あなた方のごく一部を除いて、すべてがサタンに従っていたであろう。

⁸⁴ だから神の目的のために戦いなさい。あなたは自分自身にのみ責任を負う。信者たちを促しなさい。神は真理を否定する者たちの力[暴力]をかわすであろう。なぜなら彼は力において強く、懲罰を与えることにおいて強いからである。⁸⁵ 善い目的のために結束する者は誰であれ、その祝福に分け前を持つであろう。そして邪悪な目的のために結束する者は誰であれ、その役割について責任を負うであろう。なぜなら、確かに神はすべてのものを見守っておられるからである。⁸⁶ 誰かに挨拶されたら、より良い挨拶で応じるか、少なくともそれを返すようにしなさい。神はすべてのことを計算に入れる。⁸⁷ 彼こそ神である。彼以外に

神はいない。彼は疑いようのない復活の日にあなた方すべてを集めるであろう。誰の言葉が神の言葉よりも真実でありうるだろうか？

⁸⁸ 神自身が彼らの悪行ゆえに偽善者たちを(不信仰に)突き返したのに、どうしてあなた方は偽善者たちに関して二つのグループに分かれているのか？神が迷わせることを許す者たちを導こうとするのか？神が迷わせることを許す者たちを導くことはできない。⁸⁹ 彼らはあなた方に真理を否定させ、あなた方すべてが同じようになることを望んでいる。彼らが神の道において移住するまでは、彼らを味方として選んではならない。もし彼らが(敵意に)背を向けるなら、彼らを、見つけ次第捕らえて殺しなさい。そして彼らの中から友人や助け手を選んではならない。⁹⁰ しかし、あなた方が条約を結んでいる人々に避難を求める者、あるいはあなた方と戦うこと、または彼ら自身の民と戦うことを心が禁じるためにあなた方のところに来る者たちを除外するべきである。もし神が望まれたなら、彼はあなた方の上に彼らに権力を与えたであろう。そうすれば彼らはあなた方に対して武器を取っていただろう。したがって、もし彼らが^a あなた方から離れ、敵意を止め、あなた方に平和を提案するなら、神はあなた方が彼らを害することを許さない。⁹¹ 他の人々の中には、あなた方からも彼ら自身の民からも安全であることを望む者がいるが、害を与える機会を見つけるたびに、それに飛び込むだろう。だからもし彼らが撤退せず、あなた方に平和を申し出ず、あなた方との戦いを控えもしないなら、彼らと遭遇した場所で捕らえ殺しなさい。そのような人々に対して、われらはあなた方に明確な権限を与えたのである。

⁹² いかなる信者も、過失による場合を除いて、別の信者を殺してはならない。過失により信者を殺した者は、信仰する奴隷を解放し、犠牲者の親族に血の金を支払うべきである。ただし、彼らが慈善行為としてそれを放棄する場合を除く。もし犠牲者があなた方と戦争中の民に属

a 序文のxivページからxviiページを参照。

するが、信者であるならば、その賠償は信仰する奴隷を解放することである。もし彼があなた方が条約を結んでいる民に属するなら、その親族に血の金を手渡し、信仰する奴隷を解放すべきである。手段を持たない者は、連続して二ヶ月間断食しなければならない。そのようなものが神によって課せられた贖罪である。神はすべてを知り、賢明な方である。

⁹³ もし誰かが故意に信者を殺すならば、その報いは永遠の地獄である。神は彼を断罪し、拒絶し、彼のために恐ろしい懲罰を用意するであろう。

⁹⁴ 信じる者たちよ、神の目的のために出陣する時、十分に調査しなさい。そして、平和の挨拶をあなた方に提供する者たちに、「あなた方は信者ではない!」と言ってはならない。あなた方がこの世の良いものを求めているからである。神のもとには豊かな良いものがある。あなた方自身も以前は同じ状況にあったが、神はあなた方に彼の特別な恵みを与えられた。したがって、調査には注意を払いなさい。確かに神はあなた方がなすことをよく認識しておられる。⁹⁵ 必要に迫られた者たちを除いて、留まる信者たちは、その財産と自身をもって神の目的のために懸命に努力する者たちとは等しくない。神は、財産と自身をもって努力する者たちに、留まった者たちよりも高い位階を与えられた。神はすべてに良い報いを約束された。しかし、彼のために努力する者たちへの報いははるかに大きい——⁹⁶ 彼によって授けられる高い位階、そして赦しと慈悲。神は許し深く、慈悲深い者である。

⁹⁷ 天使たちが自らを不義に陥れた者たちの魂を奪う時、彼らは尋ねるだろう、「あなた方に何が問題だったのか?」彼らは答えるだろう、「私たちは地上であまりにも弱すぎました。」天使たちは言うだろう、「神の大地は、あなた方が他の場所へ移住するのに十分なほど広大ではなかったのか?」かれらこそ、その住処が地獄となる者たちであり、忌まわしい行き着く先である——⁹⁸ ただし、男性、女性、子供の中の、いかなる計画も立てられず、いかなる脱出方法も見つけられないような弱い者たちを除く。⁹⁹ 神は彼らを赦すかもしれない。神は常に赦し、常に許し深

い者である。¹⁰⁰ 神の目的のために移住する者は誰であれ、地上に多くの避難場所と豊かな食料を見出すであろう。神と彼の使徒の目的のために家を出る者で、その後死に捕らえられる者は、神によって報われるであろう。神は最も許し深く、常に慈悲深い者である。

¹⁰¹ あなた方(信者たち)が地上を旅している時、もし不信仰者たちがあなた方を害するかもしれないと恐れるならば、祈りを短縮しても非難されることはないであろう。彼らはあなた方の公言された敵である。¹⁰² あなた方が信者たちの中にいて、彼らを率いて礼拝する時、彼らの一部だけが武器を携えてあなたと共に立ちなさい。彼らがひれ伏した後、彼らを後方に退かせ警護に立たせ、それからまだ祈っていない別の集団が前に出てきてあなたと共に祈らせなさい。そして彼らも警戒し、武器を携えなさい。真理を否定する者たちは、あなた方が武器や荷物に対して油断するのを望んでいる。そうすれば彼らが突然あなた方を襲うことができるからである。豪雨や病気に見舞われた時に武器を置くことは、あなた方にとって何の違反でもない。そして常に防衛のためにあらゆる予防措置を講じなさい。神は真理を否定する者たちのために屈辱的な懲罰を用意された。¹⁰³ 礼拝を終えたら、立っている時も、座っている時も、横になっている時も、神を思い出しなさい。安全になったら、定められた形で礼拝を捧げなさい。信者たちは定められた時間に礼拝を捧げる義務がある。¹⁰⁴ 敵の追求において緩んではならない。もしあなたが苦難を経験しているなら、彼らも同様の苦難を経験している。しかし、あなたが神から希望できるものは、彼らにはできない。神はすべてを知り、賢明な方である。

¹⁰⁵ われらはあなたに書を真理をもって下した。あなたが神があなたに示したものによって人類を裁くためである。そして裏切り者の代弁者となってはならない。¹⁰⁶ 神に赦しを請いなさい。彼は最も許し深く、慈悲深い者である。¹⁰⁷ そして自分自身に不正直な者たちのために弁護してはならない。確かに神は、裏切り者で罪深い者を愛さない。¹⁰⁸ 彼らは人々の前では恥じるが、夜中に、彼が承認しないことを口にして陰謀を

企む時、彼らのそばに神がおられるにもかかわらず、神の前では恥じない。そして実に神は彼らがなすことすべてを完全に認識しておられる。

¹⁰⁹ あなたはこの世の生において彼らのために弁護するかもしれない。しかし、復活の日に神に対して誰が彼らのために弁護するだろうか。そして誰が彼らの擁護者となるだろうか？¹¹⁰ しかし、悪を行う者、あるいは自らの魂を不義に陥れた者が、その後神に赦しを請うならば、神が許し深く、慈悲深い者であることを見出すであろう。¹¹¹ 罪を犯す者は、自分自身の魂に対してそうする。神はすべてを知り、賢明な方である。¹¹² そして罪や違反を犯した者が、その後無実の人にそれを罪状として押し付けるなら、確かに中傷と明白な罪の咎を負うであろう。¹¹³ もし神の恵みと慈悲があなたになかったなら、彼らの一部はあなたを迷わせようと決意していたが、彼らは自分自身以外、誰も迷わせることはできない。また彼らはあなたに何の害も与えることはできない。神はあなたに書と知恵を下し、あなたが知らなかったことを教えられた。神のあなたへの恩恵は実に大きかった。

¹¹⁴ 彼らの秘密の会話のほとんどに良いことはない。ただし、慈善と親切、あるいは人々の間の和解を命じる場合を除く。もし誰かがそれを神の喜びを求めて行うなら、われらは彼に計り知れない報いを与えるであろう。¹¹⁵ しかし、導きが明確になった後で使徒に反対し、信者たちの道以外の道をたどる者は誰であれ、われらは彼に選んだ道を追求させ、彼を地獄に投げ込むであろう。忌まわしい行き先である。

¹¹⁶ 確かに、神は彼に仲間を配することを許さないであろう。彼は御心である者には、それ以外の何でも許すであろう。神に仲間を配する者は、実に遠く迷い去ったのである。¹¹⁷ 彼ら(多神教徒たち)は女神たちを呼びかけ、彼らは反逆者であるサタン以外には誰も呼びかけない。¹¹⁸ サタンとは、神が拒絶された者である。彼は(神に)言った、「私は確かにあなたの僕の中からある数を取り、¹¹⁹ 彼らを迷わせ、彼らを虚しい欲望で満たし、彼らに家畜の耳を裂くよう命じよう。私は彼らに神の創造を改ざんするよう命じよう。神の代わりにサタンを保護者として

選ぶ者は、完全に破滅する。¹²⁰ 彼は彼らに約束を与え、彼らを虚しい欲望で満たす。しかしサタンの約束は、妄想にすぎない。¹²¹ 地獄が彼らの家となるであろう。彼らはそこから何の避難所も見出さないであろう。¹²² 信じ、善行を行う者たちについては、われらは彼らを川が流れる園に入らせるであろう。そこに彼らは永遠に住むであろう。これは神からの約束である。そして誰の言葉が神の言葉よりも真実でありうるだろうか？

¹²³ それはあなた方の欲望でもなく、聖典の民の欲望でもなく、それが優勢となるであろう。悪を犯す者は誰であれ、それに応じて報われるであろう。彼は神以外に自分自身のための保護者や擁護者を見出さないであろう。¹²⁴ 善行を行う者は誰であれ、それが男であれ女であれ、信者である限り、楽園に入るであろう。誰も微塵も不正を被ることはないであろう。¹²⁵ 完全に自らを神に服従させ、正しく行動し、信仰においてまっすぐなアブラハムの宗教に従う者よりも、信仰において優れた者がいるだろうか。神は彼を友として選ばれたのである。¹²⁶ 天と地にあるすべては神に属する。神はすべてのことを認識しておられる。

¹²⁷ 彼らは女性に関してあなたに相談する。言え、「神は彼らに関してあなたに指示を与えられた。」書の中であなたに与えられた命令は、あなた方が彼らに定められたものを与えず、それでも結婚したいと望む孤児の少女たち、そして無力な子供たちに関するものである。彼はあなたに孤児たちと公正に接するよう指示した。神はあなたがなすすべての善を認識しておられる。¹²⁸ もし女性が夫からの不当な扱いや無関心を恐れるなら、和解を求めることは彼女にとって何の違反でもない。和解が最善だからである。しかし人々は利己的な貪欲に陥りやすい。もしあなたが善を行い、彼を畏れるなら、確かに神はあなたがなすことを認識しておられる。¹²⁹ あなた方は、どれほどそう望んでも、妻たちを等しく公正に扱うことは決してできないであろう。しかし、一人の妻を完全に無視して、(結婚と離婚の間に)宙ぶらりんにしておくべきではない。そしてもしあなたが改善し、正しく行動するなら、確かに神は最も許し深く、

慈悲深い者である。¹³⁰ もし彼らが別れると決意するなら、神は彼ら双方に彼自身の豊かな恵みの中から補償するであろう。神は豊かに与える者であり、賢明な方である。

¹³¹ 天と地にあるすべては神に属する。われらはあなた以前に聖典を与えられた者たちに命じ、あなた方にも神を畏れるよう命じる。もしあなたが彼を否定するなら、天と地にあるすべてが神に属することを知らないさい。神は自給自足であり、称賛されるべきお方である。¹³² 天と地にあるすべては神に属する。そして神ほど信頼に値する者はいない。¹³³ もし彼が望むならば、あなた方すべてを完全に排除し、他の人々に置き換えることができる。彼にはそうする完全な力がある。¹³⁴ もしこの世の報いを望むなら、(彼には)神のもとにはこの世と来世の(両方の)報いがあることを(思い出させなさい)。そして神は実にすべてを聞き、すべてを見る者である。

¹³⁵ 信じる者たちよ、厳格に正義を貫き、たとえそれがあなた方自身、あなた方の両親、あるいはあなた方の親族に反することであっても、神のために証言しなさい。彼らが富者であろうと貧者であろうと、神は彼ら双方についてよりよく知っておられる。だから、正義から逸脱しないよう、あなた方自身の欲望に従ってはならない。もしあなたが真実を隠したり、避けたりするなら、神があなたがなすことすべてをよく認識しておられることを思い出しなさい。

¹³⁶ 信じる者たちよ、神と彼の使徒、そして彼が彼の使徒に下した聖典、さらには彼が以前に下したものも信じなさい。神、彼の天使たち、彼の聖典、彼の使徒たち、そして最後の日を否定する者は、確かに遠く迷い去ったのである。¹³⁷ 信じるようになり、そして真理を否定し、再び信じるようになり、再び真理を否定し、その後、真理の否定において頑固になる者たちについては—神は決して彼らを赦さず、彼らを導くこともないであろう。¹³⁸ 偽善者たちには苦痛な懲罰があることを警告しなさい。¹³⁹ 信者たちよりも真理の否定者たちを味方として選ぶ者たちにつ

いては—彼らは彼らとの交際において名誉を求めるのか?確かに、すべての名誉は神に属する。

¹⁴⁰ 彼は書の中であなたに指示を与えた。人々が神の啓示を否定したり嘲笑したりするのを聞く場合、彼らが他の話をする場合を除いて、彼らと一緒に座ってはならない。さもなければあなた方自身も彼らのようになるであろう。神はすべての偽善者と真理を否定する者たちを地獄に共に集めるであろう。¹⁴¹ 偽善者たちはあなた方に何が起こるか様子を伺っており、もし神があなた方に勝利を授けるなら、彼らは言うだろう、「私たちもあなた方の側でしたではないか?」と。そしてもし真理を否定する者たちがそれ[勝利]の分け前を得るなら、彼らは彼らに言うだろう、「私たちはあなた方が勝つのを助け、信者たちからあなた方を守ったではないか?」と。神は復活の日にあなた方[すべて]を裁くであろう。そして神は真理を否定する者たちが信者たちを害することを決して許さないであろう。

¹⁴² 偽善者たちは神を出し抜こうとする—しかし彼らを出し抜くのは彼(神)である。そして彼らが礼拝に立ち上がる時、しぶしぶと、他人に見せるためにそうする。そして彼らはほとんど神を思い出もしない。

¹⁴³ 彼らはどちらにも属さず、両者の間を動揺する。しかし神が迷わせることを許す者については、あなたは決して彼のための道を見出すことはできない。¹⁴⁴ (あなた方と戦っている)真理の否定者たちを、信者たちに優先して味方としてはならない。あなた方は神に対して、自らに対する明確な証拠を与えるつもりなのか?¹⁴⁵ 偽善者たちは確かに業火の最下層にいるであろう。そしてあなたは彼らのための助け手を見出すことはないであろう。¹⁴⁶ しかし、悔い改めてその行いを改め、神に堅くしがみつき、神への崇拝において誠実である者たちは、信者たちと共にされるであろう。そして神は信者たちに偉大な報いを与えるであろう。¹⁴⁷ もしあなた方が彼に感謝し、彼を信じるならば、なぜ神があなた方を罰する必要があるだろうか?神は感謝を知り、認識しておられる。

¹⁴⁸ 神は邪悪な言葉を発することを好まない。ただし、不当に扱

われた者の場合を除く。神はすべてを聞き、すべてを知っておられる。

¹⁴⁹ あなたがどんな善を明らかにしても隠しても、あるいはどんな悪を許しても、神は許し深く、全能である。¹⁵⁰ 神と彼の使徒を否定し、神と彼の使徒との間に区別をつけようとし、「私たちは一部の使徒は信じるが、他の者は信じない」と言い、その中間的な立場を取ろうと望む者たち。¹⁵¹ これらの者たちこそ、疑いなく真理を否定している者たちであり、われらは否定者たちのために屈辱的な懲罰を用意した。¹⁵² 神とその使徒を信じ、彼らの誰の間にも区別をつけない者たちには—彼らには確かに報いを与えるであろう。神は最も許し深く、慈悲深い者である。

¹⁵³ 聖典の民はあなたに、天から書を下すよう求める。彼らはモーセにはそれ以上のことを要求した。彼らは彼に言った、「私たちに神を直接見せてくれ」と。彼らの邪悪さゆえに、雷が彼らを襲った。その後、真理のすべての証拠が彼らにきた後にもかかわらず、彼らは(金の子牛を)崇拜するようになった!しかし、われらはそれさえも赦し、モーセに明確な権威を授けた。¹⁵⁴ そしてわれらは、彼らと契約を結ぶ間、山を彼らの上に持ち上げ、彼らに言った、「門を謙虚に入りなさい」と。そしてわれらはまた彼らに命じた、「安息日に関して侵害してはならない」と。われらは彼らから堅固な契約を取った。

¹⁵⁵ しかし彼らは契約を破り、神のしるしを拒絶し、預言者たちを正当な理由なく殺害し、「私たちの心は封じられている」と言った。真理を否定したことゆえに、彼らの心を封じたのは神である。彼らのごく一部を除いて、彼らには信仰がない。¹⁵⁶ 彼らは真理を否定し、マリアに対して巨大な中傷を述べた。¹⁵⁷ 彼らは宣言した、「私たちはメシア、マリアの子イエス、神の使徒を殺害した」と。彼らは彼を殺しても、十字架につけてもいない。しかし、彼らには(あたかもそうであったかのように)そう見えただけである。そしてこの事柄に関して意見を異にする者たちは、それについて疑いの中にいる。彼らにはそれについて明確な知識はなく、単なる推測に従っているだけである。しかし彼らは確かに彼を殺して

はいない。¹⁵⁸ 神は彼を御自身のもとに高められた。神は全能であり、賢明な方である。

¹⁵⁹ 聖典の民の中に、彼が死ぬ前にそれを信じない者は誰もいない。そして復活の日には、彼は彼らに対する証人となるであろう。¹⁶⁰ ユダヤ人たちの不義のために、われらは以前彼らに許されていた特定の良いものを彼らに禁じた。彼らが頻繁に他者を神の道から妨げたため。¹⁶¹ 高利を取ったためである。そうすることは禁じられていたのに。そして彼らが人々の財産を不当に貪り食ったためである。(真理を)否定し続ける彼らの中の者たちのために、われらは苦痛な懲罰を用意した。¹⁶² しかし、彼らの中で知識に確固たる根拠を持ち、あなたに啓示されたもの、そしてあなた以前に啓示されたものを真に信じる者たち、そして定期的に礼拝を行い、ザカート(定められた施し)を払い、神と最後の日を信じる者たちには、われらは確かに大きな報いを与えるであろう。

¹⁶³ われらはあなた[預言者よ]に啓示を送った。ノアと彼以後にきた預言者たちにそうしたように。アブラハム、イスマーイール、イサク、ヤコブ、そして諸部族に、イエス、ヨブ、ユースス、ハールーン、そしてソロモンに、そしてダビデにはわれらが詩篇を与えた。¹⁶⁴ われらはあなたに、以前に送った一部の使徒について話したが、まだ話していない他の使徒もいる。神はモーセに直接語られた。¹⁶⁵ 彼らは使徒であり、良き知らせを伝え、警告を与えた。使徒たちが来た後、人類が神の前で何の言い訳もできないようにするためである。神は力強く、賢明である。^a

a 神は人間を創造し、それから楽園と地獄を創造された。人間は後に地上に定住させられた。ここで人間は望むように行動する自由を持つ。しかしこの自由は永遠ではない。それは一時的なものであり、彼の試練のために意図されている。善と悪とが互いに区別されるためである。神は、自由を与えられているにもかかわらず、現実的な態度を取り、神の意志に自らを服従させることができる者たちを見守っておられる。

¹⁶⁶ しかし、神は彼があなたに下したことを証言する。彼は彼の知識をもってそれを下したのだ。天使たちもまた証言する。そして神は証人として十分である。¹⁶⁷ 真理を否定することに固執し、他者を神の道から遠ざける者たちは、正しい道から遠く逸れたのである。¹⁶⁸ 神は真理を否定し、不正に振る舞う者たちを赦さないであろう。また彼らを導くこともないであろう。¹⁶⁹ 地獄の道以外には、いかなる道にも導くことはない。そこに彼らは永遠にとどまるであろう。それは神にとって十分に容易なことである。¹⁷⁰ 人類よ！使徒はあなた方の主から真理を携えてあなた方に來たのだ。だからあなた方自身の利益のために信じなさい。そしてもしあなたが真理を否定するなら、天と地にあるすべてが神に属することを知らなさい。神はすべてを知り、賢明である。

¹⁷¹ 聖典の民よ！あなた方の宗教において極端に走ってはならない。神について真実以外は何も言ってはならない。メシア、マリアの子イエスは、神の使徒であり、彼の言葉であり、マリアに伝えられた、彼からの霊にすぎなかった。だから神と彼の使徒たちを信じなさい。そして「(神は)三つある」と言ってはならない。やめなさい、それがあなた方にとってより良いであろう。確かに、神は唯一無二の神である。彼の聖なることは子を持つこととは遠く離れている。天にあるものも地にあるものも、すべて彼に属する。そして神は守護者として十分である。¹⁷² 確かに、メシアは神の僕と見なされることを決して軽蔑しないだろう。彼に最も近い天使たちもそうであろう。もし誰かが彼を崇拜することを軽蔑し、傲慢になるなら、彼はどのような場合でも彼らすべてを彼の前に集めるであろう。¹⁷³ 信じ、善行を行う者たちは、彼によって完全に報われるであろう。そして彼は彼の恵みの中からさらに多くを彼らに与えるであろう。そして、軽蔑し、傲慢であった者たちについては、彼は彼らを苦痛な懲罰で罰するであろう。そして彼らは神に対して、助け手も保護者も見出さないであろう。¹⁷⁴ 人々よ、あなた方は主から明確な証拠を受け取った。われらはあなた方に明確な光を下した。

¹⁷⁵ 神を信じ、彼に堅くしがみつく者たちについては、彼は彼らを彼

の慈悲と彼の恵みの中に入れるであろう。彼は彼らをまっすぐな道で彼のもとへ導くであろう。¹⁷⁶ 彼らはあなたに指示を求める。言え、「神はあなた方に間接的な相続人に関して指示される。もし人が子供なくして死に、姉妹がいるなら、彼女は彼が残すものの半分を受け取る。そして彼女が子供なくして死んだ場合、彼は彼女の相続人となる。もし姉妹が二人いるなら、彼らは彼が残すものの三分の二を受け取る。もし兄弟と姉妹がいるなら、男性の分け前は女性二人のそれに等しいであろう。神はあなた方が道に迷わないように、物事をあなた方に明確にされる。神はすべてのことを認識しておられる。」

5. 食卓 (アル・マーイダ)

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ 信じる者たちよ、あなた方の義務を果たしなさい。ここにあなた方に発表されるもの以外、すべての家畜はあなた方にとって合法である。あなた方が巡礼中である間は、狩猟を殺すことは禁じられる—神は御心であることを命じられる。² 信じる者たちよ、神のしるし、聖なる月、犠牲用の動物、花輪を身につけた動物(犠牲とされるべきであることを示すもの)、そして主からの恵みと喜びを求めて聖なる家へ向かう途中の者たちの神聖さを侵害してはならない。巡礼を終え、巡礼者の衣を脱いだら、狩りをしてよい。あなた方を聖なるモスクから妨げた者たちの敵意が、あなた方を罪に導いてはならない。善行と敬虔さにおいて互いに助け合いなさい。罪と違反において互いに助け合ってはならない。神を畏れなさい!神は懲罰において厳しい。

³ あなた方には、死肉、血、豚肉が禁じられる。そして神以外の名が唱えられた肉、絞め殺されたもの、殴り殺されたもの、落ちて死んだもの、角で突かれて死んだもの、あるいは野生動物に半ば食べられたものも禁じられる。ただし、あなたが(まだ生きているうちに適切に屠殺して)合法にしたもの、そして祭壇で屠殺されたものは除く。矢を用いて(

肉を)分割することも禁じられる。それは罪深い行いである。真理を否定する者たちは、今日、あなた方の宗教に害を与えることを絶望した。だから彼らを恐れるな。私を恐れなさい。今日、私はあなた方のためにあなた方の宗教を完成させ、あなた方への私の祝福を完成させた。私はあなた方のためにイスラムをあなた方の宗教として選んだ。しかし、もし誰かが罪を犯す意図なく、飢えに強いられて禁じられたものを食べるなら、彼は神が許し深く、慈悲深い者であることを見出すであろう。

⁴ もし彼らが、自分たちに何が合法とされたかを尋ねるなら、言え、「すべての良いものはあなた方のために合法とされた。そしてあなた方が教えた鳥や獣が捕らえる獲物も、神があなた方に教えたように彼らを訓練してあるなら合法である。だから彼らがあなたのために捕らえたものを食べなさい。ただし、まずその上に神の名を唱えなさい。神を畏れなさい。なぜなら神は計算において迅速であるから。」⁵ 今日、すべての良いものがあなた方のために合法とされた。聖典の民の食べ物あなた方にとって合法であり、あなた方の食べ物も彼らに合法である。貞淑な信じる女性たちと、あなた方以前に書を与えられた民の貞淑な女性たちも、あなた方にとって合法である。ただし、あなたが彼女たちにその結納金を与え、彼女たちと結婚し、姦通を犯したり、彼女たちを愛人として選んだりしない場合に限る。信仰を拒絶する者の行いは無に帰し、来世で彼は失われた者たちの中にいるであろう。

⁶ 信じる者たちよ、礼拝に立ち上がるときは、顔と肘まで手を洗い、頭を拭き、足首まで足を洗いなさい。もし不浄な状態にあるなら、全身を洗いなさい。しかし、もしあなたが病気であるか、旅をしているか、あるいは用を足したばかりであるか、配偶者と交わった後で、水が見つからない場合は、清浄な砂を取り、それで顔と手を拭きなさい。神はあなた方にいかなる負担もかけたいとは思っていない。彼はあなた方を清め、あなた方への彼の恵みを完璧にしたいと望んでおられる。あなた方が感謝するようになるために。

⁷ 神があなた方に授けた恵みと、あなた方が「私たちは聞き、従い

ます」と言った時に彼があなた方と結んだ契約を思い出さない。神を畏れなさい。神は人間の最も奥深くの思考を完全に認識しておられる。⁸ 信じる者たちよ、神の目的のために堅固であり、公正をもって証言しなさい。他者への敵意によってあなた方を正義から逸脱させてはならない。公正に振る舞いなさい。それが神を畏れることに近い。神を畏れなさい。神はあなたがなすことすべてを認識しておられる。⁹ 神は、信じ、善行を行う者たちに赦しと大きな報いを約束された。¹⁰ しかし、真理を否定し、われらのしるしを否定する者たちは地獄に定められている。¹¹ 信じる者たちよ、神があなた方に授けた祝福を思い出さない。ある人々があなた方に手を伸ばそうとした時、彼は彼らの手をあなた方から引き止めた。神を畏れなさい。そして神にこそ信じる者たちは信頼を置くべきである。

¹² 神はイスラエルの子らと契約を結び、彼らの中から十二人の指導者を立てられた。神は言われた、「確かに、私はあなた方と共にいる。もしあなた方が礼拝を守り、施しを払い、私の使徒たちを信じ、彼らを支援し、神に寛大な貸付をするなら、私は確かにあなた方の罪を赦し、あなた方を川が流れる園に入らせよう。これ以後、あなた方の中で真理を否定する者は誰であれ、正しい道から逸れるであろう。」¹³ 彼らが厳粛な誓約を破ったため、われらは彼らにわれらの呪いを下し、彼らの心を頑なにした。彼らは啓示された言葉の意味を歪曲し、それらを文脈から外して利用し、命じられた多くのことを忘れた。あなた方は彼らの側から絶えず裏切りを発見するであろう。彼らのごく一部を除いては。しかし彼らを赦し、彼らに耐え忍びなさい。本当に、神は善を行う者たちを愛される。

¹⁴ われらはまた、「私たちはキリスト教徒である」と言う者たちとも契約を結んだ。しかし彼らもまた、命じられた多くのことを忘れてしまった。そこでわれらは彼らの間に、審判の日まで敵意と憎悪を置いた。そして間もなく神は彼らがなしてきたことを彼らに宣言するであろう。

¹⁵ 聖典の民よ！われらの使徒があなた方のところに来た。あなた

方が聖典の中で隠してきた多くのことを明確にし、あなた方の多くのことを赦すために。今や神からあなた方に光と明確な書が来た。¹⁶ それによって神は、彼の喜びを求めるすべての人々を平和の道へと導き、彼の意志によって彼らを闇から光へと導き、まっすぐな道へと導かれる。¹⁷ 確かに、神はマリアの子キリストであると言う者たちは冒流の中にいる。言え、「もし神がそう望んだなら、マリアの子キリストと彼の母、そして地上のすべての人々を滅ぼすのを誰が阻止できようか？天と地とそれらの間にあるすべての王国は神に属する。彼は御心であることを創造し、神はすべてのものに対して力をお持ちである。」

¹⁸ ユダヤ人とキリスト教徒は言う、「私たちは神の子供たちであり、彼の愛する者たちである」と。言え、「ならばなぜ彼はあなた方を罪のために罰するのか？確かに、あなた方は彼が創造した人間の一部にすぎない。彼は御心である者を赦し、御心である者を罰する。天と地とそれらの間にあるすべての王国は神に属し、すべてのものは彼のもとに帰るであろう。」¹⁹ 聖典の民よ、われらの使徒があなた方のもとに来た。使徒たちの間の空白期間の後で物事をあなた方に明確にするために。あなた方が「吉報を伝える者も警告者も私たちには来なかった」と言わないようにするためである。だから吉報を伝える者と警告者は確かにあなた方に来たのである。神はすべてのことを行う力をお持ちである。

²⁰ モーセが彼の民に言った時のことを思い出しなさい。「おお私の民よ！神があなた方に授けた恵みを思い出しなさい。彼はあなた方の中に預言者を起こし、あなた方を王とし、世界中の誰にも与えなかったような(恵み)をあなた方に与えられた。²¹ おお私の民よ！神があなた方に定めた聖なる土地に入りなさい。背を向けてはならない。そうすればあなた方は敗者となるであろう。」²² 彼らは言った、「モーセよ、その土地には力強い民がいる。彼らが去るまでは、私たちは決してそこに入らない。もし彼らが去るなら、私たちは確かにそこに入るであろう。」²³ そこで神が祝福された、神を畏れる二人の男が言った、「門を通して彼らの中に入りなさい—入るやいなや、あなた方はきっと勝利するであろう！も

しあなた方が真の信者であるならば、神に信頼を置きなさい。」²⁴ 彼らは言った、「私たちは決してそこには入らない、モーセよ、彼らがいる限りは。あなたとあなたの主とで戦いに行きなさい。私たちはここに留まる。」

²⁵ モーセは嘆願した、「主よ、私には私自身と私の兄弟以外には何の力もありません。だから私たちを不従順な民から引き離してください。」²⁶ 神は言われた、「その土地は四十年間彼らに禁じられる。彼らは地上をさまよい、途方に暮れるであろう。これらの邪悪な民のために悲しんではならない。」

²⁷ アダムの二人の息子の真実の物語を彼らに語りなさい。彼らが二人とも供物を捧げた時、一方からは受け入れられたが、もう一方からは受け入れられなかった。後者は言った、「私はお前を殺すであろう!」前者は言った、「神は義しい者たちからのみ(もの)を受け入れる。」²⁸ もしあなたが私を殺すために手を上げて、私はあなたを殺すために私の手を上げることはないだろう。私は万有の主、神を恐れる。²⁹ そして私は、あなたが自分自身の罪と同様に、私に対する罪も負って、業火の住人となることを望む。それが不義を働く者たちの報いである。」

³⁰ 彼のが彼に兄弟を殺すよう説得し、彼は彼を殺し、失われた者の一人となった。³¹ その後、神はカラスを遣わされた。それは土を掻きむしり、彼に兄弟の遺体をどう隠すかを示すためであった。「ああ!」と彼は叫んだ、「私はこのカラスのようにもなれないのか、兄弟の遺体を隠すことすらできないのか?」そして彼は悔い改めた。

³² それが、われらがイスラエルの子らのために次のように定めた理由である。殺人や地上での腐敗を広めることに対する懲罰としての場合を除いて、人間を殺した者は誰であれ、全人類を殺したと見なされ、そして人間の命を救った者は誰であれ、全人類を救ったと見なされる。われらの使徒たちは彼らに明確なしるしを携えて来たが、彼らの多くは地上で度を越した行為を犯し続けた。³³ 神と彼の使徒に戦いを挑み、地上で混乱を広める者たちは、死刑に処されるか、十字架にかけら

れるか、あるいは手足を互い違いに切断されるか、あるいは国から追放されるであろう。彼らはこの世で恥辱を被り、来世では厳しく罰せられるであろう。³⁴ ただし、あなたが彼らに対して権力を得る前に悔い改める者たちを除く。なぜなら、神は許し深く、慈悲深い者であることを知らなければならぬからである。

³⁵ 信じる者たちよ、神を畏れ、彼に近づく方法を求め、彼の目的のために努力しなさい。あなた方が成功するように。³⁶ 信仰を拒絶する者たちについては、もし彼らが地上のすべてを持ち、さらにその二倍を持ち、それを復活の日の責め苦から自らを身請けするために提供したとしても、それは彼らから受け入れられないであろう—彼らには苦痛な懲罰があるであろう。³⁷ 彼らは業火から出ようと望むだろうが、そうすることはできないであろう。彼らには永続する懲罰があるであろう。³⁸ 盗人たちには、それが男性であれ女性であれ、彼らがなしたことに対する神からの（抑止としての）懲罰として、手を切断しなさい。神は全能であり、賢明な方である。³⁹ しかし神は、その罪過の後に悔い改めて改心する者には、確かに慈悲をもって向き直るであろう。確かに、神は最も許し深く、常に慈悲深い者である。⁴⁰ あなた方は、天と地の王国が神に属することを知らないのか？彼は御心である者を罰し、御心である者を赦す。神はすべてのものに対して力をお持ちである。

⁴¹ 使徒よ、真理を否定することにおいて互いに競い合う者たちによって悲しんではならない。舌では「信じる」と言うが、心には信仰のない者たち。ユダヤ人の中にもまた、いかなる嘘にも熱心に耳を傾ける者たちがいる。彼らは、あなたのもとに来ない（傲慢と慢心ゆえに）他の者たち[宗教指導者たち]に伝えるために、あなたに耳を傾ける。彼ら[これらの指導者たち]は言葉を文脈から外して利用し、「もしこれがあなた方に与えられたなら、それを受け入れなさい。しかし、そうでないなら、用心しなさい！」と言う。もし誰かの試練が神によって意図されているなら、あなたは彼のために神に対して微塵も勝つことはできないであろう。神が

心を清めることを意図しない者たちは、この世で恥辱を、来世で厳しい懲罰を受けるであろう。

⁴² 彼らは熱心に虚偽に耳を傾け、禁じられたものを貪欲に食べる。もし彼らがあなたのところに来るなら、彼らを裁くか、避けるか、しなさい。もしあなたが彼らを避けるなら、彼らはあなたに何の害も与えることはできない。しかし、もしあなたが裁くなら、公正に裁きなさい。神は公正に扱う者たちを愛される。⁴³ しかし、神自身の裁きを包含するトーラーを持っているのに、なぜ彼らはあなたに裁きを求めに来るのか？それにもかかわらず、彼らは背を向ける。そして確かに彼らは信じないであろう。

⁴⁴ われらはトーラーを啓示した。その中には導きと光がある。それによって、われらに従順であった預言者たち、そしてラビたちや祭司たちも、彼らの世話に委ねられた神の書に従ってユダヤ人を裁いた。そして彼らはその証人であった。人間を恐れるな。私を恐れよ。そして私の啓示をわずかな金額で売ってはならない。神が下されたものによって裁かない者たちは、真理の否定者である。⁴⁵ われらは[トーラーで]彼らのために定めた。命には命、目には目、鼻には鼻、耳には耳、歯には歯、そして傷には傷であると。しかし、もし誰かがそれを放棄するなら、それは彼にとって償いとなるであろう。神が下されたものによって裁かない者たちは、不義を働く者たちである！⁴⁶ われらはマリアの子イエスを彼らの足跡に従わせた。それは彼以前にトーラーで啓示されていたものを確証するためであった。われらは彼に福音を与えた。それは導きと光を含み、それ以前にトーラーで啓示されていたものを確証するものであった。神を畏れる者たちへの導きと戒めとして。⁴⁷ したがって、福音に従う者たちは、神がその中で啓示されたものに従って裁くべきである。神が下されたものによって裁かない者たちは反抗者である。

⁴⁸ われらはあなたに書を真理をもって下した。それは以前の聖典で啓示された(予言)を確証し、その中の真実を定め、そしてそれに対する守護者としてである。したがって、神が啓示したものによって彼らの間

を裁きなさい。そしてあなたに來た眞實から背を向けて、彼らの虚しい欲望に従ってはならない。あなた方一人一人に、われらは法と道筋を定めた。もし神がそう望んだなら、彼はあなた方すべてを単一の共同体としたであろう。しかし彼はそう望まなかった。彼があなた方に与えたものによってあなた方を試すためである。だから、互いに善行において競い合いなさい。神の元にあなた方は皆歸るであろう。その時、彼はあなた方が争っていた事柄についてあなた方に明確にするであろう。

⁴⁹ 彼らの間を、神が下されたものによって裁きなさい。そして彼らの欲望に導かれてはならない。神があなたに啓示されたものの一部から彼らがあなたを背けさせないように、彼らに気をつけなさい。もし彼らがあなたの裁きを拒絶するなら、神は彼らが犯した罪のために彼らを罰しようと意図していることを知りなさい。実に、多くの人々是不従順である。⁵⁰ 彼らが裁かれたいと望むのは異教の法なのか？信仰が確固たる人々のために、神より優れた裁き手がいるだろうか？

⁵¹ 信じる者たちよ、ユダヤ人とキリスト教徒を味方としてはならない。彼らは互いに味方である。あなた方の中で彼らを味方とする者は誰であれ、彼らの一員となるであろう。神は不義を働く者たちを導かれない。⁵² 心に病がある者たちが彼らの方へ急ぎ寄っていくのを見るだろう。彼らは言うだろう、「不幸が私たちに降りかかることを恐れる」と。しかし神は、勝利をもたらすか、あるいはあなた方にとって有利な決定を下すかもしれない。そうすれば彼らは、心に密かに抱いていた考えを悔いるであろう。⁵³ その時、信者たちは言うだろう、「これらの人々こそ、神にかけて、あなた方と一緒にだとも最も強い誓いを立てた者たちなのか？」彼らの行いは無に歸し、彼らはすべてを失うであろう。

⁵⁴ 信じる者たちよ、あなた方の中に信仰を放棄する者がいれば、神は彼らに代わって、彼を愛し、彼に愛される他の人々を立てるであろう。彼らは信者たちに対して親切で思慮深くあり、眞理を否定する者たちに対しては堅固で屈しないであろう。彼らは神の目的のために懸命に努力し、非難する者の非難を決して心に留めないであろう。これこそ

神の恵みであり、彼は御心である者に誰にでも与えられる。神は豊かに与える者であり、すべてを知り尽くされる方である。⁵⁵ あなた方の助け手は、神と彼の使徒、そして礼拝を行い、施しを払い、礼拝においてひれ伏す信者たちのみである。⁵⁶ 神、彼の使徒、そして信者たちと味方となる者たちは、神の党派が必ず勝利することを知らなければならない。

⁵⁷ 信じる者たちよ！あなた方以前に書を与えられた者たち、あるいはあなた方の宗教を嘲笑し、それを嘲り笑う不信者たちと友好関係を求めてはならない。^a もしあなたが真の信者であるならば、神を畏れなさい。⁵⁸ 彼らが礼拝に呼ばれる時、彼らはそれを嘲笑と気晴らしとして扱う。これは彼らが理解力を欠いているためである。⁵⁹ 言え、「聖典の民よ！あなた方は、私たちが神と、私たちに啓示されたもの、そして以前に他の者たちに啓示されたものを信じるという理由だけで、私たちを恨むのか？そしてあなた方のほとんどが不従順であるからか？」⁶⁰ 言え、「神からさらに悪い報いを受ける者をあなた方に教えようか？神が拒絶し、怒り、猿や豚とされ、悪を崇拜した者たちである。^bこれらの者たちは最悪の窮地にあり、正しい道から最も遠く逸れている。」

⁶¹ 彼らがあなたのもとに来る時、「私たちは信じる」と言うが、彼らは真理を否定する（決意をもって）来て、同じ状態のまま去っていく。神は彼らが隠しているものを最もよく知っておられる。⁶² あなたは彼らの中に、罪と違反、そして不法な行為において互いに競い合う多くの者を見るだろう。彼らがなしてきたことは実に卑劣である！⁶³ なぜ彼らのラビや学者たちは、彼らが罪深い言葉を口にすることや、不法なものを消費することを禁じないのか？彼らの行動は実に卑劣である。

⁶⁴ ユダヤ人は言う、「神の手は縛られている」と。彼ら自身の手が縛

a 3章28節の注を参照。

b それは文字通りの意味ではなく、象徴的な意味合いを持ち、彼らの道徳的墮落を描写している。彼らは物理的にそのような動物に変えられたのではなく、彼らの性格や行動が猿や豚ようになったのである。

られ、彼らが言うことのために呪われるように。いや、決して！彼の手は両方とも広げられている。彼は御心通りに与える。あなたに主から啓示されたものは、きっと彼らのほとんどの頑固な反抗と真理の否定を増大させるであろう。そしてわれらは彼らの間に、復活の日まで敵意と憎悪を蒔いた。彼らが戦争の火を灯すたびに、神はそれを消す。彼らは地上に悪を広めるが、神は悪を行う者を愛されない。

⁶⁵ もし聖典の民が信じ、神を畏れていたなら、われらはきっと彼らの罪を赦し、確かに彼らを至福の園に入らせただろう。⁶⁶ もし彼らがトラーと福音と、彼らの主から彼らに啓示されたものを守っていたなら、彼らはきっと上からも下からも養われただろう。彼らの中には正しい道にいる者もいるが、彼らの中には悪を行うばかりの者も数多くいる。

⁶⁷ おお使徒よ、あなたの主からあなたに下されたものをすべて伝えなさい。もしそうしないならば、あなたは彼のメッセージを伝えたことにならない。そして神はあなたを人々から守るであろう。なぜなら神は真理を否定する者たちを導かれないからである。

⁶⁸ 言え、「聖典の民よ、トラーと福音と、あなたの主からあなたに啓示されたものを遵守しない限り、あなた方には立つべき根拠がない。」あなたの主からあなたに啓示されたものは、きっと彼らの多くを反抗と真理の否定において増大させるであろう。しかし真理を否定する者たちのために悲しんではならない。⁶⁹ 信者たち、ユダヤ人、サビア人、そしてキリスト教徒—神と最後の日を信じ、正しいことを行う者は誰であれ—何の恐れもなく、悲しむこともないであろう。

⁷⁰ われらはイスラエルの子らと契約を結び、彼らの中に使徒たちを遣わした。しかし、使徒が彼らにその意に沿わないメッセージを携えて来るたびに、彼らの中には嘘つきだと非難する者もいれば、死に至らしめる者もいた。⁷¹ そして彼らは、害が自分たちに降りかかることはないと思惟した。こうして彼らは(心に)盲目となり、耳が聞こえなくなった。神は彼らに慈悲をもって向き直られた。しかしそれでも彼らの多くは

再び盲目となり、耳が聞こえなくなった。神は彼らの行動を完全に認識しておられる。

⁷² 確かに、神はマリアの子キリストであると言う者たちは真理の否定者である。キリスト自身が言ったのだから、「イスラエルの子らよ、私の主であり、あなた方の主である神に仕えなさい」と。もし誰かが神に何かを配するなら、神は彼に園を禁じ、業火が彼の家となるであろう。不義を働く者たちには助け手はいないであろう。⁷³ 神は三位の一であると言う者たちは真理の否定者である。神は唯一の神である。もし彼らがそう言うのをやめないなら、真理を否定することに固執する彼らには、苦痛な懲罰が必ず降りかかるであろう。⁷⁴ なぜ彼らは神に立ち返り、彼の赦しを請わないのか？神は許し深く、慈悲深い者である。⁷⁵ マリアの子キリストは、使徒にすぎなかった。彼以前にも多くの使徒たちが去って行った。彼の母は貞淑な女性であった。そして彼らは二人とも（他の人間のように）食事をした。われらがいかに彼らにしるしを明確に示しているかを見なさい！彼らがいかに背を向けるかを見なさい！⁷⁶ 言え、「あなた方は神以外に、あなた方に害も益も与える力を持たないものを崇拜するのか？神のみがすべてを聞き、すべてを知り尽くされる方である。」

⁷⁷ 言え、「聖典の民よ！あなた方の宗教において極端に走ってはならない。そしてあなた方以前に迷い去った者たちの気まぐれに従ってはならない—彼らは多くの者を迷わせ、自らも正しい道から逸れたのである。」

⁷⁸ イスラエルの子らの中で真理を否定することに固執した者たちは、ダビデとマリアの子イエスによって呪われた。それは彼らが不従順であり、逸脱にふけたからである。⁷⁹ 彼らは互いに、彼らがなした間違ったことを阻止しようとしなかった。彼らの行いは実に邪悪であった。

⁸⁰ 彼らの中に、真理を否定する者たちと結託する多くの者を見るだろう。彼らの魂が彼らのために先に送ったものは邪悪である。彼らは神の怒りを招き、永遠の懲罰を受けるであろう。⁸¹ もし彼らが神と預言者と、

彼に啓示されたものを信じていたなら、彼らは真理を否定する者たちを味方とすることはなかったであろう。しかし彼らの多くは不従順である。

⁸² あなたは、信仰する者たちに対する敵意において最も激しいのはユダヤ人と多神教徒であることを見出すであろう。彼らに愛情において最も近いのは、「私たちはキリスト教徒です」と言う者たちである。それは彼らの中に祭司と修道士がいるからであり、彼らが傲慢でないからである。⁸³ 彼らが使徒に下されたものを聞く時、彼らが認識する真理のゆえに、彼らの目から涙が溢れるのを見るだろう。彼らは言う、「私たちの主よ、私たちは信じます。だから私たちを証言する者たちの中に数えてください。」⁸⁴ なぜ私たちは神と、私たちに下された真理を信じないことがあろうか？私たちは、私たちの主が私たちを義しい者たちの中に受け入れてくださることを切望する。」⁸⁵ そして彼らの言葉のゆえに、神は彼らに川が流れる園で報いるであろう。そこに彼らは永遠にとどまるであろう。それが善を行う者たちの報いである。⁸⁶ しかし真理を否定し、われらのしるしを否定する者たちは地獄の住人となるであろう。

⁸⁷ 信じる者たちよ、神があなた方のために合法とされた健全で良いものを禁じてはならない。逸脱してはならない。神は逸脱する者を愛されない。⁸⁸ 神があなた方に与えた合法で健全なものを食べなさい。あなたが信じる神を畏れなさい。⁸⁹ 神はあなた方の無意味な誓いについてはあなた方に責任を問わないであろう。しかし、あなたが真剣に誓った誓いについては責任を問うであろう。破られた誓いの償いは、通常あなたが自分の人々に提供するような食物で十人の困窮者に食事を与えること、または十人の困窮者に衣類を与えること、または一人の奴隷を解放することである。手段を持たない者は三日間断食しなければならない。それがあなたが誓った誓いを破ったことの償いである。誓いは守りなさい。このように神はあなた方に彼の命令を説明される。あなた方が感謝するように。

⁹⁰ 信じる者たちよ、酩酊物と賭博、そして(隠された奉納の)石と占い矢は、サタンが考案した忌まわしいものである。それらを避けなさい。

あなた方が成功するように。⁹¹ サタンはワインと賭博によってあなた方の間に敵意と憎悪を蒔き、あなた方を神の想起から、そしてあなた方の礼拝から遠ざけようとする。ならばあなた方は慎まないのか？⁹² 神に従い、使徒に従い、そして常に(悪から)警戒しなさい。しかしもしあなたが背を向けるなら、われらの使徒の義務は明確にメッセージを伝えることだけであることを知りなさい。⁹³ 信じ、善行を行う者たちは、(過去に)消費したかもしれないことについて非難されないであろう。彼らが神を畏れ、彼を信じ、善行を行う限りにおいて。彼らが神を畏れ、彼を信じ、善行を行う限りにおいて。神は善を行う者を愛されるからである。

⁹⁴ 信じる者たちよ、神はあなた方に、手の届くところや槍の届くところに現れる獲物であなただ方を試すであろう。彼が見えないとしても、彼を畏れる者たちを知るためである。これ以後、限界を越える者は誰であれ、苦痛な懲罰を受けるであろう。⁹⁵ 信じる者たちよ、巡礼中にはいかなる獲物も殺してはならない。あなた方の中で故意に獲物を殺した者は誰であれ、自分が殺したものに相当する動物で補償しなければならない。それはあなた方の中の公正な二人の男性によって決められ、カアバへ捧げられる供物としてである。あるいは、償いとして、貧しい者に食事を与えるか、それに相当する断食をするべきである。そうすれば、彼は自分の行いの結果を味わうであろう。神は過去のことは赦されるが、もし誰かが再び不正を行うならば、神は報復を執行するであろう。神は力強く、報復の主である。

⁹⁶ 狩りをする事、そして海の魚を食べることは、あなた方のために合法とされた。あなた方と船乗りたちのために定められた糧である。しかし、巡礼中には陸の獲物はあなた方には禁じられる。神を畏れなさい。彼のもとにあなた方は皆集められるであろう。⁹⁷ 神はカアバ、すなわち聖なる家を、生活の支えとして、また聖なる月と、花輪をつけた犠牲用の動物をも定められた。それはあなた方が、神が天と地にあるものすべてを認識しておられ、彼がすべてのことを完全に認識しておられることを知るためである。⁹⁸ 神が懲罰において厳しい一方で、最も許し深く、

慈悲深い者であることを知りなさい。⁹⁹ 使徒の唯一の義務はメッセージを伝えることである。神はあなたが明らかにするものと隠すものを知っている。¹⁰⁰ 言え、「悪いものと良いものは同じではない。たとえ悪いものの豊かさがあなたにとって喜ばしく見えたとしても。だから神を畏れなさい、おお理解ある人々よ、あなた方が成功するように。」

¹⁰¹ 信じる者たちよ、もしあなた方に知らされたら、あなた方にとってただ重荷となるような事柄について質問してはならない。しかし、クルアーンが啓示されている時にそれらを尋ねるならば、それらはあなた方に明確にされるであろう—神はそれらについて沈黙を守ってきた。神は最も許し深く、忍耐強い者である。¹⁰² あなた方以前の人々もそのような事柄について尋ねたが、それらが彼らに明らかにされた時、彼らはそれらを実行することを拒否した。¹⁰³ 神は、バヒーラ、あるいはサーイバ、あるいはワシーラ、あるいはハム^a と呼ばれる動物たちについて、いかなる神聖さも定めていない。真理を否定する者たちは神について虚偽をでっち上げる。彼らのほとんどは理性を使わない。¹⁰⁴ 彼らが「神が下されたものと使徒のもとに来なさい」と言われると、彼らは答える、「私たちが父祖から受け継いだ信仰で十分だ」と。彼らの父祖が何も知らず、導かれていなかったとしても！¹⁰⁵ 信じる者たちよ、あなた方自身の魂を大切にしなさい。あなた方が導かれている限り、道に迷った者たちはあなた方を害することはできない。あなた方すべては神のもとに帰るであろう。その時、彼はあなた方がなしていたことをあなた方に理解させるであろう。

¹⁰⁶ あなたの主からあなたに啓示されたものに従いなさい。彼以外に神はいない。そして多神教徒を無視しなさい。¹⁰⁷ もし神が望んだなら、彼らは彼に何も配さなかったであろう。われらはあなたを彼らの守護者として任命しなかったし、あなたは彼らの保護者でもない。¹⁰⁸ 彼ら

a これらは、イスラム以前のアラブ人が彼らの神々に捧げていた家畜の異なるカテゴリーである。

が神の代わりに呼びかけるそれらの[存在]を罵倒してはならない。彼らが、その敵意において、無知ゆえに神を罵倒しないようにするためである。このようにしてわれらは、すべての民にその行いが公正に見えるようにした。彼らは彼らの主のもとに皆帰るであろう。そして彼は彼らがなしたことを彼らに宣言するであろう。

¹⁰⁹ 神が使徒たちを集め、「あなた方は(人々から)どのような応答を受けましたか?」と尋ねる日、彼らは答えるだろう、「私たちには何の知識もありません。あなたのみが隠されたものを知っておられます。」

¹¹⁰ その時、神は言われるだろう、「マリアの子イエスよ、あなたとあなたの母への私の恵みを思い出しなさい。いかに私があなたを聖霊で強め、幼少期にも成人しても人々に語ることができたか。いかに私があなたに書と知恵、トラーと福音を教えたか。いかに私の許しによってあなたが粘土から鳥の形を作り、それに息を吹き込むと、私の許しによって、それが鳥となったか。そして私の許しによって盲人やらい病人を癒し、私の許しによって死者を生き返らせたか。そしていかに私がイスラエルの子らがあなたを害するのを防いだか、あなた方が彼らに明確なしるしを携えて行った時、彼らの中の真理を否定する者たちが、『これは純粋な魔術だ』と言った時を。」

¹¹¹ 「私が弟子たちに、私と私の使徒を信じるよう靈感を与えた時、(彼らは)『私たちは信じます、私たちが服従したことを証言してください』と答えた時を思い出しなさい。」¹¹² 弟子たちが「おおイエス、マリアの子よ!あなたの主は天から私たちに食物の並べられた食卓を下すことができるだろうか?」と言った時、彼は答えた、「もしあなた方が真の信者であるならば、神を畏れなさい。」¹¹³ 彼らは言った、「私たちはそこから食べ、私たちの心を満足させ、あなたが私たちに真実を告げたことを知り、そして私たちがその証人になりたいのです。」¹¹⁴ マリアの子イエスは言った、「おお神よ、私たちの主よ!天から私たちに食物の並べられた食卓を下してください。それが私たちにとっての祝宴となるように、私たち最初の人々にとっても最後の人々にとっても。あなたからのしるしとし

て。私たちに糧を与えてください、あなたは最高の糧を与える者だからです。」¹¹⁵ 神は答えた、「私は確かにそれをあなた方に下すであろう。しかし、あなた方の中でその後真理を否定する者は誰であれ、私は世界中の誰にも下したことの無い懲罰で罰するであろう。」

¹¹⁶ 神が「イエス、マリアの子よ、あなたは人々に、『私と私の母を、神以外に二人の神として迎えよ』と言いましたか?」と言う時、彼は答えるだろう、「あなたに栄光あれ!私に何の権利もないことを私がどうして言えましょうか?もし私がそう言っていたなら、あなたは確かにそれを知っていたでしょう。あなたは私の心にあることを知っておられるのに、私はあなたの内にあることを何も知りません。あなたのみが不可視のものを知る者です—¹¹⁷ 私はあなたから命じられたことだけを彼らに告げました。『私の主であり、あなた方の主である神を崇拝しなさい』と。私が彼らの中にいる間は、彼らがなすことの証人でした。そしてあなたが私を召し上げられた時、あなたは彼らを見守る者でした。あなたはすべてのことの証人です。¹¹⁸ そしてもしあなたが彼らを罰するなら、彼らは確かにあなたの僕です。そしてもしあなたが彼らを赦すなら、あなたは確かに力強く、賢明な方です。」

¹¹⁹ 神は言われるだろう、「今日、真実を語る者がその真実さから恩恵を受ける日である。彼らは永遠に川が流れる園に住むであろう。神は彼らに満足し、彼らも彼に満足する。それが最高の勝利である。」¹²⁰ 天と地とそれらの中のすべての王国は神に属する。彼はすべてのものに対して力をお持ちである。

6. 家畜 (アル・アナーム)

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ 称賛は、天と地を創造し、闇と光を生み出した神にこそ。しかし真理を否定する者たちは、彼らの主に対抗者を立てる!² あなた方を粘土から創造し、それから(あなた方のための)期間を定められたのは彼

である—彼のみが知る期間を。それでもあなた方はまだ疑っている—
³ 彼こそが、天においても地においても神である。彼はあなたが隠すものも明らかにするものもすべて知っている。彼はあなたがなすことを知っている。⁴ しかし彼らの主からしるしが来るたびに、彼らはそれから背を向ける。⁵ 彼らは真理が来るたびにそれを拒絶してきたが、彼らが嘲笑してきたことに関して(さらなる)知らせが彼らに届くだろう。⁶ 彼らは、われらが彼ら以前にどれほど多くの世代を滅ぼしたかを見なかったか？われらはあなた方よりも堅固に彼らを地上に確立し、われらは彼らの上に雲を送り、豊かな雨を降らせた。そして彼らの足元に川を流させた。しかしわれらは彼らをその罪のために滅ぼし、彼らの後に別の世代を立てた。

⁷ しかし、たとえわれらがあなたに羊皮紙に書かれた書を下し、彼らがそれを自分の手で触れたとしても—真理を否定する者たちはやはり言っただろう、「これは単なる魔術だ」と。⁸ 彼らは尋ねる、「なぜ天使が彼に下されなかったのか？」もしわれらが天使を下したなら、事態は決着し、彼らには何の猶予も与えられなかっただろう。⁹ 確かに、もしわれらが使徒として天使を送ったなら、われらは彼を人間の形にもしたであろう。そしてこうして彼らの混乱を増大させたであろう。¹⁰ あなた以前にも使徒たちは嘲笑されたが、嘲笑した者たちは、彼らが嘲笑したまさにその事柄に捕らえられた。¹¹ 言え、「地上を旅し、否定者たちの末路がどうであったかを見なさい。」

¹² 言え、「天と地にあるすべては誰に属するのか？」言え、「神に属する。彼は自ら慈悲深いことを引き受けられた。彼があなた方を復活の日に集めることは疑いの余地がない。魂を失った者たちは決して信仰を持たないであろう。」¹³ 夜と昼に住むすべてのものは彼に属する。彼はすべてを聞き、すべてを知り尽くされる方である。¹⁴ 言え、「天地の創造主であり、すべてを養い、誰からも養われない神以外の者を私の守護者とするのか？」言え、「私は服従する者たちの最初となるよう命じられた。多神教徒の一人となってはならない。」¹⁵ 言え、「私は決して私の

主に不従順とならない。なぜなら恐ろしい日の懲罰を恐れるからである。」¹⁶ その日、懲罰が遠ざけられた者は誰であれ、神によって大きな慈悲を示されたのである。それは最高の達成である。

¹⁷ もし神があなたに何の害も触れさせるなら、彼以外には誰もそれを取り除くことはできない。一方、もし彼があなたに何か良いことを触れさせるなら、彼が御心であることすべてを行う力を持っていることを知みなさい。¹⁸ 彼は彼の僕たちの上に至高に君臨する。そして彼はすべてを賢く、すべてを認識しておられる。¹⁹ 彼らに尋ねなさい、「何が最も重みのある証人なのか？」彼らに言え、それは神であると。彼はあなたと私の間の証人である。言え、「このクルアーンは私に啓示された。それによってあなた方と、それが到達するすべての人を警告するためである。あなた方は、神の他に他の神々がいることを本当に証言するのか？」言え、「私はこれに証言しない。」言え、「彼は唯一の神である。そして私はあなた方が彼に配するすべてのものを否認する。」

²⁰ われらが聖典を与えた者たちは、彼らが自分の息子たちを知るように、これを知っている。しかし、自らの魂を滅ぼした者たちは信じないであろう。²¹ 神に対して嘘をでっち上げ、彼のしるしを否定する者以上に大きな不正を犯す者がいるだろうか？確かに、不義を働く者たちは成功しないであろう。²² われらが彼らを皆集める日、われらは(われらに)仲間を配した者たちに言うであろう、「あなた方が主張していたその仲間たちはどこにいるのか？」²³ その時、彼らには「私たちの主である神にかけて、私たちは決して多神教徒ではありませんでした」と言う以外に言い訳はないだろう。²⁴ 彼らがいかに自分自身に嘘をついているか、そして彼らが作り出した(神々が)いかに彼らを見捨てたかを見なさい。

²⁵ 彼らの中にはあなたの言葉に耳を傾ける者もいるが、われらは彼らの心に覆いを置き、耳に聾啞を置いた。それは彼らがあなたの言うことを理解するのを妨げる。たとえ彼らがすべてのしるしを見ても、彼らはそれでもそれらを信じないだろう。真理を否定する者たちがあなたと議論しに来ると、彼らは言うだろう、「これは単なる昔の寓話にすぎな

い」と。²⁶ そして彼らは他の者たちが信じるのを妨げ、自らも遠ざかる。しかし彼らは、それに気づかないうちに、自分自身以外、誰も滅ぼしていない。²⁷ もし彼らが業火の前に置かれる時を見ることができたなら。彼らは言うだろう、「ああ、もし私たちが戻されることができたら。そうすれば私たちは私たちの主のしるしを否定せず、信者たちの一員となるだろうに。」²⁸ 彼らが隠していた真実は彼らにはっきりと明らかになるだろう。しかしもし彼らが戻されたとしても、彼らは禁じられていたことに戻るだろう。なぜなら彼らは確かに嘘つきだからである。

²⁹ 彼らは言う、「この世の私たちの生以外には何も存在しない。私たちは死者から再び起こされることはないだろう」と。³⁰ もし彼らが彼らの主の前に立たされる時を見ることができたなら！彼は彼らに尋ねるだろう、「これは(第二の生)真実ではないのか？」彼らは言うだろう、「はい、私たちの主にかけて！」彼は言うだろう、「ならば、真実を認めなかったことによって来る懲罰を味わえ！」

³¹ 神との出会いを否定する者たちは、確かに失われた者たちである。裁きの時が彼らに突然訪れた時、彼らは叫ぶだろう、「ああ、私たち、それを怠ったことよ！」彼らはその重荷を背負うだろう。彼らが負うべき重荷は邪悪である。³² この世の生は、ただの遊びと気晴らしにすぎない。確かに来世の家は、神を畏れる者たちにとって最良である。あなた方は理解しないのか？

³³ 彼らが言うことがあなたを悲しませることは知っている。不義を働く者たちが否定しているのはあなたではない。むしろ彼らが否定しているのは神のしるしである。³⁴ あなた以前にも他の使徒たちは否定され、彼らはその拒絶と迫害を堅固に耐え忍んだ。われらの助けが彼らに来るまで。神の言葉を変えることができる者は誰もいない。あなた方はすでにそれらの使徒たちについてある程度の記述を受け取った。³⁵ もし彼らの拒絶に耐え難く感じるなら、もしできるなら、地中にトンネルを掘るか、空へ梯子をかけて、彼らにしるしをもたらしなさい。もし神がそう望んだなら、彼は確かに彼らすべてに(彼の)導きを与えたであろう。だ

から無知な者たちの中にはならない。³⁶ 耳を傾ける者だけが呼びかけに応えることができる。そして死者たちについては、神は彼らを起こし、それから彼らは皆彼のもとに帰るであろう。

³⁷ 彼らは尋ねる、「なぜ主から彼にしるしが下されないのか？」言え、「神のみがしるしを下す力を持っている。」しかし彼らのほとんどは理解していない。³⁸ 地上を動き回る動物も、二枚の翼で飛ぶ鳥も、あなた方と同じような被造物にすぎない。われらは書の中で何も見落としていない—彼らは皆、彼らの主の前に集められるであろう。³⁹ われらのしるしを拒絶する者たちは、聾啞者であり、盲目であり、(闇の中を)手探りしている。神は御心である者を誰でも迷わせ、御心である者を誰でも正しい道に導かれる。

⁴⁰ 言え、「もし神の懲罰があなた方に降りかかったり、裁きの時があなた方を捕らえたりしたら、もしあなた方が真実を言う者であるならば、神以外の誰かを呼びかけるだろうか？」⁴¹ 確かに、あなたが呼びかけるのは彼である。そして彼が望むなら、あなたが彼に呼びかける原因となった(苦難を)取り除くことができる。そうすればあなたは、あなたが彼に配する(偽りの神々)を忘れるだろう！

⁴² われらはあなた[預言者よ]以前にも多くの共同体に使徒を送った。そして彼らの民を苦しみと困難で悩ませた。彼らが謙虚になるためである。⁴³ われらが定めた苦難が彼らに降りかかった時、彼らは謙虚にならず、むしろ彼らの心は頑なになった。サタンが彼らのすべての行いを彼らにとって公正に見せたからである。⁴⁴ 彼らがわれらの忠告を忘れた時、われらは彼らが望むものすべてを与えた。しかし彼らが与えられたものに喜んでいるまさにその時、われらは彼らを突然捕らえ、絶望に陥れた。⁴⁵ 不義を働く者たちはこうして滅ぼされた。全称賛は神にこそ、万有の主である。

⁴⁶ 言え、「もし神があなた方の聴覚と視覚を奪い、あなた方の心を封じたなら、神以外に誰がそれをあなた方に回復できる神であろうか？」われらがいかに多様な方法で彼らにしるしを説明するかを見なさい。

それでも彼らは背を向ける。⁴⁷ 彼らに尋ねなさい、「教えてくれ、もし神の懲罰が突然あなた方に降りかかったり、予測可能に降りかかったりしたら、不義を働く者たち以外に滅ぼされる者がいるだろうか?」⁴⁸ われらは使徒たちを、吉報を伝え、警告を与えるためにのみ送る。だから信じ、自らを改心する者たちは何の恐れもなく、悲しむこともないであろう。⁴⁹ われらのしるしを拒絶する者たちには、その不従順ゆえに懲罰が降りかかるであろう。⁵⁰ 言え、「私は神の宝を持っているとは言わないし、不可視のことも知らないし、自分が天使だとも言わない。私は私に啓示されたものに従うだけだ。」言え、「盲人と見る者とが同じだろうか? あなた方は考えないのか?」

⁵¹ それによって、神以外には守護者も執り成し手もない時に、彼らの主の前に集められることを恐れる者たちに警告しなさい。そうすれば彼らは神を畏れる者となるであろう。⁵² 朝と晩に主を呼びかけ、ただ彼の恵みを求める者たちを追い払ってはならない。あなたは決して彼らに対して責任を負うわけではないし、彼らもあなたに対して責任を負うわけではない。もしあなたが彼らを追い払うなら、あなた自身が不義を働く者の一人となるであろう。⁵³ このようにして、われらは彼らの一部を他の者たちによって試す。彼らが「神が私たちの中から特別に恵みを授けたのは、これらの(卑しい者たち)なのか?」と尋ねるようにするためである。神は感謝する者たちが誰であるかを最もよく知っているのではないか?

⁵⁴ われらの啓示を信じる者たちがあなたのもとに来る時、言え、「あなた方に平安あれ。あなた方の主は、自ら慈悲深いことを引き受けられた。だから、もしあなた方の一人が無知から悪を行い、その後悔い改めて改心するなら、彼は最も許し深く、常に慈悲深い者である。」⁵⁵ このようにわれらはわれらのしるしを明確にする。そうすれば、悪を行う者たちの道が暴かれるであろう。

⁵⁶ 言え、「私はあなた方が神以外に呼びかけるものを崇拜することは禁じられている。」言え、「私はあなた方の気まぐれや欲望に従わな

い。もしそうしたなら、私は迷い、正しく導かれた者でなくなるであろう。」⁵⁷ 言え、「私は私の主からの明確な証拠に立脚している。だがあなた方はそれを否定する。あなた方が急がせようとしていることは私の力の中にはない。裁きは神のみのものである。彼は真実を宣言する。彼は最高の裁き手である。」⁵⁸ 言え、「もしあなた方が急がせようとしていることが私の力の中にあるなら、事態はあなた方と私の間で決着するだろう。神は悪を行う者たちを最もよく知っておられる。」⁵⁹ 彼は不可視の鍵を握っている。彼以外には誰もそれらを知らない。彼は陸と海にあるすべてのことを知っている。彼の知識なしに一枚の葉も落ちず、地の闇の中の一粒の穀物も、湿ったものも乾いたものも、明確な記録に記されないものはない。

⁶⁰ あなた方を夜に集め、日中あなた方がなすことすべてを知るのは彼である。それから彼はあなた方を日中起こし、定められた期間が完了するようにする。それからあなたは彼のもとに帰り、彼はあなたがなしていたことすべてをあなたに宣言するであろう。⁶¹ 彼は彼の僕たちに対する絶対的な主宰者である。彼はあなた方を見守る守護者(天使たち)を送り出す。やがてあなた方の一人に死が近づくと、われらの天使たちが彼の魂を奪い、彼らはその義務を決して怠らない。⁶² その後、彼らは皆、真の主である神のもとに帰されるであろう。裁きは彼のみのものである。彼は最も迅速な計算者である。

⁶³ 言え、「あなたが謙虚に、そして秘密裏に彼に呼びかける時、土地と海の暗い深みからあなたを救い出すのは誰か。彼らは言うだろう、『もし彼が私たちをこれから救ってくれるなら、私たちはきっと感謝する者たちの中にいるであろう』と。」⁶⁴ 言え、「神こそがあなた方をそれから、そしてあらゆる他の苦難から救い出す。それでもあなた方は彼に仲間を配する。」⁶⁵ 言え、「彼はあなた方の頭上から、あるいは足元からあなた方に懲罰を送る力を持っている。あるいはあなた方を宗派に分け、互いの暴力を味わわせる力を持っている。」われらがいかに多様な方法でわれらの啓示を説明するかを見なさい。彼らが理解するように。

⁶⁶ あなたの民は、それが真実であるにもかかわらず、あなたが携えてきたメッセージを拒絶した。言え、「私はあなた方の守護者ではない。⁶⁷ すべての予言にはその成就の定まった時がある。そして間もなくあなた方は知ようになるだろう。」

⁶⁸ 人々がわれらの啓示の欠点を見つけることに従事しているのを見たら、彼らが他の話題に転じるまで彼らから離れなさい。もしサタンがあなたにこれを忘れさせたなら、思い出し次第、不義を働く者たちのもとを去りなさい。⁶⁹ 神を畏れる者たちは、いかなる意味でも不義を働く者たちに対して責任を負わない。彼らの唯一の義務は、彼らに思い出させることである。そうすれば彼らが神を畏れるようになるかもしれない。⁷⁰ 宗教を単なる遊びや気晴らしとし、この世の生に欺かれている者たちを放っておきなさい。しかし、魂がその行いのゆえに担保とされ、神以外には助け手も執り成し手もないことのないよう、クルアーンで彼らに忠告し続けなさい。彼らがいかなる身代金を提供しても、それは受け入れられないであろう。そのような者たちこそ、自らの行いによって呪われた者たちである。彼らは煮え滾る水を飲み、真理を否定したことに對して苦痛な懲罰を受けるであろう。

⁷¹ 言え、「神以外の、私たちに益も害も与えられないものを、私たちが呼びかけるべきだろうか？神が私たちを導かれた後で、私たちが踵を返すべきだろうか。まるで地上で悪魔に惑わされ、途方に暮れ、仲間たちが『私たちのもとへ来なさい』と言って正しい道に呼びかけているかのようである。」言え、「神の導きこそが唯一の導きである。私たちは万有の主、神に服従するよう命じられている。⁷² 定期的に礼拝を捧げ、神を畏れるよう命じられている。」彼こそがあなた方が集められるところである。⁷³ 彼こそが、真の目的のために天と地を創造された者である。彼が「あれ」と言う日、それは存在するであろう。彼の言葉は真理である。ラッパが鳴らされる日、すべての主権は彼のものである。不可視のものと可視のものを知る者、彼は賢明で、すべてを認識される方である。⁷⁴ アブラハムがその父アザルに言った時を思い出しなさい、「あなたは偶像

をあなたの神とするのか？私はあなたとあなたの民が明らかに迷い去っているのを見る。」

⁷⁵ このようにして、われらはアブラハムに天と地のわれらの王国を示した。彼が信仰の確信を持つためである。⁷⁶ 夜が彼を覆った時、彼は星を見た。彼は言った、「これこそが私の主だ！」しかしそれが沈んだ時、彼は言った、「沈むものは好きではない。」⁷⁷ 彼が月が昇り、その光を広げるのを見た時、彼は言った、「これこそが私の主だ。」しかしそれが沈んだ時、彼は言った、「もし私の主が私を導かないなら、私は迷った人々の一人になるだろう。」⁷⁸ その後、彼が太陽が輝いているのを見た時、彼は言った、「これこそが私の主だ！これこそが最も偉大だ！」しかしそれが沈んだ時、彼は言った、「私の民よ、私はあなた方が神以外に崇拜するすべてのものを否認する。」⁷⁹ 私は、天と地を創造された彼に向かって、一心不乱に顔を向けた。そして私は多神教徒の一人ではない。」⁸⁰ 彼の民は彼と議論した。彼は言った、「彼が私を導かれたのに、あなた方は私と神について議論するのか？私の主が別様に望まない限り、あなた方が彼に配するいかなる仲間も恐れない。私の主は彼の知識の中にすべてのものを包摂している。だからあなた方は耳を傾けないのか？」⁸¹ なぜ私が、あなた方が彼に仲間を配するもの、彼があなた方に何の権威も下さなかったものを恐れなければならないのか？教えてくれ、もしあなたが真実を知っているなら、どちらの側がより安全であると感じる権利があるかを。」⁸² 信仰を持つ者、そしてその信仰に不義を混ぜない者こそが安全であり、彼らこそが正しく導かれた者である。⁸³ これこそ、われらがアブラハムにその民に対して与えた論理である—われらは御心である者を誰でも位階において高める—あなたの主は賢明で認識しておられる。⁸⁴ われらは彼にイサクとヤコブを与え、それぞれをわれらが以前ノアを導いたように導いた。彼の子孫の中にはダビデとソロモン、そしてヨブ、ユースフ、モーセ、そしてハールーンがいた。このようにしてわれらは義しい者たちに報いる。

⁸⁵ ザカリア、ヨハネ、イエス、そしてエリヤ—彼らは皆義しい者で

あった——⁸⁶ イスマーイール、エリシャ、ユーヌス、そしてロト——われらは彼ら一人一人を他の人々よりも優遇した——⁸⁷ そして彼らの父祖、子孫、そして兄弟の一部もまた。われらは彼らを選び、まっすぐな道へと導いた。⁸⁸ これが神の導きである。彼は彼の僕の誰にでもその導きを与える。もし彼らが彼に他の神々を配したなら、彼らがなしたことはすべて何の役にも立たなかったであろう。⁸⁹ これらこそ、われらが聖典、知恵、そして預言者としての地位を与えた者たちである。もしこれらの人々[マッカの人々]がそれを拒絶するなら、われらはそれを、それを認めることを決して拒否しない人々に託すであろう。⁹⁰ それら[以前の預言者たち]こそ、神が導かれた人々であった。ならば彼らの導きに従い、言え、「私はあなた方からこれに対するいかなる報いも求めない。それは全人類への単なる戒めである。」⁹¹ 彼らは神を正しく評価しない。彼らは言う、「神はいかなる人間にも何も啓示していない」と。言え、「モーセがもたらした、人々への光と導きであった書を啓示したのは誰か。あなた方がそれを別々の紙片にし、一部を見せ、多くを隠したものを。あなた方は、あなた方もあなた方の父祖も以前には知らなかったことを教えられたのだ。」言え、「神がそれを送ったのだ。」それから彼らを彼らの推測で遊ばせておきなさい。

⁹² これはわれらが啓示した祝福された書である。それは以前に来たものを確証し、都市の母[マッカ]と、その周辺の人々を警告するためである。来世を信じる者たちはそれを信じており、彼らは常に礼拝を心に留めている。⁹³ 神に対して嘘をでっち上げる者、あるいは何も啓示されていないのに「私に啓示された」と言う者、あるいは「神が下したようなものを私は下すであろう」と言う者以上に大きな不正を犯す者がいるだろうか？もしあなた方が、天使たちが手を差し伸べ、「魂を捨てなさい。今日、あなた方は神について偽りのことを言ったり、彼のしるしについて傲慢であったことに対して、屈辱的な懲罰で報われるだろう」と言っている死の苦しみの中で、不義を働く者たちを見ることができたなら。

⁹⁴ そして今、あなた方はわれらの元に戻ってきた。われらが最初にあなた方を創造した時のように、たった一人で。われらがあなた方に与えたすべてを残して。また、神との仲間だとあなた方が主張した、あなた方の執り成し手たちも、あなた方と共にいるのは見えない。あなた方の間のつながりは断ち切られ、あなた方が想定していたものはあなた方を裏切った。⁹⁵ 種子と果実の石を割るのは神である。彼は死者から生けるものを生み出し、生けるものから死者を生み出す。それが神である。ならばあなた方は、惑わされて、いかにして真実から背を向けることができるのか？

⁹⁶ 彼は夜明けを引き起こし、夜を休息のために定め、太陽と月を精密な尺度に定められた。それは全能であり、すべてを知り尽くされる方によって定められた尺度である。⁹⁷ 彼こそが、あなた方のために星々を設置された。陸と海の闇の中でそれらによって導かれるように。われらは理解したいと願う人々のために、しるしを明確にした。^a ⁹⁸ 彼こそが、あなた方を単一の魂から最初に生み出し、その後、(生における)滞在の場所と、(死後の)安息の場所を与えられたのである。われらは理解力を持つ人々のために、われらの啓示を明確にした。

⁹⁹ 彼こそが、空から水を下される者である。それによってわれらはあらゆる種類の植物を生み出す。緑の葉から、房になった穀物を生み出す。そしてナツメヤシから、その鞘から、低く垂れ下がったナツメヤシの房を生み出す。われらはブドウ畑、オリーブ林、ザクロを生み出す。似ているが異なっている。彼がそれを成長させ、熟させるのを見てみなさい。これらの中に、信じる人々へのしるしがある。¹⁰⁰ 彼らはジンを神に仲間として立てたが、彼は彼らを創造されたのだ！彼らは無知にも、彼に息子や娘を帰することさえ敢行した。彼が彼らが彼に帰するものを遥

a 宇宙の巨大なシステムは、数百万年を経てもいかなる不一致も生じないほどの正確さで稼働している。これは、その力が無限の偉大さを持つ存在の内在性を証明している。

かに超えて神聖で崇高であることを！¹⁰¹ 天と地の創造者。彼に連れ合いがないのに、どうして彼に息子がいるだろうか？彼はすべてのものを創造され、すべてのものを認識しておられる！¹⁰² 彼こそが神、あなたの方の主である。彼以外に神はいない。すべてのものの創造者である。だから彼を崇拜しなさい。彼はすべてのものの守護者である。¹⁰³ いかなる視覚も彼を捉えることはできないが、彼はすべての視覚を包摂する。彼は微細にして認識される方である。¹⁰⁴ あなたの方の主から明確な洞察があなた方に來た。したがって、見ることを選ぶ者は誰であれ、彼自身の利益のためにそうする。そして盲目であるままを選ぶ者は誰であれ、彼自身の損失のためにそうする。言え、「私はあなた方の守護者ではない。」¹⁰⁵ このようにしてわれらはわれらの啓示を様々な方法で説明する—彼らが「あなたはこれを私たちに読み聞かせた」と言うに至るように、そして知りたがる者たちにそれが(真実であることを)明確にするためである。

¹⁰⁶ あなたの主からあなたに啓示されたものに従いなさい。彼以外に神はいない。そして多神教徒を無視しなさい。¹⁰⁷ もし神が望んだなら、彼らは彼に何も配しなかったであろう。われらはあなたを彼らの守護者として任命しなかったし、あなたは彼らの保護者でもない。¹⁰⁸ 彼らが神の代わりに呼びかけるそれら(存在)を罵倒してはならない。彼らがその敵意において、無知ゆえに神を罵倒しないようにするためである。このようにしてわれらは、すべての民にその行いが公正に見えるようにした。彼らは彼らの主のもとに皆帰るであろう。そして彼は彼らがなしたことすべてを彼らに宣言するであろう。¹⁰⁹ 彼らは、もししるしが彼らに來たなら、それを信じるであろうと神にかけて厳粛に誓う。言え、「しるしは神によってのみ与えられる。」もししるしが彼らに与えられたとして、彼らが本当にそれを信じるだろうと、どうしてあなたに言えるだろうか？

¹¹⁰ われらは彼らの心と目を真実から背けるであろう。彼らが最初からそれを信じることを拒否したからである。われらは彼らをその不遜

さの中で盲目的にさまよわせるであろう。¹¹¹ たとえわれらが彼らに天使を下し、死者に彼らに話させ、われらが彼らの前にすべてを集めたとしても、神がそう望まない限り、彼らはそれでも信じないであろう。しかし彼らのほとんどは無知に行動する。¹¹² 同様に、われらはすべての預言者に対して敵対者を定めた。人間とジンの中から出たサタンで、欺くために、見せかけの言葉によって互いに悪の提案をする者たちである—もしそれがあなたの主の意志であったなら、彼らはそうしなかったであろう。だから彼らをその作り話に任せておきなさい—¹¹³ 来世を信じない者たちの心がその提案に傾き、喜んでその罪深い道が続けるためである。¹¹⁴ 神以外の裁き手を求めるべきだろうか。彼こそが書を、明確に説明して啓示された方なのに。われらが以前に書を与えた者たちは、それがあなたの主によって啓示された真実であることを知っている。したがって、疑ってはならない。

¹¹⁵ あなたの主の言葉は真実と正義において完成されている。彼の言葉を変えることは誰にもできない。彼はすべてを聞き、すべてを知り尽くされる方である。¹¹⁶ もしあなたが地上にいる多数の者に従うなら、彼らはあなたを神の道から迷わせるだろう。彼らは推測以外何も追わない。彼らはただ推測しているだけだ。¹¹⁷ あなたの主は誰が彼の道から逸れたかを最もよく知っており、導かれた者たちを最もよく知っている。¹¹⁸ 故に、もしあなたが本当に彼の啓示を信じるなら、神の御名が唱えられたものだけを食べなさい。

¹¹⁹ 神があなたに禁じたものをすでに説明されたのに、なぜ神の御名が聖別されたものを食べないのか？ただし、必要に迫られた場合を除く。確かに、多くの者は知識不足のためにその欲望によって他者を誤らせる。しかしあなたの主は逸脱者たちを最もよく知っておられる。¹²⁰ 開放的であれ秘密であれ、すべての罪を避けなさい。罪を犯す者たちはその罪に対する正当な懲罰を受けるであろう。¹²¹ そして神の御名が唱えられていないものは何も食べてはならない。それは確かに不従順だからである。悪魔たちはその追隨者を煽り、あなたと議論させる。も

しあなたが彼らに従うなら、あなたは神に仲間を配する者となるであろう。¹²² 死んでいた彼に、われらが命を与え、人々の中を歩むことのできる光を与えた彼が、決して抜け出ることのできない全くの闇の中にいる者と同じであろうか？このように、真理を否定する者たちの行いは、彼らには公正に見えるようにされた。

¹²³ このようにわれらは、あらゆる町に邪悪な者たちの指導者を置き、そこで彼らが陰謀を企むようにした。しかし彼らは、それに気づかないうちに、自分自身に対して陰謀を企んでいるにすぎない。¹²⁴ 彼らにしるしが来た時、彼らは言う、「神の使徒たちが与えられたものが私たちにも与えられるまで、私たちはそれを信じない」と。しかし神は、誰を使徒として任命すべきかを最もよく知っておられる。陰謀を企む悪を行う者たちには、神の前で屈辱と厳しい責め苦が降りかかるであろう。¹²⁵ 神が誰かを導こうと望む時、彼はその胸をイスラムに開かれる。そして彼が迷わせることを御心である者は誰であれ、まるで空に登らなければならないかのように、その胸を狭めさせる。このように神は、信じることを拒否する者たちに恥辱を積み重ねる。

¹²⁶ これがあなたの主へ導くまっすぐな道である。われらは考える人々のためにしるしを明確にした。¹²⁷ 彼らは彼らの主のもとにある平和の家に住むであろう。彼は彼らがなしてきたことの報いとして、彼らの保護者となるであろう。¹²⁸ 彼が彼らすべてを集める日、彼は言うだろう、「ジンの集団よ、お前たちは人類の中から多くの追隨者を得たのだ。」そして人類の中の彼らの信奉者たちは言うだろう、「私たちの主よ、私たちはお互いから利益を得ましたが、今やあなたが私たちに定めた期間の終わりに達しました。」彼は言うだろう、「業火がお前たちの家となるであろう。そしてそこにお前たちは永遠にとどまるであろう、ただし神が望まない限りは。確かにあなたの主は賢明であり、すべてを知り尽くされる方である。

¹²⁹ そして同様に、われらは不義を働く者たちを、彼らの悪行に対する懲罰として、互いに近づけておくであろう。¹³⁰ ジンの集団と人類よ！

私の啓示をあなた方に朗読し、この日の出会いをあなた方に警告するために、あなた方の中から使徒たちは来なかったのか？」彼らは言うだろう、「私たちは自分自身に対して証言します。」彼らを欺いたのはこの世の生であり、こうして彼らは自分自身に対して、真理を否定したことを証言するであろう。¹³¹ あなたの主は、その民がまだ無知である限り、その不義のために共同体を滅ぼすことはないだろう。¹³² すべては彼らの行いによる位階の段階がある。あなたの主は彼らがなすことのいかなることも認識しておられない。

¹³³ あなたの主は自給自足であり、慈悲深い者である。もし彼が望むなら、あなた方を排除し、あなた方を他の人々の末裔から起こしたように、御心である誰にでも置き換えることができる。¹³⁴ あなた方が約束されていることは必ず起こるであろう。そしてあなたはそれを防ぐことはできない。¹³⁵ 言え、「おお私の民よ！あなた方のやり方で行動し続けなさい。確かに私も私のやり方で行動するであろう。間もなくあなた方は、誰の終わりが来世で最も良いかを知るであろう。」確かに、不義を働く者たちは成功しないであろう。¹³⁶ 彼らは、神が作った作物や家畜の中から、神のために分け前を設け、「これは神のためである」と言う—彼らはそう主張する！—そして「これは私たちの仲間の神々のためである」と。彼らの仲間の神々の分け前は神には届かないが、神の分け前は彼らの仲間の神々には届く。彼らの判断はいかに愚かであることか！

¹³⁷ そして同様に、彼らの仲間の神々は、多くの異教徒にとって子供を殺すことを公正に見せた。彼らを滅ぼし、彼らの宗教に混乱を引き起こすためである。もし神が望んだなら、彼らはそうしなかったであろう。だから彼らをその偽りの発明に任せておきなさい。¹³⁸ 彼らはまた言う、「これらの動物とこれらの作物は禁じられている。私たちが許可した者以外は誰もそれらを食べてはならない」と。彼らはそう主張する！彼らはある動物を労働から免除し、ある動物については神の御名を唱えない。このようにして神に罪を犯しているのだ。彼は彼らがでっち上げる虚偽に対して彼らに報いるであろう。

¹³⁹ 彼らは言う、「そのような家畜の胎内にあるものは、私たちの男性専用であり、私たちの女性には禁じられている。しかし、もしそれが死産であれば、彼らは分け前を持つことができる」と。神は間もなく彼らの（偽りの）帰属について彼らを罰するであろう。彼は賢明で、すべてを知り尽くされる方である。¹⁴⁰ 子供たちを愚かにも知識なく殺し、神が彼らに糧として与えられたものを禁じると宣言する者たちは、確かに失われた者たちである—神に対するでっち上げである。彼らは道を誤り、正しく導かれることを選ばなかった。¹⁴¹ 彼こそが、棚作りされた庭と棚作りされていない庭の両方を、そしてナツメヤシの木と畑の作物を、すべて味が異なり、そしてオリーブとザクロを、似ているが異なるものとして作り出した者である。実を結んだらその果実を食べ、収穫の日にはそれらの正当な分を施しなさい。何も無駄にしてはならない。彼は無駄遣いする者を愛されない！

¹⁴² 家畜の中には荷物を運ぶものもいれば、食用となるものもいる。神があなた方に与えたものを食べなさい。そしてサタンの足跡に従ってはならない。彼はあなた方の公言された敵である。¹⁴³ 神は、両性の家畜を四種類創造された。羊から二種類、山羊から二種類である。彼らに尋ねなさい、「彼が禁じたのは二頭の雄か、それとも二頭の雌か、あるいは二頭の雌の胎内に含まれるものか？もしあなた方が真実を言う者であるならば、知識に基づいて私に教えなさい。」

¹⁴⁴ また、ラクダには二頭、牛には二頭いる。彼らに尋ねなさい、「彼が禁じたのは二頭の雄か、それとも二頭の雌か、あるいは二頭の雌の胎内に含まれるものか？神がこれをあなた方に命じた時、あなた方はその場にいたのか？」知識なくして神に対して嘘をでっち上げ、それによって知識なくして人々を迷わせようとする者以上に不正な者がいるだろうか？確かに、神は不義を働く者たちを導かれない。¹⁴⁵ （預言者よ）言え、「私に啓示されたものすべてにおいて、私は食べるものについて、死肉、流れる血、そして豚肉以外には、禁じられたものは見出さない。これらはすべて不浄であるか、神以外の名が唱えられたものだからである。

」しかし、もし誰かが、不従順でもなく、限界を超えずに、必要に迫られて
そうするなら、確かにあなたの主は最も許し深く、慈悲深い者である。

¹⁴⁶ われらはユダヤ人たちに、爪のあるすべての動物と、羊(と山羊)と
牛の脂肪を禁じた。ただし、背中や腸にあるもの、そして骨に付着してい
るものを除く。それが彼らの不従順に対するわれらが課した刑罰であ
る。そしてわれらは確かにわれらの言葉に忠実である。

¹⁴⁷ それゆえ、もし彼らがあなたを嘘つきだと非難するなら、言え、「
あなた方の主の慈悲はすべてを包摂する。彼の懲罰は罪深い者たちか
ら避けることはできない。」¹⁴⁸ 神に仲間を配する者たちはぎっと言うだ
ろう、「もし神が望んだなら、私たちも私たちの父祖も、彼以外の神々を
崇拝することはなかっただろう。また何も不法とはしなかっただろう」と。
同様に、彼ら以前に生きた者たちも、われらの懲罰を味わうまで偽って
議論した!言え、「あなた方は何か知識を持っているか?もしそうなら、そ
れを私たちの前に出しなさい。あなた方は推測以外何も追わない。あな
た方はただ推測しているだけだ。」

¹⁴⁹ 言え、「神のみが決定的な証拠を持っている。もし彼が望んだな
ら、あなた方一人一人を導くことができたであろう。」¹⁵⁰ 言え、「来な
さい、神がこれら(すべて)を禁じたことを証言できる証人たちを連れてき
なさい。」もし彼らが(偽って)証言するなら、彼らと共に証言してはなら
ない。また、われらのしるしを否定する者たち、あるいは来世を信じず、
他の者たちを彼らの主と同等に立てる者たちの願いに屈してはならな
い。¹⁵¹ 言え、「来なさい!あなたの主が本当にあなた方に禁じたものを
あなた方に教えよう!彼に何も配してはならない。両親に善を尽くしな
さい。そして貧困を恐れて子供たちを殺してはならない—われらはあなた
方にも彼らにも糧を与えるであろう—公にも秘密にも、みだらな行いを
慎みなさい。そして神が神聖とした命を、正当な理由なく殺してはなら
ない。それが彼があなた方に命じたことである。あなた方が理解するよ
うに。」

¹⁵² 孤児の財産からは、彼が成人するまでは、最善の意図をもって

以外は、遠ざかりなさい。完全な尺度と重さで、正義に従って与えなさい—われらは魂に、その耐えられる以上のものを決して課さない—あなたが話す時、たとえ近親者に関するものであっても、正義を守りなさい。そして神との契約を果たしなさい。それが彼があなた方に命じたことである。あなた方が心に留めるように。

¹⁵³ (彼が命じたのは)「これこそが私のまっすぐな道である。だからそれに従いなさい。そして他の道に従ってはならない。それはあなた方を彼の道から遠ざけるであろう。」それが彼があなた方に命じることである。あなた方が身を守るように。¹⁵⁴ それからわれらはモーセに書を与えた。義しい者たちへの(われらの恵みを)完結し、すべてのことを明確に説明し、導きと慈悲として。彼らが彼らの主との出会いを信じるように。

¹⁵⁵ これはわれらが啓示した祝福の書である—それに従い、あなたの主を畏れなさい。あなた方が慈悲を受けられるように—¹⁵⁶ そして「書は私たち以前の二つの集団にしか下されず、私たちは確かに彼らの教えを知らなかった」と言わないように。¹⁵⁷ あるいは、「もし書が私たちに下されていたなら、私たちは彼らがしたよりもはるかに良くその導きに従っただろう」と言うかもしれない。今やあなたには、あなたの主から明確な証拠と、導きと慈悲が来たのである。ならば、神のしるしを拒絶し、それらから背を向ける者以上に不正な者がいるだろうか？われらはわれらのしるしから背を向ける者たちに、彼らの背を向けたことに対して苦痛な懲罰で報いるであろう。¹⁵⁸ 彼らは天使たち、あるいはあなたの主が彼らのところに来るのを、あるいはあなたの主のしるしの一部が来るのを待っているのか？あなたの主のしるしの一部が来る日には、以前信じなかった人間、あるいはその信仰によって何の善も行わなかった人間には、何の益もないであろう。彼らに言え、「ならば待ちなさい、私たちも待っている。」¹⁵⁹ その宗教を宗派に分裂させた者たちとは関わってはならない。彼らの場合は神に委ねられている。彼は彼らがなしていたことについて彼らに告げるであろう。

¹⁶⁰ 善行を行う者は誰であれ、十倍で報われるであろう。しかし悪行を行う者たちは、その行為の同等物でしか報われず、不義を被ることはないであろう。¹⁶¹ 言え、「私の主は私をまっすぐな道、そして正義の宗教、多神教徒の一人ではなかったまっすぐなアブラハムの宗教へと導かれた。」

¹⁶² 言え、「私の礼拝と私の犠牲、そして私の生と私の死はすべて、万有の主である神のためである。¹⁶³ 彼には仲間はいない。そう私は命じられており、私は服従する者たちの最初である。」¹⁶⁴ 言え、「すべてのものの主である神以外の主を求めようか？」誰もが自分の行いの結果を負わなければならない、重荷を負う者が他者の重荷を負うことはできない。それからあなたはあなたの主の元に帰り、彼はあなた方が争っていたことについてあなたに告げるであろう。¹⁶⁵ 彼こそが、あなた方を地上における(他の者たちの)後継者とし、彼があなた方に与えたものによってあなた方を試すために、あなた方の一部を他の者たちよりも位階において高めた者である。あなたの主は懲罰において迅速であるが、確かに彼は許し深く、慈悲深い者である。

7. 高壁 (アル・アアラーフ)

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ アリフ・ラーム・ミーム・サード

² この書はあなたに下された—そのことであなたの心に何の重苦しさもあってはならない—それによってあなたが警告できるよう、そして信者たちへの戒めである。³ あなたの主によってあなたに下されたものに従い、彼以外のいかなる保護者にも従ってはならない。あなた方はなんというめったに注意を払わない者たちであることか。⁴ われらがどれほど多くの町を破壊したことか。われらの懲罰が、彼らが休んでいる夜間、あるいは真昼に彼らに降りかかった。⁵ そしてわれらの懲罰が彼ら

に降りかかった時、彼らの唯一の叫びは「私たちは確かに不義を働く者たちでした!」であった。⁶ その時、われらはわれらのメッセージが送られた者たちと、われらがそれを通して送った者たちに尋問するであろう。

⁷ 完全な知識をもって、われらは彼らがなしたことを彼らに告げるであろう。われらは彼らから離れていたことは決してないからである。⁸ その日、真実のみが重みを持つであろう。その秤が重い者たちは成功するであろう。⁹ そしてその善行が(秤で)軽い者たちは、自らを失った者たちとなるであろう。彼らが不法にわれらのしるしを拒絶したからである。

¹⁰ われらはあなた方を地上に確立し、そこであなた方に生計の手段を与えた。しかしあなた方はめったに感謝しない。¹¹ われらはあなた方を創造し、それから形作り、それから天使たちに言った、「アダムにひれ伏しなさい」と。すると、サタンを除いて彼らは皆ひれ伏した。彼はひれ伏した者たちの中にいなかった。¹² 神は尋ねた、「私が命じた時に、何があなたにひれ伏すのを妨げたのか?」彼は答えた、「私は彼よりも優れています。あなたは私を火から創造し、彼を粘土から創造されました。」¹³ 神は言われた、「ここから降りなさい!ここはあなた方の傲慢さの場所ではない。出て行け!お前は軽蔑すべき者だ!」¹⁴ サタンは言った、「復活の日まで私に猶予を与えてください」と。¹⁵ そして神は答えた、「お前は猶予を与えられた。」¹⁶ その時サタンは言った、「あなたが私を間違った者としたからには、私はあなたのまっすぐな道で彼らを待ち伏せするであろう。¹⁷ それから私はきっと彼らの前から、後ろから、右から、左から彼らに襲いかかるであろう。そうすればあなたは彼らのほとんどが恩知らずであることを知るであろう。」¹⁸ 彼は言われた、「ここから出て行け、軽蔑され、拒絶された者よ!私はお前に従う者すべてで地獄を満たすであろう。」

¹⁹ アダムには彼は言った、「あなたとあなたの妻は園に住み、望む場所からそこで食べ、飲みなさい。ただし、この木には近づいてはならない。そうすれば、あなた方は不義を働く者となるであろうから。」²⁰ しかしサタンは彼らを誘惑した。彼らから隠されていた彼らの裸体を彼ら

に明らかにするためである。彼は言った、「あなた方の主があなた方にこの木に近づくことを禁じたのは、あなた方が天使になるか、あるいは不死の者になるのを防ぐためである」と。²¹ そして彼は彼らに誓った、「確かに、私はあなた方の善意の者である」と。

²² こうして彼は巧妙に彼らを誘惑した。彼らが木の果実を味わうと、彼らの裸体が彼らに露わになり、彼らは園の葉で身を覆い始めた。彼らの主は彼らに呼びかけた、「私はあなた方にその木に近づくことを禁じなかったか、そしてサタンは確かにあなた方の公然の敵であるとあなた方に言わなかったか?」²³ 彼らは答えた、「私たちの主よ、私たちは自らの魂を不義に陥れました。もしあなたが私たちを赦し、私たちに慈悲をかけなければ、私たちは失われた者たちの中にいるでしょう。」²⁴ 彼は言われた、「ここから互いに敵として降りて行きなさい。しばらくの間、地上にはあなた方の住処と食料がある。」²⁵ あなた方はそこで生き、そこで死に、そこから再び起こされるであろう。」

²⁶ おおアダムの子らよ!われらはあなた方に、あなた方の裸体を覆い、目を楽しませるための衣服を下した。しかし、正義の衣が最良である。それは神のしるしの一つである。人々が心に留めるためである。²⁷ アダムの子らよ、サタンがあなた方を誘惑させてはならない。ちょうど彼があなた方の両親を園から追い出したように。彼は彼らの裸体を彼らに気づかせるために彼らの衣服を奪った。彼と彼の軍勢は、あなた方が彼らを見ない場所からあなた方を見ている!われらは悪魔たちを、信じない者たちの友とした。

²⁸ そして彼らがみだらな行為を犯すと、彼らは言う、「これは私たちの父祖がかつてしていたことであり、神が私たちに命じたことだ」と。言え、「神はみだらなことを命じない。あなた方は知識のないことを神に帰すつもりなのか?」²⁹ 言え、「私の主はあなた方に公正に行動するよう命じた。あらゆる礼拝の時と場所で彼に顔を向け、彼を呼びかけなさい。宗教において彼に誠実になりなさい。彼があなた方を生み出したように、あなた方はそう帰るであろう。」³⁰ ある者たちを彼は導き、ある者た

ちは迷いを稼いだ。彼らは神の代わりに悪魔を守護者とし、自分たちが正しく導かれていると考えている。

³¹ おおアダムの子らよ、礼拝の時にはいつでも適切に身を整えなさい。そして食べ、飲みなさい。ただし、限界を超えてはならない。神は限界を超える者を愛されない。³² 言え、「神が彼のしもべたちのために生み出した装飾品と、神が彼のしもべたちのために提供した、清く純粋な良いものを、誰が禁じたのか？」言え、「それらは現世では信じる者たちのために(合法であり)だが、復活の日には排他的に彼らのためとなるであろう。」このようにわれらは、理解する人々のためにわれらのしるしを説明する。³³ 言え、「私の主が禁じたのは、公にも隠れてもみだらなこと、罪と不当な抑圧、そして彼の認可なくして彼に何かを配すること、そして彼について知識なくして何かを言うことである。」

³⁴ すべての人々にとって期限が定められている。そして彼らの期限の終わりが近づくと、彼らはそれを一瞬たりとも遅らせることも、早めることもできない。³⁵ アダムの子らよ!もしあなた方の中から使徒が来て、私の啓示をあなた方に朗読するなら、警告を受け入れ、自らの行いを改める者たちには、何の恐れもなく、悲しむこともないであろう。³⁶ しかし、われらの啓示を否定し、嘲笑する者たちは、地獄の住人となり、そこに永遠にとどまるであろう。³⁷ 神に対して嘘をでっち上げる者、あるいは彼の啓示を拒絶する者以上に大きな不正を犯す者がいるだろうか? そのような人々には、彼らのために定められたものが与えられるであろう。そしてわれらの使徒たちが彼らの魂を奪うために彼らのところに来た時、彼らは彼らに尋ねるだろう、「あなた方が神以外に呼びかけていた者たちはどこにいるのか?」彼らは答えるだろう、「彼らは私たちを見捨てました。」そして彼らは、自分たちが不信仰者であったことを自分自身に対して証言するだろう。

³⁸ 神は言われるだろう、「業火に入れ。あなた方以前に去って行ったジンと人類の集団に加わりなさい。」一隊が(火に)入るたびに、それはその仲間の隊を呪うであろう。それから、彼らが皆そこに集まった時、

彼らの最後は最初に対して言うだろう、「私たちの主よ、私たちを迷わせたのは彼らでした。彼らに業火の中で二倍の懲罰を与えてください。」—神は言うだろう、「あなた方一人一人が二倍の懲罰を受けるであろう。あなた方は知らないけれども」—³⁹ その時、先立つ者は後続の者に言うだろう、「あなた方は私たちよりも優れているわけではない。だからあなた方が稼いだ懲罰を味わえ。」

⁴⁰ われらのしるしを拒絶し、傲慢にそれを侮った者たちのためには、天国の門は開かれないであろう。ラクダが針の穴を通るまで、彼らは樂園に入らないであろう。このようにわれらは悪を行う者たちに報いる—⁴¹ 地獄が彼らの寝床となり、彼らの上には火の覆いがあるであろう—このようにわれらは不義を働く者たちに報いるであろう。⁴² しかし信じ、善行を行った者たち—そしてわれらは魂に、その耐えられる以上のものを負担させない—そのような者たちは園の相続者であり、そこに彼らは永遠にとどまるであろう。⁴³ そしてわれらは、彼らの心の中にあるいかなる恨みも取り除くであろう。彼らの足元には川が流れるであろう。そして彼らは言うだろう、「私たちをこれへと導いてくださった神にすべての称賛を。もし神が私たちを導かなかったなら、私たちは決して道を見つけることはなかったであろう。私たちの主の使徒たちは真実をもたらした。」と。声が彼らに呼びかけるだろう、「これこそがあなた方がその労苦によって相続した園である。」

⁴⁴ 園の人々は業火の人々に呼びかけるだろう、「私たちは私たちの主が私たちに約束されたものが真実であることを見出しました。あなた方も、あなた方の主があなた方に約束されたものが真実であることを見出しましたか？」彼らは言うだろう、「はい、見出しました！」その時、叫び手が彼らの中で呼びかけるだろう、「神の呪いは不義を働く者たちの上に！」—⁴⁵ 神の道から人々を遠ざけ、それを歪んだように見せようとし、来世を否定した者たちに。

⁴⁶ 二つの集団を隔てる障壁があり、高壁にはその印によって各集団を認識する男たちがいるだろう。彼らは園の人々に呼びかけるだろう、

「あなた方に平安あれ。」彼らはまだ入っていないが、(そうすることを)望んでいるだろう。⁴⁷ そして彼らが業火の住人たちの方に目を向ける時、彼らは言うだろう、「私たちの主よ、私たちを不義を働く者たちの中に含めないでください!」⁴⁸ そして高壁の人々は、その印によって認識する男たちに呼びかけるだろう、「あなた方のその大勢と偽りの傲慢さは何に役立ったのか?」⁴⁹ 見よ!これらの者たちこそ、あなた方が決して神の慈悲を得られないと誓った人々ではないのか?『園に入れ!あなた方には何の恐れもなく、悲しむこともないであろう。』

⁵⁰ 業火の人々は天国の人々に呼びかけるだろう、「私たちに水を注いでください、あるいは神があなた方に授けたものの中から何か与えてください。」しかし祝福された者たちは答えるだろう、「神は真理を否定する者たちにそれらすべてを禁じたのだ。⁵¹ 宗教を遊びと無益な気晴らしとして扱い、この世の生に惑わされた者たちに。」その日、彼らがその日の私たちとの出会いを忘れたように、われらは彼らを忘れるであろう。彼らがわれらの啓示を否定したからである。

⁵² そして確かにわれらは彼らに、われらが知識をもって解説した書をもたらしした。信じる者たちへの導きと慈悲として。⁵³ 彼らはそれが警告するものの成就を待っているのか?その成就が来る日、以前それを怠っていた者たちは言うだろう、「私たちの主の使徒たちは確かに真実をもたらしした。ならば私たちには、私たちのために執り成してくれる執り成し手がいるだろうか?あるいは、私たちが以前とは異なる行動ができるように、私たちを戻してもらえるだろうか?」彼らは確かに自らの魂を滅ぼし、彼らがでっち上げたものは彼らを見捨てた。

⁵⁴ あなた方の主は神である。彼は六日間(期間)で天と地を創造し、その後、しっかりと玉座に定まった。彼は夜の幕を昼に投げかけ、それぞれが素早く互いを追いかける。彼こそが太陽、月、そして星々を創造し、それらを彼の意志に従わせた者である。創造は彼のものであり、命令も彼のものである。祝福あれ、万有の主である神に!⁵⁵ あなたの主を謙虚に、そして秘密裏に呼びかけなさい—彼は逸脱する者を愛さ

れない。⁵⁶ 地上が秩序立てられた後で、そこに腐敗を広めてはならない—恐れと希望をもって彼に祈りなさい。神の慈悲は善を行う者たちに近い。

⁵⁷ 彼こそが、彼の慈悲の先触れとして風を送る者である。そしてそれらが重い雲を集めた時、われらはそれらを死んだ土地へと駆り立て、雨を降らせ、あらゆる種類の果物を生み出す。ちょうど死者を生き返らせるように。おそらくあなた方は心に留めるであろう。⁵⁸ 植生は、その主の意志によって良い土地からは豊かに生えるが、悪い土地からはわずかししか生えない。このようにわれらは、感謝する人々のためにわれらのしるしを多様な方法で説明する。

⁵⁹ われらはノアを彼の民に送った。彼は言った、「おお私の民よ、神を崇拝しなさい。彼以外にあなた方には何の神もない。私はあなた方のために恐ろしい日の懲罰を恐れる。」⁶⁰ しかし彼の民の指導者たちは言った、「本当に、あなた方が明らかに誤りの中にいるのを見る!」⁶¹ (ノアは)言った、「おお私の民よ!私は誤りの中にいない。確かに、私は万有の主からの使徒である。」⁶² 私はあなた方に私の主のメッセージを伝え、あなた方に誠実な助言を与えている。私はあなた方が知らないことを神から知っている。⁶³ あなた方の中から出た人間を通して、あなた方の主からメッセージが来たことが、そんなに奇妙に思えるのか?彼があなた方に警告し、あなた方が神を畏れ、慈悲を示されるように。」⁶⁴ しかし彼らは彼を否定した。そこでわれらは彼と彼と共に箱舟にいた者たちを救い、われらのしるしを拒絶した者たちを溺れさせた。彼らは実に盲目の民であった。

⁶⁵ アードの民には、彼らの兄弟、フードを送った。彼は言った、「おお私の民よ、神を崇拝しなさい。彼以外にあなた方には何の神もない。ならばあなた方は神を畏れないのか?」⁶⁶ 真理を認めようとしない彼の民の指導者たちは言った、「あなた方は愚かな男だとわかるし、嘘をついていると思う。」⁶⁷ 彼は言った、「私の民よ、私は決して愚か者ではない。むしろ万有の主からの使徒である。」⁶⁸ 私はあなた方に私の主

のメッセージを伝え、私はあなた方の誠実で正直な助言者である。⁶⁹ あなた方自身の中から出た人間を通して、あなた方の主からメッセージが来たことが、あなた方を警告するために奇妙に思えるのか？彼がいかにあなた方をノアの民の後継者とし、体格においてあなた方を大いに増大させたかを思い出しなさい。神の恵みを思い出しなさい。あなた方が成功するように。」

⁷⁰ 彼らは言った、「あなた方は私たちに、神のみに仕え、私たちの父祖が仕えた神々を捨てるよう言うために来たのか？ならば、もしあなたが真実を言う者であるならば、私たちに脅すものを連れてこい。」

⁷¹ 彼は言った、「あなた方の主の怒りと憤りはすでにあなた方に降りかかっている。あなた方は私と、あなた方とあなた方の父がでっち上げた単なる名前について議論するのか？それについて神は何の権威も啓示していない。ならば、もしよければ待ちなさい。私もあなたと共に待っている。」⁷² その時、われらは彼と彼と共にいた者たちを、われらの慈悲によって救い出した。われらはわれらのしるしを否定し、信じようとしないう者たちを一掃した。

⁷³ サムードの民には、彼らの兄弟サーリフを送った。彼は言った、「おお私の民よ、神を崇拝しなさい。彼以外にあなた方には何の神もない。あなた方の主から真の証拠が来た。これこそが神の雌ラクダであり、あなた方へのしるしである。だから彼女を神の土地で餌を与えさせ、いかなる方法でも彼女を害してはならない。さもなくば苦痛な懲罰に打ちのめされるであろう。」⁷⁴ 彼があなた方をアードの後継者とし、その土地に定住させた時のことを思い出しなさい。あなた方はその平野に宮殿を建て、山々から家を彫り出した。神の祝福を思い出し、土地に腐敗を広げてはならない」⁷⁵ しかし、彼の民の傲慢な指導者たちは、弱いと見なされた信者たちに言った、「あなた方はサーリフが彼の主から送られた者であると確実に知っているのか？」彼らは答えた、「私たちは彼を通して送られたメッセージを信じます。」⁷⁶ 傲慢な指導者たちは言った、「私たちはあなた方が信じるものを拒絶する。」⁷⁷ そこで彼らは雌ラク

ダの腱を切り、その主の命令を無礼にも無視して言った、「おおサーリフよ!もしあなたが本当に使徒であるならば、私たちを脅すものを私たちにもたらしなさい。」⁷⁸ すると地震が彼らを打ちのめし、朝には彼らはその住居の中でひれ伏していた。⁷⁹ 彼は彼らを去り際に言った、「私の民よ、私はあなた方に私の主のメッセージを伝え、誠実に助言したが、あなた方は誠実な助言者を好まないのだ。」

⁸⁰ われらはルートを送った。彼は彼の民に言った、「あなた方は、世界中であなた方以前に誰も行わなかったような忌まわしい行為をどうして犯せるのか?」⁸¹ あなた方は女よりも男を欲する!あなた方はすべての境界を侵害している!」⁸² 彼の民が出した唯一の答えは、「彼らを町から追い出せ。彼らは自分たちを清いと見なす民だ」であった。⁸³ そこでわれらは彼と彼の家族を救った—彼の妻を除く。彼女は後ろに留まった者たちの一人であった。⁸⁴ われらは彼らの上に(硫黄の)雨を降らせた。その時、悪を行う者たちの末路がどうであったかを見なさい。

⁸⁵ ミデアンの民には彼らの兄弟シュアイブを送った。彼は言った、「おお私の民よ、神を崇拜しなさい。彼以外にあなた方には何の神もない。あなた方の主から明確な兆候が確かに来た。だから完全に量り、完全に重さを測り、ごまかしてはならない。秩序立てられた後で土地を腐敗させてはならない。もしあなたが真の信者であるならば、これはあなた方自身のためである。」⁸⁶ あらゆる道筋で待ち伏せし、人々を脅し、神の道から信じる者を妨げ、それを歪んだように見せようとしてはならない。あなた方が少数であった時に、彼があなた方を増やしたことを思い出しなさい。腐敗を広めていた者たちの運命を考慮しなさい。⁸⁷ そしてもしあなた方の中に私のメッセージを信じる集団と、それを不信仰する他の者たちがいるなら、神が私たちの間を裁かれるまで忍耐しなさい。彼は最高の裁き手である。

⁸⁸ 彼の民の傲慢な指導者たちは言った、「シュアイブよ、もしあなたが私たちの信仰に戻らないなら、あなたとあなたの信者たちを私たちの町から追放するであろう。」彼は言った、「たとえ私たちがそれを嫌悪

してもか？⁸⁹ 神が私たちをそこから救い出してくださった後で、もし私たちがあなた方の信仰に戻るなら、私たちは神に対して嘘をでっち上げることになるであろう。私たちの主である神がそう望まない限り、私たちがそれに立ち返ることはありえない。私たちの主は彼の知識の中にすべてのものを包摂している。私たちは神に信頼を置いた。私たちの主よ、私たちと私たちの民の間で真実を明らかにし、(裁きなさい)。あなたは最高の裁き手である。』⁹⁰ 真理を否定することに固執した彼の民の指導者たちは言った、「もしあなた方がシュアイブに従うなら、あなた方はきっと失われた者たちとなるであろう。』⁹¹ すると地震が彼らを打ちのめし、朝には彼らはその家の中で平伏していた。⁹² シュアイブを否定した者たちは、まるでそこに住んだことがなかったかのようになった。シュアイブを否定した者たちは、自ら失われた者たちであった。⁹³ そこで彼は彼らを去り際に言った、「私の民よ、私はあなた方に私の主のメッセージを伝え、誠実な助言を与えたが、信じることを拒否した人々をなぜ私が悲しむ必要があるだろうか?」

⁹⁴ われらが都市に使徒を送るたびに、われらはその民を苦しみと逆境で悩ませた。彼らが(神の前に)謙虚になるためである。⁹⁵ そしてその後、われらは彼らの苦難を安楽に変えた。彼らが豊かになり、「私たちの父祖も逆境と繁栄を経験した」と言うようになるまで。それからわれらは、彼らが気づかないうちに、彼らを突然捕らえた。⁹⁶ もしそれらの都市の民が信じ、神を畏れていたなら、われらは天と地から彼らに祝福を降り注いだであろう。しかし彼らは真理を拒絶した。そこでわれらは彼らの悪行のゆえに彼らを捕らえた。⁹⁷ これらの都市の民は、彼らが眠っている夜間に、われらの懲罰が彼らに訪れることに対して今や安心しているのか？⁹⁸ あるいは、彼らが遊んでいる午前中に、われらの懲罰が彼らに訪れることに対して安心しているのか？⁹⁹ 彼らは神の企みに対して安心しているのか？破滅に定められた者たち以外は、誰も神の企みに対して安心していない。

¹⁰⁰ 以前の民から土地を相続する人々に、われらが望むなら彼ら

の罪のために彼らを罰し、その心を封じて導きの言葉に耳を傾けることができないようにできる、と導きを与えないのか?¹⁰¹ われらはあなたにそれらの都市の物語を語った。彼らの使徒たちは彼らに明確なしるしを携えて来たが、彼らはすでに拒絶していたものを信じることは決してなかっただろう。このように神は、真理を否定する者たちの心を封じる。¹⁰² われらは彼らのほとんどが契約に不忠実であることを見出した。実にわれらは彼らのほとんどが反抗的であることを見出した。

¹⁰³ 彼らの後、われらはモーセをわれらのしるしと共にファラオとその首長たちに送った。しかし彼らは故意にそれらを拒絶した。悪を行う者たちの末路を考慮しなさい。¹⁰⁴ モーセは言った、「ファラオよ、私は万有の主からの使徒である。¹⁰⁵ 神について真実以外は何も言わない義務を負っており、あなたの主から明確なしるしを携えてきた。イスラエルの子らを私と共に行かせてください。」¹⁰⁶ (ファラオは)言った、「もしあなたがしるしを携えて来るなら、もしあなたが真実を言う者であるならば、それを見せなさい。」¹⁰⁷ するとモーセは杖を投げ落とし、突然、紛れもなく、それは蛇のように現れた。¹⁰⁸ そして彼は手を取り出すと、見る者たちには(輝くように)白く見えた。¹⁰⁹ ファラオの民の首長たちは言った、「これは確かに熟練した魔術師である。¹¹⁰ あなた方を土地から追い出そうとしている!」ファラオは言った、「ならばあなた方はどう助言するのか?」¹¹¹ 彼らは言った、「彼と彼の兄弟をしばらく待たせ、都市に使者を送り、¹¹² 熟練した魔術師をすべてあなたのもとへ連れてこさせるべきだ。」

¹¹³ そして魔術師たちはファラオのところに来て尋ねた、「もし私たちが勝ったなら、報いはあるでしょうか?」¹¹⁴ ファラオは答えた、「もちろんだ、そしてお前たちは私の宮廷人にもなるであろう。」¹¹⁵ 彼らは言った、「モーセよ、まずあなたが投げるか、それとも私たちでしょうか?」¹¹⁶ 彼は言った、「お前たちが(まず)投げなさい!」彼らが投げた時、彼らは人々の目を幻惑し、彼らを畏怖の念に打たせた。彼らは大いなる(見事な)魔術を見せたからである。¹¹⁷ その時、われらはモーセに靈感を与

え、「あなたの杖を投げなさい」と言った。するとそれは直ちに彼らの偽りの仕掛けを飲み込んだ。¹¹⁸ こうして真実が優勢となり、彼らが作り出したものは無に帰した。¹¹⁹ ファラオと彼の者たちは打ち負かされ、完全に屈辱を受けた。¹²⁰ そして魔術師たちはひれ伏し、¹²¹ 言った、「私たちは万有の主を信じます、¹²² モーセとハールーンの主を!」

¹²³ ファラオは言った、「私が許可を与えていないのに、よくも彼を信じるな! 見よ、これは確かにあなた方がこの都市の人々を追いつめるためにこの都市で企てた陰謀である。しかしお前たちは間もなくその結果を知るであろう。¹²⁴ 私がお前たちの手足を互い違いに切断し、その後お前たち全員を十字架にかけるであろう!」¹²⁵ 彼らは答えた、「私たちはきっと私たちの主のもとに帰るでしょう。¹²⁶ あなたは私たちが主のしるしを私たちに示された時に信じたという理由だけで私たちを罰するのです。私たちの主よ、私たちに忍耐を注ぎ、私たちをあなたに服従した状態で死なせてください。」

¹²⁷ ファラオの民の首長たちは言った、「モーセと彼の民が土地に腐敗を広め、あなたとあなたの神々を見捨てるのを許すのですか?」彼は答えた、「私たちは彼らの男の子たちを殺し、女の子たちだけを生かしておこう。私たちは彼らに対して完全な力を持っているのだ。」¹²⁸ モーセは彼の民に言った、「神に助けを求め、忍耐しなさい。土地は神に属する。彼はそれを彼が選ぶ彼の僕たちに与える。そして未来は神を畏れる者たちに属する。」¹²⁹ 彼らは答えた、「あなたが私たちのところに来る前から迫害を受けており、今も迫害を受けています。」彼は言った、「あなた方の主はあなた方の敵を滅ぼし、あなた方を土地の後継者としてすることができるだろう。その時彼はあなた方がどのように振る舞うかを見るであろう。」

¹³⁰ われらはファラオの民に食料の不足と飢饉で苦しませた。彼らが心に留めるためである。¹³¹ その後、彼らに何か良いことが来ると、彼らは言った、「これは私たちに当然の権利だ!」—しかし何か悪いことが来ると、彼らはそれをモーセと彼と共にいた者たちへの不吉な前兆とし

た。確かに彼らの(邪悪な)運命は神によって定められていたが、彼らのほとんどはこれを知らなかった。¹³² 彼らは言った、「あなたが私たちを幻惑するためにどのような奇跡を行っても、私たちはあなたを信じないであろう。」

¹³³ その後、われらは彼らを嵐、イナゴ、シラミ、カエル、そして血で苦しめた。非常に多くの明確なしるしである。しかし彼らは傲慢さに浸っていた。彼らは罪にふける民であったからである。¹³⁴ 彼らを疫病が襲うたびに、彼らは言った、「モーセよ、あなたに彼が約束したことのゆえに、私たちのためにあなたの主に祈ってください。もしあなたがこの疫病を私たちから取り除くなら、私たちはきっとあなたを信じ、イスラエルの子らをあなたと共に行かせます」と。¹³⁵ しかし、われらが彼らから疫病を取り除くたびに、彼らに約束を果たす時間を与えたにもかかわらず、彼らは約束を破った。

¹³⁶ そこでわれらは彼らに報復を執行し、彼らを海に溺れさせた。彼らがわれらのしるしを拒絶し、それに耳を傾けなかったからである。¹³⁷ われらは弱いと見なされていた人々を、われらが祝福した土地の東部と西部の相続者とした。このようにして、イスラエルの子らに対するあなたの主の良き約束は果たされた。彼らの忍耐ゆえである。そしてわれらはファラオと彼の民が築き上げたものすべて、そして彼らが高く掲げたものすべてを破壊した。

¹³⁸ われらはイスラエルの子らを海を渡らせ、彼らは偶像に専念する民に出会った。彼らは言った、「モーセよ、これらの人々が持っている神々と同じような神を私たちにも与えてください。」彼は言った、「あなた方は確かに無知な民である。¹³⁹ 彼らが従事しているものは破滅に定められており、彼らのすべての行いは無益である。」¹⁴⁰ 彼は言った、「私はあなた方のために神以外の神を探すべきだろうか。彼こそがあなた方をすべての人々の上に高めた方であるのに?」¹⁴¹ われらはあなた方をファラオの民から救い出した。彼らはあなた方を恐ろしい責め苦で苦し

め、あなた方の男の子たちを殺し、女の子たちだけを生かしておいた。それは確かにあなた方の主からの大きな試練であった。」

¹⁴² われらはモーセのために三十夜を定め、その後さらに十夜を追加した。彼の主によって定められた期間は四十夜で完了した。モーセは彼の兄弟ハールーンに言った、「私の民の間で私の代わりを務めなさい。正しく行動し、腐敗を広める者たちの道に従ってはならない。」

¹⁴³ そしてモーセがわれらの定めた時に来、彼の主が彼に語りかけられた時、彼は言った、「私の主よ、あなたを私に見せてください。そうすれば私はあなたを見ることができます。」彼は答えた、「あなたは私を見ることはできない。だが山を見なさい。もしそれがその場にしっかりと留まるなら、その時に限りあなたは私を見るであろう。」そして彼の主が山に御自身を顕現された時、彼はそれを粉々に砕き、モーセは意識を失って倒れた。そして彼が意識を取り戻すと、彼は言った、「あなたに栄光あれ、私はあなたに向き直ります。そして私は最初に信じる者です。」

¹⁴⁴ 彼は答えた、「モーセよ、私は私のメッセージと私の言葉のために、すべての人類の中からあなたを選んだのだ。私があなたに与えたものを堅く守り、感謝する者たちの一員でありなさい!」¹⁴⁵ そしてわれらは彼のために石板に、戒めとすべての事柄の詳細を書き記し、それから(彼に)命じた、「それらを堅く守りなさい。そしてあなたの民に、それらを最良の意味で従うよう命じなさい。間もなくあなた方に邪悪な者たちの住処を見せるであろう。」¹⁴⁶ 私は、いかなる権利もなく地上で傲慢なすべての者たちを、私のしるしから遠ざけるであろう。彼らはすべてのしるしを見ても、それらを信じないであろう。もし彼らが正しい道を見ても、彼らはそれに沿って歩まないであろう。しかしもし彼らが誤りの道を見れば、彼らはそれを道として選ぶであろう。彼らがわれらのしるしに嘘をでっち上げ、それに耳を傾けなかったからである。¹⁴⁷ われらのしるしと来世との出会いを否定した者たちの行いは、無に帰するであろう—彼らは彼らの行いに応じてのみ報われるであろう。

¹⁴⁸ 彼の不在中、モーセの民は彼らの装飾品から子牛を作った。そ

れは唸り声を発する像であった。彼らはそれが自分たちに語りかけたり、いかなる方法でも導いたりしないことに気づかなかったのか？それでも彼らはそれを崇拜するようになった。彼らは悪を行う者たちであった。¹⁴⁹ 彼らが後悔の念に捕らえられ、確かに道に迷ったことを悟った時、彼らは言った、「もし私たちの主が私たちに慈悲をかけず、私たちを赦さなければ、私たちは失われた者たちの中にいるでしょう。」¹⁵⁰ モーセが怒りと大きな悲しみに暮れて彼の民のもとに戻ると、彼は言った、「私の不在中に、なんという恐ろしい罪をあなた方は犯したのだ。あなた方は主の命令を急がせたかったのか？」彼は石板を投げ落とし、兄弟の頭を掴み、自分の方へ引き寄せた。ハールーンは言った、「私の母の息子よ、民は私を抑圧し、もう少しで私を殺すところでした。私の敵たちに私を嘲る口実を与えないでください。私を不義を働く者たちの中に数えないでください。」¹⁵¹ 彼は言った、「私の主よ、私と私の兄弟を赦し、私たちをあなたの慈悲に入れてください。あなたは慈悲深い者たちの中で最も慈悲深い方です。」

¹⁵² 子牛を崇拜するようになった者たちは、彼らの主の怒りに見舞われ、この世の生で恥辱を受けるであろう。これがわれらが虚偽をでっち上げる者たちに報いる方法である。¹⁵³ 悪を犯した者たちで、その後悔い改めて信じた者たちについては、彼らはあなたの主が許し深く、慈悲深い者であることを見出すであろう。

¹⁵⁴ 彼の怒りが収まった時、モーセは石板を手にとった。その上には、彼の主を畏れる者たちへの導きと慈悲の誓約が刻まれていた。¹⁵⁵ そしてモーセは彼の民の中から七十人の男をわれらの任命のために選んだ。彼らが激しい震えに捕らえられた時、彼は祈った、「おお私の主よ！もしそれがあなたの御心であったなら、あなたはずっと昔に彼らも私も破壊することができたでしょう。しかし、あなた方は私たちの中の愚かな者たちの行いのために私たちを滅ぼすのでしょうか？これはあなたの試練にすぎません。それによってあなたは御心である者を迷わせ、御心である者を正しい道に導かれます。あなたは私たちの保護者

です。それゆえ、私たちを赦し、私たちに慈悲をかけてください。あなたは赦す者たちの中で最高の方です。¹⁵⁶ 私たちに、この世でも来世でも良いものをお与えください。あなたにのみ私たちは向き直ります。」彼は答えた、「私の懲罰については、私は御心である者を誰でもそれで打つであろう。しかし私の慈悲はすべてのものを包摂する。私はそれを、義務を果たす者たち、ザカートを払う者たち、そしてわれらのしるしを信じる者たちのために定めるであろう。¹⁵⁷ また、使徒—彼らが持つトラーと福音に記述されている文盲の預言者—に従う者たちのためにもである—彼は彼らに正しいことを命じ、間違ったことを禁じ、良いものを彼らに合法とし、悪いものを不法とし、彼らの重荷と彼らを縛る足枷を軽減する者である。彼を信じ、彼を尊び、彼を助け、彼と共に下された光に従う者たちは、きっと勝利するであろう。」

¹⁵⁸ 言え、「人々よ、私はあなた方すべてへの神の使徒である。彼は天と地に対する主権を持っている。彼以外に神はいない。彼は命を定め、死をもたす。だから神と彼の使徒、神とその言葉を信じる文盲の預言者を信じなさい。彼に従いなさい。あなた方が正しく導かれるように。」¹⁵⁹ しかし、モーセの民の中には、真実をもって導き、それに従って公正に行動する集団がいる。

¹⁶⁰ われらは彼らを十二の部族に分け、それぞれを完全な共同体とした。そしてわれらはモーセにわれらの意志を啓示した。彼の民が水を求めた時、「杖で岩を打て」と言った。十二の泉がそこから噴き出し、各部族は自分の飲み場を知っていた。われらは彼らの上に雲で日陰を作り、彼らにマンナとウズラを下し、「われらがあなた方に与えた良いものを食べなさい」と言った。彼らはわれらを不義に陥れたのではなく、むしろ彼ら自身を不義に陥れたのである。¹⁶¹ 彼らが「町に定住し、そこで望む場所で食べ、赦しを祈り、謙虚に入口から入りなさい。われらはあなた方の罪を赦し、善を行う者たちにはさらなる恵みを与えるであろう」と言われた時、¹⁶² 彼らの中の逸脱者たちは、与えられた言葉を別のもの

に置き換えた。そこでわれらは彼らの不義のために天から彼らに懲罰を送った。

¹⁶³ 彼らに、海沿いの町と、安息日を破った時にその民に何が降りかかったかを尋ねなさい。彼らの安息日には魚が水面近くまで来たが、平日には決して彼らに近づかなかった—このようにしてわれらは彼らの不従順のために彼らを試した。¹⁶⁴ 彼らの一部が、「なぜ神が滅ぼそうとしている、あるいは厳しい懲罰を与えるであろう民を忠告するのか？」と尋ねた時、彼らは答えた、「あなた方の主の御前で非難から解放されるため、そして彼らが神を畏れるようになるかもしれないためだ」と。

¹⁶⁵ したがって、彼らが忠告されたことを忘れた時、われらは悪を行うのを阻止しようとした者たちを救った。そしてわれらは逸脱者たちに、彼らが反抗的であったため、厳しい懲罰を下した。¹⁶⁶ そしてその後、彼らが禁じられていたことを軽蔑的に続けた時、われらは彼らに言った、「軽蔑されるべき猿となりなさい!」

¹⁶⁷ その時、あなたの主は宣言された。復活の日まで、彼らに恐ろしい苦しみを与えるために他の者たちを彼らに送ると。あなたの主は報復において迅速である。しかし確かに彼は最も許し深く、慈悲深い者である。¹⁶⁸ われらは彼らを地上で区画に分けた。彼らの中には義しい者もいれば、そうでない者もいる。そしてわれらは彼らを祝福と不幸で試した。彼らが正しい道に戻るように。

¹⁶⁹ 彼らの後には、聖典を相続し、この世の儚い利益にふけり、「私たちはきっと赦されるだろう」と言う世代が続いた。もし彼らに同様の儚い利益が再び来たら、彼らはそれらを取るだろう。聖典に書かれた、神について真実以外は何も言わないという誓約が彼らから取られていなかったのか？そして彼らはその中にあるすべてを研究した。確かに来世の家は神を畏れる者たちにとってより良い。あなた方は理解しないのか？¹⁷⁰ 書に堅くしがみつきの礼拝において堅固である者たちについては、われらは義しい者たちの報いを否定することはないであろう。¹⁷¹ われらが山を彼らの上に、まるで天蓋のように吊るし、彼らがそれが自分

たちの上に落ちてくるだろうと思った時、われらは言った、「われらがあなた方に与えたものを堅く守り、その中にあるものを思い出しなさい。あなた方が神を意識し続けることができるように。」

¹⁷² あなたの主がアダムの子孫の腰から子孫を生み出し、彼ら自身について証言させた時、彼は言われた、「私はあなた方の主ではないか？」彼らは答えた、「私たちはあなたがそうであると証言します。」彼がこれを行ったのは、あなた方が復活の日に「私たちはそれを知らなかった」と言わないためである。¹⁷³ あるいは、「私たちの父祖は私たち以前に神に他の者たちを配し、私たちは彼らの後に出た子孫にすぎない。だから、あの虚偽をでっち上げた者たちの行いのために、あなたは私たちを滅ぼすつもりなのですか？」と言わないようにするためである。¹⁷⁴ われらはこのようにわれらのしるしを詳細に説明する。おそらく彼らがわれらの元に戻るかもしれないために。

¹⁷⁵ われらがしるしを与えた者の一人の物語を彼らに朗読しなさい。しかし彼はその後それらを脇に投げ捨て、サタンが彼を捕らえた。そして彼は道に迷った者の一人となった—¹⁷⁶ もしそれがわれらの意志であったなら、われらはこれらのしるしを使って彼を高めることができたであろう。しかし彼はその代わりに大地にしがみつき、自らの欲望に従った—彼は、あなたが追い払っても放っておいても、あえぐ犬のようであった。そのような者たちがわれらのしるしを拒絶する者たちである。彼らにこの物語を語りなさい。彼らが熟考するように。¹⁷⁷ われらのしるしを否定する者たちの末路はなんという悪しきものであることか。彼らは自らを不義に陥れているだけである。¹⁷⁸ 神が導く者は誰であれ、正しく導かれたのである。一方、彼が迷わせることを許す者たちは、きっと失われた者たちとなるであろう。

¹⁷⁹ われらは多くのジンと人類を地獄のために創造した。彼らには理解しない心があり、見ない目があり、聞かない耳がある。そのような人々は家畜のようである—いや、彼らはそれ以上に道に迷っている。そのような者たちは無頓着な者たちである。¹⁸⁰ 神は最も優れた御名を持

っておられる。彼の御名によって彼を呼びかけ、それらを歪曲する者たちから離れなさい。彼らは彼らがなすことに対して報われるであろう。

¹⁸¹ われらが創造した者たちの中には、真の導きを与え、公正に行動する者たちがいる。¹⁸² われらはわれらのしるしを拒絶する者たちを、彼らが認識しない場所から徐々に捕らえるであろう。¹⁸³ 私はしばらくの間彼らに手綱を緩めるが、私の策略は確実である。

¹⁸⁴ 彼らは、彼らの仲間が狂っていないことを熟考しなかったのか？彼は単なる明確な警告者である。¹⁸⁵ 彼らは天と地の領域、そして神が創造したすべてを見なかったのか。そして彼らの時間の終わりが近いかもしれないことを見なかったのか？もし彼らがこれを信じないなら、何を信じるだろうか？¹⁸⁶ 神が迷わせることを許す者たちを導ける者は誰もいない。彼は彼らを傲慢さの中でさまよわせるままにする。¹⁸⁷ 彼らはあなた[預言者よ]に最後の日について尋ねる、「いつ来るのですか？」言え、「それに関する知識は私の主のもとにあるだけである。彼のみがその時がいつ来るかを明らかにするであろう。それは天と地に重くのしかかっている。それは突然あなた方を捕らえるであろう。」あなた方はまるであなたがそれについて完全に知っているかのように質問するだろう。言え、「それに関する知識は神のもとにあるだけである。しかしほとんどの人はそれに気づいていない。」¹⁸⁸ 言え、「私自身は、神が望む以外には、益を与える力も害を与える力も持たない。もし私が不可視の知識を持っていたなら、私は豊かな善を自らに得ていただろうし、何の害も私に触れることはなかっただろう。私は警告者であり、信じる者たちへの吉報を伝える者にすぎない。」

¹⁸⁹ 彼こそが、あなた方を単一の魂から創造し、それからその伴侶を作り、彼が彼女の中に安らぎを見出すようにした者である。彼が彼女を覆うと、彼女は妊娠し、軽い負担を抱えて過ごす。それが重くなると、彼ら二人は彼らの主である神に呼びかける、「もしあなたが私たちに健康な子供を授けてくださるなら、私たちはきっと感謝するでしょう」と。

¹⁹⁰ しかし、彼が彼らに健康な子供を授けると、彼らは受け取った贈り物

に他の者たちを共有させ始める。しかし神は彼らが彼に配するものよりも遥かに崇高である！¹⁹¹ 彼らは、何も創造せず、自らが創造された者を彼に配するのか？¹⁹² 彼らは彼らに何の助けも与えることはできないし、彼ら自身を助けることもできない。¹⁹³ あなたが彼らと呼びかけようと沈黙してしようと、何の違いもない。もしあなたが彼らを正しい道に呼んでも、彼らはあなたに従わないだろう。¹⁹⁴ あなた方が神以外に呼びかける者たちは、あなた方と同じような被造物にすぎない。ならば彼らと呼びかけなさい。もしあなたが言うことが真実ならば、彼らにあなたに応えさせなさい。¹⁹⁵ 彼らには歩くための足があるのか？彼らには掴むための手があるのか？彼らには見るための目があるのか？彼らには聞くための耳があるのか？言え、「あなた方が神に配する仲間たちと呼びかけなさい。それからあなた方全員で私に対して陰謀を企み、私に猶予を与えるな。」¹⁹⁶ 「私の保護者は書を下された神である。なぜなら義しい者を保護するのは彼だからである。¹⁹⁷ 彼以外にあなた方が呼びかける者たちには、あなた方を助ける力も、彼ら自身を助ける力もない。」¹⁹⁸ もしあなたが彼らを正しい道に呼んでも、彼らはあなたに耳を傾けないだろう。あなたは彼らがあなたの方を見ているのを見出すが、彼らはあなたを見ていない。

¹⁹⁹ 寛容でありなさい。正しいことを命じなさい。そして無知な者を避けなさい。²⁰⁰ もしサタンからの邪惡な衝動があなたを刺激するなら、神に避難を求めなさい。彼はすべてを聞き、すべてを知り尽くされる方である。²⁰¹ サタンからのいかなる邪惡な示唆が神を畏れる者たちに触れると、彼らは瞬時に警戒し、用心深くなる。²⁰² しかし惡魔の追隨者たちは、彼らによって容赦なく誤りへと導かれる。彼らは決してやめない。

²⁰³ あなたが彼らにしるしをもたらしなさい時、彼らは言う、「なぜあなたはそれをでっち上げないのか？」言え、「私は私の主によって私に啓示されたものに従うだけだ。この書はあなたの主からの啓発であり、眞の信者たちへの導きと慈悲である。²⁰⁴ クルアーンが読まれる時は、注意して耳を傾け、静かにしなさい。あなた方が慈悲を受けられるように。

²⁰⁵ あなたの主をあなたの魂の奥深く、すべての謙虚さと畏敬の念をもって、声を上げずに、朝晩思い出さない—無頓着な者たちの一人となつてはならない—²⁰⁶ あなたの主の御前に住む者たち(天使たち)でさえも、彼を崇拜することを傲慢だとは思わない。彼らは彼を讃え、彼の前にひれ伏す。

8. 戦利品 (アル・アンファール)

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ 彼らはあなたに戦利品について尋ねる。言え、「それらは神と彼の使徒に属する。だから神を畏れ、あなた方の間で物事を正し、もしあなたが真の信者であるならば、神と彼の使徒に従いなさい。² 真の信者とは、神が言及されると心が畏怖で震え、彼の啓示を聞くと信仰が強くなる者たちである。彼らは彼らの主に信頼を置く者たちである。³ 定期的に礼拝を捧げ、われらが彼らに与えたものの中から施しを与える者たちである。⁴ そのような者たちこそ真の信者である。彼らは彼らの主のもとで高い地位、彼の赦し、そして名誉ある糧を与えられる。

⁵ それは、一部の信者が嫌っていたにもかかわらず、あなたの主があなたを正当にあなたの家から連れ出した時のようであった。⁶ そして真実が明白になった後でも、彼らはあなたと真実について議論した。まるで彼らが目を開いたまま死へと追いやられているかのようにであった。⁷ 神はあなたに、二つの勢力のうちの一つがあなた方のものとなることを約束された。そしてあなたは、棘のない方(非武装の方)があなた方のものとなることを望んだが、神は彼の言葉によって真実を確立し、真理を否定する者たちの根を断ち切りたいと望まれた—⁸ 彼が真実を真実であることを証明し、虚偽を虚偽であることを証明するためである。不義を働く者たちがどれほどそれを嫌っても。

⁹ あなた方が助けを求めて主にお祈りした時、彼(アッラー)は、

「私はあなた方を助けるために千人の天使を次々と送る」と答えられた。¹⁰ 神がこれを行ったのは、あなた方に吉報を与え、あなた方の心が安らぐためだけであった。助けは神のみから来るからである。確かに神は力強く、賢明である。¹¹ 彼はあなた方に安らぎを与えるために眠気をもたらし、空からあなた方に水を下された。それによって彼があなた方を清め、サタンの不浄をあなた方から取り除き、あなた方の心を強くし、あなた方の足を堅固にするためである。¹² あなたの主が天使たちに命じられた時、「私はあなた方と共にいる。だから信じる者たちを堅固に立たせなさい。私は真理を否定する者たちの心に恐れを植え付けるであろう。だから彼らの首を打ち、彼らのすべての指の関節を打ち砕け！」^a ¹³ それは彼らが神と彼の使徒に反抗したからである。神と彼の使徒に反抗する者は誰であれ、神によって厳しく罰せられるであろう。¹⁴ それがあなた方の懲罰である、ならばそれを味わいなさい。そして真理を否定する者たちには業火の懲罰があることを知りなさい。

¹⁵ 信じる者たちよ、戦いで真理を否定する者たちと対峙する時、決して彼らに背を向けてはならない。¹⁶ 戦略上の計略として、あるいは(信者たちの)別の集団に加わろうとする試みである場合を除いて、そのような時に背を向ける者は誰であれ、確かに神の怒りを自らに招くであろう。そして地獄が彼の住処となり、その行き先は実に最悪である。

¹⁷ あなた方が彼らを殺したのではない。彼らを殺したのは神であった。そしてあなた[預言者よ]が彼らに(砂を)投げた時、投げたのはあなたではなく、神であった。彼が信者たちに彼自身からの大きな恵みを与えるためである。確かに、神はすべてを聞き、すべてを知り尽くされる方である—¹⁸ それが起こったことであり—そして神は確かに真理を否定する者たちの企みを無にするであろう。¹⁹ もしあなたが裁きを求めていたなら、裁きは今あなたに訪れた。もしあなたがやめるなら、それは

a 序文のxivページからxviiページを参照。

あなたにとってより良いであろう。しかしもしあなたが(敵意に)戻るなら、われらもまた戻るであろう。そしてあなた方の軍は、たとえどれほど数が多くても、あなた方には何の役にも立たないであろう。そして確かに神は信者たちと共にいることを(知りなさい)。

²⁰ 信じる者たちよ、神と彼の使徒に従いなさい。そしてすべてを聞いた今、彼から背を向けてはならない。²¹ 「私たちは聞く」と言いながらも、聞いたことに耳を傾けない者たちのようになってはならない—²² 神の御前で最悪の被造物とは、聾啞者であり、盲目であり、理解力を持たない者たちである。²³ もし神が彼らの中に何か良いものを見出していたなら、彼は確かに彼らに聞かせただろう。しかし現状の彼らでは、たとえ彼が彼らに聞かせても、彼らは嫌悪して背を向けるだろう。

²⁴ 信じる者たちよ、神があなた方を生命を与えるものへと呼ぶ時、神と使徒に従いなさい。神が人間とその心との間に立っておられることを知りなさい。そしてあなた方は皆、彼の御前に集められるであろう。²⁵ そしてあなた方の中で悪を行った者たちだけを襲うわけではない苦難に用心しなさい。神が報復において厳しいことを知りなさい。

²⁶ あなた方が少数であり、土地で弱者と見なされ、常に敵の攻撃を恐れていた時のことを思い出しなさい。しかし彼はあなた方に避難場所を与え、彼の助けであなた方を支え、良いものを提供した。あなた方が感謝するように。²⁷ 神と彼の使徒を裏切ってはならない。そして知りながらあなた方の信頼を侵害してはならない。²⁸ あなた方の富と子供たちが試練であり、神のもとには計り知れない報いがあることを知りなさい。

²⁹ 信じる者たちよ、もしあなたが神を畏れるなら、彼はあなた方に正邪を識別する能力を与え、あなたの罪を赦すであろう。神はその大いなる恵みにおいて限りないからである。³⁰ 真理を否定することに固執した者たちが、あなたを投獄するか、殺すか、あるいは追放するためにあなたに反対して企てた時のことを思い出しなさい。彼らは企んだ—しかし神もまた企んだ。神は最高の策略家である。

³¹ われらの啓示が彼らに朗読されるたびに、彼らは言う、「私たちはそれらを聞いた。もし望むなら、同じようなものを作ることができる。それは単なる昔の物語にすぎない」と。³² 彼らはまた言った、「神よ、もしこれが本当にあなたからの真実であるならば、天から私たちに石を降らせるか、あるいは他の苦痛な懲罰を送ってください。」³³ しかしあなた[預言者よ]が彼らの中にいる間は、神は彼らを罰することはなかったであろう。また彼らが赦しを求めている限りは、彼らを罰することもなかったであろう。³⁴ しかし、彼らが聖なるモスクから人々を妨げるのに、なぜ神が彼らを罰しないことがありえようか。彼らはその守護者ではないのに。その正当な守護者たちは神を畏れる者たちである。しかし彼らのほとんどはそれに気づいていない。³⁵ 聖なる家での彼らの祈りは、口笛と手拍子にすぎない。「だからあなた方の否定ゆえに懲罰を味わいなさい。」

³⁶ 真理を否定することに固執する者たちは、他者を神の道から妨げるために財産を費やしている。彼らはこの方法でそれを費やし続け、結局、この費やしは彼らにとって激しい後悔の源となり、その後彼らは打ち負かされるだろう。そして真理を否定した者たちは地獄に共に集められるだろう。³⁷ 神が悪いものから良いものを分けるためである。彼は悪しき者たちを次々と積み重ね、それから彼らを地獄に投げ込むであろう。これらはきっと失われた者たちとなるだろう。

³⁸ 真理を否定することに固執する者たちに言え、もし彼らがやめるなら、彼らの過去は赦されるだろう。しかしもし彼らが罪を続けるなら、彼ら以前に去って行った者たちの運命に例がある。³⁹ (宗教的)迫害がなくなるまで、そして宗教が完全に神に属するまで、彼らと戦いなさい。^a もし彼らがやめるなら、確かに神は彼らがなすことを見守っておられる。⁴⁰ しかしもし彼らが背を向けるなら、神があな

a 序文のxivページからxviiページを参照。

た方の保護者であることを知りなさい。最高の保護者であり、最高の助け手である！

⁴¹ 戦利品の五分の一は、神と使徒、その近親者、孤児、困窮者、そして旅人に属することを知りなさい。もしあなたが神と、決定的な日、二つの勢力が対峙した日にわれらがわれらの僕に下した啓示を信じるならば。神はすべてのものに対して力をお持ちである。

⁴² あなた方は谷の近い側にいて、彼らは遠い側にいて、隊商はあなた方の下にあった。もしあなた方が相互の合意によって時間を定めようと望んだとしても、あなた方はきっとその時間について意見を異にしたであろう。しかし、その遭遇は起こった。神がすでに定められていた事柄を決着させるためである。そうすれば、滅びるべき者は真実の明確な証拠の後で滅び、生きるべき者は真実の明確な証拠の中で生きるためである。確かに、神はすべてを聞き、すべてを知り尽くされる方である。⁴³ 神は夢の中で彼らをあなたに少数に見せた。もし彼らを多数に見せていたなら、あなたは気を落とし、その事柄について議論しただろう。しかし神はあなたを救った。彼は人間の心にあるものを完全に認識しておられる。⁴⁴ あなた方との遭遇の時、彼らがあなたの目には少数に見え、あなた方が彼らの目には少数に見えるようにした時、それは神が定められたものを実現するためであった。すべてのものは神のもとに帰る。

⁴⁵ 信じる者たちよ！集団に遭遇したら、堅固に立ち、神を多く思い出しなさい。あなた方が成功するように。⁴⁶ 神と彼の使徒に従い、分裂を避けなさい。そうすれば、あなた方が動揺し、もはや畏敬の念を抱かれなくなることを防ぐであろう。忍耐しなさい。神は忍耐する者たちと共におられる。⁴⁷ 自惚れに満ちて、他者に見せびらかすために家を出た者たちのようになってはならない。彼らは他者を神の道から妨げる。しかし神は彼らのすべての行動を認識しておられる。

⁴⁸ サタンは彼らの行いを彼らにとって公正に見せ、「今日、人民

の誰もあなた方に勝ることはないだろう。私があなた方の保護者となる!」と言った。しかし二つの勢力が互いの視界に入ると、彼は踵を返し、「私はここでお前たちを去る。私にはお前たちが見ないものが見える。そして私は神を恐れる—神は彼の懲罰において厳しい」と言った。⁴⁹ 偽善者たちと心が歪められた者たちは言った、「これらの人々[信者たち]は彼らの宗教によって惑わされているに違いない。」しかし神に信頼を置く者は、神が全能であり賢明であることを知っている。

⁵⁰ もしあなたが、真理を否定することに固執する者たちの魂が[死に際して]奪われる時を見ることができたなら、いかに彼らが顔と背中を叩かれるか。「燃え盛る懲罰を味わえ!」⁵¹ これこそがあなた方の手が犯したことへの懲罰である—神は彼の僕たちに微塵も不正を働かないからである。」⁵² ファラオの民や彼ら以前に去った者たちのように、彼らは神のしるしを拒絶し、神は彼らをその罪のために捕らえられた。神は強く、懲罰において厳しい!⁵³ 神は、彼らがその心の中にあるものを変えない限り、彼が民に授けた恵みを決して撤回しないであろう。神はすべてを聞き、すべてを知り尽くされる方である。⁵⁴ ファラオの民や彼ら以前に去った者たちのように、彼らは彼らの主のしるしを否定した。われらは彼らの罪のために彼らを滅ぼし、われらはファラオの民を溺れさせた—彼らは皆悪を行う者たちであった。

⁵⁵ 神の御前で最悪の被造物とは、彼を拒絶し、信じようとしないう者たちである。⁵⁶ あなた方が契約を結び、しかし事あるごとに契約を破り、[神を]恐れない者たちである。⁵⁷ もし戦いで彼らと遭遇するなら、彼らとこのような方法で対処しなさい。そうすれば、彼らに従う者たちがその企みを放棄し、警告を受け入れるかもしれない。⁵⁸ そしてもしあなたが何らかの人々による裏切りを知ったなら、対等な条件となるように彼らの条約を彼らに突きつけなさい。神は裏切り者を愛されないからである。

⁵⁹ 否定者たちが決して逃れられると考えるな。彼らは[神の目的を]妨げることはできない。彼らにはそうする力はない。⁶⁰ 彼らに対して集められるあらゆる力、そして神の敵とあなた自身の敵、さらにはあなた方が知らないが神には知られている他の者たちを威圧できるいかなる騎兵をも準備しなさい。神の道において費やすものは何であれ、完全にあなたに返済されるであろう。不義を被ることはないであろう。⁶¹ そしてもし彼らが平和に傾くなら、彼らと平和を結び、神に信頼を置きなさい。確かに、彼こそがすべてを聞き、すべてを知り尽くされる方である。⁶² もし彼らがあなたを欺こうとしても、神はあなたに十分である。彼こそが彼の助けであなたを強化し、信じる者たちをあなたの周りに集め、彼らの心を結びつけたのだ。⁶³ あなたが地上にあるすべてを費やしたとしても、彼らの心を結びつけることはできなかったであろう。しかし神は彼らを結びつけたのだ。確かに、彼は力強く、賢明である。

⁶⁴ おお預言者よ! 神はあなたと、あなたに従う信者たちにとって十分である。⁶⁵ 預言者よ、信者たちに戦うよう促しなさい。^a もしあなた方の中に堅固な者たちが二十人いるなら、彼らは二百人に打ち勝つであろう。そしてもしあなた方の中に百人いるなら、彼らは真理を否定する千人に打ち勝つであろう。なぜなら彼らは理解力を欠いているからである。⁶⁶ 神は今、あなた方の負担を軽減された。なぜなら彼があなた方の中に弱さがあることを知っておられるからである。もしあなた方の中に堅固な者たちが百人いるなら、彼らは二百人に打ち勝つであろう。そしてもしあなた方の中に千人いるなら、彼らは神の意志によって二千人に打ち勝つであろう。神は堅固な者たちと共にいる。

⁶⁷ 預言者が捕虜を保持することは正しくない。彼が土地で懸命に戦った場合を除いて。あなた方はこの世の利益を望むが、神は

a 序文のxivページからxviiページを参照。

あなた方に来世を望まれる—神は力強く、賢明である。⁶⁸ もし神からすでに発せられた書がなかったなら、あなた方が取ったものに関して厳しく罰せられていただろう。⁶⁹ だから戦争で得たものを合法かつ良いものとして食べ、神を畏れなさい。確かに、神は最も許し深く、慈悲深い者である。

⁷⁰ 預言者よ、捕虜とした者たちに言いなさい、「もし神があなた方の心の中に何か良いものを見出すなら、彼はあなた方から取られたものよりも良いものをあなた方に与え、そしてあなた方を赦すであろう。神は許し深く、慈悲深い者である。」⁷¹ そしてもし彼らがあなたを裏切ろうとするなら、彼らは以前も神を裏切り、彼が[あなたに]彼らに対する力を与えたのである。神は認識し、賢明である。

⁷² 信じ、移住し、神の目的のためにその財産と自身で努力した者たち、そして避難所と助けを与えた者たちは、互いの友人であり保護者である。しかし、移住せずに信じるようになった者たちについては—彼らが移住するまでは、あなた方は彼らの保護についていかなる責任も負わない。もし彼らが宗教の事柄においてあなた方の助けを求めるなら、彼らを助けるのはあなた方の義務である。ただし、あなた方が協定を結んでいる民に対しては除く。神はあなた方がなすことを見ておられる。⁷³ 真理を否定する者たちは互いに支え合う。もしあなた方が同様にしないなら、土地には大きな混乱と腐敗が生じるであろう。

⁷⁴ 信じ、移住し、神の目的のために努力した者たち、そして彼らに避難所と支援を与えた者たちは、真の信者である。彼らには赦しと名誉ある糧があるであろう。⁷⁵ そして後になって信じ、移住し、あなたと共に神の目的のために努力した者たちもまた、あなた方の一部である。しかし血縁関係については、神の書において彼らは互いにより近い。神はすべてのことを完全に認識しておられる。

9. 悔悟 (アッ・タウバ)

¹ これは、あなた方が協定を結んだ多神教徒に対する、神と彼の使徒からの免責の宣言である。² だから四ヶ月間は土地を歩き回ってもよいが、神の計画を妨げることはできないこと、そして神が真理を否定する者たちに恥辱を与えるであろうことを知りなさい。³ これは巡礼の日に、神と彼の使徒から人々への布告である。神は多神教徒に対するすべての義務から自由であり、彼の使徒も同様であると。もしあなたが悔い改めるなら、それはあなたにとってより良いであろう。しかしもしあなたが背を向けるなら、神の計画を妨げることはできないことを知りなさい。真理を否定することに固執する者たちに、厳しい懲罰を宣言しなさい。⁴ ただし、あなた方が協定を結んだ者たちで、あなた方に敵対する者を支援しなかった者たちについては、その期間の終わりまで彼らとの協定を果たしなさい。神は義しい者たちを愛される。

⁵ 禁じられた月が過ぎたら、(あなた方と戦争中の)多神教徒を、見つけ次第殺しなさい。^a 彼らを捕虜にし、彼らを包囲し、あらゆる待ち伏せの場所で彼らを待ち伏せしなさい。しかしもし彼らが悔い改め、定期的に礼拝を捧げ、施しを払うなら、彼らを自由にしなさい。神は許し深く、慈悲深い者である。⁶ もし多神教徒の一人があなたに保護を求めるなら、彼に保護を与えなさい。彼が神の言葉を聞けるように。それから彼を安全な場所に送り届けなさい。それは彼らが知識を持たない民だからである。

⁷ 神と彼の使徒の側から、多神教徒との間にどうして条約がありえようか。聖なるモスクであなたが協定を結んだ者たちを除いては？彼らがあなたに対して誠実に振る舞う限り、あなたも彼らに対して誠実に振る舞いなさい。神は義しい者たちを愛される。⁸ どうして(条約がありえようか)。なぜなら、もし彼らがあなたに対して優位に立つなら、彼らは血

a 序文のxivページからxviiページを参照。

縁関係も契約も尊重しないだろう。彼らは舌であなたを喜ばせようとするが、彼らの心はあなたを拒絶する。彼らのほとんどは不誠実である。⁹ 彼らは神の啓示をわずかな代価で売り払い、他者を彼の道から妨げた。彼らがなしてきたことは何という悪しきものであったことか!¹⁰ 信者に関わる限り、彼らは血縁関係も契約も尊重しない。彼らは限界を超える者たちである。¹¹ もし彼らが悔い改め、礼拝を続け、施しを払うなら、彼らは信仰においてあなた方の兄弟である。われらは学ぶ意欲のある人々のためにわれらのメッセージを明確にする。

¹² しかし、もし彼らが誓約した後に信仰を破り、あなたの宗教を罵倒するなら、不信仰のこれらの指導者たちと戦いなさい。そうすれば彼らがやめるかもしれない。彼らは誓約した言葉を全く尊重しないからである。¹³ あなた方は、誓いを破り、使徒を追放する陰謀を企んだ者たちと戦わないのか? 彼らは最初にあなた方を攻撃した者たちである。あなた方は彼らを恐れるのか? もしあなた方が真の信者であるならば、神こそが恐れるに値するお方である。¹⁴ 彼らと戦いなさい。神はあなた方の手によって彼らを罰し、彼らに恥辱を与えるであろう。彼はあなた方が彼らに打ち勝つのを助け、信じる者たちの心を癒すであろう。¹⁵ 彼は彼らの心から怒りを取り除くであろう。神は御心である者に慈悲をもって向き直るであろう。神はすべてを知り、賢明である。

¹⁶ あなた方(信者たち)は、神があなた方の中で誰が努力し、神、彼の使徒、そして信者たち以外に誰も友人や保護者とせず、誰がそうでないかを識別することなく、あなた方が助けられると考えるのか? 神はあなた方のすべての行動を完全に認識しておられる。

¹⁷ 多神教徒たちが、自ら不信者であることを公言しているにもかかわらず、神の礼拝の場所を頻繁に訪れるのは正しくない。彼らの行いは無に帰し、彼らは地獄にとどまるであろう。¹⁸ 神と最後の日を信じ、定期的に礼拝を捧げ、施しを行い、神以外には何も畏れない者のみが、神の礼拝の家を管理すべきである。そのような人々は正しく導かれた者たちの中にいることを望める。¹⁹ あなた方は、巡礼者に水を与えることや聖

なるモスクを管理することを、神と最後の日を信じ、神の道で努力する者たちの行いと等しいと見なすのか？彼らは神の御前で等しくない。神はそのような不義の人々を導かれない。²⁰ 信じ、移住し、神の目的のためにその財産と自身で努力した者たちは、神の評価において遥かに高い地位にある。彼らこそが勝利するであろう。²¹ 彼らの主は彼らに彼の慈悲と彼の喜び、そして永遠の至福の園の吉報を与える。²² そこに彼らは永遠に住むであろう。確かに神のもとには計り知れない報いがある。

²³ 信じる者たちよ、信仰よりも真理の否定を選ぶならば、父や兄弟を味方としてはならない。あなた方の中で彼らと結託する者たちは不義を働く者たちである。²⁴ 言え、「もしあなた方の父、息子、兄弟、配偶者、部族、獲得した世俗の財産、衰退を恐れる商業、そして愛する家が、神とその使徒、そして彼の目的のための努力よりもあなた方にとって大切であるならば、神が彼の命令を果たすまで待ちなさい。神は不従順な民を導かれない。」

²⁵ 確かに、神は多くの機会にあなた方を助けた。フナイーンの日、あなた方がその数の多さを誇った時、それはあなた方には何の役にも立たなかった—大地は、その広大さにもかかわらず、あなた方には（あまりにも）狭くなり、あなた方は後退して引き返した。²⁶ 神は彼の静けさを彼の使徒と信者たちに降らせ、あなた方には見えない軍勢を送った。彼は真理を否定する者たちを罰した—なぜならそれが真理を否定する者すべてへの報いだからである—²⁷ その後、神は御心である者に慈悲をもって向き直るであろう。神は許し深く、慈悲深い者である。²⁸ 信じる者たちよ、多神教徒は不浄であること^aを知りなさい。だから彼らはこの年以降、聖なるモスクに近づいてはならない。もしあなた方が困窮を恐れるなら、神は御心であるならば、彼の恵みの中からあなた方を豊かにするであろう。神は認識し、賢明である。

a 語句「不浄な者」(ナジャス)は、肉体的な不浄ではなく、精神的な不浄を意味する。

²⁹ 聖典の民の中から、神も最後の日も信じず、神と彼の使徒が不法であると宣言したものを不法とせず、真の宗教に従わない者たちと戦いなさい。彼らが喜んで税を払い、服従することに同意するまで。³⁰（古代の）ユダヤ人は、「エズラは神の子である」と言い、（そして）キリスト教徒は「メシアは神の子である」と言う。これらは彼らの根拠のない発言にすぎない。彼らは以前の時代の真理を否定する者たちがなした主張を模倣しているのだ。神が彼らを滅ぼさんことを！彼らはいかに遠く迷い去ったことか！

³¹ 彼らは神以外の学識者や修道士を主とした。マリアの子メシアを彼らも主とした。彼らは唯一の神のみを崇拝するよう命じられていたにもかかわらず。彼以外に神はいない。彼は彼らが彼に配するあらゆるものよりも遥かに崇高である！

³² 彼らは神の光を口で消し去ろうとするが、神は彼の光を完璧にすることを望むだけである。たとえ真理を否定する者たちがどれほどそれを嫌悪しても。³³ 彼こそが、彼の使徒を導きと真理の宗教と共に送った者である。彼がそれを、多神教徒がどれほどそれを憎もうとも、他のあらゆる宗教の上に（思想的に）優勢にするためである。

³⁴ 信じる者たちよ、多くの宗教的学者や修道士が不当に人々の財産を横領し、人々を神の道から遠ざけている！金や銀を蓄え、神の目的のために与えない者たちに、苦痛な懲罰があることを告げなさい。³⁵ 彼らの宝が地獄の火で熱せられる日、彼らの額、脇腹、背中にはそれが焼き印として押され、彼らは言われるであろう、「これこそがあなた方が自分たちのために蓄えたものである。ならばあなた方が蓄えていたものを味わえ」と。

³⁶ 神が天と地を創造した日、彼は月の数が十二となるよう定めた。そのうち四つは聖なる月である。それが真の宗教である。これらの月においてあなた方の魂を不義に陥れてはならない。多神教徒たちと全員

で戦いなさい。彼らがあなた方全員と戦うように。^a そして神は義しい者たちと共におられることを知りなさい。³⁷ (聖なる月の)繰り延べは、(彼らの)真理を認めないという行為のもう一つの例にすぎない—それによって真理を否定することに固執する者たちは迷わせられる。彼らはこれがある年には許容し、別の年には禁じると宣言する。神が聖別した月を調整するためである。こうして神が禁じたものを合法化しているのだ。彼らの邪悪な行いは彼らには公正に見える。神は真理を否定する者たちを導かれない。

³⁸ 信じる者たちよ、神の目的のために出陣するよう求められた時、なぜあなた方は怠惰に地に固執するのか?この世の生を来世よりも好むのか?しかし、この世の安らぎは、来世の安らぎに比べればわずかなものである。³⁹ もしあなたがたが出陣しないなら、彼はあなた方を厳しく罰し、あなた方を他の人々に置き換えるであろう。あなたは彼を微塵も害することはないだろう。神はすべてのものに対して力をお持ちである。⁴⁰ もしあなたが彼[ムハンマド]を支援しないなら、神は彼を支援したことを知りなさい。真理を否定する者たちが彼を追放した時、彼ら二人が洞窟にいた時、彼[ムハンマド]は彼の仲間[アブー・バクル]に言った、「心配するな。神が私たちと共にいるからだ」と。そこで神は彼の静けさを彼に降らせ、あなたには見えない軍勢で彼を助け、不信仰な者たちの言葉を最低のものとし、神の言葉は至高のままであった。神は力強く賢明である。

⁴¹ 軽装であろうと重装であろうと出陣し、神の目的のために、あなたの財産と自身をもって懸命に努力し、奮闘しなさい。もしあなたが知っていたなら、それがあなたにとってより良いであろう。⁴² もし利益がすぐ得られ、旅が短ければ、彼らはあなたについて行っただろう。しかし距離が彼らにとって遠すぎると感じられたのだ。だが彼らは神に誓うだろう、「もし私たちに能力があれば、あなたと一緒に出陣しただろう」と。彼ら

a 序文のxivページからxviiページを参照。

は自らを破滅に追いやる。神は彼らが確かに嘘をついていることを知っている。

⁴³ 神があなたを赦しますように! 真実な者が誰であるか、そして嘘つきが誰であるかが明確になる前に、なぜあなたは彼らにそれを許可したのですか?⁴⁴ 神と最後の日を信じる者たちは、その富と命をもって努力することから免除を求めることは決してないであろう—神は義しい者たちを最もよく知っておられる—⁴⁵ 免除を求めるのは、神と最後の日を真に信じず、その心が疑念の餌食となっている者たちだけである。彼らは疑っているから、ためらうのだ。⁴⁶ もし彼らが出陣することを望んでいたなら、彼らはきっと何らかの準備をしてくださる。しかし神は彼らの出発を嫌い、(神の目には高められることとなる彼らを)引き止めた。彼らは、留まる者たちと共に留まるように言われたのだ。

⁴⁷ もし彼らがあなたと一緒に出陣していたら、あなたにとって悪の源にしかならず、あなたの方で不和を蒔こうと行き来したであろう。そしてあなたの方の中には、喜んで彼らに耳を傾ける者もいたであろう。神は悪を行う者たちを知っておられる。⁴⁸ 彼らはすでに不和を蒔こうとし、あなた方に陰謀を企てた。真実が明らかになり、彼らの嫌悪にもかかわらず神の意志が優勢になるまで。

⁴⁹ 彼らの中には、「私たちに留まる許可を与え、私たちを試練にさらさないでください」と言う者もいる。確かに、彼らはすでに試練に陥っているのだ。確かに、地獄は真理を否定する者たちを飲み込むであろう。⁵⁰ もしあなたに良いことが降りかかると、彼らは悲しむが、もしあなたに不幸が降りかかると、彼らは言う、「私たちは事前に用心していたのだ!」彼らは喜んで背を向ける。⁵¹ 言え、「神が私たちに定められたこと以外は何も降りかかることはない。彼こそが私たちの至高の主である。神にこそ信じる者たちは信頼を置くべきである。」⁵² 言え、「あなた方は、私たちに降りかかる二つの最良のこと(この世での勝利か来世での樂園か)以外の何かを私たちに降りかかるのを待っているのか?しかし私たちは、神が彼自身から直接、あるいは私たちの手によって、あなた

方に懲罰を送ることを期待している。ならば、もしよければ待ちなさい。私たちもあなたと共に待っているのだ。」

⁵³ 言え、「喜んで費やそうと嫌々ながら費やそうと、あなた方の捧げ物は神には受け入れられないだろう。あなた方は確かに不従順な民だからだ。」⁵⁴ 彼らの寄付が受け入れられない唯一の理由は、彼らが神と彼の使徒を否定したこと、彼らが不本意に礼拝に来ること、そして嫌々ながら寄付をすることである。⁵⁵ 彼らの富と子供たちにあなたを感心させてはならない。神はこれらのものを通して、この世の生で彼らを罰しようとしているからである。彼らが真理を否定している間に、彼らの魂が去っていくように。⁵⁶ 彼らは神にかけて、あなた方のような信者であると誓うが、彼らはそうではない。彼らは(真の姿を現すのを)恐れている。⁵⁷ もし彼らが避難場所や洞窟、あるいは隠れ家を見つけられたなら、狂ったような勢いでそこへ走っていくであろう。

⁵⁸ 彼らの中には、施しの分配についてあなたを非難する者がいる。もし分け前が彼らに与えられれば、彼らは喜ぶが、何も受け取らなければ、彼らは憤慨する。⁵⁹ もし彼らが神と彼の使徒が与えたものに満足し、「神が私たちには十分である。神は彼の恵みの中から私たちに与えるだろうし、彼の使徒もそうするだろう。神のみに私たちは希望を抱いて立ち返る!」と言っていたならば。⁶⁰ 施しは、貧しい者と困窮者、ザカートを徴収する者たち、人々の心を和解させるため、奴隷を解放するため、負債を抱える者たち、神の目的のために費やすため、そして困窮している旅人のためだけである。それは神によって命じられた法的義務である。神はすべてを知り、賢明である。

⁶¹ 彼らの中には、「彼は皆に耳を傾ける」と言って預言者を悩ませる者たちがいる。言え、「彼が皆に耳を傾けるのはあなた方にとって良いことである。彼は神を信じ、信じる者たちに信頼を置き、あなた方の中で信じる者たちへの慈悲である。神の使徒を悩ませる者たちには、苦痛な懲罰があるであろう。」⁶² 彼らはあなた方(信者たち)を喜ばせるために神に誓うが、もし彼らが信者であるならば、神と彼の使徒を喜ばせる

方がより適切であろう。⁶³ 彼らは、神と彼の使徒に反対する者は誰であれ、地獄の火の中に永遠にとどまることを知らないのか？それが最高の屈辱である。

⁶⁴ 偽善者たちは、彼らの心の中にあるものを伝える(クルアーンの)章が彼らについて下されることを恐れている—言え、「嘲り続けなさい。神はあなた方が恐れていることを必ず明らかにするであろう。」⁶⁵ もしあなたが彼らに尋ねるなら、彼らは言うだろう、「私たちはただ冗談を言っていただけで、言葉遊びをしていただけです」と。言え、「神と彼の啓示と彼の使徒を嘲笑するつもりなのか？」⁶⁶ 言い訳をするな。信仰を受け入れた後で信仰を拒絶したのだ。」もしわれらがあなた方の一部を赦すとしても、われらはあなた方の中の他の者たちを罰するであろう。彼らは罪を犯しているからである。

⁶⁷ 偽善者たち、男性も女性も、皆同じである。彼らは悪を命じ、正しいことを禁じ、神の目的のために費やすことに関してはけちである。彼らは神を忘れたので、彼は彼らを忘れた。偽善者たちは不従順な者たちである。⁶⁸ 神は偽善者たち、男性も女性も、そして真理を否定する者たちに地獄の火を約束された。彼らはその中に永遠にとどまるであろう。それが彼らへの十分な報いである。神は彼らを拒絶された。彼らには永続する懲罰があるであろう。⁶⁹ あなた方以前の者たち、あなた方よりも強く、より多くの富と子供たちを持っていた者たちのように。彼らはあなた方が得たように、この世でその分け前を楽しんだ。彼らのように、あなた方も無益な話にふけた。彼らこそ、この世と来世においてその行いが無に帰し、失われた者たちとなるであろう。⁷⁰ 彼らは、彼らの前任者たち、ノア、アード、サムード、アブラハム、ミデ안의民、そして滅びた都市の物語を聞いたことがないのか？彼らの使徒たちは彼らに真実の明確な証拠をもたらした。彼らに不正を働いたのは神ではない。彼らが自らを不正に陥れたのだ。

⁷¹ 信者たち、男性も女性も、互いの友人である。彼らは善を命じ、悪を禁じ、礼拝を守り、施しを払い、神と彼の使徒に従う。これらの者たち

に神は慈悲を与えるであろう。なぜなら神は全能であり、賢明であるからである。⁷² 神は信者たち、男性も女性も、川が流れる園を約束された。そこに彼らは住み、永遠の園の中に素晴らしい住処を持つであろう。しかし神の良き喜びはさらに偉大である。それが最高の達成である。

⁷³ おお預言者よ、真理を否定する者たちと偽善者たちに対して努力し、彼らに対して堅固でありなさい。彼らの住処は地獄となるであろう。忌まわしい行き先である。⁷⁴ 彼らは神にかけて、そうしなかったと誓う。しかし彼らはイスラムを受け入れた後で真理を否定する言葉を発したのだ。彼らは実行できない陰謀を企てた。そして恨みを抱くことだけが、神とその使徒への彼らの唯一の反応であった。神は彼の恵みによって彼らを豊かにされたのに。もし彼らが悔い改めるなら、それは確かに彼らにとってより良いであろう。もし彼らが背を向けるなら、神は彼らをこの世でも来世でも耐え難い苦しみで罰するであろう。そして地上に彼らを守る者も助ける者もないであろう。

⁷⁵ 彼らの中には、神に誓約した者たちがいる。「もし神が彼の恵みの中から私たちに何かを与えてくださるなら、私たちはきっと施しを行い、義しくなるだろう」と。⁷⁶ しかし彼が彼らに恵みを与えると、彼らはけちになり、嫌悪して背を向けた。⁷⁷ そこで彼は、神に対する約束を破り、嘘をついたために、彼との出会いの日まで、偽善を彼らの心に定着させた。⁷⁸ 彼らは、神が彼らが隠すもの、そして秘密裏に話すことを知っていることを知らないのか？神が隠されたすべてを知っていることを？

⁷⁹ 神の目的のために進んで施しをする信者たちを嘲笑し、労苦によって稼いだもの以外に何も与えるものがない者たちをあざ笑う者たちについては、神は彼らの嘲笑が彼らに跳ね返るようにされるであろう。彼らには苦痛な懲罰があるであろう。⁸⁰ 彼らのために赦しを求めるとは同じである。たとえあなたが彼らのために七十回赦しを求めても、神は彼らを赦さないであろう。彼らが神と彼の使徒を否定したからである。神は悪を行う者たちを導かれない。

⁸¹ 家に留まった者たちは、神の使徒に置いていかれたことを喜ん

だ。彼らはその財産と自身をもって神の目的のために努力することを嫌った。彼らは言った、「この暑さの中、出陣するな」と。言え、「地獄の火ははるかに熱い。」もし彼らが理解できたなら。⁸² 彼らは自らの悪行の報いとして、少し笑い、多く泣くべきである。⁸³ それゆえ(預言者よ)、もし神があなたを彼らの一団のもとに帰らせ、彼らがあなたと共に出陣する許可を求めたら、言いなさい、「あなた方は決して私と共に出陣することはない、私と共に敵と戦うこともないであろう。あなた方は最初、家に座ることを選んだのだから、今度は後方に残る者たちと共に座りなさい。」⁸⁴ そして決して(おおムハンマドよ)、彼らの一人で死んだ者のために祈ってはならない。また彼の墓のそばに立つてもならない。彼らが神と彼の使徒を否定し、反逆者として死んだからである。

⁸⁵ 彼らの富と子供たちにあなたを惑わせてはならない。神はこれらのものを通して、この世で彼らを罰し、彼らが真理を否定している間に、彼らの魂が去っていくようにしたいだけである。⁸⁶ 「神を信じ、彼の使徒と共に神の目的のために努力せよ」と命じる章が啓示されると、彼らの中の富裕な者たちはあなたに免除を求め、「私たちを、残るべき者たちと共に留まらせてください」と言う。⁸⁷ 彼らは(家に)残った(女性たち)と共にいることを好んだ。彼らの心は封じられているので、彼らは理解しない。⁸⁸ しかし使徒と、彼の信仰を共有した者たちは、その財産と命をもって懸命に努力した。彼らこそあらゆる種類の善を得る者であり、彼らこそきつと成功する者である。⁸⁹ 神は彼らのために川が流れる園を用意し、そこに彼らは永遠にとどまるであろう。それが最高の勝利である。

⁹⁰ 砂漠のアラブ人の一部もまた、言い訳をしに来て、免除を求めた。神と彼の使徒に嘘をついた者たちは家に残った。彼らの中の真理を否定する者たちは、苦痛な懲罰に見舞われるであろう。⁹¹ しかし、弱者、病者、そして費やす手段のない者たちには、神と彼の使徒に誠実である限り、何の非難も生じないであろう。善行を行う者たちを非難する理由はない。神は最も許し深く、慈悲深い者である。⁹² また、(彼らには

何の非難も)ない。それは、あなたに乗り物を与えられるよう来た者たちで、あなたが「あなた方には乗り物が見つからない」と言った時、悲しみで目に涙を浮かべて引き返した者たちである。彼らが貢献する道を見つけれなかったからである。⁹³ 非難されるべきは、富裕でありながら免除を求める者たちである。彼らは(女性たち)と共に残ることに満足している。神は彼らの心を封じられた。彼らは理解しない。

⁹⁴ あなた方が彼らのもとに戻る時、彼らはあなたに言い訳をするだろう。言え、「言い訳をするな、私たちはあなた方を信じない。神はすでにあなた方について私たちに知らせた。神はあなた方の行動を見るであろう。彼の使徒も同様である。それからあなた方は、目に見えるものと見えないものを知るお方のもとへ帰されるであろう。そして彼はあなた方がなしていたことすべてをあなたに告げるであろう。」⁹⁵ あなたが戻る時、彼らはあなたを放っておいてもらうために神にかけて誓うだろう。だから彼らを放っておきなさい。彼らは不浄であり、彼らの行動への報いとして地獄が彼らの家となるであろう—⁹⁶ 彼らはあなたを喜ばせるためにあなたに誓うだろう。しかし、たとえあなたが彼らに満足しても、神は反逆的な民に満足されない。

⁹⁷ 砂漠のアラブ人たちは、真理の否定と偽善においてより頑固であり、神が彼の使徒に啓示した限界を認識する可能性が最も低い。神はすべてを知り、賢明である。⁹⁸ 砂漠のアラブ人の中には、神の目的のために費やすものを罰金とみなし、あなたに不幸が降りかかるのを待つ者がいる。彼らに不幸が降りかかるように!神はすべてを聞き、すべてを知り尽くされる方である。

⁹⁹ 彼らの中には、神と最後の日を信じ、神の目的のために費やすものを、神に近づき、使徒の祈りに値する手段と見なす者たちもいる。これは確かに彼らが神に近づく手段となるであろう。神は彼らを彼の慈悲の中に入れるであろう。神は実に最も許し深く、慈悲深い者である。

¹⁰⁰ 先導した者たち、最初期の移住者たちと支援者たち、そして彼らに高潔に続いた者たちについては、神は彼らに大いに満足し、彼らも

神に大いに満足している。彼は彼らのために川が流れる園を用意し、そこに彼らは永遠にとどまるであろう。それが最高の達成である。¹⁰¹ あなた方を取り巻く砂漠のアラブ人の一部は偽善者であり、マディーナの人々の一部も同様である—彼らはその偽善において頑固である。あなたは彼らを知らないが、われらは彼らを知っている。われらは彼らを二重に苦しませ、その後、彼らは大きな懲罰に服するであろう。

¹⁰² 他には、自らの悪行を告白し、良い行いも悪い行いもした者たちがいる。神が彼らに慈悲をもって向き直る可能性がある。確かに、神は最も許し深く、慈悲深い者である。¹⁰³ 彼らの富の中から施しを取りなさい。彼らを清め、彼らを浄化するために。そして彼らのために祈りなさい。あなたの祈りは彼らにとって慰めとなるであろう。神はすべてを聞き、すべてを知り尽くされる方である。¹⁰⁴ 彼らは、神が彼の僕たちの悔い改めを受け入れ、彼らの施しを受け取ること、そして神が許し深く、慈悲深い者であることを知らないのか？ ¹⁰⁵ 言え、「御心通りに行いなさい。神はあなた方の行動を見守るであろう。彼の使徒と信者たちも同様である。間もなくあなた方は、隠されたものと明白なものを知るお方のもとへ帰されるであろう。その時、彼はあなた方がなしたことすべてを真実をもってあなた方に示すであろう。』¹⁰⁶ (さらには)他の者たちがいる。彼らの事案は神が裁かれるまで延期される。彼は彼らを罰するか、あるいは慈悲をもって彼らに向き直るであろう。神はすべてを知り、賢明である。

¹⁰⁷ また、害を引き起こし、背教と信者たちの間の不和を広めるためにモスクを建てた者たちがいる——最初から神と彼の使徒と戦った者たちにとっての前哨基地として。彼らは「私たちの意図は善のみだった」と誓うが、神は彼らが嘘をついていることを証言する。¹⁰⁸ そこに足を踏み入れてはならない。敬虔さに基づいて最初の日から建てられた礼拝の家だけが、あなたが足を踏み入れるに値する。そこには清められることを愛する男たちがいる。神は自らを清める者たちを愛される。

¹⁰⁹ 彼の建物を神への畏れと彼の良き喜びに築く者と、崩れゆく崖の縁

に建物を築き、その家が彼と共に地獄の火に落ちる準備ができている者と、どちらが優れているだろうか？神は不義を働く者たちを導かれない。¹¹⁰ 彼らが建てた建物は、彼らの心が粉々になるまで、彼らの心に深い不安の源であり続けるであろう。神はすべてを知り、賢明である。

¹¹¹ 神は信者たちから、彼らの命と財産を、園と引き換えに買い取られた。彼らは神の目的のために戦い、殺し、殺される。^a これはトーラー、福音、そしてクルアーンにおいて彼に束縛される約束であり、彼の約束に神ほど忠実な者がいるだろうか？ならば、あなた方が結んだ取引を喜びなさい。それが最高の達成である。¹¹² (信者たちとは)悔い改めて神に立ち返る者たちである。彼を崇拜し、彼を讃える者たちである。彼の目的のために地上を巡り、ひれ伏し、身をかがめ、善を命じ、悪を禁じ、神が定めた限界を守る者たちである。信者たちに吉報を与えなさい！

¹¹³ 預言者と信じる者たちが多神教徒のために赦しを求めることは適切ではない。たとえ彼らが近親者であったとしても、彼らが地獄の懲罰を得たことが明確になった後では。¹¹⁴ アブラハムがその父のために赦しを求めたのは、彼が彼にした約束のためだけにすぎなかった。しかし彼が神の敵であると彼にはっきりした時、彼は彼から離反した。確かに、アブラハムは最も優しく、忍耐強い者であった。¹¹⁵ 神は、民を導いた後、彼らが何に用心すべきかを明確にするまでは、決して彼らを迷わせることはないだろう。神はすべてのことを認識しておられる。¹¹⁶ 確かに、神にこそ天と地の王国は属する。彼は命を定め、死をもたらす。神以外にあなたを守る者も助ける者もない。

¹¹⁷ 神は預言者、そして困難の時に彼に従った移住者たちと支援者たちに慈悲をもって向き直られた。彼らの一団の心がほとんど揺らいだ後、彼は彼らに引き直された。彼が彼らに対して思いやり深く、慈悲深かったからである。¹¹⁸ 彼は、彼らのケースが延期された三人に慈悲をもつ

a 序文のxivページからxviiページを参照。

て向き直られた。大地がその広大さにもかかわらず彼らに迫り、彼らの魂自体が彼らに狭苦しく感じられ、神以外に神からの避難所がないことを彼らが悟った時である。彼は彼らに向き直られた。彼らが彼に立ち返るためである。神は常に許し深く、最も慈悲深い者である。

¹¹⁹ 信じる者たちよ、神を畏れ、真実を語る者たちと共に立ちなさい。¹²⁰ マディーナの人々とその周りの砂漠のアラブ人が、神の使徒に従うことを控え、自分の命を彼の命よりも優先することは適切ではなかった。なぜなら、彼らが神の目的のために喉の渇き、疲労、飢えに苦しむたびに、そして真理を否定する者たちを挑発するいかなる一步を踏み出すたびに、あるいは敵に何らかの損失を与えるたびに、それは神の御前で善行と見なされるであろう—神は義しい者たちの報いを否定しないであろう—¹²¹ そして彼らがいかなるものも(神のために)費やすたびに、それが少量であろうと多量であろうと、そして彼らが土地を(神の目的のために)横断するたびに—それは彼らの功績として記録され、神は彼らがなしてきたすべてのことに対して最高の報いを与えるであろう。

¹²² すべての信者たちが(戦時に)全員で出陣するのは正しくない。ならば、なぜ各々の集団から一部の者が(預言者のもとに)来ないのか、宗教についてより深く知識を得るため、そして彼らの民に警告するため、彼らが悪から身を守れるように？

¹²³ 信じる者たちよ! あなた方の近くにいる真理の否定者たちと戦いなさい。^a 彼らと毅然として対処しなさい。神が彼を畏れる者たちと共にいることを知りなさい。

¹²⁴ 章が下されるたびに、彼らの中には「これによって誰の信仰が増しただろうか?」と言う者たちがいる。しかし、信じる者たちについては、それは彼らの信仰を増し、彼らは喜ぶ。¹²⁵ しかし、心に病のある者たちについては、それは彼らの汚れにさらに汚れを加え、彼らは真理を否

a 序文のxivページからxviiページを参照。

定する状態で死ぬであろう。¹²⁶ 彼らは毎年一度か二度試されているのを見ないのか？それでも彼らは悔い改めず、忠告も受け入れないであろう。¹²⁷ 章が啓示されるたびに、彼らは互いにちらっと見て、「誰か見ているか？」と尋ね、それから背を向ける。神は彼らの心を背けさせた。彼らが理解しない人々だからである。

¹²⁸ あなた自身の使徒があなたのもとに来た。あなたの苦しみが彼を苦しめる。彼はあなたの福祉に深く関心を持ち、信者たちに対して親切で慈悲深い。¹²⁹ しかしもし彼らが背を向けるなら、言え、「神が私には十分である。彼以外に神はいない。彼に私は信頼を置いた。彼は栄光の玉座の主である。」

10. ユーヌス (ユーヌス)

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ アリフ・ラーム・ラー。これらは知恵の書の節々である。² われらが人間の中から選んだある男に「人類に警告し、信じる者たちには、彼らの主に真の(名誉ある)位階があるという吉報を与えなさい」と啓示を送ったことが、人々にとって奇妙に思えるのか？真理を否定する者たちは言う、「この男は明らかに魔術師だ」と。

³ 確かに、あなた方の主は、六日間(期間)で天と地を創造し、その後、玉座に昇り、すべての事柄を処理される神である。彼の許可なくして彼に執り成しをする者はいない。それこそが神、あなた方の主である。だから彼のみを崇拜しなさい。あなた方は心に留めないのか？⁴ 彼のもとにあなた方は皆帰るであろう。神の約束は真実である。彼は創造を開始し、その後それを回復される。彼が信じ、善行を行う者たちに公正に報いるためである。真理を否定した者たちには、その否定ゆえに、煮え滾る水を飲み、苦痛な懲罰があるであろう。

⁵ 彼こそが、太陽を輝かしい光で輝かせ、月をその輝きを放たせ、そしてあなた方が年数を数え、(その他そのような)時間の計算を学べる

よう、それ(月)のために段階を定められた者である。神はこれらすべてを無目的に創造されたのではない。彼は理解ある人々に彼の啓示を明確にする。⁶ 夜と昼の交代、そして神が天と地に創造したすべてのものの中に、神を畏れる人々へのしるしがある。^{a 7} われらとの出会いを望まない者たちで、この世の生に満足し、それに安住する者たち、そしてわれらのしるしに耳を傾けない者たち⁸ は、その行いの報いとして業火に住むであろう。⁹ 信じ、善行を行う者たちは、その信仰ゆえに彼らの主によって導かれるであろう。至福の園では彼らの足元に川が流れるであろう。¹⁰ その(幸福な状態)において彼らは、「あなたに栄光あれ、おお神よ!」と叫ぶだろう。その中で彼らの挨拶は「平安!」であろう。そして彼らの呼びかけの締めくくりは、「一切の称賛は万有の主、神にこそ!」であろう。

¹¹ もし神が、良いものを急がせるように人々の懲罰を急がせたなら、彼らの寿命の終わりはすでに訪れていただろう。われらはわれらとの出会いを望まない者たちを、その傲慢さの中でさまよわせておく。¹² 人に何らかの困難が降りかかると、彼は横になっても座っても立っても、常にわれらに祈る。しかしわれらが彼の困難を取り除くと、彼は、まるでその困難の除去のためにわれらに祈ったことなどなかったかのように、自分の道を進む。このようにして、逸脱者たちの行いは彼らには公正に見えるようにされているのだ。

¹³ そして実に、あなた方の時代より前に、われらは(彼らが)悪を(執拗に)行った時、(全体の)世代を滅ぼした。彼らの使徒たちは明確なしるしを携えて彼らのところに来たが、彼らは信じようとしなかった。このようにしてわれらは罪人たちに報いる。¹⁴ その後、われらはあなた方

a 天にも地にも、無数のしるしがあるが、それらは神を畏れる者たちにのみ教訓となる。畏れ、あるいは懸念とは、人間を真剣にさせるものである。人間が真剣でなければ、重要な事柄に十分に注意を払わず、その様々な側面を理解することはないだろう。

を土地における彼らの後継者とした。あなたがたがどのように振る舞うかをわれらが見るためである。

¹⁵ われらの明確な啓示が彼らに朗読される時、われらとの出会いを期待しない者たちは、「別のクルアーンを持ってくるか、それに何か変更を加えなさい」と言う。言え、「私自身が勝手にそれを変更することはできない。私は私に啓示されたものに従うだけだ。もし私が私の主に不従順であったなら、恐ろしい日の懲罰を恐れる。」¹⁶ 言え、「もし神が望んだなら、私はそれをあなた方に朗読しなかったであろうし、彼はそれをあなた方の知識にすることもしなかったであろう。確かに、それが私に来るまで、私はあなた方の中で一生を過ごしたのだ。どうしてあなた方は理性を使わないのか？」¹⁷ 神について虚偽をでっち上げる者、あるいは彼のしるしを否定する者以上に不正な者がいるだろうか？確かに、罪人たちは決して成功しないであろう。

¹⁸ 神の代わりに、彼らは彼らに害することも益することもできないものを崇拜し、彼らは言う、「これらは神との私たちの執り成し手である」と。言え、「あなた方は、彼が知らないことを天と地において神に知らせるのか？彼に栄光あれ。彼が彼らが彼に配するものよりも遥かに崇高であることを！」¹⁹ 人類はかつて一つの共同体であったが、その後意見を異にした。そしてもしあなたの主からの以前の言葉がなかったなら、彼らの意見の相違は彼らのために解決されていたであろう。

²⁰ 彼らは尋ねる、「なぜ主から彼にしるしが下されないのか？」彼らに言え、「神のみが不可視の知識を持っている。だから待ちなさい。私もあなたと共に待つであろう。」²¹ われらが人類に何らかの逆境が襲った後で慈悲を味わわせるたびに、彼らは直ちにわれらのしるしに反対する偽りの議論を考案し始める。言え、「神は彼の考案においてより迅速である！われらの天使たちはあなた方の陰謀を記録している。」

²² 神こそが、陸と海での旅をあなた方に可能にする者である。そしてあなた方が船に乗って、好都合な風に喜んでいると、嵐がやって来て、波が乗員を四方八方から襲い、彼らは囲まれたと思い込む。その時

彼らは神に熱烈に訴え、心から言う、「もしあなたが私たちをこれから救い出してくださるなら、私たちはきっと感謝する者たちの一員となるでしょう。」²³ しかし彼が彼らを救い出すと、彼らは土地で不法にも過度な行為を犯し始める。おおあなた方人間よ、あなた方の過度な行為はあなた方自身にしか影響しない。現在の生を楽しみなさい。それからわれらの元にあなた方は帰るであろう。そしてわれらはあなた方がなしたことすべてをあなた方に知らせるであろう。

²⁴ この世の生は、われらが空から降らせる水のようなものである。その水は地の植物に吸収され、そこから人間も家畜も食べる。しかし大地が最も美しい姿を帯び、美しくなり、その民が自分たちがそれを支配下に置いたと考えるまさにその時、昼か夜のうちに、われらの命令がそれに下り、われらはそれを刈り取られた畑に変える。まるで前日には何も存在しなかったかのようにである。このようにわれらは、熟考する者たちのためにわれらの啓示を明確にする。

²⁵ 神は人間を平和の家へと招き、彼は御心である者をまっすぐな道へと導かれる。²⁶ 善行を行う者たちには良い報いとそれ以上のものがあるであろう。彼らの顔は闇に覆われたり、恥辱を被ったりしないであろう。彼らは樂園に定められ、そこに永遠に住むであろう。²⁷ しかし悪行をなした者たちについては、その報いはそれに見合ったものとなるであろう。彼らには神に対して弁護する者は誰もいないであろう。恥辱が彼らを覆い、まるで彼らの顔が夜自身の闇によって覆われたかのようにである。彼らこそ、業火に定められ、そこに永遠に住む者たちである。

²⁸ われらが彼らすべてを集める日、われらは神に仲間を配した者たちに言うであろう、「あなた方とあなた方の仲間たちはその場にとどまりなさい！」それからわれらは彼らを互いに引き離し、彼らの仲間の神々は言うだろう、「あなた方が崇拝したのは私たちではありません。²⁹ 神は私たちとあなた方の間の証人として十分である。私たちはあなた方が私たちを崇拝していたことを全く知らなかったのです。」³⁰ その時、すべての魂は自分がなしたことを悟るであろう。彼らは彼らの真の主であ

る神のもとに帰され、彼らがでっち上げたものはすべて彼らを見捨てるであろう。

³¹ 言え、「天と地からあなた方に(糧を)提供するの誰か?耳と目を司るのは誰か?死者から生けるものを、生けるものから死者を生み出すのは誰か?そしてすべての事柄を司るのは誰か?」彼らは言うだろう、「神だ」と。ならば言え、「ならばあなた方は彼を畏れないのか?」³² それこそが神、あなた方の真の主である。真実の他に何があるだろうか、誤り以外に?ならばどうしてあなた方は背を向けることができるのか?」³³ このようにして、あなたの主の言葉は不従順な者たちに対して真実であることが証明される。彼らは信じないであろう。

³⁴ ならば尋ねなさい、「あなた方の仲間の神々の中に、創造を開始し、その後それを再現できる者がいるか?」言え、「創造を開始し、その後それを回復するのは神である。ならばどうしてあなた方はそんなに惑わされるのか?」³⁵ 言え、「あなた方の仲間の神々の中に、真実へと導く者がいるか?」言え、「真実へと導くのは神である。ならば、真実へと導く者の方が、導かれないうり自分では道を見つけれない者よりも従われるに値するのではないか?あなた方に何があったのだ?あなた方の判断はいかに愚かであることか!」³⁶ 彼らのほとんどは単なる推測以外は何も追わない。しかし推測は真実に対して何の役にも立たない。神は彼らがなすことをよく認識しておられる。

³⁷ このクルアーンは、神以外には誰にも作ることができなかったようなものではない。それはそれに先行するものを確証し、(以前の)啓示のより完全な説明を与える。それには何の疑いもない。それは万有の主から来たものである。³⁸ 彼らは言うだろう、「彼がそれをでっち上げたのか?」言え、「それと似た一章を持ってこい。もしあなた方が真実を言う者であるならば、神以外の誰にでも助けを求めなさい!」³⁹ 確かに、彼らは理解できない何かを否定している。その現実はまだ彼らには明らかになっていないのだ。同様に、彼ら以前の人々も真実を拒絶した。だが、不義を働く者たちの末路がどうであったかを見なさい。

⁴⁰ 彼らの中にはそれを[クルアーンを]信じる者もいれば、信じない者もいるだろう。そしてあなたの主は悪を行う者たちを完全に認識しておられる。⁴¹ もし彼らがあなたを拒絶するなら、言え、「私の行いは私のものであり、あなた方の行いはあなた方のものだ。あなたは私の行動について責任を負わないし、私もあなた方がなすことについて責任を負わない。」⁴² 彼らの中にはあなたに耳を傾けているように見える者もいるが、理解する能力がない彼らに、あなたに聾啞者の声を聞かせることができるだろうか？⁴³ 彼らの中にはあなたをじっと見つめる者もいるが、視力を奪われた彼らに、あなたに盲人を見せることができるだろうか？⁴⁴ 確かに、神は人々には決して何の不正も働かない。しかし人々は自らを不正に陥れる。

⁴⁵ そして彼が彼らを皆集める日、彼らにはまるでこの世に一日一時間以上も留まっていなかったかのように思えるだろう。彼らは互いを認識するだろう。神に出会う運命にあることを嘘だと見なし、正しい道に従わなかった者たちは、実に失われた者たちとなるだろう。⁴⁶ われらがあなた方に約束したことの一部をあなたに示すか、あるいは(それより前に)あなたを死なせるかに関わらず、彼らはわれらの元に帰るであろう。神は彼らがなすことすべてを証人である。

⁴⁷ すべての民族には使徒がいる。彼らの使徒が一度来れば、彼らには完全に公平に裁きが下され、彼らが不正を被ることはないであろう。

⁴⁸ 彼らは言う、「この約束はいつ成就するのか—もしあなたが真実を言うのなら？」⁴⁹ 言え、「私は神の意志による以外は、自分自身に何の害も益も制御できない。しかし、すべての民には定められた期間がある。彼らの期間の終わりが来ると、彼らはそれを一時間たりとも延期することも、早めることもできない。」⁵⁰ 言え、「もし彼の懲罰が真夜中に、あるいは日中の光の中であなた方に降りかかったら、罪人はどうやってそれを逃れるだろうか？」⁵¹ あなた方は、それを急ぎたがっていたにもかかわらず、それがあなた方を捕らえてから初めてそれを信じるのか？」

⁵² その時、悪を行う者たちには、「永遠の懲罰を味わえ。あなた方はその行いに応じて報いられなかったとでも?」と言われるだろう。

⁵³ 彼らはあなたに、これが本当に起こるのか尋ねる。彼らに言え、「はい、私の主にかけて。最も確実にそれは起こり、あなたはそれを避けることはできない。」⁵⁴ もしすべての不義を働く者が地上にあるすべてを所有していたなら、彼はそれで自らを身請けしようとするだろう。彼らが懲罰を見た時、彼らは秘密裏に悔い改めるだろう。しかし裁きは完全に公平に下され、彼らが不正を被ることはないだろう。⁵⁵ 確かに、天と地にあるすべてのものは神に属する。確かに神の約束は真実である。しかし彼らのほとんどはそれに気づいていない。⁵⁶ 彼は命を与え、死をもたらし、彼のもとにあなた方は皆帰るであろう。

⁵⁷ おお人類よ!あなたの主からあなた方に戒めが来た。心の中にあるものの治療薬であり、真の信者たちへの導きと祝福である。⁵⁸ 言え、「神の恵みと慈悲において、彼らは喜びなさい。なぜならこれらは、彼らが蓄える世俗の富よりも良いものだからである。」⁵⁹ 言え、「神があなた方に下された糧について、あなた方は考えたことがあるか。そしてその一部を不法とし、一部を合法としたか?」言え、「神はあなた方に[そうする]許可を与えたのか、それともあなた方は神について虚偽をでっち上げているのか?」⁶⁰ 神について虚偽をでっち上げる者たちは、復活の日になると思うだろうか?神は人々に豊かな恵みを与える。しかし彼らのほとんどは感謝しない。

⁶¹ あなたが従事しているどんな活動でも、あなたがクルアーンのどの部分を朗読しても、あなたがどんな行いをして、あなたがそれに従事している時、われらはその証人である。地上の、あるいは天にある最も小さな粒子でさえも、あなたの主から隠されることはない。そして、どんなに小さくても大きくても、明確な書に記録されていないものはない。⁶² 神に近づけられた者たちは、何の恐れもなく、悲しむこともないであろう。⁶³ 信じ、神を畏れる者たちには、この世でも来世でも吉報がある。神の言葉は決して変わらない。それが最高の勝利である。⁶⁵ 彼ら

の言葉があなたを悲しませてはならない。確かに、すべての力と栄光は神のみに属する。彼はすべてを聞き、すべてを知り尽くされる方である。⁶⁶ 確かに、天と地にあるすべての者は彼に属する。神の代わりに仲間たちに訴えかける者たちは何に従っているのか？彼らは単なる推測に従っているだけであり、ただ推測しているにすぎない。⁶⁷ 彼こそが、あなたの方がその中で休めるように夜を暗くし、昼を光の源とした者である。確かに、これには耳を傾ける人々へのしるしがある。

⁶⁸ 彼らは言う、「神は子をもうけた」と。彼に栄光あれ。彼は自給自足の者である。天と地にあるすべてのものは彼に属する。あなた方にはこれに対するいかなる権威も持っているのか？あなた方は知らないことを神に帰すつもりなのか？⁶⁹ 言え、「神について虚偽をでっち上げる者たちは成功しないであろう。」⁷⁰ 彼らの分は、この世でのつかの間の楽しみである。しかしわれらの元に彼らは帰るであろう。それからわれらは、真理を否定したことゆえに、彼らを厳しい懲罰に遭わせるであろう。

⁷¹ 彼らにノアの物語を語りなさい。彼は彼の民に言った、「私の民よ、もしあなた方の中に私がいること、そして私があなた方に神の啓示を説くことがあなた方を不快にするなら、私は神に信頼を置いていることを知りなさい。だからあなた方も、あなた方の仲間の神々と共に、あなた方の行動方針について合意し、いかなる躊躇もあなた方をそれから逸脱させないようにしなさい。それから私に対してそれを実行に移し、私に猶予を与えないでください。」⁷² もしあなたが私から背を向けるなら、私はあなた方から何の報いも要求しないことを思い出しなさい。神のみが私に報い、私は完全に彼に服従するよう命じられている。」⁷³ その時、彼らは彼を拒絶した。そこでわれらは彼と彼と共に箱舟にいた者たちを救い、われらは彼らを後継者とした。一方、われらのしるしを否定した他の者たちをわれらは溺れさせた。ならば、警告された者たちの運命を観察しなさい。

⁷⁴ 彼の後、われらは他の使徒たちをそれぞれの民に送り、彼らは彼らに明確な証拠をもたらした。しかし彼らは真実を信じようとしなかつ

た。彼らが以前にそれを拒絶していたからである。このようにわれらは逸脱者たちの心を封じる。

⁷⁵ その後、われらはモーセとハールーンをわれらのしるしと共にファラオとその貴族たちに送ったが、彼らは傲慢に振る舞った。彼らが邪悪な民であったからである。⁷⁶ 真実がわれらから彼らに來た時、彼らは言った、「これは明白な魔術だ」と。⁷⁷ モーセは答えた、「真実があなた方にもたらされた後で、あなた方はそのように語るのか？これが魔術でありうるだろうか？魔術師は決して成功しない。」⁷⁸ 彼らは言った、「あなたは、私たちが父祖が従っていたものから私たちを背けさせ、あなた方二人がこの土地で最高になるために來たのか？私たちは決してあなたを信じないであろう。」

⁷⁹ その時ファラオは言った、「すべての熟練した魔術師を私のものに連れてこい！」⁸⁰ 魔術師たちが來た時、モーセは彼らに言った、「あなた方が投げ落とすものを何でも投げ落とせ。」⁸¹ そして彼らがそうすると、モーセは言った、「あなた方がなしたものは単なる魔術だ。確かに、神はそれを無にするだろう。真に、神は悪事を企む者の行いを支持しない。」⁸² 神は彼の言葉によって真実を確立する。罪人たちがどれほどそれを嫌っても。」

⁸³ しかし、ごく少数の若者たちだけがモーセへの信仰を公言した。ファラオとその貴族たちが彼らを迫害することを恐れたためである。ファラオはその土地で高慢かつ強大であった。そしてすべての限界を超えた者であった。⁸⁴ モーセは言った、「おお私の民よ。もしあなたが神を信じ、もしあなたが彼に服従したなら、彼のみに信頼を置きなさい。」⁸⁵ 彼らは言った、「神に私たちは信頼を置きます。私たちの主よ、私たちを圧制者たちにとっての試練（迫害の対象）となさらないでください。」⁸⁶ そしてあなたの慈悲によって、真理を否定する民から私たちを救い出してください。」

⁸⁷ われらはモーセと彼の兄弟に（われらの意志を）啓示した。「あなた方の民のために都市にいくつかの家を確保し、それらを礼拝の場所

とし、礼拝を常にしなさい!そして(おおモーセよ)信じる者たちに吉報を与えなさい。」

⁸⁸ モーセは祈った、「私たちの主よ、あなたはファラオとその貴族たちに現世において、豪華さと富を授けられました。それによって彼らは人々をあなたの道から迷わせています。私たちの主よ、彼らの富を滅ぼし、彼らの心を頑なにし、彼らが厳しい懲罰に直面するまで信じないようにしてください。」

⁸⁹ 神は言われた、「あなた方の祈りはかなえられた。だからあなた方二人は、堅固に正しい道が続け、知識を持たない者たちの道に従ってはならない。」

⁹⁰ そこでわれらはイスラエルの子らを海を渡らせた。ファラオと彼の軍勢は傲慢かつ攻撃的に彼らを追跡した。彼が溺れかかっていた時、(ファラオは)叫んだ、「イスラエルの子らが信じる彼以外に神はいないことを信じる。そして私は彼に服従する者の一人である!」⁹¹ 「今になってか?あなたは常に反逆者であり、悪を行う者であったのに。」⁹² だからわれらは今日、あなたの体を救うであろう。そうすればあなたは、あなたの後に来る者たちへのしるしとなるであろう。多くの人々が確かにわれらのしるしを顧みないからである。」

⁹³ われらはイスラエルの子らを祝福された土地に定住させ、われらは彼らに良いものを提供した。そして彼らに(神の啓示の)知識が与えられるまで、彼らが異なる見解を持ち始めることはなかった。あなたの主は復活の日に、彼らが意見を異にした事柄について彼らの間を裁かれるであろう。

⁹⁴ もしあなたがわれらがあなたに下したものについて少しでも疑いがあるなら、あなた以前に書を読んだ者たちに尋ねなさい。真実があなたの主からあなたに到来したのだから、疑う者の一人となってはならない—⁹⁵ 神のしるしを拒絶する者となってはならない。さもなければあなたは失われた者の一人となるであろう。

⁹⁶ あなたの主の言葉が確認された者たちは、決して信じないであ

ろう。⁹⁷ たとえあらゆるしるしが彼らに來たとしても—彼らが苦痛な懲罰を見るまでは。⁹⁸ ヨナの民以外に、信じるべきで、その信仰が彼らに益となるはずであった他の民がいなかったのはなぜか。彼らが一度信じると、われらは彼らから現世の恥辱の苦痛を取り除き、しばらくの間彼らにわれらの糧を楽しませた。

⁹⁹ もしあなたの主が望んだなら、地上のすべての人々は、例外なく彼を信じたであろう。ならばあなた方は人々を信者になるよう強制するのか？¹⁰⁰ 神の意志による以外は、いかなる魂も信じることはできない。彼は理性を使わない者たちの上に(疑いの)汚れを置くだろう。

¹⁰¹ 言え、「天と地にあるすべてのものを見なさい。」しかししるしと警告は不信者たちには何の益もない。¹⁰² 彼らが待っているのは、彼ら以前の者たちに來た懲罰以外に何があるだろうか？言え、「ならば待ちなさい。私もあなたと共に待つ者の一人だ。」¹⁰³ その時、われらはわれらの使徒たちと信じる者たちを救うであろう。このようにわれらは、信者たちを救うことを自らに義務付けたのだ。

¹⁰⁴ 言え、「おお人々よ、もしあなた方が私の宗教について疑いがあるなら、[ならば知りなさい]私はあなた方が神以外の崇拝する者たちを崇拝しない。むしろ私はあなた方を死に至らしめる神を崇拝する。なぜなら私は信者の一人となるよう命じられているからである。」¹⁰⁵ そしてあなたの顔を(真の)信仰へと、すべての誠実さをもって向け、神に仲間を配する者たちの一人となってはならない。¹⁰⁶ そして神以外の、あなたを助けることも害することもできないものを呼びかけてはならない。もしそうするなら、あなたは不義を働く者の一人となるであろう。¹⁰⁷ もし神があなたに害を与えるなら、彼以外には誰もそれを取り除くことはできない。そしてもし彼があなたに良いことを意図するなら、誰も彼の恵みを差し止めることはできない。彼は彼の僕の誰にでも御心通りに恵みを与える。彼は最も許し深く、最も慈悲深い者である。

¹⁰⁸ 言え、「人類よ、真実があなた方の主からあなた方に來た！導きを受け入れる者は誰であれ、彼自身の利益のためにのみ導かれる。そ

して道に迷う者は、彼自身の危険を冒してそうする。私はあなた方の守護者として任命されていない。」

¹⁰⁹ あなたに啓示されたものに従いなさい[おお預言者よ]。そして神が彼の裁きを下されるまで堅固でありなさい。彼は最高の裁き手である。

11. フード (フード)

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ アリフ・ラーム・ラー。

[これは]、本質的に根本的で、すべてを賢く、すべてを認識されるお方によって詳細に解説された書である。² [それは]、神以外は誰も崇拜すべきではないと[教える]。私はあなた方のもとに彼から送られ、あなた方に警告し、信じる者たちには彼らの主に真の[名誉ある]位階があるという吉報を与える。³ あなた方の主から赦しを求めなさい。それから彼に[悔い改めて]立ち返りなさい。彼はあなた方に定められた期間、寛大な糧を与え、それに値するすべての者に彼の恵みを授けるであろう!しかしもしあなたが背を向けるなら、私はあなた方のために恐ろしい日の懲罰を恐れる。⁴ 彼のもとにあなた方は皆帰るであろう。そして彼はすべてのものに対して力をお持ちである。

⁵ 彼らがいかに彼の[思考を]隠すために身を覆うかを見なさい。しかし彼らがその衣で身を覆う時、彼は彼らが隠すものと明かすものを知っている。彼は彼らの最も奥深くの思考を知っている。⁶ 地上に生きる被造物で、神がその糧を提供しないものはいない。彼はその住処と[最終的な]安息の場所を知っている。これらすべては明確な書に記録されている。

⁷ 水の上に玉座を置かれ、彼こそが六日間[期間]で天と地を創造された者である。あなた方の中で誰が行動において最良であるかを試

すためである。もしあなたが「あなた方は[皆]死後再び起こされるであろう」と言うなら、真理を否定する者たちは言うだろう、「これは単なる魔術にすぎない!」⁸ もしわれらが彼らの懲罰を定められた時まで延期するなら、彼らは尋ねるだろう、「何がそれを引き止めているのか?」それが彼らを捕らえる日、彼らからそれを避けるものは何も存在しないだろう。そして彼らが嘲笑していたものが彼らを包み込むであろう。

⁹ われらが人間にわれらの恵みを少し与え、その後それを彼から取り去るなら、彼は絶望に陥り、恩知らずになる。¹⁰ そしてもし、逆境の後で、われらが彼に幸運を味わわせるなら、彼は言う、「私の病はすべてなくなった」と。彼は歓喜し、自慢する。¹¹ 忍耐強く善行を行う者たちはそうではない。彼らには赦しと大きな報いがあるであろう。

¹² あなたはあなたに啓示されたものの一部を脇に置く[傾向があるかもしれない]、そして彼らが「なぜ彼には宝が下されないのか、なぜ彼には天使が同行しないのか?」と言うので、あなたは苦悩するかもしれない。しかしあなたは警告を与える者であるにすぎない。神はすべてのものの守護者である。¹³ もし彼らが「彼が自分ででっち上げたのだ」と言うなら、言え、「もしあなたが真実を言うなら、それと似たでっち上げられた章を十個作ってこい。そして神以外の誰にでも助けを求めることができる者に助けを求めなさい。」¹⁴ しかしもし彼らがあなたに応えないなら、これ[クルアーン]が神の知識をもって下されたものであり、彼以外に神はいないことを知りなさい。ならばあなた方は彼に服従するのか?

¹⁵ この世の生とそのすべての華やかさを望む者たちは、この生でその行いに対して完全に報われるであろう—何も彼らから否定されることはないだろう。¹⁶ これらの人々こそ、来世においては業火以外何も持たず、彼らがなしたことはすべて無益となるであろう。¹⁷ 彼らは、彼らの主からの明確な証拠を持ち、彼からの証人によって裏付けられ、導きと慈悲としてモーセの書が先行する者たちと比較できるだろうか?これらの人々はそれを信じる。一方、その真実を否定するそれらの集団には

業火が約束されている。したがって、それについて疑ってはならない。それはあなたの主からの真実であるが、ほとんどの人はそれを信じない。¹⁸ 神に対して嘘をでっち上げる者以上に大きな不正を犯す者がいるだろうか？そのような人々は彼らの主の前に連れてこられ、証人たちは言うだろう、「これこそが彼らの主について嘘をついた者たちだ」と。確かに神の拒絶は、そのような不義を働く者たちに当然のことである。¹⁹ 他者を神の道から遠ざけ、それを歪んだように見せようとする者たち。これらの者たちは来世を否定する者たちである。²⁰ 彼らは決して地上で神を挫くことはできないし、神以外に保護者もない。彼らは二重の懲罰を受けるであろう。彼らは聞くことも見ることもできなかったからである。²¹ そのような者たちこそ自らの魂を滅ぼした者たちであり、彼らがでっち上げたものは彼らを裏切るであろう。²² 来世において、彼らこそが最大の失われた者たちとなるであろう。²³ 信じ、善行を行い、その主の前に謙虚になった者たちは樂園に定められ、そこに永遠に住むであろう。²⁴ これらの二つの集団は、見ることも聞くこともできる者たちに比べれば、盲人と聾啞者のようである。この二つが等しいだろうか？ならばあなた方は理解しないのか？^a

²⁵ われらはノアを彼の民に送った。彼は言った、「私は明確な警告を携えてあなた方のところに来た。²⁶ 神以外は誰も崇拜するな。私はあなた方が悲惨な日の懲罰に見舞われることを恐れる。」²⁷ 彼の民の指導者たちで、真理を認めようとしなかった者たちは言った、「私たちはあなた方を私たち自身と同じ一人の人間としか見ていない。あなたに従うのは、私たちの中で最も卑しい者たち、判断が未熟な者たち以外に

a 天にも地にも、無数のしるしがあるが、それらは神を畏れる者たちにのみ教訓となる。畏れ、あるいは懸念とは、人間を真剣にさせるものである。人間が真剣でなければ、重要な事柄に十分に注意を払わず、その様々な側面を理解することはないだろう。

は誰もいない。あなたに優れた功績があるとは見えない。実際、私たちはあなたを嘘つきだと信じている。」

²⁸ 彼は言った、「おお私の民よ、教えてくれ。もし私が私の主からの明確な証拠を持ち、彼が彼自身からの恵みで私を優遇したのに、あなた方がそれを認識できなかったとしたら、私たちはあなた方の意志に反してそれをあなた方に強制できるだろうか？」²⁹ おお私の民よ、私はこれに対してあなた方にいかなる金銭も求めない。私の報いは神からのみ来る。私は信じる者たちを追い払うことはない。彼らはきっと彼らの主に出会うであろう。しかしあなた方は無知から行動する民だとわかる。

³⁰ 私の民よ、もし私が彼らを追い払うとしたら、誰が神に対して私を支持してくれるだろうか？あなた方は心に留めないのか？³¹ 私はあなた方に、私が神の宝を持っているとか、不可視の知識を持っているとか、私が天使であるとは言わない。また、あなた方が軽蔑する者たちについて、神が彼らに何の善も授けないだろうとも言わない—神は彼らの心にあるものを最もよく知っているのだ。もし私がそう言ったなら、私は確かに不義を働く者の一人となるだろう。」

³² 「ノアよ」と彼らは答えた、「あなた方は私たちと議論し、過剰に議論した。もしあなたが真実を言うのなら、私たちを脅すものを今すぐ私たちにもたらしなさい！」³³ 彼は言った、「もし彼が望むなら、それをあなた方にもたらすのは神である。そしてあなた方は逃れることはできないであろう。³⁴ もし神があなた方を迷わせるなら、私がどれほど誠実にあなた方を助言したいと願っても、私の助言はあなた方に何の益も与えないであろう。彼はあなた方の主であり、あなた方は皆彼のもとに帰るであろう。」

³⁵ もし彼らが「彼が自分ででっち上げたのだ」と言うなら、彼らに言え、「もし私が本当にこれを自分ででっち上げたのなら、私の罪のために罰せられるがいい。私はあなた方が犯す罪については無実である。」

³⁶ 神の意志はノアに啓示された。「あなたの民の中で、すでに信じている者たち以外に、あなたを信じる者はもういないだろう。だから、彼

らがなしてきたことについて悲しむな。³⁷ われらの目の下で、われらの啓示に従って箱舟を建造しなさい。悪を行う者たちに関しては私に嘆願するな。彼らはきっと溺れさせられるであろう。」³⁸ そこで彼は箱舟を建造し始めた。そして彼の民の指導者たちが通り過ぎるたびに、彼らは彼を嘲笑した。彼は言った、「もしあなた方が私たちを嘲笑うなら、私たちもあなた方を(あなた方の無知を)嘲笑うだろう。あなた方が私たちを嘲笑うように。³⁹ 間もなくあなた方は、誰が屈辱的な懲罰を受け、彼に対して永遠の懲罰が放たれるかを知るようになるだろう。」

⁴⁰ われらの命令が下り、水が激流となって噴き出した時、われらはノアに言った、「あらゆる種から一対を箱舟に入れ、そしてあなたの家族も入れなさい—ただし、すでに判決が下された者たち、そしてすべての真の信者たちを除く。」しかし、彼と共に信じた者はごく少数であった。

⁴¹ ノアは言った、「それに乗りなさい。神の御名において、その航行もその停泊も。本当に、私の主は許し深く、慈悲深い者である。」⁴² 箱舟は彼らと共に山のような波の中を進んだ。ノアは離れて立っている息子に呼びかけた、「おお私の息子よ! 私たちと共に乗りなさい。そして否定者たちの中にいてはならない!」⁴³ 彼は答えた、「私は山に避難します。それは私を水から救ってくれるでしょう。」ノアは叫んだ、「今日、神の命令から避難できる者は、彼が慈悲を示す者たち以外には誰もいない!」すると波が彼らの間に押し寄せ、ノアの息子は溺れた者たちの中にいた。

⁴⁴ 声が叫んだ、「地よ、お前の水を飲み込め。おお空よ、雨をやめよ。」水は引き、命令は果たされた。箱舟はジュディー山に止まった。言われた、「不義を働く民よ、立ち去れ。」

⁴⁵ ノアは彼の主に呼びかけ、言った、「私の主よ、私の息子は私の家族の一部でした。あなたの約束は確かに真実でした。あなたはすべての裁き手の中で最も公正な方です。」⁴⁶ 神は言われた、「ノアよ、彼はあなたの家族の一員ではなかった。彼は確かに行動において不義であった。あなたが知識のないことについて私に質問してはならない。あなたが無知な者のようにならないよう、私はあなたに忠告する。」⁴⁷ 彼は言

った、「私の主よ、知識のないことをあなたに尋ねることから、あなたに避難を求めます。もしあなたが私を赦し、私に慈悲を示さなければ、私は失われた者たちの一人になるでしょう。」

⁴⁸ 神は言われた、「ノアよ、平安のうちに上陸しなさい。あなた方と、あなた方と共にいる民、そしてあなた方と共にいる者たちの子孫の一部に、われらの祝福あれ。(不義なる者たちについては)われらはしばらくの間糧を与えるであろう。その後、われらからの厳しい懲罰が彼らを襲うであろう。」⁴⁹ これらは不可視の知らせであり、われらがあなた[預言者よ]に啓示するものである。あなたもあなたの民も以前は知らなかったことである。だから忍耐しなさい。未来は神を畏れる者たちに属する。

⁵⁰ アードの民には彼らの兄弟フードを送った。彼は言った、「おお私の民よ、神のみを崇拜しなさい。彼以外にあなた方には神はいない。あなた方は嘘をでっち上げているにすぎない。⁵¹ 私はこの[メッセージ]に対するいかなる報いもあなた方には求めない。私の報いは私を創造された彼のところにある。どうしてあなた方は理性を使わないのか？

⁵² 私の民よ、あなた方の主から赦しを求め、悔い改めて彼に立ち返りなさい。彼は天からあなた方に豊かな雨を送るであろう。彼はあなた方の力にさらに力を加えるであろう。悪を行う者たちとして彼から背を向けてはならない。」

⁵³ 彼らは答えた、「フードよ、あなたは私たちにいかなる明確な証拠ももたらさなかった。私たちは単にあなたの命令によって、私たちの神々を捨てることはしないし、あなたを信じもしない。⁵⁴ 私たちに言えるのは、私たちの神々の一部があなたを悪で打ったとしか考えられない。」彼は言った、「私は神を証人として呼ぶ。あなた方も証人となりなさい。私はあなた方が[神に]配する者たちを否認する。⁵⁵ 彼以外の者を。だからあなた方全員で私に対して陰謀を企み、私に何の猶予も与えるな。

⁵⁶ 私は私の主であり、あなた方の主である神に信頼を置いた。なぜな

ら彼がその前髪を掴んでいない生き物はいないからである。私の主はまっすぐな道の上にいる。

⁵⁷ 「もしあなたが背を向けるなら、私は私に送られたメッセージをあなた方に伝えた。私の主はあなた方の後継者として別の民を立てるであろう。そしてあなたは彼を微塵も害することはできない。私の主はすべてのものを見守る者だからである。」⁵⁸ われらの命令が下った時、われらはフードと彼と共に信じた者たちを、われらの特別な慈悲によって救い出した。われらは彼らを厳しい懲罰から救った。⁵⁹ そのような者たちがアードの民であった。彼らはその主のしるしを否定し、彼の使徒たちに不従順であり、頑固な真理の敵のあらゆる命令に従った。⁶⁰ 彼らはこの世でも、復活の日にも呪いに追われた。確かに、アードの民はその主を否定した。だからアードの民、フードの民よ、滅び去れ!

⁶¹ サムードの民には彼らの兄弟サーリフを送った。彼は言った、「私の民よ、神を崇拝しなさい!彼以外にあなた方には神はいない。彼こそがあなた方を大地から生み出し、あなた方をそこに定住させた方である。だから彼に赦しを請いなさい。悔い改めて彼に立ち返りなさい。私の主は近く、応答される方である。」⁶² 彼らは言った、「おおサーリフよ!私たちはあなたに大きな期待を抱いていた。あなたは私たちが父祖が崇拝したものを崇拝するのを禁じるのか?あなたが私たちに呼びかけることに関して、私たちは大きな疑念の中にいる。疑念に近いほどだ。」⁶³ 彼は言った、「おお私の民よ、教えてくれ。もし私が私の主からの明確な証拠を持ち、彼が彼の慈悲を授けてくださったとしたら、もし私が彼に不従順であった場合、神に対して誰が私を支持してくれるだろうか?あなた方は私の損失を増大させるだけだろう。」

⁶⁴ 私の民よ!この神の雌ラクダはあなた方へのしるしである。だから彼女を神の土地で放牧させ、いかなる害も与えてはならない。さもなければ瞬時に責め苦に見舞われるであろう。」⁶⁵ しかし彼らは彼女の臄を切った。彼[サーリフ]は言った、「あと三日間、あなた方の家で楽しみなさい。この警告が偽りだと証明されることはないだろう。」⁶⁶ その後、わ

れらの命令がわれらの恵みによって下った時、われらはサーリフと彼と共に信じた者たちを、その日の屈辱から救った。確かに、あなたの主は力強く、全能である。⁶⁷ 不義を働く者たちは恐ろしい爆音に襲われ、彼らはその家の中で死体となって横たわった。⁶⁸ まるでそこに住んだことがなかったかのようなのである。サムードの民はその主を否定した。サムード族は呪われた。

⁶⁹ われらの使徒たちはアブラハムに吉報を携えて来て、「平安」と挨拶した。彼もまた「あなた方に平安あれ」と言い、焼いた子牛を急いで持ってきた。⁷⁰ しかし彼らが食べるそぶりを見せないのを見た時、彼はこれを奇妙に思い、彼らを恐れた。彼らは言った、「恐れるな。私たちはロトの民に送られたのだ。」⁷¹ 彼の妻は近くに立っていたが、われらが彼女にイサクの吉報を、そしてイサクの後にヤコブの吉報を与えた時、笑った。⁷² 彼女は言った、「ああ！夫がここにいるのに、この老齢で子供を産むというのか？これは実に奇妙なことだ！」⁷³ 彼らは言った、「あなた方は神の命令に驚くのか？おおこの家の民よ、神の慈悲と祝福があなた方の上にありますように。確かに彼は称賛されるべきお方であり、栄光あるお方である。」

⁷⁴ 恐怖がアブラハムを去り、吉報が彼に伝えられた後、彼はロトの民のためにわれらに嘆願し始めた。⁷⁵ アブラハムは忍耐強く、優しい心を持ち、しばしば神に立ち返る者であったからである。⁷⁶ われらは言った、「アブラハムよ、嘆願をやめなさい。あなたの主の命令はすでに下された。誰も避けることのできない懲罰が彼らに降りかかるであろう！」

⁷⁷ われらの使徒たちがロトのところに來た時、彼はこのことで不安になり、彼らを守る力がなく感じた。彼は言った、「これは恐ろしい日だ。」⁷⁸ 邪悪な行いを犯すことに慣れていた彼の民が、彼のもとへ走って來た。彼は言った、「私の民よ、ここに私の娘たちがいる。彼女たちはあなた方にとってより清い（もし結婚するなら）。だから神を畏れ、私の客人の前で私を辱めてはならない。あなた方の中に、正しい心の持ち主は一人もいないのか？」⁷⁹ 彼らは答えた、「あなたは私たちの娘たちには

何の必要もないことを知っているでしょう。私たちが何を求めているか、あなたはよく知っているでしょう。」

⁸⁰ 彼は言った、「もし私があなた方を止める力を持っていたなら、あるいは強力な支援に避難できたなら!」⁸¹ 彼らは言った、「ロトよ、私たちはあなたの主の使徒だ。決して彼らはお前に届かないだろう!だからまだ夜が明ける前に家族と共に出発し、誰一人として振り返ってはならない。ただしお前の妻は他の者たちに降りかかる運命を被るだろう。彼らの定められた時は朝だ。朝は近くないか?」⁸² われらの命令が下った時、われらはその町をひっくり返し、層をなす粘土の石をその上に雨のように降らせた。⁸³ あなたの主の命令によって彼らのために印がつけられたものである。不正な者たちへの懲罰は遠くなかった。

⁸⁴ ミデアンの民には彼らの兄弟シュアイブを送った。彼は言った、「私の民よ、神を崇拝しなさい。彼以外にあなた方には何の神もない。ごまかして量ったり、ごまかして重さを測ったりしてはならない。あなた方が繁栄しているのが見える。私はあなた方のために運命の日(審判の日)の懲罰を恐れる。⁸⁵ おお私の民よ、(常に)公正に完全に量り、完全に重さを測り、短く配達することで人々を欺いてはならない。そして土地に腐敗を広めてはならない。⁸⁶ もしあなたが信者であるなら、神があなたに残すものこそがあなたにとって最良である。私はあなた方の守護者として任命されていない。」

⁸⁷ 彼らは言った、「シュアイブよ、あなたの祈りは私たちに、父祖が崇拝したものを放棄し、私たちの持ち物を好きなように処分するのをやめるべきだと告げているのか?あなたは確かに唯一の賢明で正しく導かれた男だ!」

⁸⁸ (シュアイブは)言った、「おお私の民よ!どう思うか?もし私が私の主からの明確な証拠を持ち、彼が彼自身からの公正な糧で私を養ってくださったなら、(あなた方を導くべきではないか?)。私はあなた方に対抗して、あなた方にしないよう求めていることを行うつもりはない。私はできる限りあなた方を改革したいだけである。そして神の助けなしに

は成功できない。彼に私は信頼を置き、彼に私は立ち返る。⁸⁹ おお私の民よ、私への反対があなた方に、ノアの民やフードの民やサーリフの民と同じような運命をもたらさないようにしなさい。ロトの民が罰せられてからそう長くは経っていない!⁹⁰ あなた方の主から赦しを求め、悔い改めて彼に立ち返りなさい。私の主は確かに慈悲深く、愛する方である。」

⁹¹ 彼らは答えた、「シュアイブよ、あなたの言うことの多くは理解できない。実際、あなたは私たちの中で無力に見える。あなたの氏族がなければ、私たちはあなたを石打ちにしていたであろう。あなたは私たちに対して強くないのだから。」⁹² 彼は言った、「私の民よ、私の氏族は神よりもあなた方にとって強大なのか?あなた方は彼に背を向け、彼を後回しにしているではないか!確かに、私の主はあなた方がなすことすべてを包摂している。⁹³ 私の民よ、あなた方が望むように行いなさい。私もそうするであろう。間もなくあなた方は、誰が彼を辱める懲罰を受け、誰が嘘つきであるかを知るであろう。待っていなさい。私もあなたと共に待つであろう。」

⁹⁴ われらの命令が下った時、われらはシュアイブと彼と共に信じた者たちを、われらからの慈悲として救い出した。一方、爆音が不義を働く者たちを襲い、彼らはその家の中で死体となって横たわった。⁹⁵ まるでそこに住んだことがなかったかのようである。ああ、ミデアンの民よ、滅び去れ。ちょうどサムードの民に起こったように!

⁹⁶ われらはモーセをわれらのしるしと共に、そして明白な権威と共に送り出した。⁹⁷ ファラオとその貴族たちに。しかし彼らはファラオの命令に従ったが、ファラオの命令は正しく導かれていなかった。⁹⁸ 彼は復活の日に彼の民の先頭に立ち、彼らを業火に導くだろう。彼らが導かれる場所は忌まわしい。⁹⁹ 呪いがこの世でも彼らに付きまとい、復活の日にも彼らに付きまとうだろう。なんと汚い贈り物であろうか!

¹⁰⁰ われらはあなたに以前の都市のそのような記述を語る。その中にはまだ立っているものもあれば、存在しなくなったものもある。¹⁰¹ われらは彼らに不正を働いたのではない。彼らが自らを不正に陥れたの

である。彼らが神以外に呼びかけた神々は、彼らに何の役にも立たなかった。神の命令が彼らに下った時、彼らはその破滅を増大させたにすぎない。

¹⁰² そのようなものが、罪の最中に都市を捕らえる時のあなたの主の懲罰である。彼の懲罰の掌握は恐ろしく厳しい。¹⁰³ その中には、来世の懲罰を恐れる者へのしるしがある。それは人類が共に集められる日であり、すべての者が存在する日である。¹⁰⁴ われらはただ、あらかじめ定められた時までそれを延期するだけである。¹⁰⁵ そしてその日が到来すると、いかなる魂も彼の許しなくしては語らない。その中には呪われる者もいれば、祝福される者もいるであろう。

¹⁰⁶ 悲惨な者たちは業火の中でため息をつき、うめき声を上げるであろう。¹⁰⁷ 天と地が続く限り、永遠にその中に留まるであろう。ただしあなたの主が望む場合を除く。あなたの主は御心であることを何でも実行される。¹⁰⁸ 祝福された者たちは園に住むであろう。彼らは天と地が続く限りそこに住むであろう。ただしあなたの主が望む場合を除く。そのような恵みは終わりが無いであろう。¹⁰⁹ 彼らが崇拝するものについて疑いを持ってはならない。彼らは彼ら以前に父祖が崇拝したもの以外、何も崇拝しない。われらは彼らにその分け前を完全に与えるであろう。何も減らすことなく。

¹¹⁰ われらは確かにモーセに書を与えたが、それについて意見の相違が生じた。もしあなたの主からの以前の言葉がなかったなら、裁きは確かに彼らに下されていただろう。しかし彼らはそれについて大きな疑いの中にいる。¹¹¹ あなたの主は彼ら一人一人にその行いに対して完全に報いるであろう。彼は彼らのすべての行動をよく認識しておられる。

¹¹² したがって、命じられたように、あなたと共に神に立ち返った者たちと共に、堅固に(正しい道に)立ちなさい。そして限界を超えてはならない。彼はあなたがなすすべてを見ておられるからである。¹¹³ 悪を行う者たちに傾いてはならない。さもなければ火があなたに触れるであ

ろう。なぜなら(その時)あなたには神から守る者は誰もいないし、助けられることもないであろう。¹¹⁴ 朝と晩に、そして夜間の一部に礼拝を捧げなさい。確かに善は悪を償う。これは注意を払う人々への戒めである。¹¹⁵ 堅固でありなさい。確かに、神は義しい者たちの報酬を無駄にすることはないからである。

¹¹⁶ なぜならば、あなた方以前の世代の中に、地上での腐敗(の広がり)に反対して発言する義しい者たちがいなかったのか—われらが救ったごく少数を¹¹⁷ しかし不義を働く者たちはその世俗的な快樂を追求し、こうして罪を犯した。あなたの主は、その民が改革しようとしている間は、決して不当に共同体を滅ぼすことはないだろう。

¹¹⁸ もしあなたの主が望んだなら、彼は人類を一つの共同体としたであろう。しかし現状では、彼らは争うことをやめないだろう—¹¹⁹ そしてこの目的のために、彼は彼ら(すべて)を創造した—あなたの主が慈悲を示された者たちを除いては。あなたの主の言葉は果たされるであろう、「私は地獄をジンと人間で共に満たすであろう」と。

¹²⁰ われらはあなたの心を堅固にするために預言者たちの物語をあなたに語った。そしてこれらの記述には真実があなたに来ており、信者たちへの勧めと戒めがある。¹²¹ 信じない者たちに言え、「あなた方はあなた方のやり方で物事をなし、私たちは私たちのやり方で物事をなしている。¹²² そして待ちなさい、私たちも待っている。」¹²³ 天と地の秘密の知識は神のみに属し、すべての事柄は彼に委ねられるであろう。だから彼を崇拜し、彼のみに信頼を置きなさい。あなたの主はあなたがなすことを認識しておられない。

12. ユースフ (ユースフ)

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ アリフ・ラーム・ラー。

これらは明確な書からの節々である。² われらはクルアーンをアラビア語で下した。あなた方が理解できるように。³ われらはこのクルアーンをあなたに啓示することで、最良の物語をあなたに語る。それが来るまで、あなたがそれを知らなかったにもかかわらず。

⁴ ユースフがその父に言った時、「父よ、私は十一の星と太陽と月を夢に見ました。それらが私にひれ伏すのを見ました」と、⁵ 彼は答えた、「わが息子よ、夢を兄弟たちに話してはならない。彼らがあなたに対して悪を企むかもしれないからだ—サタンは人間の誓われた敵である。⁶ あなたはあなたの主によって選ばれ、彼はあなたに出来事の内なる意味を理解する力を授けるであろう。彼はあなたとヤコブの家族に、彼の祝福を完全に授けるであろう—ちょうど彼が以前、あなた方の父祖アブラハムとイサクにそれを完全に授けたように。確かに、あなたの維持者はすべてを知り、賢明である!」

⁷ 確かに、ユースフと彼の兄弟たちの中には、探求する者たちへのしるしがある。⁸ 彼らは(互いに)言った、「確かに、ユースフと彼の兄弟[ベンヤミン]は、私たちよりも父にとって愛しい。私たちは一団であるのに。本当に、私たちの父は明らかに間違っている。⁹ したがって、ユースフを殺すか、あるいはどこか[遠い]土地へ彼を追いやろう。そうすれば父の注意は私たちだけに向けられ、その後あなた方は義しい民となることができる。」¹⁰ 彼らの一人が言った、「ユースフを殺すな。しかし、もし何かをしなければならぬなら、彼を井戸の底に投げ込め。旅人の誰かが彼を拾い上げるだろう。」

¹¹ 彼らはその父に言った、「なぜあなたは私たちにユースフを任せてくれないのですか? 私たちは確かに彼の善意の者です。¹² 明日彼を

私たちと一緒に送ってください。彼が遊び、楽しむことができるように。私たちは彼を見守ります。」¹³ (ヤコブは)言った、「あなた方が彼を連れて行くな、確かに私は悲しむだろうし、あなた方が油断している間に狼が彼を食い尽くすのではないかと恐れる。」¹⁴ 彼らは言った、「確かに、もし私たちが強い仲間である間に狼が彼を食い尽くすなら、私たちは実に大きな敗者となるでしょう。」

¹⁵ そして、彼らが彼と共に出かけると、彼らは彼を井戸の暗い深みに投げ込むことを決意した。その時、われらは彼にわれらの意志を啓示した。「あなたは(いつか)彼らがあなたが誰であることを認識していない時に、この彼らの行為について彼らに告げるであろう。」¹⁶ そして夕暮れ時、彼らは泣きながら父のもとへ来た。¹⁷ 彼らは言った、「父よ、私たちは競走に出かけ、ユースフを私たちの持ち物と一緒に置いていきました。すると狼が彼を食い尽くしました。しかし私たちは真実を言っているのに、あなたは私たちを信じないでしょう。」¹⁸ そして彼らは父に、偽りの血で染まった兄弟のシャツを見せた。(ヤコブは)叫んだ、「違う! お前たちの魂が悪事をなすようお前たちを誘惑したのだ! しかし忍耐することが最善である。神のみが、お前たちが語る損失に耐えるのを私を助けてくださるだろう。」

¹⁹ そして旅人の隊商がやって来て、彼らは水を汲む者を井戸に送った。彼が桶を井戸に下ろすと、「おお、何と幸運な発見だ、少年がいる!」と彼は叫んだ。彼らは彼を商品のように隠したが、神は彼らがなすことをよく知っておられた。²⁰ 後に彼らは彼をわずかな金額、数枚の銀貨(ディルハム)で売った。彼らは彼をほとんど価値のあるものとは見なさなかった。

²¹ 彼を買ったエジプト人は妻に言った、「彼を丁重にもてなさない。彼は私たちにとって利益になるかもしれないし、息子として養子にすることさえできるかもしれない。」このようにわれらはユースフを土地に確立した。彼に出来事の真の意味を教えるためである。神はすべてのものに対して力をお持ちである。しかし、ほとんどの人はこれを知らな

い。²² そして彼が成熟に達した時、われらは彼に正しい判断力と知識を授けた。このようにわれらは善を行う者たちに報いる。

²³ しかし、彼が住んでいた家の女性は、彼を誘惑したかった。ある日、彼女はドアに鍵をかけ、「来なさい!」と言った。彼は答えた、「神にかけて、そんなことあってはならない!本当に[あなたの夫]は私の主人であり、私を丁重に扱ってくれました。不義を働く者たちは決して成功しない。」²⁴ 彼女は彼に向かって走り出し、もし彼が主からのしるしを見ていなかったなら、彼女に屈していたであろう—われらは彼から悪とみだらなことを遠ざけるためにこれを行ったのである。彼は確かにわれらの選ばれた僕の一人であった。

²⁵ 彼らは二人ともドアへ走り、争いの中で、彼女は彼のシャツの背中を破った。彼らは夫がドアにいるのを見つけた。彼女は叫んだ、「あなたの妻を侵犯しようとした男は、投獄されるか、厳しく罰せられるべきではないか?」²⁶ ユースフは言った、「私を誘惑しようとしたのは彼女です。」彼女の家の一人が証言した、「もし彼のシャツが前で破れているなら、彼女が真実を語っており、彼が嘘をついている。」²⁷ しかし、もし後ろから破れているなら、彼女が嘘をついており、彼が真実を語っている。」²⁸ そこで夫が彼のシャツが後ろから破れているのを見た時、彼は言った、「これはお前たち女の策略だ。お前たちの策略は実に大きい。」²⁹ ユースフよ、このことは水に流せ。しかしお前[妻よ]、自分の罪の赦しを求めなさい。お前は間違っただから。」

³⁰ 町の女性たちは噂し始めた、「貴族の妻がその奴隷を誘惑しようとしている!彼への愛が彼女の心を蝕んでいる!本当に!私たちは彼女が明白な誤りの中にいるのを見る。」³¹ 彼女が彼らの陰謀を聞いた時、彼女は彼らを呼び出し、彼らのために宴を準備した。彼女は彼らの一人一人にナイフを与え(果物を切るためなど)、それからユースフに彼らの前に現れるよう頼んだ。女性たちが彼を見た時、彼女たちは(彼の美しさに)大いに驚き、手を切り、叫んだ、「神よ、私たちをお守りください!これは人間ではなく、気高い天使です!」³² 彼女は言った、「この男こそ、あ

なた方が私を非難していた彼です！そして、確かに私は彼を私に屈服させようとはしましたが、彼は屈しませんでした。しかし今、もし彼が私の言う通りにしないなら、彼はきっと投獄され、屈辱を受けるでしょう。」³³ ユースフは言った、「おお私の主よ！私はこれらの女性たちが私にさせようとしていることよりも、牢獄の方を好みます。そしてもしあなたが私から彼らの策略をかわしてくださなければ、私は彼らに屈し、無知な者の一人となるかもしれない。」³⁴ そこで彼の主は彼にゆだね、彼らの策略をかわした。彼はすべてを聞き、すべてを知り尽くされる方である。

³⁵ しかし、彼らが見たすべての証拠の後でさえ、彼らは彼をしばらく投獄することが正しいと考えた。³⁶ 二人の青年が彼と共に牢獄に入った。彼らの一人が言った、「私は（夢で）自分がワインを絞っているのを見ました。」もう一人が言った、「私は夢で頭にパンを運んでいて、鳥がそれを食べているのを見ました。私たちにその意味を教えてください。あなたは善を行う者だとわかるから。」

³⁷ ユースフは彼らに言った、「食事を持ってこられる前に、あなた方の夢の解釈を知らせよう。これは私の主が私に教えてくださった知識の一部である。私は神を信じず、来世を否定する民の宗教を放棄した。

³⁸ 私は父祖であるアブラハム、イサク、そしてヤコブの宗教に従う。そして、私たちがいかなる者も神に仲間として配することは許されない。これは私たちと人類への神の恵みである。ほとんどの人間は感謝しないにもかかわらず。³⁹ おお私の二人の囚人の仲間よ！多くの異なる主がいる方が良いか、それとも神、唯一の者、全能者が良いか？⁴⁰ あなた方が彼以外に崇拝するそれらすべては、あなた方とあなた方の父祖がでっち上げた単なる名前である。神はそれに対して何の権威も下さなかった。すべての力は神のみに属する。そして彼はあなた方に彼以外は誰も崇拝しないよう命じる。これが真の信仰であるが、ほとんどの人はそれに気づいていない。

⁴¹ おお私の二人の囚人の仲間よ、あなた方の一人はその主人にワインを注ぐであろう。あなた方のもう一人は十字架にかけられ、鳥がそ

の頭を食べることになるであろう。あなた方が私に意見を求めてきた事柄は、そのように定められたのだ。」⁴² 彼は救われるだろうと思った者に言った、「あなたの主人に私のことを話してくれ。」しかしサタンは彼に、主人に彼のことを話すのを忘れさせた。こうしてユースフは数年間牢獄にとどまった。

⁴³ 王は言った、「私は(夢で)七頭の肥えた牛が七頭の痩せた牛に食べられているのを見た。また七本の青い穀物の穂と、七本の枯れた穂も。貴族たちよ、もしあなた方が夢を解釈できるなら、この夢の意味を私に教えてくれ。」⁴⁴ 彼らは言った、「これらは混乱する夢であり、私たちはそのような夢の解釈を知りません。」⁴⁵ その後、解放された二人の男性の一人が、長い時間が経ってから思い出し、言った、「私がその解釈を教えてあげましょう。だから、私に(牢獄のユースフのところへ)行く許可を与えてください。」

⁴⁶ 「おお真実なユースフよ!」と彼は言った、「七頭の肥えた牛が七頭の痩せた牛に食べられている夢、そして七本の青い穀物の穂と七本の枯れた穂の夢の意味を私たちに教えてくれ。そうすれば私は私の民のもとに戻り、彼らに知らせることができる。」⁴⁷ ユースフは言った、「あなた方はいつも通り、連続して七年間種を蒔くべきである。しかし、収穫したものは耳に残しておきなさい。あなた方が食べるごく一部を除いては。」⁴⁸ その後、七年間の大いなる困難が続くであろう。それはあなた方が貯蔵したもののほんのわずかを除いてすべてを消費するであろう。⁴⁹ その後、人々が豊かな雨を得る年が来るであろう。そして再び彼らは(ワインと油を)絞るであろう。」

⁵⁰ 王は言った、「彼を私のもとに連れてこい。」王の使者がユースフのもとに来た時、彼は言った、「主人に戻り、手を切った女性たちについて尋ねなさい。私の主は彼女たちの策略をよく知っている。」⁵¹ 王は女性たちに尋ねた、「あなた方がユースフを誘惑しようとした件の真実はいったい何だったのか?」女性たちは言った、「神にかけて! 私たちは彼について何の悪も知りません。」貴族の妻は言った、「真実が今明らかに

なりました。彼を誘惑しようとしたのは私でした。彼は確かに正直な男です。」

⁵² 「これにより」とユースフは言った、「(貴族は)私が彼の不在中に彼を裏切らなかったこと、そして神が裏切り者の企みを導かれないことを知るべきです。⁵³ 私は自分自身を免罪しようとしているのではありません。なぜなら、人間の魂そのものが、私の主が慈悲を授けない限り、悪を煽るからです。本当に、私の主は許し深く、慈悲深い者です。」

⁵⁴ 王は言った、「彼を私のもとに連れてこい。私は彼を私の特別な奉仕のために使うであろう。」そして彼が彼に話した後、彼は言った、「今からあなたは私たちと共に住み、尊敬され、信頼されるだろう。」⁵⁵ ユースフは言った、「この地の倉庫を私の管理に置いてください。私は有能で知識のある管理人だからです。」⁵⁶ このようにわれらはユースフをその土地の権威ある地位に確立した。彼は望む場所に住むことができた。われらは御心である者にわれらの慈悲を受け、義しい者たちの報いを無駄にすることはない。⁵⁷ しかし来世の報いは、信じ、神を畏れる者たちにとって最良である。

⁵⁸ ユースフの兄弟たちが到着し、彼の前に現れた。彼は彼らを認識したが、彼らは彼を知らなかった。⁵⁹ 彼が彼らのために食料の準備を終えると、彼は彼らに言った、「あなた方の父方の兄弟を私のもとに連れてきなさい。私が十分に量りを与え、最高の歓待者であるのがわからないか?」⁶⁰ しかしもし彼を私のもとに連れてこないなら、私からは何の穀物も得られないだろうし、二度と私に近づくこともないだろう。」⁶¹ 彼らは答えた、「私たちは彼の父を説得して、私たちと一緒に彼を送るように努力します。私たちは(全力を尽くします)!」

⁶² ユースフは彼の召使いに言った、「彼らの金をサドルバッグに戻しなさい。そうすれば彼らが家族の元に帰った時にそれに気づくだろう。こうして彼らは戻ってくるかもしれない。」⁶³ 彼らが父のもとに戻ると、彼らは言った、「父よ、これ以上の穀物[の計量]は私たちには拒否されました。だから私たちの兄弟[ベンヤミン]を私たちと一緒に行かせて

ください。そうすれば私たちは私たちの(穀物の)計量を得ることができます。そして私たちは彼をよく守ります。』⁶⁴ 彼は答えた、「以前彼の兄弟をあなた方に信頼したように、彼をあなた方に信頼するだろうか?しかし神は最高の守護者であり、すべての中で最も慈悲深い方である。」

⁶⁵ 彼らが荷物を開けると、彼らの金が返還されているのを発見した。彼らは言った、「父よ、これ以上何を望むでしょうか?私たちのこの金が私たちに返されました。だから私たちは家族のために(再び)食料を買い、私たちは兄弟を守り、そしてラクダ一頭分の穀物を追加で得ることができます。今持ってきたものは少量です。』⁶⁶ 彼[ヤコブ]は言った、「あなた方自身が(強制的な状況に)囚われない限り、彼を私のもとに必ず連れ戻すという厳粛な誓約を神の前で私に与えるまでは、決して彼をあなた方と一緒に送らない。」そして彼らが彼に厳粛な誓約を与えると、(ヤコブは)言った、「神が私たちの言うことすべてを証人となるであろう。」

⁶⁷ 「おお息子たちよ!皆で一つの門から(都市に)入ってはならない。別々の門から入りなさい。私は神の命令に対してあなた方を助けることはできない。裁きは彼のみのものである。彼に私は信頼を置いた。彼にこそ信じる者たちは信頼を置くべきである。』⁶⁸ 彼らは父が彼らに告げた通りに(安全に)入った。しかし、彼は神の命令から彼らを守る力はなかった。それはヤコブの魂の願いにすぎず、彼はそうしてそれを果たしたのだ。彼はわれらが彼に与えた知識を持っていた。しかしほとんどの人は知識を持たない。

⁶⁹ 彼らがユースフの前に現れた時、彼はその兄弟[ベンヤミン]を脇へ連れて行った。彼は言った、「私はあなたの兄弟だ。だから彼らがなしてきたことについて何をしようと悲しむな。』⁷⁰ 彼が彼らに食料を与え終わると、彼はその兄弟の荷物の中に飲み物用の杯を置いた。それから叫び手が彼らの後ろから呼びかけた、「隊商の者たちよ!あなた方は盗みを働いた!』⁷¹ 彼らは振り返って、「何を失くしたのですか?』と言った。⁷² 「王の計量用の器だ」と彼は答えた。「それを見つける者にはラク

ダー頭分の穀物を与える。私がその言葉を保証しよう。」⁷³ 彼らは言った、「神にかけて、あなた方は知っているはずだ。私たちはこの土地に何のトラブルも起こしに来たのではない。私たちは泥棒ではない!」⁷⁴ エジプト人は彼らに尋ねた、「もしあなた方が嘘をついていることが分かったら、あなた方にどのような罰則を与えるべきか?」⁷⁵ 彼らは答えた、「罰則は、それがサドルバッグの中から見つかった者が、(罪の)償いのために(束縛された者として)拘束されるべきだ、とすべきです。それが私たち(ヤコフの家族)が不義を働く者を罰する方法です。」⁷⁶ 彼[伝令]は兄弟の荷物を兄弟のものの前で調べ、それから兄弟の荷物から杯を取り出した。このようにして、われらはユースフのために計画を考案した。神が望まなければ、彼は王の法のもとで兄弟を拘束することはできなかっただろう。われらは御心である者を高める。しかし知識を持つ者たちの上には、すべてを知り尽くされる方がいる。

⁷⁷ 彼らは言った、「もし彼が泥棒なら、彼の兄弟も[以前に]盗みを働いたことがある。」しかしユースフは秘密を守り、彼らには何も明かさなかった。彼は(心の中で)言った、「あなた方の行いの方が悪かった。神はあなた方が語ることを最もよく知っておられる。」⁷⁸ 彼らは言った、「おお高貴な方よ、彼には非常に年老いた父がいます。代わりに私たちの一人を取ってください。あなた方は非常に良い人だとわかります。」⁷⁹ 彼は答えた、「神にかけて、われらが財産を見つけた者以外の者を取ることはありえない。その場合、われらは明らかに不義を働く者となるだろう。」

⁸⁰ 彼らが彼[ユースフ]を(説得すること)を完全に諦めた時、彼らは退き、互いに相談した。最年長者は言った、「父が神の名においてあなた方から誓約を取ったことを知らないのか?あなた方はすでにユースフに関して失敗した。だから父が許すか、あるいは神が[事柄を]決めるまでは、私は決してこの土地を離れない。彼は最高の裁き手である!

⁸¹ 父の元に戻り、『父よ、あなたの息子が盗みを働きました。私たちは知っていることしか証言できません。どうして不測の事態から身を守るこ

とができたでしょうか？⁸² 私たちが宿泊した都市[の人々]と、私たちが旅した隊商に尋ねてください。私たちは真実を語っています』と言いなさい。」

⁸³ ヤコブは言った、「いや、あなた方が自分で物語をでっち上げたのだ。しかし忍耐することが最善である。神は(結局)彼ら全員を私のもとに連れ戻してくださるかもしれない。彼は実に知識と知恵に満ちたお方だからだ。」⁸⁴ そして彼は彼らから顔を背け、「ああ、ユースフよ!」と叫んだ。彼の目は悲しみで白くなり、彼は悲嘆に暮れた。⁸⁵ 彼らは言った、「神にかけて、あなたの健康が損なわれ、死ぬまでユースフを思い出し続けるつもりですか?」⁸⁶ 彼は言った、「私は私の苦悩と悲しみを神にだけ訴えるのだ。神はあなたが知らないことを私に知らせてくださった。⁸⁷ 行け、わが息子たちよ、ユースフと彼の兄弟の知らせを探し求めなさい。神の慈悲に絶望してはならない。真理を否定する者たち以外は、神の慈悲に絶望しない。」

⁸⁸ 彼らの兄弟たちがユースフの前に現れると、彼らは嘆願した、「高貴なる方よ、私たちと私たちの家族は苦難に見舞われ、わずかな金額しか持ってきておりません。しかし私たちに十分な量を与えてください。私たちに慈善を施してください。本当に、神は慈善を行う者たちに報いるお方です。」⁸⁹ 彼は言った、「あなた方は無知にもユースフとその兄弟に何をしたか、覚えているか?」⁹⁰ 彼らは叫んだ、「あなたこそユースフなのか?」彼は答えた、「私はユースフであり、これは私の兄弟だ。神は確かに私たちに恵みを授けてくださった。真実は、神は善行を行い、義しく堅固な者たちの報いを無駄にしないということだ。」

⁹¹ (兄弟たちは)言った、「神にかけて!神は確かにあなたを私たちよりも高く持ち上げた。そして私たちは確かに罪人でした!」⁹² 彼は言った、「今日、あなた方に何の非難もない。神があなた方を赦しますように!そして彼は慈悲を示す者たちの中で最も慈悲深い方である。⁹³ 私のこのシャツを持って行き、父の顔の上に置きなさい。彼は視力を回復するであろう。その時、家族全員を連れて私のもとに(戻って)きなさい。」

⁹⁴ 隊商がエジプトから出発すると、彼らの父は(カナンの地で)言った、「あなた方は私が毫碌したと思うかもしれないが、私は確かにユースフの息吹を感じる。」⁹⁵ 彼らは言った、「神にかけて、あなたはまだ錯覚の中にいる!」⁹⁶ しかし吉報の運び手が到着し、ヤコブの顔にシャツを置くと、彼の視力は回復し、彼は言った、「私はあなた方が知らないことを神から知っている、あなた方に言わなかったか?」⁹⁷ 彼らは言った、「おお父よ!私たちの罪の赦しを求めてください—私たちは本当に間違っていました。」⁹⁸ 彼は言った、「私は確かに私の主にあなた方を赦すようお願いするであろう。確かに、彼は最も許し深く、慈悲深い者である。」

⁹⁹ その時、彼らがユースフの前に現れると、彼は両親を自分のもとに引き寄せ、言った、「もし神が望むなら、エジプトへようこそ、安全に!」¹⁰⁰ 彼は両親を寝椅子に助け、彼らは皆、彼の前でひざまずいた。彼は言った、「父よ、これこそ私の夢の解釈です。私の主がそれを実現させてくださいました!彼が私を牢獄から出してくださり、サタンが私と兄弟たちの間に不和をもたらした後、あなた方を砂漠から連れてきてくださった時、彼は私に親切でした。私の主は、御心であることを達成するにおいて最高の計画者です。彼はすべてを知り、真に賢明です。」

¹⁰¹ その時ユースフは祈った、「私の主よ、あなたは私に権力を与え、夢の解釈を教えてくださいました。天と地の創造主よ、あなたは現世と来世において私の保護者です!私をあなたに服従した状態で死なせ、義しい者たちの中に私を入れてください。」

¹⁰² これらは不可視の知らせであり、われらがあなた[預言者よ]に啓示するものである。彼らが陰謀を企て、計画に同意していた時、あなたは彼らと共にいなかったにもかかわらず。¹⁰³ しかしほとんどの人間は信者にはならないであろう。あなたがどれほど熱心であっても。¹⁰⁴ あなたはこれに対して彼らに何の報いも求めるべきではない。それは全人類への単なる戒めである。

¹⁰⁵ そして天と地には多くのしるしがあるが、彼らはそれらを通り過

ぎ、耳を傾けない——¹⁰⁶ そして彼らのほとんどは、神への信仰を公言する時でさえ、彼に仲間を配する。¹⁰⁷ 彼らは、神のすべてを包摂する懲罰が彼らに降りかからないと、あるいは最後の日が彼らが最も予期しない時に突然降りかからないと安心しているのか？¹⁰⁸ 言え、「これこそ私の道である。確かな知識に基づいて、私と私に従う者たちは、あなた方に神への信仰を呼びかける。神は神聖である。私は神に仲間を配する者たちの一人ではない。」

¹⁰⁹ われらがあなた[ムハンマド]以前に送ったすべての使徒は、われらが啓示を与えた人間であった。彼らはその町の民の中から選ばれた者たちであった。彼らは地上を旅し、彼ら以前の者たちの末路を見なかったのか？神を畏れる者たちは来世を好む。ならばあなた方は理解しないのか？¹¹⁰ 使徒たちがすべての希望を失い、嘘を告げられたと思った時、われらの助けが彼らに来了。われらは御心である者を救ったが、われらの懲罰は罪人たちから避けることはできないであろう。

¹¹¹ 彼らの物語の中には、理解ある人々への教訓がある。この[クルアーン]はでっち上げられた物語ではなく、以前の[聖典]の確証であり、すべてのものの詳細な説明であり、真の信者たちへの導きと慈悲である。

13. 雷 (アル・ラアド)

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ アリフ・ラーム・ミーム・ラー。

これらは書の節々である。あなたの主からあなたに下されたものは真実であるが、ほとんどの人間はそれを信じない。² 目に見える支えなしに天を高め、その後、玉座に定まったのは神である。彼は太陽と月を規制し、それぞれが定められた時までその軌道を追うようにされた。彼はすべての事を定め、彼の啓示を明確にする。あなた方があなたの主と

の出会いを確信できるように。³ 彼こそが大地を広げ、その上に山々と河、そしてあらゆる種類の果実を男女の対にして置かれた者である。彼は夜の幕を昼に引いた。これらすべての中に、熟考する人々へのしるしがある。

⁴ 地上には様々な区域が隣接している。ブドウ畑、穀物畑、そしてナツメヤシの林、単一のものと房になったもの。それらの果実は同じ水で養われる。しかしわれらは、その味が他のものよりも優れているものにする。これにもまた、理解する人々へのしるしがある。

⁵ もし何かあなたを驚かせることができるなら、彼らが「何？私たちが塵になったら、また新しく創造されるのか？」と尋ねることに、きっとあなたは驚くべきだろう。これらの者たちこそ、彼らの主を否定する者たちである。彼らの首には足かせがあるだろう。彼らは業火の相続者であり、そこに永遠にとどまるであろう。

⁶ 彼らはあなたに、良いことよりも悪を急ぐよう要求する。彼ら以前にも懲罰の例は多くあったにもかかわらず—あなたの主は人類に対して、彼らの悪行にもかかわらず、赦しに満ちたお方であるが、彼は懲罰において確かに厳しい。

⁷ 真理を否定する者たちは尋ねる、「なぜ彼には主からしるしが下されないのか？」しかしあなたは警告者にすぎない。すべての民にはその導き手がいる。

⁸ 神はすべての雌が何を宿すかを知っている。彼は子宮内のすべての変化を知っている。すべてのものについて彼は適切な尺度を持っている。⁹ 彼は不可視のものと可視のものを知る者、偉大で至高なるお方である。¹⁰ 秘密で会話しようと大声で話そうと、夜の衣の下に隠れようと日中の光の中で自由に歩き回ろうと、何の違いもない。

¹¹ 各々にはその前に、そしてその後守護の天使たちがおり、神の命令によって彼を見守っている。神は、人々がその心の中にあるものを変えない限り、人々の運命の状態を変えない。しかし神が民に懲罰を定

めるとき、それをかわすことは誰にもできない。彼以外には彼らには何の保護者もない。

¹² 彼こそが、恐れと希望を抱かせる稲妻をあなた方に見せ、重い雲を集める者である。¹³ そして雷は彼の讃美をもって彼を賛美し、天使たちも彼を畏れてそうする。そして彼は彼の雷を、御心である誰にでも打つために送る。しかし彼らは神について争う。彼はその力において容赦ないお方である。

¹⁴ 唯一の真の訴えは神のみに向けられる。彼ら以外の呼びかけられた者たちは、いかなる方法でも彼らに応えることはないだろう。彼らは、水が口に届くように手を伸ばす男のようだが、決して届かない。真理を否定する者たちの呼びかけはすべて無益である。

¹⁵ 天にあるものも地にあるものも、すべて神のみに服従する。自らの意志であろうと否応なしであろうと、朝も夕方もその影も同様である。¹⁶ 言え、「天と地の主は誰か？」言え、「神だ。」言え、「なぜあなた方は彼以外の、自分自身すら益することも害することもできない保護者を選ぶのか？」言え、「盲人と見る者とが等しいか？闇と光が等しいか？あるいは彼らは、神が創造するように創造する仲間を神に割り当て、両者の創造が彼らに同じように見えるようにしたのか？」言え、「神はすべてのものの創造主である。彼は唯一無二であり、全能である。」

¹⁷ 彼は空から水を下し、それが河床を満たし溢れさせる。それぞれその尺度に従って。その激流は渦巻く泡を運び去る。人間が装飾品や道具を作るために精錬された鉱石から上がる泡に似て。神はこうして真実と虚偽を描写する。泡滓は投げ捨てられるが、人間に役立つものは残る。神はこうして比喻で語る。

¹⁸ 彼らの主に答える者たちには最高の報いがあるであろう。一方、彼に答えない者たちについては—もし彼らが地上にあるすべてと、その二倍の富を持っていたとしても、彼らはきっとそれを（審判の日に）身代金として提供するであろう—最悪の清算を受け、その目標は地獄となるであろう。そしてなんという忌まわしい安息の地であろうか！

¹⁹ あなたの主からあなたに下されたものが真実であることを知る者が、盲人と同じであろうか？洞察力を与えられた者たちだけが耳を傾ける。²⁰ 彼らとは、神との絆に忠実であり、その契約を決して破らない者たち。²¹ そして神が結びつけるよう命じたものを結びつけ、彼らの主を畏れ、計算の厳しさを恐れる者たち。²² 彼らとは、主の恵みを求めて堅固であり、定期的に礼拝を捧げ、われらが彼らに与えたもののなかから秘密裏に、そして公に費やし、善をもって悪を避ける者たちである。彼らには最終的な住处があるであろう。²³ 彼らは永遠の樂園のエデンに入るであろう。彼らの父、妻、子孫の中の義しい者たちと共に。あらゆる門から天使たちが彼らのところに来て言うであろう、²⁴ 「あなた方が堅固に耐え忍んだことすべてに対して平安あれ。最終的な住处はいかに素晴らしいことか！」

²⁵ 神との契約を、それを確証した後に破り、神が結びつけるよう命じたものを断ち切り、地上に腐敗を広める者たちには、呪いが下されるであろう。彼らには邪悪な住处があるであろう。²⁶ 神は御心である者には豊かに与え、御心である者には控えめに与える—(真理を否定する者たちは)この世の生に喜びに満ちている。しかしこの世の生は、来世に比べれば、つかの間の喜びにすぎない。

²⁷ 真理を否定する者たちは尋ねる、「なぜ彼には主からしるしが下されないのか？」言え、「神は御心である者を迷わせ、彼に立ち返る者たちを彼自身へと導かれる。²⁸ 彼らとは、信じ、その心が神の想起の中に安らぎを見出す者たちである—確かに神の想起の中に心は安らぎを見出すことができる。²⁹ 善行を行い、義しい行いをする者たちについては—彼らの終わりは至福である。」

³⁰ このようにわれらはあなたを民に送った。彼ら以前にも他の民が去って行った。あなたに啓示したものを彼らに朗読するためである。しかし彼らは慈愛あふれる神を否定する。言え、「彼こそが私の主である。彼以外に神はいない。彼に私は信頼を置き、彼のもとに私は帰るであろう。」

³¹ たとえ山々を動かすことができ、大地を裂くことができ、あるいは死者に語らせることができるクルアーンがあったとしても(彼らはそれを信じないだろう)。確かにすべてのことは神の意志に従う。信仰する者たちは、もし彼が望んだなら、神がすべての人類を導くことができたであろうことを知らないのか? 真理を否定する者たちに、その悪行ゆえに、あるいはその家の近くに災害が襲い続けることはないだろう。神の約束が果たされるまでは。神は彼の約束を決して破ることはない。³² あなた以前にも他の使徒たちは嘲笑された。しかし私は真理を否定する者たちに猶予を与えたが、ついに彼らを捕らえた。そして私の懲罰はいかに恐ろしいものであったことか。

³³ それならば、すべての魂とその行動を見守る者(は他の誰とも)同じだろうか? それでも彼らは神に仲間を配する。言え、「彼らの名を挙げよ!あるいはあなた方は、彼が知らないことを地上で彼に知らせるつもりなのか?あるいは、これらすべてはあなた方の単なる言葉の主張にすぎないのか?」確かに、真理を否定する者たちには、その策略が公正に見える。そして彼らは正しい道から遠ざけられている。神が迷わせることを許す者たちには、導き手はありえない。³⁴ 懲罰がこの世の生で彼らを待っている。しかし来世の懲罰はより厳しい—神に対して彼らを擁護する者は誰もいないであろう。

³⁵ それこそが義しい者たちに約束された楽園である。それは流れる川によって潤されている。その果実は永遠であり、その日陰も永遠である。それが義しい者たちへの報いであるが、真理を否定する者たちへの報いは業火である。

³⁶ われらが聖典を送った者たちは、あなたに啓示されたものを喜ぶ。一方、一部の派閥はその一部を否定する。彼らに言え、「私は神のみを崇拜し、彼に仲間を配しないよう命じられた。彼に私は祈り、彼のもとに私は帰るであろう。」³⁷ このようにわれらはそれをアラビア語の(明確な)命令として啓示した。あなたに与えられたすべての知識の後で、もしあなたが彼らの欲望に従うなら、神に対してあなたには何の保護者

も盾もないであろう。³⁸ われらはあなた以前にも使徒たちを送り、彼らに妻と子供たちを与えた。しかし、使徒が神の命令による以外にしろしをもたらしことは不可能であった。あらゆる時代にはその啓示があった。³⁹ 神は御心であるものを廃止したり確証したりする。彼のもとにはすべての命令の源がある。

⁴⁰ あなたがたに約束したことの一部をわれらが示すか、あるいは(それより前に)あなたを逝かせようとも、あなたの使命は警告を与えることだけである。計算を行うのはわれらの役目である。⁴¹ 彼らは、われらがいかに(彼らの)土地に来てその境界を縮めるかを見ないのか?神が決定する—彼の決定を覆すことは誰にもできない—そして彼は計算において迅速である。⁴² 彼ら以前の者たちもまた陰謀を企てた。しかしあらゆる事柄において、マスタープランニングは神のものである。彼はすべての魂が何をなすかを知っている。真理を否定する者たちは、誰が最終的な住処を得るか、間もなく知るであろう。

⁴³ 真理を否定する者たちは言う、「あなたは神の使徒ではない」と。言え、「私とあなた方の間に、そして書に関する知識を持つ者たちの間で、神が私の証人として十分である。」

14. イブラーヒーム (イブラーヒーム)

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ アリフ・ラーム・ラー。

われらはあなたにこの書を啓示した。あなた方が彼らの主の命令によって人々を闇から光へと導くことができるように。力強く、称賛されるべきお方の道へ、² 天にあるものも地にあるものも所有する神へ。真理を否定する者たちには災いあれ。彼らは厳しく罰せられるであろう!³ 来世よりもこの生を愛する者たちには災いあれ。神の道から他者を背け

させ、それを歪んだように見せようとする者たちに。彼らは遠く迷い去ったのである。

⁴ われらが送った各々の使徒は、メッセージを彼らに明確にするために、彼ら自身の民の言葉で語った。しかし神は御心である者を迷わせ、御心である者を導かれる。彼は全能であり、すべてを賢くされる方である。

⁵ われらはモーセをわれらのしるしと共に送った。「あなたの民を闇から光へと導き、神の日々を彼らに思い出させなさい。その中には、忍耐強く感謝するすべての人へのしるしがある。」

⁶ モーセは彼の民に言った、「彼があなた方を残酷に扱い、息子たちを死に至らしめ、娘たちだけを生かしておいたファラオの民からあなた方を救い出した時、神があなた方にくださった恵みを思い出しなさい。確かにそれはあなたの主からの大きな試練であった。⁷ あなたの主が宣言された時のことも思い出しなさい。『もしあなた方が感謝するなら、私はきっとあなた方にもっと恵みを授けよう。しかしもしあなた方が恩知らずであるなら、私の懲罰は実に厳しいことを知りなさい。』⁸ モーセは言った、「たとえあなた方が真理を否定しても、そして地上に住むすべての者が共に否定したとしても、神は自給自足であり、称賛されるべきお方である。」

⁹ あなた方以前の者たち、例えばノアの民、アードとサムード、そして彼らの後に来た者たちに関する知らせは、あなた方のもとに来ていないか？彼らが誰であるかは神のみが知っている。使徒たちは明確なしるしを携えて彼らのところに来たが、彼らは手で口を覆い、「あなた方が送られたメッセージを私たちは否定する。あなた方が私たちにさせようとしていることについては、私たちは大きな疑念を抱いている」と言った。

¹⁰ 彼らの使徒たちは言った、「天と地の創始者である神について、いかなる疑いがあるだろうか？彼はあなた方を彼のもとに呼ぶ。あなた方のいくつかの罪を赦し、特定の期間あなた方を猶予するためである。

」彼らは言った、「あなた方は私たち自身と同じ人間ではないか!あなた方は私たちの父祖が崇拝してきたものから私たちをそらそうとしている。だから私たちに明確な権威をもたらさない。」

¹¹ 彼らの使徒たちは答えた、「私たちは確かにあなた方と同じ人間です。しかし神は、彼が選ぶ彼のしもべのそのような者に彼の恵みを授ける。私たちは神の許しなしには奇跡を起こすことはできない。神にこそ真の信者たちは信頼を置くべきである—¹² そして彼がすでに私たちを私たちの道へと導いてくださったのに、なぜ私たちは神に信頼を置かないことがあろうか?私たちは、あなた方が私たちに加えるいかなる害も、きっと忍耐強く耐え忍ぶであろう。だから神にこそ信頼を置く者たちは信頼を置くべきである。」

¹³ 真理を否定する者たちはその使徒たちに言った、「あなた方が私たちのやり方に戻らない限り、あなた方を私たちの土地から追放するであろう。」しかし彼らの主は使徒たちに靈感を与え、言われた、「われらは悪を行う者たちを滅ぼし、¹⁴ そしてあなた方を彼らに代わって土地に定住させるであろう。それは私との出会いを畏れ、私の警告に耳を傾ける者すべてのために[用意されている]。」

¹⁵ 彼らがわれらの裁きを求めた時、すべての頑固な抑圧者は挫折させられた。¹⁶ 彼の向こうには地獄があり、彼は腐敗した水を飲むであろう。¹⁷ 彼はすすり、それを飲み込むのが容易ではないだろう。死があらゆる方面から彼に近づくが、彼は死なない。さらに激しい苦しみが彼を待ち受けているだろう。

¹⁸ その主を否定する者たちの行いは、嵐の日に風が散らす灰のようである。彼らはその行いから何も得ることはないであろう。このように行動することは、遠く誤りに迷い込むことである。¹⁹ あなた方は、神が天と地をある目的のために創造されたのを見ないか?彼はもし望むならあなた方を排除し、新しい創造を生み出すことができる。²⁰ それは神にとって困難なことではない。

²¹ 彼らは皆、神の前に現れ、弱い者たちは傲慢に振る舞った者た

ちに言うだろう、「私たちはあなた方の追従者でした。あなた方は私たちを神の懲罰から守ることができますか？」彼らは答えるだろう、「もし神が私たちに導きを与えていたなら、私たちはあなた方を導いていたでしょう。私たちが忍耐するか否かは同じです。私たちに逃げ場はないのです。」

²² 裁きが下された時、サタンは彼らに言うだろう、「神はあなた方に真実の約束をした。私もあなた方に約束をしたが、あなた方を裏切った。私にはあなた方に対する権威はなかった。私があなた方を呼びかけ、あなた方が私に応じたこと以外には。今、私を非難するな。あなた方自身を非難しなさい！私はあなた方を助けることはできないし、あなた方も私を助けることはできない。私は以前、私を神と結びつけたあなた方の行為を拒絶する。」不義を働く者たちには苦痛な懲罰があるであろう。

²³ しかし信じ、善行を行った者たちは、川が流れる園に入れられるであろう。彼らは主の許しによってそこに永遠に住み、**「平安！」**という挨拶で迎えられよう。

²⁴ あなた方は、神がいかに良い言葉を良い木に例えるかを見ないか？その根は堅固であり、その枝は空にある。²⁵ その木は主の許しによって、各季節にその実を結ぶ—神は人々のためにそのような比較をする。彼らが心に留めるように—²⁶ しかし邪悪な言葉は、大地から引き抜かれた邪悪な木のようなものである。それは何の足場もない。

²⁷ 神は信者たちを彼の堅固な言葉で、現世においても来世においても強化するであろう。神は不義を働く者たちを迷わせる。彼は御心であることをなす。

²⁸ あなた方は、神の恵みと引き換えに、不平不満だけを述べ、その民を破滅の住処へと導く者たちを見ないか？²⁹ 地獄で彼らは燃えるであろう。滞在するには忌まわしい場所である。³⁰ 彼らは神に対抗者を立て、人々を彼の道から遠ざけようとした。言え、「しばらく楽しみなさい。それからあなた方は業火へと進むであろう。」

³¹ 私の僕たち、真の信者たちに、祈りを続け、われらが彼らに与えたものの中から秘密裏に、そして公に施しをするよう言いなさい。取引も友好も存在しない日が来る前に。

³² 神こそが天と地を創造された。彼は空から水を下し、それによってあなた方の糧となる果実を生み出す。彼は船をあなた方に従わせ、彼の命令によって海を渡れるようにした。そして河川をあなたに従わせた。³³ 彼はまた太陽と月をあなたに従わせた。両方とも堅固にその軌道を追う。彼は夜だけでなく昼もあなたに従わせた。³⁴ 彼はあなたが彼に求めたものすべてを与えた。そしてもしあなたが神の恵みを数えようとするなら、それらを数え尽くすことはできないだろう。真に人間は非常に不正で、非常に恩知らずである。

³⁵ [思い出しなさい]アブラハムが言った時、「私の主よ、この地を平和な都市とし、私と私の子供たちが偶像崇拜から遠ざかるのを助けてください。³⁶ 私の主よ、彼らは多くの人々を迷わせました!私に従う者は私と共にいますが、もし誰かが私に反抗するなら、あなたは確かに許し深く、慈悲深い者です。

³⁷ おお主よ!私は子孫の一部を、あなたの聖なる家の近くの耕作不能な谷に定住させました、主よ、彼らがその礼拝を確立できるように。だから、人々の心を彼らに傾かせ、彼らに果物を与えてください。彼らが感謝できるように。

³⁸ 主よ、あなたは私たちが隠すものも明らかにするものもすべて認識しておられます。天にも地にも、神から隠されるものはない。³⁹ 私の老齢にもかかわらず、イスマーイールとイサクを授けてくださった神に称賛あれ。確かに私の主は祈りを聞かれる方である。⁴⁰ 主よ、私が祈りを続けられるよう、そして私の子供たちもそうであるようお許しください。私の主よ、私の祈りを受け入れてください。⁴¹ 主よ、私を赦し、私の両親とすべての信者たちを精算の日に赦してください。」

⁴² 神が不義を働く者たちの行動を認識していないと思ってはならない。彼はただ彼らに猶予を与えるだけだ。すべての目が恐怖で固まる

日まで。⁴³ 彼らは恐れて急ぎ、頭を上げ、視線を前に向け、その心は全く虚ろである。

⁴⁴ 人々に、懲罰が降りかかる日について警告しなさい。その日、不義を働く者たちは言うだろう、「私たちの主よ、私たちに少しの間猶予を与えてください。私たちはあなたの呼びかけに応え、使徒たちに従います。」「しかし神は答えるだろう」、あなた方は、決して衰退することはないと誓った者たちではないか？⁴⁵ あなた方は自らを不義に陥れた者たちの住居に住んでおり、われらがいかに彼らを扱ったか、そして多くの例をあなた方に与えたかが明確にされたではないか。⁴⁶ 彼らは陰謀を企てたが、これらの陰謀はすべて神の知識の範囲内であった。彼らの陰謀は山々を揺るがすほどのものであったが、[神は彼らの陰謀を無にするであろう]。

⁴⁷ 神が彼の使徒たちへの約束を破るとは決して思わない。神は力強く、報復の能力をお持ちである。⁴⁸ 地上が別の地へと変わる日、天も同様に変わり、彼らは皆、唯一無二の、最も至高なる神の前に現れるであろう。⁴⁹ その日、あなたは罪人たちが鎖につながれているのを見るだろう。⁵⁰ 彼らの衣は瀝青で、火が彼らの顔を包むであろう。⁵¹ 神は各々の魂をその行いに応じて報いるであろう。神の計算は迅速である。⁵² これは人類へのメッセージである。彼らがそれから警告を受け、彼が唯一の神であることを知るように。理解力を持つ者たちが心に留めるように。

15. ヒジュールの岩地 (アル・ヒジュール)

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ アリフ・ラーム・ラー。

これらは明確な書、クルアーンの節々である。² 真理を否定することに固執する者たちが、自分たちが神に服従すればよかったと願う時が、きっと来るであろう。³ だから彼らを放っておいて、食べさせ、楽しませ、虚

しい希望に惑わせなさい。間もなく彼らは(真実を)悟るだろう。⁴ われらは定められた命令が下された以外には、いかなる町も破壊しなかった。⁵ いかなる民もその運命を早めることも、遅らせることもできない。

⁶ 彼らは言う、「あなた方[クルアーン]が下された者よ、あなた方はきっと憑かれている。」⁷ 「もしあなたが真実を言うのなら、なぜ私たちに天使たちを下さないのか?」⁸ しかしわれらは天使たちを、正義をもたらすためにのみ下すのであり、その時彼らは猶予を与えられないであろう。

⁹ われらこそが訓戒を下し、そしてわれらは、最も確かにそれを守護するであろう。

¹⁰ われらはあなた以前にも、以前の民に使徒たちを送ったが、¹¹ 彼らのところに來た使徒で、彼らが嘲笑しなかった者は一人もいなかった。¹² このようにしてわれらはこの[嘲笑する習慣]を罪人たちの心の中に入り込ませる。¹³ 彼らはそれを信じないだろう。彼ら以前の民の例が目の前にあるにもかかわらず。¹⁴ そしてたとえわれらが天から彼らに門を開き、彼らがそこを昇り始めたとしても、¹⁵ 彼らはやはり言っただろう、「私たちの目は幻惑された。私たちは魅了されたのだ。」

¹⁶ われらは天に星座を置き、見る者たちのためにそれを美しくした。¹⁷ そしてわれらはそれをすべての呪われた悪魔から守った。¹⁸ しかし、誰かが盗み聞きすれば、彼は明るく燃える火に追われる。

¹⁹ われらは大地を広げ、その上に堅固な山々を置き、あらゆるものが適切な比率で育つようにした。²⁰ われらはその中に、あなた方のため、そしてあなた方が養わないそれらすべての被造物のために、生計の手段を提供した。

²¹ いかなるものも、その倉庫がわれらのもたないものはない。しかしわれらは各々のものを適切な尺度でしか下さない。²² われらは受精させる風を放ち、空から水を降らせてあなた方が飲むようにした。そしてあなた方はそれを自分のために貯蔵することはできなかったであろう。

²³ 本当に、命を与えるのも、死をもたらすのも、そしてすべてのものを相続するのも、われらである。²⁴ われらはあなた以前に生きた者たちと、あなたの後に来る者たちを知っている。²⁵ あなたの主こそが彼らを集めるであろう。彼はすべてを賢く、すべてを知り尽くされる方である。

²⁶ われらは人間を乾燥した粘土から、形作られた泥から創造した。²⁷ そしてジンは、われらが以前に燃える火から創造した。

²⁸ あなたの主は天使たちに言った、「私は泥から作られた人間を生み出そうとしている。²⁹ 彼を形作り、私の霊を彼に吹き込んだら、彼の前にひれ伏しなさい。」³⁰ その時、天使たちは皆一斉にひれ伏した。³¹ しかしサタンはしなかった。彼はひれ伏した者たちに加わることを拒否した。³² 神は彼に尋ねた、「どうしたのだ、ひれ伏した者たちの中にいないのは？」³³ 彼は答えた、「あなたは私を形作られた泥の粘土から創造した人間には、ひれ伏す者ではない。」

³⁴ 神は言った、「ならばここから出て行け。お前は呪われた者であるから、³⁵ そして呪いは審判の日までお前の上にあるであろう！」³⁶ サタンは言った、「おお私の主よ！復活の日まで私に猶予を与えてください。」³⁷ 彼は言った、「お前は猶予を与えられた。³⁸ その定められた日まで。」

³⁹ 彼は言った、「私の主よ、あなたが私を迷わせたので、私は地上で誤りの道を彼らに魅力的に見せ、彼らすべてを惑わすであろう。⁴⁰ ただし、あなたの選ばれた僕たちを除く。」

⁴¹ 神は言った、「これこそが私にまっすぐにつながる道である。⁴² 確かに、あなたは私の真の僕たちに対しては何の力も持たないであろう。あなたに従うことを選ぶ迷った者たちを除いては。⁴³ 確かに、地獄は彼らが定められた場所である。⁴⁴ それには七つの門があり、各々の門には彼らの一部が割り当てられている。」

⁴⁵ 本当に、神を畏れる者たちは園と泉の中で暮らすであろう—
⁴⁶ 「平和と安全のうちにそこへ入れ！」—⁴⁷ われらは彼らの心からすべての悪意の痕跡を清めるであろう。彼らは、互いに向き合って寝椅子に座る兄弟のようであろう。⁴⁸ 彼らはそこでいかなる疲れも影響を受け

ず、決してそこを去られることはないであろう。』⁴⁹ 私の僕たちに言いなさい、私こそが唯一の許し深く、慈悲深い者であると。⁵⁰ そして私の懲罰が苦痛な懲罰であると。

⁵¹ アブラハムの客人の話を彼らに語りなさい。⁵² 彼らが彼のもとに来た時、彼らは「平安」と挨拶した。彼は言った、「あなた方を恐れる。」⁵³ 彼らは言った、「恐れるな。私たちはあなたに吉報をもたらす。あなたは偉大な知識を授けられた息子を持つであろう。」⁵⁴ 彼は言った、「私の老齢にもかかわらず、そのような知らせをもたらすのか？どのような吉報をもたらしているのだ？」⁵⁵ 彼らは言った、「私たちは確かに真実をもって吉報を与えたのだ。だから絶望してはならない。」⁵⁶ 彼は言った、「迷った者以外に、誰がその主の慈悲に絶望するだろうか？」

⁵⁷ それから彼は尋ねた、「では、あなた方の用件は何だ、おお使者たちよ？」⁵⁸ 彼らは言った、「私たちは罪深い民に送られたのだ。」⁵⁹ ロトの家族を除いては、彼らは皆救うであろう、⁶⁰彼の妻を除いては。彼女は（失われる運命にある）残る者たちの一員となるであろうとわれらは定めた。

⁶¹ 使者たちがロトとその家族のもとに来た時、⁶² 彼は言った、「あなた方は見知らぬ人だ。」⁶³ 彼らは言った、「いや、しかし私たちはあなた方に、彼らが争っていたことについての知らせをもたらすのだ。」⁶⁴ そして私たちは真実をもってあなたのところに来た。そして確かに私たちは真実である。⁶⁵ だから夜の後半に家族と共に出発し、彼らの後ろを歩きなさい。あなた方のだれも振り返ってはならない。命じられたところへ行きなさい。」⁶⁶ われらは彼にわれらの命令を伝えた。罪人たちは朝までに滅ぼされるであろうと。

⁶⁷ 町の人々が歓喜しながらやって来て、⁶⁸ 彼は彼らに言った、「彼らは私の客だ。だから私を辱めてはならない。」⁶⁹ 神を畏れ、私を恥じさせないでくれ。」⁷⁰ 彼らは言った、「私たちは見知らぬ人をもてなすことをあなたに禁じなかったか？」⁷¹ 彼は言った、「もしあなた方がこの方法で行動しなければならぬなら、ここに私の娘たちがいる。」

⁷² あなたの命にかけて、彼らはその乱痴気騒ぎの中でさまよった。⁷³ そして日の出と共に(われらの懲罰の)爆音が彼らを襲った。⁷⁴ われらは町をひっくり返し、彼らの上に粘土の石を雨のように降らせた。⁷⁵ その中には教訓を学ぶことができる者たちへの確かなしるしがある—⁷⁶ それは今も幹線道路上にある—⁷⁷ 確かにこれには信じる者たちへのしるしがある。

⁷⁸ 木の民もまた確かに不義を働く者たちであった。⁷⁹ そこでわれらは彼らに報復した。どちらも今も幹線道路上にあり、誰の目にも明らかである。⁸⁰ ヒジュルの民もまたわれらの使徒たちを拒絶した。⁸¹ われらは彼らにわれらのしるしを与えたが、彼らはそれらから背を向けた。⁸² 彼らは山の中に住居を彫り出し、安全に暮らしていたが—⁸³ ある朝早く、爆音が彼らを襲った。⁸⁴ 彼らが獲得したものはすべて彼らには何の役にも立たなかった。

⁸⁵ われらは天と地、そしてその間にあるすべてを、真理と知恵の要件に従って創造した。裁きの時はきつと来る。だから(彼らの過ちを)寛大な許しをもって見過ごしなさい。⁸⁶ 確かにあなたの主はすべてを知り尽くす創造者である!

⁸⁷ われらはあなたに、度々朗読される七つの節と、偉大なクルアーンを与えた。⁸⁸ 彼らの一部にわれらが授けた世俗の利益に目を凝らしてはならない。またそのことで悲しんではならない。信者たちのために慈悲の翼を下げなさい。⁸⁹ そして言え、「私は確かに明確な警告者である」と。⁹⁰ われらが分裂をもたらす者たちに送るような者であり、⁹¹ そして聖典を断片に破った者たちに。⁹² あなたの主にかけて、われらは彼らすべてに質問するであろう。⁹³ 彼らがなしてきたことすべてについて!

⁹⁴ 命じられたことを公然と宣言しなさい。そして多神教徒を避けなさい。⁹⁵ われらは確かに、嘲笑する者たちからあなたを十分を守るであろう。⁹⁶ 神と共に別の神を立てる者たちから。しかし彼らは間もなく知るだろう。⁹⁷ われらは確かに、彼らが言うことであなたの心がどれほど苦悩しているかを知っている。⁹⁸ しかしあなたの主を彼の讃美をもって称

え、ひれ伏しなさい。⁹⁹ そして確かなもの[死]があなたに来るまで、あなたの主を崇拜しなさい。

16. 蜜蜂 (アン・ナフル)

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ 神の命令は間近である。だからそれを急がせようとしてはならない。彼が神聖であることを、そして彼らが彼に配するものよりも遥かに崇高であることを。² 彼は彼の命令によって、彼の僕の中から御心である者に啓示と共に天使たちを送る。「私以外に神はいない、だから私を畏れなさい」と言って人類に警告するために。³ 彼は真の目的のために天と地を創造された。彼は彼らが彼に配するあらゆるものよりも遥かに崇高である。

⁴ 彼は人間を(単なる)精液の一滴から創造した。しかし彼は公然と論争好きであることを示す!⁵ 彼はあなたのために家畜を創造した。それらからあなたは食料や衣類、そして数多くの他の利益を得る。⁶ 夕方に家畜を連れて帰り、朝に牧草地へ連れて行く時、彼らはいかに心地よく見えることか。⁷ 彼らはあなた方の荷物を、さもなくば多大な苦難なくしては到達できない場所へ運ぶ—確かに、あなたの主は思いやり深く、慈悲深い—⁸ 彼は馬、ラバ、ロバを創造した。あなた方がそれらに乗るため、そしてまた展示するためであり、彼はあなたの知識を超える他のものも創造する。

⁹ まっすぐな道は神へと導く。そして正しい道から逸れる道もある。もし彼がそう望んだなら、あなた方すべてを導いただろう。

¹⁰ 彼こそが空から水を下される者である。そこからあなたは飲み、それで木々が育ち、あなた方はそこで家畜を放牧する。¹¹ そしてそれで彼はあなたのために穀物、オリーブ、ナツメヤシ、ブドウ、そしてあらゆる種類の果実を育てる。確かに、その中には熟考する人々へのしるしがある。

¹² 彼は夜と昼、太陽と月をあなたに従わせた。そしてすべての星々は彼の命令に従っている。確かにこれには理解ある人々へのしるしがある。¹³ 地上で彼はあなたのために様々な色合いの物を形作った。その中には、確かに耳を傾ける人々へのしるしがある。

¹⁴ 彼こそが海をあなたに従わせた。あなた方がそこから新鮮な魚介類を食べ、そこから身につける装飾品を取り出すことができるように。船がそこを切り裂いて進むのを見るだろう。これらすべては、あなた方が彼の恵みを求め、感謝するためである。

¹⁵ 彼は地球上に堅固な山々を設置した。それがあなたの足元で揺れないようにするためである。そして河と道も、あなた方が道を見つけられるように。¹⁶ そして彼は他の目印も設置した。これらと星々によって人々はその進路を定める。

¹⁷ それならば、創造する者が創造しない者と同じだろうか？ならばあなた方は心に留めないのか？¹⁸ もしあなたが神の祝福を数えようとしたり、決して数え尽くすことはできないだろう。神は常に許し深く、最も慈悲深い者である。¹⁹ 神はあなたが隠すものと明らかにするものすべてを知っている。

²⁰ あなた方が神以外に呼びかける者たちは何も創造できない。彼ら自身が創造されたのだ。²¹ 彼らは死んでおり、生きていない。彼らがいづつ生き返らされるかを知りもしない。²² あなた方の神は唯一の神である。来世を信じない者たちについては、彼らの心は真実を認めることを拒否し、彼らは傲慢である。²³ 神は彼らが隠すものと明らかにするものごとを確かに知っている。彼は傲慢な者を愛さない。

²⁴ 彼らが「あなたの主は何を下されたのか？」と尋ねられる時、彼らは言う、「昔の物語だ」と。²⁵ 彼らに、復活の日には彼ら自身のすべての重荷を、そして知識なくして彼らが誤らせる者たちの一部の重荷も負わせなさい。彼らが負うべき荷はなんとという悪しきものであろうか！

²⁶ 彼ら以前の者たちもまた陰謀を企てた。しかし神は彼らの建物の基礎を打ち砕き、屋根が上から彼らの上に落ちてきた。懲罰は彼らが

予期しない場所から彼らを襲った。²⁷ その後、復活の日に彼は彼らを辱め、「私に反対した[私の導きに]その仲間たちはどこにいるのか?」と言うであろう。知識を与えられた者たちは言うだろう、「この日、屈辱と苦難は、真理を否定してきた者たちにきっと降りかかるであろう。」

²⁸ 天使たちが自らの魂を不義に陥れている間にその命を奪う者たちは、「私たちは何も悪を行っていませんでした!」と言いながら服従を申し出るであろう。「確かに!」と天使たちは答えるだろう、「神はあなた方がなしてきたことを認識しておられる。²⁹ だから地獄の門に入れ。そこにあなたは永遠にとどまるであろう。」傲慢な者たちの住処は実に忌まわしい。

³⁰ 神を畏れる者たちが「あなたの主は何を下されたのか?」と尋ねられる時、彼らの答えは「善である!」である。この世で善行を行う者たちの報いは良いが、来世の住処はさらに良い。義しい者たちの家は実に素晴らしい。³¹ 彼らは永遠の園に入り、そこでは彼らの足元に川が流れるであろう。そこで彼らは望むものすべてを手に入れるであろう。このように神は義しい者たちに報いる。³² その命を天使たちが清浄な状態で奪い、(彼らに)言う「あなた方に平安あれ。あなたが[この世で]行った[善行]のゆえに、園に入れ」と。

³³ 彼らは天使たちが彼らのところに来るのを待っているのか、あるいはあなたの主の意志の成就を待っているのか?彼ら以前に去った者たちも同じことをした。神は彼らに不正を働いたのではない。むしろ彼らが自らを不正に陥れたのだ。³⁴ 彼らの行いの悪い結果が彼らを襲い、彼らがかつて嘲笑っていたものが彼らを包み込んだ。

³⁵ (神に)仲間を配する者たちは言う、「もし神がそう望んだなら、私たちも私たちの父祖も、彼以外の何も崇拜しなかったであろう。また彼の認可なくして何も禁じなかったであろう」と。彼ら以前に去った者たちもそうであった。使徒たちの義務は、明確にメッセージを伝えることだけである。

³⁶ われらはあらゆる民の中に使徒を立てた。彼は「神のみを崇拜

し、悪しき者から遠ざかれ」と命じた。その後、彼らの中には神が導かれた者もいれば、破滅に値する者となった者もいた。だから地上を旅し、使徒たちを拒絶した者たちの末路がどうであったかを観察しなさい。

³⁷ たとえあなた[預言者よ]が彼らを導くことに熱心であったとしても、神は彼が迷わせることを許す者たちを導かれない、(真実に対する肯定的な応答を拒否したために)。彼らには助け手はいないであろう。

³⁸ 彼らは神にかけて最も強い誓いを立てる。神は決して死者を生き返らせないだろうと—それでも、それは彼に真に束縛される約束である。ほとんどの人間はそれに気づかないにもかかわらず—³⁹ これは、彼らが意見を異にしたことについて彼らに明確にするためである。そして真理を否定することに固執する者たちが、自分たちが嘘をついていたことを悟るためである。⁴⁰ われらが何かを起こすことを望む時、われらが言うのはただ、「あれ!」であり、それは存在する。

⁴¹ 迫害の後、神の目的のために故郷から移住した者たちについては、われらはこの生で彼らに良い住処を与えるであろう。しかし真に来世の報いは、もし彼らがそれを知っていたなら、より大きいであろう。

⁴² 彼らは忍耐強く、彼らの主に信頼を置く者たちである。

⁴³ あなた以前にも、われらが送った使徒たちは、啓示を授けられた単なる人間であった。もしあなたが知らないなら、聖典の民に尋ねなさい。⁴⁴ [われらは彼らを]明確なしるしと聖典と共に送った。われらはあなたに訓戒を下した。人々に下されたものをあなた方が明確に説明できるようにするため、そして彼らがそれについて熟考できるようにするためである。

⁴⁵ 邪悪な計画を企てる者たちは、神が彼らを地に沈めないこと、あるいは彼らが予期しない場所から懲罰が彼らに来ないことを確信しているのか?⁴⁶ あるいは彼が彼らの日常活動中に突然彼らを捕らえ、彼らが彼を挫くことができないことを確信しているのか?⁴⁷ あるいは彼が彼らを恐怖を与えて罰しないことを確信しているのか? 実に、あなたの主は親切で慈悲深い。

⁴⁸ 彼らは神が創造したものを見なかったか？その影が右にも左にも伸び、謙虚に神の前にひれ伏すのを？⁴⁹ 天にあるものすべてと、地上のすべての被造物は、天使たちと同様に、神の前にひれ伏す。そして彼らは傲慢に振る舞わない。⁵⁰ 彼らは彼らの上におられる主を畏れ、命じられたことを行う。

⁵¹ 神は言う、「二つの神を取ってはならない。彼は唯一の神である。だから私のみを畏れなさい。」⁵² 天にあるものも地にあるものも、すべて彼に属し、服従は彼のみに owed(負う)。ならばあなた方は神以外の誰かを畏れるのか？

⁵³ あなたが持ついかなる祝福も神からである。そして苦難があなたに降りかかった時、あなたは彼に助けを求める。⁵⁴ しかし彼があなたの苦難を取り除くと、あなた方の中には、彼らの主以外に他の仲間を立てる者がいる。⁵⁵ われらが彼らに与えたものに何の感謝も示さないまま。しばらく楽しみなさい。しかし間もなくあなた方は知るであろう！⁵⁶ 彼らは、われらが彼らに提供したものの分け前を、彼らが何も知らない(偽りの神々)にさえ割り当てる。あなた方は確かに、でっち上げてきた虚偽について尋問されるであろう。

⁵⁷ 彼らは神に娘たちを割り当てる—彼に栄光あれ！—しかし自分たちのためには、彼らが持つことを望む(息子たち)を。⁵⁸ 女の子の誕生が彼らの一人に告げられると、彼の顔は暗くなり、憂鬱に満たされる。⁵⁹ 彼の恥のあまり、与えられた悪い知らせのために、彼は自分の民から身を隠す。彼女を生かしておくべきか、それとも土に埋めるべきか？彼らの判断はいかに愚かであることか！⁶⁰ 悪の属性は来世を信じない者たちに適用され、神には最高の属性が適用される。彼は力強く、賢明だからである。

⁶¹ もし神が人々をその悪行のために責任を問うとしたら、地上には生きる被造物一人さえも残さないだろうが、彼は定められた時まで彼らに猶予を与える。その時が来れば、彼らはそれを一時間たりとも遅らせることも、早めることもできない。

⁶² 彼らは神に、彼ら自身が嫌悪するものを帰し、彼らの舌は、すべての良いものは自分たちのためだという嘘を口にする。疑いなく、業火が彼らを待ち受け、彼らはそこへ急かされるであろう。

⁶³ 神にかけて！われらはあなた以前にも他の民族に使徒たちを送った。しかしサタンは彼らの（汚れた）行いを彼らにとって公正に見せ、今日、彼は彼らの擁護者である。彼らには苦痛な懲罰があるであろう。⁶⁴ われらはあなたに書を下しただけである。彼らが意見を異にする事柄について、あなたが彼らに明確に説明できるようにするため、そして信じる人々への導きと慈悲として。

⁶⁵ 神は空から水を下し、それで死んだ大地を生き返らせる。これには耳を傾ける人々への確かなしりがある。

⁶⁶ 家畜の中にもあなた方への教訓がある。その腹の中、糞と血の間から、われらはあなた方に飲む者にとって心地よい、純粋な乳を飲ませる。⁶⁷ ナツメヤシとブドウの果実から、あなた方は酩酊物だけでなく、健全な食料も得る。確かにこれには理解ある人々へのしりがある。

⁶⁸ あなたの主は蜂に靈感を与え、「山々、木々、そして人間が建てる構造物の中に家を作りなさい。⁶⁹ それからあらゆる種類の果実を食べ、あなたの主の踏み固められた道筋に従いなさい」と言った。その腹から、様々な色の飲み物が出て、人類のために癒しとなる。実に、これには熟考する人々へのしりがある。

⁷⁰ 神はあなた方を創造し、それから彼があなた方を死なせるであろう。そして一部は、かつて知識を持っていた後に何も知らなくなる、惨めな老齢まで寿命が延ばされるであろう。神はすべてを知り、力強い。

⁷¹ 神はあなた方の一部に他者よりも多くの糧を与えた。より多く与えられた者たちは、彼らが所有する僕たちにその糧を分け与え、彼らと同等となることを嫌がる。ならば彼らは神の恵みを否定するのか？

⁷² 神はあなた方に、あなた方自身の中から妻を与え、妻からあなた方に子供と孫を与え、あなた方に健全なものを提供した。ならば彼らは虚偽を信じ、神の恵みを否定するのか？⁷³ 彼らは神の代わりに、天か

らも地からもその糧を制御する力がなく、いかなる力も持たないものを崇拜する。⁷⁴ 神を誰とも比較してはならない。神は知識を持っているが、あなた方にはない。

⁷⁵ 神は、何も力を持たない所有される奴隷と、われらが豊かな糧を与え、それを秘密裏にも公にも与える者とを比較する。彼らは等しいか？神に称賛あれ！しかしほとんどの人はそれを知らない。

⁷⁶ 神は別の比較をする。二人の男で、一人は口がきけず何もできず、その主人にとって重荷である。彼がどんな使いに出されても、何も良いものをもたらない。彼は正義を命じ、まっすぐな道にいる者と同等であろうか？

⁷⁷ 天と地の隠された現実を知るのは神のみである。そして(審判の)時の到来は瞬きのようなもので、あるいはそれよりも速い。確かに神はすべてのものに対して完全な力をお持ちである。

⁷⁸ 神はあなた方を無知の状態に母の胎から生まれさせ、聴覚と視覚と心を授けた。あなた方が感謝できるように。

⁷⁹ 彼らは、鳥が天の円蓋で宙に浮いているのを見ないのか？神以外には何もそれらを支えていない。本当に、これには信じる者たちへのしるしがある。⁸⁰ 神はあなた方の家をあなた方にとっての休息の場所とし、家畜の皮からあなた方のためにテントを作られた。それは旅をする時も、一箇所に留まる時も、あなた方が運ぶのに軽い。彼は羊毛、毛皮、家畜の毛から、家庭用品と一時的に使用する品々をあなた方に提供する。

⁸¹ 神は彼が創造したものの中からあなた方に日陰を与え、山々に避難場所を与え、熱から身を守るための衣服と、戦いで身を覆うための鎖帷子を与えた。このようにして彼はあなた方への彼の恵みを完璧にする。あなた方が完全に彼に服従するように。⁸² しかしもし彼らが背を向けるなら、あなたはメッセージを明確に伝えることだけに責任を負う。⁸³ 彼らは神の恵みを認識しているが、それを否定する。そして彼らのほとんどは恩知らずである。

⁸⁴ われらがすべての民から証人を立てる日、真理を否定することに固執した者たちは、言い訳をすることも、改心することも許されないであろう。⁸⁵ 不義を働く者たちがその懲罰に直面する時、それは彼らには軽減されることも、いかなる猶予も与えられることもないであろう。

⁸⁶ 神に仲間を配する者たちがその仲間の神々を見た時、彼らは言うだろう、「私たちの主よ、これらはあなたがたの代わりに私たちが呼びかけていた私たちの仲間の神々です」と。しかし彼らは彼らにその言葉を投げ返すだろう、[言って]、「確かにあなた方は嘘つきだ」と。⁸⁷ そしてその日、彼らは神に完全に服従するであろう。そして彼らがかつて企てていたものはすべて彼らを裏切るであろう。⁸⁸ 真理を否定することに固執し、他者を神の道から遠ざけたすべての者たちの上に、われらは彼らがもたらしたすべての腐敗の報いとして、懲罰の上に懲罰を積み重ねるであろう。

⁸⁹ いつか、われらがすべての民の中に、彼ら自身の中から彼らに対する証人を立てる日が来るであろう。そしてわれらはあなたをこれらの人々に対する証人として連れてくるであろう。われらはあなたに書を下した。すべてのことを明確にし、導き、慈悲、そして神に服従する者たちへの吉報として。

⁹⁰ 神は正義、親切、そして近親者への(正当な)与えを命じ、すべての恥ずべき行為、不正、そして逸脱を禁じる。彼はあなた方が心に留めるよう忠告する!

⁹¹ 神との契約を結んだ時はそれを果たしなさい。そしてその確証の後で、誓約を破ってはならない。確かにあなた方は神を保証人としたのだ。神はあなたがなすことすべてを知っているからである。⁹² 堅く紡がれた糸を解く女のように、ある共同体が別の共同体よりも大きくなるかもしれないという理由だけで、誓いを互いを欺く手段として用いてはならない。神はこれによってあなた方を試しているにすぎない。復活の日、彼はあなた方が意見を異にしたことについてあなた方に明確にするであろう。

⁹³ もし神が望んだなら、彼はあなた方を一つの共同体として結束させたであろう。しかし彼は御心である者を迷わせ、御心である者を導く。そしてあなた方は確かにそのすべての行動について責任を問われるであろう。

⁹⁴ 誓いを互いを欺くために使ってはならない。堅く置かれた足が滑り、他者を神の道から妨げたことに対する罰を味わうことのないように。なぜならその時、あなたは恐ろしい懲罰を受けるであろうから。⁹⁵ 神との契約をわずかな代価で売ってはならない。神のもとにあるものは、もしあなたが知っていたなら、あなたにとってより良い。

⁹⁶ あなたが持つものは過ぎ去るであろうが、神のもとにあるものは永続する。われらは忍耐する者たちに、彼らの最良の行いに応じて報いるであろう。⁹⁷ 善行を行う者は誰であれ、男性であれ女性であれ、信者である限り、われらは確実に彼らに良い生を与えるであろう。そしてわれらは彼らに、その最良の行いに応じて報いを授けるであろう。

⁹⁸ クルアーンを読む時、追放されたサタンから神の保護を求めなさい。⁹⁹ 確かに、彼は信じ、彼らの主に信頼を置く者たちには何の力も持たない。¹⁰⁰ 彼は、彼に従うことを望み、神に仲間を配する者たちに対してのみ力を持つ。

¹⁰¹ われらが一つの啓示を別の啓示に置き換える時—そして神は彼が啓示するものを最もよく知っている—彼らは言う、「あなたはただのでっち上げ者だ」と。実に、彼らのほとんどは知識を持たない。¹⁰² 言え、「聖霊がそれをあなたの主から真実として下したのだ。彼が信じる者たちを強化するため、そして導きと服従する者たちへの吉報として。」

¹⁰³ 確かに、われらは彼らが言うこと、「彼にこれをすべて与えるのは人間だけだ!」ということを知っている。しかし彼らが指差す者の舌は外国語であり、これ(クルアーン)は明白なアラビア語のスピーチである。¹⁰⁴ 神は神のしるしを信じようとしないう者たちを導かない。そして彼らには苦痛な懲罰があるであろう。¹⁰⁵ 神について嘘をでっち上げるの

は、神のしるしを信じない者たちだけであり、これらの者たちは嘘つきである。

¹⁰⁶ 信仰した後に神を否定する者については、強制された者を除いて、その心が信仰に安んじている場合でも、心を開いて真理の否定を受け入れる者は、神の怒りを招くであろう。そのような者たちには恐ろしい懲罰があるであろう。¹⁰⁷ これは彼らが来世よりもこの世の生を好み、そして神が真理を否定する者たちを導かないからである。¹⁰⁸ これらの者たちこそ、神がその心と聴覚と視覚に封印を置かれた者たちである。彼らこそ無頓着な者たちであり、¹⁰⁹ 来世において、彼らはきっと失われた者たちとなるであろう。

¹¹⁰ 確かに、あなたの主は、迫害の後移住し、神の目的のために懸命に努力し、堅固であった者たちに対して許し深く、慈悲深いであろう。¹¹¹ 各々の魂が自らのために嘆願する日、そして各々の魂はそのなしたことすべてに応じて報われるであろう。そして彼らが不義を被ることはないであろう。

¹¹² 神は、安全で安楽な町を例に挙げる。そこにはあらゆる方面から豊かな糧がもたらされていた。しかし、それは神の祝福に不平不満を示し、その行いのゆえに神はそれを飢えと恐怖で悩ませた。¹¹³ 彼ら自身の中から使徒が彼らのところに来たが、彼らは彼を嘘だと拒絶した。そこで懲罰が彼らを襲った。彼らは不義を働く者たちであったからである。

¹¹⁴ だから、神があなた方のために提供した合法で良いものを食べ、もしあなた方が彼を崇拝するなら、神の祝福に感謝しなさい。¹¹⁵ 彼はあなた方に、死肉、血、豚肉だけを禁じた。また、神以外の名で聖別された肉も。しかし、極度の必要に迫られ、それを欲することもなく、差し迫った必要を超えずに食べる者に対して、神は彼に許し深く、慈悲深い。

¹¹⁶ 「これは合法、これは禁じられた」と偽って宣言し、神に対して嘘をでっち上げてはならない。確かに、神に対して嘘をでっち上げる者た

ちは成功しない——¹¹⁷ 彼らのこの生での楽しみはつかの間であり、彼らには苦痛な懲罰があるであろう。

¹¹⁸ われらはユダヤ人たちに、以前あなたに話したそれらのものを禁じた。われらは彼らに不正を働いたのではない。むしろ彼らが自らを不正に陥れたのだ。¹¹⁹ 確かに、あなたの主は、無知から悪を行い、その後真に悔い改めて改心する者たちに対しては、最も許し深く、常に慈悲深いであろう。

¹²⁰ アブラハムは、神に献身し、信仰に忠実な、それ自体で一つの共同体であった。彼は多神教徒の一人ではなかった。¹²¹ 彼は神の祝福に感謝した。神は彼を選び、彼をまっすぐな道に導かれた。¹²² われらは彼にこの世での祝福を与え、来世では彼は義しい者たちの中にいるであろう。¹²³ その後、われらはあなた[おおムハンマドよ]にわれらの意志を啓示した。「アブラハムの宗教、信仰にまっすぐなそれに従え。彼は多神教徒の一人ではなかった。」

¹²⁴ 安息日は、それについて意見を異にした者たちにのみ命じられた。あなたの主は、復活の日に、彼らが意見を異にした事柄について彼らの間を裁かれるであろう。

¹²⁵ あなたの主の道へ、知恵と公正な勧めをもって招き、最善の方法で彼らと議論しなさい。あなたの主は、彼の道から逸れた者たちを最もよく知っておられ、正しく導かれた者たちを最もよく知っておられる。

¹²⁶ もしあなたが報復したいなら、あなたに加えられた傷害と同じ程度に報復しなさい。しかし、もしあなたが忍耐するなら、そうする方がより良い。¹²⁷ 忍耐しなさい。確かに、あなたの忍耐は神の助けによってのみ可能である。彼らのために悲しんだり、彼らの陰謀のゆえに苦悩したりしてはならない。¹²⁸ 神は義しい者たちと、善を行う者たちと共におられるからである。

17. 夜の旅（アル・イスラー）

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ 彼のしもべを夜中に聖なる礼拝の場（マッカ）から遠隔の礼拝の家（エルサレム）へ連れて行かれた彼（神）は神聖である—われらがその周辺を祝福したのは、彼にわれらのいくつかのしるしを示すためである。確かに、彼こそがすべてを聞き、すべてを見る方である。

² われらはモーセに書を与え、それをイスラエルの子らへの導きとした。言った、「私以外に誰も守護者として選ぶな。³ あなた方は、われらがノアと共に箱舟に乗せた者たちの子孫である。彼は真に感謝するしもべであった。」

⁴ われらは聖典の中でイスラエルの子らに警告した、「二度、あなた方は土地で悪を犯すであろう。あなた方は大いなる逸脱者となるであろう。」⁵ これらの警告の最初が来た時、われらはあなた方に対して、大いなる力を持つわれらのしもべを送った。彼らはあなた方の家々を荒廃させた。こうして警告は果たされた。⁶ そしてしばらくの後、われらはあなた方が再び彼らに優勢となることを許し、富と子孫であなた方を助け、数においてあなた方を増大させた。

⁷ [われらは言った]、「もしあなたが善を行うことを続けるなら、あなた自身のために善を行うことになる。しかしもしあなたが悪を行うなら、それはあなたに不利になるだろう。」第二の警告の時が来た時、[われらはあなた方に対して他の者たちを駆り立て]あなた方を完全に辱め、彼らが以前入ったように礼拝の場所に入らせ、彼らが手にしたものすべてを完全に破壊させた。⁸ われらは言った、「あなた方の主はあなた方に慈悲を示すかもしれないが、もしあなたが再び同じことをするなら、われらもそうするであろう。われらは地獄を、真理を否定する者たちのための牢獄とした。」

⁹ 確かに、このクルアーンは最も正しい道へと導き、善行を行う信

者たちに吉報を与える。彼らが大きな報いを得るように。¹⁰ そして来世を否定する者たちには、耐え難い懲罰を警告する。

¹¹ それでも人間は、善を求めるのと同じくらい熱心に悪を求める。本当に、人間は実にせっかちである。^a ¹² われらは夜と昼を二つのしるしとした。われらは夜のしるしを消し去り、昼のしるしを明るく光らせた。あなた方があなたの主の恵みを求め、季節と年を計算することを学ぶためである。われらはすべてのことを詳細に述べた。

¹³ われらはすべての男の運命を彼の首に結びつけた。そして復活の日に、開かれた書を彼のために出すであろう。¹⁴ それには、「自分の記録を読みなさい。今日、あなた以外にあなたを責任を問う者はいないだろう!」と記されている。¹⁵ 正しい道に従うことを選ぶ者は誰であれ、彼自身の利益のためにそれに従う。そして道に迷う者は誰であれ、彼自身の危険を冒して道に迷う。重荷を負う者は、他者の重荷を負わない。また、われらは彼らに事前に警告する使徒を送るまでは、懲罰を加えることはない。

¹⁶ われらが町を滅ぼすことを決意する時、われらはその民の裕福な階層に命じるが、彼らはその中で逸脱する。こうして言葉[懲罰の判決]が正当化され、それからわれらはその町を完全に破壊する。¹⁷ ノアの時代以来、われらはどれほど多くの世代を滅ぼしたことか。あなたの主は彼の僕たちの罪をよく認識しておられ、彼らすべてを監視しておられる。

¹⁸ われらは、直接的な利益を望む者には、望むものを何でも与える。しかしその後、われらは彼のために地獄を用意した。彼はそこへ、屈辱を受け、拒絶された状態で入るであろう。¹⁹ 来世を望み、それを達成

a 神は人間に、来世への旅において正しい道を守るために、現世の即時的な贅沢を我慢することを望んでいる。しかし人間は、そのせっかちな性質ゆえに、つかの間の世俗の贅沢を手に入れようと急ぎ、それが彼の旅の継続の妨げとなる。人間の即座の満足への願望は、彼が来世の恵みを奪われる最大の理由である。

するために適切な努力をする者は誰であれ、真の信者である限り、その努力に対して神の恵みを得るであろう。

²⁰ (この世を望む)これらと(来世を望む)それら双方に、われらはあなたの主の恵みを授ける。あなたの主の恵みは誰にも否定されないであろう—²¹ われらがいかに(現世で)ある者を他の者よりも高めたかを見なさい。それでも来世は位階の度合いにおいてより大きく、卓越性においてより大きいであろう。

²² 神以外のいかなる神も立ててはならない。さもなくば恥辱を招き、見捨てられるであろう。²³ あなたの主は、彼以外は誰も崇拝すべきではないこと、そして両親に親切を示すべきことを命じられた。もし彼らの一方または両方があなたと老齢に達したなら、彼らに軽蔑の言葉をかけてはならず、彼らを叱責してはならない。しかし常に優しく彼らに語りかけなさい。²⁴ そして謙虚さと優しさをもって彼らを扱い、「主よ、彼ら二人に慈悲をかけてください。彼らが私が幼かった時に私を育ててくれたように」と言いなさい。²⁵ あなたの主はあなたの心にあるものを最もよく知っておられる。もしあなたが義しいなら、彼は絶えず彼に立ち返る者たちに最も許し深い。

²⁶ 親族にその正当な分を与えなさい。また困窮者と旅人にも。しかし、贅沢に使ってはならない。²⁷ 浪費家はサタンの兄弟であり、サタンはその主に対して常に恩知らずである—²⁸ しかし、あなたが期待しているあなたの主の恵みを待ちながら、彼らを拒絶するなら、少なくとも彼らに優しく語りかけなさい。

²⁹ けちでもなく、あまりにも気前が良すぎて非難され、困窮するほどでもあってはならない。³⁰ あなたの主は御心である者には豊かに与え、御心である者には控えめに与える。彼は彼の僕たちについて情報に通じ、監視しておられる。

³¹ あなた方は不足を恐れて子孫を殺してはならない。彼らとあなた方を養うのはわれらである。確かに、彼らを殺すことは大いなる罪で

ある。³² 姦通を犯してはならない。^a それはみだらなことであり、邪惡な道筋である。

³³ 神が不可侵とした命を一正当な理由なくして一奪ってはならない。もし誰かが不法に殺されたなら、われらはその相続人に報復を要求する権限を与えたが、彼らが報復を執行する際に定められた限界を越えてはならない。なぜならその時、彼は(法によって)助けられるであろう。

³⁴ 孤児の財産には、彼らが成熟に達するまでは、最善の意図をもって以外は近づいてはならない。約束を守りなさい。あなた方がなしたすべての約束について責任を問われるであろう!³⁵ 量る時は完全に量り、正確な秤で量りなさい。それは公正であり、最終的にもより良い。

³⁶ あなたが知らないことを追ってはならない。耳も目も心もすべて責任を問われるであろう。³⁷ 地上を傲慢に歩いてはならない。あなたは大地を裂くことはできないし、高さで山々に匹敵することもできない。

³⁸ あなたの主の御前で悪しきもの、そして忌まわしいものすべてである。

³⁹ これらはあなたの主があなたに啓示した知恵の一部である。神以外のいかなる神も立ててはならない。さもなくば、あなたは非難され、拒絶された状態で地獄に投げ込まれるであろう。

⁴⁰ なんとということだ!あなた方の主は息子たちをあなた方に恵み、ご自身は天使たちの中から女性を養子にされたとでも?あなた方が言うことは恐ろしい。⁴¹ われらはこのクルアーンで[真実を]様々な方法で説明した。彼らが心に留めるように。しかしそれは彼らの嫌惡を増すばかりである。⁴² 言え、「もし彼らが主張するように、彼[神]と共に[他の]神

a 神が完全に根絶したい悪の一つは、姦通、すなわちジナーである。つまり、姦通は非常に大きな悪であり、そのように恥知らずであることの証明なので、人間はその初期段階からでさえ慎むべきである。ここでは、この主題について基本的な命令だけが与えられている。

々がいたなら、彼らはきっと玉座の主への道を探し求めたであろうに。」⁴³ 彼に栄光あれ!彼らが言うことすべてを遥かに超えて崇高であることを!⁴⁴ 七つの天と地、そしてそこに住むすべての者は彼を賛美する。彼の讃美をもって彼を賛美しないものは一つもない。しかしあなた方は彼らの賛美を理解しない。確かに彼は忍耐強く、最も許し深い。

⁴⁵ あなたがクルアーンを朗読する時、われらはあなたと、来世を信じない者たちの間に見えない障壁を置く。⁴⁶ われらは彼らの心に覆いをかけ、それを理解できないようにし、彼らの耳に聾啞を加える。あなたがクルアーンの朗読の中で、あなたの唯一の主について言及する時、彼らは嫌悪して背を向ける。

⁴⁷ われらは彼らがあなたに耳を傾ける時、彼らが何を望んでいるかを完全に認識している。そして彼らが個人的に会話する時、何を言っているかも。不義を働く者たちが言う時、「あなたは魅了された男に従っているだけだ!」と。⁴⁸ 彼らがあなたを何に例えているかを見なさい!しかし彼らは迷っており、正しい道を見つけないことができる。

⁴⁹ 「何だと!」彼らは言う、「私たちが骨と塵になったら、生き返られるのか?」⁵⁰ 言え、「[そうだ]たとえ石や鉄になったとしても、⁵¹ あるいは生命が与えられるとは考えにくい他のいかなる物質になったとしても。」その時彼らは尋ねるだろう、「私たちを生き返らせるのは誰か?」彼らに答えなさい、「最初にあなた方を創造した彼である。」彼らはその時、あなたに対して首を振り、「いつのことだ?」と言うだろう。言え、「それは間もなくのことかもしれない。」⁵² その日、彼はあなた方を呼び、あなた方は彼を讃えることによって答えるだろう。ほんの少しの間しか留まっていなかったと考えながら。

⁵³ 私の僕たちに、常に最善の言葉を言うべきであると言いなさい。サタンは彼らの間に不和をかき立てる。確かに、サタンは人間にとって明白な敵である。

⁵⁴ あなたの主はあなた方を完全に認識しておられる。彼はもし望むならあなた方に慈悲を示すかもしれないし、もし望むならあなた方を

罰するかもしれない。われらはあなたを彼らの守護者として送ったのではない。⁵⁵ あなたの主は天にも地にもいるすべての人について最もよく知っておられる。われらは一部の預言者に他の者たちよりも多くのものを与えた。われらはダビデに詩篇を与えた。

⁵⁶ あなた方が神以外に神であると主張する者たちを呼びかけなさい。そうすれば彼らにはあなた方から苦難を取り除いたり、(あなた方が望む)いかなる変化をもたらしたりする力がないことを知るであろう。⁵⁷ 彼らが呼びかける者たち自身が、彼らの主への接近の道を求め、彼に近づくために互いに競い合っている。彼らは彼の慈悲を望み、彼の懲罰を恐れる。確かに、あなたの主の懲罰は恐るべきものである。⁵⁸ 破壊されない、あるいは裁きの日以前に厳しく罰せられない町(共同体)は存在しない。それは書に記録されている。

⁵⁹ われらがしるしを送ることを妨げたものは何もなかった。以前の民がそれらを否定したという事実以外には。われらはサムードの民に雌ラクダを明確なしるしとして与えたが、彼らは彼女を虐待した。われらは警告の手段としてのみしるしを与える。

⁶⁰ われらはあなたに、あなたの主が人類を包摂していることを告げた。われらがあなたに見せた夢、そしてクルアーンの中で呪われた木を、われらは人類への試練としてのみ与えた。われらは彼らに警告するが、これは彼らの不遜さを増すばかりである。

⁶¹ われらが天使たちに「アダムにひれ伏しなさい」と言った時、イブリースを除いて彼らは皆ひれ伏した。彼は言った、「あなたは粘土から創造した者に私がひれ伏すというのか?」⁶² そして(さらに)言った、「あなたが私よりも高くしたこの存在を見るか?もしあなたが復活の日まで私に猶予を与えてくれるなら、彼の末裔のごく一部を除いてすべてを私の支配下に置くだろう。」

⁶³ 神は言った、「出て行け!地獄がお前の報いとなり、お前に従う者たちの報いとなるだろう—十分な報復である。⁶⁴ お前の声で、お前が誘惑できる者なら誰でも誘惑し、お前の騎兵と歩兵で彼らを攻撃し、富と

子孫において彼らの仲間となり、彼らに約束を与えなさい—サタンは妄想以外何も約束しない—⁶⁵ しかし私の真の僕たちに対しては、お前には何の力もないだろう。あなたの主は彼らにとって十分な守護者となるであろう。」

⁶⁶ あなたの主こそが、あなた方が彼の恵みを求めて海を渡れるように、船を進ませる者である。彼はあなた方に対して最も慈悲深い。
⁶⁷ 危険が海上であなた方を脅かす時、あなた方は彼に呼びかけ、普段呼びかける他のすべてを忘れる。しかし彼があなた方を安全に陸に連れ戻すと、あなた方は彼から背を向ける。人間は常に恩知らずである。

⁶⁸ あなた方は、彼があなた方を陸に戻した時に、彼があなた方を地に飲み込ませること、あるいは彼が死に至る砂嵐をあなた方に送ることに対して、安心しているのか？その時、あなた方を守る者は誰もいないだろう。⁶⁹ あるいは、彼があなた方を再び海に戻し、激しい突風をあなた方に起こさせ、あなた方の不平不平に対する報復としてあなた方を溺れさせることに対して安心しているのか？そこでは私たちに対抗する助け手はいないだろう。

⁷⁰ われらはアダムの子らを尊び、陸と海で彼らを運び、彼らに健全で清いものを糧として与え、われらの被造物の多くの上に彼らを高めた。

⁷¹ われらが各々の民をその指導者と共に召喚する日がきつと来るであろう。その時、記録を右手に与えられた者たちはその記録を（熱心に）読み、微塵も不正を被ることはないであろう。⁷² しかしこの生で盲目であった者は、来世でも盲目であろう。そして（真実の）道からさらに遠く迷い去るであろう。

⁷³ 彼らは確かに、われらがあなたに啓示したものからあなたをそらそうとし、われらの名において何か別のものをあなたがでっち上げることを望んだ。そうすれば彼らはあなたを親密な友として受け入れただろう。⁷⁴ もしわれらがあなたを堅固に立たせていなかったなら、あなたはもう少しで彼らに傾いたであろう。⁷⁵ その場合、われらはこの生で二

倍の懲罰を、死後も二倍の懲罰を加えたであろう。その時、あなたは私たちに対抗する助け手を見つけることはなかっただろう。

⁷⁶ 確かに彼らはあなたを動揺させ、土地から追放しようと寸前のところまで来た。しかしその場合、彼ら自身はあなたの後、そう長くは留まらなかっただろう。⁷⁷ これがあなた以前にわれらが送った使徒たちとのわれらのやり方であり、あなた方はわれらのやり方には何の変更も見出さないだろう。

⁷⁸ 太陽が傾く時から夜の帳が降りるまで、そして夜明けにも礼拝を捧げなさい—夜明けの読誦は確かに目撃される。⁷⁹ そして夜中には起きて祈りなさい、追加の祈りとして。あなたの主があなたを称賛と栄光の地位に高めるかもしれない。

⁸⁰ 言え、「主よ、私に名誉ある入り口と名誉ある出口を与え、あなたの力で私を支えてください。」⁸¹ 言え、「真実が来て、虚偽は消え去った。虚偽は常に朽ちる運命にある。」

⁸² われらはクルアーンの中に、信じる者たちにとっての癒しと慈悲であるものを下す。悪を行う者たちにとっては、それは損失を増すばかりである。

⁸³ われらが人に恵みを授けると、彼は背を向け、身を引く。そして悪が彼を襲うと、彼は絶望に陥る。⁸⁴ 彼らに言え、「誰もが自分のやり方で行動する。そしてあなたの主は、誰が正しく導かれているかを最もよく知っている。」

⁸⁵ 彼らはあなたに霊について尋ねる。言え、「霊は私の主の命令によるものであり、あなた方にはわずかな知識しか与えられていない。」

⁸⁶ もしわれらが望むなら、あなたに啓示したものを確かに取り去るだろう—そうすればあなたは私たちに対して何の守護者も見つけれないだろう—⁸⁷ ただしあなたの主の特別な慈悲を通しては除く。あなたへの彼の恵みは実に大きかった。⁸⁸ 言え、「もしすべての人とジンがこのクルアーンのようなものを生み出すために集まったとしても、彼らがど

れほど互いに助け合ったとしても、彼らはそれと似たものを作り出すことはできないだろう。」

⁸⁹ このクルアーンの中で、われらは人々のためにあらゆる種類の例を提示してきた。それでも彼らのほとんどは真理を否定し続ける。⁹⁰ 彼らは宣言する、「あなた方が私たちのためにもうこれ以上、地から泉を湧き出させない限り、私たちはあなたを信じないであろう。」⁹¹ あるいは、あなた方がナツメヤシとブドウの園を持ち、その真ん中に豊かに小川を流させない限り。⁹² あるいは、あなた方が主張するように、天をばらばらに私たちの上に落とさない限り。あるいは、神と天使たちを私たちに直接連れてこない限り。⁹³ あるいは、あなた方が金の家を持つか、天に昇らない限り。そして、私たちが読める書を私たちに下すまでは、あなたの昇天を信じない。」彼らに言え、「私の主は神聖である。私は単なる人間であり、使徒として送られた者にすぎない。」

⁹⁴ 導きが彼らに来るたびに、人間が信じることを妨げたものは何もなかった。彼らの問い、「神は人間を使徒として送ったのか？」以外には。⁹⁵ 言え、「もし天使たちが地上を歩き回っていたなら、われらは天から天使を使徒として彼らのために送ったであろう。」⁹⁶ 言え、「私とあなた方[すべて]の間で、神が証人として十分である。彼は彼の僕たちについて情報に通じ、監視しておられる。」

⁹⁷ 神が導く者たちは真に導かれた者たちであり、彼が迷わせることを許す者たちについては、審判の日に彼以外に助け手を見つけることはないだろう。われらは彼らを、顔を下にして横たえられ、盲目、聾啞者、そして口のきけない者として集めるであろう。彼らの住処は地獄となるであろう。火が弱まるたびに、われらは彼らのために再びそれを燃え上がらせるであろう。⁹⁸ それが彼らの報いである。彼らがわれらのしるしを拒絶し、「私たちが骨と塵に還元された時、本当に新しい創造物として起こされるのだろうか？」と尋ねたからである。

⁹⁹ 彼らは、天と地を創造された神が、彼らのような者たちを創造できることを見ないのか？彼は彼らのために定められた期間を定めた。そ

れには何の疑いもない。しかし不義を働く者たちは真理を否定し続ける。¹⁰⁰ 言え、「たとえあなたが私の主の慈悲の宝を所有していたとしても、費やすのを恐れてきつとそれらを差し控えるだろう。人間は実にけちである!」

¹⁰¹ われらは確かにモーセに九つの明白なしるしを与えた。イスラエルの子らに尋ねてみればよい。彼が彼らのところに来た時、ファラオは彼に言った、「モーセよ、あなたは魅了されていると私にはわかる。」¹⁰² 彼は言った、「あなた方は、天と地の主以外には誰もこれらのしるしを、目を見張る証拠として下した者はないことをよく知っている。確かに、ファラオよ、あなたは破滅すると私にはわかる。」¹⁰³ そこで彼は彼らを土地から追い出そうと決意したが、われらは彼を、彼と共にいた者たちすべてと共に溺れさせた。¹⁰⁴ その後、われらはイスラエルの子らに言った、「土地に住みなさい。来世の約束が果たされる時、われらはあなた方すべてを集めるであろう。」

¹⁰⁵ われらはクルアーンを真実をもって啓示し、真実をもってそれは下された。われらはあなたを吉報を伝え、警告を与えるためにのみ送った—¹⁰⁶ われらはクルアーンを少しずつ啓示した。あなたがそれを人々に対してゆっくりと、熟慮して朗読できるように。われらはそれを段階的な啓示によって与えたのだ。

¹⁰⁷ 彼らに言え、「あなた方はそれを信じても信じなくてもよい。知識を与えられていた者たちは、それが朗読されると、顔を伏せてひれ伏す。¹⁰⁸ そして『私たちの主よ、栄光あれ!私たちの主の約束は必ず果たされるでしょう』と言う。¹⁰⁹ 彼らは泣きながら顔を伏せ、(クルアーンは)彼らの謙虚さを増す。」

¹¹⁰ 言え、「神を呼びかけようと慈悲深いお方を呼びかけようと、彼の御名は最も素晴らしい。」声をあまり大きくもなく、沈黙でもなく、その両極端の間で祈りなさい。中道を探しなさい。¹¹¹ そして言え、「息子をもうけたことのない、そして彼の王国において何の仲間もない、また彼

のいかなる弱さのゆえに誰も彼を助けることのない神に、すべての称賛は帰する。彼の偉大さを宣べ伝えなさい。」

18. 洞窟（アル・カハフ）

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ 神に称賛あれ。彼のしもべに—いかなる曖昧さもない書を一下し、² 正しく導き、彼からの厳しい懲罰を警告し、正しい行いをする信者たちに、彼らが優れた報いを得るであろうことを宣言するために。³ そこに彼らは永遠に[至福の状態]留まるであろう。⁴ そして「神は息子をもうけられた」と言う者たちを警告するために。⁵ 彼らにはこれに関する知識がなく、彼らの父祖にもいなかった。彼らが言うことは恐ろしい。彼らは単に虚偽を口にしているにすぎない！

⁶ もし彼らがこのメッセージを信じないなら、あなたは悲しみで自らを滅ぼすかもしれない。⁷ われらは地上を魅力的なもので飾った。人類が誰が行動において最良であるかを試すためである。⁸ しかしわれらはこれらすべてを不毛の荒廃に変えるであろう。

⁹ あなた方は、洞窟と銘文の男たちがわれらの驚くべきしるしの一つであったと考えるのか？¹⁰ 若者たちが洞窟に避難を求めた時、彼らは言った、「私たちの主よ、私たちにあなたの特別な慈悲を与え、私たちの事柄において正しい導きを与えてください。」¹¹ その時、われらは彼らを洞窟の中で長年にわたって深い眠りにつかせた。¹² その後、われらは彼らを再び目覚めさせた。二つの集団のうち、どちらが彼らがそこに滞在した時間をよりよく計算するかを見るためである。

¹³ われらはあなたに彼らの物語を真実のままに語るであろう。彼らはその主に信じる若者たちであり、われらは彼らにさらなる導きを与えた。¹⁴ われらは彼らが立ち上がり宣言した時、彼らの心を強固にした、「私たちの主は天と地の主である。彼以外のいかなる神も決して呼びかけないであろう。それはとんでもないことだ。¹⁵ 私たちの民は彼以外の

神々を立てた。なぜ彼らはそれらについて明確な証拠を出さないのか？神に対して嘘をでっち上げる者以上に邪悪な者がいるだろうか？」

¹⁶ 「今、あなた方が彼らから、そして彼らが神の代わりに崇拝するすべてのものから身を引いたのだから、その洞窟に避難しなさい。あなた方の主はあなた方に彼の慈悲を広げ、あなた方の状況に合った糧を用意してくださるであろう。」

¹⁷ 太陽は、昇る時、彼らの洞窟の右側から傾いて離れ、沈む時、彼らから左に背を向けるのが観察できた。彼らは洞窟内の広い空間に横たわっていた。これは神のしるしの一つである。神が導く者は正しく導かれる。しかし彼が迷わせることを許す者については、あなたは助け手も導き手も見つけることはないだろう。

¹⁸ 彼らは眠っていたにもかかわらず、あなた方は彼らが起きていると思ったであろう。われらは彼らを右にも左にも寝返らせた。一方、彼らの犬は洞窟の入り口に足を伸ばして横たわっていた。もしあなたが彼らを見下ろして見ていたなら、きっと恐怖で背を向け、逃げ出したであろう。

¹⁹ 時を経て、われらは彼らを再び起こし、彼らが互いに質問できるようにした。彼らの一人が尋ねた、「どれくらいここに滞在したのか？」彼らは言った、「一日、あるいは一日の一部滞在しました。」しかし他の者たちは言った、「あなた方の主が、あなた方がどれくらいここに滞在したかを最もよく知っておられる。ではあなた方の一人がこれらの銀貨を持って町へ行き、そこで最も純粋な食物を見つけて、その供給を持ち帰ってきなさい。彼は注意深く行動し、あなた方の居場所を誰にも明かさないようにしなさい。」²⁰ なぜなら、もし彼らがあなた方を見つけたら、あなた方を石打ちにして殺すか、あるいは彼らの信仰に無理やり戻させようとするだろう。その場合、あなた方は決して成功しないだろう。」

²¹ このようにわれらは彼らに物事を明らかにした。神の約束が真実であり、(審判の日である)時の到来に何の疑いもないことを彼らが知るためである。人々は互いに彼らについて議論した。彼らは言った、「

彼らの上に記念碑を建てよう。彼らの主が彼らについて最もよく知っておられる。」彼らの事柄で優勢であった者たちは言った、「彼らの上に礼拝の場所を必ず建てよう。」

²² ある者は言うだろう、「彼らは三人で、四人目は彼らの犬であった」と。またある者は言うだろう、「彼らは五人で、六人目は彼らの犬であった」と、無作為に推測して。そしてまたある者は言うだろう、「彼らは七人で、八人目は彼らの犬であった」と。言え、「私の主が彼らの数を最もよく知っておられる。」彼らについて知っている者はごく少数である。したがって、彼らについて論争に入ってはならない。また彼らから彼らに関する情報を求めてもならない。²³ 何事についても決して、「私は明日これを必ず行う」とは言わないように。²⁴ 「もし神がそう望むなら」と(付け加えること)なしには。もし忘れてしまったら、あなたの主を思い出し、「私の主は、これよりも正しい道に近いものへと私を導いてくれると信じる」と言いなさい。

²⁵ (ある者は言う)、「彼らは洞窟に三百年間滞在した」と。それにさらに九年間加えた者もいる。²⁶ 言え、「神が彼らがそこにどれくらい滞在したかを最もよく知っておられる。」天と地の不可視のものを知っているのは神のみである。彼はいかに良く見、いかに良く聞かれることか！人間には彼以外に何の守護者もない。彼は誰もその主権を共有することを許さない。

²⁷ あなたの主の書からあなたに啓示されたものを宣言しなさい。彼の言葉を変えることは誰にもできない。彼以外には何の避難所も見つけられないであろう。²⁸ 朝と晩に、彼の喜びを求めて主を呼びかける者たちに、自分を堅く結びつけなさい。そして世俗の生の魅力を望んで、彼らから目をそらしてはならない。そして、われらの想起からその心は無頓着にさせ、自分の気まぐれを追い求め、放蕩者となる者に従ってはならない。

²⁹ 言え、「これはあなたの主からの真実である。望む者は信じるがよい。望む者は否定するがよい。」不義を働く者たちのために、われらは

天蓋のように彼らを覆う業火を用意した。そしてもし彼らが水を請い願うなら、溶けた鉛のように熱い水を与えられるであろう。それは彼らの顔を焼くだろう。なんという恐ろしい飲み物、なんという邪悪な安息の地であろうか！

³⁰ 信じ、善行を行う者たちについては—われらは善行を行う者の報いを無駄にしない—³¹ 彼らは永遠の園に住むであろう。そこでは彼らの足元に川が流れ、盛り上がった寝椅子に寄りかかり、金の腕輪で飾られ、細やかな絹と重いブロードの緑の衣をまとうであろう。素晴らしい報いと素晴らしい安息の場所である！

³² 彼らに二人の男の比喻を語りなさい！その一人は、われらが二つのブドウ畑を与え、それをナツメヤシの木々で囲み、その間に穀物の畑を置いた。³³ 各々の庭はその実を結び、その最良のものを実らせることを怠らなかった。われらはその真ん中に川を噴き出させた。³⁴ こうして彼は豊富な果実を得た。彼の仲間と話している間に、彼は言った、「私はお前よりも金持ちで、より多くの従者を抱えている！」³⁵ こうして自らの魂を害し、彼は自分の園に入り、言った、「これが滅びることはないだろうと私は思わない」。³⁶ そして審判の時は決して来ないだろうと私は信じていない。たとえ私が私の主のもとに帰されたとしても、きっとここよりも良い場所を見つけるだろう。」

³⁷ 彼の仲間は、彼らの議論の途中で答えた、「お前を塵から、そして小さな液体の一滴から創造し、それからお前を人間に形作った彼を、お前は否定するのか？³⁸ しかし私に関する限り、神のみが私の主であり、私は彼に何の仲間も立てない」。³⁹ お前が自分の園に入った時、なぜお前は『神が御心であること[はきっと起こるだろう]、力は神以外にない』と言わなかったのか？お前は私よりも富と子孫が少ないのを見ているにもかかわらず、⁴⁰ 私の主は私にお前のものよりも良い園を与え、お前のブドウ畑に天から雷を降らせ、それを不毛の荒廃に変えるかもしれない。⁴¹ あるいはその水が地中に沈み込み、二度とそれを見つけることができないかもしれない！」

⁴² こうして、彼の果実はすべて破壊された。ブドウの木はすべて棚から落ち、その持ち主は手を揉み、自分の園に費やしたすべてを嘆き悲しんだ。彼は言った、「私の主と誰をも結びつけなかったらよかったのに！」⁴³ 彼には神に対抗する助け手はおらず、自らを防衛することもできなかった。⁴⁴ 唯一の支援は神、真の神からである。彼は報いにおいて最良であり、最終的な結果において最良である。

⁴⁵ 彼らに世俗の生についての例を挙げなさい。それは、われらが空から降らせる雨によって潤され栄える地の植生のようなもので、その後、風が吹き飛ばす切り株となる。神はすべてのものに対して力をお持ちである。⁴⁶ 富と子供たちはこの世の生を飾るものである。しかし永続的な功績のある行いは、あなたの主によってより良く報われ、はるかに良い希望の源である。

⁴⁷ われらが山々を動かす日、あなたは地がむき出しになるのを見るだろう。そしてわれらはすべての人類を集め、彼らの一人たりとも残すことはないだろう。⁴⁸ 彼らはあなたの主の前に列をなして並べられ、彼は彼らに言うだろう、「今、あなた方はわれらが最初にあなた方を創造した時のようにわれらの元に來た。しかしあなた方は、われらがあなた方への約束の成就のための時を定めないだろうと思っていたのだ。」

⁴⁹ (行いの)書が彼らの前に置かれ、あなたは罪人たちがその内容を心配しているのを見るだろう。彼らは言うだろう、「ああ、私たちに災いあれ!なんという記録だ!小さくても大きくても、どんな行いも考慮されていないではないか!」彼らは自分たちがこれまでしたことすべてが目前にあるのを見出すだろう。あなたの主は誰にも不正を働かない。

⁵⁰ われらが天使たちに「アダムにひれ伏しなさい」と言った時、サタンを除いて皆ひれ伏した。彼はジンの一人であり、彼の主の命令に逆らった。ならばあなた方は、彼らがあなたに敵意を抱いているにもかかわらず、彼と彼の子孫を私の代わりに保護者とするのか?これは不義を働く者たちにとって邪悪な交換である!

⁵¹ 私は天と地の創造において、また彼ら自身の創造において、彼

らを証人として呼んだのではない。私は他者を迷わせる者たちを私の助け手とはしない。

⁵² その日、彼は彼らに言うだろう、「あなた方が私の仲間だと思っていた者たちを呼びかけなさい。」彼らは彼らを呼ぶだろうが、彼らの祈りは聞かれないだろう。そしてわれらは彼らの間に(敵意の)障壁を置くであろう。⁵³ 罪人たちは業火を見て、自分たちがそこへ落ちることを悟るだろう。彼らはそこから逃れる道を見出さないだろう。

⁵⁴ われらはこのクルアーンの中で、人類の利益のためにあらゆる種類の例を様々な方法で説明してきたが、人間は最も論争好きである。⁵⁵ 導きが与えられた時に人々が信じること、あるいは主からの赦しを請うことを妨げるものは何もない。しかし、以前の民の運命が彼らに降りかかること、あるいは懲罰が彼らに直接降りかかること(が彼らを妨げたのだ)。

⁵⁶ われらは使徒たちを、吉報を伝え、警告を与えるためにのみ送る。真理を否定する者たちは、われらの啓示と警告を嘲りとして扱い、詭弁を使って真理を無効化しようとする。⁵⁷ 彼の主の啓示を思い出されたのに、それらから背を向け、自らの手がなしたことを忘れる者以上に邪悪な者がいるだろうか?われらは彼らの心がわれらの言葉を理解しないように、彼らの心に覆いをかけ、彼らの耳を難聴にした。あなたがどんなに正しい道に呼んでも、彼らは決して導かれないであろう。

⁵⁸ あなたの主は許し深く、慈悲の所有者である。もし彼が彼らがなした不正のために彼らを責任を問う必要があったなら、彼は彼らの懲罰を急がせたであろう。彼らには定められた時があり、それを超えて逃れることはできない。⁵⁹ われらはこれらの共同体を、彼らが悪をなすことを続けた時に破壊し、彼らの破壊のための時を定めた。

⁶⁰ モーセが彼のしもべに言った時のことを思い出しなさい。「両方の海が出会う場所に着くまで、たとえ何年もかかっても諦めない!」⁶¹ しかしついに彼らが二つの海が出会う土地に着いた時、彼らは魚のことを忘れ、それは素早く海の中へ入っていった。⁶² その場所を過ぎた後、

モーセは若い仲間[ユースフ]に言った、「朝食を持ってきてくれ。この旅で本当に疲れた。」

⁶³ 彼は答えた、「岩のそばで休んでいた時、魚のことを忘れたのを見ましたか？サタンが私にそれを忘れさせたので、私はそれを言及しませんでした。それは奇跡的な方法で海へ行きました！」⁶⁴ モーセは言った、「それこそ私たちが探していたものだ。」そこで彼らは来た道に戻り、⁶⁵ われらが慈悲を受け、われら自身からの知識を与えたわれらの僕の一を見つけた。

⁶⁶ モーセは彼に言った、「あなたに従ってもよろしいでしょうか、そうすればあなたが教えられたことによって私を導いてくださるでしょうから。」⁶⁷ 彼は答えた、「あなたは私に忍耐強く付き合うことはできないでしょう。」⁶⁸ 知識を超えた事柄においてどうして忍耐できるでしょう？」

⁶⁹ モーセは言った、「もし神が望むなら、あなたは私が忍耐強いことを見出すでしょう。そして私は何事においてもあなたに逆らいません。」⁷⁰ 彼は言った、「それでは、もし私に従うなら、私があなたにそれについて話すまで、何も尋ねてはならない。」

⁷¹ こうして彼らは出発したが、ボートに乗ると、その男は船に穴を開けた。モーセは叫んだ、「船に穴を開けて、中の人々を溺れさせるつもりか？あなたは実に恐ろしいことをした！」⁷² 彼は答えた、「あなたが私に忍耐強く付き合うことができないだろうと、私はあなたに言いませんでしたか？」⁷³ 彼は言った、「私が忘れたことについて私を責めないでください。そして私が行ったことについて私に厳しくしないでください！」

⁷⁴ こうして彼らは旅を続けた。その後、彼らは若い少年と出会い、その男は彼を殺した。モーセは言った、「誰かを殺していない罪のない人を殺したのか？あなたは実に恐ろしいことをした！」

⁷⁵ その男は言った、「あなたは私に忍耐できないだろうと、私はあなたに言いませんでしたか？」⁷⁶ モーセは答えた、「これ以後、私があなたに何か尋ねたら、私を同行させないでください。私はあなたに十分な言い訳を与えたことになるでしょう。」⁷⁷ こうして彼らは町に着くまで進

んだ。彼らはその町の人々に食べ物を求めたが、歓待を拒否された。彼らは町に、今にも崩れ落ちそうな壁を見つけた。彼の仲間はそのを補強し、モーセは言った、「もし望むなら、その労働に対して報酬を要求できたでしょうに。」⁷⁸ 彼は答えた、「ここがあなたと私が別れる場所です。しかし、あなたが忍耐できなかったことの意味をまずあなたに話しましょう。

⁷⁹ 「その船は、海から生計を立てている貧しい人々のものでした。彼らの後ろから王が来て、すべての船を力ずくで奪っていたので、私はそれを損傷させたいと思いました。⁸⁰ その若者については、彼の両親は信者でした。そして私たちは彼が反抗と真理の否定によって彼らを悩ませることを恐れました。⁸¹ 私たちは彼らの主が彼を、彼よりも清く、より思いやりのある者と取り替えることを望みました。

⁸² 「その壁は、その町にいる二人の若い孤児のものでした。彼らの父は義しい人であり、彼らの宝物がその下にありました。だからあなたの主は彼らが成人し、彼からの慈悲としてその宝物を掘り出すことを望まれました。私はそれを自分の意思でしたわけではありません。それが、あなたが自制できなかったことの意味の説明です。」

⁸³ 彼らはあなたにズルカルナインについて尋ねるだろう。言え、「彼の話をしてあげよう。」⁸⁴ われらは彼をその土地に確立し、彼にすべてのことを達成する手段を与えた。

⁸⁵ 彼はある道を旅した。⁸⁶ そして、日の沈む場所に到達すると、彼はそれが濁った水の泉に沈むのを見つけ、その近くに何人かの人々を見つけた。われらは言った、「ズルカルナインよ！あなたは彼らを罰するか、あるいは彼らを優しく扱うことができる。」⁸⁷ 彼は言った、「私たちは確かに悪を行う者を罰するでしょう。それから彼は彼の主のもとに連れ戻され、主は彼を厳しい懲罰で罰するでしょう。⁸⁸ しかし信じ、善行を行う者は誰であれ、良い報いを受け、私たちは彼の事柄を私たちの命令によって容易にするでしょう。」

⁸⁹ その後、彼はさらに別の道を辿り、⁹⁰ 太陽の昇る場所に着いた。

そこで彼は、われらが何の遮蔽物も与えていなかった民の上に太陽が昇るのを見つけた。⁹¹ まさにその通りであった。われらは彼のことを完全に認識していた。

⁹² その後、彼はさらに別の道を辿り、⁹³ 二つの山の間まで来た。彼はその傍らに、彼の言葉をほとんど理解できない民を見つけた。⁹⁴ 彼らは言った、「おおズルカルナインよ！ゴグとマゴグが土地に腐敗を引き起こしています。そこで私たちは、私たちと彼らの間に障壁を築いてくださるという条件で、あなたに貢ぎ物を支払ってもよろしいでしょうか？」

⁹⁵ 彼は言った、「私の主が私に与えてくださったものの方が、(いかなる貢ぎ物よりも)優れている。私を労働者たちの力で助けてくれれば、あなた方と彼らの間に障壁を築こう。⁹⁶ 私に鉄の塊を持ってこい。」それから、彼が山々の間の隙間を満たし終えると、(彼は言った)、「今、お前のふいごで火を吹け。」鉄の塊が熱で赤くなった時、彼は言った、「私に溶けた真鍮を持ってきて、それらの上に注ぎなさい。」⁹⁷ こうして彼ら[ゴグとマゴグ]はそれを登ることも、それを掘り抜くこともできなかった。⁹⁸ そして彼は言った、「これは私の主からの慈悲である。しかし私の主の約束が果たされる時、彼はそれを塵に平らにするであろう。私の主の約束は常に真実である！」

⁹⁹ その日、われらは彼らが互いに波のように押し寄せるのを許し、その後、ラッパが吹かれ、われらは彼らを皆共に集めるであろう。¹⁰⁰ その日、われらは真理を否定する者たちの前に地獄をむき出しにするであろう。¹⁰¹ 彼らは私の訓戒に盲目であり、私の警告に耳を傾けなかった者たちである。

¹⁰² 真理を否定する者たちは、私の僕たちを私の代わりに保護者とすることができると考えるのか？われらは地獄を、真理を否定する者たちのための宿所として定めたのだ。

¹⁰³ 言え、「彼らの行動を通して最も失う者たちをあなたに教えようか？」¹⁰⁴ 彼らは、この世の生での努力が無駄になりながらも、自分たち

が善を行っていると思っていた者たちである。¹⁰⁵ 彼らは、彼らの主のしるしと彼との出会いを否定する者たちである。」だから彼らの行いは無益であり、われらは復活の日に彼らに何の重みも与えないであろう。¹⁰⁶ 地獄が彼らの報いとなるであろう。彼らが真理を否定し、私のしるしと私の使徒たちを嘲笑したからである。

¹⁰⁷ 信じ、善行を行う者たちには樂園の園がその住处となるであろう。¹⁰⁸ 彼らは永遠に樂園の園に住み、いかなる変更も望まないであろう。

¹⁰⁹ 彼らに言え、「もし海が私の主の言葉を書くためのインクになったとしても、きっと海は私の主の言葉が終わる前に枯渇するであろう—たとえわれらがそれに別の海を加えたとしても。」

¹¹⁰ 言え、「私はあなた方と同じ単なる人間である。あなた方の神は唯一の神であると私に啓示された。だから、彼の主に出会うことを望む者は善行を行い、彼の主の崇拜において誰をも彼に仲間として配さないように。」

19. マリアム (マリアム)

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ カーフ・ハー・ヤー・アイン・サード。

² これはあなたの主が彼のしもべザカリヤに授けた慈悲の記述である。³ 彼が低声で主を呼びかけた時、⁴「主よ、私の骨は弱まり、頭は老齢で白髪になりましたが、主よ、あなたへの私の祈りについて失望したことは一度もありません。⁵ 今、私が死んだら、親族が心配です。(彼らが私の使命を続ける希望はありません。)なぜなら私の妻は不妊なので、あなたご自身から後継者を私に授けてください。⁶ 私の相続人となり、ヤコブの家族の(祝福の)相続人となる者を。そして、おお私の主よ、彼をあなたに受け入れられる者としてください」と。

⁷ 「ザカリアよ、私たちはあなたに息子、その名をヨハネとする者の吉報をもたらす。私たちは以前、誰にもそのような名を与えたことがない。」⁸ 「私の主よ!」(とザカリアは言った)、「妻が不妊で、私がそのような極度の老齢に達しているのに、どうして私に息子ができるのでしょうか?」

⁹ 彼は言った、「そうなるであろう!あなたの主は言う、『それは私にとって容易なことである。なぜならあなたが何も存在しなかった以前に、私はあなたを創造したのだから。』」¹⁰ 彼は言った、「私の主よ、私にしるしを与えてください!」彼は言った、「あなたのしるしは、体は健康であるにもかかわらず、三日間、誰にも話すことができなくなるであろうことだ。」¹¹ その時ザカリアは聖所から彼の民のもとに現れ、しるしによって主を朝晩讃えるよう彼らに告げた。

¹² ヨハネにはわれらは言った、「書を堅く守りなさい」と。そして彼がまだ子供である間に、われらは彼に知恵を受け、¹³ そして(心の)優しさと清純さを授けた。彼は敬虔であり、¹⁴ そして両親に対して忠実であり、傲慢でも不従順でもなかった。¹⁵ 彼が生まれた日、そして彼が死ぬ日、そして彼が再び生へと起こされる日に、彼に平安あれ。

¹⁶ 書の中でマリアがいかに彼女の民から東の場所へ身を引いたか、¹⁷ そして彼らから身を隠したかを語りなさい。われらは彼女にわれらの天使を送った。彼は成長した人間の姿で彼女の前に現れた。¹⁸ 彼女は彼を見た時、「私はあなたから慈悲深い神に避難を求める。もしあなたが主を畏れるなら、(近づかないでください)」と言った。¹⁹ 「私はあなたの主の使者にすぎない」と彼は答えた。「あなたに純粹さを授けられた息子の贈り物を授けよう。」²⁰ 彼女は言った、「男に触れられたこともなく、不貞であったこともないのに、どうして私に息子ができるのでしょうか?」²¹ (天使は)答えた、「そうなるであろう。あなたの主は言う、『これは私にとって容易なことである。そしてわれらは彼を人々のためのしるし、そしてわれらからの祝福とするであろう。これは定められたことである。』」

²² そこで彼女は彼を身ごもり、彼と共に遠い場所へ身を引いた。
²³ 陣痛が彼女をナツメヤシの幹へと駆り立てた。彼女は言った、「ああ、これより前に死んで、忘却の中に消えてしまえばよかった!」

²⁴ しかし、下から声が彼女に呼びかけた、「絶望するな。あなたの主はあなたの足元に流れる小川を用意された。²⁵ そしてこのヤシの木の幹を揺らせば、新鮮な熟したナツメヤシがあなたの上に落ちてくるだろう。²⁶ 食べ、飲み、喜びなさい。そしてもし誰か人間を見たら、『私は慈悲深い神に(沈黙の)断食を誓ったので、今日はいかなる人間とも話さない』と言いなさい。」

²⁷ 子供を抱きかかえて、彼女は彼を民のもとへ連れてきた。彼らは言った、「おおマリアよ、あなたは実に恐ろしいことをした!²⁸ ハールーンの妹よ、あなたの父は悪人ではなかったし、あなたの母も不貞な女ではなかった!」

²⁹ 彼女は子供を指差した。彼らは言った、「ゆりかごの中の子供とどうやって話せばよいのか?」³⁰ (しかし)彼は言った、「私は神のしもべである。彼は私に書を与え、私を預言者とした。³¹ 彼は私がどこにいても私を祝福された者とし、私の人生を通じて祈りと施しを私に命じられた。³² 彼は私を母に対して忠実な者とし、私を傲慢でも邪悪でもならしめなかった。³³ 私は生まれた日に祝福され、死ぬ日にも祝福され、そして再び生へと起こされる日にも祝福されるであろう。」

³⁴ それこそがマリアの子イエスであった。それが真理の全体であり、彼らは今もそれについて争っている。³⁵ 彼が息子をもうけることは、神の威厳にはふさわしくない。彼に栄光あれ!彼はそれよりも遥かに超越している。彼が何かを定めるときは、ただ「あれ!」と言うだけで、それは存在する。

³⁶ 神は私の主であり、あなた方の主である。だから彼のみを崇拜しなさい。それが正しい道である。³⁷ しかし異なる集団が互いに意見を異にした。恐ろしい日が訪れる時、真理を拒絶した者たちにとって、なんという恐ろしさであろうか!³⁸ 彼らがわれらのところに来る時、彼らはい

かに耳が鋭く、いかに目が見えることか。しかし今日、これらの悪を行う者たちは明らかに誤りの中にいる。

³⁹ 後悔の日の到来について彼らに警告しなさい。すべてが決せられる日、彼らが無頓着で信じない間に。⁴⁰ 大地とそこに住む者すべてを相続するのはわれらである。彼らは皆われらの元に帰るであろう。

⁴¹ また書の中でアブラハムの物語を語りなさい。彼は真実の男であり、預言者であった。⁴² 彼はその父に言った、「なぜあなたは、聞くことも見ることもできず、いかなる益もあなたにもたらさないものを崇拜するのですか？」⁴³ 父よ、私はあなたには来なかった知識を与えられました。だから私に従いなさい。私はあなたをまっすぐな道へと導きましょう。⁴⁴ 父よ！サタンを崇拜してはなりません—確かに、サタンは慈悲深いお方に対して反逆者です！⁴⁵ 父よ、確かに私は、慈悲深いお方からの懲罰があなたを襲い、あなたがサタンの友となることを恐れます。」

⁴⁶ (彼の父は)言った、「お前は私の神々を拒絶するのか、アブラハムよ？もしお前がやめないなら、きっとお前を石打ちにして殺してやる。私の邪魔をするな！」⁴⁷ アブラハムは答えた、「あなたに平安あれ。私はあなたのために私の主に赦しを祈るであろう—彼は確かに私に恵み深い—⁴⁸ 私はあなたと、あなたが神以外に呼びかけるあらゆるものから自分自身を分離するであろう。そして私は私の主のみに祈るであろう。私の主を呼びかけるにおいて、私が失望しないことも十分ありうる。」

⁴⁹ そこで彼が彼らから、そして彼らが神以外に崇拜するものから身を引いた時、われらは彼にイサクとヤコブを授け、彼ら一人一人を預言者とした。⁵⁰ われらは彼らにわれらの慈悲を授け、彼らに真の、高い名声を与えた。

⁵¹ 書の中でモーセのことも語りなさい。彼は確かに選ばれた者であり、使徒であり預言者であった。⁵² われらは山の右側から彼に呼びかけ、彼をわれらに近づけ、密接な交わりの中に置いた。⁵³ そしてわれらは彼を助ける者として、われらの慈悲から、彼の兄弟ハールーンを与え、彼を預言者とした。

⁵⁴ 書の中でイスマーイールのことも語りなさい。彼は約束に忠実であり、使徒であり預言者であった。⁵⁵ 彼はその民に祈りと施しを促し、彼の主は彼に満足された。⁵⁶ 書の中でイドリースのことも語りなさい。彼は真実の男であり、預言者であった。⁵⁷ われらは彼を高い地位に上げた。

⁵⁸ 彼らこそ、神が恵みを与えられた者たちである。アダムの子孫の中から、そしてわれらがノアと共に箱舟に乗せた者たちの中から出た預言者たち。アブラハムの子孫、イスラエルの子孫、そしてわれらが導き、選んだ者たちの子孫。慈悲深いお方の啓示が彼らに朗読される時、彼らはひれ伏し、泣きながら倒れた。

⁵⁹ しかしその後、彼らは祈りを怠り、自らの欲望に駆られた世代に取って代わられた。彼らはきっと滅びに出会うであろう。⁶⁰ 悔い改めて信じ、善行を行う者たちを除いては。これらの者たちは天国に入り、微塵も不正を被ることはないであろう。

⁶¹ 彼らにはエデンの園があるであろう。慈悲深いお方が彼のしもべたちに、彼らがそれを見ていないにもかかわらず約束されたものであり、最も確かに彼の約束は果たされるであろう。⁶² 彼らはその中で無益なことは何も聞かず、平安の挨拶だけを聞くだろう。彼らはそこで朝晩、糧を受け取るであろう。⁶³ それこそが、神を畏れるわれらのしもべたちにわれらが授ける園である。

⁶⁴ われらはあなたの主の命令による以外は決して下らない。私たちの前にあるものも後ろにあるものも、そしてその間にあるすべてのものは彼に属する。あなたの主は忘れない。⁶⁵ 彼は天と地、そしてその間にあるすべてのものの主である。だから彼のみを崇拜し、彼の崇拜において堅固でありなさい。彼の属性において彼と同等な者を誰か知っているか？

⁶⁶ 人間は尋ねる、「私が一度死んだら、生き返られるのか？」⁶⁷ しかし人間は、われらが彼を以前は何もなかった時に創造したことを思い出さないのか？⁶⁸ あなたの主に掛けて、われらは彼らと悪魔たちもき

と集めるであろう。そして彼らをひざまずかせ、地獄に近づけるであろう。

⁶⁹ その後、われらはあらゆる集団から、慈悲深いお方に対して最も頑固に反抗した者たちを連れ出すであろう—⁷⁰ われらは地獄の火に最もふさわしい者たちを確かに最もよく知っている—⁷¹ そしてあなたの方の中でそこを通らない者は一人もない。あなたの主からの命令であり、果たされなければならない。⁷² その後、われらは神を畏れた者たちを救い、不義を働く者たちはひざまずかされたままそこに残されるであろう。

⁷³ われらの明確な啓示が彼らに朗読される時、真理を否定する者たちは信者たちに言う、「どちらの側が地位において優れており、より印象的な集会を作るか？」⁷⁴ われらは彼ら以前に、物質的な力と壮麗さで彼らを凌駕していた多くの世代を破壊した。

⁷⁵ 言え、「慈悲深いお方は、誤りの中にいる者たちに、彼らが約束されたものに直面するまで、懲罰（この世で）であれ、あるいは（時が近づく）裁きの時であれ、彼らが地位において誰が劣っており、誰が財力において弱いかを知るまで、しばらく猶予を与える。」

⁷⁶ 神は導きに従う者たちに彼の導きを増す。そして永続的な善行はあなたの主の御前でより良く、最も報いとなる。

⁷⁷ われらの啓示の中の真理を否定し、「私はきっと富と子供を与えられるだろう」と言う者を見なかったか？⁷⁸ 彼は不可視のものを見たのか、それとも慈悲深いお方と誓約を交わしたのか？⁷⁹ いや、決してそうではない。われらは彼が言うことを記録し、彼のための懲罰を長引かせるであろう。⁸⁰ われらは彼が自慢するすべてを相続し、彼は一人でわれらの元に来るであろう。⁸¹ 彼らは神以外の神々を立てた。それらが彼らにとって力の源となるように。⁸² しかし彼らはその崇拜を拒否し、彼らに逆らうであろう。

⁸³ あなた方は、われらが悪魔たちを任命して、真理を否定する者たちを不従順に煽り立てるのを見ないか？⁸⁴ だから彼らに対して性急な行動を取ってはならない。彼らの日々は数えられている。⁸⁵ われらは

きっと、神を畏れる者たちを(丁重な)客として慈悲深い神の前に集めるであろう日が来るであろう。⁸⁶ そして罪人たちを喉の渴いた群れのように地獄へと駆り立てるであろう。⁸⁷ 慈悲深い主からの許可を得た者たちを除いては、誰も執り成しをする力を持たないであろう。

⁸⁸ 彼らは言う、「慈悲深いお方が息子をもうけた」と。⁸⁹ 確かに、あなた方は途方もない虚偽を口にした。⁹⁰ そのゆえに天はほとんど裂け、地は粉々に砕け、山々は崩れ落ちるであろう。⁹¹ 彼らが慈悲深いお方に息子を帰するからである。⁹² 慈悲深い神がご自身のために息子を持つことは、彼の威厳にはふさわしくない。⁹³ 天にも地にも、慈悲深いお方に完全に服従して帰らない者はいない。⁹⁴ 彼は彼らを数え、正確に数え上げた。⁹⁵ 彼ら一人一人は審判の日に、一人ずつ彼のもとに来るであろう。⁹⁶ 慈悲深い主は、信じ、正義の行いをする者たちに愛情を授けるであろう。

⁹⁷ われらはそれを[クルアーンを]あなた自身の言葉で[預言者よ]容易にした。あなたが義しい者たちに吉報を伝え、頑固な民に警告を与えることができるように。⁹⁸ われらは彼ら以前にどれほど多くの世代を滅ぼしたのか!今、彼らの一人でも生きているのを見つけることができるか、あるいは彼らからのささやきを聞くことができるか?

20. ター・ハー (ター・ハー)

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ ター・ハー。

² われらはあなたを苦しめるためにクルアーンを下したのではない。

³ ただ神を畏れる者への訓戒としてののみ。⁴ それは大地と高き天を創造された彼からの啓示である。⁵ 慈悲深いお方が玉座に定まった。⁶ 天にあるものも地にあるものも、そしてそれらの間にあるものも、そして地中のものすべては彼に属する。

⁷ あなたが大声で話そうと(低い声で話そうと)、彼はすべてを聞く。彼があなたの秘密、そしてさらに隠されたものを知っているからである。⁸ 神、彼以外に神はいない。彼には最も優れた御名がある。

⁹ あなたはモーセの物語を聞いたことがあるか?¹⁰ 彼が火を見た時、彼は彼の家族に言った、「ここで待ちなさい。火が見える。おそらくそこから燃え木を持ってこられるか、火のそばで何か導きを見つけれられるかもしれない。」

¹¹ 彼がそれに近づくと、声が呼びかけた、「モーセよ、¹² 私はあなたの主だ!サンダルを脱ぎなさい。あなたは聖なるトゥワの谷にいるからだ。¹³ 私はあなたを選んだ。だから啓示されていることを聞きなさい。¹⁴ 私は神である。私以外に神はいない。だから私のみを崇拜し、私を思い出しながら祈りを捧げなさい。¹⁵ 裁きの時が来ている。しかし私はそれを隠すことを選んだ。すべての人間がその労苦に応じて報われるようにするためだ。¹⁶ それを信じず、自分の欲望に従う者があなたをそれかららせて、あなたを破滅に導くことのないように。」

¹⁷ 「モーセよ、あなたの右手には何を持っているのか?」¹⁸ 彼は答えた、「私の杖です。それに寄りかかり、それで羊の葉を打ち落とします。他にも使い道があります。」¹⁹ 神は言った、「モーセよ、それを投げ落としなさい。」²⁰ すると彼はそれを投げ落とし、突然、それは素早く動く蛇に変わった。²¹ 神は言った、「それを掴みなさい、そして恐れるな。われらはそれを元の状態に戻すであろう。²² 手を脇の下に入れなさい。それは何の染みもなく、(輝くように)白く出てくるであろう。これがもう一つのしるしとなるであろう。^a ²³ われらはあなたにわれらの最も偉大な徴のい

a この世にあるものすべて、あるいは出来事すべてが神の「奇跡」であるという事実である。それが大地から苗が生えることであろうと、木の棒が蛇になることであろうと。日々の神によって行われる奇跡に人々が気づくようにするために、「並外れた」奇跡は預言者を通して示される。

くつかを示すであろう。²⁴ ファラオのところへ行きなさい。彼はすべての限界を超えた。」

²⁵ モーセは言った、「私の主よ!私の心を開いてください、²⁶ そして私の任務を私にとって容易にしてください。²⁷ 私の舌の結び目を解いてください、²⁸ 彼らが私の言葉を理解できるように、²⁹ そして私の家族の中から助け手を任命してください、³⁰ 私の兄弟ハールーンを。³¹ 彼を通して私を強め、³² そして彼に私の任務を共有させてください、³³ 私たちがあなたを多く称賛し、³⁴ そしてあなたを多く思い出すように。³⁵ あなたは確かに私たちを見守っておられます。」³⁶ 神は言った、「あなたの願いはかなえられた、モーセよ。

³⁷ 「確かに、われらは以前もあなたに恵みを示したのだ。³⁸ われらがあなたの母にわれらの意志を啓示した時、言ったのだ、³⁹『彼を箱に入れ、それから川に投げ込みなさい。川は彼を岸に打ち上げ、そこで彼は私と彼の敵に拾い上げられるだろう。』私があなたに私の愛を注いだのは、あなたが私の監視の下で育てられるためだったのだ。⁴⁰ あなたの姉が歩いてきて、『彼を世話する者に導きましょうか?』と言った時のことを思い出しなさい。こうしてわれらはあなたをあなたの母のもとに戻した。彼女の目が癒され、悲しまないようにするためだ。そしてあなたは男を殺したが、われらはあなたを悲しみから救い出した。われらはあなたを様々な試練で試した。あなたはミデアンの人の中に数年間滞在した。その後、あなたは標準に達したのだ、モーセよ。

⁴¹ 私はあなたを私自身のために選んだのだ。⁴² あなたとあなたの兄弟は私のしるしと共に去りなさい。そして私を思い出すことを怠ってはならない。⁴³ あなた方二人ともファラオのところへ行きなさい。彼はすべての限界を超えたからである。⁴⁴ しかし彼に優しく語りかけなさい。おそらく彼は心に留めるか、あるいは恐れを感じるかもしれない。」

⁴⁵ 彼ら二人は言った、「私たちの主よ、彼が私たちに対して何か過度な行為を犯すか、逸脱においてすべての限界を超えることを恐れます。」⁴⁶ 神は言った、「恐れるな。私はあなた方二人のと共にいる。私は

聞き、私は見る。⁴⁷ 彼のもとへ行き、『私たちは両方ともあなたの主からの使徒です。イスラエルの子らを私たちと共に行かせ、彼らを抑圧しないでください。私たちはあなたにあなたの主からのしるしをもたらしました。そして正しい導きに従う者には平安あれ。⁴⁸ 私たちには、それを拒絶し、背を向ける者には懲罰が降りかかるであろうことが啓示されています!』と言いなさい。」

⁴⁹ ファラオは言った、「ならばあなた方二人の主とは誰か、モーセよ?」⁵⁰ モーセは答えた、「私たちの主は、すべてのものにその形を与え、それからそれを導かれた方です。」⁵¹ ファラオは尋ねた、「以前の世代についてはどうなのだ?」⁵² モーセは言った、「それに関する知識は私の主のみが持っており、書に記録されています。私の主は誤ることも忘れることもありません。」

⁵³ 彼こそがあなたのために大地を敷き広げ、そこに道を刻み、空から水を下された者である。われらはそれで、あらゆる種類の植物を生み出した。⁵⁴ だから食べ、あなたの家畜を放牧しなさい。これには理解ある人々へのしるしがある。⁵⁵ 地からわれらはあなた方を創造し、そこへあなた方を戻し、そしてそこからあなた方を二度目に生み出すであろう。^a

⁵⁶ われらはファラオにわれらのすべてのしるしを示したが、彼はそれらを拒絶し、信じることを拒否した。⁵⁷ 彼は言った、「あなた方は私たちを魔術の力で私たちの土地から追い出すために来たのか、モーセよ?」⁵⁸ 私たちはきっとそれに匹敵する魔術をあなたに連れてくるだろう。だから私たちとあなたの間に、開かれた場所で時間を決めなさい。私たちもあなたもそれを破ることはないだろう。」

⁵⁹ モーセは言った、「対峙の日は祭りの日とする。そして太陽が高く

a 大地の創造、降雨システムの確立、植物や緑の成長、そして生き物にとって現在の世界を住みやすくした他の自然現象は、驚くほど偉大で素晴らしい現れである。

昇ったら人々を集めなさい。」⁶⁰ そこでファラオは引き下がり、彼の策略を練り、戻ってきた。⁶¹ モーセは彼らに言った、「災いあれ、あなた方に！神に対して嘘をでっち上げるな。さもなくば何らかの災いによって彼があなた方を滅ぼすだろう。嘘をでっち上げる者は必ず失敗する。」

⁶² その時彼ら[魔術師たち]は互いに相談し、ささやき合った。⁶³ 彼らは言った、「確かに彼ら二人は魔術師であり、彼らの魔術であなた方を土地から追い出し、あなた方の最良の伝統を破壊しようとしているのだ。」⁶⁴ したがって、あなた方の計画を決定し、それから整列して前に出なさい。今日、優位に立つ者がきっと勝利するであろう。」

⁶⁵ 彼らは言った、「モーセよ、あなたが最初に投げ落とすか、それとも私たちでしょうか？」⁶⁶ モーセは言った、「あなた方が先に投げ落とせ。」突然、彼らの魔術によって、彼らの縄と杖が素早く動き回っているように見えた。⁶⁷ そしてモーセの心には懸念が生じた。⁶⁸ しかしわれらは言った、「恐れるな。あなたが勝つであろう。」⁶⁹ あなたの右手にあるその[杖]を投げ落としなさい—それは彼らがなしたものを飲み込むであろう。彼らがなしたものは魔術師のトリックにすぎないからである。魔術師は、どこから来ようと決して成功しない。⁷⁰ 魔術師たちはひれ伏した。彼らは言った、「私たちはハールーンとモーセの主を信じます。」

⁷¹ ファラオは言った、「私が許可する前に彼を信じたのか？彼こそがお前たちに魔術を教えた主人に違いない。私はお前たちの手足を互い違いに切り落とし、お前たちをナツメヤシの幹に磔にするであろう。お前たちは誰の懲罰がより厳しく、より永続的であるかを知るであろう。」

⁷² 彼らは言った、「私たちに来た真実のすべての証拠に、私たちは決してあなたを優先しないでしょう。また私たちを生み出した彼にさえも。だから御心通りに決定しなさい。あなたの管轄はこの世の生にしか及ばない—」⁷³ 私たちは私たちの主を信じました。彼が私たちの罪を赦し、あなたが私たちに強制した魔術を赦してくださるように。神は最良であり、最も永続するお方です。」

⁷⁴ 確かに、その主のもとに罪人として来る者は地獄に送られるであろう。彼はそこで死ぬことも生きることもないであろう。⁷⁵ しかし、信者として、善行をなして彼のもとに来る者は、最高の位階に高められるであろう。⁷⁶ 彼は永遠の園に永遠にとどまるであろう。そこには川が流れている。それが自らを清める者たちへの報いである。

⁷⁷ われらはモーセに啓示を送った。「夜のうちに私の僕たちを連れ出し、彼らのために海に乾いた道を作りなさい。追いつかれることを恐れるな、そして恐れるな。」⁷⁸ ファラオは彼の軍勢と共に彼らを追跡したが、彼らは海に沈められた。それは彼らを飲み込む運命にあったのだ。⁷⁹ ファラオは彼の民を迷わせ、彼らを導かなかったからである。

⁸⁰ イスラエルの子らよ!われらはあなた方を敵から救い出し、山(シナイ)の右側であなた方と契約を結んだ。われらはあなた方のためにマンナとウズラを下した。⁸¹ 「われらがあなた方に提供した健全なものを食べなさい。しかし逸脱してはならない。私の怒りを招くことのないように。」[われらは言った]、「私の怒りを招く者は、きっと破滅するであろう。」⁸² しかし、悔い改めて信じ、正しく行動し、正しい道に従う者には、私は最も許し深い。」

⁸³ [モーセが山の上にいた時、神は言われた]、「おおモーセよ、なぜあなたはあなたの民からそんなに急いで来たのか?」⁸⁴ 彼は言った、「彼らは私の足跡を追っており、私はあなたのもとへと急ぎました、私の主よ、あなたを喜ばせるために。」⁸⁵ しかし神は言われた、「私たちはあなたの不在中にあなたの民を試したのだ。サミリが彼らを迷わせたのだ。」

⁸⁶ モーセは怒りと大きな悲しみに暮れて彼の民の元に戻った。彼は言った、「私の民よ、あなた方の主はあなた方に立派な約束をされなかったか?私の不在はあなた方にとって長すぎたのか?あなたが私との約束を破った時、あなた方は主の怒りがあなた方に降りかかることを望んだのか?」

⁸⁷ 彼らは答えた、「私たちは自らの意思であなたとの約束を破っ

たではありません。しかし私たちは人々の装飾品の重荷を運ばなければならない、そこでそれらを[火の中に]投げ込みました。それがサミリが示唆したことだからです。』⁸⁸ その後、彼は彼らのために子牛を鑄造した—低い唸り声を発する像であった。彼らは言った、「これこそがあなた方の神、モーセの神だ。彼はそれを忘れたのだ。』⁸⁹ 彼らはそれが何の応答もせず、彼らに害することも益することもできないことをなぜ見なかったのか？

⁹⁰ ハールーンはすでに彼らに言っていた、「おお私の民よ！あなた方はこれによって試されているだけだ。あなた方の主は慈悲深いお方である。だから私に従い、私の命令に従いなさい。』⁹¹ 彼らは答えた、「モーセが私たちのもとに戻るまで、私たちはそれを崇拜し続けることをやめない。』

⁹² モーセはハールーンに言った、「彼らが道を誤ったのを見た時、何があなたを妨げたのか、⁹³ 私に従うことを？なぜあなたは私の命令に逆らったのか？」⁹⁴ ハールーンは言った、「私の母の息子よ！私を髭で掴んだり、頭を掴んだりしないでください。私はあなたが、『あなた方はイスラエルの子らの間に不和を引き起こし、私の言葉に耳を傾けなかった』と言うのではないかと恐れたのです。』

⁹⁵ モーセは言った、「どうしたのだ、サミリよ？」⁹⁶ 彼は言った、「私は彼らが見なかったものを感知しました。そこで私は使徒の足跡から（塵を）一握り取り、それを（子牛の中に）投げ込みました。それが私の内なる自己が私に促したことです。』⁹⁷ モーセは言った、「立ち去れ！あなたの人生を通じて『私に触れるな』と言うことがあなたの運命となるであろう。そしてあなたは逃れることのできない運命に直面するであろう。さあ、あなた方がそんなに献身してきたあなたの神を見なさい。私たちはそれを焼き尽くし、それから海に散らすであろう。』⁹⁸ あなたの唯一の神は神であり、彼以外に神はいない。彼の知識はすべてのものを包摂する。』

⁹⁹ このようにわれらはあなたに過去の出来事の歴史を語り、われ

らからの戒め(クルアーン)をあなたに与えた。¹⁰⁰ それから背を向ける者は誰であれ、審判の日に重い荷を負うであろう。¹⁰¹ 彼らはそれを永遠に負うであろう。それは審判の日、彼らにとって耐え難い重荷となるであろう。¹⁰² ラッパが吹かれる日、われらはその日、すべての罪人を集めるであろう。彼らの目は恐怖で青くなり、¹⁰³ 彼らは互いにささやくであろう、「あなた方は地上でほんの十日しか滞在しなかった」と—¹⁰⁴ われらは彼らが何を言うかを最もよく知っている。彼らの中で最も鋭敏な者は言うだろう、「あなた方はたった一日しか滞在しなかった。」

¹⁰⁵ 彼らはあなたに山々について尋ねる。言え、「私の主はそれらを塵のように散らすであろう。¹⁰⁶ そして地を平らにむき出しにし、¹⁰⁷ 窪地も盛り上がった丘も全く見えなくなるであろう。¹⁰⁸ その日、すべては逃れることのできない呼びかける声に従うであろう。そしてすべての声は慈悲深い主の前で静まり返り、抑えられたざわめき以外は何も聞こえないであろう。

¹⁰⁹ その日、慈悲深いお方から承認を受け、彼の言葉が承認された者以外には、いかなる執り成しも役立たないであろう—¹¹⁰ 彼は彼らの前にあるものも後ろにあるものも知っているが、彼らは彼をその知識で包摂することはできない—¹¹¹ その日、すべての顔は生ける者、自存する者の前で謙虚になるであろう。悪行で重荷を負った者たちは悲しむであろう。¹¹² しかし、信者として善行を行う者は、害も不正も恐れなくて

であろう。」
¹¹³ われらはこのようにクルアーンをアラビア語で下し、あらゆる種類の警告をその中に与えた。彼らが神を畏れるか、あるいは心に留めるようにするためである—¹¹⁴ 崇高なるは神、真の王である。啓示が完了する前にクルアーンに性急であってはならない。そして「私の主よ、私の知識を増やしてください」と言いなさい。

¹¹⁵ われらはあなた以前にアダムと契約を結んだが、彼は忘れ、われらは彼に堅実さの欠如を見出した。¹¹⁶ われらが天使たちに「アダムにひれ伏しなさい」と言った時、サタンを除いて彼らは皆ひれ伏した。彼

は拒否した。¹¹⁷ われらは言った、「アダムよ、(サタンは)あなたとあなたの妻の敵である。彼にあなた方二人を楽園から追い出させ、こうしてあなた方を悲しませてはならない。

¹¹⁸ 「ここ(楽園)では、あなた方は飢えることも裸になることもないであろう。¹¹⁹ 喉の渇きも、太陽の熱も感じないであろう。」¹²⁰ しかしサタンは彼に悪をささやき、「アダムよ、不死の木と決して衰えない王国へとあなたを導こうか?」と言った。¹²¹ 彼ら二人はこの木の果実を食べ、こうして自分たちの裸体に気づき、園の葉で身を覆い始めた。こうしてアダムは彼の主に不従順となり、誤りに陥った。¹²² その後、彼の主は彼に慈悲をかけ、彼の悔い改めを受け入れ、彼を導いた。

¹²³ 神は言った、「あなた方二人とも、ここから、互いに敵として降りて行きなさい。」もし私からの導きがあなた方に来るなら、私の導きに従う者は誰であれ、道を失うこともなければ、悲しむこともないであろう。¹²⁴ しかし、私の訓戒から背を向ける者は誰であれ、苦しい生活を送り、審判の日には盲目となって起こされるであろう。¹²⁵ そして彼は尋ねるだろう、「主よ、なぜあなたは私を盲目として起こされたのですか、以前は目が見えていたのに?」¹²⁶ 神は言うだろう、「ちょうどわれらのしるしがあなたに来たのにあなたが無視したように、今日あなたは無視されるであろう。」¹²⁷ このようにわれらは、その主のしるしを否定する逸脱者に報いるであろう。しかし来世の苦しみは、より恐ろしく、より永続的である。

¹²⁸ 彼らは、彼ら以前にわれらが滅ぼした多くの世代から、彼らがその住居を歩き回る場所で教訓を学ばないのか?確かにこれには理解ある人々へのしるしがある。¹²⁹ しかしあなたの主からのあらかじめ定められた言葉と、すでに固定された(猶予の)期間がなかったなら、即座の懲罰が避けがたく起こっていただろう。¹³⁰ だから彼らが何を言おうとも忍耐し、日の出前と日の入り前にあなたの主を彼の讃美をもって讃えなさい。そして夜間にも、そして一日の始まりと終わりにも彼を讃えなさい。あなた方が安らぎを見出すように。

¹³¹ われらが彼らの一部に与えた世俗の利益を羨望の眼差しで見
てはならない。なぜならこれらのものをもってわれらは彼らを試すだけ
だからである。あなたの主の糧はより良く、より永続的である。¹³² あな
たの民に礼拝を捧げるよう命じ、その遵守に堅固でありなさい。われら
はあなた方から何も要求しない。あなた方に糧を提供するのがわれら
である。そして最良の結末は義にかなうものである。

¹³³ 彼らは言う、「なぜ彼は主からしるしをもたらないのか？」彼ら
は以前の聖典で十分な証拠を与えられなかったのか？¹³⁴ もしわれらが
これより前に懲罰で彼らを滅ぼしていたなら、彼らはきっと言っただろ
う、「私たちの主よ、なぜあなたは私たちに使徒を送らなかったのです
か。私たちが屈辱を受け、恥辱を被る前に、あなたの命令に従うことが
できたかもしれないのに？」¹³⁵ 言え、「誰もが待っている。だからもしあ
なたが望むなら待ちなさい。あなた方は誰が正しい道に従ったか、そし
て誰が導きを見出したかを知るのである。」

21. 預言者たち (アル・アンビヤー)

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ 人類にとって計算の時は近づいているが、彼らは無頓着で背を向け
る。² 彼らの主から新しい戒めが来るたびに、彼らはそれに耳を傾ける
が、真剣に受け止めない。³ 彼らの心は散漫で物忘れがひどい。不義を
働く者たちは秘密裏に相談し、言う、「この男はあなた方と同じ人間では
ないか？目を開いて魔術に屈服するつもりか？」⁴ 言え、「私の主は天と
地で語られるすべての言葉を知っている。彼はすべてを聞き、すべてを
知り尽くされる方である。」

⁵ ある者は言う、「これらは彼の混乱した夢だ。」またある者は言う、
「彼が自分ででっち上げたのだ。」さらにある者は言う、「彼は詩人だ。
以前の使徒たちがしたように、彼にしるしを持ってこさせなさい。」⁶ 彼ら

以前に、われらが滅ぼした共同体で信じたものは一つもなかった。これらの者たちが信じるだろうか？

⁷ あなた以前にわれらが送った使徒たちは、われらが啓示を送った単なる人間であった。もしあなたがこれを知らないなら、聖典の民に尋ねなさい—⁸ われらは彼らに食物を必要としない体を与えなかったし、彼らが永遠に生きることもなかった。⁹ その後、われらは彼らとの約束を果たし、われらは彼らと、われらが望む彼らと共にいた者たちを救い、すべての限界を超えた者たちを滅ぼした。

¹⁰ われらはあなたに訓戒である書を啓示した。ならばあなた方は理解しないのか？¹¹ われらはどれほど多くの悪を行う共同体を破壊し、彼らの後に他の人々を立てたことか。¹² 彼らがわれらの懲罰が自分たちに降りかかるのを感じた時、彼らはそれから逃げ始めた。¹³ 彼らは言われた、「逃げようとするな。あなた方が歓喜していた安楽と贅沢、そして住んでいた場所に戻りなさい。あなた方が尋問されるように。」¹⁴ 彼らは言った、「ああ、私たちに災いあれ！私たちは確かに不義を働く者でした」と。¹⁵ そして彼らはこれを繰り返し続けた。われらが彼らを、刈り取られた畑のようになり、灰燼に帰するまでそうさせた。

¹⁶ われらが天と地と、その間にあるすべてを遊び半分で創造したのではない。¹⁷ もしわれらが気晴らしを見つけないと望んだなら、もしそれがわれらの意志であったなら、われらのところにあるもののの中にきっとそれを見出しただろう。¹⁸ われらは真実を虚偽に投げつける。虚偽は打ち碎かれ、消え去るであろう。あなた方が口にするものに対して災いあれ。

¹⁹ 天と地にあるすべては彼に属し、彼と共にいる者たちは、彼を崇拜することを決して傲慢だとは思わず、疲れることもない。²⁰ 彼らは昼夜を問わず疲れることなく彼を賛美する。

²¹ 彼らは地から、死者を生き返らせることができる神々を立てたのか？²² もし天と地に神以外の他の神々がいたなら、天と地は両方とも滅びていただろう。玉座の主である神は、彼らが彼に帰するものを遥かに

超えて崇高である。²³ 誰も彼の行いについて彼に質問することはできないが、彼らは質問されるであろう。

²⁴ 彼らは彼以外に他の神々を立てたのか？彼らに言え、「あなた方の証拠を持ってきなさい。これは私と共にいる者たちの訓戒であり、私以前にいた者たちの訓戒である。」しかし彼らのほとんどは真実を知らないで、それから背を向ける。²⁵ われらはあなた以前のすべての使徒たちにこの啓送を送った。「私以外に神はいない。だから私のみを崇拜しなさい。」

²⁶ 彼らは言う、「慈悲深いお方は息子をもうけた！」彼に栄光あれ！彼らはただ彼の尊敬されるしもべである。²⁷ 彼らは彼より先に話そうとせず、彼の命令に従って行動する。²⁸ 彼は彼らの前にあるものも後ろにあるものも知っており、彼の許可なしには執り成しをすることはできない。確かに彼ら自身も彼を畏れている。²⁹ 彼らの中で「私は彼以外に神である」と言う者は誰であれ、地獄で報われるであろう。このようにわれらは不義を働く者たちに報いる。

³⁰ 真理を否定する者たちは、天と地が結合されていたが、その後われらがそれらを分裂させたことを見ないのか？そしてわれらがすべての生き物を水から作ったことを？それでも彼らは信じないのか？

³¹ われらは地を揺るさないように、その上に堅固な山々を置き、彼らが道を見つけられるように、そこに道筋を置いた。³² われらは天を堅固に守られた天蓋とした。それでも彼らはわれらのしるしから背を向ける。³³ 彼こそが夜と昼、太陽と月を創造された者であり、それぞれがその軌道で滑らかに動いている。

³⁴ あなた以前に、われらは人間には永遠の命を与えなかった。ならばもしあなた[ムハンマド]が死んだら、彼らは永遠に生きるのだろうか？³⁵ すべての魂は死を味わうであろう。われらはあなたを、試練として善悪(の状況)の両方で試す。われらの元にはあなたは帰るであろう。

³⁶ 真理を否定する者たちがあなたを見る時、彼らはあなたを嘲笑

い、「これがあなた方の神々について語る者なのか?」と言う。それでも彼らこそ、慈悲深いお方への言及すべてを否定する者たちである。

³⁷ 人間はせっかちな被造物である。間もなく私はあなたに私のしるしを示すであろうが、私にそれを急がせないでくれ。³⁸ 彼らは尋ねる、「もしあなたの言うことが真実なら、この約束はいつ果たされるのか?」

³⁹ もし真理を否定する者たちが、彼らが火をその顔からも背中からも避けることができない時を知っていたなら。彼らは助けられないであろう!⁴⁰ 確かに、それは突然彼らに降りかかり、彼らを混乱させるであろう。そして彼らはそれを避けることもできないし、猶予も与えられないであろう。

⁴¹ あなた以前にも他の使徒たちは嘲笑されたが、嘲笑した者たちは、彼らが嘲笑したまさにその事柄に打ちのめされた。

⁴² 言え、「夜と昼、慈悲深いお方の怒りからあなた方を救うのは誰か?」それでも彼らは彼らの主の想起から背を向ける。⁴³ 彼らにはわれらに対抗して彼らを守れる他の神々がいるのか?彼らは自分自身を助けることすらできないし、われらに対抗して助けられることもない。

⁴⁴ しかしわれらは彼らの父祖に(生の)良いものを長い間授けた。だが彼らは、われらがいかに彼らの境界を縮めているかを見ないのか?彼らが優位に立つというのか?

⁴⁵ 言え、「私はあなた方に啓示を通してのみ警告する。」しかし耳の聞こえない者たちは警告されても何も聞こえない。⁴⁶ しかし、たとえあなたの主の懲罰のわずかな息吹が彼らに触れたとしても、彼らは言うだろう、「ああ、私たちに災いあれ!私たちは確かに不義を働く者でした」と。

⁴⁷ われらは復活の日に正義の秤を設置する。そうすれば、いかなる魂も微塵も不正を被ることはないように。マスタードの種一粒ほどの小さな行いも量られるであろう。われらは精算者として十分である。

⁴⁸ われらはモーセとハールーンに正邪の基準と、義しい者たちへの光と訓戒を与えた。⁴⁹ 彼らは不可視のものにおいて彼らの主を畏れ、

裁きの時をも恐れる。⁵⁰ これはわれらがあなたに啓示した祝福された訓戒である。ならばあなたはそれを拒絶するのか？

⁵¹ これより前に、われらはアブラハムにその導きを与えた。われらは彼をよく知っていた。⁵² 彼がその父と民に尋ねた時、「あなた方がそんなに献身しているこれらの像は何だ？」と。⁵³ 彼らは答えた、「私たちは父祖がそれらを崇拝しているのを見つけました。」⁵⁴ アブラハムは言った、「確かに、あなた方とあなた方の父祖は明らかに道に迷っていた。」

⁵⁵ 彼らは言った、「あなたは私たちに真実をもたらしたのか、それとも冗談を言っているのか？」⁵⁶ アブラハムは答えた、「あなた方の主は天と地の主であり、それらを創造した方である。そして私はその証人である。⁵⁷ 主にかけて、あなた方が去り、背を向けた後で、私はあなた方の神々に対して計画を考案するであろう！」⁵⁸ 彼はそれらすべてを粉々に砕いた。その中で最も大きなものを除いては。彼らがそれに（調査のために）立ち返るようにするためである。

⁵⁹ 「誰が私たちの神々にこんなことをしたのだ？彼は不義を働く者に違いない。」⁶⁰ ある者は言った、「アブラハムという若い男が彼らについて話しているのを聞いた。」⁶¹ 彼らは言った、「ならば彼を人々の皆の目に触れる場所に連れてこい。彼らが証人となるように。」⁶² 彼らは言った、「アブラハムよ、私たちの神々にこんなことをしたのはあなたなのか？」⁶³ 彼は答えた、「むしろ彼らの中で一番大きなこれがやったのだ。もし彼らが話せるなら、彼らに尋ねなさい。」

⁶⁴ その時、彼らは互いに顔を向け合い、「間違っているのはお前たち自身だ」と言った。⁶⁵ その後、彼らは頭を垂れ、言った、「おおアブラハムよ！彼らが話せないことをあなたは知っているでしょう。」⁶⁶ アブラハムは言った、「ならば、あなた方は神以外の、あなた方を益することも害することもできないものを崇拝するのか？」⁶⁷ 恥を知れ、お前たちと、神以外に崇拝するあらゆるものよ。あなた方は理解できないのか？」

⁶⁸ 彼らは言った、「彼を焼いて、もしお前たちが何かを決意している

なら、お前たちの神々を助けよ。』⁶⁹ しかしわれらは言った、「火よ! アブラハムのために涼しく、安全の手段となれ。』⁷⁰ 彼らは彼に害を与えようとしたが、われらは彼らを挫折させた。

⁷¹ そしてわれらは彼とロトを救い出し、(彼らを)われらがすべての人々のために祝福した土地へと連れて行った。⁷² われらは彼にイサクを与え、その後ヤコブを追加の恵みとして与え、彼ら全員を義しい者とした。⁷³ われらは彼らを、われらの命令によって人々を導く指導者とした。われらは彼らに善を行うこと、礼拝を守ること、そして施しを与えることを啓示し、彼らはわれらのみを崇拜した。

⁷⁴ ロトにはわれらが知恵と知識を与え、忌まわしい行為を実践する都市から彼を救い出した。彼らは確かに邪悪な民であった。⁷⁵ われらは彼をわれらの慈悲の中に入れた。彼は義しい男であった。

⁷⁶ 彼以前にノアがわれらに叫び、われらは彼の祈りを聞いた。われらは彼と彼の家族全員を大きな苦難から救い出した。⁷⁷ われらは彼に、われらの啓示を拒絶した彼の民に対する助けを与えた。彼らは確かに邪悪な民であったので、われらは彼ら全員を溺れさせた。

⁷⁸ 夜中に何人かの人々の羊が迷い込んで(草を食い)、その畑について裁定を下したダビデとソロモンのことを語りなさい。われらは彼らの裁定を証言した。⁷⁹ われらはソロモンに事柄の正しい理解を与え、彼ら二人の両方に知恵と知識を授けた。われらは山々と鳥にダビデと共にわれらの讃美を称えさせた。われらにはそうする力があった—⁸⁰ われらは彼に、戦いであなた方を守るために、あなた方のための鎖帷子を作る技術を教えた。ならばあなた方は感謝するのか?

⁸¹ われらはソロモンに、われらが祝福した土地に向かって彼の命令で吹く嵐の風を従わせた。すべてのことを知っているのはわれらだからである—⁸² われらはまた、彼のために海に潜り、他の任務を遂行する一部のジンも彼に従わせた。われらは彼らを見守った。

⁸³ ヨブが彼の主に呼びかけ、「私は大きな苦難に見舞われています。しかしあなたは慈悲深い者たちの中で最も慈悲深い方です」と言っ

た時を思い出しなさい。⁸⁴ われらは彼の祈りを聞き、彼の苦しみを和らげ、彼の家族を彼に回復させ、われらの恵みの行為として彼らの数を二倍にし、礼拝者たちへの戒めとした。

⁸⁵ イスマーイールとイドリース、そしてズル・キフルを思い出しなさい。彼らは皆忍耐強く堅固であった。⁸⁶ われらは彼らをわれらの慈悲の中に入れた。彼らは皆義しい男たちであった。

⁸⁷ 怒って去り、自分には何の力もないと考えていたクジラの中の男[ヨナ]を思い出しなさい。しかし彼は暗闇の中で叫んだ、「あなた以外に神はいない。あなたに栄光あれ！私は確かに間違っていた。」⁸⁸ そこでわれらは彼の祈りを聞き、彼を悲しみから救い出した。このようにわれらは真の信者たちを救い出すであろう。

⁸⁹ ザカリアが彼の主に呼びかけ、「私を相続人なしのままにしないでください、主よ、あなたは最高の相続者です」と言った時を思い出しなさい。⁹⁰ そこでわれらは彼の祈りを聞き、彼にヨハネを授け、彼の妻が彼に子供を産むのに適するようにした。彼らは善を行うことを急ぎ、希望と畏れをもってわれらに呼びかけ、常にわれらに謙虚であった。

⁹¹ その貞潔を守った女を思い出しなさい。そこでわれらは彼女にわれらの霊を吹き込み、彼女と彼女の息子をすべての人々へのしるしとした。

⁹² あなた方のこの共同体は一つの共同体であり、私はあなた方の主である。だから私を崇拝しなさい。⁹³ しかし彼らは自らを派閥に分裂させたが、彼らは皆われらの元に帰るであろう。⁹⁴ 信者である間に善行を行う者は、その努力が見過ごされることはないであろう。われらはそれらすべてを記録する。

⁹⁵ われらが滅ぼした民族で、二度と立ち上がらないと定められているものはない。⁹⁶ しかしゴグとマゴグが解き放たれ、あらゆる丘から殺到し、彼らが広がる時[陸と海のあらゆる障壁を飛び越えて]、⁹⁷ 神の真の約束が近づく時、真理を否定した者たちは驚きをもって凝視し、「あ

あ、私たちに災いあれ！私たちはこのことを全く顧みなかった。実に、私たちは不義を働く者でした」と叫ぶであろう。

⁹⁸ あなた方と、あなた方が神の代わりに崇拜するものは、地獄の燃料となるであろう。そこへあなた方は皆来るであろう——⁹⁹ もしそれらが本当に神々であったなら、そこへ導かれることはなかっただろう。しかし彼らはそこに永遠にとどまるであろう。¹⁰⁰ 彼らはうめき声を上げるだろう。そこでは彼らは他の何も聞かないだろう。¹⁰¹ しかしわれらが良い報いを約束した者たちは、地獄から遠く離されるであろう——¹⁰² 彼らは微塵の音も聞かず、彼らの魂が切望するすべての中で、永遠に至福の状態にとどまるであろう。¹⁰³ (裁きの日)の大きい恐怖は彼らを悲しませることはなく、天使たちは彼らを歓迎し、「これこそがあなた方が約束されていた日である」と言うだろう。

¹⁰⁴ その日、われらは天を羊皮紙の巻物のように巻き上げるであろう。われらが最初の創造を開始したように、われらはそれを繰り返すであろう。これはわれらに束縛される約束である。真に、われらはそれを果たすであろう。¹⁰⁵ われらはすでに詩篇に、訓戒に続いて書いた。「私の義しい僕たちは大地を相続するであろう。」¹⁰⁶ この中に、確かに真の礼拝者へのメッセージがある。

¹⁰⁷ われらはあなたを全人類への慈悲として送り出した。¹⁰⁸ 言え、「あなたの神は唯一の神であると私に啓示された。ならばあなたは彼に服従するのか？」¹⁰⁹ もし彼らが背を向けるなら、言え、「私はあなた方全員に等しく警告した。しかしあなた方が約束されている(災厄が)間近であるか遠いかを知らない。¹¹⁰ 神はあなたが公に言うことも、隠すことも確かに知っている。」¹¹¹ あるいは、それがあなた方にとっての試練であり、短い猶予であるかどうかを、私は知らない。」¹¹² 言え、「私の主よ、真実をもって裁いてください。私たちの主は、あなたがたが口にするものに対して私たちが助けを求める慈悲深い方です。」

22. 巡礼 (アル・ハッジ)

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ おお人々よ!あなた方の主を畏れなさい。最後の時の大災厄は実に恐ろしいであろう。² その日が来ると、すべての授乳中の母親はその乳児を捨て、すべての妊婦は重荷を下ろし、誰もが酔っているように見えるだろうが、彼らは酔っているのではない。神の懲罰は実に厳しいであろう。³ それでも神について何の知識もなく議論し、すべての反抗的な悪魔に従う者たちがいる。⁴ 彼が友とする者については、彼が彼を迷わせ、業火の懲罰へと導くことが定められているのだ。

⁵ おお人々よ!もしあなた方が復活について疑いがあるなら、われらがまずあなた方を塵から創造し、それから精液の一滴から、それから血塊から、それから形のあるものと形のない肉塊から創造したことを思い出しなさい。われらがあなた方に(われらの力)を示すためである。われらは御心であるものを定められた期間、子宮に留まらせ、それからあなた方を幼児として生み出し、それからあなた方を成長させ、十分に成熟させる。その後、あなた方の中には人生の早い段階で亡くなる者もいれば、かつて知っていたことを何も知らない極度の老齢に達する者もあるであろう。あなたは大地が死んで不毛であるのを見るだろうが、われらが雨を降らせるとすぐに、それは動き始め膨れ上がり、あらゆる種類の豊かな植生を生み出す。⁶ それは神が真実であるからである。彼こそが死者に命を与える者であり、彼はあらゆることを御心通りにできる力を持っている。⁷ 最後の時は必ず来る。それに何の疑いもない。神は墓の中にいる者たちを甦らせるであろう。

⁸ 神について何の知識も導きもなく、いかなる啓発的な書もなく議論する者たちがいる。⁹ 彼らは傲慢に背を向け、人々を神の道から迷わせる。そのような者たちはこの生で恥辱を招き、審判の日には業火の懲罰を味わうであろう。¹⁰ (神は言うだろう)、「これがあなた方の悪行の報いである。神は彼の僕たちに不正ではない。」

¹¹ 神を半信半疑で崇拜する者たちがいる。彼らに何か良いことが降りかかると、彼らはそれに満足するが、もし試練が降りかかると、彼らは以前のやり方に戻る。彼らはこの世でも来世でも失う。それは明白な損失である。

¹² 彼が神の代わりに呼びかけるもの、それは彼を害することも益することもできない。それは実に遠く迷い去ることである—¹³ 彼は助けるよりも害を与える方を早くするものと呼びかける。そのような擁護者は実に悪であり、そのような仲間は実に悪である。¹⁴ 神は、信じ、正しく行動する者たちを、流れる川によって潤される園に入れるであろう。神は御心であることを何でもなされる。

¹⁵ もし誰かが神がこの世と来世において彼[彼の使徒]を助けないと考えるなら、彼は天まで綱を伸ばし、それからそれを切り落として、彼の計画が怒りの原因を取り除くのに役立つかどうかを見てみればよい。¹⁶ われらはクルアーンを明確な証拠として下した。そして確かに神は御心である者を導かれる。

¹⁷ 神は信者たち、ユダヤ人、サビア人、キリスト教徒、ゾロアスター教徒、そして多神教徒の間を審判の日に裁かれるであろう。確かに神はすべてのものに対する証人である。

¹⁸ 天にいる者、そして地にいる者、太陽と月、星々、山々、木々、獣たち、そして多くの人間—すべてが神に服従することを見ないか？しかし、懲罰に値する者となった者も多い。神が辱める者は誰であれ、彼を尊ぶ者はいないであろう。確かに、神は御心であることをなされる。

¹⁹ これら二つの集団、[信者たちと真理を否定する者たち]は、彼らの主に関して争う。真理を否定する者たちのために火の衣が裁断され、煮え滾る水が彼らの頭の上に注がれるであろう。²⁰ 彼らの胃の中にあるものも、彼らの皮膚もそれによって溶かされるであろう。²¹ 彼らには鉄の槌があるであろう。²² 苦痛の中で地獄から逃げ出そうとするたびに、彼らはそこへ押し戻され、「地獄の懲罰を味わえ」と言われるであろう。

²³ 神は、信じ、善行を行う者たちを、流れる川によって潤される園に

入れるであろう。そこで彼らは金の腕輪と真珠を与えられ、彼らの衣は絹となるであろう。²⁴ 彼らは言葉の純粹さへと導かれたからである。そして彼らは栄光ある主の道へと導かれたのである。

²⁵ 真理を否定し、他者を神の道と、われらがすべての人々、原住民も異邦人も等しく定めた聖なるモスクから妨げ、悪行によってそれを冒犯しようとするすべての者たちについては—われらは彼らに苦痛な懲罰を味わわせるであろう。

²⁶ われらはアブラハムに聖なる家の場所を割り当て、言った、「私に何も配してはならない。そして私に周りを巡る者たち[カアバを]、直立する者たち、そしてひれ伏し、身をかがめる者たちのために私の家を清めなさい。」

²⁷ 人類を巡礼へと呼びなさい。彼らは、徒歩で、あらゆる種類の瘦せたラクダに乗って、あらゆる遠い道を通してあなたのもとに来るであろう。²⁸ 彼らが自分たちにとってのその益を目撃し、定められた日に、彼が彼らのために提供した家畜の上に神の御名を唱えるためである。それからその肉を食べ、苦しむ者と困窮者に食べさせなさい—²⁹ その後、巡礼者たちは自らを清め、誓いを果たし、古代の家の**タワフ(周回)**を行いなさい。

³⁰ それこそが神の命令である。神によって神聖であると宣言されたものを尊ぶ者は誰であれ、それが彼の主の御前で善と見なされることを確信できる。家畜はあなた方にとって合法である。すでに明確に禁じられたものを除いては。それから神々の忌まわしきものから遠ざかり、すべての虚偽から遠ざかりなさい。

³¹ 神に献身し、彼に何の仲間も配さないように。神に何かを配する者は、まるで天から落ち、鳥に掴み取られるか、あるいは風に運ばれて遠くへ飛ばされる者のようである。

³² その通りである。神によって定められたしるしを尊ぶ者は、その心の敬虔さを示す。³³ あなた方は動物から定められた期間、恩恵を受

けることができる。その後、それらは古代の家で犠牲にされなければならない。

³⁴ 各々の民のために、われらは犠牲の儀式を定めた。彼らが、彼が彼らのために提供した家畜の上に神の御名を唱えるためである。あなた方の神は唯一の神である。自らを彼に服従させなさい。そして謙虚な者たちに吉報を与えなさい。³⁵ 彼らとは、神が言及されると心が畏怖で満たされ、逆境を忍耐強く耐え忍び、定期的に礼拝を捧げ、われらが彼らに与えたものの中から費やす者たちである。

³⁶ われらはあなた方のために、神によって定められたしるしの一つとして、犠牲用のラクダを定めた。その中にはあなた方にとって多くの善がある。だから屠殺のために並べる時、その上に神の御名を唱えなさい。そして彼らが倒れて死んだら、自分たちで食べ、困窮している者たち—尋ねない者も尋ねる者も—に食べさせなさい。このようにわれらは彼らをあなた方に服従させた。あなた方が感謝するように。³⁷ 彼らの肉も血も神には届かない。彼に届くのはあなた方の敬虔さである。このように神は彼らをあなた方に服従させた。あなた方が、彼があなた方に与えた導きのために彼を称賛できるように。善を行う者たちに吉報を与えなさい。

³⁸ 神は必ず信者たちを守るであろう。神は不誠実で恩知らずな者を愛さない。³⁹ 攻撃された者たちには戦う許可が与えられる。彼らが不当に扱われたからである—神は確かに彼らを助ける力を持っている—⁴⁰ 彼らとは、不当に家から追放された者たちである。ただ「私たちの主は神です」と言っただけなのに。もし神がある人々による侵略を他の人々によって撃退しなかったなら、修道院や教会、シナゴグ、そしてモスク、そこでは神の名が盛んに唱えられるが、きっと破壊されていただろう。神は彼の目的を助ける者を必ず助けるだろう—神は確かに力強く全能である。

⁴¹ [彼らとは]、もしわれらが彼らを土地に確立するなら、定期的に

礼拝を捧げ、ザカートを払い、善を命じ、悪を禁じる者たちである。すべての事柄の最終的な結果は神に委ねられている。

⁴² もしあなたの敵対者たちがあなたを否定するなら、彼ら以前に、ノアの民、アード族、そしてサムード族が同様に使徒たちを否定したことを思い出さない。⁴³ アブラハムの民とロトの民もそうであった。⁴⁴ そしてミデアンの住民たちも預言者たちを偽りだと非難した。モーセもまた拒絶された。私は真理を否定する者たちに猶予を与えたが、その後私は彼らを捕らえた。ならば、私の彼らに対する拒絶がいかに恐ろしいものであったかを考慮しなさい。

⁴⁵ われらは不義にふけていた町をどれほど多く破壊したことか。その屋根は崩れ落ち、どれほど多くの井戸が放棄され、どれほど多くのそびえ立つ城が廃墟となっていることか。⁴⁶ これらの人々は、その心が理解し、耳が聞くことができるように、土地を旅しなかったのか？真実は、盲目なのは目ではなく、胸の中にある心が盲目なのである。

⁴⁷ 彼らはあなたに懲罰を急ぐよう求める。神は決して彼の約束を破らないだろう。あなたの主の元での一日は、あなた方の計算で千年のようである。⁴⁸ われらは不義にふけていた町にどれほど多く猶予を与えたことか。その後私はそれを捕らえた。私のもとにすべてのものは帰るであろう。

⁴⁹ 言え、「おお人々よ、私はあなた方に明確な警告を与えるためにだけ送られた。」⁵⁰ 信じ、善行を行う者たちは赦され、名誉ある糧を受け取るであろう。⁵¹ 一方、われらのしるしに反対し、その目的を挫こうとする者たちは、業火の住人となるであろう。

⁵² あなた以前にわれらが送った使徒や預言者で、彼が(われらの啓示の)何かを朗読するたびに、サタンがそれに介入しなかった者はいない。しかし神はサタンの介入を取り消し、その後、彼の啓示を堅固に再確認される。神はすべてを知り、すべてを賢くされる方である。⁵³ 彼はサタンの示唆を、心が病んでいるか頑なになっている者たちへの試練とする—そして、確かに、不義を働く者たちは誤りに深く陥っている—

⁵⁴ 知識を与えられた者たちが、これがあなたの主からの真実であることを認識し、それゆえにそれを信じ、そして心の中で謙虚に彼に服従するようにするためである。神はきっと信じる者たちをまっすぐな道に導かれる。

⁵⁵ 真理を否定する者たちは、[裁きの]時が突然彼らに訪れるか、あるいは悲惨な日の災厄が彼らに降りかかるまで、疑いの中に留まるであろう。⁵⁶ その日、すべての支配は神に属する。彼は彼らの間を裁かれるであろう。信じ、善行を行う者たちは至福の園に入るであろう。⁵⁷ しかし真理を否定し、われらのしるしを否定する者たちは屈辱的な懲罰を受けるであろう。

⁵⁸ 神の目的のために家を去り、その後殺されたり死んだりした者たちについては、神は彼らに寛大な糧を与えるであろう。確かに神は最高の糧を与える者である。⁵⁹ 彼は彼らを、彼らが大いに満足するであろう場所に入れるであろう。神はすべてを知り、最も忍耐強い者だからである。

⁶⁰ その通りである。自分自身が苦しんだのと同じ程度に報復し、その後再び不当に扱われた者については、神はきっと彼を助けに来るであろう。神は慈悲深く、許し深い。

⁶¹ それは、神が夜を昼に変え、昼を夜に変えるからである。神はすべてを聞き、すべてを見る。⁶² それは神が真実であるのに対し、彼らが神以外に呼びかけるものは何であれ、全くの虚偽だからである。神は至高なる者、偉大なる者である。

⁶³ 神が空から水を下し、それによって地が緑になるのを見なかったか？神は計り知れず、すべてを認識しておられる。⁶⁴ 天にあるものも地にあるものも、すべて彼に属する。確かに、神は自給自足であり、称賛されるべきお方である。

⁶⁵ 神がいかに地上のすべてをあなたに従わせ、彼の命令によって海を進む船をも従わせたかを見ないか？彼は空が大地に落ちるのを、彼の許しなくしては、留めている。神は人類に対して最も思いやり深く、

最も慈悲深い—⁶⁶ あなたに命を与えたのは彼である。それから彼はあなたを死なせるであろう。それから彼はあなたに再び命を与えるであろう。確かに、人間は最も恩知らずである。

⁶⁷ われらはすべての共同体のために、遵守すべき崇拝の方法を定めた。この事柄に関して彼らにあなたと議論させてはならない。彼らをあなたの主の道へと呼びなさい—確かに、あなたは正しく導かれている—⁶⁸ もし彼らがあなたと議論するなら、言え、「神はあなた方がなすことをよく知っておられる。」⁶⁹ 復活の日、神はあなた方の意見の相違に関してあなた方の間を裁かれるであろう。⁷⁰ あなた方は、神が天と地に含まれるものを認識しておられることを知らないのか？すべては書に記録されている。これらすべては神にとって容易なことである。

⁷¹ それでも彼らは神の代わりに、神が何の権威も下さず、彼らが何の知識も持たないものを崇拝する。不義を働く者たちには助け手はいないであろう。⁷² われらの明確な啓示が彼らに朗読されるたびに、あなたは真理を否定する者たちの顔に嫌悪感を見るだろう。まるで彼らがわれらのメッセージを朗読する者たちを襲いかかろうとしているかのようである。言え、「これよりも悪いことをあなた方に教えようか？それは神が真理を否定することに固執する者たちに約束した業火である。なんという邪悪な行き先であろうか！」

⁷³ 人々よ、ここに実例がある。だから注意深く聞きなさい。確かに、あなた方が神以外に呼びかける者たちは、たとえ彼らすべてが協力したとしても、ハエ一匹さえも創造できない。そしてもしハエが彼らから何かを奪っても、彼らはそれを取り戻すことはできない。双方とも確かに弱い、求める者も求められる者も。⁷⁴ 彼らは神を正しく評価していない。確かに神は力強く全能である。

⁷⁵ 神は天使たちと人類の中から使徒たちを選ばれる。神はすべてを聞き、すべてを見る。⁷⁶ 彼は彼らの前にあるものも後ろにあるものも知っている。すべてのものは神のもとに帰るであろう。

⁷⁷ 真の信者であるあなた方よ、ひざまずき、身をかがめなさい。

あなたの主を崇拜し、善行を行いなさい。あなた方が成功するように。⁷⁸ 神の目的のために、それにふさわしいように努力しなさい。彼はあなたを選び、宗教の事柄において、あなたの父祖アブラハムの信仰において、あなたに何の負担も課さなかった。これにおいて、以前の聖典と同様に、彼はあなた方をムスリムと名付けた。使徒があなた方の上で証人となり、あなた方が人類の上で証人となるように。それゆえ、定期的に礼拝を捧げ、ザカートを払い、神に堅くしがみつきなさい。彼はあなたの主人である。優れた主人であり、優れた助け手である！

23. 信徒たち（アル・ムミニューン）

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ 成功した者は実に信者たちである。² 礼拝において謙虚な者たち。³ 軽薄なものすべてから背を向ける者たち。⁴ ザカートを払う者たち。⁵ 貞節を守る者たち。⁶ 妻と彼らの右手が所有するもの以外は—その場合、彼らは非難されない—⁷ しかしそれ以上を求める者たちは逸脱者である—⁸ その信頼と約束に忠実な者たち。⁹ そして礼拝に注意を払う者たち。¹⁰ これらの者たちは楽園の相続者である。¹¹ 彼らはそこに永遠に住むであろう。

¹² われらは人間を粘土の本質から創造した。¹³ その後、われらは彼を安全な場所に液滴として置いた。¹⁴ その後、われらはその液滴を凝血へと発達させ、その凝血を肉塊へと発達させ、その肉塊を骨へと発達させ、骨を肉で覆った。その後、われらは彼を新しい創造物として存在させた—創造者たちの中で最高の、神に栄光あれ—¹⁵ この後、あなた方はきっと死ぬであろう。¹⁶ その後、あなた方は復活の日に再び起こされるであろう。

¹⁷ われらはあなた方の上に七つの道(天)を創造した。われらはわれらの創造物を決して顧みなかったことはない。¹⁸ われらは空から適切な尺度で水を下し、それを地に宿らせた—しかしもしわれらが望むな

ら、それを取り去る力を持っている—¹⁹ われらはあなた方のためにナツメヤシ林とブドウ畑を生産した。そこにはあなた方のために豊富な果物がある。そしてあなた方はそれらを食べる。²⁰ またシナイ山に生える木も。それは油と、食べる者への調味料を生産する。²¹ 家畜の中にもあなた方への教訓がある。われらは彼らの腹の中にあるものからあなた方に飲み物を与え、あなた方は彼らから多くの他の利益を得る。彼らの一部をあなた方は食べる。²² そして船に乗るように彼らに乗る。

²³ われらはノアを彼の民に送った。彼は言った、「私の民よ、神を崇拜しなさい。彼以外にあなた方には何の神もない。彼を畏れないのか？」²⁴ 真理を否定した彼の民の指導者たちは言った、「彼はあなた方と同じ人間であり、自分をあなた方より優位に立たせたいだけだ。もし神が望んだなら、天使たちを送っただろう。私たちは父祖からこのようなことを聞いたことがない。²⁵ 彼は単なる狂人だから、彼に関してはしばらく待て。」

²⁶ ノアは言った、「私の主よ、私を助けてください！彼らが私を拒絶したからです。」²⁷ その後、われらは彼にわれらの意志を啓示した。「われらの監視の下、われらの指示に従って箱舟を建造しなさい。われらの命令が来て、水が地から噴き上がったら、あらゆる種のペアとあなたの家族のメンバーを乗せなさい—ただし、すでに判決が下された者たちを除く—悪を行った者たちのために私に嘆願するな。彼らは溺れるであろう。

²⁸ あなたとあなたの追隨者たちが箱舟に定住したら、『私たちを邪悪な民から救い出してくださった神に称賛あれ』と言いなさい。²⁹ そして『私の主よ、あなたの祝福をもって私を祝福された着陸地に上陸させてください。最高の着陸地を提供できるのはあなただけです』と言いなさい。」³⁰ 確かにその中には明確なしるしがある。このようにわれらは人々を試す。

³¹ その後、われらは彼らの後に別の世代を立て、³² 彼ら自身の中から彼らに使徒を送った。「神のみを崇拜しなさい。彼以外にあなた方

には何の神もない。ならば神を畏れないのか？」³³ しかし、真理を否定し、来世での出会いを否定した彼の民の指導者たちは、われらがこの世の生で彼らに安楽と豊かさを与えたゆえに、言った、「これはあなた方と同じ人間でしかない—彼はあなた方が食べるものを食べ、あなた方が飲むものを飲む—³⁴ あなた方が自分たちと全く同じ人間である者に従うなら、あなた方はきっと失われるだろう。」

³⁵ 彼はあなたに、死んで塵と骨になったら、再び起こされることを約束するのか？³⁶ あなた方が約束されていることは実に現実離れしている。³⁷ 存在するは私たちの現在の生のみだ。私たちは死に、生き(一度だけ)、二度と起こされることはないだろう。³⁸ 彼は神について嘘をでっち上げた男にすぎない。そして私たちは彼を信じるつもりはない！」

³⁹ 使徒は言った、「私の主よ、私を助けてください、彼らが私を拒絶したからです。」⁴⁰ 神は言った、「間もなく彼らは後悔に満たされるであろう。」⁴¹ 爆音が正当にも彼らを襲い、われらは彼らを瓦礫と化した。そのような邪悪な民よ、滅び去れ！

⁴² その後、われらは彼らの後に別の世代を立てた—⁴³ いかなる共同体も、その定められた時を早めることも遅らせることもできない—

⁴⁴ その後、われらは使徒たちを次々と送った。彼らの使徒が民のところに來るたびに、彼らは彼を拒絶した。そこでわれらは彼らを次々と滅ぼし、彼らを単なる物語とした。だから信じようとしない民よ、滅び去れ！

⁴⁵ その後、われらはモーセと彼の兄弟ハールーンをわれらのしるしと明確な権威と共に、⁴⁶ ファラオとその廷臣たちに送ったが、彼らは傲慢に振る舞った。彼らは傲慢な民であったからである。⁴⁷ 彼らは言った、「私たちと同じ二人の人間を信じるというのか、彼らの民が私たちに従属しているのに？」⁴⁸ そこで彼らは彼ら二人を拒絶し、滅ぼされた者たちとなった。⁴⁹ われらはモーセに書を与えた。彼らが導かれるように。

⁵⁰ われらはマリアの子と彼の母をしるしとし、彼らを新鮮な泉によって潤される平和な丘に避難させた。

⁵¹ 使徒たちよ、健全なものを食べ、善行をなしなさい。私はあなた

方がなすことをよく認識している。⁵² あなた方の宗教はただ一つの宗教にすぎない—そして私はあなた方の唯一の主である。したがって、私を畏れなさい。

⁵³ しかし彼らは自らを派閥に分裂させ、それぞれが自分の持っているものを喜んだ。⁵⁴ だからしばらくの間、彼らをその混乱の中に任せておきなさい。⁵⁵ 彼らは、われらが提供した富と子供たち⁵⁶ が、物質的な利益を得るのに役立つ以外に何の目的もないと想像しているのか？ いや、決してそうではない。しかし彼らは理解しない。

⁵⁷ 彼らの主を畏れて震える者たち。⁵⁸ そして彼のメッセージを信じる者たち。⁵⁹ そして彼に仲間を配さない者たち。⁶⁰ そして、彼らが主のもとに帰らなければならないという思いで心が震えながら、彼らに授けられたものを他者に与える者たち。⁶¹ 彼らこそが善行において互いに競い合い、そうすることにおいて最先端を行く者たちである。⁶² われらは魂に、その耐えられる以上のものを課さない。われらは真実を明確に示す記録を持っており、彼らは不正を被ることはないであろう。

⁶³ しかし彼らの心はこれに無頓着である。さらに、彼らがなすこれ以外の行いもある。⁶⁴ しかしその後、われらが彼らの中の裕福な者たちを捕らえると、彼らは助けを叫ぶだろう。⁶⁵ 今日、助けを叫ぶな。なぜならあなた方はわれらによって助けられることはないからである。⁶⁶ 私の啓示はあなた方に朗読されたが、あなた方は背を向けた。⁶⁷ 傲慢にも、まるで物語を語る者を捨てるかのように。

⁶⁸ 彼らは神の言葉について熟考しなかったのか？父祖には来なかったものが彼らに來たというのか？⁶⁹ あるいは彼らはその使徒を認識しないので、彼を否定するのか？⁷⁰ 彼らは彼が憑かれていると言うのか？むしろ彼は彼らに真実をもたらしたが、彼らのほとんどは真実を嫌悪する。⁷¹ もし真実が彼らの気まぐれや欲望に従っていたなら、天と地、そしてそこに住むすべてのものは破滅に陥っていたであろう。むしろわれらは彼らに彼らの訓戒をもたらしたが、彼らはその訓戒を避け続けている。

⁷² あるいはあなたは彼らに何か報いを求めているのか?しかしあなたの主の報いは最良である。彼こそが最高の糧を与える者である。⁷³ そして、最も確かにあなたは彼らをまっすぐな道へと招いている。⁷⁴ しかし来世を信じない者たちは、確かにその道から逸脱している。

⁷⁵ たとえわれらが彼らに慈悲を示し、彼らの苦難を和らげたとしても、彼らはその違反において盲目的にさまよい続けただろう。⁷⁶ われらは懲罰をもって彼らを捕らえたが、彼らはその主に服従せず、謙虚になろうともしないだろう。⁷⁷ われらが彼らの前に厳しい懲罰の門を開くまで、その時彼らは啞然とするだろう。

⁷⁸ 彼こそがあなた方に耳と目と心を与えた者である。それでもあなた方はなんというめったに感謝しないことか!^a ⁷⁹ 彼こそがあなた方を地上で増やし、彼のもとにあなた方は皆集められる。⁸⁰ 彼こそが命を与え、死をもたらし、夜と昼の交代を制御する者である。ならばあなた方は理解しないのか?

⁸¹ しかし彼らは昔の者たちが言ったのと同じことを言う。⁸² 「私たちが死んで塵と骨になったら、再び起こされるのか?」⁸³ 私たちと私たちの父祖は以前これについて約束されていた。これは昔の寓話にすぎない。」

⁸⁴ 言え、「地とその中にあるすべては誰に属するのか?教えてくれ、もしあなた方に何か知識があるなら?」⁸⁵ 彼らは言うだろう、「神に属します。」言え、「ならばあなた方は耳を傾けないのか?」⁸⁶ 言え、「七つの天

a この宇宙において人間は特別な創造物であり、聞く、見る、考えるという並外れた能力を与えられている。これらの能力は、人生の現実を理解するという特別な目的のために人間に与えられた。彼は耳を使って真実の声を聞くべきである。目を使って彼を取り巻く神のしるしを見るべきである。その思考力を使ってこれらすべてのことを深く研究すべきである。これこそ、実際には、耳と目と心の感謝の道である。この世でそのような感謝の証を示さない者たちは、これらの賜物への資格を永遠に失う危険がある。

と栄光の玉座の主は誰か？」⁸⁷ 彼らは言うだろう、「神に属します。」言え、「ならばあなた方は彼を恐れないのか？」⁸⁸ 言え、「すべてのものに対する主権は誰の御手の中にあり、すべてを守護し、誰も彼に対抗して保護を求められないのか？教えてくれ、もしあなた方に何か知識があるなら。」⁸⁹ 彼らは言うだろう、「これらすべては神に属します。」彼らに言え、「ならばあなた方はどうして惑わされるのか？」

⁹⁰ われらは彼らに真実を啓示した。しかし彼らは確かに嘘つきである。⁹¹ 神は息子をもうけていないし、彼以外に何の神もない。さもないと、各々の神は自分が創造したものを携えて立ち去っていただろう。彼らはきっと互いに打ち勝とうとしただろう。彼らが彼に帰するあらゆるものの上に、神に栄光あれ。⁹² 不可視のものと可視のものを知る者。彼は彼らが彼に配するあらゆるものよりも遥かに崇高である。

⁹³ 祈りなさい、「主よ、もしあなたが彼らが警告されていたもの[懲罰]を私に見せてくださるなら、⁹⁴ ならば私を、主よ、不義を働く者たちと共にしないでください。」⁹⁵ われらは確かに、彼らが警告されていたものをあなたに示す力を持っている。

⁹⁶ 最善のものをもって悪を退けなさい—われらは彼らが言うことをよく認識している—⁹⁷ そして言え、「私の主よ、悪魔の扇動からあなたに避難を求めます。⁹⁸ 主よ、彼らが私に近づかないよう、あなたに避難を求めます。」

⁹⁹ 彼らの一人に死が訪れると、彼は言う、「私の主よ、私を戻してください」¹⁰⁰ 私が残してきた世界で善行をなせるように。」決して！それは実に彼が口にする無意味な言葉にすぎない。そのような人々の後ろには、彼らが再び起こされる日まで障壁が立ちはだかるであろう。¹⁰¹ ラッパが吹かれる日、その日には彼らの間に何の血縁関係もなくなるであろう。彼らは互いに尋ねもしないであろう。¹⁰² その時、善行で秤が重い者たちは成功するであろう。¹⁰³ しかし秤が軽い者たちは魂を滅ぼした者たちとなるであろう。地獄に彼らはとどまるであろう。¹⁰⁴ 火は彼らの顔を焦がし、彼らは顔が歪んだ状態でそこに留まるであろう。

¹⁰⁵ 私のメッセージはあなた方に朗読されなかったのか、そしてあなた方はそれを拒絶しなかったのか？¹⁰⁶ 彼らは答えるだろう、「主よ、不幸が私たちを打ちのめし、私たちは道に迷った民となりました。¹⁰⁷ 主よ、私たちを地獄から救い出してください。そうすれば、もし私たちが再び逆戻りするなら、私たちは間違いなく不義を働く者となるでしょう。」¹⁰⁸ 神は言うだろう、「そこに留まれ、私に話しかけるな。¹⁰⁹ 私の僕たちの中には、『主よ、私たちは信じます。だから私たちを赦し、私たちに慈悲をかけてください。あなたは慈悲を示す者たちの中で最高のお方です』と言った者たちがいた。¹¹⁰ しかしあなた方は彼らを嘲笑し、それが私を思い出すことを忘れさせるほどにまで。そしてあなた方は彼らを嘲笑し続けたのだ。¹¹¹ 私は今日、彼らの堅実さの報いとして彼らに報いた。そして勝利したのは彼らである。」

¹¹² 彼は尋ねるだろう、「あなた方は地上に何年間滞在したのか？」¹¹³ 彼らは言うだろう、「一日か、あるいは一日の一部滞在しました。数え続けた者たちに尋ねてください。」¹¹⁴ 彼は言うだろう、「あなた方はほんのわずかな期間しか滞在しなかったのだ、もしあなた方が知っていたなら。」

¹¹⁵ 「あなた方は、われらがあなた方を何の目的もなく創造し、あなた方がわれらの元に戻されないとでも思うのか？」¹¹⁶ すると、崇高なるは神、真の王である。彼以外に神はいない、栄光の玉座の主である。¹¹⁷ 神と共に別の神を呼びかける者—その神性の証明を彼が持たない神を—は、彼の主によって責任を問われるであろう。確かに、真理を否定する者たちは決して成功しないであろう。¹¹⁸ 言え、「主よ、私たちを赦し、慈悲をかけてください。あなたは慈悲を示す者たちの中で最高のお方です。」

24. 光 (アン・ヌール)

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ これはわれらが啓示し、義務とした章である。われらはその中に明確な啓示を下した。あなた方が心に留めるように。² 姦通を犯した女と男は、各々百回の鞭打ちで打ち据えなさい。もしあなたが真に神と最後の日を信じるなら、彼らへのいかなる憐れみも、あなたに神に不従順とならせてはならない。そして彼らの懲罰は、多くの信者たちによって目撃されるべきである。³ 姦通を犯した男は、姦通を犯した女か多神教徒の女としか結婚せず、姦通を犯した女は、姦通を犯した男か多神教徒の男としか結婚しない。そのような結婚は信者たちには禁じられる。

⁴ 貞淑な女性を中傷する者たちで、四人の証人を出せない者は、八十回の鞭打ちを与えられるべきである。その後、彼らの証言を決して受け入れてはならない。彼らは逸脱者である。⁵ ただし、その後悔い改めて改心する者たちを除く。真に神は許し深く、慈悲深い者である。

⁶ 妻を告発し、自分以外に証人がいない者は、四回神にかけて、自分の告発が真実であると誓うべきである。⁷ そして五回目には、もし彼が嘘をついているなら、神の呪いが彼に下るようにと。⁸ 妻は、夫が嘘をついていると神の名において四回証言するなら、懲罰を受けない。⁹ そして五回目には、もし夫が真実を言っているなら、神の怒りが彼女に下るようにと。¹⁰ もし神の恵みと慈悲があなた方になかったなら、(あなた方は苦痛を招いただろうし、)神は賢明であり、悔い改めを受け入れる方である。

¹¹ その中傷をもたらした者たちは、あなた方の中から出た一団であった。それを不幸と見なすな。それはあなた方にとって良いことである。彼らの一人一人は、犯した罪について責任を問われるであろう。そしてその中で大きな役割を担った者は、恐ろしい懲罰を受けるであろう。

¹² それを聞いた時、信じる男性たちと信じる女性たちは、なぜ自分

たちの同胞について良く考えなかったのか、そして「これは明白な中傷である」と言わなかったのか？¹³ なぜ彼らは四人の証人を出さなかったのか？もし彼らが証人を出せなかったなら、彼らは神の御前で確かに嘘つきであった！

¹⁴ もしこの世と来世において神の恵みと慈悲があなた方になかったなら、中傷に深入りしたあなた方には恐ろしい懲罰が降りかかったであろう。¹⁵ あなた方が舌でそれを広め、知識のないことを口にしていた時、あなた方はそれを取るに足らない事柄と見なしたが、神の御前では、それは非常に重大であった。¹⁶ それを聞いた時、なぜあなた方は「これについて話すのは私たちには正しくない。神にかけて！これは途方もない中傷だ」と言わなかったのか？¹⁷ 神はあなた方に、もしあなたが真の信者であるなら、二度とこのようなことを繰り返さないよう警告する。¹⁸ 神はあなた方に命令を説明される。神はすべてを知り、賢明である。

¹⁹ 信者たちの間にみだらな行為が広まることを望む者たちには、この世でも来世でも苦痛な懲罰があるであろう。神は知っているが、あなた方は知らない。²⁰ もし神の恵みと慈悲があなた方になかったなら、そして神が思いやり深く慈悲深くなかったなら、(あなた方は苦痛を招いただろう)。

²¹ おお信じるあなた方よ、サタンの足跡に従ってはならない。そしてサタンの足跡に従う者は誰であれ、彼がみだらなことと悪を命じるだけであることを知るべきである。しかし神の恵みと慈悲があなた方になかったなら、あなた方の一人も決して清められることはなかったであろう。しかし神は御心である者を清められる。神はすべてを聞き、すべてを知り尽くされる方である。

²² あなた方の中で資力と豊かさを持つ者たちが、その親族、困窮者、そして神の目的のために故郷から移住した者たちへの恵みを差し控えることを決意しないように。彼らに赦し、見過ごすことを許しなさい。神があなた方を赦すことを望まないのか？神は許し深く、慈悲深い。

²³ 確かに、貞淑で用心深くない信じる女性を告発する者たちは、この世と来世で呪われる。彼らには恐ろしい懲罰が待ち受けている。²⁴ 彼ら自身の舌、手、足が、彼らがなしたことについて彼らに対して証言する日—²⁵ その日、神は彼らに公正に報いるであろう—そして彼らは、神が真実であり、すべてのことを明らかにするお方であることを悟るだろう。

²⁶ 墮落した女は墮落した男のために、墮落した男は墮落した女のために。良い女は良い男のために、良い男は良い女のために。後者は彼らが言ういかなることから免罪される。赦しと名誉ある糧が彼らを待っている。

²⁷ 信じる者たちよ、他人の家に入る時には、その持ち主の許可を求め、挨拶するまでは入ってはならない。その方があなた方にとってより良い。そうすればあなた方は用心深くなるであろう。²⁸ もし誰も家にはいない場合は、許可が与えられるまでは入ってはならない。もし立ち去るように言われたら、立ち去りなさい。その方があなた方にとってより適切である。神はあなたがなすことをよく知っておられる。²⁹ 無人の家に入ることは、それが有益な目的を果たすならば、何ら問題ない。神はあなたが公にすることすべて、そしてあなたが隠すであろうことすべてを知っている。

³⁰ 信じる男性たちに、目を伏せ、貞節を保つよう伝えなさい。それが彼らにとってより清い。神は彼らがなすことを認識しておられる。

³¹ 信じる女性たちに、目を伏せ、貞節を保ち、その装飾品を一通常現れるもの以外は—見せてはならないと伝えなさい。そしてショールを胸元に折り畳むべきである。彼女たちは、その夫、父、夫の父、息子、夫の息子、兄弟、兄弟の息子、姉妹の息子、女中、あるいはその右手が所有する者、あるいは性的欲望のない男性の付き添い人、あるいは女性について肉欲的な知識をまだ持たない子供たちにのみ、その装飾品を見せることができる。また、隠された装飾品に注意を引くために足を振ってはならない。信じる者たちよ、あなた方一人一人は神に立ち返りなさい。あなた方が成功するように。

³² あなた方の中で独身の者、そして結婚に適した男性および女性の奴隷を結婚させなさい。もし彼らが貧しいなら、神はその恵みの中から彼らに提供するであろう。神の恵みは無限であり、彼はすべてを知り尽くされる方だからである。³³ 結婚する手段を持たない者たちは、神が彼の恵みの中から十分に与えるまでは、自らを貞節に保つべきである。もしあなた方の奴隷の中に自由を求める証書を望む者がいれば、もし彼らの中に何らかの希望を見出すなら、それを彼らのために書き出し、神があなた方に与えた富の一部を彼らに与えなさい。彼女たちが貞潔を守りたいと願っている時に、あなた方が自らを豊かにするために、あなた方の〔女性〕奴隷を売春に強制してはならない。しかし、もし誰かが彼女たちを強制した場合、強制された後、神は彼女たちに対して許し深く、慈悲深いであろう。³⁴ われらはあなたに明確な啓示と、あなた以前に去って行った者たちの例と、神を畏れる者たちへの戒めを下した。

³⁵ 神は天と地の光である。彼の光は、ランプを収めた壁龕に例えることができる。壁龕の中のランプは星のような輝きを放つ水晶の中にあり、祝福されたオリーブの木から灯される。東のものでもなく、西のものでもない。^a

³⁶ (彼らは)神がその御名の想起のために高めることを許した家々で、朝晩に礼拝する。³⁷ 商売や商業によって、神の想起、礼拝の遵守、ザカートの支払いから気を散られない人々—心と目が痙攣する日を恐れて—³⁸ 彼が彼らの最良の行いに応じて彼らに報い、彼の恵みの中からさらに多くを与えるためである。神は御心である者に、限りなく与える。

³⁹ 真理を否定する者たちについては、彼らの行いは砂漠の蜃気楼

a これは多層的な意味を持つ比喻である。「光」は全能なる神の導きを象徴する。「壁龕」は人間の心であり、「ランプ」はその壁龕に守られた信仰(イマーン)である。このイメージは、さらに二つの参照点によって詳しく説明される。「星のような輝きを放つ水晶」と「光り輝く油」である。

のようなものである。喉の渴いた旅人はそれを水だと思うが、近づいてみると何もない。彼はそこで神を見出し、彼が彼にその計算を完全に支払う。神は計算において迅速である。⁴⁰ あるいは、深海の闇のようなものである。波が波の上にうねり、雲に覆われている。闇の上に闇。もし彼が手を伸ばしても、ほとんどそれを見ることができない。確かに、神がその光を差し控える者は、全く光を見出さないであろう。

⁴¹ (預言者よ)、天と地にいるすべてが、翼を広げた鳥たちと同様に、神を讃えているのを見ないか？各々が自分の祈りの様式と賛美を知っている。神は彼らがなすことすべてを完全に認識しておられる。⁴² 天と地の王国は神に属し、すべてのものは神の元に帰るであろう。

⁴³ 神がいかに雲を動かし、それらを集め、層に積み重ね、その後その真ん中から雨が注ぐのを見るだろうか？彼は空から雹を積んだ山のような(雲の)塊を降らせ、御心である者に降らせ、御心である者からはそれをそらす。彼の稲妻の閃光は、ほとんど視力を奪うかもしれない。⁴⁴ 神は夜と昼を交互にする―真に、これには洞察力のある人々への教訓がある。

⁴⁵ 神はすべての被造物を水から創造した。腹で這うものもいれば、二本足で歩くものもいるし、四本足で歩くものもいる。神は御心であるものを創造される。彼はすべてのものに対して力をお持ちである。⁴⁶ われらは真実を明確に示す啓示を下した。神は御心である者をまっすぐな道へと導かれる。

⁴⁷ 彼らは言う、「私たちは神と使徒を信じ、従います」と。しかしその後でさえ、彼らの一団は背を向けるであろう。彼らは確かに信者ではない。⁴⁸ そして彼らが神と彼の使徒のもとへと呼ばれ、彼が彼らの間を裁くために、彼らの一部は背を向ける。⁴⁹ しかしもし真実が彼らの好みに合うならば、彼らは喜んでそれを受け入れるだろう！⁵⁰ 彼らの心には病があるのか、それとも疑念に満ちているのか？あるいは彼らは、神と彼の使徒が彼らに不正を働くことを恐れているのか？真実は、彼ら自身が不義を働く者たちである。

⁵¹ 信者たちが、彼が彼らの間を裁くために神と彼の使徒のもとへと呼ばれた時の応答は、ただ「私たちは聞き、従います」である。成功するのは彼らである。⁵² 神と彼の使徒に従い、神を畏れ、彼への義務を心に留める者たちこそ、勝利するであろう。

⁵³ 彼らは、もしあなたが彼らに出陣を命じるなら、あなたに従うであろうと神にかけて堅く誓う。言え、「誓うな。あなた方の服従、誓いではない、が評価されるであろう。神はあなた方のすべての行動をよく認識しておられる。」⁵⁴ 神に従い、使徒に従いなさい。もしあなたが背を向けるなら、彼は彼に課せられたことについて責任を負い、あなたはあなたに課せられたことについて責任を負う。もしあなたが彼に従うなら、正しく導かれるであろう。使徒はメッセージを明確に伝えることだけに責任を負う。

⁵⁵ 神はあなた方の中で信じ、善行を行う者たちに約束された。彼が以前の者たちにそうしたように、確かに土地において彼らに権力を授けるであろう。そして彼が彼らのために選んだ彼らの宗教を確かに確立するであろう。彼は彼らの恐怖の状態を安心感に置き換えるであろう。彼らが私を崇拜し、私に他の誰をも結びつけないように。それでも真理を否定することを選ぶ者は誰であれ、真に反抗者である。

⁵⁶ 礼拝を守り、ザカートを払い、使徒に従いなさい。あなた方が慈悲を示されるように。⁵⁷ 真理を否定する者たちが地上でわれらの計画を挫くことができると考えてはならない。彼らの住処は地獄となるであろう。そしてそれは確かに邪惡な避難所である。

⁵⁸ 信じる者たちよ、(たとえ)あなた方が正当に所有する者たち、そして未成年の者たちでさえ、あなた方を訪ねてくる時に、三つの機会であなただけの許可を求めるべきである。朝の礼拝前、正午の暑い時に衣服を脱いだ時、そして夜の礼拝の後である。これらはあなた方のプライバシーのための三つの機会である。それ以外の時には、あなた方や彼らが互いを訪問しても、非難されることはない。このように神はあなた方に彼の啓示を明確にされる。神はすべてを知り、賢明である。⁵⁹ あなた

方の子供たちが思春期に達したら、彼らも大人たちと同じように許可を求めるべきである。このように神はあなた方に彼の啓示を詳しく説かれる。神はすべてを知り、賢明である。⁶⁰ 結婚適齢期を過ぎた年老いた女性たちについては、装飾品を露出しない限り、その上着を脱いでも非難はない。しかし、自らを保護する方が彼女たちにとってはより良いであろう。神はすべてを聞き、すべてを知り尽くされる方である。

⁶¹ 盲人、足の不自由な者、病気の者、あるいはあなた方自身が、あなた方自身の家で、あるいはあなた方の父、母、兄弟、姉妹、父方の叔父、父方の叔母、母方の叔父、母方の叔母の家で、あるいはあなたが責任を負う家で、あるいは友人の家で食事をして何の害もない。あなた方が一緒に食べたり、別々に食べたりすることに異議はない。しかし家に入る時は、互いに平安の挨拶で挨拶しなさい。それはあなたの主からの、祝福と純粋さに満ちた挨拶である。このように神はあなた方に彼の命令を詳しく説かれる。あなた方が理解できるように。

⁶² 真の信者とは、神と彼の使徒を信じる者たちだけである。彼らが共通の関心事に関して彼と共にいる時、彼に許可を求めるまでは立ち去るべきではない。あなたにそのような許可を求める者たちこそ、真に神と彼の使徒を信じる者たちである。彼らが自分の用事のために許可を求める時、あなたが望む者には誰にでもそれを与え、彼らのために神に赦しを請いなさい。神は許し深く、慈悲深い者である。

⁶³ 使徒に呼ばれることを、互いに呼ばれるのと同じように扱ってはならない。神はあなた方の中で、何らかの口実でこっそり抜け出す者たちを知っておられる。彼の命令に逆らう者たちは、何らかの災いが彼らに降りかかるか、あるいは苦痛な懲罰を受けることを用心すべきである。⁶⁴ 確かに、天と地にあるすべてのものは神に属する。神はあなた方がどのような状態にあるかをよく知っておられる。彼らが彼のもとに帰る日、彼は彼らがなしたことすべてを彼らに宣言するであろう。神はすべてのことを完全に認識しておられる。

25. 識別 (アル・フルカーン)

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ 彼のしもべに識別(クルアーン)を啓示された彼は祝福あれ。彼が諸民族に警告できるように。² 天と地の主権者であり、子をもうけたこともなく、その主権に何の仲間も持たないお方。彼こそがすべてのものを創造し、それらを正確に測り定めた。³ しかし彼らは彼以外に、何も創造せず、自らが創造され、自分自身を害することも益することもできない、死も生も復活も制御できない神々を立てた。

⁴ 真理を否定する者たちは言う、「これは彼の創作した偽造にすぎず、他の者たちが彼を助けたのだ」と。彼らが言うことは不当で偽りである。⁵ 彼らは言う、「それは単なる昔の物語であり、彼が書き留めさせたものだ。朝晩彼に口述されているのだ。」⁶ 彼らに言え、「天と地にあるすべての秘密を知る彼によって、それは啓示されたのだ。真に、彼は最も許し深く、最も慈悲深い。」

⁷ 彼らは言う、「この使徒は何者だ？食事もするし、市場も歩き回るではないか？なぜ天使が彼と共に送られ、私たちに警告しないのか？」

⁸ あるいは宝が彼に下されるべきだった、あるいは彼にはそこから食べる園があったはずだ」と。不義を働く者たちは言う、「あなたはきっと魅了された男に従っているのだ。」⁹ 彼らがあなたにどのようなことを帰しているかを見なさい。彼らは確かに道を誤り、二度と正しい道を見つけることはできない。

¹⁰ 祝福あれ、彼が望むなら、それよりも良いもの、すなわち川が流れる園や宮殿も与えることができる彼に。¹¹ 彼らは裁きの時を否定する。その時を否定する者たちのために、われらは燃え盛る火を用意した。¹² それが遠くから彼らを視認すると、彼らはその怒号とうなり声を聞くだろう。¹³ 彼らが鎖につながれて狭い空間に投げ込まれると、彼らは死を請い願うだろう。¹⁴ しかし彼らは言われるだろう、「今日、一度の死を呼ぶな、多くの死を呼べ！」¹⁵ 言え、「どちらが優れているか、これか、

それとも義しい者たちに約束された不死の楽園か？それは彼らの報いであり、彼らの行き先である。」¹⁶ そこに永遠にとどまり、彼らは望むものすべてを見出すだろう。これはあなたの主がなされた束縛する約束である。

¹⁷ 彼が彼ら全員と、彼らが彼以外に崇拜する者たちとを集める日、彼は言うだろう、「私のしもべたちを惑わしたのはお前たちか、それとも彼らは自分で迷い去ったのか？」¹⁸ 彼らは答えるだろう、「あなたに栄光あれ！私たちがあなた以外の守護者を選ぶことは正しくなかった。しかしあなたは彼らとその父たちにこの世の安楽を与えたので、彼らはあなたの訓戒を忘れ、こうして自らに破滅をもたらした。」¹⁹ [神は言うだろう]、「今、彼らはお前のすべての主張に嘘をでっち上げたのだ。そしてお前は（お前の懲罰を）避けることも、いかなる助けも得ることはできないだろう。」あなた方の中で悪を犯した者は誰であれ、われらは彼に大いなる苦しみを味わわせるであろう！

²⁰ われらはあなた以前にも、食事をせず、市場を歩き回らなかった使徒は一人も送らなかった。われらはあなた方の一部を他者にとっての試練とする。あなた方が堅固であるかどうかを見るためである。あなたの主はすべてを見る方である。

²¹ われらとの出会いを期待しない者たちは言う、「なぜ天使が私たちに下されないのか？」あるいは「なぜ私たちの主が見えないのか？」確かに、彼らは自らを傲慢に思い、すべての限界を大きく超えた。²² 天使たちを見る日に、罪人たちには何の吉報もなく、彼らは叫ぶだろう、「遠ざけろ、遠ざけろ！」²³ そしてわれらは彼らがしたことすべてを取り上げ、散らばった塵に変えるであろう。²⁴ その日、園の住人たちは最高の住居と最高の宿所を持つであろう。

²⁵ 空がその雲と共に裂け開き、天使たちが次々と階級をなして下される日、²⁶ その日、真の主権は慈悲深いお方に属し、真理を否定する者たちにとっては厳しい日となるであろう。²⁷ その日、悪を行う者は自らの手を噛みしめ、言うだろう、「メシアの道に従っていたらよかったの

に!²⁸ ああ、決してあのような者を私の仲間として選ばなければよかったのに—²⁹ 彼は私に、警告が私に届いた後でそれを忘れさせたのだ。サタンは人間の大きい裏切り者である。』³⁰ 使徒は言うだろう、「主よ、私の民は確かにクルアーンを捨てました。』³¹ このようにわれらはすべての預言者に対して、罪人の中から敵を定めた。あなたの主は導き手として、また助け手として十分である。

³² 真理を否定する者たちは言う、「なぜクルアーンは彼に一度の啓示で下されなかったのか?」われらはこのようにしてそれを下した。あなたが心を強化できるように。われらはあなたに段階的な啓示でそれを授けた。³³ 彼らが異議を唱えるたびに、われらはあなたに真実と最良の解釈をもたらすであろう。³⁴ 地獄へとまっすぐ引きずられる者たちは、住むに悪しき場所を持つであろう。彼らが正しい道から遠く逸れたからである。

³⁵ われらはモーセに書を与え、彼の兄弟ハールーンを彼の支持者として任命した。³⁶ その後、われらは言った、「われらのしるしを否定した民のところへ二人で行きなさい。」われらは彼らを完全に滅ぼした!³⁷ われらはノアの民もまた、彼らが使徒たちを拒絶した時、彼らを溺れさせ、すべての人類への例とした。われらは不義を働く者たちのために苦痛な懲罰を用意した。³⁸ アード族、サムード族、アル・ラスの民、そして彼らの間の多くの世代のためにも同様である。³⁹ 彼ら一人一人にわれらは警告を与え、彼ら一人一人を完全に滅ぼした。⁴⁰ 確かに彼らは、邪悪な雨が降り注いだ町に来たに違いない。彼らはそれを見なかったのか?それでも彼らは復活に信仰を持たない。

⁴¹ 彼らがあなたを見るたびに、彼らはあなたを嘲笑するだけである—「これこそ神が使徒として送った者なのか?」⁴² 確かに、もし私たちが彼らに[そんなに]堅く結びついていなかったなら、彼はほとんど私たちを私たちの神々から迷わせるところだった!」彼らが懲罰を見た時、誰が正しい道から最も遠く逸れたかを彼らは悟るであろう。

⁴³ 自分の欲望を神とした者を見たか?あなたはその守護者となれ

るか？⁴⁴ 彼らのほとんどが聞いたり理解したりできるとあなたは思うのか？彼らは家畜のようだ。いや、彼らはそれ以上に迷っている。

⁴⁵ あなたの主が影をいかに長くするかを見なかったか？もし彼が望んだなら、彼はそれらを一定にすることができたであろう。その後、われらは太陽を彼らのための指標として置き、⁴⁶ その後、われらはそれを徐々にわれらの元へと引き戻した。⁴⁷ 彼こそがあなたの方のために夜を衣とし、眠りを休息とし、そして昼を活動の時とした。^{a 48} 彼こそが風を彼の慈悲の先触れとして送り、われらは空から清い水を下す。⁴⁹ われらが死んだ土地に命をもたらし、われらの被造物、家畜や人間、多数の喉の渇きを潤すためである。

⁵⁰ われらは彼らに多様な方法でそれを説明した。彼らが心に留めるように。しかしほとんどは彼らの不平不満に固執する。⁵¹ もしわれらがそう望んだなら、あらゆる町に警告者を送ることができたであろう。⁵² だから真理を否定する者たちに屈してはならない。しかしこの[クルアーン]を用いて、最高の努力をもって(彼らにメッセージを伝えるために)努力しなさい。

⁵³ 彼こそが、二つの流れる水体を解放した者である。一方は甘く新鮮で、他方は塩辛く苦い。そしてそれらの間に乗り越えられない障壁を設置した。⁵⁴ 彼こそが人間を水から創造し、彼らに血縁の絆と婚姻の絆を与えた者である。あなたの主は全能である。

⁵⁵ それでも彼らは神以外に、彼らを益することも害することもできないものを崇拜する。真理を否定する者は、彼の主に対抗する(悪の)助け手である。⁵⁶ われらはあなたを吉報を伝える者、そして警告者としてのみ送った。⁵⁷ 言え、「私はこれに対するいかなる報酬もあなた方に

a この地のシステムには多くの教訓がある。夜の暗闇の後に必然的に昼の光が続くように、虚偽の後に真実が続くことも必然である。夜の眠りの後に朝に目覚めることは、死後の生における復活を象徴している。

は求めない。ただし、望む者が誰であれ、彼の主への正しい道をとるべきだという以外には。」

⁵⁸ 永遠に生き、決して死なない常生なる[神]に信頼を置き、彼の讚美をもって彼を賛美しなさい。彼は彼の僕たちの罪を完全に認識しておられる。⁵⁹ 彼こそが六日間[期間]で天と地と、それらの間にあるすべてを創造し、その後玉座に定まった—慈悲深いお方である。彼について、知識のある者に尋ねなさい。^a ⁶⁰ 彼らが「慈悲深いお方の前にひれ伏しなさい」と言われる時、彼らは尋ねる、「この慈悲深いお方とは誰だ？あなたが望むものなら何でも、その前にひれ伏すというのか？」これは彼らの嫌悪を増すばかりである。

⁶¹ 天に星座、輝くランプ、そして光を放つ月を置かれた彼は崇高である—⁶² 彼こそが夜と昼を互いに引き継がせた者であり、心に留め、感謝する者たちへのしるしである。

⁶³ 慈悲深いお方の真の僕たちとは、謙虚に地上を歩み、無知な者たちに話しかけられても、「平安」と答える者たちである。⁶⁴ そして夜をひれ伏し、主の前に立って過ごす者たち。⁶⁵ 彼らは言う、「私たちの主よ、私たちから地獄の懲罰を遠ざけてください。その懲罰は恐ろしい責め苦だからです。⁶⁶ 確かに、それは邪悪な住処であり、邪悪な住居です。」⁶⁷ 彼らは贅沢でもけちでもなく、その中間で均衡を保つ者たち。

⁶⁸ 神以外のいかなる神も決して呼びかけず、神が神聖とした命を、そうする権利がある場合を除き奪わず、姦通を犯さない者たちである。そのようなことを行う者は誰であれ、懲罰に直面するであろう。⁶⁹ 彼は復活の日に二倍の苦しみを受け、永遠に恥辱の中に住むであろう。⁷⁰ ただし、悔い改めて信じ、善行を行う者たちを除く。神はそのような人々の悪

a ここで言う「六日間」とは神の六日間を意味する。人間の言葉で言えば、六つの段階、あるいは六つの期間と呼ぶことができる。宇宙が六つの段階で創造されたということは、それがよく計画された方法で行われたことを示している。計画と特定の取り決めに基づいて存在するものはいかなるものも無益ではない。

行を良いものに変えるであろう。彼は最も許し深く、最も慈悲深い者である。⁷¹ 悔い改めて善行を行う者は、真に神に立ち返ったのである。

⁷² そして偽りの証言をしない者たち、そして軽薄なことに動く時も威厳をもって通り過ぎる者たち。⁷³ 彼らは主のしるしを思い出される時、盲目な目と耳を向けない者たちである。⁷⁴ 彼らは言う、「主よ、私たちの妻と子供たちに喜びを与え、私たちを義しい者たちの模範としてください。」

⁷⁵ これらの者たちこそ、その堅固さのゆえに、樂園の高層邸宅で報われるであろう。彼らはそこで歓迎の挨拶と平安の言葉で迎えらるであろう。⁷⁶ そこに彼らは永遠にとどまるであろう。祝福された住居であり、祝福された安息の場所である。⁷⁷ 言え、「もしあなた方が彼に呼びかけないなら、私の主があなた方を気にかけるだろうか。あなた方は確かに真理を拒絶したのであり、彼の懲罰はあなた方を捕らえる運命にあるのだ。」

26. 詩人たち（アッ・シュアラー）

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ ター・スィーン・ミーム。

² これらは物事を明確にする書の節々である。³ 彼らが信じないために、あなたが悲しみで自らを滅ぼすかもしれない。⁴ しかしもしわれらがそう望んだなら、われらは天から彼らにしるしを下すことができ、彼らの頭は全く謙虚にその前に垂れ下がっただろう。⁵ 慈悲深いお方からのいかなる新しい警告が彼らに来るたびに、彼らは常にそれに背を向ける。

⁶ 彼らは確かにメッセージを拒絶した。しかし彼らが嘲笑したことの真実は、間もなく彼らにはっきりするだろう。

⁷ 彼らは大地と、われらがその中で成長させた有益な種類の物を

見ないのか?」⁸ 確かにその中にはしるしがあるが、彼らのほとんどは信じようとししない。⁹ 真に、あなたの主は力強く、慈悲深い者である。

¹⁰ あなたの主がモーセに呼びかけ、「悪を行う民、¹¹ ファラオの民のところへ行け。彼らは神を畏れないのか?」と言った時。¹² モーセは答えた、「私の主よ、彼らが私を拒絶することを恐れます。¹³ そして私の胸は狭く、私の舌は流暢ではありません。だからハールーンも送ってください。¹⁴ さらに、彼らは私を犯罪で告発しており、彼らが私を殺すかもしれないことを恐れます。」

¹⁵ 神は言った、「いや、決して。あなた方二人ともわれらのしるしと共に去りなさい。われらはあなた方と共にいて、聞いて[あなた方の呼びかけを]いるであろう。¹⁶ ファラオのところへ、あなた方二人とも行き、言いなさい、『私たちは万有の主からの使徒である。¹⁷ イスラエルの子らを私たちと共に行かせよ!』と。」¹⁸ ファラオはモーセに言った、「私たちがお前を子供の頃から私たちの中で育てたではないか?そしてお前は人生の数年間を私たちと共に過ごした。¹⁹ それでもお前はあの行為を犯したのだ。確かにあなたは恩知らずの一人である。」

²⁰ モーセは答えた、「私はそれを迷った者の一人であった時に行いました。²¹ そして私はあなた方を恐れてあなた方から逃げました。その後、私の主は私に知恵を授け、私を使徒の一人となさいました。²² そしてこれがあなた方が私を嘲る恵みなのか—あなた方がイスラエルの子らを奴隷にしたことか?」²³ ファラオは言った、「これは何だ?万有の主だと?」²⁴ モーセは言った、「天と地と、それらの間にあるすべてのものの主です。もしあなたが納得するなら。」²⁵ ファラオは周りの者たちに言った、「聞いたか?」²⁶ モーセは続けた、「彼こそがあなた方の主であり、あなた方の父祖たちの主である。」²⁷ ファラオは言った、「あなた方に送られたこの使徒はきっと憑かれている!」²⁸ モーセは言った、「彼こそが東と西の主であり、それらの間にあるすべてのものの主です。もしあなたが理解するなら。」²⁹ ファラオは言った、「もしお前が私以外の神を立てるなら、お前を牢獄に投げ込むであろう。」³⁰ そしてモーセは尋ねた、「

たとえ明確なしるしを示してもか?」³¹ ファラオは言った、「ならばそれを見せよ、もしお前が真実を言うのなら!」³² するとモーセは杖を投げ落とし、突然それは蛇のように現れ、はっきりと見えた。³³ そして彼は手を取り出すと、見る者たちには(輝くように)白く見えた。³⁴ ファラオは周りの首長たちに言った、「確かにこの男は熟練した魔術師だ。³⁵ 彼はその魔術であなた方を土地から追い出そうとしている。さて、どう助言する?」

³⁶ 彼らは言った、「彼と彼の兄弟をしばらく待たせ、都市に使者を送り、³⁷ 熟練した魔術師をすべてあなたのもとへ連れてこさせるべきだ。」³⁸ そこで魔術師たちは定められた日に集められ、³⁹ そして人々は言われた、「あなた方も集まるか、⁴⁰ もし魔術師たちが勝者であれば、私たちは彼らに従うだろう。」⁴¹ 魔術師たちが来た時、彼らはファラオに尋ねた、「もし私たちが勝者であれば、報いはありますか?」⁴² 彼は答えた、「もちろんだ。その場合、お前たちは私の側近となるだろう。」

⁴³ モーセは魔術師たちに言った、「あなた方が投げ落とすものを何でも投げ落としなさい。」⁴⁴ そこで彼らは縄と杖を投げ落とし、「ファラオの名誉にかけて、私たちはきっと勝つでしょう」と言った。⁴⁵ その後モーセは杖を投げ落とすと、それは彼らが作り出したものをすべて飲み込んだ。⁴⁶ 魔術師たちはひれ伏した。⁴⁷ そして言った、「私たちは万有の主を信じます、⁴⁸ モーセとハールーンの主を。」

⁴⁹ ファラオは言った、「私が許可を与える前に彼を信じたのか?彼はお前たちに魔術を教えた主人に違いない。しかしお前たちは見るだろう。私はお前たちの手足を互い違いに切り落とし、お前たち全員を十字架にかけよう。」⁵⁰ 彼らは言った、「何の害もない。私たちの主のもとへ私たちは帰るでしょう。」⁵¹ 私たちの主が私たちを赦してくださることを願います。私たちは信じる者たちの最初であるからです。」

⁵² その後、われらはモーセにわれらの意志を啓示した。「夜のうちに私の僕たちと共に出発しなさい。あなた方はきっと追跡されるであろうから。」⁵³ そしてファラオはすべての都市に使者を送った。⁵⁴ 「彼らは」と彼らは言った、「ごく小さな集団にすぎない—⁵⁵ そして私たちを激怒

させた—⁵⁶ 私たちは大勢で警戒している軍勢だ。』⁵⁷ そこでわれらは彼らをその園と泉から、⁵⁸ その宝物と高貴な住居から去らせた—⁵⁹ そしてわれらはイスラエルの子らをこれらの恵みの相続者とした。

⁶⁰ ファラオと彼の民は日の出と共に彼らを追跡し、⁶¹ 二つの集団が互いを視認した時、モーセの仲間たちは言った、「私たちはきっと捕らえられるだろう。」⁶² モーセは答えた、「いや、私の主が私と共にいる。そして彼は私を導いてくださるだろう。」⁶³ その後、われらはモーセに杖で海を打つよう命じた。すると海は分かれ、各々の部分は巨大な山のようなものとなった。⁶⁴ その間にわれらは他の者たちをその場所へ近づかせた。⁶⁵ われらはモーセと彼と共にいた者たちすべてを救い出し、⁶⁶ その後、他の者たちを溺れさせた。⁶⁷ 確かにその中にはしるしがあるが、彼らのほとんどは信じようとしな。 ⁶⁸ 真に、あなたの主は力強く、慈悲深い者である。

⁶⁹ 彼らにアブラハムの物語を語りなさい。⁷⁰ 彼がその父と民に尋ねた時、「あなた方が崇拝しているそれは何だ?」⁷¹ 彼らは言った、「私たちは偶像を崇拝しており、それにしがみつきの続けるだろう。」⁷² 彼は尋ねた、「彼らはあなたが呼びかける時、あなたの声を聞か?」⁷³ 彼らはあなたを助けるか、あるいは害するか?」⁷⁴ 彼らは答えた、「しかし私たちは父祖が同じことをしているのを見つけました。」

⁷⁵ アブラハムは言った、「あなた方は、あなた方が崇拝してきたものについて、真剣に考えたことがあるか?」⁷⁶ あなたとあなた方の父祖—⁷⁷ 彼らは皆私の敵だ。万有の主はそうではない。⁷⁸ 私を創造されたのは彼である。彼こそが私を導く。⁷⁹ 私に食物と飲み物を与える。⁸⁰ 私が病気の時、私を癒す。⁸¹ 私を死に至らせ、私を生き返らせる。⁸² そして私が(裁きの)日に、私の過ちを赦してくださることを願う方だ。

⁸³ 私の主よ、私に知恵を授けてください。私を義しい者たちと結びつけてください。⁸⁴ 後世に私の良い名を与えてください。⁸⁵ そして私を至福の園の相続人の一人としてください。⁸⁶ そして私の父を赦してください。彼は迷った者の一人だからです。⁸⁷ そしてすべての人々が復活

する日に私を辱めないでください。⁸⁸ 富も息子も何の役にも立たない日、⁸⁹ そして健全な心をもって神のもとに来る者だけが救われる日だ。」

⁹⁰ 樂園が神を畏れる者たちに近づけられる時、⁹¹ そして地獄が道に迷った者たちに現される時、⁹² 彼らは尋ねられるだろう、「あなた方が崇拝していた者たちはどこにいるのか？」⁹³ 神以外に？彼らはあなた方を助けることができるのか、あるいは自分自身を助けることさえできるのか？」⁹⁴ その時、彼らも道に迷った者たちも、地獄にまっさかさまに投げ込まれるだろう。⁹⁵ そしてサタンの軍団も、皆一緒に。⁹⁶ 彼らはその中で互いに議論し、言うだろう、⁹⁷ 「私たちは明らかに迷っていた。⁹⁸ 万有の主とあなた方を同等にした時に。⁹⁹ 私たちを迷わせたのは悪を行う者たちだった。¹⁰⁰ そして私たちには今、執り成し手はいない。¹⁰¹ そして誠実な友もない。¹⁰² もし私たちが世に戻ることができたら、信者たちの中にいたかったのに。」¹⁰³ その中には確かにしるしがあるが、彼らのほとんどは信じようとしない。¹⁰⁴ 確かに、あなたの主は力強く、慈悲深い者である。

¹⁰⁵ ノアの民もまた使徒たちを拒絶した。¹⁰⁶ 彼らの兄弟ノアが彼らに言った時、「あなた方は神を畏れないのか？」¹⁰⁷ 私はあなた方にとって信頼できる使徒である。¹⁰⁸ 神を畏れ、私に従いなさい。¹⁰⁹ 私はあなた方からいかなる報いも求めない。私の唯一の報いは万有の主のもとにある。¹¹⁰ だから神を畏れ、私に従いなさい。」¹¹¹ 彼らは答えた、「私たちの追隨者が最も卑しい者たちであるのに、私たちはあなたを信じるというのか？」¹¹² 彼は言った、「彼らの行いについて私に何がわかるというのか？」¹¹³ 私の主のみが彼らに責任を問うことができる—もしあなたが理解するなら—¹¹⁴ 私は信じる者たちを追い払うつもりはない。¹¹⁵ 私は単なる明確な警告者である。」

¹¹⁶ 彼らは言った、「ノアよ、もしあなたがやめないなら、石打ちにされるぞ。」¹¹⁷ ノアは言った、「私の主よ、私の民は私を拒絶した。¹¹⁸ それゆえ、私と彼らの間で決定的に裁きを下してください。そして私と私と共にいる信者たちを救ってください。」¹¹⁹ そこでわれらは彼と、積み荷

のある箱舟にいた者たちを救い、¹²⁰ 残りの者たちを溺れさせた。¹²¹ その中には確かにしるしがあるが、彼らのほとんどは信じようとしない。¹²² 確かにあなたの主は力強く、慈悲深い者である。

¹²³ アードの民もまた使徒たちを拒絶した。¹²⁴ 彼らの兄弟フードが彼らに言った時、「あなた方は神を畏れないのか？」¹²⁵ 私はあなた方にとって信頼できる使徒である。¹²⁶ だから神を畏れ、私に従いなさい。¹²⁷ 私はあなた方からいかなる報いも求めない。私の報いは万有の主のもとにあるだけだ。¹²⁸ あなた方はすべての高い場所に虚栄の記念碑を建て、¹²⁹ 永遠に生きることを願って城を建てているのか？¹³⁰ あなた方が誰かに手をかける時、暴君としてそうするのだ。¹³¹ だから神を畏れ、私に従いなさい。¹³² あなた方が知っているすべてのものであなた方を助けてくださった彼を畏れなさい——¹³³ 彼はあなた方に家畜と息子たちを受け、¹³⁴ そして園と泉を——¹³⁵ 確かに、私はあなた方のために恐ろしい日の責め苦を恐れる。」

¹³⁶ 彼らは答えた、「あなたが説教しようとしまいと、私たちには何の違いもない。¹³⁷ これは単なる昔からの習慣にすぎない。¹³⁸ そして私たちは罰せられることはない。」¹³⁹ そこで彼らは彼を拒絶した。そしてわれらは彼らを滅ぼした。その中には確かにしるしがあるが、彼らのほとんどは信じようとしない。¹⁴⁰ 確かにあなたの主は力強く、慈悲深い者である。

¹⁴¹ サムード族もまた使徒たちを拒絶した。¹⁴² 彼らの兄弟サーリフが彼らに言った時、「あなた方は神を畏れないのか？」¹⁴³ 真に、私はあなた方にとって信頼できる使徒である。¹⁴⁴ だから神を畏れ、私に従いなさい。¹⁴⁵ これに対して私はあなた方からいかなる報いも要求しない。私の報いは万有の主のもとにあるだけだ。¹⁴⁶ あなた方は永遠に安全に残されるところでも思うのか——¹⁴⁷ 園と泉の真ん中で、¹⁴⁸ そして穀物畑と、果実がたわわに実るヤシの木々に囲まれて——¹⁴⁹ 山の中に家々を彫り出し、その技術を誇っているのか？¹⁵⁰ だから神を畏れ、私に従いなさい。

¹⁵¹ 度を越した行為にふける者たちの命令に従ってはならない。¹⁵² 物事を正す代わりに、土地に腐敗を広める者たちに。」

¹⁵³ 彼らは答えた、「確かにあなたは憑かれている。¹⁵⁴ あなたは私たちと同じ単なる人間だ。もしあなたが真実を言うなら、私たちにしるしを見せなさい。」¹⁵⁵ 彼は言った、「ここに雌ラクダがいる。彼女には飲水の番があり、あなた方にもある。それぞれ定められた日に。¹⁵⁶ だから彼女を害してはならない。さもなくば恐ろしい日の懲罰があなた方に降りかかるだろう。」¹⁵⁷ しかし彼らは彼女の臄を切った。そして後悔した。¹⁵⁸ そこで懲罰が彼らに下った。その中には確かにしるしがあるが、彼らのほとんどは信じようとしな。い。¹⁵⁹ あなたの主は力強く、慈悲深い者である。

¹⁶⁰ ロトの民もまた使徒たちを拒絶した。¹⁶¹ 彼らの兄弟ロトが彼らに言った時、「あなた方は神を畏れないのか？」¹⁶² 私はあなた方にとって信頼できる使徒である。¹⁶³ だから神を畏れ、私に従いなさい。¹⁶⁴ これに対して私はあなた方からいかなる報いも要求しない。私の報いは万有の主のもとにあるだけだ。¹⁶⁵ あなた方は、すべての人々の中で、男性に近づき、¹⁶⁶ そしてあなたの主があなた方のために創造された妻たちを放っておくのか？あなた方はすべての境界を侵害する民である。」

¹⁶⁷ 彼らは言った、「もしあなたがやめないなら、ロトよ、きっと追放されるぞ。」¹⁶⁸ 彼は言った、「私はあなた方のやり方を嫌悪する者の一人である。¹⁶⁹ 私の主よ、私と私の家族を彼らの悪行から救ってください。」¹⁷⁰ われらは彼と彼の家族全員を救った。¹⁷¹ 後ろに残った年老いた女性を除いては。¹⁷² その後、われらは残りを完全に滅ぼし、¹⁷³ 彼らの上に（破壊の）雨を降らせた—警告された者たちに降った雨はいかに邪悪であったことか。¹⁷⁴ 確かにその中にはしるしがあるが、彼らのほとんどは信じようとしな。い。¹⁷⁵ あなたの主は力強く、慈悲深い者である。

¹⁷⁶ 森の住民たちもまた使徒たちを拒絶した。¹⁷⁷ シュアイブは彼らに言った、「あなた方は神を畏れないのか？」¹⁷⁸ 私はあなた方にとって信

頼できる使徒である。¹⁷⁹ だから神を畏れ、私に従いなさい。¹⁸⁰ これに対して私はあなた方からいかなる報いも求めない。私の報いは万有の主のもとにあるだけだ。¹⁸¹ 完全に量り、他者に損失を与えてはならない。¹⁸² 正しい秤で量りなさい。¹⁸³ 人々から正当なものを欺し取ってはならない。そして土地に腐敗を広げてはならない。¹⁸⁴ あなた方とあなた方以前の者たちを創造された彼を畏れなさい。」

¹⁸⁵ 彼らは答えた、「あなたは憑かれている。¹⁸⁶ あなたは私たちと同じ単なる人間だ。私たちは確かにあなたが嘘つきだと思う。¹⁸⁷ だからもしあなたが真実を言うなら、天の断片を私たちの上に落とせ。」¹⁸⁸ 彼は言った、「私の主はあなた方のすべての行動を完全に認識しておられる。」¹⁸⁹ 彼らは彼を拒絶し、その後、影に覆われた日の懲罰に苦しまなければならなかった。それは実に恐ろしい日の懲罰であった。¹⁹⁰ 確かにその中にはしるしがあるが、彼らのほとんどは信じようとしなない。¹⁹¹ あなたの主は力強く、慈悲深い者である。

¹⁹² これは確かに万有の主からの啓示である。¹⁹³ 忠実な霊がそれをもたらし、¹⁹⁴ あなたの心に下した。あなたが警告者となるように。¹⁹⁵ 明確なアラビア語のスピーチで。¹⁹⁶ 確かに、それは古代の聖典に予言されている。¹⁹⁷ イスラエルの子らの学識者がこれを[真実であると]認識していることは、彼らにとって十分な証拠ではないか？

¹⁹⁸ もしわれらがそれを非アラブ人の誰かに啓示し、¹⁹⁹ 彼がそれを彼らに朗読したとしても、彼らはそれを信じなかっただろう。²⁰⁰ われらはこうして真理の否定を罪人たちの心に入り込ませた。²⁰¹ 彼らは厳しい懲罰を見るまでは信じないだろう。²⁰² それは彼らが予期しない時に突然彼らに降りかかるだろう。²⁰³ その時彼らは叫ぶだろう、「もう少し猶予はもらえないだろうか？」

²⁰⁴ 彼らはわれらの懲罰を急ぎたいのか？²⁰⁵ 考えなさい！もしわれらが彼らに数年間生を楽しませ、²⁰⁶ その後約束された懲罰が彼らに降りかかったとしたら、²⁰⁷ 彼らの過去の楽しみが何の役にも立つだろうか？²⁰⁸ われらは、警告を与える使徒を送らずに町を滅ぼしたことは

一度もない。²⁰⁹ われらからの戒めとして。われらは決して不正ではない。²¹⁰ 悪魔たちがクルアーンをもたらしたのではない。²¹¹ 彼らはそれに値しないし、それに能力もない。²¹² 確かに彼らはそれを盗み聞くことを禁じられている。

²¹³ だから神以外のいかなる神も呼びかけてはならない。さもなくば彼の懲罰を招くだろう。²¹⁴ あなたの最も近い親族に警告しなさい。²¹⁵ そしてあなたに従う信者たちに親切と愛情を示しなさい。²¹⁶ もし彼らがあなたに逆らうなら、言え、「私はあなた方がなすことについて何の責任も負わない。」²¹⁷ 力強く、慈悲深い彼に信頼を置きなさい。²¹⁸ 彼があなたが(礼拝のために)立ち上がるのを見る者であり、²¹⁹ あなたがひれ伏す者たちの間で動くのを見る者である。²²⁰ 彼はすべてを聞き、すべてを知り尽くされる方である。

²²¹ 悪魔たちが誰に降りてくるか、あなたに教えようか?²²² 彼らはすべての嘘つきの罪人に降りてくる。²²³ 彼らに耳を傾ける者たちに。そして彼らのほとんどは嘘つきである。²²⁴ そして詩人たちについては—彼らに従うのは迷った者たちである。²²⁵ 彼らがいかにあらゆる谷をさまようのか、²²⁶ 行っていないことを説教しているのか、見ないか?²²⁷ 真の信者たちで善行を行い、熱心に神を思い出し、不当に扱われた後でしか身を守らない者たちはそうではない。不義を働く者たちは間もなく、彼らの事態がいかに悪い方向へ向かうかを知るであろう。

27. 蟻 (アン・ナムル)

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ ター・スイーン。

これらはクルアーンの節々であり、物事を明確にする書である。² それは導きであり、信者たちへの吉報である。³ 定期的に礼拝を捧げ、義務的な施しを払い、来世に堅固な信仰を持つ者たちへ。⁴ われらは来世を

信じない者たちに、その行いが自分たちには良いように見えるようにした。それで彼らは盲目的にさまよう。⁵ 彼らこそが最悪の懲罰を受け、来世では最大の失われた者たちとなるであろう。⁶ あなたは全知全能の彼からこのクルアーンを受けたのだ。

⁷ モーセが家族に言った時のことを語りなさい、「私は火を見た。そこからあなた方に知らせを持ってくるか、あなた方が暖をとるための燃え木を持って来るだろう。」⁸ 彼がそれに近づくと、声が呼びかけた、「この火の近くにいる者、そしてその周りにいる者は祝福あれ！栄光は万有の主、神にこそ！」

⁹ おおモーセよ、私は神、力強く、賢明な者である。¹⁰ あなたの杖を投げ落としなさい。」しかしそれが蛇のように動くのを見た時、彼は振り返って逃げた。「モーセよ、恐れるな！使徒たちは私の前では何の恐れも持つ必要はない。¹¹ 悪を行い、その後悪の後で善を行う者たちについては、私は最も許し深く、最も慈悲深い者である。¹² 今、手をマントの中に、胸元に入れてみよ。何の染みもなく、（輝くように）白く出てくるであろう。これがファラオと彼の民のための九つのしるしの一つとなるであろう。彼らは真に反抗的な民であるから。」¹³ しかしわれらのしるしが明確にすべて彼らにきた時、彼らは言った、「これは明らかに魔術だ！」¹⁴ そして彼らは不当に、そして傲慢にそれらを拒絶し続けたが、心の中ではその真実を確信していた。ならば、悪を行う者たちの運命がいかに邪悪であったかを見なさい。

¹⁵ われらはダビデとソロモンに知識を授けた。そして彼らは二人とも言った、「われらの多くの信じる僕たちの上に私たちを高めてくださった神に称賛あれ。」¹⁶ ソロモンはダビデの後を継いだ。彼は言った、「私の民よ、私たちは鳥の言葉を教えられ、すべての良いものを授けられたことを知りなさい。確かにこれは神の明白な恵みである。」

¹⁷ ソロモンのジンの軍団、人間、そして鳥たちは皆、彼の前に集められ、戦闘態勢で整列していた。¹⁸ そして彼らが蟻の谷に来ると、一匹の蟻が言った、「蟻たちよ！あなたたちの住居に入りなさい。ソロモンと

彼の軍勢がうっかりあなたたちを踏み潰さないように。」¹⁹ ソロモンはその言葉に満面の笑みを浮かべ、言った、「主よ、私に、あなたが私と私の両親に授けた祝福に感謝し、あなたを喜ばせる善行を行うよう靈感を与えてください。そしてあなたの慈悲によって、私をあなたの義しい僕たちの中に含めてください!」

²⁰ その後ソロモンは鳥たちを視察し、言った、「なぜヤツガシラが見えないのだ?では彼は不在なのか?」²¹ 彼がその不在の理由を私に説明しない限り、きっと彼を厳しく罰するか、処刑を命じるであろう。」²² しかし彼は間もなく現れ、言った、「あなたは知らなかったことを私は学びました。信頼できる知らせと共にシバからあなたのところに来ました。」²³ 私は彼らを統治する女性を見つけました。彼女はあらゆるものを与えられており、強力な玉座を持っています。²⁴ 私は彼女と彼女の民が神の代わりに太陽を崇拝しているのを見つけました。サタンは彼らの行いを彼らにとって公正に見せ、こうして彼らを正しい道からそらしたので、彼らは導かれないでしょう。²⁵ 彼らは、天と地に隠されたものを生み出し、あなたが隠すものも明らかにするものも両方知っている神を崇拝すべきではないだろうか?」²⁶ 彼こそが神である。彼以外に神はいない、力強い玉座の主である。」

²⁷ ソロモンは言った、「あなたは真実を語ったのか、それとも嘘つきなのか、間もなくわかるだろう。」²⁸ 私のこの手紙を持って行き、彼らの前に置きなさい。それから彼らから退き、彼らがどう応えるか見なさい。」²⁹ シバの女王は言った、「おお評議会の者たちよ、私に名誉ある手紙が届けられた。」³⁰ それはソロモンからのものである。こう書かれている。『慈悲深く、慈愛あまねき神の御名において、³¹ 私より偉くなろうとしてはならない。完全に服従して私のところへ来なさい。』³² さて、評議会の者たちよ、これについて私に助言しなさい。私はあなた方と相談するまでは、いかなる事柄も決定しない。」³³ 彼らは言った、「私たちは強く、戦いにおける私たちの腕前は偉大です。しかし決定はあなたの手にあるので、何を命じるかご考慮ください。」³⁴ 彼女は言った、「確かに、強力

な王が国を侵略する時、彼らはそれを略奪し、その最も高貴な住民を辱める—これらの男たちも同じことをするだろう—³⁵ しかし私は彼らに贈り物を送り、私の使者たちがどのような返事を持って帰ってくるか見てみよう。」

³⁶ そこで(使者が)ソロモンのもとに来た時、彼は言った、「何だと! 私に富を差し出すというのか?しかし神が私に与えたものは、彼があなた方に与えたものよりも良い。それでもあなた方は贈り物を喜ぶのか。³⁷ 彼らのもとへ戻りなさい。私たちは彼らが決して耐えることのできない軍勢と共に必ず彼らを襲い、彼らをその土地から追放し、辱め、屈服させるであろう!」

³⁸ ソロモンはその後言った、「おお評議会の者たちよ、彼らが服従して私のもとに来る前に、誰が彼女の玉座を私のもとに持ってこられるか?」³⁹ ジンの悪魔の一人が言った、「あなたが席から立ち上がる前に、私がそれをあなたのもとに持ってきましょう。私はそれを行うのに十分な力と信頼性を持っています。」⁴⁰ しかし書に関する知識を持つ者の一人が言った、「私は瞬く間にそれをあなたのもとに持ってきましょう。」ソロモンがそれが彼の前に置かれているのを見た時、彼は叫んだ、「これは私の主の恵みによるものです。私が感謝するか恩知らずであるかを試すためです。感謝する者は誰であれ、彼自身の利益のためである。そして恩知らずである者は誰であれ、確かに私の主は自給自足であり寛大です。」

⁴¹ 彼は言った、「彼女の玉座を偽装しなさい。彼女がそれに気づくかどうか見よう。」⁴² 彼女がソロモンのところに来た時、彼女は尋ねられた、「あなたの玉座はこれのようですか?」彼女は答えた、「同じように見えます。そして私たちはこれ以前に(あなたの力の)知識を与えられており、私たちはすでに服従しています。」⁴³ そして彼女が神以外に崇拜していたものは、彼女を(信じることから)妨げていた。彼女は不信の民から出た者であったからだ。⁴⁴ その後、彼女は宮殿に入るよう命じられた。しかし彼女がそれを見ると、それは深い水たまりだと思い、足元を露

わにした。しかしソロモンは、「それはガラス張りの宮殿にすぎません」と説明し、彼女は言った、「私の主よ、私は自らを不義に陥れました。今、私はソロモンと共に、万有の主である神に服従します。」

⁴⁵ サムードの民には彼らの兄弟サーリフを送った。彼は言った、「神以外は誰も仕えるな。」しかし彼らは互いに争う二つの派閥に分裂した。⁴⁶ 彼は彼らに促した、「おお私の民よ、なぜあなた方は良いことよりも悪を急ぎたいのか？なぜ神に赦しを請わないのか、そうすれば慈悲を示されるかもしれないのに？」⁴⁷ 彼らは言った、「私たちはあなた方とあなたの追随者を不吉な前兆と見なす。」彼は答えた、「いや、あなた方の不吉な前兆は神のもとにある。真実は、あなた方は試されている民なのだ。」

⁴⁸ 都市には九人の男がいて、土地に腐敗を広め、改心しようとしなかった。⁴⁹ 彼らは言った、「神の名にかけて誓約しよう。サーリフとその家族を夜襲し、彼の保護者（報復を要求する者）には、『彼らが殺された時、私たちはその場にいませんでした。私たちは真実を言っています』と言おう。」⁵⁰ このようにして彼らは計画を練り、われらもまた計画を練ったが、彼らはそれに気づかなかった。⁵¹ その時、彼らの計画の結果がどうであったかを見なさい。われらは彼らと彼らの民を完全に、すべて滅ぼした。⁵² 彼らの悪行のゆえに、彼らの家々は廃墟となっている—その中には確かに知識を持つ人々へのしるしがある—⁵³ そしてわれらは神を信じ、畏れた者たちを救った。

⁵⁴ ロトのことも語りなさい。彼は彼の民に言った、「あなた方は知りながら悪事を犯すのか？⁵⁵ 女性の代わりに男性を欲望するのか？確かに、あなた方は深く無知な民である。」⁵⁶ 彼の民が出した唯一の答えは、「ロトとその家族を町から追い出せ。彼らは自らを清いと見せかける民だ」であった。⁵⁷ そこでわれらは彼と彼の家族を救い出した—彼の妻を除く。彼女は残る者の一人となるようわれらが定めた—⁵⁸ そしてわれらは彼らに豪雨を降らせた。その雨は警告された者たちにとって、なんとという恐ろしいものであったのか！⁵⁹ 言え、「すべての称賛は神にこそ。

そして彼が選んだ彼のしもべたちの上に平安あれ。神の方が優れているか、それとも彼らが彼に配するものが優れているか？

⁶⁰ 天と地を創造し、あなたのために空から水を下し、それによってわれらが豊かな園を成長させる—あなた方は決してそのような木々をそこで成長させることはできない—神以外の別の神がいるのか？いや、決して。しかし彼らは彼に他の者を同等視する民である。⁶¹ 地を住むに安定した場所にしたのは誰か？その中を河を流させたのは誰か？その上に山々を置き、二つの海の間に障壁を置いたのは誰か？神以外の別の神がいるのか？確かに、彼らのほとんどは知識がない。

⁶² 苦しむ者が彼に呼びかける時、彼に応え、その苦しみを取り除き、あなた方を地の相続者とするのは誰か？ならば、神以外に神がいるのか？あなた方はなんとわずかしか注意を払わないことか！⁶³ 陸と海の暗闇の中であなた方を導くのは誰か？彼の慈悲の先触れとして風を送るのは誰か？ならば、神以外に神がいるのか？彼らが彼に配するものの上に、神は崇高である。⁶⁴ 創造を開始し、その後それを再生し、天と地からあなたに糧を与えるのは誰か？ならば、神以外に神がいるのか？「言え、「もしあなたが真実を言うなら、証拠を出しなさい！」

⁶⁵ 言え、「天にも地にも、不可視の知識を持つ者は神以外にはいない。」彼らはいつ再び起こされるかを知らない。⁶⁶ 確かに、来世に関する彼らの知識は真実には程遠い。彼らはその現実について[しばしば]疑っている。実際、彼らはそれに対して盲目である。⁶⁷ 真理を否定する者たちは言う、「私たちが父祖のように塵になったら、再び生き返らされるのか？⁶⁸ 私たちと私たちの父祖は以前これについて約束されていた。これらは単なる古い物語にすぎない。」⁶⁹ 言え、「地上をさまよい、罪人たちの末路がどうであったかを観察しなさい。」

⁷⁰ 彼らのことで悲しんだり、彼らの企みで苦悩したりしてはならない。⁷¹ 彼らは尋ねる、「もしあなたの言うことが真実なら、この約束はいつ果たされるのか？」⁷² 言え、「あなた方が急がせようとしていることの一部は、すぐ後ろに迫っているかもしれない。」⁷³ 真に、あなたの主は人

類に豊かな恵みを与えるが、彼らのほとんどは感謝しない。⁷⁴ 主は彼らが心に隠すものも、彼らが明かすものも完全に認識しておられる。⁷⁵ 天にも地にも隠されたものは一つもなく、明確な書に記録されていないものはない。

⁷⁶ このクルアーンは、イスラエルの子らが意見を異にする多くのことについて彼らに説明する。⁷⁷ 確かにそれは導きであり、信者たちへの祝福である。⁷⁸ 確かにあなたの主は彼の知恵をもって彼らの間を裁かれるであろう—彼は全能であり、すべてを知り尽くされる方である—⁷⁹ だから神に信頼を置きなさい。あなたは確かに明白な真実の道にいる。⁸⁰ あなたは死者に聞かせることはできないし、耳の聞こえない者たちがあなたの呼びかけに背を向けた時に彼らに聞かせることもできない。⁸¹ また盲人をその誤りから導き出すこともできない。あなたに聞かせることができるのは、われらの啓示を信じ、われらに服従する者たちだけである。

⁸² 神の言葉が彼らに対して正当に実行される時、われらは地からダッバーハ^aを生み出し、それは人類がわれらのしるしに真の信仰を持っていなかったことを彼らに告げるであろう。⁸³ その日、われらはわれらの啓示に対して嘘を叫んだ者たちすべてを、あらゆる共同体から集め、彼らはグループに分けられるだろう。⁸⁴ そして、彼らが到着すると、彼は言うだろう、「あなた方は私の啓示を否定したのか、それらについて適切な知識を持っていなかったにもかかわらず？それともあなた方は何をしていたのか？」⁸⁵ 彼らが不義を行ったため、裁きが彼らに対し

a 全能なる神が現在の地球の歴史を終焉させると決定を下す時、最後の段階を告げるためにいくつかの並外れたしるしが現れるだろう。これらのしるしの中にはダッバーハの出現があるだろう。人間を通して伝えられ、人々が受け入れなかったメッセージは、ダッバーハによって告げられるだろう。現代の通信システムがここでダッバーハとして暗示されている可能性が高い。これは試験期間の始まりではなく、終わりを告げる鐘となるだろう。

て下され、彼らは言葉を失うであろう。⁸⁶ 彼らは、われらが彼らが休めるように夜を作り、彼らに光を与えるために昼を作ったことを見ないのか？そこには信じる人々への確かなしるしがある。

⁸⁷ ラッパが吹かれる日、天にいる者も地にいる者も誰であれ、神が免れさせたいと望む者を除いて、恐怖に打たれるであろう。すべては完全に謙虚に彼のもとに来るであろう。⁸⁸ あなたは山々を見て、それらがしっかりと固定されていると思うだろう。しかしそれらは雲が過ぎ去るように過ぎ去るであろう。そのようなものが、すべてのものを完璧に秩序立てた神の業である。彼はあなたがなすことを完全に認識しておられる。⁸⁹ 善行を行う者は誰であれ、より良いもので報われ、その日の恐怖から安全であろう。⁹⁰ そして悪を行う者たちは、顔を下にして業火に投げ込まれるであろう。あなた方はその行いに応じて報いられなかったとでも？

⁹¹ 言え、「私はこの町の主、彼が不可侵とした者、そして彼にすべてが属する者を崇拜するよう命じられている。私は彼に献身する者の一人となるよう命じられている。⁹² クルアーンを朗読するようにと。」その導きに従う者は誰であれ、彼自身の魂の利益のためにのみそれに従う。そして道に迷う者については、ただ「私は警告者にすぎない」と言いなさい。⁹³ それから言え、「神に称賛あれ！彼はあなたにしるしを示し、あなたはそれらを認識するであろう。あなたの主はあなたがなすことを認識しておられない。」

28. 物語（アル・カサス）

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ ター・スィーン・ミーム。

² これらは物事を明確にする書の節々である。³ われらはモーセとファラオの物語の一部を、信じる人々のため、真実をもってあなたに語るであ

ろう。⁴ ファラオは土地で傲慢に振る舞い、人々をグループに分け、一部を弱体化させようとし、その息子たちを殺し、娘たちだけを生かしておいた—彼は腐敗を広める者の一人であった—⁵ われらは土地で抑圧された者たちに恵みを与え、彼らを指導者とし、彼らを(われらの恵みの)相続人とし、⁶ そして彼らに土地で力を与え、ファラオとハーマーンと彼らの軍勢に、彼らが恐れていたまさにそのものを示すことを望んだ。

⁷ われらはモーセの母に靈感を与え、「彼に授乳しなさい。そして彼のために恐れる時、彼を川に投げ込みなさい。恐れるな、悲しむな。われらは彼をあなたに返すであろう。そして彼を使徒の一人とするであろう」と。⁸ その後、ファラオの家が彼を拾い上げた—後には彼らにとって敵となり、悲しみの源となる。ファラオとハーマーンと彼らの軍勢は不義を働く者たちであった—⁹ そしてファラオの妻は言った、「彼は私とあなたにとって目の喜びとなるでしょう!彼を殺さないでください。彼は私たちにとって役に立つかもしれないし、息子として養子にすることさえできるかもしれない。」彼らは自分たちが何をしていたのか理解していなかった。

¹⁰ モーセの母の心は不安でいっぱいだった—もしわれらが彼女の心を強化していなかったなら、彼女は彼の身元を明かしていただろう。彼女が(われらの約束を)固く信じる者となるように。¹¹ 彼女はモーセの姉に言った、「行って、彼を追いなさい。」そこで彼女は遠くから、見知らぬ人のように、誰にも気づかれずに彼を見守った。¹² われらはすでに彼にあらゆる乳母を拒否させていた。そこで彼の姉は彼らに言った、「彼を育て、よく世話をしてくれる家族をあなた方に教えましょうか?」¹³ このようにわれらは彼を彼の母のもとに戻した。彼女が慰められ、もはや悲しまないように、そして神の約束が真実であることを彼女が知るようになるためである。しかし彼らのほとんどはこれに気づいていない。¹⁴ モーセが成人し、成熟に達した時、われらは彼に知恵と知識を授けた。このようにわれらは善を行う者たちに報いる。

¹⁵ 彼はその民に気づかれることなく都市に入った。そこで彼は互

いに戦う二人の男に出会った——一人は彼自身の民、もう一人は彼の敵の一人であった。彼自身の民に属する者が敵に対して彼に助けを叫ぶと——モーセは彼を拳で打ち倒し、それによって彼の死を招いた。モーセは言った、「これはサタンの仕業だ。彼は明白な敵であり、人間を迷わせる。」¹⁶ 彼は祈った、「主よ、私を赦してください。私は自らの魂に罪を犯しました。」神は彼を赦された。彼は許し深く、慈悲深い者である。¹⁷ 彼は言った、「私の主よ、あなたが私に示してくださった恵みゆえに、私は決して罪人たちの助け手とはならないと誓います。」

¹⁸ 翌朝、彼が不安で用心しながら都市を歩いていると、前日彼に助けを求めた男が再び彼に助けを叫んだ。モーセは彼に言った、「あなたは明らかに道に迷った男だ。」¹⁹ 彼が彼ら二人の敵である者を捕らえようとした時、その男は言った、「モーセよ、あなたは昨日男を殺したように私を殺すつもりなのか？あなたは土地で暴君になりたいだけで、物事を正したいのではない。」²⁰ 都市の遠くから一人の男が走って来て、言った、「モーセよ、当局はあなたを殺す陰謀を企てている。だから都市を去りなさい。私はあなたの善意の者の一人です。」²¹ そこでモーセは都市を去った。恐れ、用心しながら祈った、「私の主よ、これらの不公正な人々から私を救ってください。」

²² 彼がミデアンに向かって進んだ時、彼は言った、「私の主はきつと私を正しい道へと導いてくださるだろう。」²³ そしてミデアンの井戸に着くと、彼はその周りに羊の群れに水をやっている男たちの一団を見つけた。そして彼らから離れて立っている二人の女性を見つけた。彼女たちは羊の群れを引き止めていた。そこで彼は尋ねた、「どうしたのですか？」彼女たちは答えた、「羊飼いたちが羊を連れて行くまでは、私たちは水を汲むことができません。私たちの父は非常に年老いた男です。」²⁴ そこでモーセは彼らの羊の群れに水をやり、日陰に戻って祈った、「主よ、あなたが私に下されるいかなる祝福も、私は真に必要としています」と。²⁵ その後、二人の女性の一人が恥ずかしそうに歩み寄り、彼に言った、「父が、あなたが私たちの羊の群れに水をやってくれたことの報

いを与えるために、あなたに来てくれるよう頼んでいます。」モーセが彼女たちの父のところに来て、自分自身のことを話すと、父は言った、「恐れるな！あなたはあの不義を働く人々から逃れたのだ。」²⁶ 少女の一人が言った、「父よ、彼を雇いなさい！雇うのに最適な男は、強く信頼できる人です。」²⁷ 父は言った、「私はこの二人の娘の一人をあなたと結婚させたい。ただし、八年間私のために奉仕するという条件で。しかし、もしあなたが望むなら、十年滞在してもよい。あなたに何の困難も課すつもりはない。神が望むなら、あなたは私が公正な人物であることを見出さだろう。」²⁸ モーセは言った、「それは私とあなたとの間で合意されました。私が二つの期間のうちどちらを果たすにせよ、私に何の非難も生じないでしょう。神は私たちの言うことの証人です。」

²⁹ モーセがその期間を完了し、家族と共に出発すると、彼はトゥール山の方向で火に気づいた。彼は家族に言った、「ここにいなさい。火が見える。おそらく何か知らせを持ってこられるか、あなたの方が暖をとるための燃え木を火から持ってこられるかもしれない。」³⁰ そして彼がそれに近づくと、谷の右側にある祝福された場所の茂みから声が呼びかけた、「おおモーセよ、私は神、万有の主である。」³¹ あなたの杖を投げ落としなさい。」そして彼がそれが蛇のように動くのを見た時、彼は背を向けて逃げ去り、振り返らなかった。「おおモーセよ」と声は言った、「前に進みなさい、そして恐れるな。あなたは全く安全だ。」³² 手を胸元に入れなさい。何の染みもなく、(輝くように)白く出てくるであろう。今、あなたの腕を体に引き寄せて、恐怖を鎮めなさい。これらはあなたの主からファラオとその貴族たちへの二つの資格である。確かに、彼らは反抗的な民である。」

³³ モーセは言った、「私の主よ、私は彼らの民の一人を殺してしまいました。彼らが私を殺すかもしれないことを恐れます。」³⁴ 私の兄弟ハールーンは私よりも雄弁です。彼を私と共に送って、私を支え、後押ししてください。彼らが私を拒絶することを恐れるからです。」³⁵ 神は言った、「私たちはあなたの腕をあなたの兄弟を通して強めるであろう。あなた

方二人に力を与えるので、彼らがあなた方を害することはできないであろう。われらのしるしと共に進みなさい。あなたと、あなたに従う者たちは、きっと優勢になるであろう。」

³⁶ モーセがわれらの明確なしるしと共に彼らのところに来た時、彼らは言った、「これはでっち上げられた魔術にすぎない。私たちは父祖の間でこんなことは聞いたことがない。」³⁷ そしてモーセは答えた、「私の主が、彼からの導きと共に来る者を、そして来世で天の住処を得る者を最もよく知っておられる。不義を働く者たちは決して成功しない。」

³⁸ ファラオは言った、「おお貴族たちよ、私以外にあなた方の神を知らない。だからハーマーンよ、私のため粘土のレンガを焼き、高い塔を建ててくれ。モーセの神を見てみたいのだ。彼を嘘つきの一人だと私は思っているが。」

³⁹ 彼と彼の軍勢は、何の正当な理由もなく土地で傲慢に振る舞った—自分たちがわれらの元に呼び戻されることはないと考えて—⁴⁰ そこでわれらは彼と彼の軍勢を捕らえ、彼らを海に投げ込んだ。不義を働く者たちの運命を考慮しなさい。⁴¹ われらは彼らを指導者としたが、彼らは人々を業火へと招いた。そして審判の日には彼らは助けられないであろう。⁴² われらはこの世で彼らに呪いを付きまといせ、審判の日には、彼らは惨めな者たちの中にいるであろう。⁴³ われらが以前の世代を滅ぼした後、われらはモーセに書を与えた。人々に洞察を与え、導きと祝福として、人々が心に留めるように。

⁴⁴ あなたは、われらがモーセにわれらの命令を与えた時、山[シナイ山]の西側にはいなかった。また、証人たちの中にもいなかった—

⁴⁵ われらは長寿を生きた多くの世代を生み出した—またあなたはミデアンの人々の中に住んで彼らにわれらの啓示を朗読することもなかった—使徒たちを送るのはわれらである—⁴⁶ あなたは、われらがモーセに呼びかけた時、山の側にいなかったが、われらはあなたをあなたの主からの慈悲として送った。あなた以前に警告者が送られたことのない人々に警告するために。彼らが心に留めるように。⁴⁷ そして、もし彼

らの悪行のゆえに不幸が彼らに降りかかった場合、「主よ、もし私たちに使徒を送ってくださっていれば、私たちはあなたのメッセージに従い、信者になったかもしれないのに」と言わないようにするためである。

⁴⁸ しかしわれらから真実が彼らに來た時、彼らは言った、「なぜ彼はモーセに与えられたものと同じようなものを与えられなかったのだ？」しかし彼らはモーセに与えられたものを以前に拒絶しなかったか？彼らは言った、「両方[モーセとムハンマド]は魔術の一種で、互いに助け合っている。」そして彼らは付け加える、「私たちは両方とも拒絶する。」

⁴⁹ 彼らに言え、「神から、これら二つよりも優れた導きである聖典を下してこい。もしあなたが真実を言うなら、私はそれに従おう。」⁵⁰ もし彼らがあなたに応えないなら、彼らは自分自身の欲望に従っているだけであることを知りなさい。神からの導きなしに、自分自身の好き嫌いに従う者以上に道に迷う者がいるだろうか？神は悪を行う者たちを導かれない。⁵¹ われらは彼らに、われらの言葉を次々と伝えた。彼らが心に留めるように。

⁵² これより前に書を与えられた者たちは、それを[クルアーンを]信じる。⁵³ そしてそれが彼らに朗読されると、彼らは言う、「私たちはそれを信じます。確かにそれは私たちの主からの真実です。それが来る前から、私たちは自らを服従させていました。」⁵⁴ このような人々は二重の報いを受けるであろう。彼らが堅固であり、善をもって悪を退け、われらが彼らに与えたものの中から施しをするからである。⁵⁵ そして彼らが虚しい話を聞く時、彼らはそれから背を向け、「私たちには私たちの行いがあり、あなた方にはあなた方の行いがある。私たちはあなた方に平安を望む。私たちは無知な者たちとは関わりません」と言う。⁵⁶ あなたは御心である者を誰でも導くことはできない。彼こそが御心である者を導かれる。彼は導きを受け入れる者たちを最もよく知っている。

⁵⁷ 彼らは言う、「もし私たちがあなたの導きに従うなら、私たちは土地から根こそぎにされるだろう。」しかし、われらは彼らのために、あらゆ

る種類の果物がわれら自身からの糧として運ばれる安全な避難所を確立しなかったか？しかし彼らのほとんどは知識がない。

⁵⁸ われらは、その民が豊かさのために傲慢になった多くの町を破壊した。それ以来、彼らの住居はほとんど住まれなくなった—われらがその相続人となったのだ。⁵⁹ あなたの主は、その首都にわれらの啓示を朗読する使徒を送るまでは、決して民を滅ぼすことはないであろう。またわれらは、その民が不義を働く者とならない限り、町を滅ぼすことはなかった。

⁶⁰ この世であなた方が与えられるものは何であれ、この世の生とその輝きのつかの間の糧にすぎない。神が持っているものの方がより良く、より永続する。ならばあなた方は理解しないのか？⁶¹ われらが慈悲深い約束をし、それが果たされるのを見るであろう者が、しばらくの間世俗の生を楽しむことを許され、復活の日にその清算のために(神の前に)連れてこられる者と比較できるだろうか？

⁶² その日、彼は彼らに呼びかけ、「あなた方が私の仲間だと主張していた者たちはどこにいるのか？」と言うであろう。⁶³ そして判決が下された者たちは言うだろう、「私たちの主よ、私たちを迷わせたのはこれらの者たちです。私たち自身が迷わされたように、彼らも迷わせました。私たちは今、あなたの前で彼らとの関係を断ち切ります。彼らが崇拝したのは私たちではありません。」

⁶⁴ その時彼らは言われるだろう、「お前たちの仲間たちを呼びけなさい。」彼らは彼らを呼ぶだろうが、何の応答も受けないだろう。彼らは懲罰を目撃するであろう。もし彼らが導きを受け入れたらよかったのに。⁶⁵ その日、神は彼らに呼びかけ、「あなた方はわれらの使徒たちにどのような答えをしましたか？」と言うであろう。⁶⁶ 彼らはその日、言葉を失い、互いに相談することもできないであろう。⁶⁷ しかし、悔い改めて信じ、善行を行う者については、彼は成功者たちの中にいることを望むことができるであろう。

⁶⁸ あなたの主は御心であるものを創造し、御心である者を選ぶ。彼

らには選択の余地はない。神に称賛あれ—彼らが彼に配するあらゆるものの上に、彼は崇高である！⁶⁹ あなたの主は彼らが心に隠すものも明かすものも知っている。⁷⁰ 彼こそが神である。彼以外に神はいない。この世と来世において、すべての称賛は彼に帰する。裁きは彼のものであり、彼のもとにあなた方は帰されるであろう。

⁷¹ 彼らに尋ねなさい、「教えてくれ、もし神があなた方の上に審判の日まで永遠の夜を広げたなら、神以外にあなた方に光をもたらすことができる神がいるだろうか？あなた方は耳を傾けないのか？」⁷² 言え、「教えてくれ、もし神があなた方の上に審判の日まで永遠の昼を広げたなら—神以外に、あなたが休む夜をもたらすことができる神がいるだろうか？ならばあなた方は見ないのか？」⁷³ 彼の慈悲によって、彼はあなた方のために夜と昼を定められた。その間にあなた方は休み、彼の恵みを求め、感謝できるように。

⁷⁴ そしてその日、彼は彼らに呼びかけ、「あなた方が私の仲間だと主張していた者たちはどこにいるのか？」と言うであろう。⁷⁵ そしてわれらは各々の民から証人を立て、「あなた方の証拠を持ってきなさい」と言うであろう。その時、彼らは真実が神のみに属すること、そして彼らがかつてでっち上げていたものは彼らから離れ去ることを知るであろう。

⁷⁶ コーラはモーセの民の一人であったが、彼らに対して傲慢に振る舞った。われらは彼に、その鍵だけで強靱な男の一団の重さになるほどの宝を与えた。彼の民は彼に言った、「その富を誇ってはならない。神は誇る者を愛されないからだ。⁷⁷ しかし神があなたに授けたものを用いて、来世の家を求めなさい。この世でのあなたの分を忘れてはならない。神があなたに善をなしたように、他者にも善をなしなさい。そして土地に悪事を広めようとしてはならない。神は悪を行う者を愛されないからである。」

⁷⁸ しかし彼は言った、「私は私が持つ知識のゆえにのみ、それが与えられたのだ。」彼は、彼以前に神が、彼よりも強く、さらに多くの資源を

持つ人々を滅ぼしたことを知らなかったのか？罪人たちは彼らの罪について説明を求められる必要はない。

⁷⁹ その後、彼はすべての華やかさをもって彼の民の前に出た。この世の生を切望する者たちは言った、「ああ、コーラのような幸運を私たちも持っていたらよかったのに！彼は本当にとっても幸運な男だ」と。⁸⁰ しかし知識を与えられた者たちは言った、「あなた方に災いあれ。神の報いは、信じ、善行を行う者たちにとってより良い。そしてそれは堅固な者たちにのみ与えられる。」

⁸¹ その後われらは彼と彼の家を大地に飲み込ませた。神に対して彼を助ける者も、彼自身を守る者もいなかった。⁸² 前日彼の地位をうらやましがっていた者たちは今や言い始めた、「ああ！御心である者に豊かに与え、御心である者には控えめに与えるのは、実に神のみである。もし神が私たちに恵みを与えていなかったら、私たちも飲み込まれていただろう。」ああ、本当に！真理を否定する者たちは決して成功しない。

⁸³ 来世の住処については、われらはそれを、地上で自己顕示も腐敗も求めない者たちに割り当てるであろう。義しい者たちは祝福された末路を迎えるであろう。⁸⁴ 善を行う者はより良いもので報われるであろう。しかし悪を行う者はその行いに応じて報われるであろう。

⁸⁵ あなたにクルアーンの責任を委ねた彼は、きっとあなたを成功へと導くであろう。言え、「私の主は、誰が正しく導かれているか、そして誰が甚だしい誤りの中にいるかを最もよく知っておられる。」⁸⁶ あなたは決してこの書があなたに啓示されるとは予期していなかった。しかし、あなたの主の恵みによって、あなたはそれを受け取ったのだ。だから真理を拒絶する者たちを支持してはならない。⁸⁷ そして神の啓示があなたに下された後で、誰もあなたをそれからそらせてはならない。人々をあなたの主へ招きなさい。決して神に仲間を配する者たちの一人となつてはならない。⁸⁸ 神以外の神を呼びかけてはならない。彼以外に神はいないからだ。彼自身以外、すべてのものは滅びる運命にある。裁きは彼のものであり、彼のもとにあなた方は帰されるであろう。

29. 蜘蛛（アル・アンカブート）

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ アリフ・ラーム・ミーム。

² 人々は、「信じる」と言えば、放っておかれて試練にかけられないと考えるのか？³ われらは確かに彼ら以前の者たちを試した。だから神は真実を語る者と嘘をつく者とを確かに区別するであろう。

⁴ 悪を行う者たちは、われらから逃れられると思うのか？彼らの判断はいかに愚かであることか！⁵ 神との出会いを望む者は、神が定めた時は必ず来ることを知るべきである。彼はすべてを聞き、すべてを知り尽くされる方である。⁶ そして努力する者は誰であれ、自分自身のために努力する—神は彼のすべての創造物から独立している—⁷ 信仰を持ち、善行を行う者たちについては、われらは確かに彼らの悪行を清め、彼らの最良の行いに応じて彼らに報いるであろう。

⁸ われらは人間に、両親に親切を示すよう命じた。しかしもし彼らが、あなたに知識のないことについて、私に何かを配するよう命じるなら、彼らに従ってはならない。私の元にあなた方は皆帰るであろう。そして私はあなた方がなしたことすべてをあなたに告げるであろう。⁹ われらは確かに、信じ、善行を行う者たちを義しい者たちの仲間に入れるであろう。

¹⁰ 神を信じると公言する者もいるが、神の目的のために苦しむ時、彼らは人間の迫害を神の懲罰と誤解する。しかし神から助けがあなた方に来ると、彼らは言うだろう、「私たちは常にあなた方と共にいました」と。神はすべての被造物の心にあるものを完全に認識しておられるのではないか？¹¹ 最も確実に、神は信じる者たちを識別し、偽善者たちを識別するであろう。

¹² 真理を否定する者たちは信じる者たちに言う、「私たちの道に従いなさい。そうすれば私たちがあなた方の罪の重荷を負うであろう。」し

かし彼らは彼らの罪の何の重荷も負わない。彼らは確かに嘘つきである。¹³ 彼らは自分自身の重荷と、その他の重荷も負うであろう。復活の日には彼らはその偽りの主張について尋問されるであろう。

¹⁴ われらはノアを彼の民に送り、彼は彼らの間で千年マイナス五十年の間生きた。その後、洪水が彼らを襲った。彼らが不義を働く者たちであったからである。¹⁵ しかしわれらは彼と、彼と共に箱舟にいた者たちを救い、その出来事を人類へのしるしとした。

¹⁶ アブラハムのことも語りなさい。彼は彼の民に言った、「神を崇拝し、彼を畏れなさい。もしあなた方が知っていたなら、それがあなた方にとって最善であろう。¹⁷ あなた方は神以外に偶像を崇拝し、虚偽をでっち上げている。あなた方が神以外に崇拝するそれらは、あなた方に糧を提供する力を持たない。だから神から糧を求め、彼を崇拝し、彼に感謝しなさい。彼のもとにあなた方は帰るであろう。¹⁸ もしあなたが真理を拒絶するなら、あなた以前の他の共同体も真理を拒絶した。使徒の責任は、メッセージを明確に伝えることだけである。」

¹⁹ 彼らは神がいかに創造を開始し、その後それを再現するかを見ないのか？それは確かに神にとって容易なことである。²⁰ 彼らに言え、「地上をさまよい、彼がいかに創造を開始したかを見なさい。その後神はあなたの第二の生を生み出すであろう。神はすべてのものに対して力をお持ちである。²¹ 彼は御心である者を罰し、御心である者に慈悲を示す。そして彼のもとにあなた方は帰るであろう。²² あなたは地上でも天でも彼の目的を挫くことはできない。神以外に友人や助け手もない。」²³ 神の啓示と彼との出会いを否定する者たち—彼らこそ、私の慈悲に絶望した者たちである。彼らは耐え難い懲罰を受けるであろう。

²⁴ アブラハムの民の唯一の応答は、「彼を殺すか、焼くか！」であった。しかし神は彼を火から救い出した。確かにその中には信じる人々へのしるしがある。²⁵ アブラハムは言った、「あなた方は、現世で互いの友情を促進するために、神の代わりに偶像崇拝を始めたのだ。しかし審判の日には、あなた方は互いを否認し、呪い合うだろう。あなた方の住

処は業火となり、あなた方に助け手はいないだろう。』²⁶ ロトは彼を信じた者であり、言った、「私の主のために別の土地へ移住しよう。彼は力強く、賢明な方である。』²⁷ われらは彼にイサクとヤコブを与え、彼の子孫に預言者としての地位と書を授けた。われらは彼にこの世で報いを与え、来世では彼は義しい者たちの中に住むであろう。

²⁸ われらはロトを彼の民に送った。彼は彼らに言った、「あなた方は、あなた方以前のどの民も犯したことのないようなweiseつ行為を犯すのか。』²⁹ 男に近づき、道で彼らを待ち伏せし、あなた方の集会の中で墮落を犯すのか?」しかし彼の民の唯一の答えは、「もしあなたの言うことが真実なら、神の懲罰を私たちにもたらしなさい」であった。³⁰ ロトは祈った、「主よ、この邪悪な民に対して私を助けてください。」

³¹ われらの使徒たちがアブラハムに(イサク誕生の)吉報をもたらした時、彼ら(もまた)言った、「私たちは確かにこの都市の民を滅ぼすつもりです。この都市の民は真に不義を働く者たちだからです。』³² アブラハムは言った、「しかし、ロトがここに住んでいます。』彼らは答えた、「誰がここに住んでいるか、私たちはよく知っています。私たちは彼とその家族全員をきと救い出すでしょう。ただし、後ろに残る者たちの一員となる彼の妻を除いては。』³³ われらの使徒たちがロトのもとに来た時、彼は彼らのことで苦悩し、悲嘆に暮れた。彼らは言った、「恐るるな、あるいは悲しむな。私たちは確かにあなたとあなたの家族を救い出すだろう。あなたの妻を除いては—彼女は後ろに残る者たちの一員となるだろう—³⁴ 私たちは確かに、彼らの墮落のために、この町の民に天から懲罰を下すつもりです。』³⁵ 確かにわれらが残したその都市の廃墟は、理性を使う人々にとって明確なしるしである。

³⁶ ミデアンの民には彼らの兄弟シュアイブを送った。彼は言った、「私の民よ、神を崇拜し、最後の日を待ち望み、土地に悪を行い腐敗を広げてはならない。』³⁷ しかし彼らは彼を拒絶した。そこで地震が彼らを打ちのめし、彼らは家の中で地面にひれ伏したまま残された。

³⁸ 同じことがアード族とサムード族にも起こった。これはその廃墟

からあなたには明らかであろう。サタンは彼らの行いを彼らにとって公正に見せ、彼らをまっすぐな道からそらした。彼らは知的な人々であったにもかかわらず。

³⁹ コーラ、ファラオ、そしてハーマーン。モーセは明確なしるしを携えて彼らのところに来たが、彼らは土地で傲慢であった。彼らはわれらから逃れることはできなかった。⁴⁰ そこでわれらは各々をその罪のために捕らえた。ある者たちは激しい嵐で打ち、ある者たちは突然の爆音で打ちのめされ、ある者たちは大地に飲み込まれ、ある者たちは溺れさせた。神は彼らに不正を働いたのではない。彼らが自らを不正に陥れたのだ。

⁴¹ 神以外の保護者を選ぶ者たちは、クモに例えることができる。クモは自分自身で巣を張るが、すべての構造物の中で最も脆弱なのはクモの巣である。もし彼らがそれを知っていたなら。⁴² 神は彼らが彼以外に呼びかけるものを確かに知っている。彼は力強く、賢明である。⁴³ これらはわれらが人々に示す比較であるが、それを理解するのは知識を持つ者たちだけである。⁴⁴ 神は目的のために天と地を創造された。確かにこれには真の信者たちへのしるしがある。

⁴⁵ あなたに啓示された書を朗読し、定期的に祈りを捧げなさい。確かに祈りは、みだらなことや悪から身を抑制し、神の想起は偉大である。神はあなたのすべての行動を認識しておられる。

⁴⁶ 信じる者たちよ、聖典の民とは最善の方法で議論しなさい。(しかし、不公正な者たちとは決して争うな。) 言え、「私たちは私たちに啓示されたものと、あなた方に啓示されたものを信じる。私たちの神とあなた方の神は一つであり、彼に私たちは服従する。」

⁴⁷ 同様にわれらはあなたに書を下した。われらが聖典を与えた者たちはそれを信じ、あなた自身の民の一部もそうする。われらの啓示を拒絶するのは真理を否定する者たちだけである。⁴⁸ あなたはこれ以前に何の書も読むことができなかったし、手で書くこともなかった。もしそうしていたら、虚偽の追隨者たちはそれを疑う理由を持っていたであろ

う。⁴⁹ しかしクルアーンは、知識を与えられた者たちの心に明確な啓示である。悪を行う者たちだけがわれらの啓示を認めようとしない。

⁵⁰ 彼らは言う、「なぜ主から彼にしるしが与えられなかったのか？」言え、「しるしは神の御手の中にある。私は単なる明確な警告者である。」⁵¹ われらがあなたに書を下し、それが彼らに朗読されるだけで、彼らにとって十分ではないか？これには確かに信じる人々への祝福と戒めがある。⁵² 言え、「私とあなた方の間で神が証人として十分である。彼は天と地にあるすべてを知っている。虚偽を信じ、神を拒絶する者たちはきっと失われた者たちとなるであろう。」

⁵³ 彼らはあなたに懲罰を急ぐよう求める。もしそれに対する定められた時がなかったなら、懲罰はすでに彼らに来ていただろう。確かにそれは突然彼らに降りかかり、彼らを不意打ちで捕らえるだろう。⁵⁴ 彼らはあなたに懲罰を急ぐよう求めるが、確かに地獄は真理を否定する者たちを(すでに)取り囲んでいる。⁵⁵ 懲罰が彼らの上から、そして彼らの足元から彼らを包み込む日、彼らは言われるだろう、「あなた方がなしていたことに対して(懲罰を)味わえ！」

⁵⁶ 私の僕たちで信じる者たちよ、私の地は広大である。だから私のみを崇拝しなさい。⁵⁷ すべての魂は死を味わい、それからわれらの元にあなた方は帰るであろう。⁵⁸ われらは信じ、善行を行う者たちを、川が流れる楽園の邸宅に永遠に住ませるであろう。労苦する者たちの報いはいかに素晴らしいことか。⁵⁹ そして堅固で、彼らの主に信頼を置く者たち。⁶⁰ 多くの被造物が自らを養うことができない！神は彼らとあなた方を養う。彼はすべてを聞き、すべてを知り尽くされる方である。

⁶¹ もしあなたが彼らに、天と地を創造し、太陽と月を服従させたのは誰かと尋ねるなら、彼らは言うだろう、「神だ」と。ならばどうして彼らは背を向けられるのか？⁶² 神は御心である者には豊かに与え、御心である者には控えめに与える。神はすべてのことを完全に認識しておられる。⁶³ そしてもしあなたが彼らに、空から水を下し、その水で死んだ

大地を生き返らせるのは誰かと尋ねるなら、彼らはきっと答えるだろう、「神だ」と。ならば神に称賛あれ。しかし彼らのほとんどは理解しない。

⁶⁴ この世の生は遊びと気晴らしにすぎない。もし彼らが知っていたなら、来世の生こそが唯一の真の生である。⁶⁵ 彼らが船に乗る時、彼らは神に呼びかける。彼のみに対する信仰において誠実である。しかし彼が彼らを安全に陸に連れ戻すと、彼らは彼に仲間を配し始める。⁶⁶ こうして彼らはわれらの恵みに対して全く不平不満を示すかもしれない。しばらく楽しませておきなさい。しかし彼らは間もなく知るであろう。

⁶⁷ 彼らは、周りの人々が奪い去られているにもかかわらず、われらが彼らに安全な避難場所を与えたことを見なかったのか？彼らはそれでも虚偽を信じ、神の恵みを否定するのか？⁶⁸ 神について嘘をでっち上げる者、あるいは真実が彼に來た時にそれを拒絶する者以上に大きな不正を犯す者がいるだろうか？地獄は真理を否定する者たちの家ではないのか？⁶⁹ われらはきっと、われらの目的のために懸命に努力する者たちをわれらの道へと導くであろう。神は確かに義しい者たちと共にいる。

30. ルーム (アル・ルーム)

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ アリフ・ラーム・ミーム。

² ローマ人は敗れた。³ 近くの土地で。彼らは敗北を勝利に逆転させるだろう。⁴ 数年以内に。(なぜなら)神のもとには、最初も最後も、すべての決定権があるからである。その日、信者たちもまた喜ぶべき理由があるだろう。⁵ 神の助けによって。彼は御心である者を助ける。彼は力強く、慈悲深い。⁶ [これは]神の約束である。神は決して約束を破ることはない—しかしほとんどの人々はこれを知らない。⁷ 彼らはこの世の生の外面的な姿しか知らず、来世を顧みない。

⁸ 彼らは自分自身について熟考しないのか？神は天と地と、それらの間にあるすべてのものを目的のために、そして定められた時のために創造されたのではないか？それでも多くの者は、彼らの主との出会いを否定する。⁹ 彼らは土地を旅し、彼らの先祖がどのような末路を辿ったかを見なかったのか？彼らは彼らよりも強大であった。彼らは大地をより多く耕し、これらの者たちがこれまで建てたよりも多くをその上に築いた。彼ら自身の使徒たちもまた明確なしるしを携えて彼らのところに来た。神は彼らに不正を働いたのではない。彼らが自らを不正に陥れたのだ。¹⁰ その時、悪を犯した者たちの末路は悪であった。彼らが神のしるしに嘘をでっち上げ、それらを嘲笑したからである。

¹¹ 神は創造を開始し、そしてそれを繰り返すであろう。それから彼のもとにあなた方は帰されるであろう。¹² 裁きの時が到来する日、罪人たちは絶望で言葉を失うであろう。¹³ そして彼らが神に配した仲間たちの中には、いかなる執り成し手もないであろう。彼らはこれらの仲間を否認するであろう。¹⁴ 最後の時が到来する時—その日、彼らは振り分けられるであろう。¹⁵ 信じ、善行を行った者たちは園で喜ぶであろう。¹⁶ そして真理を否定し、われらのしるしと来世での出会いを否定した者たちについては—彼らは責め苦に連れて行かれるであろう。¹⁷ だから夕方と朝に神を讃えなさい—¹⁸ そして天と地において彼に称賛あれ—そして遅い午後に、そして真昼にも彼を讃えなさい。^a

¹⁹ 彼は死者から生けるものを生み出し、生けるものから死者を生み出す。彼はその死後、大地に命を与える。あなた方も同じように生へと起こされるであろう。²⁰ 彼のしるしの一つは、彼があなた方を塵から創造したことである。見よ、あなた方は人間となり、地上で自らを増やし

a 絶え間ない想起(祈りなどを通して)と深い熟考は、人間を神を見出す方向へと導く。深く考えることによって人間は神を見出す。この世において、神は彼のしるしを至る所に散りばめている—人間の環境に、周囲の宇宙に、そして預言者の教えにも。これらの神のしるしを真剣に考える者たちは神を見出すであろう。

たのだ。²¹ 彼のもう一つのしるしは、彼があなた方自身の中から配偶者を創造したことである。あなた方が彼女らの中に安らぎを見出すように、そして彼があなた方の間に愛情と親切を創造したことである。真にこれには熟考する人々へのしるしがある。

²² 彼のもう一つのしるしは、彼が天と地、そしてあなた方の言語と色彩の多様性を創造したことである。真にこれには知識を持つ人々へのしるしがある。²³ 彼のしるしの中には、夜間あるいは日中のあなた方の睡眠、そして彼の恵みを求めるあなた方の行為がある。真にこれには耳を傾ける人々へのしるしがある。²⁴ 彼のしるしの中にはこれがある。彼が稲妻をあなた方に見せ、[両方の]恐れと希望を生じさせ、空から水を下し、それによって生命のない大地を生き返らせる。これには、見よ、確かに理性を働かせる人々へのしるしがある！

²⁵ 彼のもう一つのしるしはこれである。天と地は彼の命令によって堅固に立っており、その後彼があなた方を呼ぶ時、見よ、地からあなた方は出てくるであろう。²⁶ 天にいる者も地にいる者もすべて彼に属する。すべては彼に従順である。²⁷ 彼こそが創造を開始し、その後それを繰り返す者であり、それは彼にとって非常に容易である。彼の状態は天と地で最も崇高である。彼は力強く、賢明である。

²⁸ 彼はあなた方自身の生活から取った例をあなた方に提示する。あなた方は、われらがあなた方に授けた富において、あなた方の召使いを完全なパートナーとして同等の分け前を与えるか？あなた方は互いを恐れるように彼らを恐れるか？このようにわれらは、理性を働かせる人々にしるしを説明する。²⁹ それでも不公正な者たちは何の知識もなく自分自身の欲望に従う。ならば神が迷わせることを許した者たちを誰が導けるだろうか？彼らを助ける者は誰もいないであろう。

³⁰ 宗教に専念しなさい。そして神によって作られた本性[構成]に従いなさい。彼が人類を創造したその本性に。神の創造には何の変更もない。それが正しい宗教である。しかしほとんどの人々はそれに気づかない。³¹ 彼に立ち返り、彼を畏れ、礼拝において堅固でありなさい。そし

て神に仲間を配する者たちの一人となつてはならない。³² その宗教を分裂させ、宗派に分かれた者たち。各々が自分の持っているものを喜ぶ。

³³ 困難が人々に降りかかると、彼らは悔い改めて主を呼びかける。しかしその後、彼が彼らに彼の慈悲を味わわせると、彼らの一部は彼らの主に仲間を配する。³⁴ そしてわれらが彼らに与えたものに感謝しない。だからしばらく楽しみなさい。しかし間もなくあなた方は知るであろう。³⁵ われらは彼らに、彼らが彼に配するものに賛成するいかなる権威も下しただろうか？

³⁶ われらが人類にわれらの祝福を味わわせると、彼らはそれに喜ぶ。しかし彼らが自分自身の行いのゆえに苦難に遭遇すると—彼らは絶望に陥る。³⁷ 神が御心である者に豊かに与え、御心である者には控えめに与えるのを見ないか？その中には真に信じる者たちへのしるしがある。³⁸ だから近親者、困窮者、そして旅人にその正当な分を与えなさい—それは神の喜びを求める者たちにとって最善である。そのような者たちはきっと成功するであろう。³⁹ あなたが他人の富を通して価値を得るために高利で貸し出すものは何であれ、神の目には増えないが、神の喜びを望んで施しとして与えるものは何であれ、何倍にも増やされるであろう。

⁴⁰ 神は、あなた方を創造し、それからあなた方を養い、それからあなた方を死なせ、それからあなた方を生き返らせる方である。あなた方の「仲間たち」の誰かがこれらのことの一つでもできるだろうか？彼に栄光あれ。彼らが彼に配するあらゆるものの上に、彼が崇高であることを！⁴¹ 地と海に腐敗が現れたのは、人間の手がなした悪のゆえである。そこで彼は彼らにその行いのいくつかの果実を味わわせるであろう。彼らが悪から立ち返るようにするためである。⁴² 言え、「地上を旅し、あなた方以前の者たちがどのようにその末路を迎えたかを見なさい—彼らのほとんどは、神に仲間を配していた。」

⁴³ （預言者よ）、神から来る、避けることのできないその日が来る前

に、あなたの顔を正しい宗教に向けなさい。その日、人類は二つに分けられるであろう。⁴⁴ 真理を拒絶した者たちは、その拒絶の重荷を負うであろう。そして善行を行った者たちは、自分自身のために良い備えをしたであろう。⁴⁵ その時、彼は信じ、善行を行う者たちに彼の恵みの中から報いるであろう。彼は真理を拒絶する者たちを愛されない。

⁴⁶ 彼のしるしの一つはこれである。彼が良き知らせをもたらす風を送り出すこと。彼があなた方に彼の慈悲を味わわせるためであり、彼の命令によって船が進むためである。あなた方が彼の恵みを求め、感謝するように。⁴⁷ 確かに、われらはあなた以前にも使徒たちを彼ら自身の民に送り、彼らは彼らに明確なしるしをもたらした。その後、われらは罪人たちに報復した。信者たちを助けるのは確かにわれらの義務であった。

⁴⁸ 神こそが風を送り出し、それらが雲を巻き上げるようにする者である。それから彼は御心通りにそれらを空に広げ、層をなして重ね、あなたは雨がその中から降り注ぐのを見るだろう。彼がそれを、御心である彼のしもべの誰にでも降らせる時、見よ！彼らは喜ぶ。⁴⁹ たとえその前—それが彼らに下される前—彼らは絶望の中にいたとしても。⁵⁰ だから、神の慈悲のしるしをよく見なさい。彼がいかに大地をその死後生き返らせるかを。真に、同じ神が死者を生き返らせるであろう。彼はすべてのものに対して力を持っているからである。⁵¹ それでももしわれらが風を送り、彼らがその収穫が黄色くなるのを見ると、彼らはその時(われらの恵みを)否定し始めるであろう。⁵² あなた[預言者よ]は死者に聞かせることはできないし、耳の聞こえない者たちが背を向けて去る時、彼らにあなたの呼びかけを聞かせることはできない。⁵³ ちょうどあなたが(心の)盲人をその誤りから導き出すことができないように、われらの啓示を信じ、こうしてわれらに服従し、われらの意志に従順である者たち以外には、誰にもあなたの呼びかけを聞かせることはできない。

⁵⁴ 神こそが、あなた方を弱さの状態で創造した者である。その後彼は(あなたの)弱さの後にあなたに力を授けた。その後彼は力の代わり

にあなたに虚弱と白髪を与えた。彼は御心であるものを創造する。彼はすべてを知り、全能である。⁵⁵ 最後の時が到来する日、悪を行う者たちは、一時間も滞在しなかったと誓うであろう—彼らは常に惑わされてきたのだ—⁵⁶ しかし知識と信仰を与えられた者たちは言うだろう、「確かに、あなた方は神が定めたように、復活の日まで滞在した。そしてこれこそが復活の日である。しかしあなた方はそれに気づいていなかったのだ」と。⁵⁷ だからその日、彼らの嘆願は何の役にも立たず、改心することも許されないであろう。

⁵⁸ 真に、われらはこのクルアーンの中で人々のためにあらゆる種類の比喻を提示してきた。そして実に、もしあなたが彼らにしるしをもたらしたとしても、真理を否定することに固執する者たちはきつと言うだろう、「あなたは単なる虚偽の主張をしているだけだ!」⁵⁹ このようにして神は、(真実を)知ろうとしない者たちの心を封じる。⁶⁰ だから忍耐しなさい(おおムハンマドよ)! 神の約束は真実である。納得しようとしないう者たちがあなたを落胆させないように。

31. ルクマン (ルクマン)

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ アリフ・ラーム・ミーム。

² これらは知恵の書の節々である。³ 善を行う者たちへの導きと慈悲、

⁴ 定期的に礼拝を捧げ、ザカートを払い、来世に堅固な信仰を持つ者たちへの。⁵ 彼らこそ彼らの主によって正しく導かれ、彼らこそ成功する者たちである。

⁶ しかし人間の中には、人々に神の道から知識なくして迷わせるためだけに、時間を無益な気晴らしに費やし、それを嘲笑する者たちがいる。そのような者たちには屈辱的な懲罰が待ち受けている。⁷ われらのメッセージがそのような者に伝えられるたびに、彼は傲慢に背を向

ける。まるでそれらを聞かなかったかのように—まるで彼の耳が塞がれているかのである。ならば彼に、耐え難い苦しみ[来世で]の知らせを与えなさい。⁸ 確かに、信じ、善行を行う者たちは至福の園に入るであろう。⁹ そこに彼らは永遠に住むであろう。それが神の真の約束である。彼は力強く、賢明である。

¹⁰ 彼は、あなたが見ることのできないいかなる支えもなしに空を創造し、大地に堅固な山々を置き、それがあなたと共に揺れないようにし、あらゆる種類の生き物をそこで増やした。そしてわれらは空から水を下し、こうしてあらゆる種類の優れた植物をそこで成長させた。¹¹ これが神の創造である。ならば彼以外が創造したものを私に見せてみよ! 不義を働く者たちは明白な誤りの中にいる。

¹² われらはルクマンに知恵を授けた、「神に感謝しなさい。感謝する者は、彼自身の魂の利益のためにのみ感謝する。しかしもし誰かが恩知らずであるなら、確かに神は自給自足であり、称賛されるべきお方である」と言って。¹³ ルクマンは息子に忠告しながら言った、「わが息子よ、神に何も配してはならない。彼に他の者を配することは恐ろしい不正である。」

¹⁴ われらは人間に、両親に親切を示すよう命じた—彼の母は彼を、苦難の上に苦難を重ねて身ごもり、彼の授乳期は二年である。[われらは言った]私とあなたの両親に感謝しなさい。すべては私の元に帰るであろう。¹⁵ しかしもし彼らが、あなたに知識のないことについて、私に何かを配するようあなたに迫るなら、彼らに従ってはならない。それでもこの世では彼らに親切にし、私に立ち返る者たちの道に従いなさい。あなた方は皆、最後には私の元に帰るであろう。そして私はあなた方がなしたことすべてをあなたに告げるであろう。

¹⁶ [ルクマンはさらに言った]、「おおわが息子よ! たとえマスタードの種一粒の重さであっても、それが岩の中に隠されていようと、天の中にあろうと、地の上にあろうと、神はそれを引き出すであろう。真に、神はすべての微細なことを知る者であり、彼は認識しておられる。¹⁷ おお

わが愛する息子よ!定期的に礼拝を捧げ、善を命じ、悪を禁じ、何が降りかかろうとも忍耐強く耐え忍びなさい。確かに、これは堅固な決意を必要とするものである。¹⁸ 傲慢さゆえに人々から顔を背けてはならない。そして地上を誇りをもって歩いてはならない。見よ、神は傲慢で自慢する人々を愛さないからである。¹⁹ 謙虚に歩き、声を低くしなさい。すべての声の中で最も醜いのは口バの鳴き声だからである。」

²⁰ あなた方は、神が天にあるものも地にあるものもすべてあなたに従わせ、目に見えるものと見えないものの両方で、あなたへの彼の恵みを完成させたのを見なかったか?それなのに、知識も導きも啓発する書もなく、神について議論する者たちがいる。²¹ 彼らが神が下されたものの[啓示]に従うよう言われると、彼らは言う、「いや、私たちは父祖が[従っていた]道に従うだろう。」そうだ!たとえサタンが彼らを燃え盛る火の懲罰に招いているにもかかわらずか?

²² 自らを完全に神に服従させ、善を行う者である者は、確かに堅固な取っ手を掴んだのである。なぜならすべての出来事の最終的な結果は神に委ねられているからである。²³ しかしもし誰かが信仰を拒絶しても、彼の拒絶があなたを悲しませてはならない。なぜならわれらの元に彼らは帰るであろう。そしてわれらは彼らの行いの真実を彼らに告げるであろう。神は人間の心にあるすべてのことをよく知っておられるからである—²⁴ われらは彼らにしばらくの間楽しませるであろうが、その後われらは彼らを厳しい懲罰へと駆り立てるであろう。

²⁵ もしあなたが彼らに「天と地を創造したのは誰か?」と尋ねるなら、彼らはきっと答えるだろう、「神だ」と。言え、「神に称賛あれ!」しかし彼らのほとんどは理解しない。²⁶ 天と地にあるすべてのものは神に属する。確かに、神は自給自足であり、称賛されるべきお方である。²⁷ もし地上のすべての木々がペンであり、海がインクであり、それにさらに七つの海が加わったとしても、神の言葉は尽きないだろう。真に、神は全能であり賢明である。

²⁸ あなた方すべてを創造し、復活させることは、単一の魂を創造

し、復活させるのと全く同じである。真に、神はすべてを聞き、すべてを観察される。²⁹ あなた方は、神が夜を昼に変え、昼を夜に変え、太陽と月を彼のために奉仕させ、それぞれが定められた期間その軌道を追うこと、そして神があなたがなすことをよく認識しておられることを見なかったか?³⁰ それは神が真実であるからであり、彼らが彼以外に呼びかけるものは虚偽である。神は最も高く、至高なるお方である。

³¹ あなた方は、神が彼のいくつかのしるしをあなた方に見せるために、神の恵みによって船が海を進むのを見なかったか?確かにその中には、すべての堅固で感謝する人へのしるしがある。³² 波が彼らを(死の)影のように飲み込む時、彼らは神に呼びかける。彼のみへの信仰において(その瞬間は)誠実である。しかし彼が彼らを安全に岸へ導くと、彼らの一部だけが正しい道をとる。そして不誠実で恩知らずな者以外には、誰もわれらのしるしを否定しない。

³³ おお人間よ、あなた方の主と庇護を求め、父が息子に何の役にも立たず、息子も父に何の役にも立たない日を恐れなさい。神の約束は確かに真実である。だから世俗の生に惑わされてはならず、欺く者に神について欺かれてはならない。³⁴ 真に、神のみが(裁きの)時の知識を持っている。彼は雨を降らせ、彼は胎内にあるものを知っている。いかなる魂も明日何を稼ぐかを知らず、いかなる魂もどの地で死ぬかを知らない。確かに、神はすべてを知り、すべてを認識しておられる。

32. 跪拝 (アッ・サジュダ)

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ アリフ・ラーム・ミーム。

² この書は、いかなる疑いもなく、万有の主によって啓示された。³ 彼らは言う、「彼が自分ででっち上げたのか?」いや、決して!それはあなた

の主からの真実であり、あなた以前には何の警告者も来なかった民に警告するためにである。そうすれば彼らが正しく導かれることを望む。

⁴ 神こそが天と地と、その間にあるものを六日間で創造し、その後、玉座に定まった者である。彼以外にあなたには何の保護者も執り成し手もない。ならばあなた方は耳を傾けないのか？⁵ 彼は天から地へすべての事柄を司る。その後、あなた方が測る方法で千年の長さである日に、すべては再び彼のもとに昇るであろう。⁶ そのような不可視のものと可視のものを知る者、力強く、慈悲深い者。⁷ 彼こそがすべてのものに完璧な形を与えた。彼は粘土から人間を創造し始めた。⁸ その後、彼は彼の血統を卑しい液体から作った。⁹ その後、彼は彼を形作り、彼の霊を彼に吹き込み、あなた方に聴覚、視覚、そして心を与えた。あなた方はなんというめったに感謝しないのか！

¹⁰ 彼らは言う、「私たちが地中で失われたら、どうやって再び創造されるのか？」確かに、彼らは彼らの主との出会いを否定する。¹¹ 言え、「あなたを任された死の天使があなたの魂を集めるだろう。それからあなた方は[皆]あなたの主のもとに帰されるだろう。」¹² 不義を働く者たちが彼らの主の前に恥ずかしそうに頭を垂れるのを見ることができたなら、「私たちの主よ、私たちは見て、聞きました。だから私たちを再び戻してください。そうすれば私たちは正しく行動します。今や私たちは確かに信じます。」¹³ しかしもしわれらがそう望んだなら、われらは確かにすべての人間にわれらの導きを課すことができたであろう。しかし私の言葉は真実となるであろう。「私は地獄をジンと人間で共に満たすであろう。」¹⁴ われらは彼らに言うであろう、「これを味わえ—あなた方がこの日と出会うことを忘れたからである。われらもまたあなた方を忘れるであろう—あなた方の[悪しき]行いの報いとして永遠の懲罰を味わえ！」¹⁵ われらのメッセージを真に信じる人々とは、それらを思い出される時、地面にひれ伏し、主を讃美し、傲慢でない者たちである。¹⁶ 彼らは寝床を捨て、恐れと希望をもって彼らの主を呼びかけ、われらが彼らに与

えたものの中から費やす。¹⁷ いかなる魂も、その労苦の報いとして、彼らのためにどんな喜びが隠されているかを知らない。

¹⁸ それゆえ、信じる者が、神に反抗する者と同じであろうか？いや、彼らは等しくない。¹⁹ 信じ、善行を行う者たちは、彼らがなしたことの報いとして、樂園の園に滞在するであろう。²⁰ 神に反抗する者たちについては、彼らの家は業火となるであろう。彼らがそこから逃れようとするたびに、彼らはそこへ押し戻され、「あなたが執拗に否定してきた業火の責め苦を味わえ」と言われるであろう。²¹ そして最も確実に、われらは彼らに大いなる懲罰の前に、より軽い懲罰を味わわせるであろう。おそらく彼らが悔い改めてわれらの元に戻るかもしれないために。²² 彼の主の啓示が彼に朗読される時、それらから背を向ける者以上に大きな不正を犯す者がいるだろうか？われらは罪人たちに報復を科すであろう。

²³ われらはモーセに聖典を与えた—だから[ムハンマドよ]、あなたがそれを受け取っていることを疑うな—ちょうどわれらがそれをイスラエルの子らへの導きとしたように。²⁴ われらは彼らの中から指導者を任命し、彼らが堅固であった時、そしてわれらのしるしに確固たる信仰を持っていた時、われらの命令によって導いた。²⁵ 確かにあなたの主は、復活の日に、彼らがかつて意見を異にした事柄について彼らの間を裁かれるであろう。²⁶ 彼らを導かないのか[彼らが見るべきは]、彼ら以前にわれらがどれほど多くの世代を滅ぼしたか、彼らが今その廃墟となった住居を歩き回っているという事実を？その中には真にしるしがある—彼らは耳を傾けないのか？²⁷ 彼らは、われらが水を不毛の土地へと運び、それによって彼らの家畜と彼ら自身が食べる作物を生産することを見なかったのか？ならば彼らは見ないのか？²⁸ そして彼らは言う、「もしあなたが真実を言うなら、この裁きはいつ来るのか？」²⁹ 言え、「裁きの日には、真理を否定することに固執した者たちには、もし彼らが[その時]信じても、何の利益もないであろう！彼らには何の猶予も与えられないであろう。」³⁰ だから彼らから背を向け、待ち続けなさい。彼らもまた待っているのだ。

33. 同盟軍（アル・アハザーブ）

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ おお預言者よ、神を畏れ、真理を否定する者たちや偽善者たちに屈してはならない。神はすべてを知り、すべてを賢くされる方である。² あなたの主からあなたに啓示されたものに従いなさい。神はあなたがなすことすべてを認識しておられる。³ 神に信頼を置きなさい。神は守護者として十分である。

⁴ 神はいかなる人の体にも二つの心を置かず、またあなた方が「私の母の背のようだ」と言って遠ざかる妻たちを、あなた方の[本当の]母とはしなかったし、養子をあなた方自身の息子とはしなかった。これらは単にあなた方が口で発する言葉にすぎない。しかし神は真実を語り、正しい道へと導かれる。⁵ 彼らを彼ら自身の父の名で呼びなさい。それが神の御前でより正義に近い。もしあなた方が彼らの父を知らないなら、彼らを信仰における兄弟、そしてあなたの庇護者と見なしなさい。もし間違いを犯しても、あなたは非難されない。心の中で故意になしたことについてののみ、責任を問われるであろう。神は許し深く、慈悲深い者である。

⁶ 預言者は、信者たちに対して、彼ら自身の魂よりも高い主張を持つ。そして彼の妻たちは彼らの母である。血縁関係にある親族は、神の書において、信者や移住者たちよりも互いにより近い。ただし、あなたが友人に親切を示したい場合を除いては。それは書に定められている。

⁷ われらは預言者たち、あなたとノア、アブラハム、モーセ、そしてマリアの子イエスから厳粛な誓約を取った—われらは彼ら全員から厳粛な誓約を取ったのだ。⁸ 神が真実を語る者たちに、その真実が[地上で]どのような[応答を]受けたかを尋ねるためである。しかし真理を否定する者たちには、彼は悲惨な懲罰を用意された。

⁹ 信仰に達したあなた方よ、強大な軍勢があなた方に集結した時の神の祝福を思い出しなさい。われらは彼らに対して激しい風と、あな

た方には見えない軍勢を送った。神はあなたがなすことすべてを見ておられる。¹⁰ 彼らが上からも下からもあなたの方に対して来た時、あなたの目は(恐怖で)転がり、あなたの心は喉元まで飛び上がり、あなたは神について(悪い)考えを抱いた。¹¹ そこで信者たちは試練にかけられ、まるで地震のように揺さぶられた。

¹² 偽善者たちと心に病のある人々は言った、「神と彼の使徒は私たちに幻想しか約束しなかった」と。¹³ 他の者たちは言った、「ヤスリブの民よ、あなた方はここで(敵に)耐えられないだろう。だから戻りなさい!」それでも他の者たちは預言者に休暇を求め、「私たちの家は開いていて(無防備だ)」と言った。彼らは実際は開いていなかった。ただ逃げただけである。¹⁴ もし彼らの町が攻撃され、扇動されて反乱を起こさせられていたら、彼らはほとんどためらいなく反乱を起こしていただろう。¹⁵ 彼らはすでに神の前で、決して背を向けないと誓っていた。そして神に交わされた誓いは責任を問われるべきである。¹⁶ 言え、「逃亡はあなた方には何の役にも立たない。もし死や殺害から逃れることができたとしても、人生をほんの短い間しか楽しめないだろう。」^a ¹⁷ 言え、「もし神があなた方を害することを望むなら、神からあなた方を守る者は誰か?もし神があなた方に慈悲を示すことを望むなら、誰が彼を妨げることができるだろうか?」神以外には彼らを守る者も、助けをもたらす者もないだろう。

¹⁸ 神は、あなた方の中で誰が他者を引き止め、誰が兄弟たちに「こちら側に来い」と言っているかを正確に知っておられる。そして彼らはめったに戦いに参加しない。¹⁹ あなた方に何の助けも惜しまないが、危険が迫ると、彼らが死の苦しみにあるかのように、転がる目であなたを見るだろう。しかしその恐怖が去ると、彼らは富への貪欲さから滑らかな口調であなたのもとに来る。そのような人々には信仰がないので、神は彼らの行動を無効にした。これは確かに神にとって容易なことであ

a 序文のxivページからxviiページを参照。

る。²⁰ 彼らは同盟部族が決して撤退しないだろうと思った。実に、もし同盟部族が再び来たら、彼らは砂漠で、ベドウィンの中にいることを好むだろう。そこで彼らは(遠くから)あなたのニュースを尋ねるだろう。しかしもし彼らがあなたと共にいたら、戦いにはほとんど参加しなかっただろう。

²¹ 神と最後の日を待ち望み、常に神を思い出すあなた方には、確かに神の預言者の中に良い模範がある。²² 信者たちが同盟部族を見た時、彼らは言った、「これこそ神と彼の使徒が私たちに約束したことだ。確かに神と彼の使徒の約束は真実となった。」それは彼らの信仰と服従を増した。²³ 信者の中には、神と交わした誓約に忠実であった男たちがいる。彼らの中には誓いを果たした者もいれば、[まだ]待っている者もいる。微塵も[その決意を]変えることなく。²⁴ 神は確かに真実な者たちにはその真実さの報いを報い、もし御心ならば偽善者たちを罰するであろう。あるいは彼らの悔い改めを受け入れるかもしれない。神は許し深く、慈悲深い者だからである。

²⁵ 神は真理を否定する者たちを、いかなる有利な点も得させずに、その怒りの中で引き返させた。神は戦いにおいて信者たちを[守るのに]十分であった。神は強く、全能である。²⁶ 彼は、攻撃者たちを支援した聖典の民をその拠点から引きずり下ろし、彼らの心を恐怖で満たした。あなた方の一部は彼らを殺し、他の者たちは捕虜にした。²⁷ 彼はあなた方を彼らの土地、彼らの家、彼らの所有物、そしてあなた方が以前足を踏み入れたことのない土地の相続者とした。神はすべてのものに対して力をお持ちである。

²⁸ おお預言者よ、あなたの妻たちに言え、「もしあなたがこの世の生とそのすべての華やかさを求めるなら、来なさい。私はあなた方に糧を用意し、名誉をもってあなた方を解放しよう。²⁹ しかしあなたが神と彼の使徒、そして来世の住処を求めるなら、神があなた方の中で善行を行う者たちのために偉大な報いを用意されたことを知りなさい。」³⁰ 預言

者の妻たちよ!あなた方の中で明白な不品行を行う者は誰であれ、二倍に罰せられるであろう。それは神にとって十分に容易なことである。

³¹ しかしあなた方の中で神と彼の使徒に従い、善行を行う者たちは、二倍に報われるであろう。彼らのためにわれらは優れた糧を用意した。³² 預言者の妻たちよ、あなた方は他のいかなる女性とも異なる。もし神を畏れるなら、悪意のある者が誘惑されることのないよう、あまり柔らかな口調で話してはならない。適切な方法で話さない。

³³ 家に留まり、以前の無知の時代のように魅力を誇示してはならない。礼拝を守り、ザカートを払い、神と彼の使徒に従いなさい。(預言者の)家族の女性たちよ、神はあなた方からすべての不純物を取り除き、あなた方を完全に清めることだけを求めている。³⁴ 神の啓示と知恵のすべてが、あなた方の家で朗読されていることを心に留めなさい。神はすべてを包摂し、すべてを認識しておられる。

³⁵ 確かに、[神に]服従した男女—信じる男女、従順な男女、真実な男女、忍耐強い男女、謙虚な男女、慈善深い男女、断食する男女、貞節を守る男女、常に神を心に留める男女—のために、神は赦しと計り知れない報いを用意されている。³⁶ 信じる男性または女性にとって、神と彼の使徒がそれらについて決定を下した後、自分自身の事柄においていかなる選択を行うことも適切ではない。神と彼の使徒に従順な者は誰であれ、明白な誤りの中にいる。

³⁷ あなたが、神とあなたに恵みを与えられた男に言った時を思い出しなさい、「妻を自分のものとしておきなさい。そして神を畏れなさい」と。あなたは神が明らかにしたいと望んだことを心に隠そうとしたのだ。あなたは人々を恐れたが、神を恐れる方がより適切であったはずだ。ザイドが妻を離婚した時、われらは彼女をあなたと結婚させた。養子の妻が離婚された場合、信者が彼女らと結婚することに何の制限もないようにするためである。神の命令は果たされなければならない。

³⁸ 預言者が、神によって彼に許可されたことを行うことに対して、何の非難も生じないであろう。これは彼以前の者たちとの神のやり方であ

った—そして神の命令は定められた決定である。³⁹ 神のメッセージを伝え、彼を畏れ、神以外は誰も畏れなかった者たち。神は精算者として十分である。⁴⁰ ムハンマドはあなた方の男性のだれの父でもない。しかし神の使徒であり、預言者たちの封印である。神はすべてのことを認識しておられる。

⁴¹ 信者たちよ、神をしばしば思い出しなさい。⁴² 彼を朝晩に讃美しなさい。⁴³ 彼こそがあなた方に祝福を送る者であり、彼の天使たちもそうである。彼があなた方を闇から光へと導き出すためである。彼は信者たちに対して最も慈悲深い。⁴⁴ 彼らが彼に出会う日、彼らは「平安!」という挨拶で迎えられるであろう。彼は彼らのために名誉ある報いを用意した。

⁴⁵ おお預言者よ、われらはあなたを証人として、吉報を伝える者として、そして警告者として送り出した。⁴⁶ 彼の許しによって人々を神へと招き、輝く光のように彼らを導く者として。⁴⁷ 信者たちに、神が彼らのために豊かな祝福を用意されているという吉報を伝えなさい。⁴⁸ 真理を否定する者たちや偽善者たちに屈してはならない。彼らの傷つける言葉を無視しなさい。神に信頼を置きなさい。神はあなたの十分な守護者である。

⁴⁹ 信者たちよ、もしあなたが信じる女性と結婚し、結婚が完了する前に彼女たちを離婚するなら、待機期間を守る必要はない。彼女たちに糧を用意し、名誉ある方法で彼女たちを解放しなさい。

⁵⁰ 預言者よ、われらはあなたのために、結納金を与えた妻たち、そして神があなたに与えた戦争捕虜の中から、あなたの右手が所有する者たち、そして[われらはあなたに合法とした]あなたと共に移住した父方の叔父叔母の娘たち、そして母方の叔父叔母の娘たち、そして預言者に自らを捧げる信じる女性も、預言者が彼女と結婚したいと望むならば合法とした。これはあなたにのみ適用され、他の信者には適用されない。われらは彼らの妻たちと、彼らの右手が所有する者たちに関して彼

らに何を定めたかを知っている。あなたに何の非難も生じないようにするためである。神は最も許し深く、最も慈悲深い者である。

⁵¹ あなたは、彼らの中で御心である者の[番を]延期してもよいし、御心である者を迎え入れてもよい。そしてあなたが[番を]脇に置いた者を受け入れても、あなたに何の非難もない。その方がより適切である。彼女たちの目が癒され、悲しまず、あなたが彼らに与えたものに満足するためである。神はあなたの心にあるものを知っている。そして神はすべてを知り、忍耐強い者である。⁵² この後、あなたにこれ以上多くの女性と結婚することは許されない。また、たとえその美しさがあなたを喜ばせても、あなたの右手が所有する者を除いて、他の妻たちと取り替えることも許されない。神はすべてのものを見守っておられる。

⁵³ 信じる者たちよ、食事が招待された場合を除いて、預言者の家に入ってはならない。食事ができるまで長居してはならない。招待されたら入り、食事を終えたら立ち去りなさい。会話にふけて長居してはならない。そうすることは預言者にとって迷惑であるが、彼は遠慮がちであなたにそう言わないが、神は真実を遠慮しない。あなたが[預言者の妻たちに]何か尋ねる時は、カーテン越しに尋ねなさい。その方があなたの心にとっても彼女たちの心にとってもより清いだろう。神の使徒を悩ませること、あるいは彼の後に彼の妻たちと結婚することは、あなた方にとって正しくない。それは確かに神の御前では大いなる過ちである。⁵⁴ あなたが何かを明らかにしようと隠そうと、神はすべてのことを認識しておられる。

⁵⁵ 彼女たちがその父、息子、兄弟、兄弟の息子、姉妹の息子、彼女たちの女性たち、あるいは彼女たちの右手が所有する者の前に現れても、彼女たちには何の非難もないであろう。女性たちよ、神を畏れなさい。神はすべてのことを見守っておられる。

⁵⁶ 神と彼の天使たちは預言者に祝福を授ける。おお信じる者たちよ、あなた方も彼に祝福を呼びかけ、平安の挨拶を送りなさい。⁵⁷ 神と彼の使徒を悩ませる者たちは、この世でも来世でも神によって呪われる

であろう。神は彼らのために屈辱的な懲罰を用意された。⁵⁸ 信じる男性と信じる女性を、彼らがそれに値する(何も悪いことをしていない)のに侮辱する者たちは、中傷と明白な罪の重荷を負うであろう。

⁵⁹ おお預言者よ!あなたの妻たちと娘たち、そして信じる女性たちに、彼らが(公の場で)その外衣の一部を身にまとうべきであると伝えなさい。そうすれば認識され、害を被ることがないように。神は最も許し深く、最も慈悲深い。⁶⁰ もし偽善者たちと、心が汚れた者たち、そしてマディーナのゴシップ好きがやめないなら、われらはきっと彼らに対してあなたに権威を与え、その都市における彼らの日々は数え尽くされるだろう。⁶¹ 呪われた者として、彼らが見つかる場所ならどこでも捕らえられ、殺されるであろう。^a ⁶² これがあなた以前に去って行った者たちに対する神のやり方であった。あなた方は神のやり方には何の変更も見出さないだろう。

⁶³ 人々はあなたに裁きの時について尋ねるだろう。言え、「神のみがその知識を持っている。誰が知っているだろうか?その時は間近に迫っているかもしれない。」⁶⁴ 神は真理を否定する者たちを拒絶し、彼らのために燃え盛る火を用意した。⁶⁵ そこに彼らは永遠に住み、そこでは友も助け手も見つけれないだろう。⁶⁶ 彼らの顔が業火の中でひっくり返される日、彼らは言うだろう、「ああ、もし私たちが神に従い、使徒に従っていたらよかったのに!」⁶⁷ 彼らは言うだろう、「私たちの主よ、私たちは私たちの指導者たちと長老たちに耳を傾けましたが、彼らは私たちを正しい道から迷わせました。⁶⁸ 私たちの主よ、彼らに二重の懲罰を与え、強大な呪いを彼らにかけなさい。」

⁶⁹ 信者たちよ、モーセを中傷した者たちのように振る舞ってはならない。神は彼らをその告発から清められた。彼は神の御前で名誉ある者であった。⁷⁰ 信者たちよ、神を畏れ、正しい言葉を言いなさい。⁷¹ 彼は

a 序文のxivページからxviiページを参照。

あなた方の行いを祝福し、あなた方の罪を赦すであろう。神と彼の使徒に従う者は誰であれ、確かに大きな成功を収めた。

⁷² われらは天と地と山々に信託を申し出たが、それらは恐れてそれを負うことを拒否した。しかし人間はそれを負った。彼は確かに不正で無知であることが証明された。⁷³ 神は偽善者たち、男性も女性も、そして多神教徒たち、男性も女性も罰するであろう。しかし神は信じる男性と信じる女性に慈悲をもって向き直るであろう。神は最も許し深く、最も慈悲深い者である。

34. シバ (サバア)

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ 称賛は神にこそ。天と地にあるすべてのものは彼に属し、来世においても彼に称賛あれ。彼はすべてを賢く、すべてを認識しておられる。² 彼は地中に入るものも、地から出てくるものも、天から下るものも、天に昇るものも知っている。彼は慈悲深く、許し深い。

³ 真理を否定する者たちは宣言する、「裁きの時は決して私たちには来ないだろう」と。言え、「はい、私の主に掛けて、それはきっとあなた方に来るでしょう！不可視のものを知る方。天にも地にも、最も小さな粒子、あるいはそれよりも小さなものも大きなものも、彼から逃れるものはない。すべては開かれた書に記録されている。⁴ 彼はきっと信じ、善行を行う者たちに報いるであろう。彼らには赦しと名誉ある糧がある。」⁵ しかしわれらのしるしに反抗し、その目的を挫こうとする者たちは、苦痛な責め苦を受けるであろう。⁶ 知識を与えられた者たちは、あなたに主から啓示されたものが真実であり、それが全能で称賛されるべきお方の道へと導くことを知っている。

⁷ 真理を否定する者たちは言う、「あなた方に、あなたが粒子に分解されたら、新しい創造物として再び組み立てられるだろうと告げる男を指し示そうか？」⁸ 彼が神について嘘をでっち上げたのか、それとも彼

は狂気に見舞われているのか?」いや、決してそうではない。苦痛を受けるのは来世を信じない者たちである。彼らは遠く誤りに迷い込んでいるからである。⁹ 彼らは、天と地にある彼らの前と後ろから彼らを取り囲むものを観察しないのか?もしわれらが望むなら、彼らを地に飲み込ませることも、あるいは天の一部を彼らの上に落とすこともできる。その中には、われらに立ち返るわれらの僕すべてへの確かなしりがある。

¹⁰ われらはダビデに大いなる恵みを授けた。われらは言った、「お山々よ、鳥たちよ!彼と共にわれらの讃美を称えよ。」われらは彼のために鉄を柔らかくし、言った、¹¹「完全な鎖帷子を作りなさい。環をよく測りながら。そして正義の行いをしなさい。確かに、私はあなたがなすことすべてを見ている。」

¹² われらはソロモンに風を従わせた。その朝の行程は一ヶ月、夕方の行程も一ヶ月であった。そしてわれらは彼のために溶けた銅の泉を流させた。そしてジンの中には、彼の主の命令によって彼のもとで働く者たちがいた。彼らの誰かがわれらの命令から逸脱するなら、われらは彼に燃え盛る火の懲罰を味わわせるであろう。¹³ 彼らは彼の望むものすべてを作った。宮殿や彫像、貯水池のような水盤、そしてその場に固定された大きな調理器具を。われらは言った、「ダビデの家族よ、感謝しなさい。私の僕の中で真に感謝する者は少ないからである。」

¹⁴ われらがソロモンの死を定めた時、彼らに彼の死を示したのは、彼の杖を食い尽くしていた地中の虫以外には何もなかった。彼が倒れると、ジンたちは、もし彼らが不可視のものを知っていたなら、そのような屈辱的な労働を続ける必要はなかっただろうと明白に悟った。

¹⁵ シバの民にはその故郷にしりがあった。右に一つ、左に一つ、二つの園である。われらは彼らに言った、「あなた方の主があなた方に提供したものを食べ、感謝しなさい。あなた方には良い土地と最も許し深い主がいる。」¹⁶ しかし彼らは(真実から)背を向けた。そこでわれらはダムから洪水(の災い)を彼らに解き放ち、彼らの二つの園を、苦い実を結ぶ別の二つの園、タマリスクの木々、そして少数のナツメヤシの木

々に置き換えた。¹⁷ われらはそのように彼らに報いた。彼らの不平不平ゆえである。われらは恩知らずな者以外にはそのように報いない。

¹⁸ われらは彼らと、われらが祝福した町々との間に、互いに近い場所に位置する他の町々を置き、彼らの間の(旅の)段階を定めて言った、「夜も昼も安全にそれらの間を旅しなさい」と。¹⁹ しかし彼らは言った、「私たちの主よ! 私たちの旅の段階を長くしてください。」こうして彼らは自らを不義に陥れ、われらは彼らを過ぎ去った物語とし、彼らを土地全体に散らした。その中には、堅固で感謝するすべての人への確かなしるしがある。

²⁰ サタンは彼らに関するその評価において正しかった。彼らは皆彼に従った—真の信者たちの一団を除いては—²¹ しかし彼には彼らに対する何の権威もなかった。われらは来世を信じる者たちと、それについて疑いの中にいる者たちとを区別したいだけであった。あなたの主はすべてのものを見守っておられる。

²² あなた方が神の傍らに立てた者たちを呼びかけなさい! 彼らは天にも地にも原子の重さほどのものも持たず、どちらにも何の分け前もなく、また彼には彼らの中に何の助け手もない。²³ 彼の許可を得た者以外には、いかなる執り成しも彼のもとの役立たない。彼らの心が恐怖から解放されると、彼らは許可を与えられた者たちに尋ねるだろう、「あなたの主は何と言われたのか?」彼らは答えるだろう、「真実を。彼は最も高く、至高なる者である。」

²⁴ 彼らに尋ねなさい、「天と地からあなた方に糧を提供する者は誰か?」言え、「神だ」。あなた方が私たちのどちらかが正しく導かれているか、あるいは明白な誤りの中にいるのだ。²⁵ 彼らに言え、「あなた方は私たちの罪について責任を問われることはないし、私たちもあなた方がなすことについて責任を問われることはない。」²⁶ 彼らに言え、「私たちの主は私たちを集め、その後、真実と正義をもって私たちの間を裁かれるであろう。彼は公正な決定者であり、すべてを知り尽くされる方である。」²⁷ 彼らに言え、「彼に仲間として結びつけた者たちを私に見せな

さい。いや、決して!なぜなら彼のみが神であり、力強く、賢明な者だからである。」

²⁸ われらはあなたを全人類への吉報を伝える者、そして警告者として送ったが、ほとんどの人間は知識を持たない。²⁹ 彼らは尋ねる、「もしあなたが真実を言うなら、この約束はいつ果たされるのか?」³⁰ 言え、「あなた方のためにすでに定められた日がある。あなたはそれを一瞬たりとも遅らせることも、早めることもできない。」

³¹ 真理を否定する者たちは言う、「私たちはこの聖典も、それ以前のいかなるものも信じないだろう」と。もし不義を働く者たちが彼らの主の前に立たされ、互いを非難し合うのを見ることができたなら!弱かった者たちは傲慢な者たちに言うだろう、「あなた方がいなければ、私たちはきっと信者になっていたでしょう!」³² 傲慢な者たちはその時、弱い者たちに答えるだろう、「導きがあなた方に来た時、私たちがあなた方をそれから遠ざけたのか?いや、決して。あなた方自身が罪人だったのだ。」³³ 弱いと見なされた者たちは偉いと見なされた者たちに言うだろう、「いや、それはあなた方の昼夜の陰謀だったのだ。私たちに神を拒絶し、彼に同等を配するよう命じたのは。」しかし彼らは懲罰を見た時、後悔の念を示すだろう。われらは真理を否定することに固執した者たちの首に鉄の首輪をかけるであろう。彼らはその悪行に比例してのみ報われるであろう。

³⁴ 各々の共同体に警告者を送るたびに、常にそうであった。その富裕な者たちは言った、「あなた方が送られたものを私たちは拒絶する。」³⁵ 彼らは言う、「私たちはより多くの富と子供を持っています。そして私たちはきっと罰せられることはないでしょう。」³⁶ 彼らに言え、「私の主は、御心である者に糧を増やし、御心である者にはそれを減らされる。しかしほとんどの人はそれを知らない。」³⁷ あなたの富や子供たちが、私たちへの近さをあなたにもたらしことはない。信じ、正しく行動する者たちこそ、その善行に対して二倍報われ、平和のうちに(楽園の)高い館に住むであろう。³⁸ 一方、われらのメッセージを妨げようと努力し、その

目的を挫こうとする者たちは、懲罰に召喚されるであろう。³⁹ 彼らに言え、「私の主こそが、彼の僕の中で御心である者に糧を増やし、御心である者にはそれを減らされる方である。あなたが費やすものすべて、彼はそれに対してあなたに報いるであろう。彼は最高の糧を与える者である。」

⁴⁰ 彼が彼らすべてを集める日、彼は天使たちに尋ねるだろう、「これらの人々がお前たちを崇拜していたのか?」⁴¹ 彼らは言うだろう、「あなたに栄光あれ!あなたは私たちの保護者であり、彼らではありません。いや、決して!彼らはジンを崇拜していました。彼らのほとんどがジンを信じていました。」⁴² 今日、あなた方は互いに益することも害することもできない力を持たない。われらは不義を働く者たちに言うであろう、「あなたが執拗に否定していた業火の懲罰を味わえ。」

⁴³ われらのメッセージが明確にすべて彼らに伝えられるたびに、彼らは言う、「この[ムハンマド]は、あなた方を父祖が崇拜していたものから遠ざけようとしている男にすぎない」と。そして彼らは言う、「この[クルアーン]はでっち上げられた虚偽にすぎない」と。そして真理を否定することに固執する者たちは、真理が彼らに來た時、その真理についてこう語る、「これは明らかに単なる明白な魔術にすぎない!」⁴⁴ われらは彼らに研究する書を与えなかったし、あなた以前に警告者も送らなかった。⁴⁵ 彼らの先祖も真実を拒絶した。彼らはわれらが以前の民に授けた力の十分の一にも達していない。しかし彼らは私の使徒たちを拒絶した。ならば、私の懲罰はいかに恐ろしいものであったことか!

⁴⁶ 彼らに言え、「あなた方に一つのことを忠告する。それは、二人組で、あるいは一人で神の前に立ち、それから熟考することだ。そうすればあなた方は、あなたの仲間が狂気に見舞われていないことに気づくだろう。彼は、差し迫った厳しい懲罰についてあなたに警告する警告者にすぎない。」⁴⁷ 言え、「もし私があなた方からいかなる報いも求めたなら、それはあなた方が持っていてよい。神のみが私に報いるであろう。彼はすべてのものの証人である。」

⁴⁸ 彼らに言え、「私の主は真実を[虚偽に]投げつける。そして彼は隠されたことを知る者である。」⁴⁹ 彼らに言え、「真実が来て、永続するであろう。虚偽には、いかなる善も生み出す力も、それを再現する力もない。」⁵⁰ 断言せよ、「もし私が誤りの中にいるなら、私はその重荷を負うであろう。そしてもし私が正しく導かれているなら、それは私の主が私に啓示されたことのゆえである。真に、彼はすべてを聞き、間近にいる。」

⁵¹ 真理を否定する者たちが恐れおののき、逃げ道がなく、近くの場合から捕らえられる時を見ることができたなら。⁵² その時彼らは言うだろう、「私たちは今、彼を信じます。」しかし、信仰からそんなに遠く離れてしまって、どうして信仰に達することができようか？⁵³ 彼らは以前にもそれを拒絶しており、遠くから推測にふけていたのだ。⁵⁴ そして彼らと彼らの欲望の間には障壁が置かれるであろう。彼らと同じ種類の民に対して以前に行われたように。彼らは確かに、不安な疑いの中にいたのである。

35. 創造者（ファースティル）

慈悲深く、慈愛あまねきアツラーの御名において。

¹ 称賛は神にこそ。天と地の創造主であり、天使を二つ、三つ、あるいは四つの翼を持つ使者とし、御心であるものを創造に加える方。神はあらゆることを御心通りにできる力を持っている。² 神が人々に授ける祝福を誰も差し止めることはできないし、彼以外には、彼が差し止めるものを誰も授けることはできない。彼は全能であり、賢明な方である。

³ 人々よ、神があなた方にくださった恵みを思い出しなさい。天と地からあなた方に糧を与える神以外の創造者がいるだろうか？彼以外に神はいない。ならばどうしてあなた方は真実から背を向けられるのか。

⁴ もし彼らがあなたを拒絶するなら、あなた以前にも他の使徒たちは拒絶された。神のもとにすべての事柄は帰るであろう。

⁵ おお人間たちよ。神の約束は真実である。この世の生があなた

方を欺かないように。また欺く者が神についてあなた方を欺かないように。⁶ 確かにサタンはあなた方の敵である。だから彼を敵として扱え。彼は彼の追従者たちを、燃え盛る火の住人となるためだけに招く。⁷ 真理を否定することに固執する者たちには厳しい懲罰があるであろう。一方、信じ、善行を行う者たちには赦しと大きな報いがあるであろう。

⁸ その悪行が彼にとって魅力的に見え、それを善と見なす者が、(正しく導かれた者と)同じであろうか？神は御心である者を迷わせ、御心である者を導かれる。彼らのために悲しみで自らを滅ぼすな。神は彼らのすべての行動を完全に認識しておられる。

⁹ 神こそが風を送り出し、それらが雲を巻き上げるようにする者である。われらはそれらを死んだ土地へと駆り立て、それによって大地をその死後生き返らせる。そのようなものが復活である。¹⁰ もし誰かが栄光を求めるなら、栄光は神のみに属することを知るべきである。良い言葉は彼のもとに昇り、正義の行いは彼によって高められる。邪悪な行いを企てる者たちは厳しく罰せられ、彼らの企みは無に帰するであろう。¹¹ 神はあなた方を塵から創造し、それから精液の一滴から、それからあなた方を対に分けた。彼が知ることなく、女性が身ごもったり出産したりすることはない。そして誰の寿命も延ばされたり縮められたりすることはない、それが書に記録されていないことはない。それは確かに神にとって容易なことである。

¹² 二つの海は同じではない。一方は甘く、喉の渇きを癒し、飲むのに心地よいが、もう一方は塩辛く苦い。それでも各々からあなたは新鮮な魚を食べ、身につける装飾品を取り出す。そして各々で船が波を切り裂いて進むのを見る。あなた方が彼の恵みを求め、感謝するように。

¹³ 彼は夜を昼に変え、昼を夜に変える。彼は太陽と月を彼に従わせ、それぞれが定められた期間その軌道を追う。そのようなものが神、あなた方の主である。王国は彼のものである。あなた方が彼以外に呼びかける者たちは、ナツメヤシの皮ほどのものも所有しない。¹⁴ もしあなたが彼らと呼ばかけても、彼らはあなたの呼びかけを聞かない。そしてたと

え彼らが聞くことができたとしても、あなたに伝えることはないだろう。そして復活の日には彼らは、あなた方が彼らを神と結びつけたことを否認するだろう。すべてを知り尽くす者[神]のように真実をあなたに語れる者は誰もいない。

¹⁵ おお人間たちよ! あなた方は神を必要としている—神は自給自足であり、称賛されるべきお方である—¹⁶ もし彼がそう望むなら、あなた方を排除し、新しい創造物と置き換えることができる。¹⁷ それは神にとって困難なことではない。¹⁸ 重荷を負う者が他者の重荷を負うことはない。そしてもし過度の重荷を負った魂が、誰かに自分の重荷を運んでもらうよう叫んだとしても、たとえ近親者であったとしても、そのごくわずかな部分も彼のために負われることはないだろう。あなたは不可視のものにおいてあなたの主を畏れる者たち、そして定期的に祈る者たちにのみ警告できる。自らを清める者は誰であれ、そうすることによって大いに利益を得るであろう。神のもとにすべては帰るであろう。

¹⁹ 盲人と見る者とが等しいことはなく、²⁰ 闇と光もそうではなく、²¹ 影と熱も同じではない。²² 生ける者と死者もそうではない。神は御心である者に彼を聞かせる。しかしあなたは墓の中にいる者たちにあなたの声を聞かせることはできない。²³ あなたは単なる警告者である—²⁴ われらはあなたを真実を携えて、吉報を伝える者として、そして警告者として送った—警告者が来なかった共同体は存在しない。²⁵ もし彼らがあなたを拒絶するなら、彼らの先祖もそうした。使徒たちは彼らに明確なしるし、聖典、そして啓発する書を携えて来た。²⁶ しかし結局、われらは真理を否定することに固執する者たちを捕らえた。そして私の懲罰はいかに恐ろしいものであったことか。

²⁷ 神がいかに空から水を送り、それによってわれらが様々な色の果実を生み出すかを見なかったか。山々には様々な色合いの白と赤の筋、そして漆黒の岩がある。²⁸ 同様に、人間、獣、そして家畜もまた多様な色合いを持つ。彼の僕の中で、知識を持つ者たちだけが神を畏れる。神は全能であり、最も許し深い。

²⁹ 神の書を読み、定期的に祈りを捧げ、われらが彼らに提供したものの中から秘密裏に、そして公に施しをする者たちは、損失のない商売を望むことができる。³⁰ 彼は彼らにその報いを完全に与え、彼の恵みの中からさらに多くを与えるであろう。彼は許し深く、感謝する者である。

³¹ われらがあなたに啓示した書は、以前の聖典を確証する真実である。神は彼の僕たちを知り、監視しておられる。

³² われらはわれらが選んだわれらの僕たちに書を授けた。ある者は自らの魂を不義に陥れ、ある者は(正邪の間で)中間を保ち、ある者は、神の許しによって、善行において他者を凌駕する。これは神の大いなる恵みである。³³ 彼らは永遠の園に入り、そこで金の腕輪と真珠で飾られ、絹の衣をまとうであろう。³⁴ 彼らは言うだろう、「私たちからすべての悲しみを取り除いてくださった神に称賛あれ。私たちの主は許し深く、感謝する者である。³⁵ 彼の恵みを通して、彼は私たちを永続する住処に入れてくださった。そこでは労苦も疲れも私たちには影響しない。」

³⁶ 真理を否定する者たちは地獄の火の中に留まるであろう。彼らが死によって逃れることができるように、死は彼らには定められないし、その責め苦が彼らのために軽減されることも決してないであろう。このようにわれらはすべての恩知らずな者に報いる。³⁷ そこでは彼らは叫ぶだろう、「主よ、私たちをここから出してください!私たちは善行を行い、以前とは異なる行動をとります。」しかし彼は答えるだろう、「もしあなたがそうするつもりだったなら、警告を受け入れるのに十分なほど長く、われらはあなたを生きさせなかったか?警告者はあなたのもとに来たのだ。だから今、懲罰を味わえ。」不義を働く者たちには助け手はいないだろう。

³⁸ 神は天と地の隠された現実を知っている。彼は人間の心にあるものを完全に認識している。³⁹ 彼こそがあなた方を地の相続者とした者である。彼を否定する者は、その否定の重荷を負うであろう。神の否

定者たちへの不満は、真理の否定によって増すばかりであり、それは彼らの損失を増すだけである。^a

⁴⁰ 言え、「神以外にあなた方が呼びかけるあなたの仲間たちを考えたことがあるか？彼らが地上で何を創造したか私に見せなさい。あるいは彼らは天の創造に分け前を持っているのか？」あるいはわれらは彼らに、それから証拠に基づいて行動できる書を与えたのか？確かに、不義を働く者たちの互いへの約束は欺瞞にすぎない。⁴¹ 確かに、神は天と地を保持している。それらが（その軌道から）逸脱しないように。もし彼らが逸脱したなら、彼以外には誰もそれらを保持することはできないだろう。確かに、彼は忍耐強く、最も許し深い。

⁴² 彼らは最も厳粛な誓いを立てた。もし警告者が彼らのところに来たら、彼らは他のどの共同体よりも良く導かれるだろうと。しかし警告者が彼らのところに来ると、それは彼らの嫌悪を増すばかりであった。

⁴³ そして彼らは土地で傲慢に振る舞い、悪を企てた。しかし悪の企みは、企む者たちに跳ね返るだけである。彼らは以前の民[罪人たち]が扱われた方法を探しているだけなのか？あなた方は神のやり方には何の変更も見出さないだろうし、神の命令が避けられることも決してないだろう。⁴⁴ 彼らは地球を旅し、彼ら以前の者たちの運命を見なかったのか？そして彼らは力において彼らよりもはるかに優れていた。天にも地にも、神の[計画を]挫くことができるものは何もない。彼はすべてを知り、全能である。

⁴⁵ もし神が人々にその悪行のために責任を問うとしたら、地上の表面に生きる被造物一人さえも残さないだろうが、彼は定められた時まで

a この節では、「地を相続する」(ハリファ)とは、「以前の民族の出現後、あなた方は彼らに代わって地に定住させられた」ことを意味する。全能なる神は民族に地に定住し、進歩する機会を与えるのが常である。そして、それが能力がないことを証明すると、彼はそれを別の民族に置き換える。

彼らに猶予を与える。そして彼らの定められた時が来ると、彼らは神が彼のすべての僕たちを確かに監視していることを知るであろう。

36. ヤー・スーン (ヤー・スーン)

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ ヤー・スーン。

² 知恵に満ちたクルアーンにかけて。³ あなたは確かに使徒の一人である。⁴ まっすぐな道の上に。⁵ 力強く、慈悲深いお方によって下された啓示と共に。⁶ その父祖が警告されず、それゆえ無頓着な民に警告するために。

⁷ その言葉は彼らの大部分に対して真実であると証明された。彼らは信じないであろう。⁸ われらは彼らの首に、顎まで届く枷をかけた。彼らが頭を下げられないように。⁹ そしてわれらは彼らの前に障壁を、彼らの後ろにも障壁を置き、彼らを覆い隠したので、彼らは見るができない。¹⁰ あなたが彼らを警告しようとしまいと、彼らには何の違いもない。彼らは信じないであろう。¹¹ あなたが警告できるのは、訓戒に従おうとする者、そして不可視なる慈悲深い神を畏れる者だけである。彼らに赦しと高貴な報いの吉報を与えなさい。

¹² われらは確かに死者を生き返らせるであろう。そして彼らが先に送るものも、後に残すものも記録する。われらはすべてを明確な書に記録した。

¹³ 彼らに、われらの使徒たちがその町に来た民の例を語りなさい。¹⁴ われらが彼らに二人の使徒を送った時、彼らは二人とも拒絶したので、われらは三人目の使徒で彼らを強化した。彼らは言った、「確かに、私たちは[神によって]あなた方へ使徒として送られた。」¹⁵ 彼らは答えた、「あなた方は私たちと同じ単なる人間であり、慈悲深い神は何一つ啓示していない。あなた方は確かに嘘をついている。」¹⁶ 彼らは言

った、「私たちの主は、私たちがあなた方へ送られたことを知っている。¹⁷ そして私たちの義務は、あなた方に明確にメッセージを伝えることだけである。」¹⁸ しかし彼らは答えた、「私たちはあなた方に不吉な前兆を見る。もしあなたがやめないなら、私たちはきっとあなたを石打ちにするであろう。そしてあなたは私たちの手によって苦痛な懲罰を受けるであろう。」¹⁹ 彼らは言った、「あなた方の不吉な前兆はあなた方と共にいる!それは真実について忠告されているからか?確かに、あなた方はすべての境界を侵害する民である!」

²⁰ その時、都市の最も遠い場所から一人の男が走って来た。彼は言った、「私の民よ、使徒たちに従いなさい。²¹ あなた方から何の報いも求めず、正しく導かれた者たちに従いなさい。

²² 「なぜ私を存在させた彼を私が崇拝しないことがあろうか、彼のもとにあなた方は皆呼び戻されるであろうのに?²³ 彼以外を神々とするだろうか?もし慈悲深い神が私に何らかの害を意図するなら、彼らの執り成しは何の役にも立たないし、彼らは私を救うこともできないだろう。²⁴ その場合、私は確かに明白な誤りの中にいることになる。²⁵ 確かに、私はあなた方の主を信じたのだ。だから私の言うことを聞きなさい。」²⁶ われらは彼に言った、「樂園に入れ」と。すると彼は叫んだ、「私の民が知っていたらよかったのに!」²⁷ 私の主がいかに私を赦し、私を荣誉ある者たちの中に置いてくださったかを!」

²⁸ 彼の後、われらは彼の民に対して天からの軍勢を下さなかったし、そのような軍勢を下すこともない。²⁹ それはただ一つの大いなる爆音であった。すると彼らは命なく倒れた。³⁰ 人々には災いあれ!彼らは彼らのところに来るすべての使徒を嘲笑する。³¹ 彼らは、われらが彼ら以前にどれほど多くの世代を滅ぼしたかを見ないのか?彼らは決して彼らに戻ることはないだろう。³² 彼らすべては、集められ、確かにわれらの前に連れてこられるであろう。

³³ 彼らには生命のない大地にしるしがある。われらはそれを生き返らせ、そこから彼らが食べる穀物を生産する。³⁴ われらはそこにナツメ

ヤシとブドウの園を置き、そこから泉を噴き出させた。³⁵ 彼らがその実を食べられるように。彼らの手でそれが作られたわけではないのに。ならば彼らは感謝しないのか？³⁶ 彼の創造物すべてを対にして創造された彼は神聖である。大地が育むものも、彼ら自身も、そして彼らが知らない他のものも。

³⁷ 彼らには夜にしるしがある。われらはそこから昼の[光を]取り去る—すると彼らは闇の中に残される。³⁸ 太陽もまた、全能で、すべてを知り尽くされる方によって定められた軌道を追う。³⁹ われらは月の段階を定め、ついにそれは古いヤシの幹のようになる。⁴⁰ 太陽は月を追い越すことはできないし、夜が昼を凌ぐこともできない。それぞれが[自身の]軌道で浮遊する。

⁴¹ 彼らへのもう一つのしるしは、われらが彼らの子孫を積み荷のある箱舟に乗せたことである。⁴² われらは彼らのために、彼らが乗るためのそれと似たものを作った。⁴³ もしそれがわれらの意志であったなら、彼らを溺れさせることもできたであろう。その時、助け手は誰もいなくなり[彼らの叫びを聞く者もない]、彼らは救われることもなかったであろう。⁴⁴ それはわれらの慈悲によるものだけであり、彼らにはしばらくの間糧が与えられる。

⁴⁵ 彼らが「あなた方の前にあるものと後ろにあるものから身を守りなさい。あなた方が慈悲を示されるように」と言われる時、[彼らは背を向ける]。⁴⁶ 確かに、彼らが神のしるしから背を向けないということは一つもない。⁴⁷ そして彼らが「神があなた方に提供したもののうちから他者に与えなさい」と言われると、真理を否定することに固執する者たちは信者たちに言う、「神が望むなら養うことのできる者たちをなぜ私たちが養わなければならないのか？あなた方は明らかに誤りの中にいる！」

⁴⁸ 彼らは言う、「もしあなたが真実を語るなら、この約束はいつ果たされるのか？」⁴⁹ 彼らはただ一つの爆音を待っているに違いない。それは彼らがまだ議論している間に彼らを捕らえるであろう。⁵⁰ 彼らには

遺言を残す時間もなく、彼ら自身の民の元に戻ることもないであろう。

⁵¹ ラッパが吹かれ、たちまち彼らは墓から立ち上がり、彼らの主のもとへと急ぐであろう。⁵² 「ああ、私たちに災いあれ！」彼らは言うだろう、「誰が私たちを眠りから起こしたのだ？」これこそ慈悲深い主が約束したことだ。使徒たちは真実を語ったのだ！⁵³ それはただ一つの爆音にすぎず、彼らは皆共にわれらの元に連れてこられるであろう。

⁵⁴ その日、いかなる魂も微塵も不正を被ることはない。あなた方はその行いに応じてのみ報われるであろう。⁵⁵ 楽園の人々は、その日、幸福に過ごすであろう—⁵⁶ 彼らと彼らの妻たちは一日陰の寝椅子に寄りかかり、⁵⁷ そこには果物があり、彼らが求めるものすべてがあるであろう。⁵⁸ 慈悲深い主からの挨拶は「平安！」であろう。

⁵⁹ [そして神は言うだろう]、「今日、お前たち罪人どもは義しい者たちから離れなさい。⁶⁰ おおアダムの子らよ、サタンを崇拜しないよう、私が命じなかったか？—彼はあなた方の誓われた敵である。⁶¹ 私を崇拜するよう命じなかったか？確かに、それがまっすぐな道である。⁶² それなのに彼はあなた方の多くを迷わせた。なぜあなた方は理解しなかったのか？⁶³ これこそあなた方が約束されていた地獄である。⁶⁴ 今日、真理を否定したことのゆえにそこへ入れ。」⁶⁵ 今日、われらは彼らの口を封じ、彼らの手がわれらに語りかけ、彼らの足が彼らの悪行について証言するであろう。

⁶⁶ もしそれがわれらの意志であったなら、われらは彼らの目を奪うことができたであろう。彼らは道を見つけようと苦労しただろうが、どうしてそれを見ることができたろうか？⁶⁷ もしそれがわれらの意志であったなら、われらは彼らが立っていた場所で彼らを麻痺させることができたであろう。そうすれば彼らは前進することも後退することもできなかっただろう。⁶⁸ われらが誰かの命を延ばせば、われらはその発達を逆転させる。彼らは理性を使えないのか？⁶⁹ われらは彼に詩を教えなかったし、彼にとってそれにふさわしいものでもなかった。これは単なる訓戒

であり、明確なクルアーンである。⁷⁰ 真に生きているすべての者を警告し、否定者たちに対して言葉(神の裁き)を正当化するために。

⁷¹ 彼らは、われらの手が作ったものの中で、彼らが主人である家畜を彼らのために創造したことを見ないのか?⁷² われらはこれらを彼らに従わせたので、あるものは乗用として、あるものは食用として使われ、⁷³ あるものは飲むための乳となり、あるものは他の利益を受けることができる。彼らは感謝しないのか?⁷⁴ 彼らは神以外の神々を立て、彼らによって助けられることを望んだが、⁷⁵ 彼らは彼らを助けることはできない。むしろ彼らは彼らの同盟軍として神の前に連れてこられるであろう。⁷⁶ 彼らの言葉があなたを悲しませてはならない。われらは彼らが隠すものも明らかにするものもすべて認識している。

⁷⁷ 人間は、われらが彼を液滴から創造したことを見ないのか? それでも彼は、公然と論争好きであり、⁷⁸ われらに対して議論を提出し、彼自身の創造を忘れる。彼は尋ねる、「骨が腐り去った後で、誰が骨に命を再び与えることができるのか?」⁷⁹ 言え、「最初にそれらを生み出した彼が、それらに再び命を与えるだろう。彼はあらゆる種類の創造を認識している。⁸⁰ 彼こそがあなたのために緑の木々から火を生み出し、そこからあなた方は火を起こす。」⁸¹ 天と地を創造した彼が、これらの人々のような他の者たちを創造できないとでも? もちろんできる! 彼はまさに至高の創造者、すべてを知り尽くされる方である。⁸² 彼が何かを定めるとき、ただ「あれ!」と言うだけで、それは存在する。⁸³ だから、すべてのものを支配する彼に栄光あれ。彼のもとにあなた方は皆連れ戻されるであろう。

37. 整列者たち (アッ・サーファート)

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ 密接な列に並ぶそれらの[天使たち]にかけて。² そして非難をもって[悪しき者たちを]追い払う者たちにかけて。³ そして訓戒を朗読する者た

ちにかけて。⁴ あなた方の神は唯一である。⁵ 天と地とそれらの間にあるすべてのものの主であり、東の主である。

⁶ われらは最も低い天を惑星の美しさで飾った。⁷ そしてそれをすべての反抗的な悪魔から守った。⁸ 彼らは高次の集会を盗み聞くことはできない。なぜなら彼らはあらゆる方向から石を投げつけられ、⁹ 追い払われ、永遠の懲罰を受けるであろうから。¹⁰ しかし、もし誰かが(そのような知識を)垣間見ることに成功しても、彼は貫く炎に追われるであろう。

¹¹ だから真理を否定する者たちに尋ねなさい。彼らを創造する方が、われらが創造した他のすべてのものを創造するよりも困難であったか? われらは彼らを粘着性の粘土から創造したのだ。¹² 彼らが嘲笑するのを見てあなたが驚くのも無理はない。¹³ 彼らが忠告されても、耳を傾けない。¹⁴ そしてしるしを見るたびに、彼らはそれを嘲笑し、¹⁵ 言う、「これは明白な魔術だ!」¹⁶ 「何だと! 私たちが死んで塵と骨になったら、また生き返らされるのか、¹⁷ 私たちの父祖たちと共に?」¹⁸ 言え、「はい、確かに、そしてあなた方は卑しくされるだろう。」

¹⁹ ただ一つの爆音があるだけで、彼らの目は開かれるだろう。²⁰ 彼らは言うだろう、「私たちに災いあれ! これこそが精算の日だ。」²¹ [言われるだろう]、「これがあなた方が否定してきた裁きの日だ。」²² しかしわれらは言うだろう、「悪を行った者たちを、彼らの仲間たちと、彼らが崇拜していたもの[23]神以外に、集めなさい。そして彼らを業火の道へ導きなさい。²⁴ そしてそこで彼らを止め、尋問しなさい。「あなた方には何があったのだ、なぜ互いを助けられないのだ?」²⁶ 確かに、その日、彼らは服従するであろう。

²⁷ 彼らは互いに向き合い、互いに尋問する。²⁸ 彼らは言うだろう、「あなた方は右から私たちに迫ってきたのだ。」²⁹ 彼らは言うだろう、「違う! 信じようとしなかったのはお前たちだ—³⁰ 私たちはお前たちに対して何の力もなかった。しかしお前たち自身が反抗的な民だったのだ。

³¹ しかし今、私たちの主の言葉が私たちに対して真実となった。真に、

私たちは(懲罰を)味わう運命にある。³² 私たちは自ら迷っていたように、あなた方を迷わせたのだ。』³³ その日、彼らは皆懲罰を分かち合うであろう。³⁴ それがわれらが悪を行う者たちを扱う方法である。³⁵ 彼らが「神以外に神はいない」と言われると、彼らは軽蔑して背を向け、³⁶ そして答えた、「狂った詩人の命令で私たちの神々を放棄するのか?」³⁷ 「確かに、彼は真実をもたらし、以前送られた者たちを確認する。³⁸ あなた方はきっと苦痛な懲罰を味わうであろう、³⁹ そしてその行いに応じてのみ報われるであろう。」

⁴⁰ しかし神の選ばれた僕たちについては、⁴¹ 定められた糧があるであろう—⁴² 様々な種類の果実。そして彼らは敬われるであろう。⁴³ 至福の園で、⁴⁴ 寝椅子に座り、互いに向き合い。⁴⁵ 流れる泉からの飲み物が彼らの間で回されるであろう。⁴⁶ 白く、飲む者にとって美味しい。⁴⁷ 酩酊したり、意識を失わせたりすることはない。⁴⁸ 彼らには貞淑な目つきで美しい目の配偶者がいるであろう—⁴⁹ 厳重に守られた真珠のようである。

⁵⁰ 彼らは互いに質問し合うであろう。⁵¹ 彼らの一人が言うだろう、「私には友人がいた。⁵² 彼は尋ねたものだ、『お前は本当に信じるのか、⁵³ 私たちが死んで塵と骨になった後、裁きを受けることになる?』」⁵⁴ その時彼は言うだろう、「彼を探そうか?」⁵⁵ その時彼は見て、彼が業火の真ん中にいるのを見るだろう。⁵⁶ 彼は言うだろう、「神にかけて! お前はほとんど私を破滅させた!」⁵⁷ もし私の主の恵みがなかったなら、私もまた地獄に連れて行かれていただろう。」⁵⁸ その時彼は(彼の祝福された仲間たちに)言うだろう、「私たちは死なないのか、⁵⁹ 私たちの最初の死以外には? 私たちは罰せられないのか?」⁶⁰ 真に、これは大いなる勝利だ!」⁶¹ このようなことのために、皆が努力すべきである。

⁶² それは歓待の点でより良いか、それともザクームの木か。⁶³ われらが不義を働く者たちへの試練としたもの。⁶⁴ それは地獄の底から生える木である。⁶⁵ そしてその果実は悪魔の頭のようなものである。⁶⁶ 彼らはそこから食べ、その腹を満たすであろう。⁶⁷ その後、それに加えて煮え

滾る水を飲むであろう。⁶⁸ その後、きっと地獄に戻るであろう。⁶⁹ 彼らはその父祖が道を誤っていたことを知った。⁷⁰ だから彼らはその足跡を追おうと急いでいる。⁷¹ そして確かに彼ら以前にも多くの古代人が道を誤った。⁷² われらは彼らの間に警告者たちを送っていたにもかかわらず。⁷³ 警告された者たちがいかにその末路を迎えたかを見なさい!⁷⁴ 神の選ばれた僕たちはそうではなかった。

⁷⁵ ノアはわれらに叫び、われらの応答はいかに素晴らしかったことか!⁷⁶ われらは彼と彼の民を大きな苦難から救い、⁷⁷ そして彼の子孫を唯一の生存者とした。⁷⁸ われらは彼について後世に言及を残した。⁷⁹ 平安はすべての民の中でノアの上に!⁸⁰ それがわれらが義しい者たちに報いる方法である。⁸¹ 彼は真にわれらの忠実な僕の一であった。⁸² われらは残りを溺れさせた。

⁸³ アブラハムも同じ信仰であった。⁸⁴ 彼は健全な心をもって彼の主のもとへ来た。⁸⁵ 「見よ!」と彼はその父と民に言った、「あなた方が崇拝しているこれらは何だ?」⁸⁶ 神以外の偽りの神々を崇拝するのか?⁸⁷ 万有の主についてどう思うのか?

⁸⁸ 彼は星空を見上げた。⁸⁹ そして言った、「私は病気だ」と。⁹⁰ そこで彼らは彼に背を向け、去って行った。⁹¹ 彼は彼らの神々に向き直り、「食べないのか?」⁹² なぜ何も話さないのだ?」と言った。⁹³ その後、彼は彼らに向き直り、右手で彼らを打ち倒した。⁹⁴ 彼の民は彼に向かって駆け寄ってきたが、⁹⁵ 彼は言った、「あなた方が自分の手で彫り出したものをどうして崇拝できるのか、⁹⁶ あなた方とあなた方の手作りを創造したのは神であるのに?」⁹⁷ 彼らは言った、「彼のために火葬の山を築き、炎の中に投げ入れよ!」⁹⁸ 彼らは彼に害を与えようとしたが、われらは彼ら全員を屈辱させた。⁹⁹ 彼は言った、「私は私の主のもとへ行く。彼が私を導いてくれるに違いない。¹⁰⁰ 主よ、私に義しい息子を授けてください。」¹⁰¹ われらは彼に、忍耐強く、寛容な息子を持つであろうという吉報を与えた。

¹⁰² そして彼が、彼と共に働くことのできる年齢に達した時、彼は言

った、「おおわが息子よ、私は夢であなたを犠牲にしているのを見た。だからそれについてどう思うか教えてくれ!」彼は答えた、「おお父よ、命じられた通りに行いなさい。そして神が望むなら、あなたは私が堅固であることを見出すでしょう。」¹⁰³ 彼らが両方とも神に服従し、彼がその息子を顔を下にして横たえさせた時、¹⁰⁴ われらは彼に呼びかけた、「アブラハムよ、¹⁰⁵ あなたは夢を果たした。」このようにしてわれらは善を行う者たちに報いる—¹⁰⁶ それは確かに明白な試練であった—¹⁰⁷ われらは彼を大きな犠牲によって身請けし、¹⁰⁸ そして後世の(追隨者たちの)集団に彼に関する言及を残した。¹⁰⁹ 「アブラハムに平安と挨拶を!」¹¹⁰ それがわれらが義しい者たちに報いる方法である。¹¹¹ 真に、彼はわれらの忠実な僕の一人であった。¹¹² われらはアブラハムにイサクの吉報を与えた—預言者であり、義しい男である—¹¹³ そして彼とイサクも祝福した。彼らの子孫の一部は善かったが、一部は明らかにその魂に罪を犯した。

¹¹⁴ われらはモーセとハールーンにもわれらの恵みを授けた。
¹¹⁵ われらは彼らと彼らの民を大きな苦難から救い、¹¹⁶ そして彼らを助け、彼らが勝利するようにした。¹¹⁷ そしてわれらは彼らに物事を明確にするのに役立つ書を与え、¹¹⁸ そして彼らをまっすぐな道へと導いた。
¹¹⁹ そしてわれらは彼らについて後世の(追隨者たちの)集団に言及を残した。¹²⁰ 「モーセとハールーンに平安あれ!」¹²¹ これがわれらが善を行う者たちに報いる方法である。¹²² 真に彼らはわれらの忠実な僕の中にいた。

¹²³ エリヤもまた使徒の一人であった。¹²⁴ 彼はその民に言った、「あなた方は(神を)畏れないのか?」¹²⁵ あなた方はバアルを呼びかけ、創造主たちの中で最高のお方を放棄するのか、¹²⁶ あなた方の主であり、あなた方の父祖たちの主である神を?」¹²⁷ しかし彼らは彼を拒絶した。こうしてきつと責任を問われるであろう。¹²⁸ 神の選ばれた僕たちを除いては。¹²⁹ われらは彼について続く世代の(追隨者たちの)集団に言及を残した。¹³⁰ 「エリヤとその民に平安あれ!」¹³¹ これがわれらが善を行

う者たちに報いる方法である。¹³² 確かに彼はわれらの信じる僕の一人であった。

¹³³ ロトもまた使徒の一人であった。¹³⁴ われらは彼と彼の民全員を救った—¹³⁵ 後ろに残った年老いた女性を除いては—¹³⁶ そしてわれらは残りを滅ぼした。¹³⁷ あなた方は朝も晩も彼らの廃墟を通り過ぎる。¹³⁸ あなた方は心に留めないのか？

¹³⁹ ヨナもまた使徒の一人であった。¹⁴⁰ 彼は過積載の船へと逃げた。¹⁴¹ その後彼らはくじを引くと、彼が負けた者となり、¹⁴² 彼が自らを責めている間に魚が彼を飲み込んだ。¹⁴³ もし彼が神の栄光を認める者の一人ではなかったなら、¹⁴⁴ 彼はきっと復活の日まで魚の中に留まっていたであろう。¹⁴⁵ しかしわれらは彼を砂浜に投げ出させた。彼が病気であったにもかかわらず。¹⁴⁶ そしてわれらは彼の上にウリの木を成長させた。¹⁴⁷ われらは彼を十万人以上の民への使徒として送った。¹⁴⁸ そして彼らは彼を信じた。そこでわれらは彼らにしばらく安楽な生活を許した。

¹⁴⁹ さて彼らに尋ねなさい。あなた方の主には娘がいるのか、一方彼らには息子がいるのか？¹⁵⁰ われらは天使を女性として創造したのか、彼らがその証人であったか？¹⁵¹ いや、決して！彼らが言う時、それは彼らの作り話の一つである。¹⁵² 「神は子供をもうけた。」彼らは真に嘘つきである。¹⁵³ 彼が息子よりも娘を選んだとでも？¹⁵⁴ あなた方に何があったのだ？どうやってあなた方は判断を下すのか？¹⁵⁵ ならばあなた方は熟考しないのか？¹⁵⁶ あるいはあなた方には明確な証拠があるのか？¹⁵⁷ ならばあなた方の聖典を提出せよ、もしあなたが真実を言うのなら。

¹⁵⁸ 彼らは彼がジンと血縁関係にあると主張するが、ジン自身は彼らが(裁きのために)彼の前に連れてこられることを知っている。¹⁵⁹ 神は彼らが彼に帰するものを遥かに超えて崇高である—¹⁶⁰ しかし神の真の僕たちはそうではない—¹⁶¹ あなたもあなた方が崇拝する者も、¹⁶² 誰をも神から誘い出すことはできない。¹⁶³ 地獄で燃える者たちを除いて

は。¹⁶⁴（天使たちは言う）、「私たちの一人一人はその場所が割り当てられている。¹⁶⁵ 私たちは列をなして立っている者たちである。¹⁶⁶ 私たちは神を賛美する。」

¹⁶⁷ 彼らは言ったものだ、¹⁶⁸ 「もし私たちに古代の人々のような書があったなら、¹⁶⁹ 私たちはきっと神の選ばれた僕になっていただろうに」と。¹⁷⁰ しかし彼らはそれを[クルアーンを]拒絶した。そして彼らは間もなく知るだろう！¹⁷¹ そして確かにわれらの言葉は、われらの僕たち、使徒たちに関して発せられた。¹⁷² それは確かに彼らが助けられるであろうこと、¹⁷³ そしてわれらの軍勢が確かに勝利することである。¹⁷⁴ だからしばらくの間、彼らから背を向けなさい。¹⁷⁵ 彼らを観察しなさい。彼らは間もなくわかるだろう。

¹⁷⁶ 彼らは本当にわれらの懲罰を急ぎたいのか？¹⁷⁷ それが彼らの庭に降りかかった時、警告されていた者たちにとって、その朝はいかに恐ろしいものであろうか！¹⁷⁸ だからしばらくの間彼らから背を向けなさい。¹⁷⁹ そして見守りなさい。彼らは間もなくわかるだろう。¹⁸⁰ あなたの主、栄光の主は、彼らが彼に帰するものを遥かに超えて崇高であることを！¹⁸¹ 使徒たちに平安あれ。¹⁸² そして万有の主、神に称賛あれ。

38. サード (サード)

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ サード。

訓戒に満ちたクルアーンにかけて。² 真理を否定する者たちは、傲慢さと敵意に浸っている。³ われらが彼ら以前にどれほど多くの世代を滅ぼしたことか！そして彼らは逃れるには遅すぎた時に叫んだ。

⁴ 彼らは、警告者が彼らの中から来ることが驚きである。彼らは言う、「これは魔術師だ、大いなる嘘つきだ。⁵ 彼はすべての神々を一つの神に仕立て上げようとするのか？これは実に奇妙なことだ。」⁶ 彼らの指導

者たちは立ち去り、言った、「立ち去れ!お前たちの神々を堅く守りなさい。これは明らかに陰謀だ。⁷ 古い宗教にはそのようなことは聞いたことがない。これはでっち上げにすぎない。⁸ 私たち全員の中で、彼にだけメッセージが送られたのか?」実際、彼らは私の警告を疑っている。実際、彼らはまだ私の懲罰を味わっていない。

⁹ 彼らはあなたの主、力強く、大いなる与え手の慈悲の宝を持っているのか?¹⁰ 彼らは天と地と、それらの間にあるもの[が]を支配しているのか?ならば彼らにロープで天に登らせてみよ。¹¹ この軍勢もまた、他の軍勢の中で、敗北を喫する運命にある。¹² 彼ら以前に、ノアの民は真理を否定した。アード族と杭のファラオも同様に。¹³ そしてサムード族、ロトの民、そして森の住人たち—これらは同盟軍であった。¹⁴ 彼らの中で、使徒たちを嘘つきと扱わなかった者は一人もいなかった。そこで私の懲罰は正当にも彼らを襲った。¹⁵ 彼らが待つべきは、ただ一つの爆音[懲罰]だけである。それは一瞬たりとも遅れないであろう。¹⁶ 彼らは言う、「私たちの主よ!精算の日よりも前に、私たちの運命を私たちに急がせてください。」

¹⁷ 彼らの言葉に忍耐強く耐えなさい。われらの僕ダビデを思い出しなさい。力強い男で、常にわれらに立ち返った。¹⁸ われらは山々に、日没と日の出に彼と共にわれらを賛美するよう命じた。¹⁹ そして鳥たちも、群れをなして、皆彼に立ち返った。²⁰ われらは彼の王国を強くし、彼に知恵と、裁きにおける洞察力を授けた。

²¹ 壁を乗り越えて彼の部屋に入ってきた論争者たちの物語を聞いたか?²² 彼らがダビデに到着した時、彼は恐れを抱いたが、彼らは言った、「恐れるな。私たちは二人の論争者で、一方がもう一方に不正を働いた。私たちの間を公平に裁いてくれ—不正を働いてはならない—そして私たちを正しい道に導いてくれ。

²³ 『この私の兄弟は九十九頭の雌羊を持っており、私は一頭しか持っていない。彼は「それを私に任せよ」と言い、その言葉で私を打ち負かした。』²⁴ ダビデは言った、「彼はあなたに、彼の雌羊にあなたの雌羊

を加えるよう要求することで、確かにあなたに不正を働いた!このように、多くの仲間が互いに不正を働く—神を信じ、正義の行いをする者たちを除いては。しかし、彼らはなんという少数であることか!」そして(突然)ダビデは、われらが彼を試しているだけであったことを理解し、主の赦しを求めた。彼はひざまずき、悔い改めて彼に立ち返った。²⁵ われらは彼の罪を赦した。彼の報いは、われらへの近さと、良い帰り場所となるであろう。

²⁶ われらは言った、「ダビデよ、われらはあなたに土地の支配を与えた。人々の間を公正に裁きなさい。あなたの欲望に従ってはならない。さもなくば、それらがあなたを神の道からそらすだろう。彼の道からさまよう者たちは、厳しい懲罰を受けるであろう。彼らが精算の日を無視するからだ。」

²⁷ われらは天と地と、それらの間にあるものを無益に創造したのではない。それは真理を否定する者たちの意見である。真理を否定する者たちに災いあれ、彼らが業火に投げ込まれる時—²⁸ われらは信じ、善行を行う者たちを、土地に腐敗を広める者たちと同じように扱うべきだろうか?敬虔な者を邪悪な者と同じように扱うべきだろうか?²⁹ これはわれらがあなた[ムハンマド]に下した祝福された書である。人々がそのメッセージについて熟考し、理解力を持つ者たちが心に留めるためである。

³⁰ われらはダビデにソロモンを授けた。彼は常に神に立ち返る優れた僕であった。³¹ 完璧な馬が、日の暮れ近くに彼の前を行進した時、³² 彼は言った、「私は良いものへの愛を、私の主を思い出すことよりも優先した」と—(太陽が)その覆いの後ろに消え、馬たちが視界から消えるまで—³³ 「彼らを私のもとに戻してくれ!」—(彼は言った)そして彼らの足と首を撫で始めた。

³⁴ われらはソロモンを[生命のない]体を彼の玉座の上に置くことで試した。すると彼はわれらに向き直った。³⁵ 彼は祈った、「主よ、私を赦してください!私の後に誰も持たないような力を私に授けてください—

あなたは最も寛大な供給者です。」³⁶ その時われらは風を彼の力に従わせた。彼の命令で、彼が望む場所へ優しく吹くように—³⁷ そしてジンもまた—あらゆる種類の建築家と潜水夫、³⁸ そして鎖に繋がれた他の者たちも。³⁹ われらは言った、「これはわれらの賜物である。だから勘定なしに、あなたが望むように与えたり差し控えたりしなさい。」⁴⁰ 彼の報いは、われらへの近さと、良い帰り場所となるであろう。

⁴¹ われらの僕ヨブを心に留めなさい。彼は主に向かって叫んだ、「サタンが私を苦悩と苦しみで悩ませています。」⁴² われらは言った、「足を踏み鳴らせ！ここにあなたが体を洗い、飲むための冷たい水がある。」⁴³ われらは彼に彼の家族を回復させ、われらからの恵みの行為として彼らの数を二倍にし、洞察力を与えられたすべての人への戒めとした。⁴⁴ われらは彼に言った、「手でひと掴みの小枝を取り、それで打ちなさい。しかし誓いを破ってはならない。」われらは彼が堅固であることを見出した。なんとという優れた僕であろうか！彼は絶えず彼の主のもとに立ち返った。^a

⁴⁵ われらの僕アブラハム、イサク、そしてヤコブを思い出しなさい—力と先見の明の所有者たちである。⁴⁶ われらは彼らを特別な目的のために選んだ—来世のメッセージを布教するために。⁴⁷ そして、われらの目には彼らは確かに選ばれた者たち、真に良い者たちの中にいた！⁴⁸ [われらの僕]イスマーイール、エリシャ、そしてズル・キフルを思い出しなさい。彼らの一人一人は公正な者たちの中にいた。

⁴⁹ これが訓戒である。義しい者たちには良い帰り場所があるであ

a ヨブ(アユーブ)は紀元前9世紀頃のイスラエルの預言者であったと思われる。聖書(ヨブ記1章20-22節)によれば、彼は当初非常に裕福であった。農場、家畜、家、子供などに恵まれ、全東洋に彼に匹敵する者はいないと言われるほどであった。しかしこれにもかかわらず、ヨブは非常に感謝深く、忠実な人物であった。彼の人生は、大きな富と名誉に恵まれていながらも、いかに謙虚で質素であり続けるかという模範を示した。

ろう。⁵⁰ 永遠の園、その門は彼らに向かって広く開かれている。⁵¹ 彼らは快適に座り、寄りかかりながら、豊富な果物と飲み物を求めるであろう。⁵² 彼らには、同じ年の、純粋で貞淑な女性たちがいるであろう。⁵³ これこそが、精算の日にあなた方が約束されていたものである。⁵⁴ あなた方へのわれらの糧は決して尽きることがないであろう。

⁵⁵ しかし傲慢な者たちには最悪の結末があるであろう。⁵⁶ 彼らは地獄で燃えるであろう。邪悪な安息の場所—⁵⁷ これらすべてが彼らのものとなるであろう。彼らにそれを味わわせよ—煮え滾る、暗く、汚い液体、⁵⁸ そして他のそのような責め苦。⁵⁹ [そして彼らは互いに言うであろう、「見てくれ!」この人々の群れが、あなた方に加わるためにまっさかさまに走ってきている!』と。「彼らに歓迎はない!確かに彼らは火に向かっているのだ!」⁶⁰ 彼らは彼らに言うだろう、「歓迎はない!私たちにこれを招いたのはお前たちだ。滞在するには忌まわしい場所だ」と。⁶¹ そして付け加えるだろう、「私たちの主よ、私たちにこれを招いた者たちに二重の懲罰を与えてください。」⁶² そして彼らは言うだろう、「どうして私たちが、かつて悪人だと数えていた男たちを(ここに)見ないのか、⁶³ そして私たちが嘲笑の対象にしていた者たちを?あるいは彼らはここにいて、私たちの目が見つけられないのか?」⁶⁴ これらすべては確かに真実である—業火の住人たちはこのように互いを非難するであろう。

⁶⁵ (預言者よ) 言え、「私は単なる警告者である。神以外に神はいない、唯一無二の、全能なる方、⁶⁶ 天と地と、それらの間にあるすべてのものの主、全能で、最も許し深い。」⁶⁷ 言え、「これは重大な知らせである。⁶⁸ しかしあなた方はそれを無視する。⁶⁹ 彼らが(人間の創造に)反対して議論していた時、私は高貴な集会の知識を持たなかった。⁷⁰ 私が単なる明確な警告者であることが私に啓示されたにすぎない。」

⁷¹ あなたの主が天使たちに言った時、「私は粘土から人間を創造しようとしている。⁷² そして彼を完全に形作り、私の霊を彼に吹き込んだら、彼の前にひれ伏しなさい。」⁷³ すると天使たちはひれ伏した。彼ら全員が一緒に。⁷⁴ しかしサタンはそうしなかった。彼は傲慢すぎた。彼は真

理を否定する者たちの一人となった。⁷⁵ 神は言った、「サタンよ、何が、私が私自身の両手で創造したものにひれ伏すのを妨げたのか？お前は傲慢さに打ち勝たれたのか、それとも[ただ]自らを崇高だと考える者たちの一人なのか？」⁷⁶ サタンは答えた、「私は彼よりも優れています。あなたは私を火から創造しましたが、彼を粘土から創造されました。」⁷⁷ 「立ち去れ！お前は呪われた者だ。⁷⁸ 私の呪いは審判の日までお前の上にあるであろう！」

⁷⁹ しかしサタンは言った、「私の主よ、復活の日まで私に猶予を与えてください。」⁸⁰ 彼は言った、「お前は猶予を与えられた、⁸¹ その定められた日まで。」⁸² 彼は言った、「あなたの名誉にかけて、私は彼らの中の、あなたの選ばれた僕たちを除いて、彼らすべてを迷わせるであろう。」⁸³ 神は言った、「これが真実だ—私は真実のみを語る—⁸⁵ 私はあなたと、あなたに従う者すべてで地獄を満たすであろう。」

⁸⁶ 言え、「私はあなた方からこれに対するいかなる報いも求めないし、私は偽りの主張をする者ではない。⁸⁷ これは人類への単なる忠告である。⁸⁸ 間もなくあなた方はその真実を知るであろう。」

39. 集団 (アル・ズマル)

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ この書は、力強く、賢明な神によって下された。² われらがあなた[預言者よ]に、真実をもって書を下したのだ。だからあなたの完全な献身をもって神を崇拝しなさい。³ 誠実な従順は神のみに当然のものである。そして彼以外の守護者たちを選ぶ者たちは言うだろう、「私たちは彼らを崇拝するのは、彼らが私たちを神により近づけてくれるようにという理由だけだ。」確かに、神は彼らが意見を異にする事柄について彼らの間を裁かれるであろう。神は、嘘をつくことに固執し、不信者である嘘つきを導かない。

⁴ もし神が息子を持つことを望んだなら、彼は彼の創造物の中から

御心である者を選ぶことができたであろう。しかし彼に栄光あれ! [彼はそのようなことよりも遥かに超越している。] 彼は神、唯一の者、全能者である。⁵ 彼は真の目的のために天と地を創造した。彼は夜を昼に、昼を夜に引き継がせる。彼は太陽と月を服従させ、それぞれが定められた期間その軌道を追うようにした。彼は真に力強く、許し深い。

⁶ 彼はあなたを単一の魂から創造し、その後それからその配偶者を生み出し、あなた方のために八種類の家畜を対にして提供した。彼はあなた方の母の胎内で、三重の闇の中で、段階的にあなた方を創造する。そのようなものが神、あなた方の主である。主権は彼のものである。彼以外に神はいない。ならば何があなた方を背けさせるのか？

⁷ もしあなたが恩知らずであるなら、神はあなた方を必要としないことを思い出しなさい。彼は彼の僕たちの中の恩知らずに満足されない。もしあなたが感謝するなら、彼はあなた方の中にそれ[感謝]を見ることを喜ばれる。いかなる魂も他者の重荷を負わない。あなた方は最後にはあなたの主のもとに帰り、彼はあなた方がなしたことをあなたに宣言するであろう。彼は人間の心にあるものをよく知っている。

⁸ 人間が何らかの苦難に見舞われると、彼は悔い改めて主を祈り求める。しかし一度神からの恵みが与えられると、彼は祈り求めている彼を忘れ、神に仲間を立て、他者を彼の道から迷わせる。言え、「しばらくの間、あなたの不信仰を楽しみなさい。あなたは業火の住人となるであろう。」⁹ 夜中に、ひれ伏し、立って祈り、来世を常に心に留め、彼の主の慈悲を望む者が、(そうでない者と)同じであろうか？言え、「知っている者たちが知らない者たちと同じであろうか？」真に、理解力を与えられた者たちだけが心に留める。

¹⁰ 言え、「[神は言う] おお信じた私の僕たちよ、あなた方の主を畏れなさい。この世で善を行う者たちには良い報いがあるであろう—そして神の地は広大である。真に、忍耐強く耐え忍ぶ者たちは、限りなく報われるであろう。」

¹¹ 言え、「私は神に仕え、私の崇拝を完全に彼に捧げるよう命じら

れた。¹² 私は最初に服従するよう命じられた。」¹³ 言え、「もし私が私の主に不従順であったなら、恐ろしい日の懲罰を恐れる。」¹⁴ 言え、「私は神に仕える、彼のみへの私の信仰において誠実である—¹⁵ あなた方自身については、彼以外の好きなものを崇拜しなさい！」言え、「本当の敗者は、復活の日に自分自身とすべての親族を失う者たちである。それが[最も]明白な損失である。¹⁶ 彼らの上には火のシートがあり、彼らの下には火のシートがあるだろう。」このように神は彼の僕たちの心に恐怖を置く。ならば私を恐れなさい、私の僕たちよ。

¹⁷ 偽りの神々の崇拜を避け、神に立ち返る者たちには良い知らせがある。だから私の僕たちに良い知らせを与えなさい、¹⁸ 彼らは言われたことを聞き、その中で最善のものに従う。これらの者たちこそ神が導かれた者たちであり、これらの者たちこそ理解力を与えられた人々である。

¹⁹ しかし、懲罰の判決が正当化された者についてはどうなるか？すでに業火の中にいる者を救い出すことができるか？²⁰ しかし、真に彼らの主を畏れた者たちのためには、何層にも積み上げられた高い館があり、その下には川が流れているだろう。これは神の約束である。神は約束を破ることはない。

²¹ 神が空から水を下し、それを地中で泉を形成するように導き、その後、それで様々な色の植生を生み出すのを見なかったか？それは後に枯れ、あなた方の目の前で黄色に変わり、その後彼はそれを崩れ去らせる。これには、確かに理解を持つ者たちへの訓戒がある。^a ²² 神がその心を開いてイスラムを受け入れた者は、その主からの光を持ってい

a 雨が大地に降り注ぎ、その結果緑が育ち、収穫の準備が整うという素晴らしいシステム、これらの出来事すべてには、数えきれないほどの意味深い教訓が含まれている。しかし、これらの教訓は、本質的に物事を深く掘り下げる者たちにのみ得られる。その生来の能力を活かし、世の中の物事を深く考える者たちは、神の深い認識(マアリファ)で心をいっぱい満たすだろう

る。しかし神の想起に対してその心が頑なになった者たちには災いあれ!そのような人々は明白な誤りの中にいる。

²³ 神は最良のメッセージを下した。同類でしばしば繰り返される聖典。それはその主を畏れる者たちの肌を粟立たせる。その後彼らの肌と心は、神の想起によって柔らかくなる。それが神の導きである。彼は御心である者にそれを授ける。しかし神が迷わせることを許す者は、誰も導くことはできない。

²⁴ 復活の日に、その恐ろしい懲罰から顔だけを守る者はどうなるだろうか?悪を行う者たちは言われるだろう、「お前たちが稼いだものを味わえ。」²⁵ 彼ら以前の者たちもまた真理を否定し、彼らが予期しない場所から懲罰が彼らに降りかかった。²⁶ 神は彼らにこの世の生で屈辱を味わわせたが、来世の懲罰はより大きい、もし彼らがそれを知っていたなら。

²⁷ われらはこのクルアーンの中で人々に、あらゆる種類の比喩を提示した。彼らが心に留めるように。²⁸ アラビア語のクルアーンで、いかなる曖昧さもない—人々が心に留めるように。²⁹ 神は比喩を提示する。二人の男がいる—一人は互いに意見の合わない多くの主人に属し、もう一人は完全に一人の主人に属する。この二人は比較して等しいだろうか?神に称賛あれ!しかし彼らのほとんどは知識を持たない。³⁰ あなたは死に、彼らもまた死ぬだろう。³¹ そしてその後、復活の日に、あなた方はその争いをあなたの維持者の前に置くだろう。

³² 神について嘘をつき、真実が彼に來た時にそれを拒絶する者以上に不正な者がいるだろうか?地獄は真理を否定する者たちの住処ではないのか?³³ 真実をもたらす者と、真実であることを証言する者は—彼らこそ、確かに神を畏れる人々である。³⁴ 彼らは主から望むものすべてを持つだろう。それが善を行う者たちへの報いである。³⁵ 神は彼らの記録から彼らの最悪の行いを消し去り、彼らの最良の行いに応じて報いを与えるであろう。

³⁶ 神は彼の僕にとって十分ではないか?それでも彼らは彼以外の

他の(神々)であなたを怖がらせようとする!神が迷わせることを許す者には、導き手はいないであろう。³⁷ しかし神が導く者を、誰かが迷わせることはできない。神は力強く、報復の能力を持つ方ではないか?

³⁸ もしあなたが彼らに、天と地を創造したのは誰かと尋ねるなら、彼らはきっと答えるだろう、「神だ」と。言え、「彼以外にあなたが呼びかける者たちについて考えてみよ。もし神が私を害することを望んだら、彼らはその害を元に戻せるか?あるいはもし神が私に慈悲を示すことを望んだら、彼らはその慈悲を差し止められるか?」言え、「神が私には十分である。彼にこそ信じる者たちは信頼を置くべきだ。」³⁹ 言え、「私の民よ、あなた方の力にあることは何でもしなさい—そして私もそうするであろう。間もなくあなた方は知るであろう、⁴⁰ 誰が屈辱的な責め苦を受けるか、そして誰の上に永遠の懲罰が降りかかるかを。」⁴¹ [おお預言者よ!]われらはあなたに、人類のための書を真実をもって下した。だから正しい道を選ぶ者は誰であれ、彼自身の魂のためにそうする。そして道に迷う者は誰であれ、彼自身の魂を傷つける。あなたは彼らの管理人ではない。

⁴² 神こそが、彼らの死に際して人間の魂を奪い、彼らが眠っている間に生きている者の魂を奪う者である。その後、彼は死を定めた者たちの魂を差し止め、定められた期間、他の者たちの魂を回復させる。これには確かに熟考する者たちへのしるしがある。

⁴³ 彼らは神以外に仲介者を選んだのか?言え、「たとえ彼らに何の力も理解力もないとしてもか?」⁴⁴ 言え、「執り成しは完全に神の御手の中にある。彼は天と地を支配している。あなた方は皆彼のもとに帰るであろう。」⁴⁵ 神の名だけが挙げられる時、来世を信じない者たちの心は嫌悪で縮こまるが、彼以外の者が彼に代わって挙げられると、彼らは喜びに満たされる。⁴⁶ 言え、「おお神よ!天と地の創始者よ!隠されたものすべて、そして明白なものすべてを知る者よ、あなたはあなたのしもべたちの意見の相違に関して裁かれるであろう。」⁴⁷ もし不義を働く者たちが地上にあるすべてを持ち、さらにその二倍を持っていたとしても、彼

らはそれを復活の日の恐ろしい苦しみから身請けするために提供しただろう。神は彼らが決して予期しなかったものを彼らに示すであろうから、⁴⁸ 彼らの行いの悪が彼らに明らかになり、彼らがかつて嘲笑っていたものに彼らは打ちのめされるだろう。

⁴⁹ 苦難が人間に降りかかると、彼はわれらに訴えかける。しかしわれらが彼に恵みを授けると、彼は言うだろう、「これはすべて私自身の知識のゆえに与えられたのだ。」決して！それは試練である。しかし彼らのほとんどはそれに気づいていない。⁵⁰ 彼ら以前の者たちも同じことを言ったが、彼らは自分たちがなしたことから何も得られなかった。

⁵¹ 彼らの行いの悪そのものが彼らに跳ね返った。今日の不義を働く者たちも、彼らの行いの悪が彼らに跳ね返るだろう。彼らは決して(われらの計画を)挫くことはできないであろう。⁵² 彼らは、神が御心である者には豊かな糧を与え、御心である者には控えめに与えることを知らないのか？確かにこれには信じる者たちへのしるしがある。⁵³ 言え、(神は言う)「おお私のしもべたちよ、自らの魂に過度な行為を犯した者たちよ、神の慈悲に絶望してはならない。なぜなら神はすべての罪を赦されるからである。彼は真に最も許し深く、最も慈悲深い。⁵⁴ 彼の懲罰があなた方を襲う前に、あなたの主のもとに立ち返り、彼に服従しなさい。その時、あなた方は助けられないだろう。

⁵⁵ あなた方の主からあなた方に下されたものの最良の側面に従いなさい。懲罰があなた方を不意打ちで襲う前に、⁵⁶ 誰かが「ああ、私に災いあれ、私が神に当然のものを怠り、嘲笑する者たちの一人であったことよ！」と言わないように。⁵⁷ あるいは、「もし神が私を導いてくださっていたなら、私はきっと神を畏れる者たちに加わっていただろうに」と。⁵⁸ あるいは、懲罰を見て、「もし私に二度目のチャンスがあったなら、善を行う者たちの中にいただろうに」と言うかもしれない。⁵⁹ いや、決して！私の啓示は確かにあなた方に來たが、あなた方はそれを拒絶した。あなた方は傲慢さを示し、真理を否定する者たちの中にいたのだ。」

⁶⁰ 復活の日、神について虚偽を口にした者たちが顔を黒くしているの

を見るだろう。地獄には傲慢な者たちのための十分な空間がないだろうか？⁶¹ しかし神は、彼を畏れた者たちを救済の場所へと導くであろう。何の悪も彼らに触れることはなく、彼らが悲しむこともないであろう。

⁶² 神はすべてのものの創造者であり、彼はすべてのことを担当する。⁶³ 天と地の鍵は彼に属する。神の啓示を否定する者たちは、きっと失われた者たちとなるだろう。⁶⁴ 言え、「無知な者たちよ！私に神以外の誰かを崇拝するよう命じるのか？」⁶⁵ それはすでにあなたとあなた方以前に去った者たちに啓示された。もしあなたが神に仲間を配するなら、あなたのすべての行いは無に帰し、あなたはきっと失われた者たちの中にいるだろう。⁶⁶ したがって、神のみを崇拝し、感謝する者たちの中にいなさい。

⁶⁷ 彼らは神を、彼に当然であるように正しく評価していない。しかし復活の日には、全地が彼の掌の中にあるだろう。一方、天は彼の右手の中に折り畳まれるであろう—彼に栄光あれ！彼らが彼に配するあらゆるものの上に、彼は崇高である—⁶⁸ ラッパが吹かれ、天にいる者も地にいる者も誰であれ、神が免れさせるとする者を除いて、気絶して倒れるだろう。その後、ラッパが再び吹かれ、彼らは立ち上がり、周りを見渡すだろう。⁶⁹ 地は主の光で輝き、書は開かれ、預言者たちと証人たちが連れてこられるだろう。そして公正に裁きが下されるであろう。そして誰も不正を被ることはないであろう。⁷⁰ すべての魂は、彼がなしたことすべてに対して完全に報われるであろう。彼は彼らがなしたことすべてを完全に認識している。

⁷¹ 真理を拒絶した者たちは群れをなして地獄へと導かれるだろう。彼らがそこに達すると、その門が開かれ、その番人たちは彼らに言うだろう、「あなた方自身の中から、主の啓示をあなた方に伝え、この日[彼に]会うことについてあなた方に警告する使徒たちは来なかったのか？」彼らは答えるだろう、「はい、確かに来しました。」しかし、懲罰の判決は真理の否定者たちに対して真実であると証明された。⁷² 彼らは言われる

だろう、「地獄の門に入れ、そこに永遠に留まるために。」傲慢な者たちにとって、なんという邪悪な住居であろうか。

⁷³ しかし、彼らの主を畏れる者たちは群れをなして樂園へと導かれるだろう。彼らがそこに達すると、その門は開かれ、その番人たちは彼らに言うだろう、「あなた方に平安あれ。あなた方は善をなした。樂園に入り、永遠にそこに住みなさい」と。⁷⁴ そして彼らは言うだろう、「私たちに彼の約束を果たし、私たちをこの土地の相続人として、私たちが望む場所に定住させてくださった神に称賛あれ。」労働する者たちの報いはいかに素晴らしいことか!⁷⁵ あなた方は天使たちが玉座の周りを旋回し、主を讃美をもって賛美しているのを見るであろう。そして裁きはすべての人々に公正に下され、言われるだろう、「万有の主、神に称賛あれ!」

40. 赦す者（ガーフィル）

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ ハー・ミーム。

² この書は、全能にしてすべてを知り尽くされる神によって啓示された。

³ 罪を赦し、悔い改めを受け入れ、懲罰において厳しく、その恵みにおいて無限である方。彼以外に神はいない。すべては彼のもとに帰るであろう。

⁴ 真理を否定する者たちだけが神のしるしについて争う。彼らが土地で行う活動があなたを欺いてはならない。⁵ ノアの民や後の派閥も真理を拒絶し、すべての共同体は、使徒を捕らえようと企み、真実を打ち負かすために詭弁をもって[彼のメッセージに]対抗した。そこで私は彼らを捕らえた。私の懲罰はいかに恐ろしいものであったことか。⁶ このようにあなたの主の言葉は否定者たちに対して真実となった。彼らは業火の住人となるであろう。

⁷ 玉座を担う者たち、そしてその周りにいる者たちは、彼の讃美をも

って彼を賛美し、彼を信じる。彼らは信じる者たちのために赦しを請い、言う、「私たちの主よ、あなたは慈悲と知識においてすべてのものを包摂されます。あなたに立ち返り、あなたの道に従う者たちを赦してください。彼らを地獄の懲罰から救ってください。」⁸ そして、主よ、彼らと彼らの義しい祖先、配偶者、子孫を、あなたが彼らに約束された永遠の園に入れてください。あなたのみが全能であり、すべてを賢くされる方です。⁹ 彼らをすべての悪行から守ってください。あなたが[悪行に対する]懲罰から守る者たちは、あなたの慈悲を受けるであろう—それが最高の成功です。』

¹⁰ 真理を否定する者たちは言われるであろう、「あなた方自身が抱く自己嫌悪よりも、神のあなた方への嫌悪の方が大きい。あなた方は信仰に呼ばれたが、それを否定したからだ。」¹¹ 彼らは言うであろう、「私たちの主よ!二度私たちを死なせ、二度私たちに命を与えられました!今、私たちは私たちの罪を告白します。ここ[から出る]道はあるでしょうか?」¹² [彼らは言われるだろう]、「これは、神のみが呼びかけられた時にあなた方が真理を否定し、彼に他の者たちが配された時にはあなた方が彼らを信じたからである。」裁きは神、最も高く、最も偉大な者にある。

¹³ 彼こそがあなた方に彼のしるしを示し、あなた方のために天から糧を下される者である。しかし悔い改める者以外には誰も耳を傾けない。¹⁴ それゆえ、真理の否定者たちがどれほどそれを嫌悪しようとも、信仰を彼に純粹にして、神を呼びかけなさい。¹⁵ 至高の玉座に座る崇高なる彼は、御心である彼の僕の誰にでも、彼が[裁きの日という]出会いの日を警告できるように、彼の命令によって霊を下す。¹⁶ 彼らが[墓から]立ち上がる日、彼らについて何も神から隠されることはない。「その日、王国は誰に属するのか?」それは神、唯一無二の、全能者に属するであろう。¹⁷ その日、すべての魂は彼が稼いだことに対して報われるであろう。その日、誰にも不正は働かれないであろう。そして神は計算において迅速である。

¹⁸ [おお預言者よ]、彼らに近づく日について事前に警告しなさい。その日、心は喉元まで跳ね上がり、彼らを窒息させるだろう。不義を働く者たちには友もなく、耳を傾けられる執り成し手もないであろう。¹⁹ [なぜなら]彼は[最も]密かな一瞥を知っており、心が隠すことすべてを知っているからである。²⁰ 神は[正義と]真実をもって裁かれるであろう。しかし彼らが彼以外に呼びかける者たちには、裁く力は全くない。確かに、神はすべてを聞き、すべてを見る。

²¹ 彼らは土地を旅し、彼ら以前に去った者たちの末路がどうであったかを見なかったか？彼らは彼らよりも強く、土地により印象的な痕跡を残したが、神は彼らをその罪のために滅ぼした—彼らには彼に対抗して彼らを守る者は誰もいなかった—²² それは彼らの使徒たちが明確なしを携えて彼らのところに来たが、彼らがそれらを拒絶したからである。そこで神は彼らを捕らえた。彼は力強く、懲罰において厳しい。

²³ われらはモーセをわれらのしるしと明確な権威と共に、²⁴ ファラオ、ハーマーン、そしてコーラに送った。しかし彼らは言った、「魔術師だ、嘘つきだ」と。²⁵ 彼がわれらからの真実を彼らのところに来た時、彼らは言った、「彼と共に信じる者たちの息子を殺し、娘たちだけを生かしておけ」と—真理を否定する者たちの策略は無益であった。

²⁶ ファラオは言った、「モーセを殺させろ—彼に彼の主を呼びかけさせろ—彼があなた方の宗教を変えるか、あるいは土地に混乱を引き起こすのではないかと恐れる。」²⁷ モーセは答えた、「私は精算の日を信じないすべての傲慢な人物から、私の主でありあなた方の主である方への避難を求めます。」

²⁸ ファラオの民の中から、彼の信仰を隠していた信じる男が言った、「ただ『私の主は神です』と言うだけの男を殺すというのか？彼は彼の主からあなた方に明確なしをもたらしした。もし彼が嘘をついているなら、彼の罪は彼自身の頭の上にあるだろう。しかしもし彼が真実であるなら、彼があなた方に警告する事柄の一部はきっとあなた方に降りかかるだろう。確かに、神は逸脱者で嘘つきな者を導かない。²⁹ 私の民

よ!今日、王国はあなた方のものだ、あなた方は土地で支配権を持っている。しかしもし神の災いが私たちに降りかかったら、誰が私たちを助けてくれるだろうか?」しかしファラオは言った、「私はあなた方に、私が正しいと考えることだけを指摘している。そしてあなた方を正しい道に導いているのだ。」

³⁰ その信者は言った、「私の民よ!あなた方のために、昔の人々の運命のようなものを恐れる。³¹ ノアの民、アード、サムード、そして彼ら以後に來た者たちの運命のように—神は彼の被造物に対して決して不正を望まれない。³² 私の民よ、あなた方が互いに叫び合う日を恐れる。

³³ あなた方が背を向け、逃げようと[望む]日、神に対してあなた方を擁護する者は誰もいないであろう。神が迷わせることを許す者には、いかなる導き手も見出せない。

³⁴ ヨースフは以前、明確なししを携えてあなた方のところに来たが、あなた方は彼がもたらしたメッセージを疑うことをやめなかった。彼が死ぬと、あなた方は言った、『神は別の使徒を送らないだろう』と。」このようにして神は逸脱者と疑う者たちを迷わせるままにする—³⁵ 何の権威もなく神の啓示について争う者たちは、神と信者たちにとって非常に嫌悪されることをしている。このように神は、すべての傲慢な抑圧者の心を封じる。

³⁶ ファラオは言った、「おおハーマーンよ、私のため高い建物を建ててくれ。そうすれば私にはアクセスできるだろう、³⁷ 天に。モーセの神を見てみたいのだ。彼は嘘つきだと私は確信している!」このようにファラオの邪惡な行動は、ファラオの目には公正に見えるようにされ、彼は[真実の]道から背を向けさせられた。ファラオの策略は破滅以外何ももたらさなかった。

³⁸ その信者は言った、「私の民よ、私に従いなさい!私はあなた方を正しい道へと導くであろう。³⁹ おお私の民よ、この世の生は一時的な糧にすぎない。そして来世こそが永続的な住処である。⁴⁰ 悪を行う者は悪で報われるであろう。しかし善行を行う者は、それが男性であろうと

女性であろうと、そして信者である限り、園に入るであろう。そこで彼らは限りなく糧を与えられるであろう。⁴¹ 私の民よ!私はあなた方を救済へと招いているのに、どうしてあなた方は私を業火へと招くののだ?⁴² あなた方は、私が何の知識も持たない他の神々を否定し、彼らに仕えるよう私に呼びかけるが、私はあなた方を全能で赦す方へと招く。⁴³ 確かに、あなた方が私を呼びかけるものは、この世でも来世でも何の権限も持たない。私たちの帰る場所は神のみであり、逸脱者たちは業火の住人となるであろう。⁴⁴ 間もなくあなた方は、私があなた方に言うことを思い出すであろう!私は私の事柄を神に委ねるであろう。神はすべての[彼の]僕たちを見守っておられるからだ。」

⁴⁵ このように、神は彼らが企てた悪事から彼を救い出した。そしてファラオの仲間たちは自身が恐ろしい災厄に囲まれた。⁴⁶ 彼らは朝も晩も業火の前に連れてこられるであろう。裁きの時が来ると、(声が叫ぶであろう)、「ファラオの民に最も厳しい懲罰を味わわせよ!」

⁴⁷ 彼らが業火の中で互いに争う時、弱い者たちは自らを強大だと思っていた者たちに言うだろう、「私たちはあなた方の追隨者でした。ならばあなた方は私たちから業火の一部を軽減してくれますか?」⁴⁸ しかし傲慢であった者たちは言うだろう、「私たちは皆、ここに一緒だ。神は彼の僕たちの間を裁かれたのだ。」⁴⁹ 業火の中にいる者たちはその番人に言うだろう、「私たちの主にお願ひして、一日だけでも私たちの責め苦を軽減してもらおうと懇願してくれ。」⁵⁰ しかし彼らは言うだろう、「あなた方の使徒たちは明確なしるしを携えてあなた方のところに来なかったか?」彼らは言うだろう、「はい。」番人たちは言うだろう、「ならば、[助けを]自分たちで祈り求めなさい。」しかし真理を否定する者たちの祈りは何の役にも立たない。

⁵¹ われらは確かに、われらの使徒たちと信じる者たちを、この世の生と、すべての証人たちが立ち上がる日に助ける。⁵² 不義を働く者たちの言い訳が何の役にも立たない日、呪いは彼らの分となり、彼らは最も邪悪な住処を持つであろう。⁵³ われらはモーセにわれらの導きを与え、

イスラエルの子らを書の相続者とした—⁵⁴ 導きであり、理解ある人々への訓戒である。⁵⁵ だから忍耐しなさい。神が約束されたことは必ず来るからである。あなたの罪の赦しを請いなさい。朝も晩もあなたの主を讃えなさい。

⁵⁶ 何の権威もないのに神のメッセージについて争う者たちについては、彼らの心には、決して達成できない偉大さの感情しかない。神に避難を求めなさい。彼はすべてを聞き、すべてを見る方である。⁵⁷ 確かに、天と地の創造は人類の創造よりも偉大である。しかしほとんどの人はこれを知らない。⁵⁸ 盲人と見る者は等しくなく、信じ善行を行う者と悪を行う者も等しくない。あなた方はなんとめったに熟考しないことか！⁵⁹ 最後の日が来ることは疑いなく確実だが、ほとんどの人は信じない。

⁶⁰ あなたの主は言われた、「私に呼びかけなさい、そうすれば私はあなた方の祈りに応えるであろう。」しかし私を崇拜することを傲慢に思う者たちは、確かに恥辱のうちに地獄に入るであろう。⁶¹ 神こそが、あなたが休めるように夜を、そしてあなたが物を見られるように昼を与えた者である。神は人々に真に豊かな恵みを与えるが、ほとんどの人は感謝しない。⁶² そのようなものが神、あなた方の主、すべてのものの創造者である。彼以外に神はいない。ならばどうしてあなた方は(彼から)背を向けさせられるのか？⁶³ このようにして、神のしるしを否定する者たちは確かに彼から背を向ける。

⁶⁴ 神こそが、あなた方に安息の場所として地を、そして天蓋として天を与えた者である。彼はあなた方を形作り、よく整え、良いものを提供した。そのようなものが神、あなた方の主である。だから彼に栄光あれ、万有の主！⁶⁵ 彼は生ける者である。彼以外に神はいない。だから信仰を彼のために(のみ)純粋にして、彼に祈りなさい。万有の主、神に称賛あれ！

⁶⁶ 言え、「私はあなた方が神以外に呼びかける者を呼びかけることを禁じられた—私の主から私に明確なしるしが来たからだ。そして私は万有の主に従服するよう命じられた。」⁶⁷ 彼こそがあなた方を塵から創

造し、それから精液の一滴から、それから小さな、付着する形から創造し、それからあなた方を幼児として生み出し、その後あなた方が成熟に達するのを許し、その後、あなた方を老いさせる—あなた方の中にはもっと早く死ぬ者もいるが—そしてあなた方が熟考できるように、定められた期間に達するようにさせる。⁶⁸ 彼こそが命と死を与える者であり、彼が何かを定めるときは、ただ「あれ!」と言うだけで、それは存在する。

⁶⁹ 神のしるしについて争う者たちが、いかに正しい道から背けさせられるかを見ないか?⁷⁰ 書と、われらが使徒たちを送ったものを拒絶する者たちは間もなく知るであろう—⁷¹ 鉄の首輪と鎖を首にかけられて、彼らが引きずられる時、⁷² 煮え滾る水の中へと、その後火の中に投げ込まれる。⁷³ その時彼らは尋ねられるだろう、「あなた方が(神に)仲間として配した者たちはどこにいるのか?」⁷⁴ 彼らは言うだろう、「彼らは私たちから失われました。いや、私たちは以前何も(実際に存在していたものを)呼びかけていませんでした。」このように神は真理の否定者たちを迷わせるままにする。⁷⁵ それはあなた方が正当な理由なく土地で歓喜し、傲慢に振る舞ったからである。⁷⁶ 地獄の門に入れ、そこに永遠に留まるために。傲慢な者たちの住処は邪悪である。

⁷⁷ だから忍耐しなさい[預言者よ]。神の約束は真実である。われらがこの世であなた方に約束したことの一部をあなたに示すか、あるいはまずあなたを死なせるかに関わらず、彼らが呼び戻されるのはわれらの元である。

⁷⁸ あなた以前にもわれらは他の使徒たちを送った。その中にはわれらが物語をあなたに語った者もいれば、語っていない者もいる。神の許しなしには、いかなる使徒もしるしをもたらすことは(不可能)であった。しかし神の命令が発せられた時、事態は真実と正義をもって決定された。そこで、虚偽の上に立っていた者たちは滅び去った。

⁷⁹ 神こそがあなた方のために家畜を提供し、あるものは乗用、あるものはあなた方の食料となる。⁸⁰ あなた方には彼らの中にも他の利益がある。あなた方はそれらで望むいかなる目的地にも到達できる。船が

海であなた方を運ぶように、彼らは陸路であなた方を運ぶ。⁸¹ 彼はあなたにしるしを示す。ならば、神のしるしのどれをあなたが否定するのか？

⁸² 彼らは土地を旅して、彼ら以前に去った者たちの運命を見なかったか？彼らは彼らよりも数が多く、より強く、地上により大きな力の痕跡を残した。それでも彼らが成し遂げたことはすべて彼らには何の役にも立たなかった。⁸³ 使徒たちが明確なしるしを携えて彼らのところに来た時、彼らは自分が持っていた知識で歓喜し、嘲笑していたまさにその懲罰に飲み込まれた。⁸⁴ しかし彼らがわれらの懲罰を見た時、彼らは言った、「私たちは神、唯一の神を信じます。そして私たちが彼に仲間として配していた者たちを拒絶します」と。⁸⁵ しかしわれらの懲罰を見た後で信じて、彼らには何の利益もなかった。これが彼の被造物を扱う神の法であり、こうして不信者たちは敗者となった。

41. 明確に説かれた啓示（フッシラト）

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ ハー・ミーム。

² [神]、最も慈悲深く、最も慈愛あまねきお方からの啓示—³ 啓示がよく説かれた書、知識を持つ人々のためのアラビア語のクルアーン、⁴ 吉報を伝え、警告を与えるもの。それでも彼らのほとんどは背を向け、耳を傾けない。⁵ そして彼らは言う、「私たちの心は、あなたが私たちを招くことに対して覆われています。私たちの耳には重苦しさがあり、私たちの間には障壁があります。だからあなたが望むようにしなさい。私たちもそうします。」

⁶ 言え、「私はあなた方と同じ単なる人間である。あなた方の神は唯一の神であると私に啓示された。だから彼にまっすぐな道を進み、彼の赦しを求めなさい。」彼に他の者を配する者たちには災いあれ。⁷ ザ

カートを払わず、来世を否定する者たちに。⁸「信じ、善行を行う者たちには、決して差し止められることのない報いがあるであろう。」⁹

⁹ 言え、「なんということだ！あなた方は、二日間[期間]で大地を創造された彼を否定し、彼に同等を立てるのか？彼こそが万有の主である。」¹⁰ 彼は大地に堅固な山々を置き、それを祝福した。彼はその生計の手段をすべて四日間で測り定めた。これはそれを求める者たちのためのものである。

¹¹ その後、彼は天が蒸気であった時に天に向き直り、天と地に言った、「自らの意志であろうと否応なしであろうと来なさい。」彼らは二人とも言った、「私たちは自らの意志で来ます。」¹² そして二日間で彼は七つの天を形作り、各々の天にその機能を啓示し、われらは最も低い天を輝くランプ[星々]で飾り、それを守った。それが全能にして、すべてを知り尽くされる方の決定である。

¹³ もし彼らが背を向けるなら、言え、「アード族とサムード族を襲ったような雷撃をあなた方に警告する。」¹⁴ 使徒たちが彼らのところに彼らの前から、そして後ろから来て、「神以外は誰も崇拜するな！」と言った時、彼らは言った、「もし私たちの主が望んだなら、彼は天使たちを[私たちに]下しただろう。したがって、私たちは決してあなた方のメッセージを信じないだろう。」

¹⁵ アード族については、彼らは何の正当な理由もなく土地で傲慢に振る舞い、「誰が私たちよりも力において強大か？」と言った。彼らを創造された神が、彼らよりも力において強大であることを彼らは見なかったのか？それでも彼らはわれらのしるしを否定し続け、¹⁶ そこでわれらは彼らに、いくつかの不吉な日々に激しい風を解き放った。われらが彼らにこの世の生で屈辱の責め苦を味わわせるためである。そして確

a 「彼にまっすぐな道を進み」とは「神のためだけにあなたの崇拜を保つ」ことを意味する。すなわち、あなたの注意はすべて神に向けられるべきであり、あなたの祈りと崇拜の唯一の目的は唯一無二の神であるべきだということである。

かに来世の責め苦はさらに屈辱的であろう。彼らには誰も助け手はいないであろう。¹⁷ サムード族については、われらは彼らにわれらの導きを提供したが、彼らは導きよりも盲目を選ぶことを好んだ。そこで、その悪行のゆえに屈辱の懲罰の雷撃が彼らを捕らえた。¹⁸ われらは信仰に達し、神を畏れていた者たちを救った。

¹⁹ 神の敵たちが集められ、業火へと追いやられる日、彼らはグループに分けられ、²⁰ 彼らがそれに近づくと、彼らの耳、目、皮膚が、彼らの悪行に対して彼ら自身を証言するであろう。²¹ そして彼らはその皮膚に尋ねるだろう、「なぜ私たちに対して証言したのか？」すると彼らの皮膚は答えるだろう、「すべてのものに言葉を与える神が、私たちにも言葉を与えたのだ—最初にあなた方を創造したのは彼であり、彼の元にあなた方は(今)連れ戻されたのだ—²² あなた方は、あなた方に反対して証言するのを防ぐために、耳や目や皮膚から身を隠すことはできなかった。そしてあなた方は、神があなた方がなすことの多くを知ることには決まてないだろうと考えたのだ。²³ しかしあなた方があなたの主について抱いていたこれらの考えが、あなた方を破滅へと導き、[今]あなた方は完全に失われた者たちの中にいるのだ!」²⁴ たとえ彼らが忍耐強くても、業火が彼らの家となるであろう。そしてもし彼らが改心を許されるよう祈っても、そうすることは許されないであろう。

²⁵ われらは彼らに、彼らの行いを彼らに公正に見せかける仲間を割り当てた。しかし同じ判決[懲罰]が、彼ら以前に去って行ったジンと人類の民族に対して真実であったように、彼らに対しても真実となった。確かに彼らは失われた者たちであった。

²⁶ 真理を否定する者たちは言う、「このクルアーンに耳を傾けるな。騒音でそれをかき消せ。そうすればあなた方が優位に立てるかもしれない。」²⁷ したがって、われらは真理を否定することに固執する者たちに、厳しい懲罰を必ず味わわせ、彼らの最も悪い行いに応じて、彼らに報復するであろう—²⁸ それは神の敵たちへの報いである—業火が彼

らの永遠の家となるであろう。われらの啓示を拒絶したことへの報いとして。

²⁹ 真理を否定する者たちは言うだろう、「私たちの主よ、私たちを迷わせたジンと人間を見せてください。そうすれば私たちは彼らを足で踏みつけ、最も低い者たちの中に置くでしょう。」³⁰ しかし、「私たちの主は神である」と断言し、その後堅固に留まる者たちには、天使たちが降りてきて言うだろう、「恐れるな、そして悲しむな。あなた方が約束されていた[吉報の]園を喜びなさい。³¹ 私たちはこの生でも来世でもあなた方の仲間である。そこにはあなた方の魂が望むものすべてがあり、そこにはあなた方が求めるものすべてがあるであろう。³² 常に許し深く、最も慈悲深いお方からの豊かな糧として。」

³³ 神に招き、善行を行い、「私は確かに服従する者たちの一人である」と言う者以上に良い言葉を話す者がいるだろうか？³⁴ 良い行いと悪い行いは等しくない。より良いものをもって悪を退けなさい。そうすれば、かつてあなたの敵であった者が、あなたの最も大切な友人になったのを見るだろう。³⁵ しかしそのような善良さは、忍耐と自制を実践する者たち以外には誰にも授けられない—真に幸運な者たち以外には誰にも授けられない。³⁶ もしサタンからの扇動があなたを刺激するなら、神に避難を求めなさい。彼はすべてを聞き、すべてを知り尽くされる方である。

³⁷ 彼のしるしの中には夜と昼、そして太陽と月がある。太陽と月に向かってひれ伏してはならない。彼らすべてを創造した神に向かってひれ伏しなさい。もしあなた方が真に彼を崇拝するなら。³⁸ もし彼らが傲慢になるなら、(思い出しなさい)、あなたの主と共にいる者たちは、昼夜を問わず彼を賛美し、決して疲れることがない。

³⁹ 彼のしるしの中にはこれがある。あなたが大地が乾燥して不毛であるのを見るが、われらがその上に水を下すと、それは動き出し、膨れ上がる。彼に命を与える者は、最も確実に死者たちに命を与える者である。確かに彼はすべてのものに対して力を持っている。⁴⁰ われらのメ

ッセージの意味を歪曲する者たちは、われらから隠されることはない。誰がより優れているか—業火に投げ込まれる者か、それとも復活の日に安全に到着する者か？御心通りに行いなさい、彼はあなたがなすことすべてを見ている。

⁴¹ 訓戒(クルアーン)が彼らに來た時にそれを拒絶する者たち[は敗者である]—真にそれは力強い書である。⁴² 虚偽は、前から後ろからもそれに届くことはないだろう。それは賢明で、すべての称賛に値するお方からの啓示である。⁴³ あなたに言われることは、あなた以前の使徒たちに確かに言われたこと以外にはない。確かにあなたの主は赦しの主であるが、苦痛な報復の主でもある。

⁴⁴ もしわれらがこれをアラビア語以外の[言語で]クルアーンとして送っていたなら、彼らは言っただろう、「なぜその節は明確に説明されていないのか？何だと！アラブ人の預言者と、外国語の聖典だと？」言え、「それは信じる者たちへの導きと癒しである。しかし信じない者たちにとっては、彼らの耳には難聴があり、彼らの目には覆いがある。彼らは[あたかも]非常に遠い場所から呼ばれているかのようである。」

⁴⁵ われらはモーセに書を与えたが、それに関して意見の相違が生じた。そしてもしあなたの主からすでに発せられた言葉がなかったなら、事態は彼らの間で決定されていたであろう。そして確かに彼らはそれについて大きな疑いの中にいる。⁴⁶ 公正で正しいことを行う者は誰であれ、彼自身の利益のためにそうする。そして悪を行う者は誰であれ、彼自身の損害のためにそうする。そして神は彼の被造物に対して微塵も不正ではない。

⁴⁷ 彼のみが(審判の)時の知識を持っている。そしていかなる果実もその殻から現れることはなく、いかなる女性も彼の知識なしに妊娠したり出産したりすることはない。彼が彼らに「私の仲間たちはどこにいるのか？」と呼びかける日、彼らは答えるだろう、「私たちは、あなたに、私たちのだれも彼らを証言できないことを宣言します。」⁴⁸ 彼らが以前

に呼びかけていた(神々)は消え去るだろう。彼らは何の逃げ場もないことを知るであろう。

⁴⁹ 人間は人生の良いことを求めることに決して疲れない。しかし、もし不幸が彼に降りかかると、彼はすべての希望を捨て、絶望に陥る。

⁵⁰ 逆境が彼に触れた後、われらが彼にわれらの慈悲の一部を味わわせると、彼はきっと言うだろう、「これは私に当然のことだ。裁きの時が来ることはないと思う。そしてたとえ私が私の主のもとに帰ったとしても、彼はきっと私に良く報いてくださるだろう。」しかし真に、われらは真理を否定する者たちに、彼らがした[すべてを]告げ、彼らに厳しい懲罰を味わわせるであろう。

⁵¹ われらが人間に祝福を受けると、彼は背を向け、身を引くが、いかなる悪も彼に触れると、彼は終わりのない祈りに満たされる!⁵² 彼らに言え、「もしこのクルアーンが本当に神からのものであり、それでもあなた方がそれを拒絶するなら、真実から遠く漂っている者以上に迷っている者がいるだろうか?」

⁵³ われらは彼らに、これが真実であることが彼らにはっきりするまで、宇宙と彼ら自身の中にわれらのしるしを示すであろう。あなたの主がすべてのものの証人であることで十分ではないか?⁵⁴ それでも彼らは、彼らが彼らの主に出会うことを疑っている。確かに、彼はすべてのものを包摂している。

42. 熟慮 (アッ・シューラー)

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ ハー・ミーム。² アイン・スィーン・カーフ。

³ このように、力強く、賢明な神は、あなた以前の者たちにしたように、あなたに啓示を送られる。⁴ 天と地にあるすべては彼に属する。彼は至高であり、全能である。⁵ 天使たちが主の讃美を歌い、地上の者たちのた

めに赦しを請い願うので、天は上からほとんど裂けそうである。神は実に最も許し深く、最も慈悲深い。⁶ そして彼以外に保護者たちを立てる者たち(については)、神は彼らを見守っており、あなたは彼らの管理人ではない。

⁷ このようにわれらは、あなたにこのアラビア語のクルアーンを啓示した。あなたが大都市[マッカ]とその周辺に警告し、必ず来る集会の日について彼らに警告できるように。その時、ある集団は園に、ある集団は業火の中にいるであろう。

⁸ もし神がそう望んだなら、彼は彼らすべてを一つの共同体とすることができたであろう。しかし彼は御心である者を彼の慈悲に入れる。そして不義を働く者たちには、保護者も助け手もない。⁹ 彼らは彼以外に自分自身のための保護者を立てたのか?しかし真の保護者は神である。彼は死者を生き返らせ、彼はすべてのものに対して力をお持ちである。¹⁰ あなた方が意見を異にするいかなる事柄についても、それに関する判決は神に委ねられている。[したがって言え]、「そのようなものが神、私の主である。彼に私は信頼を置き、彼に私は常に立ち返る。」

¹¹ 天と地の創造主、彼はあなた方自身の中からあなた方のための配偶者を作り、また家畜も対にして、それで彼の被造物を増やす。彼に匹敵するものは何もない!彼はすべてを聞き、すべてを見る。¹² 天と地の鍵は彼に属する。彼は御心である者には豊かに与え、御心である者には控えめに与える。彼はすべてのことを完全に認識しておられる。

¹³ 神はあなた方のために、彼がノアに命じたのと同じ宗教を定められた。そしてわれらがあなたに啓示し、アブラハムとモーセとイエスに命じた宗教も同様である。それはあなた方が宗教において堅固に留まり、分裂しないようにするためである。あなたが多神教徒たちに行うよう招くことは、彼らにとっては困難である。神は御心である者を彼自身のために選び、彼に立ち返る者たちを彼自身へと導かれる。

¹⁴ 彼らが分裂したのは、知識が彼らに届いた後、相互の嫉妬ゆえだけであった。もしあなたの主から、特定された期間まで(彼らを猶予す

るという)すでに下された命令がなかったなら、事態は彼らの間で確かに決定されていたであろう。彼らの後に書を相続した者たちは、確かにそれについて大きな疑念、疑念に近いものを抱いている。

¹⁵ だから人々をその信仰に招き、あなた自身は命じられたようにそれに堅くしがみつki、彼らの欲望に導かれてはならない。そして言え、「私は神が下された書を信じ、あなたの方で公正に行動するよう命じられている。神は私たちの主であり、あなたの方の主である。私たちには私たちの責任があり、あなた方にはあなた方の責任がある。私たちとあなた方の間に争いはない。神は私たちを集めるであろう、なぜなら彼のもとに私たちは帰るからだ。」¹⁶ 彼が受け入れられた後で、神について議論する者たちについては、彼らの議論は彼らの主にとって何の重みも持たず、彼の怒りが彼らに降りかかるであろう。厳しい懲罰が彼らを待っている。

¹⁷ 神こそが、真実と正義の秤をもって書を下された者である。裁きの時がすでに近づいているかもしれないことを、何があなた方に悟らせるだろうか?¹⁸ それを信じない者たちはそれを急がせようとするが、それを信じる者たちはそれを恐れ、それが真実であることを知っている。その時について議論する者たちは遠く迷い去ったのである。

¹⁹ 神は彼の被造物に対して最も恵み深い。彼は御心である者に糧を提供される—彼のみが力強く、全能なる方であるから。²⁰ 来世で収穫を望む者には、われらはその収穫を増大させるであろう。一方、この世で[のみ]収穫を望む者には、われらはその一部を[与えるかもしれない]—しかし彼は来世の[祝福に]何の分け前も持たないであろう。

²¹ 彼らには、神の許可なくして彼らのために宗教を定めた仲間の神々がいるのか?もし最終的な裁きに関する神の命令がなかったなら、事態は彼らの間で決定されていたであろう。確かに不義を働く者たちには苦痛な懲罰があるであろう。²² あなたは、不義を働く者たちが、逃れることのできない彼らの行いの結果を恐れているのを見るだろう。一方、信じ、正義の行いをした者たちは、園の牧草地にいて、彼らの主か

ら望むものすべてを持つであろう。それが最高の恵みとなるであろう。²³ これらは神が、信じ、正義の行いをする彼のしもべたちに与える吉報である。言え、「私はこれに対してあなた方にいかなる報いも求めない。ただし、親族への愛[のゆえにあなた方を神に招いている]という以外には。」善行をなす者は誰であれ、われらは彼のためにその善を増すであろう。神は最も許し深く、最も感謝する者である。

²⁴ 彼らは言うだろう、「彼が神について嘘をでっち上げたのか？」もし神がそう望んだなら、彼はあなたの心を封印することができたであろう。神は虚偽を消し去り、彼の言葉によって真実を証明される。彼は人間の心にあるものを完全に認識しておられる—²⁵ 彼は彼のしもべたちからの悔い改めを受け入れ、彼らの罪を赦す。彼はあなた方がなすことすべてを知っている。²⁶ 彼は信じ、善行を行う者たちに応え、彼の恵みをさらに彼らに与える。耐え難い責め苦が真理の否定者たちを待っている。

²⁷ もし神が彼の豊かな糧を彼の[すべての]被造物に与えたなら、彼らは地上で不遜に行動しただろう。しかし彼は、御心であるものを適切な尺度で下される。彼は彼のしもべたちをよく認識し、彼らを見守るからである。²⁸ 彼こそが、彼らが絶望した後で雨を降らせ、彼の慈悲を広く行き渡らせる者である。彼は保護者であり、すべての称賛に値する。²⁹ 彼のしるしの中には、天と地の創造と、彼がそれら全体に散らしたすべての生き物がある。彼は御心である時にいつでも、彼らすべてを集める力を持っている。

³⁰ あなた方に降りかかるいかなる不幸も、あなた方自身がなしたことによる—神は多くを赦す—³¹ あなた方は地上で彼から逃れることはできない。神以外にあなた方には保護者も助け手もない。

³² 彼のしるしの中には、海で山のように航海する船がある。³³ もし彼が望むなら、彼は風を静止させることができ、そうすればそれらは海面に動かずに横たわるだろう—真にこれには、堅固で感謝するすべての人へのしるしがある—³⁴ あるいは、彼が人々の悪行のためにそれら

を沈没させるかもしれない―彼は彼らの多くを赦す―³⁵ われらのしるしについて争う者たちは、彼らに何の逃げ道もないことを知るであろう。

³⁶ あなた方が与えられたものは何であれ、この世の一時的な糧にすぎない。しかし、神のもとにあるものは、信じ、彼らの主に信頼を置く者たちにとって、より良く、より永続する。³⁷ 甚だしい罪と大きなわいせつ行為を控え、怒った時に赦す者たち。³⁸ 主に応え、礼拝に注意を払い、相互の協議によって事柄を処理し、われらが彼らに与えたものの中から費やす者たち。³⁹ 攻撃された時に、自らを守る者たち。⁴⁰ 害は、受けた害と同じ程度で報復されるべきである。しかし、赦し、改心する者は誰であれ、神のもとにその報いを見出すだろう。彼は不義を働く者たちを愛さない。⁴¹ 不当に扱われた後に自らを守る者たちは、非難されることはない。⁴² 非難は、人間を不当に扱い、正当な理由なく地上で逸脱する者たちにのみ降りかかる―そのような者たちには苦痛な懲罰があるであろう―⁴³ 忍耐強く、許し深い者は誰であれ、大きな勇気と決意をもって行動する。

⁴⁴ 神が迷わせることを許す者は誰であれ、その後には何の保護者もない。あなたは不義を働く者たちが、懲罰に直面する時に「戻る道はないのか?」と叫ぶのを見るだろう。⁴⁵ あなたは彼らが、屈辱の中に惨めに、こっそりとそれを盗み見ながら、業火に晒されるのを見るだろう。一方、信じる者たちは言うだろう、「失われた者たちとは、復活の日に自分たちの魂と民を失った者たちだ。」真に、不義を働く者たちは永遠の責め苦の中に留まるであろう。⁴⁶ 彼らには神に対抗して助けてくれる仲間はいないだろう。神が迷わせることを許す者たちには、何の道[前進する道]もない。

⁴⁷ 裁きの日が来る前にあなたの主に応えなさい。それは[神の意志に反して]避けることはできないだろう。その日、あなたは神からのいかなる避難所も見出さず、罪を否定する[機会も]持たないであろう。⁴⁸ もし彼らが背を向けるなら、われらはあなた[預言者よ]を彼らの管理人と

して送ったのではない。あなたの責任はメッセージを伝えることだけである。人間は、われらが彼にわれらの慈悲を味わわせると、それに歓喜するが、彼自身がなした悪が彼に降りかかると、彼は全く恩知らずになる。

⁴⁹ 神は天と地の支配権を持っている。彼は御心であるものを何でも創造する―彼は御心である者には女性の子孫を、御心である者には男性を授ける。⁵⁰ あるいは男性と女性の両方を、そして御心である者を不妊のままにする。彼はすべてを知り、全能である。

⁵¹ いかなる人間にも、神が彼に、啓示によって、あるいは覆いの後ろから、あるいは彼が使徒を送り、その使徒が彼の命令によって御心であるものを何でも啓示する以外に、語りかけることは許されない。真に、彼は崇高で賢明である。⁵² われらはこのようにして、われらの命令によってあなた[預言者よ]に霊を啓示した。あなたは聖典も信仰も知らなかったが、われらはそれを光とし、われらの僕の中で御心である者をそれで導く。あなたは確かにまっすぐな道に導いている。⁵³ 天と地にあるすべてが彼に属する、神の道に。確かにすべての事柄は最終的に神のもとに帰る。

43. 金の飾り (アル・ズフルフ)

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ ハー・ミーム。

² 物事を明確にする書にかけて。³ われらはそれをアラビア語のクラーンとした。あなた方が理解できるように。⁴ 真に、それはわれらのもとに保管されている原典に記録されている。それは崇高で知恵に満ちている。

⁵ あなた方が逸脱に深く陥っている民であるからといって、われらはあなた方から訓戒を撤回すべきだろうか？⁶ われらは多くの預言者

を以前の民に送った。⁷ しかし預言者が来るたびに、彼らは彼を嘲笑した。⁸ そこでわれらはこれらの者たちよりも強力であった者たちを滅ぼした。そのようなものが以前の民の例であった。

⁹ もしあなたが彼らに「誰が天と地を創造したのか?」と尋ねるなら、彼らはきっと答えるだろう、「全能にしてすべてを知り尽くされる方が彼らを創造した」と。¹⁰ 彼こそがあなたの方のために地をゆりかごとし、あなた方が道を見つけられるように、その上に道筋を作った者である。¹¹ 彼こそが天から水を適切な尺度で送る者である—われらはそれで死んだ土地を生き返らせ、同様にあなた方も墓から復活させられるであろう—¹² 彼こそがすべての生き物を対に創造し、あなた方に船を与えて航海させ、獣を与えて乗るようにさせた者である。¹³ あなた方がその背にしっかりと座り、乗った後で、主の恵みを思い出し、「これら被造物を私たちに従わせてくださった彼に栄光あれ。私たち自身では決して彼らに従わせることはできなかったでしょう。¹⁴ そして私たちの主のもとに私たちはきっと帰ります」と言うように。

¹⁵ それでも彼らは彼のしもべの一部を彼の神性における仲間とする。人間は明らかに恩知らずである!¹⁶ それならば彼は彼自身の創造物から娘たちを選び、あなたの方のために息子たちを選んだとでも?¹⁷ 彼らの一人に、彼自身が慈悲深いお方に帰したまさにそのもの[すなわち女兒]の知らせが与えられると、彼の顔は暗くなり、彼は悲しみに満たされる—¹⁸ 「[神に帰するのか]、装飾品の中で育てられ、説得力のある議論を生み出せない者を?」¹⁹ 彼らは天使たち—神のしもべたち—を女性だと考える。彼らはその創造を目撃したのか?彼らの主張は記録され、彼らはそれについて尋問されるであろう。

²⁰ 彼らは言う、「もし慈悲深いお方がそう望んでいたら、私たちは彼らを崇拜しなかっただろう」と。彼らにはその知識がない。彼らはただ推測しているだけである。²¹ われらはこれより前に、彼らが堅くしがみついている書を彼らに与えたことがあるか?²² いや、決して!彼らは言う、「私たちは父祖が特定の道に従っているのを見つけました。そして私たちは

彼らの足跡によって導かれています。』²³ あなた以前に、われらが町を警告するために使徒を送るたびに、彼らの中の裕福な者たちは同様に言った、「私たちは父祖がこの伝統に従っているのを見ました。私たちは彼らの足跡を追っているだけです。』²⁴ 各々の使徒は言った、「もし私があなた方が父祖が持っていたものよりも良い導きをもたらしたとしたらどうだ?」彼らは答えた、「あなた方が送られたメッセージを私たちは拒絶する!」²⁵ そこでわれらは彼らに報復を課した。真実を拒絶した者たちの末路がどうであったかを今見なさい!

²⁶ アブラハムがその父と民に言った時を心に留めなさい、「私はあなた方が崇拜するものを全く否認する。²⁷ 私を創造された彼のみを[崇拜する]。そして彼は確かに私を導くだろう」と。²⁸ そして彼はこの言葉をその子孫の中に永続させた。彼らが(神に)立ち返るかもしれないように。²⁹ はい、私はこれらの[人々]とその父たちに、真実が彼らに来るまで、そして物事を明確に説く使徒が来るまで、この世の良いものを与えた。³⁰ しかし真実が彼らにきた時、彼らは言った、「これは魔術であり、私たちはそれを拒絶する。」

³¹ 彼らは言った、「なぜこのクルアーンは二つの都市の偉大な人物の一人に下されなかったのか?」³² あなた方の主の慈悲を分け与えるのは彼らなのか?われらはこの世の生で彼らの生計を彼らの間で分配し、彼らが互いを奉仕に使うように、彼らの一部を他の者たちよりも位階において高める。そしてあなたの主の慈悲は、彼らが蓄える[富]よりも良い。³³ もし全人類が一つの共同体[不信者]となることがなかったなら、われらは慈悲深い主を否定する者たちすべてに、銀の屋根を持つ家、昇るための銀の階段、³⁴ そして彼らの家への銀の扉、そして寄りかかるための銀の長椅子を与えたかもしれない。³⁵ しかし、これらすべてはただこの現世の糧にすぎない。来世こそ、主が彼を畏れる者たちのために取っておくものである。

³⁶ 慈悲深い神の想起から背を向ける者については、われらは彼に悪魔を任命し、彼の親密な仲間とする。³⁷ 悪魔たちは人間を[正しい]

道からそらすが、彼らは自分たちが正しく導かれていると考えている。

³⁸ そのような人物がわれらのところに来ると、彼は(彼の仲間である悪魔に)言うだろう、「もしお前が東が西から離れているのと同じくらい遠くから私から離れていたらよかったのに。なんという邪悪な仲間であろうか!」³⁹ (そのような人物に)言われるであろう、「あなた方は悪を行った。今日、懲罰を分かち合うことはあなた方には何の役にも立たないであろう。」

⁴⁰ あなた[預言者よ]は聾啞者に聞かせることはできるか?あるいは盲人や、明白な誤りの中にいる者たちを導くことができるか?⁴¹ たとえわれらがあなたを世から連れ去ったとしても、われらはきっと彼らに報復するであろう。⁴² あるいはわれらはあなたに、われらが彼らに約束したものをあなたに示すであろう。確かにわれらは彼らに対して完全な力を持っているからである。⁴³ だから、あなたに啓示された書に堅くしがみつきなさい—あなたは確かに正しい道にいる—⁴⁴ それは確かにあなたとあなたの民への戒めであり、あなた方は間もなく責任を問われるであろう。⁴⁵ あなた以前にわれらが送った使徒たちに尋ねなさい、「われらは慈悲深いお方以外に、崇拜される神々を任命したことがあるか?」

⁴⁶ われらはモーセをわれらのしるしと共にファラオとその貴族たちに送った。彼は言った、「私は万有の主の使徒である」と。⁴⁷ しかし彼がわれらのしるしと共に彼らのところに来た時、彼らはそれらを嘲笑した。⁴⁸ われらが彼らに見せた各々のしるしが、以前のものよりも偉大であったにもかかわらず。われらは彼らを買め苦で悩ませた。彼らが(正しい道に)戻るように。⁴⁹ 彼らは言った、「魔術師よ、あなたの主があなたに誓約されたことのゆえに、私たちのために主を呼びかけなさい。私たちは確かに導きを受け入れるでしょう。」⁵⁰ しかしわれらが彼らから責め苦を取り除くと、彼らは約束を破った。

⁵¹ ファラオは彼の民に呼びかけ、「私の民よ、エジプトの王国は私のものではないのか?そして私の足元を流れるこれらの河は、私のもの

ではないのか？あなた方は見ないのか？⁵² 私は、ほとんど意味を明確にできないこの軽蔑すべき男よりも優れていないか？⁵³ そしてなぜ金の腕輪が彼に授けられなかったのか、そしてなぜ彼に同行する天使の一団がいないのか？」⁵⁴ このようにして彼は彼の民を欺き、彼らは彼に従った。彼らは反抗的な民であった。⁵⁵ その後、彼らがわれらの怒りを引き起こした時、われらは彼らに報復し、彼らの一人一人を溺れさせた。⁵⁶ われらは彼らを先例とし、後の人々への例とした。

⁵⁷ マリアの子[イエス]が例として挙げられると、あなたの民はこのことについて大騒ぎする。⁵⁸ 「私たちの神々の方が優れているか、それとも彼か？」—彼らはあなたに挑戦するためだけに彼を引用する。彼らは論争好きな民である—⁵⁹ しかし彼は、われらが恵みを与え、イスラエルの子らのための例とした僕にすぎなかった。⁶⁰ もしわれらがそう望んだなら、あなたに代わって天使たちを任命し、彼らに地上であなた方の後継者とさせることができたであろう。⁶¹ 彼は裁きの時のしるしである。それについて疑いを抱いてはならない。しかし私に従いなさい。これがまっすぐな道である。⁶² サタンにあなたの道を妨げさせてはならない。彼は真にあなたの誓われた敵である。

⁶³ イエスが明確なしるしと共に来た時、彼は言った、「今、私は知恵と共にあなた方のところに来ました。あなた方が争っているいくつかの事柄について、あなた方に明確にするために。したがって神を畏れ、私に従いなさい。⁶⁴ なぜなら神こそが、私の主であり、あなた方の主である。だから彼を崇拜しなさい。それがまっすぐな道である。」⁶⁵ 彼らの間の様々な派閥が意見を異にした—不義を行った者たちには災いあれ。彼らは苦痛な日の懲罰を受けるだろう。

⁶⁶ 彼らは、突然彼らに降りかかり、彼らを不意打ちで捕らえるであろう裁きの時をただ待っているのか？⁶⁷ その日、友は互いの敵となるだろう。義しい者たちを除いては—⁶⁸「おお私のしもべたちよ、あなた方はこの日を恐れる必要はないし、悲しむこともないであろう」—⁶⁹ われらの啓示を信じ、自らをわれらに服従させた者たち。⁷⁰ 「喜びながら園

に入れ、あなた方もあなたの配偶者も!」⁷¹ 金の皿やゴブレットが彼らの間で回されるであろう。彼らの魂が望むものすべて、そして彼らの目が喜ぶものすべてと共に。「そこにあなた方は永遠にとどまるであろう。⁷² これこそが、あなた方が過去の行いのゆえに相続する園である。⁷³ そしてあなた方が食べるための豊富な果物がそこにある。」

⁷⁴ 悪を行う者たちについては、彼らは永遠に地獄の責め苦に耐えるであろう。⁷⁵ そこからは何の救済もない。彼らはそこに全くの絶望の中で留まるであろう。⁷⁶ われらは彼らに不正を働いたのではない。彼らが不義を働いたのである。⁷⁷ 彼らは叫ぶだろう、「主よ、あなたの主が私たちを終わらせてくださるなら!」しかし彼[天使]は答えるだろう、「いや!あなた方はここに留まる運命にある。」⁷⁸ われらは確かにあなたに真実をもたらしたが、あなた方のほとんどは真実を嫌悪する。⁷⁹ 彼らはある道筋を決定したのか?ならばわれらも決定している。⁸⁰ 彼らは、われらが彼らの秘密の話と彼らの私的な協議を聞いていないと想像するのか?いや、それどころか、われらの使者[天使たち]が彼らのそばにいて、すべてを記録している。

⁸¹ 言え、「もし慈悲深いお方が息子をもうけていたら、私が最初に彼を崇拜しただろう。」⁸² しかし—天と地の主、玉座の主は崇高である—彼は彼らが[偽りに]描写するものよりも遥かに超越している。⁸³ だから彼らを放っておき、彼らが約束されているその日と顔を合わせるまで、虚しい談話にふけり、自らを楽しませておきなさい。

⁸⁴ 天に神であり、地にも神であるのは彼である。彼は賢明で、すべてを知り尽くされる方である。⁸⁵ 祝福あれ、王国を支配する彼に、天と地の王国、そしてそれらの間にあるすべてのものを。彼のみが時の知識を持っている。そして彼のもとにあなた方は帰されるであろう。

⁸⁶ 彼らが神以外に呼びかける者たちには、執り成しの力はない。真実を証言し、それを知っている者たちだけは除く。⁸⁷ そしてもしあなたが彼らに、誰が彼らを創造したかと尋ねるなら、彼らはきつと言うだろう、「神だ」と。ならばどうして彼らは背を向けさせられるのか?⁸⁸ 預言者は言

った、「主よ！真に彼らは信じない民です。」⁸⁹ ならば彼らに忍耐しなさい
[おおムハンマドよ]。そして「平安」と言いなさい。彼らは間もなく知るであらう。

44. 煙（アッ・ドゥハーン）

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ ハー・ミーム。

² 物事を明確にする書にかけて、³ 確かにわれらはそれを祝福された夜に下した—われらは常に警告を送ってきた—⁴ その夜、すべての賢明な命令が、⁵ われら自身の命令によって、⁶ あなたの主からの慈悲として、定められる—彼はすべてを聞き、すべてを知り尽くされる—⁷ 彼は天と地と、それらの間にあるすべてのものの主である—もしあなた方が本当に信じるなら—⁸ 彼以外に神はいない。彼こそが命と死を与える者である—彼はあなた方の主であり、あなた方の父祖たちの主である。⁹ それでも彼らはその疑念で遊んでいる。¹⁰ ならば待ち続けなさい、空がはっきりと見える煙の雲をもたらず日を。¹¹ それは人々を包み込むであらう。これは苦痛な懲罰となるであらう。¹² その時彼らは言うだろう、「主よ、この苦しみから私たちを解放してください。確かに私たちは今、あなたを信じます。」¹³ 明確に物事を説明する使徒がすでに彼らのところに来ていたのに、どうして彼らは訓戒から恩恵を得られるだろうか？¹⁴ その後彼らは彼から背を向け、「彼は狂人だ、他人に教えられたのだ！」と言った。¹⁵ もしわれらがしばらくの間責め苦を和らげても、あなた方はやはり真理の否定に戻るだろう。¹⁶ われらがすべての罪人に最も悲惨な災厄を与える日、われらは確かに報復を執行するであらう。

¹⁷ われらは彼ら以前にファラオの民を試した。高貴な使徒が彼らに送られた。¹⁸ 彼は言った、「神の僕たちを私に引き渡しなさい。私はあなた方にとって信頼できる使徒である。¹⁹ 神よりも偉くなろうとしてはな

らない。私はあなた方に明確な権威をもたらす。²⁰ もしあなた方が私を（石打ちで）殺すかもしれないので、私は私の主でありあなた方の主である方に避難を求めた。²¹ もしあなたが私を信じないなら、せめて私から遠ざかっていなさい。」

²² その後彼は彼の主に向かって叫んだ、「これらの者たちは罪深い民です。」²³ 神は言った、「夜のうちに私の僕たちと共に出発しなさい。あなた方はきっと追跡されるだろう。」²⁴ 海を分かれたままにしておきなさい。彼らは溺れる運命にある軍勢だからである。」²⁵ 彼らがどれほど多くの園や泉を残したことか、²⁶ そして穀物畑と壮大な建物、²⁷ そして彼らが喜んだ楽しいものたちを！²⁸ そのようなものが彼らの末路であった。そして彼らのものであったものをわれらは他の人々に相続させた。²⁹ 天も地も彼らのために泣くことはなかったし、彼らに何の猶予も与えられなかった。

³⁰ われらはイスラエルの子らを、ファラオの手による屈辱的な責め苦から救い出した。³¹ 彼はすべての限界を超えた暴君であった。³² われらは彼らを、知りながら他のすべての人々の上に選んだ。³³ そして彼らに、明確な試練のあるしるしを示した。

³⁴ しかし真理を否定する者たちは言う、³⁵ 「私たちの最初の死以外には何もない。私たちは再び起こされることはないだろう。」³⁶ だからもしあなたの言うことが真実なら、私たちの父たちを（戻して）こい。」³⁷ 彼らはトゥツバアの民や彼ら以前に来た者たちよりも優れているのか？われらは彼らを滅ぼした。彼らが罪を犯したからである。

³⁸ われらは天と地と、それらの間にあるすべてを、怠惰に創造したのではない。³⁹ われらはそれらを目的をもって以外には創造しなかったが、ほとんどの人々はこれを知らない。⁴⁰ 真に、決定の日は、彼らすべてのために定められた時である。⁴¹ その日、いかなる友も別の友に少しも

役立たず、いかなる者も助けられないであろう。⁴² 神が慈悲を示す者たちを除いては。確かに、彼は力強く、慈悲深いお方である。^a

⁴³ 確かにザックームの木の実⁴⁴ は罪人たちの食物となるであろう。⁴⁵ 油の滓のように、それは彼らの腹の中で煮え滾るであろう。⁴⁶ 熱湯の煮え滾るようなものである。⁴⁷ [声が叫ぶであろう]、「彼を捕らえ、地獄の真ん中へ引きずり込め。⁴⁸ それから懲罰として彼の頭の上に熱湯を注ぎかけよ。⁴⁹ これを味わえ。お前は自分を強大で名誉ある者と考えていた!⁵⁰ これがあなた方が疑っていたことか?」

⁵¹ しかし神を心に留める者たちは安全な場所にいるであろう。⁵² 園と泉の中で、⁵³ 上質な絹と豪華なブロードの衣をまとい、互いに向き合うであろう。⁵⁴ そのようになるであろう。われらは彼らを、大きくて暗い腫を持つ乙女たちと結婚させるであろう。⁵⁵ 彼らはそこで、あらゆる種類の果物を平和と安全のうちに求めるであろう。⁵⁶ 彼らはそこで死を味わうことはないであろう、最初の死を除いては。神は彼らを地獄の責め苦から救うであろう。⁵⁷ 恵みの行為として。それが最高の勝利である。

⁵⁸ われらはこのクルアーンを、あなた自身の言葉で、理解しやすいものとした。彼らが心に留めるように。⁵⁹ ならば待ち続けなさい。彼らもまた待っているのだ。

a もし誰かが天と地—いや、全宇宙のシステムについて熟考するなら、その創造が明確な目的をもって実行されたことが明らかになるだろう。もしそうでなければ、この世で人間が輝かしい文化を築くことは不可能であっただろう。その機能全体が意味深いということは、その終焉もまた意味深く、目的のある方法で告げられるという兆候である。その終焉がそれ以外でありうるということは想像できない。その終焉は、実際には、来世の始まりを告げるであろう。そして来世への信仰は、普遍的な意味深さの単なる延長である。この世の現在の段階は試練である。したがって、誰もがこの世の意味深さにおいて自分の分を持っている。しかし来世では、神の目から見て実際にそれに値する者たちだけが、来世の意味深さにおいて分を持つであろう。

45. ひざまずき（アル・ジャースィヤ）

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ ハー・ミーム。

² この聖典は、力強く賢明な神から下された。³ 天と地には、信じる者たちへのしるしがある。⁴ あなた方自身の創造と、彼が広めたすべての被造物の中に、確固たる信仰を持つ人々へのしるしがある。⁵ そして夜と昼の交代、神が天から下し、それによって生命のない大地を生き返らせる糧、そして風の循環の中に、[これらすべてに]理性を働かせる人々へのしるしがある。⁶ これらは神の啓示であり、われらはそれらを真実をもってあなたに朗読する。しかし彼らが神とその啓示を否定するなら、どのメッセージを信じるだろうか？

⁷ 災いあれ、すべての罪深い嘘つきに！⁸ 彼は神の啓示が彼に朗読されるのを聞きながら、まるで聞いたことがなかったかのように、その傲慢さに固執する。彼に苦痛な懲罰を事前に警告しなさい。⁹ 彼はわれらの啓示の一部を知ると、それらを嘲笑する。そのような者たちには屈辱的な責め苦があるであろう。¹⁰ 彼らの前には地獄があり、彼らが稼いだものも、彼らが神以外に自分たちのために立てた保護者たちも、何の利益にもならない。彼らには恐ろしい懲罰があるであろう。¹¹ このようなものがわれらの導きである。彼らの主の啓示を拒絶する者たちは、悲惨な懲罰を受けるであろう。

¹² 神こそが海をあなたに従わせ、あなた方が彼の命令でその上を航海し、彼の恵みを求め、感謝できるようにした。¹³ 彼は天にあるものも地にあるものも、すべてあなたに従わせた。それはすべて彼からのものである。その中には熟考する者たちへのしるしがある。

¹⁴ 信じる者たちに、神の日々の到来を信じない者たちを無視するよう伝えなさい。彼は人々がなしたことに對して報いるであろう。¹⁵ 公正で正しいことを行う者は誰であれ、彼自身の利益のためにそうする。そ

して悪を行う者は誰であれ、彼自身の損害のためにそうし、あなた方は皆、あなたの主のもとに帰るであろう。

¹⁶ われらはイスラエルの子らに聖典、知恵、預言者としての地位を与え、良いものを提供し、彼らを他のすべての人々の上に優遇した。

¹⁷ われらは彼らに(宗教の)事柄において明確な議論を与えた。彼らが互いの対立から、知識が彼らに來た後に意見を異にしたのは、その時だけであった。復活の日に、あなたの主は彼らの意見の相違に関して彼らの間を裁かれるであろう。¹⁸ その後、われらはあなたを(宗教の)明確な道の上に置いた。だからそれに従い、知識のない者たちの欲望に屈してはならない。¹⁹ 彼らは神に対してあなたに何の役にも立たない。不義を働く者たちは互いの友人であり、義しい者たちの友は神である。²⁰ この[書]は人類に啓発と導きをもたらし、確固たる信仰を持つ者たちへの祝福である。

²¹ 悪行を犯す者たちは、われらが信仰に達し、正義の行いをする者たちと同じように彼らを扱うだろうと想像するのか?彼らが生きることでも死ぬことも同じであろうか?彼らの判断はいかに悪いことか!²² 神は眞の目的のために天と地を創造された。すべての魂が、彼が稼いだものに対して報われるように、そして誰も不正を被らないように。

²³ [預言者よ]、自分の欲望を神とした者、知識の前で神が迷わせることを許し、その耳と心を封印し、目を覆った者を考えなさい—神が[彼を見捨てた後で]、誰がそのような人物を導くことができるだろうか?あなた方は心に留めないのか?

²⁴ 彼らは言う、「この世の私たちの生以外には何も無い。私たちは死に、生き、時間以外には何も私たちを滅ぼさない。」彼らにはこれに関する知識がなく、ただ推測に従っているだけである。²⁵ われらの明確な啓示が彼らに朗読されるたびに、彼らの唯一の議論は、「もしあなたの言うことが眞実なら、私たちの父祖を私たちのもとに戻してくれ」と言うことである。²⁶ 言え、「神はあなた方に命を与え、その後死なせ、その後、

疑いの余地のない復活の日にあなた方すべてを集めるであろう。しかしほとんどの人々はこれを知らない。」

²⁷ 天と地の王国は神に属する。裁きの時が来る日、虚偽に従う者たちは敗者となるであろう。²⁸ あなたはすべての民がひざまずいているのを見るだろう。すべての民は彼らの記録に呼び出され、[声が言うであろう]、「今日、あなた方はその行いに対して報われるであろう。²⁹ この私たちの記録はあなた方について真実を宣言するであろう。私たちはあなた方がなしてきたことすべてを記録していたのだ。」

³⁰ 信じ、善行を行った者たちは、彼らの主によって彼の慈悲の中に入れられるであろう—それが明白な勝利となるであろう。³¹ しかし真理を拒絶した者たち[は尋ねられるであろう]、「私の啓示があなた方に朗読された時、あなた方は傲慢ではなかったか、そして邪悪な行いをし続けなかったか？」³² あなた方が、『神の約束は真実であり、時の到来に何の疑いもない』と言われた時、あなた方は『私たちは時が何であるか知らない。それはただの推測にすぎないと考えており、私たちは納得していない』と答えなかったか？」

³³ 彼らの行いの悪が彼らにはっきりするであろう。彼らが嘲笑っていた懲罰が彼らを飲み込むであろう。³⁴ 彼らは言われるであろう、「今日、われらはあなた方を忘れるであろう。ちょうどあなた方自身がこの日と出会うことを忘れたように。あなた方の住処は業火となり、あなた方には何の助け手もないであろう。³⁵ それはあなた方が神の啓示を嘲笑し、この世の生に惑わされたからである。」したがって、今日、彼らは業火から連れ出されることはなく、改心することも許されないであろう。

³⁶ ならば、天の主、地の主、すべての世界の主である神に称賛あれ。³⁷ 天と地におけるすべての偉大さは彼に属する。彼は全能であり、すべてを賢くされる方である。

46. 砂丘 (アル・アハカーフ)

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ ハー・ミーム。

² この書は、全能で賢明な神から下された。³ われらは、天と地と、それらの間にあるすべてを、純粹に正当な目的のために、そして特定の期間のために創造した。しかし信仰を拒絶する者たちは、警告されたことから背を向ける。

⁴ 言え、「神以外の、あなた方が呼びかける者たちについて考えたことがあるか？彼らが地上で何を創造したか私に見せなさい。あるいは彼らは天に分け前を持っているのか？もしあなた方が真実を言うなら、これ以前に啓示された書か、あるいは知識の他の痕跡をもたらしなさい。」⁵ そして、復活の日まで彼に答えることができず、(実際には)彼の呼びかけにさえ気づいていない者を神以外に呼びかける者以上に迷った者がいるだろうか？⁶ そして人類が集められた時、彼らは彼らの敵となり、彼らの崇拜を否定するであろう。

⁷ われらの明確な啓示が彼らに朗読され、真実が彼らにもたらされるたびに、真理を否定する者たちは言う、「これは明白な魔術だ」と。⁸ 彼らは、使徒自身がそれをでっち上げたと言うつもりなのか？(おおムハンマドよ)言え、「もし私が自分でそれをでっち上げたなら、あなた方は神から私を救うために何もすることはできないだろう。彼はあなた方がふけている話をよく知っている。彼こそが私とあなた方の間の証人として十分である。そして彼は許し深く、慈悲深い者である。」

⁹ 言え、「私は神の使徒の最初ではないし、私自身やあなた方に何がなされるかを知らない。私は私に啓示されたもの以外は何も追わないし、私は単なる明白な警告者である。」¹⁰ 言え、「あなた方は考えたことがあるか。もしこのクルアーンが本当に神からのもので、あなた方がそれを拒絶するなら、どうなるか？もしイスラエルの子らの一人が、それ

が以前の聖典に似ていることを証言し、それを信じるのに、あなた方はあまりにも傲慢で同じことをしないなら、どうなるか？神は確かに悪を行う者たちを導かない。」

¹¹ 真理を否定する者たちは信者たちについて言う、「もしこのクルアーンに何か良いものがあったなら、彼らが私たちよりも先にそれを信じることはなかっただろう」と。そして彼らがそれによって導かれることを拒否するので、彼らは言う、「これは古代のでっち上げだ」と。

¹² しかしモーセの聖典は、導きと祝福としてそれ以前に啓示された。そしてこれはアラビア語の書であり、(以前の預言を)確認し、悪を行う者たちに事前に警告し、善を行う者たちに吉報をもたらす。¹³ 確かに、「私たちの主は神です」と言い、その道に堅固に留まる者たちは、何の恐れもなく、悲しむこともないであろう。¹⁴ 彼らこそ楽園の人々であり、彼らがなしたことすべてへの報いとしてそこに住むであろう。

¹⁵ われらは人間に、両親に親切を示すよう命じた。彼の母は彼を苦痛の中で身ごもり、苦痛の中で彼を産んだ。そして彼を身ごもることと授乳期間は三十ヶ月かかる。やがて彼が十分に成熟し四十歳に達すると、彼は言う、「おお私の主よ！あなたが私と両親の両方に授けてくださった恵みに感謝し、あなたを喜ばせる善行を行うよう助けてください。私の子孫に義しさを授けてください。真に、私はあなたに立ち返り、真に、あなたに服従します。」¹⁶ われらはそのような人々から彼らがなす最良のものを受け入れ、彼らの悪行を見過ごす。彼らは楽園の人々の中にいるであろう—これは彼らに与えられた真の約束である。

¹⁷ しかし、両親に「お前たちに恥をかけ！多くの世代が私の前を通り過ぎたのに、誰も墓から復活していないのに、死後、私を墓から連れ出すと脅すのか？」と言う者はどうだろうか。両親は二人とも神に助けを叫び、彼に言う、「信じなさい！お前に災いあれ！神の約束は真実である。」しかし彼は言う、「これらは古代の寓話にすぎない。」¹⁸ このような者たちに対して、彼ら以前に去って行ったすべての共同体、ジンと人間

と共に、神の言葉は真実であると証明された。確かに彼らは失われた者たちである。

¹⁹ すべては彼らの行いによる位階でランク付けされる。われらは彼らの行動に対して完全に報い、彼らが不正を被ることはないであろう。²⁰ 真理を否定する者たちが業火の前に連れてこられる日、彼らは言われるであろう、「あなた方はこの世の生の善いものを手に入れ、それを楽しんだ。今、この日、あなた方は、正当な理由なく土地で傲慢であったこと、そして反抗的に行動したことのゆえに、屈辱的な懲罰で報われるであろう。」

²¹ アード族の兄弟について語りなさい。彼が砂丘で彼の民に警告した時—そして確かに警告者は彼以前にも彼以後にも来ては去って行った—言った、「神以外は誰も崇拝するな。確かに私はあなた方のために恐ろしい日の懲罰を恐れる。」²² しかし彼らは言った、「あなた方は私たちを私たちの神々から遠ざけるために来たのか？ならば、もしあなたが真実を言うなら、私たちを脅すものを私たちにもたらしなさい。」²³ 彼は言った、「それがいつ来るかは神のみが知っている。そして私はあなた方に、私が送られたメッセージを伝えるが、あなた方は無知な民だとわかる。」

²⁴ そこで彼らが、谷に近づく濃い雲の形をしたものを見た時、彼らは叫んだ、「これはただの重い雲で、(歓迎すべき)雨をもたらすだろう！」(しかしフードは言った)、「とんでもない！それはあなた方が急ぎ求めたまさにそのものだ—苦痛な苦痛をもたらす風である。」²⁵ それは主の命令で、すべてを破壊するだろう！」そして朝には、彼らの(空の)住居以外には何も残っていなかった。このようにわれらは悪を行う者たちに報いる。

²⁶ われらはあなた方[後の時代の人々]には与えなかった程度の力を彼らに与えた。そして彼らに聴覚、視覚、そして心を受けた。しかし、彼らが神の啓示を拒絶し続けたので、彼らの聴覚も視覚も心も彼らに何の役にも立たなかった。そして彼らが嘲笑していたまさにそのものに、

彼らは圧倒された。²⁷ われらはまた、あなた方の周りで(かつて栄えた)他の町も滅ぼした—彼らが(正しい道に)立ち返るかもしれないように、われらは彼らに様々な兆候を与えた—²⁸ なぜ彼らの神々、彼らが神以外に立て、彼をより近づけるために立てた神々が彼らを助けなかったのか? いや、決して! 彼らは彼らを完全に裏切った。それはすべて嘘であり、彼ら自身の作り話であった。

²⁹ われらがあなたに、クルアーンを聞きたいと望んだジンの集団を送った時のことを思い出しなさい。そして彼らがその朗読を聞いた時、彼らは互いに言った、「静かにして聞きなさい」と。そして、それが終わると、彼らは彼らの民の元に戻り、彼らに警告を与えた。³⁰ 彼らは言った、「おお私たちの民よ、私たちは書を聞きました。それはモーセの後の下されたもので、以前の聖典に存在する予言を確認するものです。それは真実と正しい道に導きます。³¹ 私たちの民よ、あなた方を神に招く者に応じなさい。彼を信じなさい! 神はあなた方の罪を赦し、あなた方を苦痛な懲罰から守るでしょう。³² しかし、神の呼びかけに応じない者は、地上で彼[神]から逃れることはできず、彼に対抗するいかなる保護者も持つことはできないでしょう。そのような人々は明らかに遠く迷い去っている。」

³³ 彼らは、天と地を創造し、その創造に疲れなかった神が、死者を生き返らせる力を持っているのを見なかったのか? はい、確かに、彼はすべてのものに対して力を持っている。³⁴ 真理を否定する者たちが業火の前に連れてこられる日、彼らは尋ねられるだろう、「これは真実ではないか?」彼らは答えるだろう、「はい、私たちの主にかけて。」彼は言うだろう、「ならば、真理を否定したことゆえに、懲罰を味わえ。」

³⁵ だから、あなた以前の忍耐強い使徒たちがそうしたように、忍耐しなさい。そして彼らについて急いではない。彼らが脅かされていたものを見る日には、彼らにはまるで一日のうちの一時間しか滞在していなかったかのように思えるだろう。(あなたの責任は)メッセージを伝

えることである。そして不従順な者たち以外には誰も滅ぼされないだろう。

47. ムハンマド (ムハンマド)

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ 神は、真理を否定することに固執し、神の道から(他者を)妨げる者たちのすべての善行を無に帰すであろう。² 信じ、善行を行い、ムハンマドに啓示されたもの—そしてそれは彼らの主からの真実である—を信じる者たちについては、神は彼らの罪を取り除き、彼らの状態を正されるだろう。³ それは真理を否定する者たちが虚偽に従う一方で、信じる者たちが彼らの主からの真実に従うからである。このように神は人類のために比較を提示する。

⁴ あなた方が戦いで真理を否定する者たちと出会ったら、彼らの首を打ち、^a 一度彼らが敗北したら、彼らを捕虜にし、その後、戦争が完全に終わるまで、恵みの行為として解放するか、あるいは彼らが(自分自身を)身請けさせるか、しなさい。このようにすべきである。もし神が望んだなら、彼は確かに彼らから報復を執行したであろうが、彼の目的は、ある者たちを他の者たちによって試すことである。神の目的のために殺された者たちについては、彼は決して彼らの行いを無駄にすることはない。⁵ 彼は彼らを導き、彼らの状態を改善する。⁶ 彼は彼らを、すでに彼らに知らせた園に入れるであろう。

⁷ 信じる者たちよ!もしあなたが神を助けるなら、彼はあなたを助け、あなたの足跡を堅固にするであろう。⁸ しかし真理を否定することに固執する者たちについては、破滅が彼らの分となるであろう。そして(神は)彼らの行いを無に帰すであろう。⁹ それは彼らが神が啓示されたものを嫌悪するからであり、彼が彼らの行いを無益にしたのである。¹⁰ 彼

a 序文のxivページからxviiページを参照。

らは地上を旅し、彼ら以前の者たちがどうその末路を迎えたかを見なかったか？神は彼らを完全に滅ぼした。同様の運命が真理を否定する者たちを待っている。¹¹ それは神が信者たちの保護者であり、真理を否定する者たちには何の保護者も全くいないからである。

¹² 神は、信じ、善行を行う者たちを、川が流れる園に入れるであろう。真理を否定する者たちは、この世で彼らの喜びを十分に満たし、家畜のように食べるだろうが、業火が彼らの最終的な住処となるであろう。¹³ われらが破壊した町で、あなた方を追い出したあなたの町よりも力において偉大であった町がどれほど多くあったことか。そして彼らを助ける者は誰もいなかった。

¹⁴ 彼の神からの明確な証拠に立脚する者が、その行う悪が彼らに美しく見える者たち、そして自分自身の欲望に従う者たちと同じように見なされるだろうか？¹⁵ ここに義しい者たちに約束された園の描写がある。そこには永遠に純粋な水の川があり、味が決して変わらない乳の川があり、飲む者にとって喜びであるワインの川があり、そして純粋な蜂蜜の川がある。そしてその中にはあらゆる種類の果物があり、彼らは彼らの主から赦しを受けるであろう。そのような至福を享受する者たちが、業火に留まり、その腸を裂く煮え滾る水を与えられる者たちと同じであろうか？

¹⁶ 彼らの中にはあなたに耳を傾ける者たちがいるが、その後、あなたの御前から去る時、知識（聖典）を与えられた者たちに言うだろう、「彼は今何と言ったか？」そのような者たちこそ、神がその心を封印し、彼ら自身の卑しい欲望に従う者たちである。¹⁷ しかし導きに従う者たちについては、彼は彼らの導きを増し、彼らに義しさへの道を示す。

¹⁸ 彼らは突然彼らに降りかかる終末の時を待っているのか？その徴候はすでに来た。しかしそれが実際に彼らに降りかかった時、彼らの忠告は彼らに何の役にも立つだろうか？¹⁹ 神以外に神はいないことを知りなさい。あなたの不義のために、そして信じる男女のために赦しを請いなさい。神はあなたの動きとあなたの宿所を両方知っている。

²⁰ 信じる者たちは、なぜ(戦いに関する)章が下されないのか尋ねる。しかし、戦いに言及する決定的な章が下されると、あなたは病んだ心を持つ者たちが、まるで死の影の下にいるかのように、あなた(預言者)を見るのを見ることができる。それゆえ、彼らに災いあれ!²¹ 服従と、公正なことを言うことは、彼らにとってよりふさわしいであろう。決定が下された時、彼らが神に対して誠実に行動するなら、彼らにとってより良いであろう。²² もしあなたが背を向けるなら、あなた方は地上に腐敗を広め、血縁の絆を断ち切る可能性が高い。²³ そのような者たちこそ、神が拒絶し、その耳を聾哑にし、その目を盲目にした者たちである。

²⁴ ならば彼らはこのクルアーンについて熟考しないのか?あるいは彼らの心には錠前がかかっているのか?²⁵ 導きが彼らに示された後で(このメッセージに)背を向ける者たちは、(それは)サタンがその空想を美化し、神が彼らに猶予を与えるからである。²⁶ なぜなら彼らは、神が啓示されたものを嫌悪する者たちに、「いくつかの事柄についてはあなた方に従う」と言うからである。神は彼らの秘密を知っている。²⁷ その後、天使たちが彼らの顔と背中を叩きながら、彼らの魂を奪う時、どうなるだろうか。²⁸ それは彼らが神を怒らせる道に従い、彼の喜びの道を採用することを嫌ったからである。そこで彼は彼らの行いを無に帰した。

²⁹ 心に病を持つ者たちは、神が彼らの悪意を明るみに出さないだろうと想像するのか?³⁰ もしわれらがそう望んだなら、彼らをあなたに明確に示すことができ、そうすればあなたは彼らをその印で識別することができたであろう。しかしあなたはきっと彼らの話し方の調子で彼らを知るであろう!神はあなた方がなすことすべてを知っている。

³¹ われらはきっとあなた方を試すであろう。あなた方の中で最も懸命に努力する者たちと、堅固な者たちとをわれらが発見し、あなた方の記録をテストするまで。³² 確かに、真理を否定することに固執し、神の道から(他者を)妨げ、導きが示された後で使徒に反対する者たちは、いかなる方法でも神を害することはできない。彼は彼らのすべての行いを無に帰すであろう。

³³ 信じる者たちよ、神に従い、使徒に従いなさい。あなた方の行いを無駄にさせてはならない—³⁴ 確かに、真理を拒絶し、他者を神の道から妨げ、その後真理の否定者として死ぬ者たちは、神から赦しを与えられないであろう。³⁵ だから、あなたが優位に立った時に、気を落としたり、平和を訴えたりしてはならない。神はあなたと共にいる。そしてあなたの行いを決して無駄にすることはない。

³⁶ この世の生は、遊びであり、気晴らしにすぎない。しかしもしあなたが信じ、神を心に留めるなら、彼はあなたに報い、あなたの財産を求めないであろう。³⁷ もし彼があなたに[富を]求め、あなたを押し続けたなら、あなたはけちになり、これがあなたの悪意を示すだろう。³⁸ 見よ！あなた方は神の目的のために費やすよう求められているが、あなた方の中にはけちな者たちがいる。そしてけちな者は誰であれ、彼自身の魂に対してそうしているのだ。確かに、神は自給自足であるが、あなた方は[彼を]必要としている。そしてもしあなたが背を向けるなら、彼はあなたの代わりに別の民を連れてくるであろう。彼らはあなた方のようにではないだろう。

48. 勝利（アル・ファトフ）

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ 真に、われらはあなたに明白な勝利を与えた。² 神があなたの過去と未来の罪を赦し、あなたへの彼の恵みを完成させ、あなたをまっすぐな道に導くことができるように。³ そして神があなたに彼の強力な助けを授けることができるように。

⁴ 彼こそが、信者たちの心に静けさを下し、彼らの信仰に信仰を加えた者である—⁵ 一天と地の軍勢は彼に属する。彼はすべてを知り、すべてを賢くされる—そして彼が信者たち、男性も女性も、川が流れる園に入れることができるように、そこに永遠に住むために。そして彼が彼らの悪を取り除くことができるように—それが、確かに神の目から見ても最高

の勝利である—⁶ そして彼が、神について邪悪な考えを抱く偽善者の男女、多神教徒の男女を罰することができるように。邪悪な運命の転換が彼らに降りかかるであろう。なぜなら神は彼らに怒り、彼らを拒絶し、彼らのために地獄を用意されたからだ。なんと邪悪な行き先であろうか。

⁷ 天と地の軍勢は神に属する。彼は全能であり、すべてを賢くされる。

⁸ われらはあなたを、証人として、吉報を伝える者として、そして警告者として送り出した。⁹ あなた方が神と彼の使徒を信じ、彼を助け、彼を敬い、そして朝晩神を賛美するように。¹⁰ 見よ、あなたに忠誠を誓う者たちは皆、確かに神に忠誠を誓っている。神の手は彼らの手の上にある。したがって、その誓いを破る者は、彼自身の損失のためだけにそれを破る。一方、神に誓ったことを守る者は、神によって大きな報いを授けられるであろう。

¹¹ 後ろに残った砂漠のアラブ人たちはあなたに言うだろう、「私たちの財産と家族が私たちを忙しうさせました。だから私たちのために赦しを求めてください。」彼らは心にないことを舌で言うだろう。言え、「もし彼があなたに害を加えることを御心とするか、あるいはあなたに善を行うことを意図するなら、誰が神の代わりにいかなる力を持つだろうか？確かに、神はあなた方がなすことすべてをよく認識しておられる。」¹² いや。あなた方は、使徒と信者たちが決して家族のもとに戻らないだろうと考えた。この見込みはあなた方の心に喜ばしく思え、あなた方は邪悪な考えを抱き、こうして破滅に定められた。¹³ 神と彼の使徒を信じない、真理を否定する者たちについては、われらは燃え盛る火を用意した。¹⁴ 天と地の王国は神に属する。彼は御心である者を赦し、御心である者を罰する。そして神は最も許し深く、慈悲深い。

¹⁵ あなた方[信者たち]が戦利品を集めに出発する時、後ろに残った者たちは言うだろう、「私たちも一緒に行かせてくれ。」彼らは神の言葉を変えたいのだ。しかし彼らに言え、「あなた方は私たちについて来ることはできない。神はこれについて事前に宣言した。」すると彼らは言

うだろう、「あなた方は私たちを嫉妬しているのだ。」しかし、彼らの理解はなんとわずかであることか！

¹⁶ 後ろに残った砂漠のアラブ人たちに言え、「あなた方は強力な民に対して召集されるであろう。彼らが服従しない限り、あなた方は戦うであろう。その時、もしあなたが従順であることを証明するなら、神はあなたに良い報いを与えるであろう。しかし、以前にしたように背を向けるなら、彼はあなたに苦痛な懲罰を科すであろう—¹⁷ 盲人、足の不自由な者、そして病人は非難されないであろう。」神は、彼と彼の使徒に従う者を誰であれ、川が流れる園に入れるであろう。しかし背を向ける者は誰であれ、彼によって厳しく罰せられるであろう。

¹⁸ 神は信者たちに満足された。彼らが木の下であなた[預言者]に忠誠を誓った時である。彼は彼らの心にあるものを知り、そこで彼らに静けさを下し、間近な勝利で彼らに報いた。¹⁹ そして多くの将来の利益と共に—神は力強く、賢明である。²⁰ 神はあなた方に多くの将来の利益を約束された。そして彼はこれらを事前にあなた方に与え、人間の手があなた方を害するのを抑えられた。それが信者たちへのしるしとなるように、そして彼があなたをまっすぐな道に導くことができるように。²¹ そしてまだあなた方の手の届かない他の[利益]があるが、(それらは)神がすでに[あなた方のために]包摂されている。神はすべてのものに対して力を持っているからである。

²² もし真理を否定する者たちがあなたと戦っていたなら、彼らはきっと背を向けていただろう。その時、彼らは保護者も助け手も見つけられなかっただろう。²³ そのようなものが過去における神の法であった。そしてあなたは神の法にいかなる変更も見出さないであろう。²⁴ 彼こそがマッカの谷で、彼らの上であなたに勝利を与えた後で、彼らの手からあなた方を、そしてあなた方の手から彼らを抑えた者である。神はあなた方がなすことを見ている。

²⁵ 真理を否定することに固執し、あなた方を聖なるモスクから妨げ、あなた方の供物が犠牲の場所に届くのを防いだのは彼らであっ

た。そしてもし、あなた方が知らずに踏みつけてしまうかもしれない(マッカの)信じる男性たちと信じる女性たちがいなかったなら、そしてそのためにあなた方が知らずに罪を犯すかもしれないなら、(神はあなた方に彼らと戦うよう命じたであろう。しかし彼はこのように定めた)彼が御心である者を彼の慈悲に入れることができるように。もし彼ら[信者たち]が明確に分離されていたなら、われらは真理を否定することに固執する者たちを苦痛な懲罰で罰していただろう。

²⁶ 真理を否定する者たちが(その心に)それを威信の問題とした時—無知の時代の偏見—神は彼の静けさを彼の使徒と信者たちに下し、義しさの原則を彼らの中に堅固に確立させた。彼らは確かにそれにふさわしく、それに値する者たちであったからである。神はすべてのことを完全に認識しておられる。

²⁷ 神は真実をもって彼の使徒に真実の夢を示された。その中で彼は言われた、「神が望むなら、あなたはきっと安全に、そして恐れることなく聖なるモスクに入るだろう。頭を剃るか、髪を短く切るかして」—神はあなたが知らなかったことを知っていた。そしてあなたに事前に勝利を与えた。

²⁸ 彼こそが、彼の使徒を導きと真の宗教と共に送った者である。彼がそれを、他のあらゆる宗教の上に優勢にするためである。神は証人として十分である!

²⁹ ムハンマドは神の使徒である。彼と共にいる者たちは、真理を否定する者たちに対しては堅固で屈しないが、互いには思いやり深い。彼らがひれ伏し、身をかがめ、神の恵みと彼の良き喜びを求めているのを見るだろう。彼らの印は彼らの顔にある。ひれ伏した痕跡である。彼らはトラーと福音に記述されている。それは、その芽を出し、それからそれを強くし、それから太くなり、その茎の上にしっかりと立つ種のようなもので、蒔いた者たちを喜ばせる。彼はそれらを通して不信者たちを激怒させようとする。神は彼らの中で信じ、善行を行う者たちに赦しと大きな報いを約束された。

49. 居室（アル・フジュラート）

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ 信者たちよ、神と彼の使徒の前で、自分たちを前に押し出してはならない。神を畏れなさい—神はすべてを聞き、すべてを知り尽くされる。

² 信者たちよ、あなた方の声を預言者の声よりも上げてはならない。また、互いに話すときのように大声で彼に話しかけてはならない。あなた方がそれに気づかないうちに、あなた方の行いが無に帰することのないように。³ 神の使徒の前で声を低くする者たちは、神が敬虔さのためにその心を試された人々である—彼らには赦しと大きな報いがあるであろう—⁴ あなた方の住居の外からあなたに呼びかける者たちは、理解力に欠けている。⁵ もし彼らが、あなた方が彼らに会うために出てくるまで忍耐強く待っていたなら、それは彼らにとってより良かったであろう。しかし神は許し深く、慈悲深い。

⁶ 信者たちよ、もし悪を行う者があなたに知らせをもたらしたら、その報告の正確さを十分に確かめなさい。あなた方がうっかり他者を害し、その後自分のしたことを後悔することのないように。⁷ そして、神の使徒があなた方の中にいることを知りなさい。もし彼が多くのことであなただに従ったなら、あなた方はそのために苦しむだろう。しかし、神はあなた方に信仰を慕わせ、それをあなた方の心に美しくし、真理の否定、邪悪さ、そして不従順をあなた方にとって嫌悪すべきものとされた。そのような人々は、⁸ 神の恵みと恩寵を通して正しく導かれている。神はすべてを知り、賢明である。

⁹ もし信者たちの二つの集団が互いに戦うなら、彼らの間に平和をもたらしなさい。その後、もしその一方が他方に対して逸脱するなら、それが神の命令に服従するまで、逸脱する集団と戦いなさい。もしそれが従うなら、公平さをもって彼らの間に平和をもたらし、公正に行動しなさい。真に、神は公正な者たちを愛される。¹⁰ 確かに、すべての信者は兄

弟である。だからあなた方の兄弟たちの間に平和をもたらし、神を畏れなさい。あなた方に慈悲が示されるように。

¹¹ 信者たちよ、あなた方の中で、一部の男性が他の男性を嘲笑してはならない。後者の方が前者より優れているかもしれないからである。また、一部の女性が他の女性を嘲笑すべきではない。後者の方が前者より優れているかもしれないからである。互いに中傷したり、皮肉を言ったり、[不快な]ニックネームで呼び合ったりしてはならない。信仰を受け入れた後に悪評を得ることは、なんという悪いことか！悔い改めない者たちは悪を行う者たちである。

¹² 信者たちよ、多くの疑いを避けなさい。疑いの一部は罪だからである。そして互いに探り合ってはならず、陰口を叩いてはならない。あなた方の中に、死んだ兄弟の肉を食べることを好む者がいるだろうか？いや、あなた方はそれを嫌悪するだろう。神を畏れなさい。神は常に許し深く、最も慈悲深い。

¹³ 人類よ！われらはあなた方を一人の男性と一人の女性から創造し、互いを知ることができるように、あなた方を民族と部族に分けた。神の御前で最も高貴なのは、最も神を畏れる者である。神はすべてを知り、すべてを認識しておられる。

¹⁴ 砂漠のアラブ人たちは言う、「私たちは信じました」と。彼らに言え、「あなた方はまだ信じていない。むしろ『私たちは服従しました』と言いなさい。なぜなら信仰はまだあなた方の心に入っていないからである。しかしもしあなたが神と彼の使徒に従うなら、彼はあなた方の善行から何も減らすことはないだろう。神は最も許し深く、常に慈悲深い。」

¹⁵ 信者とは、神と彼の使徒に信仰を持ち、その後疑いを抱かず、その財産と自身で神の目的のために懸命に努力する者たちだけである。そのような者たちこそ真実な者たちである。

¹⁶ 言え、「神は天と地にあるすべてを知っているのに、あなた方は神にあなた方の宗教を教えようと見なすのか？神はすべてのことを認識しておられる。」¹⁷ 彼らは、ムスリムになったことで、あなたに恩恵を与

えたと考えている！言え、「私への恩恵としてあなた方のイスラムを考慮するな。いや、決して！真実を導くことによって、あなた方に恩恵を授けたのは神である。もしあなたが真実を言うのなら、[これを認めなさい]。』¹⁸ 神は天と地の不可視のものを知っている。神はあなた方がなすことすべてを見ている。

50. カーフ（カーフ）

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ カーフ。

栄光あるクルアーンにかけて！² 確かに、彼らは警告者が彼ら自身の中から来たことに驚いている。そこでこれらの真理を否定する者たちは言う、「これは実に奇妙なことだ、³ 死んで塵になった後で再び生へと戻るだと？それはほとんどありえない！」⁴ われらは大地が彼らから何を取り去るかを非常によく知っている。われらはすべてのものを記録する書を保持している。⁵ しかし彼らは真実が来た時にそれを否定したので、彼らは混乱の状態にある。

⁶ 彼らは彼らの上の空を、われらがいかにそれを築き、飾り、何の欠陥も残さなかったか観察しなかったか？⁷ われらは大地を広げ、その上に堅固な山々を置き、あらゆる種類の楽しい植物をそこから生み出した。⁸ 神に立ち返るすべての人間への教訓と戒めとして。⁹ そしてわれらは空から祝福された水を下し、それで園と収穫される穀物を生み出し、¹⁰ そして高くそびえるナツメヤシの木々、その実が密に群がっているものを。¹¹ 人間への糧として。そして[これらすべて]によってわれらは死んだ土地を生き返らせる。復活もそのようになるであろう。

¹² 彼ら以前に、ノアの民とラスの民は真実を否定した。そしてサムードの民も。¹³ そしてアード族とファラオ、そしてロトの兄弟たち、¹⁴ そして森の住人、そしてトゥッバアの民。すべての者が使徒たちを否定した。

そしてわれらの警告は真実となった。¹⁵ われらは最初の創造によって疲れ果てたというのか？それでも彼らは第二の創造について疑いの中にいる。

¹⁶ われらは人間を創造した—われらは彼の魂の促しを知っており、彼の頸動脈よりも彼に近い。¹⁷ そして二人の記録の天使が、右と左に座って記録している。¹⁸ 彼が口にする各々の言葉は、注意深い見張り役によって書き留められるであろう。

¹⁹ 死の昏睡は真実を明らかにするために来るであろう。それがあなたが逃れようとしていたことである。²⁰ ラッパが吹かれるであろう。これが[あなた方が]警告されていた日である。²¹ 各々の人は、彼を駆り立てる[天使]と証言する別の天使に付き添われて到着するだろう。²² あなたはこれに無頓着であったが、今やわれらはあなたの覆いを取り除いた。だから今日のあなたの視力は鋭い。²³ 彼の同伴者である付き添いの天使は言うだろう、「ここに彼の記録が用意できています。」²⁴ 「業火に投げ込め、すべての恩知らずで反抗的な者を、²⁵ 善を妨げる者、逸脱者、他者に疑念を抱かせる者を、²⁶ 神以外に別の神を立てた者を。彼を厳しい懲罰に投げ込め」—²⁷ そして彼の仲間[サタン]は言うだろう、「主よ、私が彼を逸脱させたものではありません。彼自身がすでに遠く迷い去っていました。」²⁸ 神は言うだろう、「私の前で口論するな。私はあなた方にあらかじめ警告を与えたのだ。²⁹ そして私の言葉は変わることはなく、私は私の僕たちに不正ではない。」

³⁰ その日、われらは地獄に尋ねるだろう、「もう満員か？」地獄は答えるだろう、「まだ他にいるか？」³¹ 楽園は義しい者たちに近づけられ、もはや遠くないであろう。³² これこそがあなた方が約束されていたものである—これは神にしばしば立ち返り、彼を心に留めるすべての者のためである。³³ 彼は慈悲深いお方を、彼が見えないにもかかわらず畏れ、悔い改める心をもって彼のもとに来る。³⁴ だから平和のうちにそこに入れ。これが永遠の生の日である。³⁵ そこでは彼らは望むものすべてを持ち、われらの元にはさらに多くのものがある。

³⁶ どれほど多くの世代を、彼ら以前にわれらが滅ぼしたとか、力において遥かに優れていた者たちを！彼らは土地全体を探し回ったが、避難場所を見つけることができたろうか？³⁷ 心を持つ者、注意深く耳を傾ける者すべてにとって、これには真の戒めがある。

³⁸ われらは天と地、そしてそれらの間にあるすべてを六日間[期間]で創造したが、われらが疲れたことは一度もなかった。³⁹ だから彼らが言うことに忍耐しなさい。そして太陽が昇る前と沈む前に、彼の讃美をもってあなたの主を讃えなさい。⁴⁰ 夜中に、そしてあらゆる祈りの終わりに、彼の讃美を宣言しなさい。

⁴¹ 聞きなさい！呼びかけ人が近くから呼びかける日を。⁴² 人々が運命の叫びを聞く日、彼らは[墓から]立ち上がるであろう。⁴³ 真に、命を与えるのも、死をもたらすのも、そしてすべてのものが帰るのも、われらである。⁴⁴ 大地が彼らの上で裂け開く日、そこから彼らは急いで現れるであろう。彼ら全員を集めることは、われらには十分に容易である。

⁴⁵ われらは真理を否定する者たちが言うことを最もよく知っている。あなたは彼らを強制するためにそこにいるのではない。だから、このクルアーンをもって、私の警告を畏れる者たちに忠告しなさい。

51. 撒き散らす風（アル・ザーリヤート）

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ 塵を撒き散らす風にかけて、² そして[雨の]重荷を運ぶ者たちにかけて、³ そして容易に急ぐ者たちにかけて、⁴ そして彼の命令によって神の命令を分配する者たちにかけて！⁵ あなた方が約束されていることは確かに真実である。⁶ 裁きはきっと起こるのである—⁷ 軌道に満ちた天にかけて、⁸ 確かにあなた方は[何を信じるかについて]深く意見を異にしている—⁹ そのように背けられる運命にある者は[真実から]背けさせられる。

¹⁰ 推測家たちは滅びるがよい、¹¹ 無知の深みでもがいている者た

ち。¹² 彼らは尋ねる、「裁きの日はいつ来るのか?」¹³ それは彼らが業火で責め苦を受ける日である。¹⁴ 「あなた方の試練を味わえ。これこそがあなた方が急がせようとしたものだ。」¹⁵ 確かに神を畏れる者たちは、園と泉の真ん中にいるであろう。¹⁶ 彼らはその主が彼らに授けるものを受け取るであろう。彼らは過去に善行をなしてきたのだ。¹⁷ 夜にはほとんど眠らず、¹⁸ 夜明けには神の赦しを祈り求め、¹⁹ そして困窮者や奪われた者たちにその所有物を分かち与える。

²⁰ 地上には、そしてあなた方自身の中にも、²¹ 堅固な信者たちへのしるしがある。ならばあなた方は見ないのか?²² 天にはあなた方の糧があり、あなた方が約束されているものもある。²³ 天と地の主にかけて、それは確かに真実である。それはあなた方が話す能力と同じくらい真実である。

²⁴ あなたはアブラハムの尊敬される客人の物語を聞いたか?²⁵ 彼らが彼のもとに来た時、彼らは「平安!」と言った。彼は「平安!」と答えた[心の中で言った]。彼らは見知らぬ人だ。²⁶ その後、彼は急いで家族のもとへ向かい、肥えた子牛を持ってきた。²⁷ そしてそれを彼らの前に置いた。「食べませんか?」と彼は言った。²⁸ 彼らを恐れ始めた。しかし彼は言った、「恐れるな」と。そして彼らは彼に、知識を授けられる息子を持つであろうという吉報を与えた。²⁹ その後、彼の妻は前に出て、叫びながら額を叩いた。彼女は言った、「私は確かに不妊の、年老いた女です。」³⁰ 「それがあなたの主の意志である」と彼らは答えた。「彼は賢明で、すべてを知り尽くされる方です。」

³¹ アブラハムは尋ねた、「あなた方の用件は何だ、おお使者たちよ?」³² 彼らは答えた、「私たちは罪深い民に送られたのだ。³³ 私たちが彼らの上に粘土の石の雨を降らせるためである。³⁴ それらはあなたの主によって、過度な行為を犯した者たちの懲罰のために印がつけられている。」³⁵ われらは都市にいる信仰する者たちすべてを救った。³⁶ われらはその中に、真の信者の家族を一つだけ見出した—³⁷ そしてわれらはその中に、苦痛な懲罰を恐れる者たちのためにしるしを残した。

³⁸ モーセの中にも別のしるしがある。われらは彼を明確な権威と共にファラオに送った。³⁹ しかし彼は背を向けた、彼と彼の廷臣たちは。そして言った、「これは魔術師か狂人だ。」⁴⁰ その後、われらは彼と彼の軍隊を捕らえ、彼らすべてを海に投げ込んだ。彼自身[ファラオ]は非難されるべきであった。⁴¹ [アード]族の中にも別のしるしがある。われらが彼らに対して命を破壊する風を送った時、⁴² それはそれが通過するすべてを破壊し、塵と化した。⁴³ サムード族の中にも[別のしるしがあった]。彼らが「しばらくの間、人生を最大限に活用しなさい」と言われた時、⁴⁴ しかし彼らは彼らの主の命令に反抗した。そこで彼らが見ている間に、雷が彼らを襲った。⁴⁵ 彼らは再び立ち上がることも、自らを守ることでもできなかった。⁴⁶ [われらは]彼ら以前にノアの民も滅ぼした。彼らは確かに罪深い民であった。

⁴⁷ われらはわれらの力をもって宇宙を築き、それにその広大な広がりを与えた。⁴⁸ われらは大地を広げた—われらがいかに見事にそれを広げたことか—⁴⁹ そしてあなた方が熟考できるように、すべてのものを対にして創造した。⁵⁰ だから神へ急ぎなさい。真に、私は彼によって送られた、あなた方に明確な警告を与える者である。⁵¹ 神と共に別の神を立ててはならない。私は彼から来た、あなた方に明白に警告する者である。

⁵² 同様に、彼ら以前の者たちには、彼らが「彼は魔術師か狂人だ」と言わない限り、使徒が来たことはなかった。⁵³ 彼らはこれを互いに受け継いできたのか？彼らは確かにすべての限界を超える民である。⁵⁴ だから彼らを無視しなさい—あなたに何の非難もない—⁵⁵ しかし彼らを励まし続けなさい。なぜなら励ましは信者たちに益となるからである。

⁵⁶ 私はジンと人類を、私を崇拜するためだけに創造した。⁵⁷ 私は彼らから何の糧も求めないし、彼らが私を養うことも望まない—⁵⁸ 最高の糧を与える者、力強く、無敵であるのは神である。⁵⁹ 不義を働く者たちは、彼らの先祖と同じ運命をたどるであろう—私に[懲罰を]急がせる

よう彼らに要求させてはならない—⁶⁰ その後、真理を否定することに固執する者たちに災いあれ。彼らが約束されていた日が来た時に。

52. シナイ山 (アル・トゥール)

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ シナイ山にかけて、² そして書かれた聖典にかけて、³ 開かれた羊皮紙に、⁴ そして頻繁に訪れられる家にかけて、⁵ そして高くそびえる空の円蓋にかけて、⁶ そして膨れ上がる海にかけて、⁷ あなた方の主の懲罰は必ず来るであろう—⁸ それをかわすことができる者は誰もいない—⁹ 空が痙攣する日、¹⁰ そして山々が震え、揺れる日。¹¹ その日、真理を否定する者たちに災いあれ、¹² 虚しいおしゃべりで自分自身を逸らしている者たちに。¹³ その日、彼らは地獄の火の中に容赦なく突き落とされるであろう。¹⁴ これこそが、あなた方がかつて否定していた火である。¹⁵ これは魔術か、それともあなた方は見えないのか？¹⁶ さあ、そこへ入れ。あなたが忍耐強く振る舞おうと、せっかちに振る舞おうと、何の違いもない。あなた方は、自分たちがなしたことに對して報いられているだけである。

¹⁷ 真に、神を畏れる者たちは[その日]園と至福の中で暮らすであろう。¹⁸ 彼らの主が彼らに与えたものすべてを喜び、彼らの主は彼らを業火の責め苦から救われた。¹⁹ 「あなた方の善行への報いとして、良い気分でご飯、飲みなさい。」²⁰ 列をなして配置された寝椅子に寄りかかり。そしてわれらは彼らを、大きくて美しい瞳を持つ公明正大な乙女たちと結婚させるであろう。

²¹ 信仰に達した者たちに、われらは信仰において彼らに続いた子孫を団結させるであろう。そしてわれらは彼らの善行の何一つも報われずに放置することはない。すべての人間は彼が稼いだことすべてに對して担保である。²² われらは彼らが望むような果物と肉を豊かに提供するであろう。²³ そこでは、虚しい話や罪につながらない杯が、手から手へと渡されるであろう。²⁴ 彼らは、貝殻に隠された真珠のように、不死の

若者たちに給仕されるであろう。²⁵ 彼らは互いに会話を交わし、互いに質問し合うであろう。²⁶ 「これより前、私たちは家族の中にいた時、神の不満を恐れていました—²⁷ 神は私たちに恵み深く、地獄の激しい熱の責め苦から私たちを救ってくださいました—²⁸ これより前、私たちは彼に祈っていました。確かに、彼は慈善深く、慈悲深いのです。」

²⁹ だから警告し続けなさい。あなたの主の恵みによって、あなたは預言者でも狂人でもないからである。³⁰ もし彼らが「彼はただの詩人だ。私たちは彼に不幸が降りかかるのを待っている」と言うなら、³¹ 「彼らに」言え、「ならば待ちなさい。私もあなた方と共に待っているのだ！」—³² これを[言うように]促しているのは彼らの心か、それとも彼らは単なる不遜な人々か？³³ あるいは彼らは「彼が自分ででっち上げたのだ」と言うのか？確かに、彼らは信じようとしない。³⁴ もし彼らが言うことが真実なら、それと似た聖典を制作してみせよ。

³⁵ 彼らは無から創造されたのか、あるいは彼ら自身が創造者なのか？³⁶ 彼らは天と地を創造したのか？いや！彼らには信仰がない。³⁷ 彼らはあなたの主の宝を所有しているのか、あるいは彼らはそれらの管理を任されているのか？³⁸ 彼らには盗み聞きできる梯子が天にあるのか？ならば、彼らの聞き手たちに明確な証拠を持ってこさせよ。³⁹ 神には娘たちがおり、あなた方には息子がいるのか？

⁴⁰ あるいは、あなたが彼らに報酬を求めるので、彼らは借金で重荷を負っているのか？⁴¹ 彼らは不可視の知識を所有しているので、それを書き留めることができるのか？⁴² 彼らは何らかの陰謀を企てたいのか？真理を否定する者たちが、その陰謀の犠牲者となるであろう。⁴³ あるいは彼らには神以外の神がいるのか？彼らが[彼に]仲間として配するものの上に、神は崇高である！

⁴⁴ もし彼らが天の一部が崩れ落ちるのを見たら、彼らは言うだろう、「雲の塊だ」と。⁴⁵ だから彼らが言葉を失うであろうその日に直面するまで、彼らを放っておきなさい。⁴⁶ その日、彼らの企みは何の役にも立た

ず、彼らは何の助けも受けないだろう。⁴⁷ 真に、悪を行う者たちにはそれ以外の懲罰があるが、彼らのほとんどはそれを知らない。

⁴⁸ だからあなたの主の裁きを忍耐強く待ち続けなさい—あなたは確かにわれらの監視下にある。そしてあなたが[眠りから]立ち上がる時、あなたの主を彼の讚美をもって賛美し、称えなさい。⁴⁹ 夜間、そして星が沈む時にも彼の栄光を称えなさい。

53. 沈む星 (アン・ナジム)

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ 沈む星にかけて、² あなたの仲間は道を誤ったのでもなく、迷ったのでもない。³ また彼は自身の欲望から話すのではない。⁴ それ[クルアーン]は彼に下された啓示にすぎない。⁵ 彼は力において強大な[天使]によって教えられ、⁶ 知恵を与えられた。彼は時が来ると姿を現した。⁷ 水平線の最も高い地点に静止して立ち、⁸ その後、近くまで降りてきて、⁹ 二つの弓の長さ、あるいはそれよりもさらに近づき、¹⁰ 神の僕に彼が啓示したものを啓示した。¹¹ (預言者の)心は彼が見たものを誤解しなかった。¹² あなた方は彼が見たことについて彼と議論するつもりか?¹³ そして彼は確かに二度目に降りてくるのを見た。¹⁴ それは誰も超えることのできない最も遠い限界のナツメの木の上で、¹⁵ (永遠の)安息の園の上で、¹⁶ そのナツメの木が神秘的な輝きに覆われていた時である。¹⁷ 彼の視線は揺らぐ、不当に大胆でもなかった。¹⁸ 彼は彼の主の最も偉大な兆候のいくつかを見た。

¹⁹ あなた方はアル・ラートとアル・ウッザー、²⁰ そして三番目のマナート^a について本当に考えたことがあるか?²¹ 「何だと!あなた方には男性で、彼には女性だと?」²² それは実に不公平な分割である—²³ これらは、あなた方自身とあなた方の父祖が考案した名前にすぎない。神は

a アル・ラート、アル・ウッザー、そしてマナートは古代アラビアの神々であった。

それらに対する何の権威も下さなかった。彼らは推測と彼ら自身の魂が望むものしか追わない。たとえ導きが彼らの主からすでに彼らに来ているにもかかわらず!²⁴ 人間は彼が切望するものをすべて持つのだろうか?²⁵ しかし、来世とこの世は神に属する。

²⁶ 天には数えきれないほどの天使たちがいるかもしれないが、神が彼が選り受け入れる者に許可を与えない限り、彼らの執り成しは何の役にも立たないであろう。²⁷ 来世を信じない者たちは、天使たちを女性の名で呼ぶ。²⁸ 彼らにはこれに基づいて知識がない。彼らは単なる当てずっぽうにふけるだけであり、それは決して真実の代わりにはならない。²⁹ だから、われらの啓示から背を向け、この世の生以外何も求めない者たちを無視しなさい。³⁰ それが彼らの知識の究極的な範囲である。確かにあなたの主は、彼の道から逸れる者たちを最もよく知っておられ、彼の導きに従う者たちを最もよく知っておられる。

³¹ 天にも地にもあるすべては神に属し、それゆえ彼は悪を行う者たちをその行いに応じて報い、善を行う者たちには、最良のもので報いるであろう。³² 重大な罪とみだらな行為を慎む者たちについては、たとえ小さな過ちを犯すことがあっても、あなたの主はその赦しを惜しまない。彼があなた方を地から生み出し、そしてあなた方が母の胎内で胚であった時から彼はあなた方を知っている。だから自らが清いと主張してはならない。彼は誰が本当に義しいかを最もよく知っている。^a

³³ あなた[預言者よ]は背を向けた男のことを考えたことがあるか?³⁴ 最初は少し与え、その後差し控えた者。³⁵ 彼は不可視の知識を持っていて、それを見ているのか?³⁶ 彼はモーセの聖典に書かれていたことを知らされなかったのか?³⁷ そしてその約束を守ったアブラハムの

a 全能なる神は、人間が何をすべきで、何をすべきでないかについて完全な導きを与えた。しかし、人間は、一時的な感情のために軽微な過ちにふけることがあるかもしれないが、その場合、彼はすぐに自分の過ちを悟り、それを恥じて主の赦しを求めるという条件で、許されるかもしれない。

聖典のことも。³⁸ いかなる魂も他者の重荷を負わないということ。³⁹ そして人間は、彼が努力したものだけを持つであろうということ。⁴⁰ そして彼の努力[の成果]は間もなく見られるであろうということ。⁴¹ そして最終的には、彼はそれに対して完全に報われるであろうということ。⁴² すべてのものは最終的に神のもとに帰るであろうということ。⁴³ 彼こそが笑いと涙をもたらすということ。⁴⁴ 彼こそが死をもたらし、命を与えるということ。⁴⁵ そして彼自身が二つの性別、男性と女性を創造したということ。⁴⁶ 射出された精液の一滴から。⁴⁷ そして彼が第二の創造をもたらすということ。⁴⁸ 彼こそが富と所有物を与えるということ。⁴⁹ 彼こそがシリウスの主である。

⁵⁰ 彼こそが、以前のアード族とサムード族を完全に滅ぼし、⁵² そして彼ら以前のノアの民を滅ぼした者である。彼らはさらに不正で不遜であった。⁵³ そして彼は転覆した都市[ソドムとゴモラ]を転覆させ、⁵⁴ そして永遠に彼らを視界から覆い隠した。⁵⁵ それでは、あなた方の主のしるしのどれをあなた方は疑うのか？

⁵⁶ これは昔からの警告と同じ警告である。⁵⁷ 来るべき時はますます近づいている。⁵⁸ 神以外には誰もそれをかわすことはできない。⁵⁹ それならばあなた方はこれらの知らせを奇妙だと感じるのか？⁶⁰ なぜあなた方は泣かずに笑うのか？⁶¹ 傲慢にも無頓着なままでいるつもりか？⁶² 神にひれ伏し、彼のみを崇拝しなさい！

54. 月（アル・カマル）

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ 最後の日が近づき、月は裂け開いた。² それでも彼ら[真理を否定する者たち]はしるしを見ると、背を向け、「いつもの古い魔術だ！」と言う。³ 彼らは真理を否定し、自分自身の気まぐれに従う—すべての事柄にはその定められた時がある—⁴ 彼らには多くの知らせが来た。そこには警告がある。⁵ 知恵に満ちた。しかしすべての警告は何の役にも立たなか

った。⁶ だから彼らを見殺しなさい。呼びかけ人が恐ろしい出来事について呼びかける日、⁷ 彼らはうなだれた目で墓から出てくるだろう。まるで群れをなして動き回るイナゴのようである。⁸ 呼びかけ人に向かって急ぐ。真理を否定する者たちは叫ぶだろう、「これはなんと厳しい日だ!」

⁹ 彼ら以前に、ノアの民は[真理を]否定した。彼らはわれらの使徒を「彼は狂人だ!」と言って嘘つきと見なした。彼は拒絶された。¹⁰ そこで彼は主に向かって叫び、「私は打ちのめされた、だから私を助けてください!」と言った。¹¹ そこでわれらは、水が激流となって降り注ぐことで天の門を開き、¹² 地を噴き出す泉で裂けさせた。こうして水は、定められていた目的のために合流した。¹³ われらは彼を、板と釘でできた[箱舟]に乗せ、¹⁴ われらの目の下でそれは浮遊した。拒絶された彼を擁護するために。¹⁵ われらはこれをしるしとして残した。しかし誰が心に留めるだろうか?¹⁶ すると私の懲罰と私の警告はいかに恐ろしいものであったことか。¹⁷ われらはクルアーンから教訓を学ぶことを容易にした。心に訓戒を受け入れる者はいるか?

¹⁸ アードの民もまた真理を拒絶した。私の懲罰と私の警告はいかに恐ろしいものであったことか。¹⁹ われらは継続的な災難の日に、激しい風を彼らに送った。²⁰ それは、まるで根こそぎにされたヤシの木の幹のように人々を吹き飛ばした。²¹ 私の懲罰と私の警告はいかに[恐ろしい]ものであったことか!²² われらはクルアーンから教訓を学ぶことを容易にした。心に訓戒を受け入れる者はいるか?

²³ サムード族もまたわれらの警告を拒絶した。²⁴ 彼らは言った、「私たちは私たちの中からの一人の人間に従うというのか? そうすれば私たちはきっと誤りと狂気に陥るだろう。²⁵ (神の)メッセージが私たち全員の中で彼一人にだけ啓示されたというのか? いや、彼は自慢する嘘つきだ。」²⁶ [われらは彼に言った]「明日、彼らは誰が自慢する嘘つきであるかを知るであろう。²⁷ われらは雌ラクダを彼らへの試練として[送るつもりだ]、だから彼らを見守り、忍耐しなさい。²⁸ そして彼らに、井戸の水を彼らの間で分けること、そしてそれぞれが順番に飲むべきであるこ

とを伝えなさい。」²⁹ しかし彼らは仲間を呼び、彼は剣を取って彼女の腿を切った。³⁰ 私の懲罰と私の警告はいかに[恐ろしい]ものであったことか!³¹ その時、われらは彼らにただ一つの爆音を送り、彼らは踏みつけられた乾いた切り株のようになった。³² われらは確かにクルアーンから教訓を学ぶことを容易にした。心に訓戒を受け入れる者はいるか?

³³ ロトの民はわれらの警告を拒絶した。³⁴ われらは彼らの上に砂嵐を送った。それは彼ら全員を滅ぼしたが、われらが夜明けに救ったロトの家族を除く。³⁵ われらからの祝福として。このようにわれらは感謝する者に報いる。³⁶ ロトは彼らにわれらの懲罰を警告したが、彼らはその警告を争った—³⁷ 彼らは彼の客人たちを誘惑しようとさえした—しかしわれらは彼らの目を盲目にし、言った、「私の警告を侮ったのだから、私の懲罰を味わえ!」—³⁸ そして早朝に、定められた懲罰が彼らを襲った—³⁹ 「私の警告を侮ったのだから、私の懲罰を味わえ!」⁴⁰ われらは確かにクルアーンから教訓を学ぶことを容易にした。心に訓戒を受け入れる者はいるか?

⁴¹ 確かに警告者たちはファラオの民のところに来た。⁴² 彼らもまたわれらのすべてのしるしを拒絶した。そこでわれらは、力強く、全能なる者の捕らえ方で彼らを捕らえた。

⁴³ あなたの民で真理を否定する者たちは、それらの者たちよりも優れているのか?あるいはあなた方は聖典で免責を与えられたのか?⁴⁴ あるいは彼らは言う、「私たちは団結した集団であり、きっと優勢になる」と?⁴⁵ その軍勢は間もなく敗走させられ、彼らは逃亡させられるであろう。⁴⁶ 確かに、破滅の時が彼らの定められた時であり、最後の日が最も厳しく、最も苦いであろう。⁴⁷ 悪を行う者たちは、確かに誤りと愚かさの中に沈んでいる—⁴⁸ 彼らが顔を下にして火の中に引きずり込まれる日、彼らは言われるであろう、「今、地獄の感触を感じよ!」

⁴⁹ われらはすべてのものを適切な尺度で創造した。⁵⁰ われらは一度命じるだけである。われらの意志は瞬く間に実行される。⁵¹ われらはあなた方のような多くの民を確かに滅ぼした。心に訓戒を受け入れ

る者はいるか？⁵² 彼らのすべての行いは彼らの書に記録されている。⁵³ 小さくても大きくても、あらゆる行動が書き留められている。⁵⁴ 神を意識する者たちは、園と川の中にいるであろう。⁵⁵ 権威ある至高の玉座で。

55. 慈悲深いお方（アル・ラフマーン）

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ 慈悲深いお方 ² がクルアーンを教えられた—³ 彼は人間を創造し、⁴ そして彼に言葉を教えた。⁵ 太陽と月は定められた計算に従って動き、⁶ 星々と木々はひれ伏す。⁷ 彼は天を高め、尺度を設置された。⁸ あなた方が尺度を侵害しないように。⁹ 常に公正に測り、ごまかして測ってはならない。

¹⁰ 彼はその被造物たちのために大地を敷き広げた。¹¹ その上には果物と、鞆に包まれた（ナツメヤシの）房を持つヤシの木々があり、¹² また殻を持つ穀物と香り高い植物がある。¹³ あなた方の主のどの驚異をあなた方は否定するのか？¹⁴ 彼は陶工の（土器）のような、乾いて鳴る粘土から人間を創造し、¹⁵ そして燃える火の炎からジンを創造した。¹⁶ あなた方の主のどの驚異をあなた方は否定するのか？¹⁷ 彼は二つの東の主であり、二つの西の主である。¹⁸ あなた方の主のどの驚異をあなた方は否定するのか？¹⁹ 彼は二つの海を動かし、互いに合流させた。²⁰ それらの間には障壁があり、彼らはそれを超えない。²¹ あなた方の主のどの驚異をあなた方は否定するのか？²² 真珠と珊瑚がその両方から出てくる。²³ あなた方の主のどの驚異をあなた方は否定するのか？²⁴ 彼のものであるのは、山のように海の上にそびえ立つ高い船である。²⁵ あなた方の主のどの驚異をあなた方は否定するのか？

²⁶ 地上にあるものはすべて滅びる運命にある。²⁷ あなたの主自身の存在だけが、威厳と栄光に満ちて残るであろう。²⁸ あなた方の主のどの驚異をあなた方は否定するのか？²⁹ 天と地にいるすべての者は彼に

嘆願する。彼は毎日新しい状態で御自身を現される。³⁰ あなた方の主のどの驚異をあなた方は否定するのか？

³¹ 間もなくわれらはあなた方—ジンと人類の二つの大きな集団—に向き合うであろう。³² あなた方の主のどの驚異をあなた方は否定するのか？³³ おおジンと人間の仲間よ！もしあなた方が天と地の領域を超えて行く力があるなら、それらを超えて行きなさい。しかし(われらの)権威なくしては通り抜けることはできない。³⁴ あなた方の主のどの驚異をあなた方は否定するのか？³⁵ 火の炎と溶けた真鍮があなた方双方に対して送られるであろう。^a そしてあなた方は身を守ることができないであろう。³⁶ あなた方の主のどの驚異をあなた方は否定するのか？

³⁷ 空が裂け開かれ、赤い革のように赤くなる時、³⁸ あなた方の主のどの驚異をあなた方は否定するのか？³⁹ なぜなら、その日、人間もジンもその罪について尋問されることはないからである。⁴⁰ あなた方の主のどの驚異をあなた方は否定するのか？⁴¹ 罪人たちはその印によって認識されるであろう。だから彼らはその前髪と足で捕らえられるであろう。⁴² あなた方の主のどの驚異をあなた方は否定するのか？⁴³ これこそが罪人たちが嘘つきと呼んだ地獄である。⁴⁴ 彼らはその炎と煮え滾る水の間を巡り歩くだろう。⁴⁵ あなた方の主のどの驚異をあなた方は否定するのか？

⁴⁶ 彼の主の御前に立つことを恐れる者には、二つの園がある。⁴⁷ あなた方の主のどの驚異をあなた方は否定するのか？⁴⁸ [そこには] 枝が広がっている[二つの園がある]。⁴⁹ あなた方の主のどの驚異をあなた方は否定するのか？⁵⁰ その両方には、二つの泉が流れている。⁵¹ あ

a 現在の世界は試練の場である。試練の期間が続く限り、誰もが好きなだけ傲慢になる機会を持っている。しかし、この完全な自由にもかかわらず、ジンも人間も宇宙の限界を超える力を持っていない。この事実自体が、人間が完全に神の支配下にあることを証明するのに十分である。試練の期間が満了し、彼が人々を捕らえ始める時、誰も自分を救うことはできないだろう。

あなたの方の主のどの驚異をあなた方は否定するのか？⁵² その両方には、あらゆる果物が二種類ずつあるであろう。⁵³ あなたの方の主のどの驚異をあなた方は否定するのか？⁵⁴ 彼らは豪華なブロードを裏地にした絨毯に寄りかかるであろう。そしてこれらの両方の園の果実は、手が届くところにあるであろう。⁵⁵ あなたの方の主のどの驚異をあなた方は否定するのか？⁵⁶ そこには貞淑な目つきの乙女たちがおり、彼ら以前に人間もジンも彼女たちに触れたことはない。⁵⁷ あなたの方の主のどの驚異をあなた方は否定するのか？⁵⁸ [そこには]珊瑚やルビーのように美しい乙女たちがいるであろう。⁵⁹ あなたの方の主のどの驚異をあなた方は否定するのか？⁶⁰ 善良さの報いは善良さ以外にはない。⁶¹ あなたの方の主のどの驚異をあなた方は否定するのか？

⁶² それら二つに加えて、さらに二つの園があるであろう。⁶³ あなたの方の主のどの驚異をあなた方は否定するのか？⁶⁴ 両方[の園]とも最も濃い緑色である。⁶⁵ あなたの方の主のどの驚異をあなた方は否定するのか？⁶⁶ その両方には、生き生きとした泉が噴き出す。⁶⁷ あなたの方の主のどの驚異をあなた方は否定するのか？⁶⁸ その両方には、果物の木、ナツメヤシ、そしてザクロがあるであろう。⁶⁹ あなたの方の主のどの驚異をあなた方は否定するのか？⁷⁰ そこには純粹で美しい乙女たちがいるであろう。⁷¹ あなたの方の主のどの驚異をあなた方は否定するのか？⁷² [そこで祝福された者たちは]館の中で守られた清らかな伴侶と共に住むであろう。⁷³ あなたの方の主のどの驚異をあなた方は否定するのか？⁷⁴ 彼ら以前に人間もジンも彼女たちに触れたことはない。⁷⁵ あなたの方の主のどの驚異をあなた方は否定するのか？⁷⁶ [彼らはそのような楽園で]緑のクッションと最も上質な絨毯に寄りかかって暮らすであろう。⁷⁷ あなたの方の主のどの驚異をあなた方は否定するのか？⁷⁸ 栄光と威厳に満ちた、あなたの主の御名は祝福あれ！

56. 必ず起こる出来事（アル・ワーキア）

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ 必ず起こる出来事が起こる時、² それが起こることを否定することはできないであろう。³ ある者は卑しめられ、ある者は高められるであろう。⁴ 大地が激しく揺さぶられ、⁵ 山々が完全に粉碎され、粉々に碎け散り、⁶ そして散らばった塵の粒のようになるとき、⁷ [その日]あなた方は三つの集団に分けられるであろう。^a

⁸ 右手の者たち—右手の者たちはいかに祝福されていることか！
⁹ 左手の者たち—左手の者たちはいかに不幸であることか！¹⁰ そして先に立つ者は、最も先に立つ者である。¹¹ 彼らは神に最も近い。¹² 彼らは至福の園に住むであろう。¹³ 以前の信者たちの大きな集団と、¹⁴ 後代の信者たちのごく一部である。¹⁵ 金で織られ、宝石がちりばめられた寝椅子に座り、¹⁶ 互いに向き合って寄りかかるであろう。¹⁷ 彼らには老いることのない若者たちが給仕するであろう。¹⁸ ゴブレットと水差し、そして最も清らかなワインで満たされた杯を運んで。¹⁹ 頭痛も酩酊も引き起こすことはない。²⁰ 彼らが選んだ果物と共に。²¹ そして彼らが望む鳥の肉と共に。²² そして大きくて光沢のある瞳を持つ公明正大な乙女たちが²³ その貝殻の中にある真珠のようである。²⁴ これらこそが彼らの行いに対する彼らの報いである。

²⁵ 彼らはそこで虚しい話も罪深い話も聞かないであろう。²⁶ 平安と静けさの言葉だけである。

a 現在の世界において、人間は自分の好きなように振る舞う自由を持っていると観察する。そのため、来世における報復という問題は、彼の心は何の衝撃も与えない。しかし、「もう一つの世界」の形成は、現在の世界の形成と同じくらい可能である。その時が来ると、システム全体が逆転する。地位が高かった人々は下に降り、地位が低かった人々は上にいるのが見られるだろう。その時、人間は三つの集団に分けられるだろう。先行する集団（アル・サービクーン）、右手の民（アシャーブ・アル・ヤミーン）、そして左手の民（アシャーブ・アル・シマール）である。

²⁷ 右手の者たち、右手の者たちはいかに幸運であることか!²⁸ 彼らはとげのないナツメヤシの木々の中で、高い場所に寄りかかるであろう。²⁹ そして房になったバナナと、³⁰ 広がる日陰と、³¹ 流れる水と、³² 豊かな果物と共に。³³ 決して尽きることなく、制限されることもない。³⁴ 高い寝椅子の上で。³⁵ われらは乙女たちを完璧に創造し、³⁶ 彼女たちを処女とし、³⁷ 愛情深く、同い年の伴侶とした。³⁸ 右手の者たちのために。³⁹ 以前の民の大きな集団と、⁴⁰ 後代の民の大きな集団のためである。

⁴¹ 左手の者たち、左手の者たちはいかに不幸であることか!⁴² 彼らは灼熱の風と煮え滾る水の中にいるであろう。⁴³ そして黒い煙の影の下に。⁴⁴ 涼しくもなく、さわやかでもない。⁴⁵ 彼らは以前裕福であったが、⁴⁶ 恐ろしい罪に頑固に固執した。⁴⁷ そして彼らは言った、「何だと! 私たちが死んで塵と骨になった後で、本当に再び起こされるのか?」⁴⁸ そして私たちの父祖たちも?」⁴⁹ 言え、「確かに、以前の者たちと後の者たちは⁵⁰ 必ず定められた日に、決められた時に共に集められるであろう。⁵¹ その時、あなた方、道に迷った真理を否定する者たちは、⁵² ザクームの木の実を食べ、⁵³ それで腹を満たし、⁵⁴ その上に煮え滾る水を飲むであろう。⁵⁵ 喉の渴いたラクダが飲むように、それを飲むであろう。」⁵⁶ これが審判の日の彼らの饗応である。

⁵⁷ われらはあなた方を創造した。ではなぜあなた方は真実を受け入れないのか?⁵⁸ あなた方が射出する[精液]について考えたことがあるか—⁵⁹ それを創造したのはあなた方か、それともわれらか?⁶⁰ あなた方全員に死を定めたのはわれらである。そしてわれらは、あなた方と同じような他の者たちとあなた方を取り替えることも、あなた方が何も知らない形にあなた方を変化させ、再び創造することも、妨げられることはない。⁶² あなた方は最初の創造を確かに知っている。ではなぜ、あなた方は心に留めないのか?⁶³ あなた方は自分が植える作物について考えたことがあるか?⁶⁴ それを成長させるのはあなた方か、それともわれらか?⁶⁵ もしわれらが望んだなら、あなた方の収穫を穀穀に変えること

ができたであろう。その時あなた方は嘆き始めるだろう。「私たちは破滅した、⁶⁷ いや、私たちは[完全に]奪われた。」⁶⁸ あなた方は飲む水について考えたことがあるか？⁶⁹ それを雲から降らせるのはあなた方か、それともわれらか？⁷⁰ もしわれらが望んだなら、確かにそれを塩辛くすることができた。ではなぜ、あなた方は感謝しないのか？⁷¹ あなた方が火を起こすその火について考えたことがあるか？⁷² 燃料となる木を生産したのはあなた方か、それともわれらか？⁷³ われらはそれを訓戒とし、旅人たちのための利益とした。⁷⁴ だからあなたの主、至高なる方の御名を讃美しなさい。

⁷⁵ いや、私は星々が沈む時にかけて誓う—⁷⁶ そして、もしあなた方が知っていたなら、それは最も力強い誓いである—⁷⁷ これは確かに高貴なクルアーンであり、⁷⁸ 厳重に守られた保存された書の中にあり、⁷⁹ 清められた者以外は誰も触れることができない。⁸⁰ それは万有の主から下された啓示である。⁸¹ どうしてあなた方はこの言葉を軽蔑して見なせるのか？⁸² あなた方はその否定を生活の糧としているのか？

⁸³ ではなぜ、死にゆく者の魂が喉元に達する時、⁸⁴ そしてあなた方[その瞬間]が無力にも見守っている時—⁸⁵ われらはあなた方よりも彼に近いが、あなた方にはわれらが見えない—⁸⁶ ではなぜ、もしあなたがわれらの命令に従属しないなら、⁸⁷ あなた方の主張が真実であるならば、その魂を彼に戻させないのか？⁸⁸ しかし彼[死にゆく者]が、神に近づけられた者の一人であるなら、⁸⁹ 彼には安らぎと豊かさ至福の園があるであろう。⁹⁰ そしてもし彼が右手の者たちの一人であるなら、⁹¹ 彼は右手の者たちによって「あなたに平安あれ」と迎えられよう。⁹² しかしもし彼が[真理を]拒絶し、道を誤った者の一人であるなら、⁹³ 彼は煮え滾る水で迎えられよう。⁹⁴ 彼は地獄で燃えるであろう。⁹⁵ これは実に疑いの余地のない真実である。⁹⁶ だからあなたの主、至高なる方の御名を讃美しなさい。

57. 鉄 (アル・ハディード)

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ 天と地にあるすべてのものは神を賛美する—彼は力強く、賢明な方である。² 彼は天と地の主権を握っている。彼は命を与え、死をもたらす。彼はすべてのものに対して力を持っている。³ 彼は最初であり、最後であり、外面であり、内面である。彼はすべてのことを認識している。⁴ 彼こそが六日間[期間]で天と地を創造し、その後玉座に昇った。彼は地中に入るものも、地から出てくるものも知っている。天から下るものも、天に昇るものも。あなたがどこにいても、彼はあなたと共にいる。彼はあなたがなすことすべてを見ている。⁵ 彼は天と地の主権を握っている。すべての事柄は神のもとに帰るであろう。⁶ 彼は夜を昼に、昼を夜に変える。そして彼は人間の心にあるものをすべて知っている。

⁷ 神と彼の使徒に信仰を持ち、彼があなた方を管理人としたものの中から慈善を施しなさい。あなた方の中で信じ、施しをする者たちには豊かに報われるであろう。⁸ あなた方は神を信じない理由がどこにあるのか。使徒があなた方の主への信仰をあなた方に呼びかけ、彼がすでにあなた方と契約を結んだのに。もしあなたが真の信者であるならば。⁹ 彼こそが、彼の僕に明確な啓示を下し、彼があなた方を闇から光へと導き出すことができるようにする者である。神は確かに思いやり深く、慈悲深い。¹⁰ 神の目的のために費やさない理由がどこにあるのか。天と地の遺産を保持するのは神のみであるのに？勝利の前に費やし、戦った者たちは、その後費やし、戦った者たちよりも位階が上である。^a しかし神はあなた方すべてに良い報いを約束された。彼はあなたがなすことすべてを認識しておられる。

¹¹ 誰が神に寛大な貸付をするだろうか？彼はそれを彼のために二倍にし、彼に豊かな報いを与えるであろう。¹² (預言者よ)、あなたが

a 序文のxivページからxviiページを参照。

その日、信じる男女が、その光が彼らの前と右手に輝いているのを見る時、[そしてあなたは彼らに告げるであろう声を聞くだろう]「今日、あなた方には吉報がある!あなた方は川が流れる園に入り、そこに永遠に住むであろう。それが最高の勝利だ。」¹³ その日、偽善者たち、男性も女性も、信じる者たちに言うだろう、「しばらく私たちを待ってくれ。あなた方の光の一部を私たちにも分けてくれ。」彼らは言われるだろう、「引き返して、別の場所で光を探せ。」その時、彼らの間に壁が立てられるであろう。その内側には恵みと慈悲があり、その外側には懲罰がある。¹⁴ 偽善者たちは信じる者たちに叫ぶだろう、「私たちはあなた方の側ではなかったか?」彼らは答えるだろう、「はい、しかしあなた方は誘惑に屈し、ためらい、疑い、神の意志が果たされるまで、あなた方の願望的思考に欺かれた。その後、欺く者[サタン]があなた方を神について誤らせたのだ。」¹⁵ だからこの日、あなた方からも、真理を否定することに固執した者たちからも、何の身代金も取られない。あなた方の家は火である。それがあなた方の仲間であり、惨めな旅の終わりである。

¹⁶ 信者たちにとって、彼らの心がすべての謙虚さをもって神の想起と真実の啓示に従事する時が来ていないのか。彼ら以前に書を与えられた者たちのようになり、時が経つにつれて心が頑なになり、その多くが不従順であった者たちのように。¹⁷ 神は、その死後、大地を生き返らせることを思い出しなさい。われらはあなた方にわれらのしるしを明確にした。あなた方が完全に理解できるように。

¹⁸ 施しをする者たち、男性も女性も、神に寛大な貸付をする者たちは、それが何倍にも増やされ、名誉ある報いを受けるであろう。¹⁹ 神と彼の使徒たちを信じる者たちは、彼らの主の御前で真実な者たちであり、証人たちである。彼らにはその報いと光があるであろう。しかし真理を否定することに固執し、われらのしるしを拒絶する者たちは、地獄に定められるであろう。

²⁰ この世の生は遊びと一時の喜び、見世物であり、富と子供において互いに自慢し、競い合うことにすぎないことを決して忘れてはなら

ない。それは雨の後の植生の成長のようであり、それは農家を喜ばせるが、その後枯れ、黄色くなり、無価値な切り株となる。来世には恐ろしい懲罰、あるいは神の赦しと承認があるであろう。この世の生は欺瞞の手段にすぎない。²¹ あなた方の主の赦しと、天と地と同じくらい広大な樂園を互いに競い合いなさい。それは神と彼の使徒たちを信じる者たちのために準備されたものである。そのようなものが神の恵みである。彼は御心である者にそれを授ける。神の恵みには限界がない。

²² いかなる不幸も、われらがそれを存在させる前に、書に記録されていない限り、大地やあなた方自身に影響を与えることはない。それは神にとって容易なことである。²³ あなた方が失ったもののために悲しまず、あなた方が得たもののために歓喜しないように。神は自惚れる者も自慢する者も愛されない。²⁴ けちでありながら、他人にけちになるよう促す者たちも。背を向ける者は、神のみが自給自足であり、すべての称賛に値する者であることを思い出すべきである。

²⁵ われらはわれらの使徒たちを証拠と共に送り、彼らと共に、書と正義の秤を下した。人間が完全に公正に行動できるように。われらは、その中に大きな内在的強度と人類のための多くの利益を持つ鉄を下した。神が見えないにもかかわらず、誰が神とその使徒たちに立ち上がるかを知るためである。神は力強く、全能である。

²⁶ われらはノアとアブラハムを送り出し、その子孫に預言者としての地位と書を授けた。彼らの一部は正しく導かれたが、他の多くは逸脱者であった。²⁷ その後、彼らの後を追ってわれらの[他の]使徒たちと、彼らの後にマリアの子イエスを続かせた。われらは彼に福音を与え、彼に従う者たちの心に思いやりと慈悲を染み込ませた。しかし、われらは彼らに修道院生活を定めたわけではない。それは彼らが神を喜ばせようと求めて自分たちで考案した革新であった。しかしその後、彼らはそれを遵守すべき方法で遵守しなかった。そこでわれらは、真に忠実であった者たちだけにのみ報いた。彼らの多くは不従順であったからである。

²⁸ 信じる者たちよ、神を畏れ、彼の使徒を信じなさい。彼はあなた

に二倍の慈悲を示し、あなた方が歩むための光を提供するであろう。神はあなたに赦しを授けるであろう。彼は許し深く、慈悲深い。²⁹ 聖典の民は、神の恵みに対して何の力も持たないことを知るべきである。彼の恵みは完全に彼の御手の中にあり、彼は御心である者にそれを授ける。神は真にその恵みにおいて無限である。

58. 異議を唱える女（アル・ムジャーダラ）

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ 神は、その夫についてあなたに嘆願し、その不満を神に訴える女性の言葉を確かに聞いた。神はあなた方二人の言うことを聞いている。神はすべてを聞き、すべてを見る。

² 妻に対して「あなた方は私にとって母の背中のような」と宣言して、自分たちを妻から引き離す者たちは、彼女たちがその母ではないことを認めなければならない。彼らを産んだ者たち以外、誰も彼らの母ではない—彼らは確かに邪悪な言葉と嘘を口にしている。神は赦し、許し深い。³ 妻を母になぞらえて遠ざけ、その後言ったことを取り消したいと願う者たちは、夫婦が再び触れ合う前に奴隷を解放しなければならない。これがあなた方が促されていることである。神はあなた方がなすことを完全に認識しておられる。⁴ そして、その手段を持たない者は、互いに触れ合う前に二ヶ月間連続して断食しなければならない、それができない者は六十人の困窮者に食事を与えなければならない。これは神と彼の使徒への信仰をあなた方が確証するためである。これらは神によって定められた限界である。真理を否定する者たちには苦痛な懲罰があるであろう。

⁵ 神と彼の使徒に反対する者たちは、彼らの先祖がそうであったように、屈辱を受けるであろう。われらは明確な啓示を下した。屈辱的な懲罰が真理を否定する者たちを待っている。⁶ 神が彼らすべてを死者から起こす日、彼は彼らがなしたことを彼らに理解させるであろう。彼らが

忘れていても、神はすべてのことを計算に入れておられる。神はすべてのことの証人である。

⁷ 神が天と地にあるすべてを知っているのを見ないか？三人の間の秘密の相談で、彼がその中の四人目にならないことはない—五人の間では六人目にならないことはない—それより少なくとも多くても、彼が彼らの中にいないことはない、彼らがどこにしようとも。最終的に彼は、審判の日に、彼らの行動の真実を彼らに告げるであろう。神はすべてのことを完全に認識しておられる。⁸ 秘密の協議を行うことを禁じられた者たちが、禁じられたことに立ち返るのを見なかったか？そして彼らは、不義、攻撃的な振る舞い、そして使徒への不従順にふける陰謀を企てる。彼らがあなたのところに来る時、彼らは神が用いるであろう言葉ではない挨拶をし、心の中で「なぜ神は私たちが言うことで私たちを罰しないのだろうか？」と不思議に思う。地獄は彼らにとってふさわしい懲罰となるであろう。彼らはその炎の中で焼かれるであろう—なんと悲惨な運命であろうか！

⁹ 信じる者たちよ、あなた方が個人的に協議する時、罪と違反と使徒への不従順を支持して協議してはならない。むしろ美德と正義を促進するために協議しなさい。神を畏れなさい。彼のもとにあなた方は皆集められるであろう。¹⁰ 邪悪な目的のための陰謀はサタンの仕業であり、彼はそれによって信者たちに悲しみをもたらしとうとする。しかし、神の許しなくしては、彼らに微塵の害も与えることはできない。信者たちは神に信頼を置くべきである。

¹¹ 信じる者たちよ、あなた方の集会で互いのために席を空けるよう言われたら、そうしなさい。そうすれば神はあなた方の席を空けるであろう。そして立ち上がるよう言われたら、そうしなさい。神はあなた方の中で信じる者たちと、知識を与えられた者たちの位階を高めるであろう。彼はあなた方がなすことすべてを完全に認識しておられる。

¹² 信者たちよ、あなたが使徒と個人的に相談するために来るときは、事前に何かを慈善として与えなさい。それはあなた方にとって最善

であり、純粋さにとって最も良いことである。しかしもし与えるものが見つかからないなら、神が許し深く、慈悲深い者であることを知りなさい。¹³ あなた方は、相談の前に慈善として[与えることができない]ことを恐れているのか？もしあなた方がそうできないなら、神は彼の慈悲であなた方に向き直られたことを[知りなさい]。ならばあなた方は礼拝を守り、定められた施しを払い、神と彼の使徒に従いなさい。神はあなた方がなすことすべてを認識しておられる。

¹⁴ 神の怒りを自らに招いた民と親密になった者たちを見なかったか？彼らはあなた方と一緒にでもなく、彼らと一緒にでもない。そして彼らは知りながら虚偽に誓う。¹⁵ 神は彼らのために厳しい懲罰を用意された。確かに彼らがなしたことは邪悪である。¹⁶ 彼らはその悪行を隠すために誓いを利用し、こうして他者を神の道から遠ざけた。屈辱的な懲罰が彼らを待っている。

¹⁷ 彼らの富も子供たちも、神に対して[彼らを守るのに]微塵も役立たないであろう—彼らは地獄の相続者であり、そこに永遠にとどまるであろう。¹⁸ 神が彼らすべてを死者から起こす日、彼らはあなた方に誓ったのと同じように神に誓うであろう。自分たちが確固たる根拠の上にいると思いながら。しかし彼らは確かに嘘つきである。¹⁹ サタンが彼らに勝り、神の想起を忘れさせたのである。彼らは悪魔の側についてたのであり、悪魔の党派として彼らは敗者となるであろう。²⁰ 神と彼の使徒に反対する者たちは、(審判の日に)最も卑しめられる者たちの中にいるであろう。²¹ 神は「私と私の使徒たちは最も確実に優勢になるだろう」と定められた。真に神は力強く全能である。

²² あなたは神と最後の日を信じる者たちで、たとえ彼らがその父、息子、兄弟、あるいは近親者であっても、神と彼の使徒に反対する者たちと交わる者を見つけることはないだろう。彼は信仰を彼らの心に刻みつけ、彼ら自身の霊で彼らを強めた。彼は彼らを川が流れる園に入れるであろう。そこに永遠に住むであろう。神は彼らに大いに満足し、彼らも

神に大いに満足している。彼らこそ神の党派である。神の党派はきつと至福の状態に入るであろう。

59. 追放 (アル・ハシュル)

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ 天と地にあるすべてのものは神を賛美する。彼は力強く、賢明である。² 最初期の追放で、真理を否定した聖典の民を、その家から追い出したのは彼である。あなた方は彼らが去るとは決して思わなかったし、彼らはその要塞が神に対して彼らを守ってくれると思っていた。しかし神は彼らが最も予期しない場所から彼らのところに現れ、彼らの心にそのような恐怖を投げ込んだので、彼らの家は彼ら自身の手と信者たちの手によって取り壊された。ならば、洞察力を与えられたあなた方よ、教訓を学びなさい。

³ もし神が彼らに追放を定めなかったなら、彼はきつとこの世で彼らを罰していただろう。しかし彼らには来世で業火の責め苦がある。⁴ それは彼らが神と彼の使徒に反対したからである。神は彼に反対する者を厳しく罰する。⁵ あなた方が切り倒した、あるいは根元にそのまま残したナツメヤシの木は、神の許しによるものであり、彼が逸脱者たちを辱めるためである。

⁶ 神が彼らから彼の使徒に与えた戦利品は、彼の恵みによるものである。あなた方はそれらのために馬もラクダも駆り立てなかった。しかし神は、御心である誰にでも、彼の使徒に力を与える。神はすべてのものに対して力を持っている—⁷ 神が、町の住民から彼の使徒に割り当てた利益は、神と使徒、その血縁者、孤児、困窮者、そして旅人のためである。それがあなた方の中の富裕層の所有物にならないようにするためである。使徒があなた方に与えるものは何でも取り、彼があなた方に禁じるものは何でも慎みなさい。神を畏れなさい。確かに、神は報復において厳しい。⁸ それは、彼らの家と所有物から追放された貧しい難民た

ちのためである。彼らは神の恵みと喜びを望み、神と彼の使徒を支援する。そのような人々は真実な者たちである。

⁹ 都市[マディーナ]にすでに定住し、信仰にしっかりと根差していた者たちは、彼らのもとへ移住してきた者たちを愛し、[後者]に与えられたものに対して心に何の欲望も抱かない。彼らは、自分たちも困窮しているにもかかわらず、彼らを自分たちよりも優先する。自らの魂の貪欲さから救われた者たちこそ、真に成功する者たちである。¹⁰ 彼らの後から(信仰に)入ってきた者たちは言う、「私たちの主よ、私たちと信仰において私たちに先行した私たちの兄弟たちを赦し、信じる者たちに対して私たちの心に何の悪意も残さないでください。主よ、あなたは確かに思いやり深く、慈悲深い者です。」

¹¹ 偽善的に行動する者たちを見なかったか?彼らは聖典の民の中から、不信仰な仲間たちに言うだろう、「もしあなた方が追い出されたら、私たちもきっとあなた方と一緒に出て行くだろう。そして私たちは決してあなた方に反対する誰の言葉も聞かないだろう。そしてもしあなた方に対して戦争が起こされたら、私たちはあなた方を助けるだろう。」神は彼らが確かに嘘つきであることを証言する。¹² もし彼らが追い出されたとしても、彼らは彼らと一緒にには行かないだろう。また、もし彼らが攻撃されたとしても、彼らを助けることはないだろう。確かに、もし彼らが助けに行っても、彼らは逃亡して背を向けるだろう。その時、彼らは助けられないだろう。

¹³ 彼らは神よりもあなた方を恐れている。彼らが理解力に欠けた民だからである。¹⁴ 彼らは要塞化された拠点の中から、あるいは壁の後ろから以外は、あなた方に対して一体となって戦うことはないであろう。彼らの間には多くの敵意がある。あなた方は彼らが団結していると思うが、彼らの心は分裂している。彼らが理性を持たない民だからである。

¹⁵ 彼ら以前に去って行った者たちのように、彼らはその行いの邪悪な結果を味わった。そして彼らには苦痛な懲罰があるであろう。¹⁶ 彼らはサタンのようなものである。彼は人間に「真理を否定せよ!」と言うが、人間

が真理を否定すると、「私はお前を否認する。私は万有の主である神を恐れる」と言った。¹⁷ こうして、最終的に両方とも地獄にいることになるであろう。そこに永遠にとどまるであろう。それが悪を行う者たちへの報いである。

¹⁸ 信者たちよ! 神を畏れ、すべての魂が未来のために何を積み立てるかを見なさい。神を畏れなさい。神はあなた方がなすことを認識しておられる。¹⁹ 神を忘れた者たちのようになってはならない。その結果、彼が彼ら自身の魂(彼ら自身の真の利益)を忘れさせた。彼らこそ反逆者たちである。²⁰ 業火の民と樂園の民は等しくない。樂園の民こそが勝利する者たちである。

²¹ もしわれらがこのクルアーンを山の上に下していたなら、あなたはきっとそれが神への畏れのために崩れ落ち、粉々に砕け散るのを見たであろう。われらはこれらのたとえを人々に提示する。彼らが熟考できるように。²² 彼こそが神である。彼以外に神はいない。彼は不可視のものと可視のものを知っている。彼は思いやり深く、慈悲深い。²³ 彼こそが神である。彼以外に神はいない。主権者、最も純粋な者、平和の源、安全を与える者、保護者、力強い者、征服者、至高なる者。彼らが彼に配するものの上に、神に栄光あれ。²⁴ 彼こそが神—創造者、創始者、形を与える者。彼には最も優れた御名がある。天と地にあるすべてのものは彼の栄光を宣言する。彼は力強く、賢明である。

60. 試される女 (アル・ムムタハナ)

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ 信者たちよ! 私の敵でありあなた方の敵である者たちに友情を差し伸べてはならない。あなた方が受け取った真理を彼らが拒絶したのに、どうして彼らに愛情を示すのか? 彼らが神、あなた方の主を信じるという[だけの]理由で、あなた方と使徒を追放したのに。もしあなたが私の目的のために、そして私の良き喜びを求める望みから、家を去ったなら、ど

うして密かに彼らに友情を差し伸べることができるのか？私はあなたが隠すことと明らかにするものすべてを知っている。あなた方の中でこれを行う者は誰であれ、きっと正しい道から逸れるであろう。² もし彼らがあなた方に対して優位に立つなら、彼らは敵としてあなた方と接し、悪意をもって手と舌を伸ばすであろう。彼らはあなたが信仰を放棄することを切望する。³ 復活の日には、あなたの親族も子供たちも、あなたには何の助けにもならないであろう。彼はあなた方の間を裁かれるであろう。そして神はあなた方がなすことすべてを見ている。

⁴ 確かにあなた方には、アブラハムと彼に従った者たちの中に優れた模範がある。彼らがその民に言った時、「私たちはあなた方と、神以外にあなた方が崇拝するものを否認します。私たちはあなた方を拒絶します。あなた方が唯一の神を信じるまで、私たちとあなた方の間に敵意と憎悪が続くであろう。」「[例外は]アブラハムがその父に言った時である。「私は確かにあなたのために[神の]赦しを祈るであろう。ただし、あなたに代わって神から何かを得る力は私にはない。」彼らは祈った、「おお私たちの主よ、あなたに私たちは信頼を置き、あなたに私たちは悔い改めて立ち返ります。そしてあなたこそが最終的な帰着点です。⁵ 私たちの主よ、私たちを真理を否定する者たちの餌食になさらないください。そして私たちの罪を赦してください、私たちの主よ。あなたのみが力強く、賢明な方です。」「⁶ 確かに、彼らの中にはあなた方にとって良い模範がある。神と最後の日を希望する者たちのために。背を向ける者は誰であれ、神が自給自足であり、すべての称賛に値する方であることをきっと知るであろう。⁷ 神が、あなた方と、あなた方が今敵意を抱いている彼らとの間に善意を創造することもあるかもしれない—神は全能であり、最も許し深く、慈悲深いからである。

⁸ 彼は、信仰のためにあなた方と戦ったり、あなた方を家から追い出したりしなかった誰とでも、親切かつ公正に接することを禁じない。神は公正な者たちを愛される。⁹ 神があなた方に禁じるのは、信仰のためにあなた方と戦ったり、あなた方を家から追い出したり、あるいは他の

者たちがそうするのを助けた者たちと友人になることだけである。あなたの方で彼らと友情を結ぶ者は、真に逸脱者となるであろう。

¹⁰ 信者たちよ!信じる女性が難民としてあなた方のところに来た時は、彼女たちを試練にかけなさい。彼女たちの信仰は神に最もよく知られている。それからもし彼女たちが真の信者であるとわかったなら、彼女たちを真理を否定する者たちのもとに送り返してはならない。これらの[女性たち]は彼らには合法ではなく、真理を否定する者たちもこれらの女性たちには合法ではない。しかし、真理を否定する者たちには、彼らが与えた結納金を返還しなさい。そして、あなた方が結納金を与えて彼女たちと結婚することは違反ではない。真理を否定するそれらの女性たちとの結婚を維持してはならない。あなた方が彼女たちに与えた結納金の返還を要求し、不信者たちに彼らが費やしたものの返還を求めさせなさい。そのようなものが神の裁きである。彼は公正にあなた方の間を裁かれる。神はすべてを知り、すべてを賢明にされる。¹¹ もしあなた方の妻が、不信者たちの元へ行つてあなたを捨てる場合、そしてその後あなた方に番が来た場合、[別の側から女性が来た場合]妻に捨てられた者たちに、彼らが与えた結納金の同等物を返しなさい。あなたが信じる神を畏れなさい。

¹² おお預言者よ!信じる女性があなたの方に来て、神への崇拜において他のいかなるものも配さないこと、盗みを働かないこと、姦通を犯さないこと、子供を殺さないこと、故意に虚偽をでっち上げる中傷にふけないこと、そして正しいことにおいてあなたに不従順にならないことを誓うなら、彼女たちの忠誠の誓いを受け入れ、彼女たちの罪の赦しを神に祈りなさい。神は許し深く、慈悲深い。

¹³ 信者たちよ!神の怒りを招いた者たちと友人になつてはならない。そのような者たちは、墓の中に横たわる真理を否定する者たちと同じように、確かに来世へのすべての希望を奪われている。

61. 列 (アッ・サフ)

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ 天と地にあるすべてのものは神を賛美する—彼は全能で、賢明な方である。² 信者たちよ!なぜあなた方は、言うことと行うことが違うのか。

³ あなた方が説教することを実践しないのは、神にとって最も忌まわしいことである。⁴ 確かに、神は、まるで堅固なセメントで固められた構造物のように、列をなして彼の目的のために戦う者たちを愛される。^a

⁵ モーセが彼の民に言った時を思い出しなさい、「おお私の民よ、私があなた方への神の使徒であることを知りながら、なぜ私を悲しませるのか?」彼らが動揺した時、神は彼らの心も動揺させた。神は逸脱者たちを導かれない。

⁶ イエス、マリアの子が言った時を思い出しなさい、「おおイスラエルの子らよ、私は神によってあなた方に送られた。私以前に来たトーラーを確証し、私の後から来る、その名がアフマドとなる使徒の吉報をもたらすために。」しかし彼が明確なしるしを携えて彼らのところに来ると、彼らは言った、「これは単なる魔術だ。」⁷ 神に服従するよう招かれた時に、神について嘘をでっち上げる者以上に邪悪な者がいるだろうか? 神は不義を働く者たちを導かれない。⁸ 彼らは神の光を口で消し去りたいと願う。しかし神は、真理を否定する者たちがどれほど嫌悪しても、彼の光を完璧にするであろう。⁹ 彼こそが、導きと真の宗教と共に彼の使徒を送り、多神教徒がどれほどそれを嫌悪しても、それをすべての宗教の上に優勢にさせるであろう。

¹⁰ 信者たちよ!あなた方を苦痛な懲罰から救う、利益のある道へと導こうか?¹¹ あなた方は神と彼の使徒を信じ、その財産と命で神の目的のために努力すべきである。もしあなたが知っていたなら、それがあなたにとってより良いであろう—¹² そして彼はあなた方の罪を赦し、川が

a 序文のxivページからxviiページを参照。

流れる園に入れるであろう。彼はあなた方を永遠の園の中に素晴らしい住居に住ませるであろう。それは確かに最高の達成である。¹³ 彼はあなた方が望むもう一つの祝福を与えるであろう。神からの助けと差し迫った勝利。信者たちに吉報を与えなさい[おおムハンマドよ]!

¹⁴ 信者たちよ、神の助け手となりなさい。ちょうどイエス、マリアの子が弟子たちに言ったように、「神の目的のために私の助け手となる者は誰か?」弟子たちは言った、「私たちは神の助け手となるでしょう。」イスラエルの子らの一部は彼を信じ、一部は真理を否定した。われらは信者たちを彼らの敵に対して支援し、彼らは彼らに打ち勝った。

62. 集会の日 (アル・ジュムア)

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ 天と地にあるすべてのものは神を賛美する。主権者、聖なるお方、全能で賢明な方を。² 彼こそが、文盲の民の中に、彼ら自身の中から使徒を立てた者である。彼は彼らに彼の啓示を朗読し、彼らを清め、彼らに書と知恵を教える。彼らは以前、明白に道に迷っていたからである—
³ そして、まだ彼らに加わっていない、彼らの中の他の者たちにも。彼は全能で、賢明な方である。⁴ それが神の恵みである。彼は御心である者にそれを授ける。神はその恵みにおいて無限であるからだ。

⁵ トーラーを担うよう任されたが、それを果たさなかった者たちは、本の荷を運ぶロバのようである。神のしるしに嘘をつく者たちは、なんと不幸なことか。神は不義を働く者たちを導かれない。⁶ 言え、「ユダヤ人であるあなた方よ、もしあなた方がすべての人々の中で神に優遇されていると主張するなら、もし真実を言うなら、死を望みなさい。」⁷ 彼らは、その手が先に送ったもののために、決してそれを望まないであろう。神は悪を行う者たちを完全に認識しておられる。⁸ だから言え、「あなた方が逃げている死は、きっとあなた方に出会うだろう。その後、あな

た方は不可視のものと見えるものを知るお方のもとに連れ戻され、彼はあなた方がなしたことをあなた方に宣言するであろう。」

⁹ 信者たちよ!集会の日、祈りへの呼びかけがなされた時、神の想起へと急ぎ、すべての世俗の商業を去りなさい。もしあなたが知っていたなら、これがあなた方自身にとって良いことである。¹⁰ 祈りが終わったら、土地に散らばり、神の恵み(何か)を得ることを求めなさい。そして神を多く思い出しなさい。あなた方が成功するように。¹¹ しかし彼らが商業や娯楽を見ると、彼らはそれに行くために離れ、あなたを立たせたままにする。言え、「神が備えているものは、いかなる商業や娯楽よりもはるかに優れている。」神は最も寛大な与え手である。

63. 偽信者たち (アル・ムナーフィクーン)

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ 偽信者たちがあなたのところに来ると、彼らは言う、「私たちはあなたが確かに神の使徒であることを証言します。」神はあなたが確かに彼の使徒であることを知っている。しかし神は、偽信者たちが確かに嘘つきであることを証言する—² 彼らは誓いを隠れ蓑として使い、こうして他者を神の道から妨げる。彼らがなしてきたことは本当に邪悪である—

³ それは彼らが信じた後で信仰を拒絶したからである。彼らの心は封印され、理解力に欠けている。

⁴ あなたが彼らを見ると、その外面的な姿はあなたを喜ばせる。彼らが話す時、あなたはその言うことに耳を傾ける。しかし彼らは立てかけられた木の塊のようである。彼らはどんな叫び声も自分たちに向けられていると考える。彼らこそ[本当の]敵である。だから彼らに用心しなさい。神の呪いが彼らにありますように!彼らはいかに背を向けることか!⁵ 彼らが「来なさい!神の使徒があなた方のための赦しを請うてくれるでしょう!」と言われると、彼らは頭を背け、傲慢に立ち去るのを見るだろう。⁶ あなたが彼らのために赦しを請おうと請うまいと、何の違いもな

い。神は彼らを赦さないであろう。神はそのような反抗的な人々を導かれない。

⁷ 彼らこそが言う者たちである、「神の使徒に従う者たちに何も与えるな、彼らが彼を見捨てるまで」と。しかし天と地の宝は神に属する。偽信者たちはこれを知らないが。⁸ [そして]彼らは言う、「確かに、私たちがマディーナに戻れば、[私たち]最も名誉に値する者たちが、きっと軽蔑すべき者たち[貧しいムスリムたちを指す]をそこから追い出すだろう!」と。しかし、すべての名誉は神に、そして彼の使徒と[神を]信じる者たちに属する。しかしこのことを偽信者たちは知らない。

⁹ おお信者たちよ!あなた方の富や子供たちに、あなた方を神の想起からそらせてはならない。そうする者たちは失われた者たちとなるであろう。¹⁰ そして、あなた方の一人に死が訪れる前に、われらがあなた方に提供したもののうちから費やしなさい。そして彼は言うだろう、「私の主よ!もしほんの少しの間でも私に猶予を与えてくださるなら、私は施しを行い、義しい者たちの中にいるでしょう。」「¹¹ しかし、神は魂に、その定められた時が来た時には、猶予を与えないであろう。神はあなた方がなすことをよく認識しておられる。

64. 損失と利得 (アル・タガーブン)

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ 天と地にあるすべてのものは神の栄光を称える。王国は彼に属し、すべての称賛は彼に当然のものである。彼はすべてのものに対して力を持っている。² 彼こそがあなた方を創造した。そしてあなた方の一部は真理を否定する者であり、一部は[それを]信じる者である。神はあなた方がなすことすべてを見ている。³ 彼は目的のために天と地を創造した。彼はあなた方を形作り、最良の形を与えた。彼のもとにあなた方は皆帰るであろう。⁴ 彼は天と地にあるすべてのことを知っている。彼はあ

あなたが隠すことと明かすことすべてを知っている。神はあなたの心にあるものを認識しておられる。

⁵ あなた方以前に真理を否定し、その行いの邪悪な結果を味わった者たちについて聞いたことはないか？彼らには苦痛な懲罰があるであろう。⁶ それは彼らの使徒たちが明確なしるしを携えて彼らのところに来たが、彼らが答えたからである、「人間が私たちの導き手となるだろうか？」と。こうして彼らは真理を拒絶し、背を向けた。神はそのような人々を必要としない。神は自給自足であり、すべての称賛に値する。

⁷ 真理を否定する者たちは、決して再び起こされることはないだろうと主張する。言え、「私の主にかけて、最も確実にあなた方は再び起こされるであろう。そしてその後、あなた方がなしたことすべてを告げられるであろう。そしてそれは神にとって十分に容易なことである。」⁸ ならば神と彼の使徒、そしてわれらが下した光を信じなさい。神はあなた方がなすことすべてを完全に認識しておられる。⁹ 彼があなた方すべてを集会の日のために集める時、それが損失と利得の日となるであろう。そして神を信じ、善行を行う者は誰であれ、その罪を赦され、川が流れる園に入れられ、そこに永遠に住むであろう。それが最高の勝利である。¹⁰ しかし真理を否定し、われらのしるしを拒絶した者たちは、業火の住人となり、そこに留まるであろう—なんと邪悪な行き先であろうか！

¹¹ いかなる苦難も、神の許可なくしては人間に降りかかることはない—彼は彼を信じる者たちの心を導く。神はすべてのことを認識しておられる—¹² 神に従い、使徒に従いなさい。しかしもしあなたが背を向けるなら、われらの使徒はメッセージを明確に伝えることだけに責任があることを思い出しなさい。¹³ 神！彼以外に神はいない。だから信じる者たちは彼に信頼を置くべきである。

¹⁴ 信者たちよ！あなた方の妻や子供たちの中に敵がいる。だから彼らに用心しなさい。しかしもしあなた方が彼らの過ちを見過ごし、許し、赦すなら、確かに神は最も許し深く、慈悲深い。¹⁵ あなた方の富とあなた方の子供たちは試練にすぎない。神の報いは偉大である。¹⁶ だか

ら、できる限り神を心に留め、聞き、従い、そして慈善を施しなさい。それはあなた方自身の利益のためである。自分自身の貪欲さから身を守る者たちは、きっと成功するであろう。¹⁷ もしあなたが神に良い貸付をするなら、彼はそれをあなたのために何倍にも増やし、あなたを赦すであろう。神は感謝を知り、忍耐強い。¹⁸ 神は不可視のものと可視のものを知る。彼は全能であり、賢明な方である。

65. 離婚 (アッ・タラク)

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ おお預言者よ! あなた方の中で妻を離婚する者がいる場合、その清浄期間中に離婚し、その期間を注意深く計算しなさい。神、あなた方の主を心に留めなさい。彼女たちが明白に不道德な行為を犯した場合を除き、彼女たちをその家から追い出してはならない—彼女たち自身も去ってはならない。これらは神によって定められた境界である。神の境界を侵害する者は、自分自身の魂を不義に陥れる。あなた方にはわからない、その後、神が何らかの新しい状況をもたらすかもしれないのだ。² そして彼女たちの待機期間が終わりに達した時、名誉をもって彼女たちを引き留めるか、名誉をもって彼女たちと別れなさい。あなた方の中から信頼できる男性二人を証人として呼び、神のために真実の証言をさせなさい。これは神と最後の日を信じる者たちへの忠告である。神を畏れる者には、彼は[その困難から]抜け出す道を与え、³ 神は彼に予期せぬ源から糧を提供するであろう。神に信頼を置く者には誰であれ、神は十分である。神は彼が定めることを必ず実現させる。彼はすべてのものに尺度を定められた。

⁴ あなた方の妻の中で月経の年齢を過ぎた者については、もしあなたが疑いを持つなら、彼女たちの待機期間は三ヶ月であることを知りなさい。そしてまだ月経が始まっていない者たちも同様である。妊娠している者たちの待機期間は、彼女たちがその重荷を下ろす[出産

する]までである。神は、彼を心に留める者たちに物事を容易にされる。

⁵ そのようなものが、神があなた方に啓示した命令である。神を畏れる者は、その罪を赦され、豊かに報われるであろう。

⁶ [待機期間中の]女性たちには、あなた方自身の生活と同じように、あなた方の資力に応じて住まわせなさい。そして、彼女たちの生活を困難にするために、彼女たちを悩ませてはならない。もし彼女たちが妊娠しているなら、出産するまで彼女たちを扶養しなさい。もし彼女たちがあなた方の乳児に授乳するなら、その報酬を彼女たちに支払いなさい。すべての誠実さをもって互いに物事を話し合いなさい—もしあなた方が互いに耐えられないなら、別の女性にあなたのために授乳させなさい—⁷ 財力のある者は、その財力に応じて費やすべきであり、資力が限られている者は、神が彼に与えたものに応じて費やすべきである。神は、彼が与えたもの以上の負担を誰にも課さない。神は間もなく困難の後に安楽をもたらすであろう。

⁸ どれほど多くの町が、その主と彼の使徒たちの命令に反抗し、われらは彼らに厳しく責任を問い、厳しく罰したことか。⁹ そこで彼らはその行いの邪悪な結果を味わい、その行いの結果は破滅であった。¹⁰ 神は彼らのために厳しい懲罰を用意された。だから神を畏れなさい、おお、信じた理解ある人々よ。神はあなた方に訓戒を下した。¹¹ そして、あなた方に神の明確なメッセージを伝える使徒も。彼が、信じ、善行を行う者たちを闇から光へと導き出すことができるように。神を信じ、善行を行う者たちを、神は川が流れる園に入れるであろう。そこに彼らは永遠に留まるであろう。神は確かに彼らのために優れた糧を用意された。

¹² 神こそが七つの天を創造し、同じ数の地をも創造した者である。彼の命令はそれらの間に下る。あなた方が、神がすべてのものに対して力を持っていること、そして彼が彼の知識であらゆるものを包摂していることを知るように。

66. 禁制（アッ・タフリーム）

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ 預言者よ、なぜあなたは妻たちを喜ばせたいという望みから、神があなたに合法としたものを禁じるのか？神は許し深く、慈悲深い。² 神はあなた方にそのような誓いを解くことをすでに定められた。神はあなた方の保護者である。彼はすべてを知り、賢明な方である。

³ 預言者がかつて彼の妻の一人に何かを秘密で話した。彼女はそれを秘密にせず、神が彼にこのことを知らせた。彼はその一部を知らせ、一部を[話すのを]避けた。彼がこのことを妻に話した時、彼女は誰が彼にそれを告げたのか尋ねた。彼は答えた、「すべてを知り、すべてを認識しておられる方が私に告げたのだ。」⁴ もしあなた方二人が悔い改めて神に立ち返るなら—そしてあなた方の心はすでにそのように傾いている。しかしもしあなた方が彼に対して互いを支え合うなら、確かに神が彼の保護者であり、ガブリエル、そして信者たちの中の義しい者たちもそうである。そして天使たちもまた彼の助け手である。⁵ もし彼があなた方と離婚するなら、彼の主はきっとあなた方に代わって、より良い妻たち—[神に]服従し、信じ、敬虔で、悔い改め、崇拝に専念し、断食する者たち—そして以前結婚していた者も、処女も、を与えるかもしれない。

⁶ 信者たちよ、あなた方自身とあなた方の家族を、燃料が人々や石である業火から守りなさい。それは、厳格で強い天使たちによって見守られている。彼らは神の命令に決して逆らわず、命じられたことを速やかに実行する。⁷ 真理を否定することに固執するあなた方よ、今日、言い訳をしてはならない。あなた方はただ、あなた方の行いに応じて報いられているだけである。

⁸ 信者たちよ、神に誠実に悔い改めなさい。あなた方の主はあなた方の悪行をきと赦し、川が流れる園にあなた方を入れるかもしれない。神が預言者と彼と共に信じた者たちを辱めない日に。彼らの光は彼

らの前と右に輝き出し、彼らは言うだろう、「主よ、私たちの光を完全にしてくださり、私たちを赦してください。あなたはすべてのものに対して力を持っておられます。」

⁹ 預言者よ、真理を否定する者たちと偽善者たちに対して最大限に努力しなさい。彼らに対して厳しく対処しなさい。地獄が彼らの住処となるであろう—卑劣な行き先である。¹⁰ 真理を否定することに固執する者たちへの例として、神はノアの妻とロトの妻を挙げられた。彼女たちはわれらの義しい僕二人に結婚していたが、彼らを裏切った。そこで彼らは神に対して彼女たちを助けることはできず、彼女たちは「他の者たちと共に火の中へ入れ」と言われた。

¹¹ 信者たちには、神はファラオの妻の例を挙げられた。彼女は言った、「私の主よ、私に樂園にあなたの近くに家を建ててください。そして私をファラオと彼の悪行から救ってください。すべての悪を行う者たちから私を救ってください。」¹² [神は別の例を挙げられた]マリyam、イムラーンの娘の物語で。彼女はその貞節を守り、われらはわれらの霊を彼女に吹き込んだ。彼女は主の言葉と彼の聖典を証言し、真に敬虔であった。

67. 王権 (アル・ムルク)

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ その御手の中に王国がある彼は祝福あれ。彼はすべてのものに対して力を持っている。² 彼は死と生を創造された。あなた方を試し、あなた方の中で誰が行動において最良であるかを見出すためである。彼は力強く、最も許し深い方である。³ 彼は七つの天を層をなして、互いの上に創造された。あなたは慈悲深いお方の創造に何の欠陥も見出さないだろう。もう一度見直しなさい。何か欠陥が見えるか？⁴ その後、何度も見直しなさい。あなたの視線は混乱し、疲れ果ててあなたに戻ってくるだろう。

⁵ われらは最も低い天をランプで飾り、それらを悪魔を追い払うために使った。彼らのために燃え盛る火の懲罰を用意した。⁶ その主に対して冒瀆することに固執する者たちには、地獄の懲罰があるだろう。忌まわしい行き先である。⁷ 彼らがそこに投げ込まれると、それが煮え滾るうなり声を聞くだろう。⁸ まるで怒りで破裂しそうであるかのように。集団がそこに投げ込まれるたびに、その番人たちは彼らに尋ねるだろう、「警告者はあなた方のところに来なかったのか？」⁹ 彼らは言うだろう、「もちろん、警告者は私たちに来ました。しかし私たちは彼を嘘つきだと見なし、『神は何も啓示していない。あなた方は甚だしい誤りの中にいる』と言いました。」¹⁰ 彼らは言うだろう、「もし私たちが耳を傾けたり理解していたりしたなら、今地獄の住人になることはなかっただろう」と。¹¹ このように彼らはその罪を告白する。地獄の住人たちは神の慈悲から遠く離れている。

¹² 不可視のものにおいて彼らの主を畏れる者たちには、赦しと豊かな報いがあるであろう。¹³ あなたが秘密で話そうと大声で話そうと、彼はすべての心にあるものを知っている。¹⁴ 創造した方が、彼自身の創造物について知らないことがありうるだろうか。彼こそが、その知恵において最も巧妙であり、すべてを認識される方であるのに？

¹⁵ 彼こそがあなた方のために地を従わせた。だからその地域を旅し、その糧を食べなさい。彼のもとにあなた方は皆復活させられるであろう。¹⁶ 天にいる彼が、地をあなたの足元に沈ませ、その後揺れ始めることに対して、あなた方は安心しているのか？¹⁷ 天にいる彼が、あなた方の上に石を降らせる旋風を送らないことに対して、あなた方は安心しているのか？そうすればあなた方は、私の警告がどれほど[真実]であったかを知るであろう。¹⁸ 彼ら以前に去った者たちは[真理を]嘘だと見なした。すると私の拒絶はいかに偉大であったことか。

¹⁹ 彼らは、上空の鳥たちが翼を広げたり閉じたりするのを見ないのか？慈悲深いお方以外には誰もそれらを支えていない。確かに、彼はすべてのことを見守っておられる。²⁰ 慈悲深い主以外に、軍隊のように

あなた方を守る者は誰か？真理を否定する者たちは欺瞞の中にいる。²¹ もし彼が彼の糧を差し止めたら、誰があなた方にそれを提供できるだろうか？それでも彼らは頑固にも反抗と真実からの回避を続ける。

²² 顔を下にして這いずり回る者と、まっすぐな道の上に直立して歩む者と、どちらがより導かれているか？²³ 言え、「彼こそがあなた方を存在させ、あなた方のために耳、目、そして心を作った。それでもあなた方はめったに感謝しない。」²⁴ 言え、「彼こそがあなた方を地上に散らした。そして彼のもとにあなた方は皆集められる[復活の日に]。』

²⁵ 彼らは尋ねる、「もしあなたが真実を言うなら、この約束はいつ果たされるのか？」²⁶ 言え、「それに関する知識は神のみが持っている。そして私は単なる明確な警告者である。」²⁷ しかし彼らがそれが近づいているのを見た時、真理を否定する者たちの顔は暗くなり、彼らは言われるであろう、「これこそがあなた方が求めていたものだ。」²⁸ 言え、「あなた方は考えたか。もし神が私と私と共にいる者たちを滅ぼすか、あるいは私たちに慈悲を示すとしても、真理を否定する者たちを苦痛な責め苦から守る者は誰か？」²⁹ 言え、「彼こそが最も慈悲深いお方である。私たちは彼を信じ、彼に信頼を置く。あなた方は間もなく、誰が明白な誤りの中にいるかを知るであろう。」³⁰ 言え、「あなた方の水が地中に沈み込んだら、誰があなた方に流れる水をもたらすことができるか、考えたか？」

68. 筆 (アル・カラム)

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ ヌーン。

筆にかけて、そして彼らが書くすべてのものにかけて！² あなたの主の恵みによって、あなたは狂人ではない。³ 最も確実に、あなたには終わりのない報いがあるであろう。⁴ あなたは確かに崇高な人格を持ってい

る。⁵ 間もなく、あなたも彼らもわかるであろう、⁶ あなた方の誰が狂気に囚われているかを。⁷ あなたの主は、道から外れた者が誰であり、真の道に留まった者が誰であるかを最もよく知っている。

⁸ 真理の否定者たちに屈してはならない。⁹ 彼らはあなたが彼らに譲歩することを望んでおり、そうすれば彼らも応じるだろうと。¹⁰ どんな軽蔑すべき誓約者にも屈してはならない。¹¹ あるいは中傷者、陰口を広める者にも。¹² あるいは善行を妨げる者、邪悪な逸脱者にも。¹³ 卑劣で、それに加えて、卑しい生まれの者にも。¹⁴ 彼が富と息子を持っているからという理由だけで。¹⁵ われらの啓示が彼に朗読されると、彼は言う、「これらは単なる昔の物語だ」と。¹⁶ 間もなくわれらは彼の鼻に焼き印を押すであろう。

¹⁷ われらは彼らを、ある果樹園の持ち主たちを試したように試した。彼らは翌朝、その果物すべてを収穫すると誓った。¹⁸ そして(神の意志に対する)考慮を払わなかった。¹⁹ 彼らが眠っている間に、あなたの主からの災難が果樹園を襲った。²⁰ そして朝までに、それはまるで収穫されたかのように、不毛の地になっていた。²¹ そこで彼らは夜明けに互いに呼びかけ、²² 言った、「もし果物をすべて集めたいなら、急いで果樹園に着くように。」²³ そこで彼らはこそこそと互いにささやき合いながら出発した。²⁴ 「今日、貧しい者が果樹園に入るのを必ず止めよう。」²⁵ 彼らは早朝に出発し、妨げることができると思い込んでいた。²⁶ しかしそれを見た時、彼らは言った、「私たちは道を失ったに違いない。²⁷ 確かに、私たちは完全に破滅した!」²⁸ 二人の中でより義しい者は言った、「私が神を讃美するようあなた方に命じなかったか?」²⁹ 彼らは言った、「私たちの主、神に栄光あれ。私たちは確かに間違っていた。」³⁰ その後、彼らは互いに非難を浴びせ始めた。³¹ 彼らは言った、「私たちに災いあれ、私たちの振る舞いは常軌を逸していた。³² おそらく私たちの主は、代わりに私たちにもっと良い果樹園を与えてくださるだろう。私たちは彼に立ち返る。」³³ そのようなものが、彼らの懲罰(この世で)であった。しかし、もし彼らが知っていたなら、来世の懲罰ははるかに厳しい!

³⁴ 彼らの主を心に留める者たちには、至福の園が報われるであろう。³⁵ われらは真の信者と不義を働く者を同じように扱うべきだろうか？³⁶ あなた方はどうしたのか？あなた方の判断はいかに悪いことか！³⁷ あなた方にはそれを告げる聖典があるのか、³⁸ あなた方が選んだものすべてがあなた方に与えられると？³⁹ あるいは、復活の日までわれらに束縛される厳粛な誓約をあなた方は持っており、あなた方が自分で決めることすべてがあなたに与えられると？⁴⁰ 彼らに尋ねなさい、彼らの中で誰がそれを保証するかを！⁴¹ あるいは彼らには他の仲間[神以外に]がいるのか？もし彼らが言うことが真実なら、彼らに他の仲間を連れてこさせよ。

⁴² 真実が明らかになる日、彼らはひれ伏すよう求められるであろうが、そうすることはできないであろう。⁴³ 彼らの目はうつむき、彼らは恥に覆われるだろう。彼らは安全で健全であった時にひれ伏すよう命じられた(しかし従わなかった)。⁴⁴ だからこのメッセージを拒絶する者たちを私に任せなさい。われらは彼らの知る由もない方法で、彼らを破滅へと一歩ずつ導くだろう。⁴⁵ 私は彼らにいくらかの猶予を与えるだろう。なぜなら私の計画は強力だからである。

⁴⁶ あなたは彼らから、借金で彼らを重荷にするような報いを要求するのか？⁴⁷ 不可視のものが彼らの手の届くところにあるので、彼らはそれを書き留めることができるのか？⁴⁸ あなたの主の裁きを忍耐強く待ち続けなさい。クジラに飲み込まれ、苦悩の中で叫んだ男のようになってはならない。⁴⁹ もし彼の主の恵みが彼に授けられていなかったなら、彼はその荒涼とした岸辺に屈辱のうちに投げ出されていただろう。⁵⁰ しかし彼の主は彼を彼自身のために選び、彼を義しい者の一人とした。⁵¹ 真理を否定する者たちが忠告を聞く時、彼らはその邪悪な目であなたをほとんどつまずかせそうになり、言うだろう、「彼は確かに狂人だ。」⁵² しかしそれは純粹に、人類への忠告である。

69. 必ず起こる時（アル・ハーッカ）

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ 必ず起こる時!² 必ず起こる時とは何か?³ そして何があなたに必ず起こる時が何であることを理解させるだろうか?⁴ サムード族とアード族は、その災難が彼らを襲うことを否定した。⁵ サムード族は恐ろしい雷と稲妻の嵐によって滅ぼされ、⁶ そしてアード族は激しい風によって滅ぼされた。⁷ 神がそれを彼らに対して七夜八日絶え間なく解き放ったので、あなた方はその民が、まるで倒れたヤシの木の空洞の幹のように、ひれ伏しているのを見ることができたであろう。⁸ 今、彼らの痕跡が何か残っているのを見るか?⁹ ファラオと彼以前の者たち、そして転覆した都市の住民たちは、執拗に重大な罪を犯した。¹⁰ 彼らは彼らの主の使徒に反抗したので、彼は絶えず締め付ける力で彼らを捕らえた。¹¹ しかし、水が激しく上昇した時、われらはあなた方を箱舟で運び去った。¹² それがあなた方への戒めとなり、注意深く聞く耳がそれを心に留めることができるように。

¹³ ラッパが一度吹かれる時、¹⁴ そして大地と山々が持ち上げられ、その後一度の打撃で粉碎される時、¹⁵ その日、大いなる出来事が起こるであろう。¹⁶ そして空は裂け開かれ、その日は非常に脆弱となる。¹⁷ 天使たちはその脇に現れ、その日、八人の[天使]が彼らの上にあなたの主の玉座を担ぐであろう。¹⁸ その日、あなた方は裁きに連れてこれられ、あなた方の秘密は何も隠されたままにはならないであろう。^a

¹⁹ その時、その記録を右手に与えられた者は叫ぶであろう、「ここに私の記録がある、それを読みなさい。²⁰ 私はきっと私の精算に出会う

a 現在の世界は人間を試練にかけるために作られた。試練の期間が終わると、この世界は解体され、新しい要件を満たすために形作られた新しい世界が作られるだろう。神の威厳は現在間接的に現れているが、その時が来れば、神の威厳は直接的に現れるだろう。

ことを知っていた」と。²¹ そこで彼は至福の状態で生きるであろう。²² 高い園で、²³ 手の届くところに果物の房がある。²⁴ われらは彼に言うであろう、「昔の日々に行った善行への報いとして、喜んで食べ、飲みなさい。」²⁵ しかし、その記録を左手に与えられた者は言うだろう、「もし私が記録を全く与えられなかったらよかったのに²⁶ そして私の精算について何も知らなかったら。²⁷ どうか私の死がすべてを終わらせていたらよかったのに。²⁸ 私の財産は私にとって何の役にも立たなかった。²⁹ 私は力を奪われた。」³⁰ 彼を捕らえ、足かせをかけ、³¹ それから彼を地獄に入れなさい。³² それから彼を七十キュビトの長さの鎖で縛りつけなさい。³³ 彼は全能の神を信じようとしなかったからであり、³⁴ 困窮者に食事を与える意欲もなかったからである。³⁵ だから今日、彼にはここに友はおらず、³⁶ 彼が持つ唯一の食べ物は汚物であり、³⁷ 罪人たち以外は誰もそれを食べない。

³⁸ しかし、いや、私はあなた方が見ることのできるすべてのものにかけて誓う。³⁹ そしてあなた方が見ることのできないすべてのものにかけても。⁴⁰ 最も確かに、これは高貴な使徒によってもたらされた言葉である。⁴¹ それは詩人の言葉ではない—あなた方はなんというわずかし信じないことか!—⁴² また預言者の言葉でもない—あなた方はなんというわずかし熟考しないことか!⁴³ それは万有の維持者によって下された啓示である。⁴⁴ もし彼がわれらについて何らかの嘘をでっち上げていたなら、⁴⁵ われらは確かに彼の右手を掴み、⁴⁶ そして確かに彼の命の動脈を切断していただろう。⁴⁷ そしてあなた方の誰も彼からわれらを引き止めることはできなかっただろう。⁴⁸ そして確かにそれは、神を畏れる者たちへの訓戒である。⁴⁹ われらは、あなた方の中にわれらのしるしを拒絶する者たちがいることを非常によく知っている—⁵⁰ それは真理を否定する者たちにとって、苦い後悔の源となるであろう—⁵¹ それは疑いの余地のない真実である。⁵² だからあなたの主、全能なる方の御名を讃美しなさい。

70. 昇る階段 (アル・マアーリジ)

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ ある疑いを持つ者が、懲罰が直ちに下されることを要求した。² 真理を否定する者たちに。神を妨げる力は誰にもない。³ 彼は昇る階段の主であり、⁴ その階段によって天使たちと霊が、五万年続くであろう一日に、彼のもとに昇るであろう。⁵ だから(信者たちよ)ふさわしい忍耐をもって振る舞いなさい。⁶ 彼らはそれ[審判の日]を遠くにあると見なすが、⁷ われらはそれを間近にあると見なす。⁸ その日、天は溶けた真鍮のようになり、⁹ 山々は羊毛の房のようになるであろう。¹⁰ そして友は友について尋ねることもないだろう、¹¹ たとえ互いの視界の中にいたとしても。罪人は、自分の子供たちを犠牲にしていなくても、その日の責め苦から身を請い願うだろう。¹² 彼の妻、兄弟、¹³ そして彼に避難場所を与えた血縁者たち、¹⁴ そして地上のすべての人々を、もしそれが彼を救い出すことができるなら。

¹⁵ しかし、いや!そこには燃え盛る炎がある。¹⁶ 彼の皮膚を剥ぎ取り、¹⁷ [真の信仰から]背を向け、[真実から]顔を背けた者たちすべてを要求するであろう。¹⁸ そして富を蓄え、それを貯蔵した者たちを。¹⁹ 確かに、人間はせっかちに生まれた。²⁰ 不幸が彼に触れると、彼は嘆き始め、²¹ 幸運が彼に来ると、彼はけちになる。²² しかし崇拜者たちはそうではない。²³ 彼らは礼拝において堅固であり、²⁴ その財産の正当な分を²⁵ [助けを]求める者たちや困窮している者たちに与え、²⁶ そして審判の日を信じる者たち。²⁷ そして彼らの主の懲罰を恐れる者たち。²⁸ なぜなら、彼らの主の懲罰から安全だと感じられる者は誰もいないからである。²⁹ その貞節を保つ者たち。³⁰ 妻と、彼らが正当に[結婚を通して]所有する者たち以外は、非難を負わない—³¹ しかしその限界を超える者たちは逸脱者である。³² そしてその信託と誓約に忠実な者たち。³³ そしてその証言を固守する者たち。³⁴ そして礼拝において堅固な者たち。³⁵ 彼らは至福の園で敬われるであろう。

³⁶ しかし真理を否定する者たちには何があったのか、彼らがあなたに向かって急いで来るのはなぜか、³⁷ 右からも左からも、群れをなして?³⁸ 彼らの一人一人は、歓喜の園に入りたいと熱望しているのか?

³⁹ いや、決して!彼らが何から創造されたかを彼らは非常によく知っている。

⁴⁰ しかし、いや!私は東と西の主にかけて誓う。われらには彼らを、彼らよりも良い者たちに置き換える力がある。何ものもわれらがこれを行うのを妨げることはできない。⁴² だから彼らを、彼らが約束された日に直面するまで、虚しいおしゃべりにふけり、自らを楽しませるに任せなさい。⁴³ 彼らが急いで墓から出てくる日、まるで目標に向かって競争しているかのように。⁴⁴ うなだれた目で、恥に歪んだ顔で。そのようなものが、彼らが約束されている日である。

71. ヌーフ (ヌーフ)

慈悲深く、慈愛あまねきアツラーの御名において。

¹ われらはノアを彼の民に送り出し、言った、「彼らに厳しい懲罰が降りかかる前に、あなたの民に警告しなさい。」² [ノアは]言った、「私の民よ!私はあなた方にとって単なる明確な警告者である。³ あなた方は神[のみ]を崇拝し、彼を意識すべきである。私に耳を傾けなさい。⁴ 彼はあなた方の罪を赦し、あなた方に定められた時まで猶予を与えるであろう。神が定めた時が来たら、もしあなた方が知っていたなら、それは延期されることはできない。」⁵ 彼は言った、「私の主よ!私は昼も夜も私の民を呼びましたが、⁶ 私の嘆願は彼らの嫌悪を増すばかりでした。⁷ 私はあなた方が彼らを赦すかもしれないように、彼らを呼ぶたびに、彼らは指を耳に突っ込み、衣で身を覆い、頑固になり、傲慢さに身を任せました。⁸ その後、私は公然と彼らを呼びかけ、⁹ 公の場でも個人的にも彼らに話しました。」¹⁰ それから私は言った、「あなた方の主から赦しを請いなさい。確かに彼は最も許し深い方です。¹¹ 彼はあなた方のために、空

から豊かな雨を降らせ、¹² あなた方の富と息子たちを増やし、あなた方に園と水路を授けるでしょう。¹³ あなた方は神の偉大さを否定するとはどういうことか。¹⁴ 彼は様々な存在の段階を通してあなた方を創造されたのに？¹⁵ あなた方は、神が七つの天を互いの上に創造されたのを見ないか、¹⁶ そしてその中に月を光とし、太陽をランプとされたのを、¹⁷ 神があなた方を地から生み出し、成長させたのを、¹⁸ その後彼があなた方をそこに戻し、再びあなた方をそこから生み出すのを、¹⁹ 神があなた方のために地を広げたのを²⁰ あなた方がその広大な道を歩めるように？」

²¹ ノアは嘆願した、「主よ、彼らは私に不従順となり、その富と子供たちが彼らの破滅を増すばかりである者たちに従いました。²² そして彼らは強力な陰謀を企て、²³ 彼らは[彼らの追従者たちに]言いました、『あなた方の神々を決して捨ててはならない。ワッドも、スワーも、ヤグースも、ヤワークも、ナスルも捨ててはならない!』と。²⁴ 彼らは多くの者を迷わせました。だから不義を働く者たちをさらに誤りへと導いてください。』²⁵ 彼らは溺れさせられ、その悪行のために地獄へ送られた。彼らは神に対して助ける者を誰も見つけられなかった。

²⁶ ノアは祈った、「おお私の主よ! 地上に真理を否定する者たちを一人たりとも残さないでください—²⁷ もしあなたが誰か残すなら、彼らはあなたの僕たちを誤らせるでしょう。そして罪人と真理の否定者以外は誰も生まないでしょう—²⁸ 主よ! 私と私の両親と、私の家に入るすべての真の信者を赦してください。信じる男性と信じる女性すべてを赦してください。そして不義を働く者たちには破滅以外に何も増やさないでください。」

72. 幽精 (アル・ジン)

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ 言え、「一団のジンが[クルアーンに]耳を傾け、彼らが言ったことが私に啓示されました、『私たちは本当に素晴らしい朗読を聞きました、² そ

れは正しい道に導きます。だから私たちはそれを信じ、私たちの主と誰をも結びつけません—³ そして私たちの主の威厳は崇高です—彼は妻も息子ももうけていません。⁴ そして(今私たちは知っています)私たちのの中の愚かな者たちが神について途方もないことを言っていたことを。⁵ 私たちは、人間もジンも神について嘘を口にするのではないだろうと思っていました。⁶ 以前、一部の人間はジンに避難を求めていましたが、それは彼らの不遜さを増すばかりでした。⁷ 彼らは、あなた方がそう考えたように、神が誰をも死者から起こすことはないだろうと考えていました。⁸ 私たちは天に到達しようとしたが、強力な守護者と炎で満たされているを見つけました—⁹ 私たちはかつて聞くために場所を取っていましたが、今では聞く者は誰であれ、彼を待ち構える燃える炎を見つかるでしょう—¹⁰ 私たちには、これが地上の住人たちに悪を告げるのか、あるいは彼らの主が彼らを導くことを意図しているのかわかりません。¹¹ 私たちの一部は義しい者たちであり、他の者はそうではありません。私たちは異なる道をたどります。¹² 私たちは、地上で神を挫くことは決してできないし、逃亡によって彼を挫くこともできないだろうと悟りました。¹³ 私たちが導きへの呼びかけを聞いた時、私たちはそれを信じました。彼の主を信じる者は、損失や不正を恐れることはないでしょう。¹⁴ 私たちの一部は従順ですが、他の者は不義を働く者たちです。正しい道を見出したのは従順な者たちです。¹⁵ しかし不義を働く者たちは地獄の燃料となるでしょう。』

¹⁶ 「もし彼らがその道(イスラーム)の上で堅固であったならば、われは彼らに豊かな雨を与えたであろう。¹⁷ それはわれが、彼らを試みるためである。主の訓戒から背き去る者があれば、かれは過酷な懲罰に投げ込まれるであろう。¹⁸ またマスジド(礼拝所)は、アッラーのものである。だからアッラーと並べて、外の何ものにも祈ってはならない。¹⁹ アッラーのしもべ(ムハンマド)が、かれに祈って立つ時、彼ら(ジン)は彼の上に群がり集まらんばかりであった。²⁰ 言え、『わたしはただ主に祈る。何ものをもかれと並べない。』²¹ 言え、『わたしはあなたがたに、災

いをもたらす力もなく、また善い導きを与える力もない。』²² 言え、『誰もアッラー（の罰）から、決してわたしを守ることが出来ない。またわたしは、かれの外に避難所を見出すことも出来ない。²³ ただアッラーからの（啓示）と、その使命を伝える外はないのである。アッラーとその使徒に背く者には、本当に地獄の火があり、彼らは永遠にその中に住むであろう。』²⁴ 彼らが約束されたものを見る時、誰が助け手として最も弱く、また軍勢において最も少数であるかを知るであろう。²⁵ 言え、『わたしはあなたがたに約束されたものが近いのか、または主がそれに（長い）期間を定められるのかを知らない。²⁶ （かれは）幽玄界を知っておられる方で、その秘密を誰にも現わされない。²⁷ ただかれが選んだ使徒（に現わすこと）は別であるが、その（使徒の）場合、かれは前後に監視者（天使）を配置なされる。²⁸ これは彼ら（使徒）が、主の使命を伝達したことを、かれに知らせるため、かれは彼らの持つ凡てのことを知悉し、また凡ての事物を数え上げられる。』

73. 纏う者（アル・ムッザンミル）

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ おお、そのマントに包まれた者よ、² 夜のほとんどを祈りのために立ちなさい。³ それは夜の半分か、それより少し少なく、⁴ あるいはそれより少し多いかもしれないが、クルアーンをゆっくりと、はっきりと朗読しなさい。⁵ われらはあなたに、かなりの重大さを持つメッセージを下そうとしているからである。

⁶ 確かに、夜に起きることは（崇拝のために）自己を抑制する最も強力な手段であり、祈りの言葉には最も適している。⁷ あなたには日中、長い業務（ダアワの仕事）がある。⁸ あなたの主の御名を思い出し、心を込めて彼に専念しなさい。⁹ 彼は東と西の主であり、彼以外に神はいない。だから彼をあなたの守護者としなさい。¹⁰ 彼らが言うことには忍耐し、礼儀正しく彼らを見做しなさい。¹¹ 軽んじられた者たちに、私に任せな

さい。彼らは安楽な生活を送っている。そして彼らにしばらくの間我慢しなさい。¹² われらは彼らのために重い足かせと燃え盛る火、¹³ 喉を詰まらせる食べ物と苦痛な懲罰を用意している。¹⁴ 大地と山々が揺れ動き、山々が移り変わる砂丘に崩れ散る日。

¹⁵ われらはあなたに、あなた方に対する証人である使徒を送った。ちょうど以前ファラオに使徒を送ったように。¹⁶ しかしファラオはその使徒に反抗した。そこでわれらは彼を強く、粉碎する力で捕らえた。¹⁷ もしあなた方が真理を否定し続けるなら、子供たちの髪を白くするであろうその日から、どうやって逃れられるだろうか。¹⁸ 天が裂け開かれ、神の約束が果たされる日。¹⁹ これは確かに訓戒である。だから望む者は誰であれ、彼の主への正しい道をとるがよい。

²⁰ あなたの主は、あなたが夜のほぼ三分の二、あるいは半分、そして時には三分の一を祈りながら立っていることを知っている。あなた方の追隨者の中の他の者たちも同様である。神は夜と昼の尺度を決定される。彼はあなた方がそれをすることができないであろうことを知っている。彼は慈悲をもってあなたに向き直られた。だから、あなたに容易なだけのクルアーンを朗読しなさい。彼はあなた方の中に病気になる者、そして神の恵みを求めて地上を旅する者、そして神の目的のために戦う者がいることを知っている。だから、あなた方ができるだけ量を朗読し、祈りを絶やさず、慈善を施し、神に良い貸付をしなさい。あなたの魂のために先に送るいかなる善行も、あなたはそれを神のもとで見出すであろう。それは彼によって改善され、豊かに報われるであろう。神の赦しを求めなさい。彼は最も許し深く、最も慈悲深い。

74. 衣を纏う者 (アル・ムッダッシル)

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ おお、その衣を纏う者よ、² 起き上がって警告しなさい!³ あなたの主の栄光を宣言しなさい。⁴ あなたの衣を清めなさい。⁵ 不浄を避けなさい。

⁶ より多くを期待して恩恵を施してはならない。⁷ そしてあなたの主のために、忍耐しなさい。

⁸ ラッパが吹かれた時、⁹ その日は厳しく、苦痛な日となるであろう。¹⁰ それは真理を否定する者たちには容易ではないだろう。¹¹ 一人で創造した彼[私]を(裁くために)私に任せなさい。¹² われらは彼に豊富な資源を与え、¹³ そして彼のそばにいる息子たちを与え、¹⁴ そしてあらゆる資源を彼に提供したのに、¹⁵ それでも彼は貪欲にさらに多くを望む!¹⁶ いや、決して!彼はわれらの啓示に対して頑固な敵意を抱いた。¹⁷ 私は彼に苦痛な上り坂に耐えさせるであろう!

¹⁸ なぜなら彼は考え、陰謀を企てたからである—¹⁹ そして彼に災いあれ。彼はいかに陰謀を企てたことか!²⁰ 彼が減じるがいい。彼はいかに計算したことか!²¹ それから彼は周りを見回し、²² それから顔をしかめ、不機嫌になり、²³ そして背を向け、傲慢に振る舞い、²⁴ 言った、「これは昔の魔術にすぎない。²⁵ これは単なる人間の言葉にすぎない!」

²⁶ 間もなく私は彼を地獄に投げ込むであろう。²⁷ 地獄の火が何であるか、あなたにどうして想像できるだろうか?²⁸ それは誰も生きることを許さず、また誰も死ぬことを許さない。²⁹ それは皮膚を焦がす。³⁰ その番人には十九人[の天使]がいる—³¹ われらは火の看守として天使のみを任命した。われらは彼らの数を、真理を否定することに固執する者たちへの試練としてのみ定めた。そうすれば書を与えられた者たちが確信を増し、信じる者たちが信仰を増すように—そして聖典を与えられた者たちも信者たちも何の疑いも持たず、心に病のある者たちと真理を否定する者たちが「神はこの比喻で何を意味しているのか?」と尋ねるように。このようにして、神は御心である者を迷わせ、御心である者を導く。そしてあなたの主の軍勢を知る者は彼以外に誰もいない。これは人間への単なる訓戒にすぎない。

³² いや、月にかけて!³³ それが去る夜にかけて!³⁴ それが明るくなる夜明けにかけて!³⁵ 確かに、それは最も重大なことの一つである。

³⁶ それは人間への警告であり、³⁷ 前に進みたい者、あるいは後退した

い者、あなた方一人一人に等しく向けられる。³⁸ すべての魂は、その行いに対して担保にされている。³⁹ 右手の者たちを除いては。⁴⁰ 彼らはその園で、⁴¹ 罪人たちについて尋ねるであろう。「⁴² 何があなた方を地獄の火に入れたのか？」⁴³ そして彼らは答えるだろう、「私たちは祈る者たちの中にいませんでした。⁴⁴ そして私たちは貧しい者たちに食事を与えませんでした。⁴⁵ 私たちは、虚しい議論にふける者たちと共に、虚しい議論にふけりました。⁴⁶ そして私たちは、必然的な終わり[死]が私たちを捕らえるまで、審判の日を否定しました。」⁴⁸ だから彼らには何の執り成しも役立たないであろう。

⁴⁹ ならば彼らに何があったのだ、彼らが訓戒から背を向けるのはなぜか。⁵⁰ 怯えた口バのように⁵¹ ライオンから逃げているのか？⁵² 確かに、彼ら一人一人は、啓示の紙片が自分たちの前に広げられることを望む—⁵³ いや！彼らは来世を恐れない—⁵⁴ しかしこれは真に戒めである。⁵⁵ 望む者は誰であれ、心に留めるがよい。⁵⁶ 彼らが心に留めるのは、神がそう望む場合だけである。彼は恐れられるに値する主であり、赦しの主である。

75. 復活の日 (アル・キヤーマ)

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ 復活の日にかけて、² そして自らを責める魂にかけて！³ 人間は、われらが[彼を復活させ]再びその骨を組み立てることができないと考えるのか？⁴ 確かに、われらはその指先さえも元に戻す力を持っている！⁵ それでも人間は、自分の前にあるものを否定したいのだ。⁶ 彼は尋ねる、「この復活の日はいつなのか？」⁷ しかし[その日]、死すべき者の視覚が混乱し、⁸ 月が蝕され、⁹ 太陽と月が一つに集められる時、¹⁰ その日、人間は尋ねるだろう、「どこへ逃げられるのか？」¹¹ しかし避難できる場所はどこにもない。¹² その日、あなたの主のみが頼るべき場所である。
¹³ その日、人間は彼が先に送ったことと後に残したことをすべてを告げ

られるであろう。¹⁴ 確かに、人間は自分自身に対して証人となるであろう。¹⁵ 彼がどのような言い訳をしても。

¹⁶ [預言者よ]、この啓示を学ぼうとして、舌を速く動かしすぎてはならない。¹⁷ われら自身がその収集と朗読を見届けるであろう。¹⁸ われらがそれを朗読した時、その言葉に注意深く従いなさい。¹⁹ その後、その意味を明確にするのはわれらの役目となるであろう。

²⁰ 真に、あなた方は即座の利益を愛し、²¹ そして来世を怠る。²² その日、ある顔は輝き、²³ 彼らの主の方を見つめるであろう。²⁴ そしてある顔は、その日、陰鬱となり、²⁵ 何らかの大きな苦難を恐れるであろう。²⁶ しかし[人間の魂が]喉元に達し、²⁷ 「今、誰か魔術師が彼を救えるか？」と尋ねられる時、²⁸ そして彼がそれが別れの時であることを知る時、²⁹ 彼の足が互いに寄せ集められ[苦難が苦難と組み合わせられる時]、³⁰ その日、彼はあなたの主の元へ追いやられるであろう！

³¹ 彼は信じもしなければ、祈りもしなかったが、³² 真実を拒絶し、背を向けた！³³ その後、彼はその民のもとへ得意げに歩いて行った。³⁴ 災いあれ、あなた[おお人間よ!]、そうだ、災いあれ。³⁵ 再び、災いあれ、あなた[おお人間よ!]、そうだ、災いあれ！³⁶ では、人間は、自分自身が自由に振る舞うために放っておかれると考えるのか？³⁷ 彼はかつて射出された精液の一滴ではなかったか、³⁸ それからヒル状の凝血になり、その後神が彼を形作り、適切な比率に仕立てたのではないか、³⁹ 彼から二つの性別、男性と女性を作り出したのではないか？⁴⁰ それならば、彼が死者を生き返らせることができないとしても？

76. 人間 (アル・インサーン)

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ 人間が、言及する価値のあるものではなかった期間があったのではないか？² われらは人間を、彼を試すために、混ぜ合わされた液体の滴か

ら創造した。われらは彼に聴覚と視覚を与えた。³ 彼が感謝するか恩知らずであるかにかかわらず、われらは彼に道を示した。

⁴ [今や]、見よ、真理を否定する者たちのために、われらは鎖、鉄の首輪、そして燃え盛る火を用意した。しかし⁵ 義しい者たちは、カフルの冷たさと混ざり合った杯から飲むであろう。^a ⁶ 神の僕たちが飲む泉であり、枝に分かれて噴き出す。⁷ 彼らは誓いを守り、その苦痛が広く遠くまで広がるであろう日を恐れる。⁸ 彼らは、愛着を持っているにもかかわらず、その食べ物を貧しい者、孤児、そして捕虜に与える。⁹ 言う、「私たちは神のためだけにあなた方に食べ物を与えます。あなた方からいかなる報酬も感謝も求めません。¹⁰ 真に、私たちは私たちの主から、悲惨で厳しい日を恐れています。」¹¹ したがって、神は彼らからその日の苦難を遠ざけ、彼らに輝きと喜びを見出させるであろう。¹² そして彼らの忍耐に対する報いは、園と絹の[衣]であろう。¹³ 長椅子に寄りかかり、彼らはその中で太陽の熱も、苦く刺すような寒さも見出さないであろう。¹⁴ 木々の日陰の枝が彼らの上に低く垂れ下がり、その果物の房は、最も手が届きやすいところにぶら下がるであろう。¹⁵ 銀の器と純粋なクリスタルのゴブレットが彼らの間で回されるであろう。¹⁶ そして、正確な尺度で満たされた、きらめく銀のゴブレットも。¹⁷ そして彼らは生姜の風味がつけられた杯を与えられ、飲むであろう。¹⁸ サルサビールと呼ばれる流れる泉から。¹⁹ 彼らには老いることのない若者たちが給仕するであろう—あなたが彼らを見ると、撒き散らされた真珠のようだと思うであろう—²⁰ どこを見ても、あなたは至福と大いなる王国を見るであろう。²¹ 彼らは上質な絹と豪華なブロードの緑の衣をまとうであろう。彼らは銀のプレスレットで飾られるであろう。そして彼らの主は彼らに清らかな飲み物を与えるであろう。²² これがあなた方の報いである。あなた方の努力は完全に認められている。

²³ 真に、われらこそが、あなたにクルアーンを段階的な啓示で下し

a カフル—甘い香りのハーブ。

た者である。²⁴ だからあなたの主の命令を忍耐強く待ち、彼らの中に罪人である者や恩知らずである者には誰にも屈してはならない。²⁵ そして朝も晩もあなたの主を讃美しなさい。²⁶ そして夜間には彼の前にひれ伏し、夜の長い間、彼の栄光を称えなさい。²⁷ これらの人々[神を顧みない者たち]は、差し迫った利益を切望し、重い日を彼らの後ろに置く。²⁸ 彼らを創造し、彼らの構成を強くしたのはわれらである。しかしもしわれらが望むなら、彼らのような他の者たちと彼らを取り替えることができる。²⁹ これは訓戒である。望む者は誰であれ、彼の主への正しい道をとるがよい。³⁰ しかし、神が(その道)を示すことを望まない限り、あなた方はそれを望むことはできないであろう—神は確かにすべてを知り、賢明である—³¹ 彼は御心である者を彼の恵みに入れる。そして悪を行う者たちのために苦痛な懲罰を用意された。

77. 送り出された者たち (アル・ムルサラート)

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ 立て続けに送り出された風にかけて、² そして嵐の力で吹き荒れる者たちにかけて、³ そして雨を広げる風にかけて、⁴ 互いに分け隔てる者たちにかけて、⁵ 訓戒をもたらす者たちにかけて、⁶ ある者を免罪し、他の者を警告するために。⁷ あなた方が約束されていることは必ず果たされるであろう。

⁸ 星がその光を失う時、⁹ そして空が裂け開かれる時、¹⁰ そして山々が塵に崩れ落ちる時、¹¹ そして使徒たちが定められた時に共に集められる時—¹² このためにどの日が定められたのか?¹³ 決定の日である。¹⁴ 決定の日が何であることを、何があなたに理解させるだろうか?¹⁵ その日、真理を拒絶する者たちに災いあれ。¹⁶ われらは以前の民を滅ぼさなかったか?¹⁷ 今度は後の者たちを彼らに従わせるであろう。¹⁸ このようにしてわれらは罪人たちを扱う。¹⁹ その日、真理を拒絶する者たちに災いあれ!

²⁰ われらはあなた方を卑しい液体から創造しなかったか、²¹ その後それを安全な貯蔵庫[子宮]に置いたのではなかったか、²² 定められた期間?²³ このようにわれらは発達の段階を決定し、決定するわれらの力は実に優れている。²⁴ その日、真理を拒絶する者たちに災いあれ!²⁵ われらは大地を収容所としなかったか、²⁶ 生ける者と死者のために?²⁷ われらはその上に高い山々を置き、あなた方に新鮮な水を飲ませなかったか?²⁸ その日、真理を拒絶する者たちに災いあれ!

²⁹ あなた方が否定していたものへと進め。³⁰ 三つの柱で立ち上がる影へと進め。³¹ 日陰も、炎からの保護も提供しない。³² そして塔のように巨大な火花を投げ上げる。³³ そして黄色いラクダの群れのように明るい。³⁴ その日、真理を拒絶する者たちに災いあれ!³⁵ その日、彼らは言葉を失うであろう。³⁶ また言い訳をすることも許されないであろう。³⁷ その日、真理を拒絶する者たちに災いあれ!³⁸ これこそが裁きの日である。われらはあなた方すべてを、過去の世代と共に集めた。³⁹ もし今あなた方に何か策略があるなら、それを使って私に対抗してみよ。⁴⁰ その日、真理を拒絶する者たちに災いあれ!

⁴¹ 義しい者たちは涼しい日陰と泉の中で暮らすであろう。⁴² そして彼らが望むような果物を持つであろう。⁴³ [彼らは言われるだろう]、「(人生で)あなたがなしたことの報いとして、おいしく食べ、飲みなさい。」⁴⁴ これがわれらが善を行う者たちに報いる方法である。⁴⁵ [しかし]その日、真理を拒絶する者たちに災いあれ!⁴⁶ 食べ(満腹になるまで)そしてしばらくの間あなたの生を楽しみなさい、おお、罪の中に失われた者よ。⁴⁷ その日、真理を拒絶する者たちに災いあれ!⁴⁸ 彼らがひれ伏すよう命じられても、彼らはひれ伏さない。⁴⁹ その日、真理を拒絶する者たちに災いあれ!⁵⁰ では、これ以後、どの言葉を彼らは信じるだろうか?

78. 大報 (アン・ナバア)

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ 彼らは互いに何について尋ね合っているのか?² [復活という]恐るべき知らせについて。³ それについて彼らは意見を異にしている!⁴ しかし彼らは間もなく知るであろう。⁵ 確かに、彼らは間もなく真実を見出すであろう!⁶ われらは大地を寝床のように広げなかったか、⁷ そして山々を支柱のように立てなかったか?⁸ われらはあなた方を対に創造し、⁹ 眠りに安らぎを与え、¹⁰ 夜を覆いとし、¹¹ そして昼を生計を立てる時とした。¹² われらはあなた方の上に七つの強力な天を築き、¹³ そしてその中に輝くランプを設置した。¹⁴ 雨雲からわれらは水を豊かに注ぎ下ろす。¹⁵ それによって穀物と様々な植物を、¹⁶ そして葉が密に茂る園を生み出すためである。¹⁷ 確かに、審判の日には定められた時がある。

¹⁸ ラッパが吹かれるその日、あなた方は大群をなして来るであろう。¹⁹ そして天は開かれ、門となるであろう。²⁰ そして山々は、蜃気楼であったかのように消え失せるであろう。²¹ 確かに、地獄は待ち構えている。²² 逸脱者たちのための家である。²³ 彼らはそこに幾世代も留まるであろう。²⁴ そしてそこで彼らは涼しさも、いかなる飲み物も味わわない。²⁵ 煮え滾る水と悪臭を放つ液体を除いては—²⁶ ふさわしい報いである。²⁷ 彼らは決して責任を問われることを期待しなかった。²⁸ そして彼らはわれらのしるしを公然と拒絶した。²⁹ しかしわれらはすべてのことを書に記録した。³⁰ [だからわれらは言うであろう]、「ならば、[あなた方の悪行の果実を]味わえ。今やわれらはあなた方にますますの苦しみ以外は何も与えないであろう!」

³¹ 神を心に留める者たちについては、彼らはきっと勝利するであろう。³² 彼らには園とブドウ畑、³³ そして同い年の若い乙女たち、³⁴ そして溢れる杯があるであろう。³⁵ そこでは彼らは虚しい話も嘘も聞かないであろう。³⁶ これらすべては報いであり、あなた方の主からの、彼らには十分な贈り物となるであろう。³⁷ 天と地とそれらの間にあるすべての

ものの維持者、最も慈悲深いお方[であり]、彼に声を上げる力を持つ者は誰もいない。³⁸ 霊と天使たちが列をなして立つ日、慈悲深い主が許可を与えた者、そして正しいことだけを言う者以外は、誰も話さないであろう。³⁹ その日は必ず来る。だから望む者は誰であれ、彼の主に向かう道をとるがよい。⁴⁰ われらはあなた方に、間近に迫った懲罰を警告した。人間が自分の手が先に送ったものを[はっきりと]見る日、そして真理を否定した者が「ああ、塵になっていたらよかったのに!」と言う日。

79. 引き抜く者たち (アン・ナーズィアト)

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ 猛烈に引き抜く[風]にかけて、² そして穏やかに吹く者たちにかけて、
³ そして静かに泳ぐ[雲]にかけて、⁴ そして突然彼らを追い抜く者たちにかけて、⁵ そして出来事を司る者たちにかけて!⁶ 激しい痙攣が[世界を]痙攣させる日、⁷ さらなる[痙攣]がそれに続くであろう。⁸ 心臓は鼓動し、⁹ 目はうつむくであろう。¹⁰ 彼らは言う、「何だと? 私たちが腐敗した骨になった後で、¹¹ 本当に生き返らされるのか?」¹² そして彼らは言う、「それは実に損失の帰還であろう。」¹³ しかし、かかるのはただ一つの爆音であり、¹⁴ 見よ! 彼らは皆、公然と現れるであろう。

¹⁵ あなたはモーセの物語を聞いたか?¹⁶ 彼の主が聖なるトゥワの谷で彼に呼びかけ、¹⁷ [言った]、「ファラオのところへ行きなさい。彼はすべての限界を超えた。¹⁸ そして言え、『あなたは改心する気はないか?』¹⁹ 私はあなたをあなたの主へ導き、彼を畏れるようになるのを望むか?』と。」²⁰ モーセは彼に大いなるしるしを示したが、²¹ 彼はそれを否定し、[信仰を]拒否した。²² その後彼は急いで背を向けた。²³ そして彼は彼の民すべてを召集し、²⁴ 宣言した、「私こそがあなた方の至高の主だ」と。²⁵ しかし神は彼を捕らえ、彼に現世と来世の両方の懲罰を下した。
²⁶ 確かにこれには、神を畏れる者への教訓がある。

²⁷ [おお人間たちよ!] 彼が築いた天よりも、あなた方を創造する方

がより困難か?²⁸ その円蓋を高く上げ、それを完璧に形作り、²⁹ そしてその夜を暗くし、その朝の光をもたらし、³⁰ そして彼が敷き広げた大地も、³¹ その後そこから水と牧草地を生み出し、³² そして山々を堅固にした。³³ [これらすべては]あなた方とあなた方の動物のための糧の手段としてである。

³⁴ 大いなる圧倒的な出来事が訪れる時、³⁵ 人間が彼が努力したものを思い出す日、³⁶ そして地獄がすべての人に見える日、³⁷ 傲慢に行動した者は誰であれ、³⁸ そしてこの世の生を好む者は、³⁹ 自分が地獄の中にいるのを見出すであろう。⁴⁰ しかし彼の主の御前に立つことを恐れ、卑しい欲望から自らを抑制した者は、⁴¹ 樂園に住むであろう。⁴² 彼らはあなた[預言者よ]に、裁きの時について尋ね、「いつそれが起こるのですか?」と言う。⁴³ あなたにそれが言及されたことと何の関係があるのか?⁴⁴ あなたの主のみが、それがいつ来るかを知っている。⁴⁵ あなたは、それを恐れる者たちへの警告者にすぎない。⁴⁶ 彼らがそれを見る日、彼らはまるでこの世で一晩か一朝しか滞在していなかったかのようを感じるだろう。

80. 彼が顔をしかめた (アバサ)

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ 彼は顔をしかめ、背を向けた。² 盲目の男が彼に近づいた時である。
³ なぜなら、どうしてあなたが、彼が自分を清めようとするかもしれないこと、⁴ あるいは心に留め、(われらの)警告から益を得るかもしれないことを知ることができようか?⁵ 無関心であった者については、⁶ あなたは熱心に彼に注意を払った—⁷ たとえ彼が自分を清めなかったとしても、あなたは非難されるべきではない—⁸ しかし、あなたのもとへ熱心に来る者、⁹ そして神を畏れて来る者については、¹⁰ あなたは彼に耳を傾けない。¹¹ 確かに、この[クルアーン]は訓戒である。¹² 望む者は誰であれ、それに耳を傾けるがよい。¹³ それは榮譽ある紙片に記され、¹⁴ 崇

高で清められている。¹⁵ 書記の手によって、¹⁶ 崇高で清められている。
¹⁷ 人間には災いあれ!彼はなんという恩知らずであることか!¹⁸ 何から彼を創造されたのか?¹⁹ 精液の一滴から!彼は彼を創造し、形作り、
²⁰ 彼の道を彼にとって容易にした。²¹ それから彼は彼を死なせ、埋葬させた。²² その後彼が望む時、彼は彼を再び生へと戻すであろう。²³ しかし人間は彼の命令を行うことを拒む。²⁴ 人間は彼が食べる食物について熟考するがよい。²⁵ われらは雨を豪雨で降らせ、²⁶ その後大地を裂き開いた。²⁷ われらはそこから穀物を、²⁸ そしてブドウの木と野菜を、
²⁹ そしてオリーブの木とナツメヤシの木を、³⁰ そして茂った囲まれた園を、
³¹ そして果物と飼料を生えさせた。³² あなた方とあなた方の家畜が享受するための糧として。

³³ しかし、耳をつんざく爆音が鳴らされる時、³⁴ その日、人は自分の兄弟から逃げ、³⁵ 自分の母、自分の父から、³⁶ 自分の妻、そして自分の息子から逃げるであろう。³⁷ その日、彼らの一人一人は、自分自身のことと十分な心配を抱えるであろう—³⁸ その日、ある顔は輝き、³⁹ 笑い、喜ぶであろう。⁴⁰ しかしある顔は塵に覆われ、⁴¹ 憂鬱で曇るであろう。
⁴² これらの者たちこそ、真理を否定し、不正に深く浸った者たちである。

81. 巻き上げる (アッ・タクウィール)

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ 太陽が巻き上げられる時、² そして星々がその光を失う時、³ そして山々が動かされる時、⁴ 妊娠十ヶ月のラクダが放置される時、⁵ そしてすべての獣が共に集められる時、⁶ そして海が燃やされる時、⁷ 魂が異なる階級に分けられる時、⁸ そして生き埋めにされた女兒が尋問される時、⁹ どの罪のために彼女が殺されたのか、¹⁰ 人間の行いの記録が開示される時、¹¹ 空が覆いを剥がされる時、¹² そして地獄が燃え盛る時、¹³ そして楽園が近づけられる時、¹⁴ [その時]すべての魂は、自分が何を先に送ったかを知るのであろう。

¹⁵ 私は後退する星にかけて誓う。¹⁶ その軌道を走り、沈む惑星にかけて、¹⁷ そして降りる夜にかけて、¹⁸ そして朝の最初の息吹にかけて。¹⁹ 真に、これは高貴な使徒によってもたらされた言葉である。²⁰ 力が与えられ、玉座の主の御前で榮譽を保つ者によって—²¹ 彼はそこで従われ、信頼に値する。²² あなたの仲間は憑かれた者ではない。²³ 彼は真に、明確な地平線上で彼[天使]を見た。²⁴ 彼は不可視のものに対して貪欲ではない。²⁵ また、これは追放された悪魔の言葉でもない。²⁶ だからどこへあなた方は行くのか?²⁷ これは全人類への単なる戒めである。²⁸ あなた方の中でまっすぐな道を歩みたいと願う者すべてに。²⁹ しかし、万有の主である神がそう望まない限り、(その道)を望むことはできないであろう。

82. 裂け開く (アル・インフィタール)

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ 空が裂け開かれる時、² そして星々が散らばる時、³ 海が溢れ出す時、⁴ そして墓が開かれる時、⁵ その時誰もが、自分が何を先に送り、何を後に残したかを知るであろう。⁶ おお人間よ!何があなたを、あなたの豊かさあふれる維持者から誘い出すのか、⁷ あなたを創造し、あなたを形作り、あなたを適切な比率にした彼から。⁸ 彼が喜んだどのような形でも?⁹ それでもあなた方は最後の審判を否定する。¹⁰ 確かに、あなた方を見守る番人たちがいる。¹¹ 高貴な記録者たち、¹² あなた方がなすすべてを知っている。^a ¹³ 徳のある者たちは至福の中で暮らすであろう。¹⁴ 一方、邪悪な者たちは地獄の中にいるであろう。¹⁵ 彼らは裁きの日、そこへ入るであろう。¹⁶ そしてそこから逃れることはできないであろう。¹⁷ 最後の審判の日が何であるかを、何があなたに理解させるだろうか?¹⁸ 再び、何があなたに最後の審判の日が何であるかを理解させる

a 彼らは、人間がなすことすべてを知り、それを書き留める二人の天使である。

だろうか？¹⁹ それは、いかなる人間も、他のいかなる人間のために微塵も役立たない日となるであろう。神[のみ]がその日、支配権を握るであろう。

83. 測りをごまかす者たち（アル・ムタッフィーン）

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ 災いあれ、測りをごまかす者たちに。² 彼らは他人から(物を)受け取る時には、満たして要求する。³ しかし他人に対して測りや重さで与える時には、彼らはごまかす。⁴ このような人々は、自分たちが起こされるであろうことを認識していないのか、⁵ 恐るべき日に。⁶ 人類が万有の主の前に立つ日。⁷ 確かに！悪しき者たちの記録はスィッジーンの中にある—⁸ そして何がスィッジーンが何であることをあなたに理解させるだろうか？—⁹ それは書かれた記録である。¹⁰ その日、拒絶する者たちに災いあれ、¹¹ 審判の日を否定する者たちに。¹² 邪悪な侵略者以外には、誰もそれを否定しない。¹³ われらの啓示が彼に伝えられると、彼は言う、「昔の寓話だ！」¹⁴ いや！彼ら自身の行いが、彼らの心に覆いをかけたのだ。¹⁵ 確かに！その日、彼らと彼らの主の間には障壁が設けられるであろう。¹⁶ その後、彼らは地獄の火に入るであろう。¹⁷ そして彼らは言われるだろう、「これこそがあなた方が嘘だと見なしていたものだ。」

¹⁸ しかし、義しい者たちの記録はイッリーユーンに[保存されている]—¹⁹ そして何がイッリーユーンが何であることをあなたに理解させるだろうか？—²⁰ 書かれた記録である、²¹ 神に最も近い天使たちが証言する。²² 徳のある者たちはきっと至福の中にいるであろう。²³ 長椅子に座り、驚きをもって周りを見渡す。²⁴ あなた方は彼らの顔に至福の輝きを見出すだろう。²⁵ 彼らは封印された清らかなワインを飲むであろう。²⁶ その封印はムスクである—これのためにこそ、熱望する者たちは熱望すべきである—²⁷ タスニームの水で調整されたワイン、²⁸ 神に近づけられた者たちが飲む泉である。

²⁹ 悪しき者たちは信者たちを嘲笑していた—³⁰ 彼らが彼らのそばを通り過ぎる時、彼らは互いにウィンクした。³¹ そして彼らが自分たちの民の元に戻る時、彼らは彼らについて冗談を言って話した。³² そして彼らが彼らを見た時、[嘲笑して]言った、「これらの男たちはきっと道を誤ったのだ」と。³³ 彼らは彼らの守護者として送られたわけではなかったが—³⁴ だから今日、信じる者たちは、真理を否定した者たちを笑うことができるであろう。³⁵ 長椅子に座って、周りを見渡ししながら。³⁶ 真理を否定する者たちは、彼らの行いの報いを受けなかったとでも？

84. 裂け開く (アル・インシカーク)

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ 空が裂け開かれる時、² そしてそれがその主に従うべきように従う時、
³ 地が平らになり、⁴ その中にあるすべてのものを吐き出し、空っぽになるとき、⁵ そしてそれがその主に従うべきように従う時、⁶ おお人間よ、あなたの主に向かって懸命に努力したのだから、あなたは彼に出会うであろう。⁷ その記録を右手に与えられた者は、⁸ 容易な清算を受けるであろう。⁹ そして彼は喜んでその民の元に戻るであろう。¹⁰ しかし、その記録が背中から与えられる者については、¹¹ 彼は完全な破滅を祈り求めるであろう。¹² そして彼は燃え盛る炎の中に入るであろう。¹³ 彼はかつてその民として幸福であった。¹⁴ なぜなら彼は、[神の元に]戻らなければならないと決して思わなかったからである。¹⁵ しかし彼はきっと戻るだろう！彼の主は常に彼を見守っていたのだ。¹⁶ 私は日没の輝きにかけて誓う。¹⁷ 夜とそれが覆うものにかけて、¹⁸ そして月が満月になる時、
¹⁹ あなた方は段階から段階へと進んでいくであろう。²⁰ 彼らが信じないのはなぜか？²¹ クルアーンが彼らに読まれる時、なぜ彼らはひれ伏さないのか？²² 確かに、真理を否定することに固執する者たちはそれを拒絶する—²³ 神は彼らが心に何を蓄えているかをよく認識しておられる。²⁴ だから、彼らに苦痛な懲罰の知らせを与えなさい。²⁵ しかし信じ、

善行を行う者たちについては、彼らには終わりのない報いがあるであろう。

85. 星宿 (アル・ブルージュ)

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ 星宿を持つ空にかけて、² そして約束された日にかけて、³ 証人と証言されるものにかけて、⁴ 溝の民は滅ぼされた、⁵ 燃料をくべた火の製造者たち。⁶ 彼らはそのそばに座り、⁷ 信者たちに何をしていたかを見ていた。⁸ 彼らが神、全能にして称賛されるべきお方を信じたという理由以外に、彼らが彼らを憎んだ理由は何もなかった。⁹ 天と地の王国は彼に属する。神はすべてのことに対する証人である。¹⁰ 信じる男女を迫害し、その後悔い改めない者たちは、きっと地獄の懲罰と燃え盛る責め苦を受けるであろう。¹¹ しかし信じ、善行を行う者たちは、川が流れる園で報われるであろう。それが最高の勝利である。¹² あなたの主の掌握は実に厳しい—¹³ 創造を開始し、それを繰り返すのは彼である—¹⁴ そして彼は許し深く、愛する方である。¹⁵ 栄光の玉座の主、¹⁶ 彼自身の意志を実行する者である。¹⁷ あなたは軍勢の物語を聞かなかったか、¹⁸ ファラオとサムードの？¹⁹ それでも真理を否定する者たちは否定に固執する。²⁰ 神は彼らをあらゆる方向から包摂している。²¹ それは実に栄光あるクルアーンであり、²² 保存された石板に書かれている。

86. 夜に来るもの (アッ・ターリク)

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ 天にかけて、そして夜に来るものにかけて—² そして何が夜に来るものが何であるかをあなたに理解させるだろうか？³ それは輝く星である—
⁴ [なぜなら]人間は誰も守られていないままにされているわけではないからである。⁵ 人間は自分が何から創造されたかを熟考すべきである。

⁶ 彼は迸り出る液体から創造された、⁷ 背骨と胸骨の間から発せられる。⁸ 彼は確かに彼を再び生へと戻す力を持っている。⁹ 秘密が開示される日、¹⁰ [人間]には何の力もなく、何の助け手もないだろう。¹¹ 常に回る天にかけて、¹² 新しい成長で裂け開く地にかけて。¹³ それは確かに決定的な言葉である。¹⁴ そして軽く扱われるべきものではない。¹⁵ 彼らは策略を計画している。¹⁶ そして私も同様である。¹⁷ だから真理を否定する者たちに耐え、彼らをしばらくの間放っておきなさい。

87. 至高 (アル・アラー)

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ あなたの主、至高なる方の御名を讃美しなさい。² すべてのものを創造し、それらに適切な比率を与え、³ 存在するもの[すべて]の性質を決定し、それに従って導き、⁴ 緑の牧草地を生み出し、⁵ その後それを黒い切り株に変える方。⁶ [おお預言者よ!]われらはあなたにクルアーンを朗読させるので、あなたは何も忘れないであろう—⁷ 神が御心であるものを除いては。彼は明白なものも隠されたものも知っている—⁸ われらはあなたのために容易な道を容易にするであろう。⁹ もし訓戒が益となるなら、忠告しなさい。¹⁰ 神を畏れる者は訓戒に耳を傾けるであろう。¹¹ しかし最も不幸な者たちには無視されるだろう。¹² 彼らは大いなる火に入るであろう。¹³ そこで彼は死ぬことも生きることもないだろう。¹⁴ 自分を清める者は成功するであろう。¹⁵ 彼の主の御名を思い出し、祈りを捧げる者。¹⁶ しかしあなた方はこの世の生を好む。¹⁷ 来世の方がより良く、より永続するのに。¹⁸ これは確かに以前の聖典に教えられていることである—¹⁹ アブラハムとモーセの聖典に。

88. 圧倒的な出来事 (アル・ガーシャ)

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ 圧倒的な出来事について聞いたか?² その日、ある顔はうなだれ、³ 骨折り、疲れ果て、⁴ 燃え盛る火に入るであろう。⁵ そして煮え滾る泉から飲まされるであろう。⁶ 彼らにはとげのある食物以外には食べ物がない。⁷ それは養いにもならず、空腹を満たしもしない。⁸ その日、ある顔は輝き、⁹ その努力の結果に大いに満足しているであろう。¹⁰ 崇高な園で、¹¹ 彼らは虚しい話を聞かないであろう。¹² 流れる泉と共に、¹³ 高い寝椅子、¹⁴ 準備されたゴブレット、¹⁵ 並べられたクッション、¹⁶ そして広げられた絨毯がある。¹⁷ 彼らはラクダについて、いかにそれが創造されたか、熟考しないのか、¹⁸ そして空について、いかにそれが高く上げられたか、¹⁹ そして山々について、いかにそれがしっかりと設置されたか、²⁰ そして大地について、いかにそれが広げられたか?²¹ だから、[おお預言者よ]彼らを励ましなさい。あなたの任務はただ励ますことだけである。²² あなたは彼らの管理人ではない。²³ しかし背を向け、真理を否定する者は誰であれ、²⁴ 神によって最大の懲罰で罰せられるであろう。²⁵ 確かに、彼らが戻るのはわれらの元である。²⁶ その時、彼らに責任を問うのは確かにわれらの役目である。

89. 暁 (アル・ファジュール)

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ 暁にかけて、² 十夜にかけて、³ 偶数と奇数にかけて、⁴ そして過ぎゆく夜にかけて、⁵ これに理知ある人への強力な証拠はないだろうか? ⁶ あなたの主がアード族にどう対処されたか聞いたことはないか、⁷ 柱の多い都市、イラムの人々。⁸ そのようなものは、その土地でこれまでに創造されたことはなかった。⁹ そして谷で(巨大な)岩を切り出したサムード族に、¹⁰ そして杭のファラオに?¹¹ 彼らは皆その土地で度を越し、¹² そ

の中で多くの腐敗を引き起こした。¹³ そこであなたの主は彼らに懲罰の災厄を解き放った。¹⁴ なぜなら、確かに、あなたの維持者は常に監視しておられるからである!¹⁵ 人間については、彼の主が彼を、名誉と祝福を通して試す時、彼は「私の主は私を尊んでくださった」と言う。¹⁶ しかし、彼が彼を、彼の生活の糧を狭めることで試す時、彼は「私の主は私を辱めた」と言う。¹⁷ いや、決してそうではない。しかしあなた方は孤児に何の親切も示さず、¹⁸ 互いに貧しい者に食事を与えることを促さず、¹⁹ そして貪欲に弱い者の相続財産をむさぼり食い、²⁰ そしてあなた方は決して満たされることのない富への愛を持っている。²¹ いや、決して!大地が粉々に砕かれ、塵になるとき、²² あなたの主が天使たちと共に、層をなして来るとき、²³ そしてその日、地獄が現されるとき、その時人間は心に留めるだろう。しかしその時、心に留めることが彼に何の役に立つだろうか?²⁴ 彼は言うだろう、「ああ、私の人生のためにあらかじめ備えをしていたらよかったのに!」²⁵ その日、彼が罰するように罰する者は誰もいないであろう。²⁶ そして彼が縛るように縛ることは誰にもできないであろう!²⁷ [しかし義しい者には、神は言うだろう]、「おお、安らかな魂よ、²⁸ 満足し、満足させられながら、あなたの主の元に戻りなさい。²⁹ 私の僕たちに加わりなさい。³⁰ 私の樂園に入りなさい。」

90. 都市 (アル・バラド)

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ 私はこの都市にかけて誓う—² そしてあなたは、この都市に住んでいる—³ そして父と子孫にかけて、⁴ われらは人間を労苦と試練の生活の中に創造した。⁵ 彼は誰も彼に力を持たないと考えるのか?⁶ 彼は言う、「私は莫大な富を費やした。」⁷ では、彼は誰も自分を見ていないと考えるのか?⁸ われらは彼に二つの目、⁹ そして舌、そして一對の唇を与えなかったか、¹⁰ そして二つの道を示さなかったか?¹¹ しかし彼は急な坂道を試みなかった。¹² 何が急な坂道が何であるかをあなたに理解させ

るだろうか？¹³ それは奴隷を解放することである。¹⁴ あるいは飢饉の時に食事を与えること、¹⁵ 親族の孤児に、¹⁶ あるいは苦境にある困窮者に、¹⁷ そして信じる者たちの一員となり、互いに堅固さと思いやりを促すことである。¹⁸ これを行う者たちは、右手の者たちである。¹⁹ そして、われらの啓示の真理を否定することに固執する者たちは、左手の者たちである。²⁰ そして業火が彼らを包み込むであろう。

91. 太陽 (アッ・シャムス)

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ 太陽とその昇る輝きにかけて、² そしてそれに続く月にかけて、³ そしてその栄光を明らかにする昼にかけて、⁴ そしてそれがそれを覆い隠す夜にかけて、⁵ 空と、いかに彼がそれを築いたかにかけて、⁶ そして地と、いかに彼がそれを広げたかにかけて、⁷ 魂と、いかに彼がそれを形作ったかにかけて、⁸ それからそれに、それが正しいことと間違っていることを理解するよう靈感を与えた。⁹ それを清める者は、きっと成功するであろう。¹⁰ そしてそれを墮落させる者は、きっと失敗するであろう。¹¹ サムード族は、その傲慢さのゆえに真実を拒絶した。¹² 彼らの中で最も邪悪な男が立ち上がった時に。¹³ その時、神の使徒は彼らに言った、「これは神の雌ラクダだ。彼女に飲ませなさい。」¹⁴ しかし彼らは彼を嘘つきと見なし、雌ラクダの腱を切った。そこで彼らの主は彼らの犯罪のために彼らを滅ぼし、彼らの都市を地面まで平らにした。¹⁵ 彼はその結果を恐れなかった。

92. 夜 (アル・ライル)

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ 闇で(大地を)覆い隠す夜にかけて、² そして光り輝くように現れる昼にかけて、³ そして男性と女性の創造にかけて。⁴ おお人間たちよ、あな

た方は本当に最も多様な目的のために努力している!⁵（他者に）与え、神を畏れる者については、⁶ そして正しいことの真実を信じる者については、⁷ われらは彼の道を安楽へと舗装するであろう。⁸ しかしけちで無頓着な者については、⁹ そして正しいことを拒絶する者については、¹⁰ われらは彼の道を困難へと舗装するであろう。¹¹ そして彼が（穴に）落ちる時、彼の富は彼に何の利益にもならない。¹² 確かに、導きを提供するのはわれらの役目である—¹³ そして来世と現在の世はわれらのものだ—¹⁴ 私はあなた方に燃え盛る火について警告した。¹⁵ 最も邪悪な者以外は誰もそこに入らないであろう。¹⁶（真実を）否定し、背を向けた者。¹⁷ 神を畏れる者はそこから遠ざけられるであろう—¹⁸ 自分の富を清められるために与える者、¹⁹ そして報われるべき、誰にも何の恩義も負わない者。²⁰ ただ彼の主、至高なるお方のために行動する者。²¹ そして間もなく彼は大いに満足するであろう。

93. 輝かしい朝の光（アッ・ドゥハー）

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ 輝かしい朝の光にかけて、² そしてそれが暗くなる夜にかけて、³ あなたの主はあなたを見捨てたこともなければ、あなたに不満を持ったこともない。⁴ そして来世は確かに、あなたにとって現世よりも良いであろう。⁵ 間もなくあなたは、あなたの主が与えるものに満足するであろう。⁶ 彼はあなたを孤児で見つけ、あなたを保護しなかったか？⁷ 彼があなたをさまよっているのを見つけ、あなたに導きを与えなかったか？⁸ 彼があなたを困窮しているのを見つけ、あなたを困窮から解放しなかったか？⁹ したがって、孤児を厳しく扱ってはならない。¹⁰ そして助けを求める者を叱ってはならない。¹¹ しかしあなたの主の祝福を宣言しなさい。

94. 安らぎ (アッ・シャルフ)

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ われらはあなたの心を持ち上げなかったか、² そしてあなたの重荷を取り除かなかったか、³ あなたの背中に重くのしかかっていたそれを、
⁴ そしてあなたに高い名声を与えなかったか？⁵ だから、確かに、すべての困難には安楽がある。⁶ 確かに、すべての困難には安楽がある。⁷ だから、あなたが自由になったら、懸命に努力し、⁸ そしてあなたの主へと(すべての)注意を向けなさい。

95. イチジク (アッ・ティーン)

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ イチジクとオリーブにかけて、² そしてシナイ山にかけて、³ そしてこの安全な土地にかけて、⁴ われらは確かに人間を最良の鋳型で創造した。⁵ その後われらは彼を最低の者として投げ落とした、⁶ 信じ、善行を行う者たちを除いては—彼らには終わりのない報いがあるであろう！
⁷ この後、何があなたに最後の審判を否定させることができるのか？⁸ 神は最も偉大な裁き手ではないか？

96. 血塊 (アル・アラク)

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ 読め！創造されたあなたの主の御名において。² 人間を血塊から創造された。³ 読め！あなたの主は最も寛大な方である。⁴ 彼は筆によって教え、⁵ 人間が知らなかったことを教えた。⁶ しかし人間は傲慢に振る舞う、⁷ 自分自身が自給自足だと考えるからである。⁸ 真に、すべてはあなたの主のもとに帰るであろう。⁹ あなたは、妨げる者を見たか、¹⁰ 崇拜者が祈るのを？¹¹ あなたは彼が正しく導かれているかと思うか、¹² ある

いは真の敬虔さを命じるか？¹³ あなたは彼が真理を否定し、それから背を向けたのを見るか？¹⁴ 彼は神がすべてのことを見ていることを知らないのか？¹⁵ 彼に用心させよ！もし彼がやめないなら、われらはその前髪を掴んで引きずるであろう—¹⁶ 彼の嘘つきで罪深い前髪を。¹⁷ その時、彼に彼の仲間を呼ぶようにさせよ。¹⁸ われらは地獄の番人を召喚するであろう。¹⁹ いや、決して！彼に従ってはならない。しかしひれ伏し、神に近づきなさい。

97. 定命の夜（アル・カドル）

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ われらはそれを[クルアーンを]定命の夜に下した。² そして定命の夜が何であるかを、何があなたに理解させるだろうか？³ 定命の夜は千ヶ月よりも優れている。⁴ その夜、天使たちと霊が、その主の許可によって、すべての事柄に関する彼の定めと共に下りてくる。⁵ それは夜明けまで、すべてが平安である。

98. 明確な証拠（アル・バイイナ）

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ 聖典の民の中から、そして多神教徒の中から、真理を否定する者たちは、明確な証拠を受け取るまで、不信仰をやめないであろう—² 神からの使徒、彼らに清らかな聖典を朗読し、³ 正しい戒律を含む。⁴ 書を与えられた者たちは、明確な証拠が彼らに与えられた後で以外には、分裂しなかった。⁵ 彼らは、神を崇拝し、彼に誠実な献身を捧げ、信仰に誠実であり、定期的に祈り、施しを与えることだけを命じられた。それが正しい宗教だからである。⁶ 聖典の民の中から、そして多神教徒の中から、真理を否定する者たちは、永遠に地獄の火の中に住むであろう。彼らは最も邪悪な被造物である。⁷ 真に、信じ、善行を行う者たちは、最も良い被

造物である。⁸ 神は彼らのために報いを用意している。川が流れる永遠の園。彼らはそこに永遠に住むであろう。神は彼らに大いに満足し、彼らも神に大いに満足している。このようにして神を畏れる者たちは報われるであろう。

99. 地震 (アッ・ザルザラ)

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ 地が激しく揺さぶられる時、² 地がその重荷を振り払う時、³ 人間が「彼女に何が起きているのか？」と尋ねる時、⁴ その日、それはその記録を語るであろう。⁵ あなたの主がそう命じたからである。⁶ その日、人々は別々のグループで前に出て、その行いを見せられるであろう。⁷ 善を原子の最も小さな粒ほどでもなした者は誰であれ、それを見るであろう。⁸ 一方、悪を原子の最も小さな粒ほどでもなした者は誰であれ、それを見るであろう。

100. 鼻息荒い馬 (アル・アーディヤート)

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ 鼻息荒い、喘ぐ馬にかけて、² そのひづめで火花を散らす、³ 夜明けに急襲するためにギャロップで走る、⁴ そして塵の雲を巻き上げ、⁵ 敵の真ん中に道を切り開く。⁶ 確かに、人間はその主に対して恩知らずである。⁷ 彼自身がそれに証言する。⁸ 確かに、彼は富への愛において熱心である。⁹ 彼が、墓の中にあるものが外に出される時を、¹⁰ そして心の臓にあるものが明るみに出される時を知らないとでも？¹¹ 確かに、その日、彼らは彼らの主が彼ら全員について完全な知識を持っていたことを知るであろう。

101. 打ち叩くもの (アル・カーリア)

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ 打ち叩くもの!² 打ち叩くものとは何か?³ 打ち叩くものが何であることを、あなたにどうして知ることができようか!⁴ [それは]人類が散らばった蛾のようになる日、⁵ そして山々が梳かれた羊毛の房のようになる[日]。⁶ その後、善行が秤で重い者については、⁷ 最も喜ばしい生活を送るであろう。⁸ しかし、その行いが秤で軽い者については、⁹ 深淵が彼の家となるであろう。¹⁰ これがどのようなものかを、何があなたに伝えるだろうか?¹¹ それは燃え盛る火である。

102. ますますの貪欲 (アッ・タカースル)

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ ますますの貪欲があなたを[神から]そらせた、² あなたが墓に達するまで。³ しかしあなた方は間もなく知るであろう。⁴ しかしあなた方は間もなく知るであろう。⁵ 罪悪を確信をもって知るなら、⁶ あなたは地獄の火を見るであろう。⁷ あなたはそれを確信の目で見ることになるであろう。⁸ その後その日、あなた方はあなた方の世俗的な恵みについて尋問されるであろう。

103. 時の経過 (アル・アスル)

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ 時の経過にかけて、² 人間は確かに損失の状態にある、³ 信じ、善行を行い、互いに真理に固執するよう諭し合い、互いに堅固であるよう諭し合う者たちを除いては。

104. 陰口を叩く者（アル・フマザ）

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ 陰口を叩く、欠点を見つける者すべてに災いあれ。² 財産を蓄え、それを数え続ける者、³ 自分の財産が自分を永遠に生きさせるだろうと考える者。⁴ 断じて違う！彼はきっと粉碎する責め苦に投げ込まれるであろう。⁵ その粉碎する責め苦がどのようなものであるか、あなたが理解できたらよいのだが。⁶ それは神によって燃やされた火である。⁷ 人間の心にまで達する。⁸ それはそびえ立つ柱の中で、あらゆる方向から彼らを包み込むであろう。

105. 象（アル・フィール）

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ あなたの主が象の民にどう対処されたかを見なかったか？² 彼は彼らの戦略を挫折させなかったか、³ そして彼らに向かって鳥の群れを送り、⁴ それが彼らに粘土の石を投げつけ、⁵ こうして彼らを、家畜によって刈り取られた切り株のようにしたのではないか？

106. クライシュ族（クライシュ族）

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ クライシュ族の安全のために、² 彼らが冬と夏の旅で得る安全。³ だから彼らにこの家の主を崇拜させなさい、⁴ 彼らを飢えから守り、彼らを恐怖から救った方を。

107. ささやかなもの (アル・マウーン)

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ 審判の日を否定する者を見たか？² 孤児を追い払い、³ 貧しい者に食事を与えることを促さない者。⁴ だから、祈る者たちに災いあれ。⁵ しかしその心が祈りの中にない者たちに。⁶ 他人に見せるためだけに物事を行う者たち。⁷ ごくささやかなものに対しても不親切な者たち。

108. 豊かな恵み (アル・カウサル)

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ われらはあなたに豊かな恵みを与えた。² あなたの主に祈り、彼のためだけに犠牲を捧げなさい。³ あなたを憎む者こそが、断ち切られた者である。

109. 真理を否定する者たち (アル・カーフィルーン)

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ 言え、「あなた方、真理を否定する者たちよ、² 私はあなた方が崇拝するものを崇拝しない。³ あなた方も私が崇拝するものを崇拝しない。⁴ 私はあなた方が崇拝するものを決して崇拝しないであろう。⁵ あなた方も私が崇拝するものを決して崇拝しないであろう。⁶ あなた方にはあなた方の宗教があり、私には私の宗教がある。」

110. 助け (アン・ナスル)

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ 神の助けと勝利が来る時、² そして人々が群れをなして神の宗教に入るのを見る時、³ その時、あなたの主を彼の讃美をもって称え、彼の赦しを請いなさい。彼は常に悔い改めを受け入れる準備ができています。

111. 撚り合わされた繊維（アル・マサド）

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ アブー・ラハブの両手が滅びるように、彼が破滅しますように。² 彼の富も、彼の利益も、彼には何の役にも立たない。³ 彼は間もなく燃え盛る火に入るであろう、⁴ そして燃料を運ぶ彼の妻も、⁵ その首に撚り合わされた繊維の縄を巻いて。

112. 純粹一性（アル・イフラス）

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ 言え、「彼こそ神、唯一である。² 神、自給自足なるお方。³ 彼は子をもうけず、また生まれもしなかった。⁴ そして彼に似るものは何もない。」

113. 夜明け（アル・ファラク）

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ 言え、「私は夜明けの主に避難を求める。² 彼が創造されたものの悪から、³ そして闇が降りる時の悪から、⁴ そして結び目に息を吹きかける者たちの悪から、⁵ そして嫉妬する者が嫉妬する時の悪から。」

114. 人々（アン・ナース）

慈悲深く、慈愛あまねきアッラーの御名において。

¹ 言え、「私は人々の主に避難を求める、² 人々の王に、³ 人々の神に、⁴ 忍び寄るささやき手の悪から、⁵ 人々の心にささやきかける者。⁶ ジンと人間の中から。」

索引

- アッラー, 6:29-36, 90-94
 アブラハム, 2:124-129,
 2:130-132, 2:135, 3:67,
 3:95
 アブラハム, 神の命令を果たし、主によって試される
 アダム, 2:30-38, 3:33-34,
 7:19-27, 18:50, 20:115-122
 アード族とサムード族,
 6:6-10, 7:73-79, 11:50-60, 25:38, 41:15-16,
 51:41-45
 アフマド, 61:6
 アル-アッラー, アル-ウッザ
 ー, マナート, 53:19-23
 アブー・ラハブ, 111:1-5
 信仰, 2:177, 60:8
 信仰, 敬虔な心に安らぎを与える, 48:4
 信仰, 増加する, 8:2
 信仰は、人間を真剣にさせる, 10:6
 天使, 2:16, 2:248, 8:9,
 13:13, 20:23
 天使, 権威を持って下りてくる, 25:25
 天使, 女性ではない, 43:19
 天使, 預言者に同行する,
 17:95
 契約, 3:81, 9:12
 契約の箱, 2:248
 慈悲, 3:8, 3:129, 6:12,
 6:147, 10:57
 慈悲, 慈悲深いお方,
 55:1-78
 クライシュ族, 106:1-4
 クルアーン, 啓示された書,
 6:19, 10:37
 クルアーン, 奇跡を生む,
 17:88
 クルアーン, 奇跡的な影響を持つ, 13:31
 クルアーン, 警告する, 14:52
 クルアーン, 朗読する, 73:4
 クルアーン, 真実を教える,
 12:111
 クルアーン, 正確な啓示,
 41:3
 クルアーン, 守護される, 15:9
 クルアーン, 理解する, 3:7
 クルアーン, 簡潔に語る,
 29:49
 クルアーン, 段階的に啓示される, 17:106, 25:32
 クルアーン, 指示, 6:151-152, 17:23-39
 クルアーン, 不安を伴わない, 20:2
 クルアーン, 平和的闘争,
 8:24
 クルアーン, 闇から光へと導く, 14:1
 啓示, 神から, 3:7
 啓示, 他の言語, 14:4
 啓示, 二つの部分から成る, 41:2
 知恵の書, 10:1
 知恵と知識, 12:22
 知恵と権威, 2:269
 ジン, 51:56
 ジンと人間, 地獄の燃料,
 7:179, 11:119
 ジンと人間, 神を崇拜するために創造される, 51:56
 ジハード (闘争), 4:74
 ジハード (闘争), 許される,
 22:39-40
 ジハード (闘争), 平和的、思想的, 9:5
 地獄, 3:19, 3:162, 4:145,
 11:16, 11:27, 11:119
 地獄, 燃料, 6:122, 11:119,
 21:98
 地獄, 恐怖, 4:10, 4:56
 地獄の門, 39:71
 地獄の番人, 74:30
 ジハード (闘争), 4:74, 9:5
 神の法, 4:13
 神の法, 変更されない, 48:23
 神の法, 破滅, 7:96
 神の祝福, 2:122, 5:4
 神の力, 2:106, 3:26, 6:17,
 35:1
 神の創造, 6:99, 11:7, 30:20-22, 35:1
 神の創造, 人間, 16:4, 23:12
 神の存在, 13:2
 神の裁き, 3:7, 3:19
 神の怒り, 1:7, 2:61, 3:112
 神の言葉, 3:19
 神の言葉, 完璧である, 6:115
 神の言葉, 記録される, 29:13
 神の言葉, 説かれる, 2:101
 神の約束, 13:31
 使徒, 3:81, 4:64, 4:80, 5:19
 使徒, 祝福された者, 4:114
 使徒, 人間, 14:11
 使徒, 殺される, 3:21
 使徒, 女性ではない, 3:19
 使徒, 預言者, 3:81
 使徒, 預言者たち, 2:285
 使徒, 嘲笑される, 6:10
 使徒, 誠実である, 3:81
 使徒, 敵対者を持つ, 6:112
 使徒, 義務, 9:104, 16:35
 使徒, 違いなし, 2:285
 使徒, 忍耐する, 6:34
 使徒, 勝利する, 37:172
 使徒, 役割, 42:48
 使徒, 言葉の力, 2:90
 使徒, 直接話す, 42:51
 預言者, 11:7, 14:10
 預言者たち, 21:7
 預言者たち, 家族を持つ,
 16:38
 預言者たち, 殺される, 3:21
 預言者たち, 罪を犯す者ではない, 26:14

夜と昼, 10:6, 13:3
 夜と昼, 交互に変わる, 39:5
 来世, 2:110, 3:14, 6:32,
 10:7, 13:18
 来世, 祝福, 14:14
 来世, 準備される, 2:25
 来世, 永遠の住処, 3:14
 来世, 最高の報い, 3:15
 ユダヤ人とキリスト教徒,
 2:113, 5:14
 ユダヤ人とキリスト教徒, 神
 の子供, 5:18
 ユダヤ人とキリスト教徒, 信
 仰, 3:113, 5:14
 ユダヤ人とキリスト教徒,
 友, 5:51
 ユダヤ人とキリスト教徒,
 敵, 5:82
 ユダヤ人とキリスト教徒, 異
 なる, 3:113
 来世, 3:14, 6:32, 10:7
 来世, 祝福, 14:14
 来世, 永遠の住処, 3:14
 来世, 最高の報い, 3:15
 ラマダン, 2:185
 礼拝, 2:110, 9:18, 17:78
 礼拝, 侮辱, 5:58
 礼拝, 妨げる, 2:205
 礼拝, 方法, 22:34
 礼拝, 時間, 2:103
 礼拝, 謙虚な態度, 3:32
 礼拝, 祈り, 2:183, 17:23
 礼拝, 絶えず行う, 3:113
 礼拝, 清潔, 5:6
 礼拝, 心, 2:238
 礼拝, 秘密, 4:108
 礼拝, 中間的な声, 17:110
 礼拝, 義務, 2:183
 礼拝, 意義, 2:238
 ルクマン, 31:12-19
 ロト, 7:80-84, 11:77-83,
 26:160-166
 ロウラン, 2:110
 ロウラン, 最後の預言者,
 3:19
 ロウラン, 神の言葉, 2:101
 ロウラン, 証言, 2:101
 ロウラン, 敵, 3:111
 ロウラン, 忠誠, 9:20

ロウラン, 不信者, 3:111
 ロウラン, 指導者, 2:124
 ロウラン, 人間の死, 2:113
 ロウラン, 約束, 2:193
 ロウラン, 役割, 42:48
 神は命じる「あれ!」、すると
 それは存在する, 2:117;
 16:40; 36:82; 40:68;
 真の比率で, 39:5;
 天と地の創造は人間の創造
 よりも偉大, 40:57, 79:27;
 目的, 51:56-58
 識別 (Criterion), 2:53; 8:29;
 21:48-50; 25:1
 ダッバーハ (終末の時),
 27:82
 ダフル, 人間 (アル・インサー
 ン) を見よ, S.76
 ダビデ, 6:84; 21:78-80;
 34:10-11; 38:17-26
 昼, 7:54; 22:47; 32:4-5;
 41:12, 70:4
 死者は生へと起こされる,
 6:36
 死, 神の許しによる, 3:145
 ザーリヤート, S.51
 ズル・キフル, 21:85; 38:48
 ズル・ヌーン (ヨナ), 21:87-
 88; 68:48-50
 ズルカルナイン, 18:83-98
 規律, 3:152; 61:4
 不和, 悪によって引き起こさ
 れる, 41:36
 離婚, 2:228-232, 236-237,
 241; 65:1-7
 結納金, 2:229, 236-237;
 4:4, 19-21, 25
 ドゥハー, S.93
 ドゥハーン, S.44
 大地, 別の地へと変わる,
 14:48;
 神の被造物のために備え
 られる, 15:19-20; 26:7;
 77:25-28;
 神の大地は広大, 29:56;
 人間にとって御しやすい,
 67:15;
 瘡癤は象徴, 99:1-6
 象の民, 105:1-5

イリヤース (エリヤ), 6:85;
 37:123-132
 エリシャ, 6:86; 38:48
 悪, 4:51-55, 123; 10:27-30;
 26:221-226; 42:36-39;
 私たち自身から来るが、善は
 神から来る, 4:79;
 人間を愚かにする, 6:71;
 公正に報いられる, 6:160;
 悪は悪を破壊する, 19:83;
 悲しき末路を迎える, 30:10,
 悪は悪を欺く, 59:15-17;
 善をもって悪を退ける,
 13:22; 23:96; 41:34
 目、耳、皮膚は罪人たちに對
 して証言する, 41:20-23
 信仰, 否定者, 2:6-7, 165-
 167;
 身代金は受け入れられない,
 5:36-37;
 自らの魂に對して嘘をつ
 く, 6:24;
 来世で真実を見る, 6:28-30;
 心は欺瞞に傾く, 6:113;
 行いの邪惡な結果を味わう,
 64:5-6;
 彼らのやり方と崇拜は拒絶さ
 れる, 109:1-6;
 するし, 2:165, 285;
 売り払う者, 3:77, 177
 ファジュル, S.89
 ファラク, S.113
 虚偽は減る, 21:18;
 51:8-11
 マッカでの飢饉, 23:75,
 44:10
 断食, 2:184-185, 187
 運命, 人間の運命は彼自身の
 首にある, 17:13
 ファトフ, S.48
 ファーティハ, S.1
 ファーティル, S.35
 神を畏れること, とは, 2:2;
 彼が畏れられるべきように,
 3:102;
 聖典の民とムスリムへの命
 令, 4:131;
 敬虔さと自制 (タフワ),
 47:17;

不可視のものを畏れる,
67:12;
彼の不満を畏れる, 70:27;
義しさ, 74:56
フィール, S.105
火, たとえ, 2:17-18;
モーセの神秘的な火, 20:10;
神の贈り物, 56:72-73
食物, 合法と不法, 2:168,
172-173; 5:1.3.5, 87-88;
6:118-119, 121, 145-
146; 16:114-118;
義しさよりも重要ではな
い, 5:93
禁じられたもの, 行為,
6:151-152; 7:33;
清く純粋なものは禁じられな
い, 7:32
赦し, 2:109; 4:48, 110, 116;
57:21;
信者の義務, 42:37, 40;
45:14;
信者による、聖典の民への赦
し, 2:109;
神による、神に神々を配する
こと以外の罪への赦し,
4:48, 110, 116;
赦しと正しいことを命じる,
7:199;
神はすべての罪を赦す,
39:53;
神は大罪と恥ずべき行為
を避ける者たちを赦す,
53:32;
赦しを求めることに最初に立
つ, 57:21
詐欺, 83:1-6
自由意志; 信じる強制はな
い, 10:99;
真実が提示され、受け入れ
られるか拒否されるか,
18:29;
神の意志によって制限さ
れる, 74:56; 76:29-31,
81:28-29;
公正な偏り, 82:7
友人, 3:28
果物と食事; 43:73; 47:15;
77:42-43

フルカーン, S.25
ガブリエル, 2:97, 98, 66:4
賭博, 2:219; 5:90
ガーシヤ, S.88
神, 万物の養育者, 1:2;
6:164;
守護者である主, 2:21-22;
見張り台の守護者, 89:14;
保護者, 2:257; 3:150; 22:78;
人間を守護者を置く, 6:61;
助け手, 3:150; 4:45; 11:51;
万物の創造者, 2:29, 117;
6:73;
すべてを創造し維持する,
7:54; 11:6-7; 13:16-17;
恵みの主, 3:174;
慈悲深い, 6:26; 5:74; 6:12,
54, 133;
最も親切, 9:117-118;
愛に満ちている, 85:14;
彼の愛は義しい者に授けられ
る, 19:96;
許し深い, 4:25, 26; 5:74;
導かれる, 6:71, 88; 92:12;
法を定め導きを受ける, 87:3;
平和の家へと招く, 10:25
神, 彼の恵み:
園と果物, 6:141;
家畜, 6:142;
逆境後の慈悲, 10:21;
陸と海を渡る, 10:22;
生と死, 10:31, 56; 22:6;
養育者と維持者, 10:32,
方向、癒し、導き、慈悲, 10:57;
天と地からの賜物, 14:32-
33;
数えきれない, 14:34; 16:18;
家畜とあなた方が知らないも
の, 16:5-8;
雨、穀物、果物, 16:10-11;
夜と昼、太陽、月、星々、天と地
からの賜物, 16:12-13;
海と船, 16:14; 17:66;
山、河、道, 16:15-16;
地と海を従わせる, 22:65;
天と地からの祝福, 23:17-
22;
長い預言者の列, 23:23

神は魂の声を聞き、人間を地
の相続者とする, 27:62;
闇を通して導き、風を先触れ
として送る, 27:63;
創造を開始し、それを繰り返
す、糧を与える, 27:64;
被造物を養う, 29:60-62;
雨を送り、地を生き返らせる,
29:63;
天と地、そのすべての産物を
作る, 31:10;
すべてのものをあなたのため
に従わせる, 31:20;
36:71-73; 45:12-13;
彼の慈悲、誰も差し止められ
ない賜物, 35:2-3;
命、穀物、果物、泉, 36:33-35;
地と天, 41:10-12; 51:47-48;
悔い改めを受け入れ、赦す,
42:25;
耳を傾け、増加させる,
42:26-28;
真珠と珊瑚, 55:22;
船, 55:24;
すべての被造物の必要を満
たす, 55:29,
事柄を処理する, 55:31;
小川と流れる水, 67:30;
天の天蓋に秩序と完璧を与
える, 79:27-28;
夜、その闇と輝き, 79:29;
広大な大地、その水分、牧草
地、山々, 79:30-33;
孤児の避難所, 93:6;
さまよう者の導き手, 93:7;
必要を満たす, 93:8;
命と死を与える, 3:156; 4:95;
15:23;
人間の魂を奪う, 39:42
神、彼のもとへすべての決
定のための問いが戻る,
3:109, 128;
彼のもとにすべての事柄が
向かう, 42:53;
彼のもとへが目標, 53:42;
彼のもとへすべてのものが帰
る, 96:8
神、彼の単一性, 2:163; 6:19;
16:22;

- 唯一であり、三位一体ではない、5:72;
 二つではない、16:51;
 息子はもうけていない、2:116; 6:100; 10:68;
 連れ合いも娘もない、6:100-101; 16:57;
 仲間はいない、6:22-23, 136-137, 163
 神、賢明、4:26; 6:18;
 最良の事柄の処理者、3:173; 73:9;
 最も高き、偉大、4:34; 87:1;
 抗し難い者、6:18, 61;
 彼が意図することをすべてなす者、85:16;
 力、2:284; 53:42-54; 85:12-16;
 自給自足、6:133;
 奉仕を評価する準備ができてい、14:5; 35:30; 64:7;
 最も忍耐強い、2:225, 235, 263; 3:155;
 最も賢明な裁き手、95:8;
 正義、21:47;
 決して不正ではない、4:40;
 最高の計画者、3:54, 13:42;
 悪から善を分離する、3:179;
 報復は迅速だが、許し深く慈悲深い、7:167; 13:6;
 精算は迅速、24:39;
 最良の決定者、10:109;
 慈悲を示す者の中で最高、13:109, 118;
 慈悲を示す者の中で最も慈悲深い、7:151; 12:64, 92; 21:83;
 彼に決定が委ねられる、42:10;
 力において至高、賢明、31:9; 39:1;
 すべての必要から自由、31:26; 35:15;
 すべての称賛に値する、31:26;
 赦しが豊か、63:32;
 生ける者、2:255; 40:65;
 永遠、命令は彼のもとにある、6:57; 13:41;
 神、栄光の玉座の主、9:129; 23:86; 40:15; 85:15;
 栄誉の玉座の主、23:16;
 天と地の神秘の主、16:77;
 力の主、51:58;
 二つの東と二つの西の主、55:17; 70:40; 73:9;
 暁の主、93:1;
 昇る階梯の主、70:3;
 天にも地にも、43:84;
 彼のもとへは終わりと始まりが属する
 神、彼の恵みは、人々が自身を変えない限り変わらない、7:53; 13:11;
 誤らせることはない、9:115;
 報酬を失わせることはない、すべてのことの証人、10:61;
 最も微細な神秘を理解する、67:14;
 本質、2:255; 3:2-3, 6, 18; 94:1-3;
 人間に近い、2:186;
 常に近い、34:50;
 真実、20:114;
 彼のもとに天と地の軍勢が属する、47:7;
 決定は変更不可能、6:34; 18:27;
 彼の言葉は成就する、6:115;
 いかなる視覚も彼を捉えることはできない、6:103;
 最も美しい御名、7:180;
 17:110; 20:8; 59:24;
 神、崇拜、2:114, 152;
 崇拜され、信頼されるべき、11:123;
 彼に捧げる誠実な献身、39:3-11; 40:14;
 私たちは彼を信頼する、67:29;
 彼の約束は真実、4:122; 14:47;
 彼の御顔を求める、6:52; 神、彼に人生を捧げる、6:162;
 謙虚に、恐れと切望をもって彼を呼びかける、7:55-56;
 彼を忘れてはならない、59:19;
 神に、あなたの注意を向けなさい、94:8;
 すべての被造物が彼について語る、13:12-13; 17:44; 24:41-46; 57:1;
 彼に称賛と栄光を、1:1; 17:111; 30:17-19;
 彼の言葉は尽きない、18:109; 31:27;
 彼を拒絶する者は神を傷つけない、47:32;
 彼を拒絶する者の描写、50:24-26;
 誰が彼の僕か、25:63-76;
 神に最も献身的な者、92:17-21;
 排他的な友好関係の主張は非難される、62:6;
 「神に満足させるため」、18:23-24
 ゴリアテ、2:249-251
 悪に代わる善、23:96; 28:54, 41:34
 福音、5:47
 ハディード、S.57
 ハッジ、巡礼を見よ
 ハッジ、S.22
 ハーマン、28:6, 38; 29:39; 40:36-37
 ハー・ミーム、S.41
 手と足が罪人に対して証言する、36:65
 ハーウカ、S.69
 ハールート、2:102
 ハシュル、S.59
 天国、園として、神に近い、川が流れる、永遠の家、3:15, 198;
 伴侶は清く聖なる、涼しい日陰、4:57
 義しい行いのため、4:124;
 真実から利益を得る、6:85;
 園、永遠、川が流れる、永遠の家、9:21-22;
 園、館、神の良き喜び、9:72;
 園、泉、平和と安全、何の苦痛もなく、疲れもない、15:45-48;

永遠の園、川、装飾品、玉座、
18:31; 22:23;
永遠の園、虚しい話はなく、平
和、糧、19:61-63;
歓待する家としての園、
32:19;
永遠の園、装飾品、悲しみが
取り除かれる; 労苦や疲
れはない、35:33-35;
喜び、仲間、涼しい日陰、玉
座; 求めるものすべて; 平
安、36:55-58;
果物; 名誉と尊厳; 園; 玉座;
杯; 清い女性、37:41-49;
最終的な帰還、永遠の園、安
楽、果物と飲み物、貞淑な
女性; 38:49-52;
高い館、川、39:20;
園、平和、永遠、歌う天使、
39:73-75;
園の牧草地、望むものすべ
て; 恵み、42:22;
恐れも悲しみもない; 園; 喜
び; 金の皿とゴブレット;
永遠、満足、43:68-73;
安全、園と泉、装飾品、伴侶、
果物、さなる死はない;
最高の達成、44:51-57;
園のたとえ、川、神の恵み、
47:15;
園; 平和と安全; 望むもの
すべて; 彼の御前で、
50:31-35;
園、幸福、食べ物と飲み物;
心の望みの成就; 園; 仲
間; 杯; 虚栄も嘘もない、
78:31-35;
園、79:41; 玉座;
顔に至福の輝き; 清らかなワ
イン; 泉、88:22-28,
喜び; 努力; 園; 虚栄なし; 泉;
玉座; クッション; 絨毯、
88:8, 16;
休息と満足、神のもとへ帰る;
大いに満足し、大いに満足さ
せられる
地獄、皮膚が焼かれ、新しくさ
れる、4:56;

蓄えと傲慢さは何の益にもな
らない、7:48;
宗教を娯楽とし、世俗の生に
欺かれた者たちのための
もの、7:51;
ジンと人間で満たされる、
11:119;
煮え滾る汚れた水を飲む、
14:16-17;
死が来るが、死ぬことはな
い、14:17;
足かせ、液体の靨青、火に覆
われた顔、14:49-50;
火の衣、煮え滾る水、鉄の槌、
22:19-22;
燃え盛る火、激しい、25:11-
12;
鎖に繋がれた罪人; 破滅を請
い願うが、破壊は繰り返さ
れる 25:13-14;
真理を否定する者たちは群
れをなして導かれる、以前
に警告されていた; 傲慢
な者の住処; 39:71-72;
口論と自責、40:47-50;
永遠に住む; 懲罰は軽減さ
れない; 圧倒的な絶望、
43:74;
神は不正ではない; 罪人た
ちは自らに不正、43:76;
無限の収容能力、50:30;
罪人はその印で知られる、
55:41;
彼らが否定した地獄; 煮え滾
る水、55:43-44;
火の爆風、煮え滾る水、黒い
煙の影、56:42-44;
その息を吸い込み、怒りで爆
発する、67:6-8;
左手に記録; 無益な後悔、
69:25-29;
彼を捕らえ、縛り、燃や
し、鎖で引きずり回す、
69:30-37;
何ものも存続させず、何もの
も放置しない、74:26-29;
待ち伏せ場所; 逸脱者たちの
目的地; 長い間住む; 涼し
さも飲み物もなく、煮え滾

る液体か、激しく冷たい飲
み物を味わう、78:21-25;
地獄の火がはっきりと見える
日、79:35-39;
罪人の心にある汚れ; 神の光
は彼らから覆い隠される;
火に入る、83:14-16;
屈辱的な顔、火に入る; 煮え
滾る水を飲む; 苦いダリー
の食物、88:2-7;
彼らは死ぬことも生きること
もない、20:74; 87:13;
そこには七つの門がある、
15:44,
永遠か? 11:107;
誰がそれを通り過ぎるのか?
19:71; 102:6
来世、虚偽ではない、6:31;
人間は神に出会わなければ
ならない、6:31;
その中の家、6:32;
神の怒り、6:40-41; 12:107;
平和の家、6:127;
不義を働く者は成功しない、
6:135;
預言者とメッセージが送られ
た者は尋問される、7:6;
行いは量られる、7:8-9;
来世を顧みなかった者には執
り成しはない、7:53;
火と園は永遠に続く、神
が望む場合を除いて、
11:107-108,
傲慢な者と弱い者、14:21;
不義を働く者は猶予を求め
る、14:44-46;
の家、28:83; 29:64,
銀と金よりも良い、43:33-35;
人々に否定される、50:12-14;
現世よりも良い、93:4
ヒジュール、S.15
フード、7:65-72; 11:50-60;
26:123-140
フード、S.11
フジュラト、S.49
フマザ、S.104
謙虚さ、4:42-43; 7:161;
57:16
フナイーン、9:25

- 偽善者たち、神と最後の日を信じない、2:8;
 自らを欺く、2:9;
 心に病がある、2:10;
 悪事を企む、2:11-12,
 愚か者で嘲笑者、2:13-15;
 導きを誤りと交換する、2:16;
 3:167-168;
 悪に頼る; 啓示から背を向ける; 不幸に捕らえられた時に来る;
 彼らから距離を置き、忠告されるべき、4:60-63
 イブラーヒーム、アブラハムを見よ
 イブラーヒーム、S.14
 イッダ、2:228, 231-232, 234-235; 33:49
 イドリース、19:56-57; 21:85
 イフラス、S.112
 イッリーユン、83:18-21, 不道徳、4:15-18
 イムラーンの家族、3:35
 インフィタル、S.82
 相続、2:180, 240; 4:7-9, 11-12
 傷害、赦しまたは自衛、42:39
 人間、ダフルを見よ、S.76
 インシカーク、S.84
 インシラーフ、シャルフを見よ、S.94
 靈感、17:85-87; 40:15, 42:3, 7, 51-53
 執り成し、6:51, 70; 10:3; 19:87; 39:44
 イクラー、アラクを見よ、S.96
 イラム、89:7
 イサク、6:84; 21:72; 37:112-113
 イスラム、6:14, 163; 39:12; 9:100
 イスマーイール、2:125-129; 6:86; 19:54-55; 21:85
 イスラー、S.17
 イスラエルの子ら、2:40-86;
 恵み、2:47-53; 2:60, 122; 45:16-17;
 反抗、2:54-59, 61, 63-74;
 ムスリムとの関係、2:75-79;
 彼らの傲慢、2:80, 88, 91;
 彼らの契約、2:83-86, 93, 100; 5:12;
 二度の警告、17:4-8;
 敵から救われる、20:80-82;
 書と指導者が与えられる、32:23-25; 40:53-54;
 彼らの学識者はクルアーンが真実だと知っていた、26:197
 ヤコブ、2:132-133, 6:84; 19:49; 21:72
 ジャースィヤ、S.45
 イエス、義しい預言者、6:85;
 誕生、3:45-47; 19:22-23;
 イスラエルへの使徒、3:49-51;
 弟子たち、3:52-53; 5:111-115;
 召し上げられる、3:55-58; 4:157-159;
 アダムに似ている、3:59;
 十字架につけられていない、4:157;
 福音と共に送られた、5:46;
 神の子ではない、9:30;
 メッセージと奇跡、5:19:30-33;
 食物の食卓を祈り求める、5:114;
 神の助け手としての弟子たち、61:14;
 しるしとして、23:50; 43:61;
 アフマドを予言、61:6
 ユダヤ人とキリスト教徒、2:140; 4:153-161, 171; 5:18;
 イスラエルの子らを見よ
 ジン、S.72
 ジン、6:100; 15:27; 34:41; 46:29-32; 55:15
 ヨブ、6:84; 21:83-84; 38:41-44
 ヨハネ(洗礼者)、ヤヒヤを見よ
 ヨナ(ユヌス)、4:163; 6:86; 10:98; 37:139-148; 21:87
 ユースフ、6:84; その物語、12:4-101
 裁き、必ず来る、6:51; 6:128;
 突然に来る、7:187; 36:48-50;
 瞬間、16:77; 54:50;
 神のみが時を知る、33:63, 67:26; 79:42-46;
 近い、54:1-5;
 否定者、107:1-7
 裁きの日、報いはその時に完全に、3:185;
 地が変わり、人々が集められる; 行いの書、18:47-49;
 人々は波のように押し寄せ; ラッパが吹かれる; 真理を否定する者たちは見、聞く、18:99-101; 分派間の相違は解決される、
 信仰の欠如による苦悩、19:37-39;
 メッセージの拒絶者は重い重荷を負う、20:100-101;
 ラッパが鳴り響く; 罪人は恐怖; 間隔は短く感じられる、20:102-104;
 彼らは呼びかけ人に従う、足のつまずき; すべての音が謙虚になる; 20:108;
 許可なくして執り成しはない、20:109;
 義しい者には恐れはない、20:112;
 拒絶者は盲目になって起こされる、20:124-127;
 善人は何の悲しみも負わない、21:97-103;
 天は引き裂かれ; 天使が下りてくる; 主権は完全に神のもの、25:25-26;
 悪を行う者の後悔、25:27-30;
 罪人は絶望に; 仲介者なし、30:12-13;
 裁きが下される、36:51-54;
 善人には喜びと平和、36:55-58;
 悪に対する報復、37:37-39;
 神の僕らの幸福、37:40-61;

ザクームの木, 37:62-68;
 ラッパ; 天と地にあるすべての者が気絶; 第二のラッパ、蘇った地は神の栄光で輝く; 報い, 39:67-70;
 突然に; 友は敵に、義しい者たちを除いては, 43:66-67;
 神の信者には恐れはない, 43:68-69;
 虚偽を扱う者は滅びる; 義しい者は慈悲を得る, 45:27-35;
 避けられない; 天使たちが玉座を担う; 隠されたものはない; 善と悪が報われる, 69:13-37;
 空は溶けた真鍮のよう; 友は友を尋ねない; 悪人には救いなし, 70:8, 18;
 空は引き裂かれ, 73:17-18;
 ラッパ; 信仰のない者には苦難の日, 74:8-10;
 星は光を失う; 使徒が集まる; 振り分け, 77:7-15;
 真実の拒絶者に災いあれ, 77:29-50;
 振り分け; ラッパ; 天は開かれ; 山は消える; 78:17-20;
 霊と天使が列をなして立つ; 現実の日, 78:38-40;
 動揺と混乱, 79:6-9;
 ただ一つの叫び, 79:13-14;
 耳をつんざく音; 誰も他者のためにならない; 顔が輝く者、顔が塵に覆われる者, 80:33-42;
 太陽、星、山々、外界は変わる; 魂は振り分けられる; 天上の世界は覆いを剥がされる, 81:1-14;
 空は裂け開かれ; 星と海は散り; 墓はひっくり返され; 各々の魂は自らの行いを知る, 82:1-5;
 いかなる魂も他者のために何一つできない, 82:17-19

ジュディー山, 11:44
 ジュムア, S.62
 正義, 4:58, 65, および 105, 135, 7:29
 カアバ、アブラハムによって建てられる, 2:125-127;
 狩猟は禁止, 5:94-96
 カーフィルーン, S.109
 カフル、それと混ぜられた杯, 76:5
 カハフ, S.18
 カウサル (豊かな泉), 108:1-2
 カウサル, S.108
 天と地の鍵, 39:63; 42:12
 ハンダク (溝) の戦い, 33:9-20
 近親者、の権利, 2:83, 177, 4:7-9, 36; 8:41; 16:90; 17:26; 24:22; 42:23
 ラハブ、マサドを見よ, S.111
 ライル, S.92
 現世の生, 6:32; 57:20
 命は神聖, 17:33
 光、明白な, 4:174;
 と闇, 6:1;
 のたとえ, 24:35-36;
 信者たちの前と右を照らす, 57:12-15; 66:8;
 神によって与えられ、信者がまっすぐ歩めるように, 57:28;
 神の光は真理を否定する者から覆われる, 88:15
 貸付、神への、善良な, 2:245, と 57:11, 18; 64:17;
 78:20
 損失 (精神的), 39:15
 ナツメの木, 34:16; 53:14-18; 56:28
 ルクマン, 31:12; 彼の教え, 31:12-19
 ルクマン, S.31
 ルート (口ト), 6:86, 7:80-84; 11:77-83
 マアーリジ, S.70
 マディーナ, 33:9-27
 ミデアン, 7:85-93; 11:84-95; 29:36-37

マギ人 (マジューズ), 12:17
 マーイダ, S.5
 マッカ、バッカ, 3:96; 預言者との神秘的な関係, 90:1-4; 安全な都市, 95:3
 人間、地の相続者, 2:30; 6:165;
 神によって試される, 2:155; 3:186;
 義務, 4:1-36; 17:23-39; 29:8-9;
 塵から創造され、期間が定められる, 6:2; 15:26;
 責任を問われる, 6:44;
 神のもとへ帰る, 6:60, 72; 10:45-46;
 個人の責任, 6:164;
 恩知らず, 7:10; 36:45-47;
 サタンに対して警告される, 7:27;
 神を知るが、悪によって迷わされる, 7:172-175;
 と家族生活, 7:189-190;
 限られた自由意志, 10:99;
 困難の中での振る舞い, 10:12; 11:9-11; 16:53-55;
 神の霊が吹き込まれる, 15:29;
 卑しい起源だが恵みで祝福される, 16:4-8, 32:7-9; 35:11;
 彼の記録によって裁かれる, 17:71;
 彼の肉体的成長, 22:5, 23:12-14; 40:67;
 死と復活, 23:15-16;
 舌、手、足が罪人に対して証言する, 24:24;
 水から作られる, 25:54;
 血縁と結婚の関係, 25:54;
 自らを神に服従させるべき, 31:22;
 一つの胸に二つの心はない, 33:4;
 神を崇拜する, 39:64-66;
 不運は彼の行いによる, 42:30,

- 天使が彼の行いを記録する,
 50:17-18, 23;
 彼の成長と活動は神に依存,
 56:57-74;
 死後、新しい形で再び創造さ
 れる, 56:60-61;
 富と家族は試練となる,
 64:14-15;
 神によって創造され、糧を
 与えられる, 67:23-24;
 74:12-15;
 せつち、70:19-21;
 罪を犯す, 89:17-20;
 労苦と闘争の人生に創造さ
 れる, 90:4;
 能力を与えられる, 90:8-10;
 多様な目的のために努力す
 る, 92:4-11;
 最良の鋳型で創造される,
 95:4
 人類、一つの民族, 2:213;
 10:19;
 単一の対から創造される,
 4:1; 39:6; 49:13
 作法、家に入る, 24:27-29;
 家で, 24:58-61;
 共同体で, 49:11;
 集会で, 58:11
 結婚、真理を否定する者たち
 と, 2:221,
 何人と合法か, 4:3;
 結納金は取り戻せない (離婚
 の場合), 4:20-21;
 禁じられた関係, 4:22-24;
 自由な信じる女性と結婚する
 手段がない場合, 4:25;
 亀裂が恐れられる場合、二
 人の仲裁人を任命す
 る, 4:35;
 妻が残酷さや放置を恐れ
 る場合、友好的な和解,
 4:128;
 女性から背を向けてはならな
 い, 4:129;
 聖典の民の中の貞淑な女性
 と, 5:6;
 姦通者たちと, 24:3;
 貧しい者たちと, 24:32;
 結婚できない者は貞節を保
 つ, 24:33;
 預言者の妻たち, 33:28-29,
 50:52;
 同居のない離婚では待機期
 間なし, 33:49;
 預言者への条件, 33:50-52;
 マリア (イエスの母), 誕生,
 3:35-37;
 イエスの告知, 3:42-51,
 4:156; 19:16-21;
 出産の苦しみ, 19:23-26;
 赤ん坊を民のもとに連れてく
 る, 19:27-33;
 貞節を守る, 21:91; 66:12
 マリアム, S.19
 マサド, S.111
 マーウーン, S.107
 尺度と重さ、完全に与える,
 17:35; 83:1
 奇跡、神のしるしを見よ
 地上と海での災い, 30:41;
 93:1-5
 修道院生活は認められな
 い, 57:27
 月、の数, 9:35-37
 モーセ、と彼の民, 2:51-61;
 イスラエル人に忠告する,
 5:23-29;
 神によって導かれる, 6:84;
 とファラオ, 7:103-137;
 10:75-92; 11:96-99;
 偶像崇拜に抵抗する, 7:138-
 141;
 山の上で神の栄光を見る,
 7:142-145;
 子牛崇拜で民を叱責し、彼
 らのために祈る, 7:148-
 156;
 彼の民, 7:159-162;
 九つの明確なしるし, 7:133;
 17:101;
 二つの海の合流点へ,
 18:60-82;
 彼の呼びかけ, 19:51-53;
 20:9-56; 28:29-35;
 彼の幼少期、母、姉, 20:38-
 40; 28:7-13;
 エジプトの魔術師を改宗させ
 る, 20:70-73; 26:46-52;
 子牛崇拜に憤慨する,
 20:86-98;
 と神秘的な火, 27:7-14;
 28:29-35;
 都市での事故, 28:14-21;
 ミデアンで, 28:22-28;
 まっすぐな道へ導かれる,
 37:114-122;
 の書, 53:36; 87:19;
 彼の民に悩まされる, 61:5
 モスク, 9:17-19, 28
 山々, 20:105-107; 21:31;
 31:10
 ムッダッスィル, S.74
 ムハンマド、預言者、
 彼の使命, 7:158; 48:8-9,
 使徒への敬意, 2:104; 4:46;
 単なる使徒にすぎない,
 3:144;
 優しい, 3:159;
 信者への恵みとして送られ
 る, 3:164; 4:170;
 聖典の民へも, 5:21;
 信者への慈悲, 9:61;
 すべての被造物への慈悲,
 21:107;
 彼の仕事, 3:164; 4:70-71;
 6:107;
 狂人でも憑かれた者でもな
 い, 7:184; 68:2; 81:22;
 警告者, 7:184, 188; 15:89;
 彼の教え, 11:2-4; 12:108;
 34:46-50;
 神が彼の使命の証人, 13:43;
 29:52; 46:8;
 最も寛大な方法で招き、議論
 する, 16:125-128;
 靈感を受ける, 18:110;
 63:2-18;
 嘲笑される, 25:41-42;
 34:7-8;
 何の報いも求めない, 25:57;
 34:47; 38:86; 42:23;
 彼の義務, 27:91-93; 30:30;
 彼の家族 (妻たち), 33:28-
 34, 50-53, 55, 59; 64:1,
 3-6;

- 信者に近い, 33:6;
 行動の美しい模範, 33:21;
 預言者たちの封印, 33:40;
 人類への普遍的な使徒,
 34:28;
 彼への忠誠は神への忠誠,
 48:10, 18;
 神の使徒, 48:29;
 彼に逆らってはならない,
 58:20-22;
 イエスによって予言される,
 61:6,
 モーセによって予言される,
 46:10,
 彼の宗教はすべての宗教に
 勝る, 61:9;
 文盲, 7:157; 62:2;
 闇から光へ導く, 65:11;
 懸命に努力する, 66:9;
 崇高な人格の模範, 68:4;
 詩人でも預言者でもない,
 69:40-43; または預言者で
 ある, 69:40-43;
 祈りに献身する, 73:1-8,
 20; 74:3;
 証人, 73:15-16;
 そして盲目の男, 80:1-10;
 啓示の天使を見る, 53:4-18;
 81:22-25;
 神を崇拜し、彼に近づく,
 96:19;
 聖典を復唱する, 98:2
 ムハンマド, S.47
 ムジャーダラ, S.58
 ムルク, S.67
 ムウミン、ガーフィルを見
 よ, S.40
 ムウミヌーン, S.23
 ムムタハナ, S.60
 ムナーフィクーン, S.63
 殺人, 2:178-179; 5:35
 ムルサラート, S.77
 ムスリムの男女、ふさわしい
 行い, 33:35-36
 ムッザンミル, S.73
 ナバア, S.78
 ナフル, S.16
 ナジム, S.53
 御名, 神の、最も美しい,
 7:180, 17:110; 20:8;
 59:24
 ナムル, S.27
 ナース, S.114
 ナスル, S.110
 自然は神の賛美を宣言する,
 24:41-44; 50:6-11;
 神の善良さを示し、彼の約束
 は真実である, 78:6-16
 ナーズィアアト, S.79
 ニュース, 試されるべき, 4:83
 けちな者は非難される,
 17:29; 47:38
 夜, 象徴として, 79:29, 92:1;
 93:2
 定命の夜, 97:1-5
 アン・ニサー, S.4
 ノア, 6:84; 7:59-64; 10:71-
 73;
 義しくない息子は救われな
 い, 11:45-47;
 妻は義しくない, 66:10
 ノーフ, S.71
 ノール, S.24
 誓い, 2:224-227
 従順, 3:132
 義務は果たされるべき, 5:1
 孤児, 2:220; 4:2, 6, 10, 127;
 17:34
 対 (Pairs), すべての被造物
 に, 13:3; 31:10
 たとえ, 火を灯した男,
 2:17-18;
 雨を積んだ雲 2:19-20;
 ヤギ飼い, 2:171;
 廃墟の村, 2:259;
 一粒の穀物, 2:261;
 硬く不毛な岩, 2:264;
 肥沃な庭園, 2:265-266;
 網, 3:103,
 風の風, 3:117;
 舌をだらりと垂らす犬,
 7:176;
 砂上の崖, 9:109-110;
 雨と嵐, 10:24;
 盲人と聾啞者, 11:24;
 喜びの園, 13:35;
 風に吹き散らされる灰,
 14:18;
 根、枝、実果を持つ良い木,
 14:24-25;
 邪悪な木, 14:26;
 統一からの転落は、鳥にさら
 われるか風に飛ばされる
 よう, 22:31;
 ハエ, 22:73;
 光, 24:35-36;
 蜃気楼, 24:39;
 闇の深み, 24:40;
 蜘蛛, 29:41;
 仲間, 30:28;
 都市の仲間たち, 36:13-32;
 一人の主人と複数の主人,
 39:29;
 義しい者に約束された園と四
 つの川, 47:15;
 芽を出す種, 48:29;
 雨と物理的な成長, 57:20;
 自らを低くする山; 59:21;
 ロバ, 62:5;
 水の流れが失われる, 67:30;
 園の民, 68:17-33
 両親、親切に, 17:23; 29:8
 神の「仲間」、虚偽, 10:34-35
 忍耐と堅固さ, 2:45, 153;
 3:186, 200; 10:109;
 11:115
 「平安」、義しい者の挨拶,
 7:46; 10:10; 14:23:36:58
 平和、に傾倒する, 8:61
 平安, サラーム, 意味, 19:62
 平和, サキーナ, 安寧, 11:26,
 40; 48:4, 18, 26
 真珠, よく守られる, 52:24;
 56:23
 筆, 68:1; 96:4-5
 罪の罰, 3:188; 6:15-16;
 10:50-53.
 火による迫害, 85:1-11
 個人の責任, 4:164; 10:30:
 14:51:53:38-41
 ファラオ, 残酷, 2:49;
 溺死, 2:50, 彼の民, 14:41-
 42;
 モーセとのやり取り, 7:103-
 137; 10:75-92; モーセ
 を見よ;

- 悔い改めによる体の救済,
10:90-92;
神を否定する, 28:38; 79:24;
彼の民の一人が信仰を告白
する, 40:28-44;
イスラエル人に対して傲慢,
44:17-33;
妻は義しい, 66:11;
罪と不従順, 69:9; 73:16
巡礼, 2:158, 196-203; 3:97;
5:2; 22:26-33
積み重ね, 102:1-4
祈り, 1:1-7; 2:238-239; 3:8,
26-27;
堅固に, 2:110,
旅中や危険な時, 4:101-104;
神のみに当然, 13:14-15
祈り, 5つの定時, 11:114;
17:78-79; 20:130;
30:17-18;
なぜすべての祈りが答えられ
ないのか, 42:27
危険における用心, 4:71
捕虜, 8:67-71
結婚における禁じられた関
係, 4:22-24
財産, 2:188; 4:5, 29;
公正に分配される, 59:7-9
預言者たち, 2:253;
連続した系譜, 23:23-50,
57:26-27;
彼らからの契約, 3:81;
33:7-8;
彼らの信託に偽りはない,
3:161;
拒絶される, 3:184; 6:34;
25:37, 34:45; 51:52-55;
殺される, 3:183;
すべてを信じるべき, 4:150-
152,
説明を求める, 5:109;
嘲笑される, 6:10; 13:32;
15:11; 21:41;
なぜ送られたか, 6:48, 131;
14:4-6;
敵を持つ, 6:112; 25:31;
神のしるしを復唱する,
7:35-36;
すべての民に送られる,
10:47; 16:36;
家族を持つ, 13:38;
人間だが導かれる, 14:10-
12;
迫害され脅かされる, 14:13;
民に対する証人, 16:89;
と使徒, 意味, 19:51;
一つの兄弟愛, 23:52-54;
一部は名前が挙げられ、一部
は挙げられない, 40:78
預言者の配偶者,
追加の責任と義務, 33:28-
34;
誰がふさわしいか, 33:50-52,
彼らへの敬意, 33:53-55;
預言者の配偶者と信じる男女
への敬意, 33:56-58;
預言者の妻と娘、そしてすべ
ての信じる女性は慎み深
いべき, 33:59-62;
繁栄 (精神的) 87:4-15; 成
功, 91:9-10
公的と秘密, 4:148
懲罰, 人間の傲慢さと反逆の
ため, 96:15-18,
永続する - 故意の反逆のた
め, しかし悔い改めの後
や小さな罪のためではな
い, 79:37
カドル, S.97
カーフ, S.50
カラム, S.68
カマル, S.54
カーリア, S.101
カルーン, コーラを見よ,
28:76-82; 29:39
カサス, S.28
キブラ, 2:142-145, 149-150
キヤーマ, S.75
クルアーン, メッセージ, 4:82,
6:19;
神の啓示以外からは作られ
ない, 2:23; 10:38; 11:13;
17:89;
節々、根本的で比喩的, 3:7;
11:1;
神が証人, 6:19;
神の啓示, 6:92; 7:105-107;
27:6; 45:2;
それに従い、正しく行動す
る, 6:155;
それに敬意と注意を払う,
7:204-206;
知恵の書, 10:1; 31:2; 36:2;
アラビア語で, 12:2; 13:37;
その描写, 13:31, 36-37;
物事を明確にする, 15:1;
25:33;
断片にされるべきではない,
15:91;
啓示の目的, 16:64-65;
純粋なアラビア語, 16:103;
吉報と警告, 17:9-10;
と真理を否定する者たち,
17:45-47;
癒しと慈悲, 17:82;
たとえを説明する, 17:89;
18:54; 39:27;
そこに何のゆがみもない,
18:1-2;
独自の証拠を持つ, 29:47-
49, 51;
導きと慈悲, 31:3;
神からの真実, 32:3; 35:31;
自己矛盾のない美しいメッセ
ージ, 39:23;
人類を教える, 39:41,
80:11-12;
虚偽はそれに近づけない,
41:42;
以前の預言者たちへのメ
ッセージと同じ, 41:43;
43:44-45;
世俗の指導者たちには送ら
れない, 43:31-32;
熱心に理解しようと努める,
47:24,
それをもって忠告する,
50:45;
神によって教えられる,
55:1-2;
謙虚に受け入れるべき,
59:21;
いかにして読み、研究するか,
2:121; 75:16-18;

名誉と尊厳の書に, 80:13-16;
 すべての世界へのメッセージ, 81:26-29;
 真理を否定する者たちがそれを拒絶する, 84:20-25;
 保存された石板, 85:21-22;
 書と啓示も参照
 クライシュ族, S.106
 ラアド, S.13
 ラフマーン, S.55
 義しさの衣は最良, 7:26
 雨, 神の贈り物, 56:68-70
 ラマダン, 2:185
 宗教, 強制はない, 2:256
 悔い改め, 改心と共に、受け入れられる, 6:54, 42:25
 復活, 16:38-40; 17:49-52
 報復, 承認されない, 5:45
 啓示, 疑いは解決される, 2:23;
 モーセとイエスの, 2:87;
 廃止されたり忘れられたりする, 2:106;
 導き, 3:73;
 預言者と彼以前の者たちに, 5:48;
 善と悪を識別する言葉, 86:11-14;
 疑いを抱いてはならない, 6:114; 11:17;
 目的, 7:2, 20:3;
 段階的に, 16:101;
 聖霊を通して, 16:102-103; 26:192-199;
 宣言されるべき, 96:1;
 本質, 41:2-4, 6-8; 69:50-51; 81:15-21;
 書とクルアーンも参照
 偽りの神々を罵倒しない, 6:108
 報い, 限りなく, 3:27; 39:10;
 行いにふさわしい、それ以上の, 27:84; 30:39;
 最良の行いに応じて、そしてそれ以上に, 24:38; 29:7; 39:35;
 善行の報いは善行以外にはない, 55:60

義しい者, の仲間, 4:69;
 大地を相続する, 21:105;
 描写, 51:15-19; 76:5-12 義しさ, 2:177, 207-208, 212
 ルーム, S.30
 サバア, S.34
 シバ, 27:22; 34:15-21,
 安息日, 違反者, 7:163-166;
 厳格にされる, 16:124
 サビア人, 2:26, 5:69; 22:17
 犠牲, 22:34-37
 サード, S.38
 サファとマルワ, 2:158
 サフ, S.61
 サーフアット, S.37
 サジュダ, S.32
 サーリフ, 7:73-79;
 11:61-68; 26:141-159;
 27:45-53
 サルサビール, 76:18
 サミリ, 20:85, 20:95-97
 サタン, 2:36; 4:117-120; 24:21;
 敵意と憎悪を煽る, 5:91;
 その示唆に抵抗する, 7:200-201;
 欺く, 8:48;
 自身の追隨者を非難する, 14:22;
 悪霊、拒絶され、呪われた者, 3:36; 15:17; 15:34; 16:98;
 信者に対して何の権威も持たない, 16:99-100;
 虚栄を示唆する, 22:52-53;
 敵である, 35:6; 36:60
 中傷, 24:19; 104:1
 聖典, 聖典の民, 2:62;
 清く神聖に保たれる, 98:2
 秘密, 許容される場合, 4:114;
 協議で、非難される, 58:7-10
 宗派と分裂, 非難される, 30:32, 42:13-14; 43:64-65, 45:17, 28
 種, 神の摂理によって育つ, 56:63-67

恥ずべきことは避けるべき, 7:28
 シャムス, S.91
 船, 航海、しるしとして, 2:164
 シュアラア, S.26
 シュアイブ, 7:85-93; 11:84-95; 29:36-37
 シューラー, S.42
 神のしるし, 知識のない者によって要求される, 信仰を持つ者には明確, 2:118;
 天と地の創造において, 2:164; 3:190;
 人々が熟考するように明確にされる, 2:219-220;
 昼と夜はしるし, 17:12;
 自然とすべての創造において, 10:5-6; 30:20-27; 45:3-6;
 自己明らかなしるし、書, 29:49-51;
 風と船, 30:46; 42:32-35;
 船, 31:31;
 夜、太陽、月, 36:37-40;
 洪水を乗り越えた箱舟、そして似た船, 36:41-44;
 この生において, 39:59;
 拒絶者は惑わされる, 40:63;
 雨と蘇った地, 41:39-40;
 地の最も遠い領域と、彼ら自身の魂に, 41:59;
 特別な(奇跡の)しるしは与えられない, 6:109;
 10:20; 8:7
 スイッজন, 88:7-9
 罪, 4:30-32, 36-39, 107-112, 116;
 神はすべての罪を赦す, 39:53
 シナイ, 19:52; 95:2
 罪人, 23:63-77; 26:200-209; 83:29-36;
 彼らの聴覚、視覚、皮膚が証言する, 41:20-23
 中傷, 11:79; 24:23; 68:11-12
 ソロモン, 2:102; 6:84; 21:79, 81-82;
 と蟻, 27:18-19;

- とヤツガシラ, 27:22-26;
 とシバの女王, 27:22-44
 息子, 養子, 33:4-5
 魂, 耐えられないほどの重荷はない, 2:286; 7:42; 23:62;
 責任, 3:30; 74:38;
 公正に扱われる, 16:111;
 死を味わう, 21:35;
 天国に入るのは魂であり、体ではない, 89:27-30
 浪費者は非難される, 17:26-29; 25:67
 霊 (スピリット), 70:4, n. 5677; 78:38; 97:4;
 聖霊, 神はイエスをそれで強める, 2:87, 253;
 神の霊, 人間に吹き込まれる, 15:29;
 靈感, 17:85-86;
 神は信者をそれで強化する, 58:22
 星々, 7:54; 16:12, 16; 22:18; 37:6-10
 努力, 9:20, 81; 22:78
 苦難, 逆境, 繁栄, 7:94-96
 太陽, 91:1
 迷信, 5:103; 6:138-140, 143-144
 糧, 文字通りと比喩的, 10:59, 16:73, 19:62, 42:12; 51:57-58, 67:21
 タガーブン, S.64
 ター・ハー, S.20
 タフリーム, S.66
 タカースル, S.102
 タクウィール, S.81
 タラク, S.65,
 タフワ, 意味, 2:2, 59:18-19
 ターリク, S.86
 タットフィーフ, ムタッフィフイーンを見よ, S.83
 タウバ, S.9
 定められた期間, すべての民に, 7:34; 10:49; 15:4-5; 16:61; 20:129
 試験, 神による, 3:154, と 34:21
 サムード, 7:73-79; 11:61-68
 窃盗, 罰, 5:38-39
 真理を否定する者たち, 企みは無益, 8:30;
 啓示を軽蔑する, 8:31;
 罰に異議を唱える, 8:32-35;
 祈りは空虚, 8:35;
 間違った目的のために費やす, 8:36;
 悔い改めれば過去は赦される, 8:38; 9:11;
 契約を破る, 8:56;
 神聖な者たちを挫折させない, 8:60-61;
 互いを守護する, 8:73;
 描写, 9:73-78; 14:3;
 彼らが信じていればよかったと願う, 15:2;
 二重の重荷を負う, 16:25;
 恥に覆われる, 16:27;
 虚しい議論, 18:56-57;
 彼らの努力は無駄になる, 18:102-106;
 彼らの傲慢, 19:73-82; 35:43,
 行いは蜃気楼のよう, 24:39;
 間の深みのように, 24:40;
 裁きの日に互いを非難する, 34:31-33;
 自己称賛と分離主義, 38:2-14;
 神のしるしについて争う, 40:4-6,
 真実を憎む, 43:78
 時, 76:1, 103:1-3;
 ティーン, S.95
 交通と商業, 4:29
 地上を旅する, 6:11; 22:46
 神の宝, 6:50; 6:59; 11:31; 15:21
 条約, 11:1-4; 11:7-10
 試験, 2:214-218
 ラッパ, 審判の日に, 6:73
 信託, 天、地、山に申し出られる、人間が引き受ける, 33:72-73;
 信託, 4:58; 8:27
 真実, 23:70-71, 90;
 真実の拒絶者, 77:1-50; 98:1-6
 ウフドの戦い, 教訓, 3:121-128, 140-180
 ウンマ (民族), 2:143-144
 ウムラ, 2:196
 単一性, 2:163; 6:19; 92:1-4
 高利, 2:275-276; 2:278-280; 3:130
 ウザイル, 9:30
 ウッザー, 53:19
 虚しい言葉は避けるべき, 6:68
 ワッド, 71:23
 ワーキア, S.56
 滅びる前の警告, 17:16
 無駄にするな, 6:141; 7:31
 水, 動物はから創造される, 21:30; 24:45; 25:54;
 流れる二つの水体, 25:53;
 18:60, 35:12; 55:19-20,
 神の玉座は水の上にある, 11:7;
 循環する, 23:1
 富, 蓄えることは非難される, 104:2-3
 寡婦, 2:234-235, 240
 神の意志, 10:99-100; 81:29; 82:8
 風, 吉報の先触れ, 7:57-58; 15:22, 30:46, 48, 51;
 神秘的な象徴, 77:1-6
 ワイン, 2:219, 5:90, 天国のワイン, 47:15; 76:21; 83:25
 証人, 人間の中の, 2:143; 22:78
 女性, 不当に扱われる, 嘆願は受け入れられる, 58:1-2
 女性, 2:222-223; 4:15, 19-22, 34, 127;
 敬意を払われるべき, 4:1;
 彼女に対する虚偽の告発, 24:4-5, 11-20; 24:23-26;
 懐み, 24:30-31;
 信じる, 難民, 60:10-12
 現世, 遊びと娯楽にすぎない, 6:32; 29:64; 47:36; 57:20;
 人間を欺く, 6:130;

- 好むべきではない, 9:38-39;
 13:26; 28:60-61;
 その報いを得る, しかし来
 世ではない, 11:15-17;
 17:18; 42:20,
 人間は愛する, 75:20-21;
 76:27;
 崇拜, 真の崇拜と慈善,
 107:2-7
 書写, 契約のため, 2:282
 不義を働く者, 11:18-22,
 101-104
- ヤヒヤ (洗礼者ヨハネ), 誕生,
 3:39; 6:85;
 彼の性格と地位, 19:12-15;
 神を敬う, 21:90
 ヤー・スィーン, S.36
 ユースス, S.10; ヨナも見よ
 ユースフ, S.12; ヨセフも見よ
 ザイド, 元奴隷, 33:37-38
 ザカリヤ (ザカリヤ), 3:37-
 11; 6:85; 19:2-11; 21:90
 ザカート (定められた慈
 善), 2:43
- ザンジャビール, 76:17
 ザククーム, 37:62-66;
 44:43-46; 56:52
 ザйнаブ, ジャフシュの娘,
 33:37-38
 ズィハール, 33:4; 58:2-4
 ザルザラ, S.99
 ズフルフ, S.43
 ズマル, S.39

イスラム教に関するより詳しい情報については、以下をご覧ください。

www.mwkhana.com
www.cpsglobal.org
www.spiritofislam.co.in
www.goodwordbooks.com

クルアーン

クルアーンは、人類に希望と神聖な教えをもたらす書物であり、精神的、知的な側面において、真理を探究することの重要性を強調しています。

すべての書物には目的があり、クルアーンの目的は、人間に神の創造計画を理解させることにあります。すなわち、なぜ神がこの世界を創造されたのか、人間を地上に住まわせた意図は何か、人が生を終えるまでに果たすべきことは何か、そして死後、何と向き合うことになるのかを伝えるのです。クルアーンの真の目的は、人間にこの現実を気づかせ、生から来世へと続く人生の旅全体を導くことにほかなりません。

クルアーンの主要なテーマは、啓発、神との接近、平和、そして精神性です。クルアーンでは、「タワッスム」、「タダブル」、「タファックル」このクルアーンの翻訳は、まさにこれらのテーマを念頭に置いて行われました。